大正十二年版

滿蒙年鑑

滿蒙文化協會發行

滿蒙文化協會

設立趣旨

自然を征服し開拓して文化の淵叢となすの努力は、人類に賦與された特權でありまた使命である。思ふに此の努力の弛張如何は、人類發展の飛躍高踏と退步逆轉とを決定する唯一の基調たるものである。

世界の歴史は其の複雜錯綜せる幾多の事實を通じ極めて雄辯に這般の消息を語つて居る。故に苟くも生を人生に享くる者は其の生存する時代と場所の如何を問はず、人類文化發展の大業に參して努力するの覺悟がなくてはならない。

吾人が滿蒙の開發經營をなすに當つて念とする所も亦如上の意味に於て滿蒙文化發展の終局の理想を實現するに在る。換言すれば、單に貯藏された物質的資源卽ち經濟的產業的利源を開拓するに止らず、其の一切の精神的文化卽ち思想的科學的根柢の培養に努めて、兩者の圓滿なる發達を期待せねばならない。吾人は此の如き理想を抱懷して滿蒙經營の步武を進め其の過程に於ける幾多の困難と戰ひ障碍を除去しつゝ漸く光明ある前途を望見するに至つたのである。

然るに我が滿蒙の過去及現在の眞相を知るものは、遺憾ながら頗る少數である或る者は滿蒙の名を聞けば直に荒寥たる僻邑を聯想し、或る者は單に遺利を拾ふに適する新開地を想像する。此の如きは固より一面滿蒙に對する深き洞察と研究とを缺ける者自身の罪ではあるが、他面滿蒙經營を任とする者が、隨時其の眞相を中外に發表するの熱心と用意とを有せず、從つて此等の眞相發表に關する權威ある統一的機關を設立せざりしに職由する。

滿蒙文化協會は右の缺陷を補塡せむが爲に其の初聲を擧げたのである。其の當面の使命は組織的統一的に滿蒙文化の眞相を調査紹介するに在る。然り眞相の調査紹介である故に不確實なる報告や事實を誇張せる宣傳によつて一般世人を過つが如きは吾人の斷じて採らざる所である飽く迄も事實に立脚して其の眞相を躍如たらしめんことを期する。

惟ふに滿蒙の現狀を知る者は滿蒙が單に東洋の滿蒙たるのみならず既に世界の滿蒙たる域に達しつゝあるを痛感せざるを得ない。故に此の點より見て、滿蒙文化の眞相を日本中國のみに止めず、廣く歐米各國民に徹底せしむるは、刻下の急務である。然らば滿蒙文化協會の設立はやがて世界的にも重大なる意義を齎らさなくてはならない。若し本協會の設立と其の活動とによつて、滿蒙文化の眞相が世界的興味の中心たるを得るならば、是れ啻に滿蒙經營者のみの光榮でなく、又世界の[illegible]ふべきである。吾人は本協會の設立を契機として一面に於て滿蒙文化の現狀を明かにすると共に、他面に於ては自ら警めて愈々此の地の開發に精力を傾注せしむることを庶幾する。此の如くして滿蒙文化協會が將來起るべき一切の文化運動の先驅として、世界文化史上に新しき[illegible]を提供するに至らしことは、本協會終局の理想でありまた熱望である。

主なる事業

調査機關 多年の經驗と研究に依り滿蒙に於ける各種方面の智識を收集し適確公正なる調査材料の提供報道に勉むると同時に滿蒙に對する投資企業の目論見經濟的發展の誘導に努む。

紹介機關 本協會は自ら進んで各種の研究會、講演會の開催或は活動寫眞を以て滿蒙の實況を紹介すると共に博覽會の開設並に其出品等滿蒙東露の事情紹介を助長する一切の事項を行ふのみならず會員の照會は勿論、新聞雜誌通信の依頼に對しても正確迅速の報道を爲す。

旅行案內 滿蒙及極東の旅行者のため旅館の案內、旅程の作成其他一切の便宜を供すると同時にジャパン、ツーリスト、ビウロー等との聯絡を保ち近く東京、大阪等の主要都市に支部を設置して此方面の活動をなすの計畫である。

機關雜誌 本協會の宣傳機關として毎月一回「滿蒙の文化」（菊二倍版八十餘頁）の大雜誌を發行し凡ゆる方面の權威ある調査研究資料を發表して會員諸君に頒つと共に全滿洲の輿論の代表として內外に向つて吾人の目的貫徹に努めんとする同時に漢文雜誌「東北文化月報」を發行して中國人一般及各國人と共に本機關の利用をなさしむ。

圖書出版 本協會に於て調査研究したるものは勿論滿鐵會社の調査機關其他の公共團體及び個人に於て發表すべき各種の資料及び學術上の研究著作は之れを本會に於て引受け實費出版を以て廣く世間に販布すべく會員の申込に對しては定價の一割引を以て其需めに應ずる。

夏期學寮 夏期休暇を利用して內地より當地に實習或は見學に來滿する學生の爲め夏期學寮を開設して低廉に宿舍の便を供し學習の目的を達するに便益を與ふると共に講演會を開催して滿蒙に對する知識を宣傳し有意義に夏期を過さしむ。

研究室 滿蒙、西伯利亞、中國等各般の事項に關し特別に研究調査を爲さんとするもの丶爲め本協會內に研究室を設け必要なる資料を備へ且適當なる人材をして直接調査研究者に對し可及的の援助をなす。

役　　員

顧　問	公爵	山縣伊三郎	名譽總裁		張　作　霖
總　裁	男爵	後藤　新平	會　長		川村　竹治
副會長		相生由太郎	理　事		中川　健藏
理　事		古　丈作	同	男爵	大藏　公望
同			同		松岡　洋右
同		小	同		安川和三郎
同		村井啓	同		謝　演　蒼
同		佟　德　一			

凡　例

一、本書は滿蒙に於ける此種出版の最初の試みとして昨年初めて剏てられたものであるが幸にして各方面の好評を博し極めて有意義な試みと認められた結果茲に大正十二年版を重ぬるに至つたのである。

二、今回も編者の手不足から時間の餘裕なく完璧を期し難かつたが次版に於ては內容及編修方法等を改め新機軸の下に讀者の便に供するつもりである。

三、本書は第二十一運動娛樂の次に滿鐵沿線案內、大正十一年中國重要日誌、滿蒙に於ける度量衡、通信案內等約百頁を組みかけたが頁の都合上割愛した。

四、本書中「支那」は總て「中國」と記した。

五、本書編纂用の資料を蒐集するに當り滿鐵調査課、同運輸部、同埠頭事務所、關東廳文書課、同遞信局、關東軍司令部等に負ふ所が多い茲に記し謝意を表する。

大正十二年一月

滿蒙文化協會調査部

滿蒙年鑑目次

目次

第十一 貿易 ………… 357

第十四　鑛業 ………… 656

第十五　農業及牧畜 … 674

第十八　教育宗教 …… 760

第十九　醫事及衞生 … 785

廣告目次

目次

滿 蒙 年 鑑

第一　滿蒙概史

(一) 概　　況

滿洲は清朝の中葉に至る迄肅愼の名を以て滿洲人の經營する處であつた。而して其名が中國本部に傳はつたのは三千年以前から一千年以前に渡る間で其本據は今日の寧古塔の南東京附近である。肅愼の後に二大國が興つた、一は高句麗で一は扶餘である。高句麗は鴨綠江沿岸を中心として建國し、扶餘は長春府の農安縣を中心として西遼河の沿岸に建國した。此兩國は共に長く繼續したが先づ扶餘が亡び高句麗も亦次で唐の爲に亡ぼされた。かくて、高句麗の亡ぶや同じ滿洲族であつた勃海が之に代り高句麗の故地に據つて一大國をなし吾國と極めて親密に通商したものである。然して勃海は後契丹に亡ぼされたが其民族は依然として契丹の治外にあつたので後再び立つて金國を興した

金は今から八百年前に白城に起り忽ち西方へ侵略して契丹卽遼國を滅し更に宋を破り中國の北半を取つたが其後百餘年を經て元の爲に亡ぼされた。元滅亡の後明興り明亡びて淸が興つた

原來淸朝は渾河の上流地方に興つたもので中國本部を統一するや其故地である滿洲の歷史は絕へて仕舞つて今より百年程以前迄中絕するの奇觀を呈した。是は淸朝が滿洲に對する政策が產んだ結果である、上述した樣に淸朝は興京附近から興り明を破つて北京に遷り禁軍なる八旗を組織して中國本部へ派してしまつたので殆んど滿洲を空虛にした。而かも此空地を開放して漢人を容るゝ曉には其故地を奪はれてしまう恐れを持つて居たので滿人は爰に漢人の滿洲に入るを禁じて之を封禁地となした。然し嘉慶四年になつて此中絕した滿洲歷史の復活を見るに到つた卽今の長春附近は蒙古の郭爾羅斯の領地であつたが竊かに山東から農民を招いて開墾しておつた淸朝の官吏が之を發見した時には旣に非常な發展をなしておつたので政府も止むを得ず之を許可し同時に滿洲八旗をして

其故地に歸らしめ田地を耕作せしめる政策を取るに到つた、其後長髮賊の亂が起つた爲滿洲をかへりみる暇が無かつたので其間漢人は滿洲に入込み開墾又は金鑛採堀を初め其最大なる者が鴨綠江の沿岸に據つた。かくして長髮賊の平定後は禁封地に多數の漢人が入込み多くの田畑が開墾せられたのを知り狼狽したものゝ結局政府の方針は一變されて爰に滿洲を開放するの策を取るに到つた。

（二）滿漢の關係

由來滿漢兩民族が最初に接觸した時代は戰國春秋の世燕國昭王の時であつて東胡民族と戰ひ造陽から遼陽に至る大弧形の地域を占領し一大長城を起した一方秦が六國を亡ぼし天下を統一するや燕の長城を繼承して一大長城を建設し滿蒙と中國本土との間の境となし其勢力は一時遼西遼東から鴨綠江に及んだ。然し歷史の囘展する所秦亡び漢興り、遼東の方面に變動を見たのである。

滿洲に於ける初期の民族で最も早く漢人に知られた者は挹婁であつて主として松花江の上源地より烏蘇里ホルハ兩江の山地に住居し射獵生活を營んでおつた然し後に到り此所に扶餘の優越な文化を有してゐる民族が移居し來るに及んで多大の感化を與へた、又扶餘は挹婁と異り農業民族であつたので滿洲發達の上に一大紀元を劃し其故地は爾後滿蒙兩民族の接觸點となつた、其當時滿洲接壤地方の民族は第一にシラムレン水に據つた鮮卑と其南方にあつた烏丸（烏桓）とである鮮卑と號したのは匈奴に逐はれて鮮卑山に據つたからで後漢の末其部落に名王檀石槐を出し廣大な鮮卑王國を作つた次に烏丸も鮮卑と同じく東胡の一種で匈奴に其國を亡ぼされた爲逃れて烏丸山に據つたが是も亦鮮卑と同じく遊牧の民として水草を逐ひ移動しておつたけれ共後漢の初期から烏丸の勢强盛に赴き遠く漢の邊塞內に侵入し遼東郡の東北大凌河の上流地方は其勢力範圍とし漢人の滿洲經營は玆に一大變化を見るに至つた、卽ち烏丸の名酋長蹋頓は烏丸を統一して大勢力を得たが後に到り鮮卑の慕容氏の一族が權力を得る樣になり漢人の滿洲經營に對し歷史上の一大要素を爲すに到つた、然し慕容氏斃れ遼西方面が混亂すると高句麗は再び遼東に進出し其版圖は朝鮮過半遼河以東北の滿洲及露領沿海州の一部に渡り滿漢境上に空前の大國を建てた。一方渤海建國の祖とも云ふ可き乞乞仲象は長白山

の東北に據つた而して渤海と唐との交通は頗る平和的に進行し同時に唐の文化も急速に流入した。

一方契丹は原住地なる新民府附近で遊牧生活を營み其勢力は古北口方面から北京方面に及んで大に長城以北に活躍した。然し女眞人と衝突し之に破られ女眞は破竹の勢を以て遼東一帶を占領した、宋も亦女眞と通じて契丹を攻め北宋の文化は一時大に賑つた、又金も女眞と交渉し發展したのであるが金が蒙古の爲に壓迫せられおる事を見た宋は再び遼を亡ぼした時の滑手段で元と同盟し金を攻めた。元代の滿洲行政區域はシラムレン、ラオハ方面と大凌河、遼西方面であつて一時歐亞に據る大帝國を建設し空前の大國を作り上げたが其民族が遊牧生活から城郭生活に遷つた爲急激に兵力の衰退を來し其威力を維持し得ざるに到つて遂に滅亡した然して元は南滿に於ける最高政廳を遼陽路に置いたが、洪武十九年明の太祖が東征の諭文を發し金山に突進した爲納哈出破れて遂に降服するに到つた。

斯くして明の滿洲經營は始まつた、而かも其成功は急であり且太祖が明の勢力範圍を開原以西に限つたので明の滿洲經營上に一大遺算を生ぜしめた、太祖は頗る東北邊防に意を用ひ一時蒙古兵を追つて外蒙古のオルコントラーの流域に迄及んだが永く其地域を維持する事が出來なかつた。

明代の女眞人は海西女眞建州女眞野人女眞の三つに分つて居る之等の中建州女眞の酋長は女眞の最大なる君長として南京北京の政府に頗る優遇せられてゐた、永樂帝は女眞鎭撫の機關として建州衞軍民指揮使司を創設し其招撫は大體に於て效果を收めた、然しながら明朝を苦しめて其國勢を衰へさしたものは海路よりの倭寇と陸路よりする北虜とであるが直接の原因となつた者は滿洲から興つた女眞である。

淸の太祖(名は奴兒哈赤)は女眞人一般の要求に從つて立つたので彼は先づ其使命を果さんが爲に八旗制度を創設し次て文字を改創し翻譯の力に依つて外國の知識を其部族に普及せん事を企てた、斯くて天命三年天命を奉ずる名の下に宗主國たる明廷に對する七大恨を天壇たる堂子に告げて撫順城を陥れ後年には奉天を取り次で遼陽鐵嶺開原を陥れた斯くて太祖は天命十一年(一六二六年)明國征伐の途に上り遼西の諸城を平定したが明の滅亡に先立つ事約半歳で暴かに殂落した時は崇德七年八月であ

つて幼冲なる順治帝は其後を襲ふた、順治帝は北京に其政府を遷し歴史は玆に一階段を劃したが事實上中國を統一したのは康熙大帝の時である。

清明の戰は一六一七年より以來二十餘年の長きに渡り爲めに中國本部の財政は紊亂し苦境に陷入つた清も亦疲弊したが其第一の原因は土地の荒蕪であつた又第二の原因とも見る可きは清が北京を占領したと云ふ事によつて從來遼東一帶にあつた滿洲人が先を爭ふて中國本部に向つて仕舞ひ爲めに滿洲は其主を失ひ漸次荒廢に歸するに至たのである。

是に於て滿洲政府は法令を出し勸農政策を取り又遼東招民開墾令を出したのであるが餘り好果がなかつたので一六六八年聖祖は遂に招墾令を撤回した、又清は滿洲人の一貫せる要求から彊界を嚴にし封禁の政策を取り以て漢人の滿洲侵略を防ぎ其故地を全ふせんとした。其理由とする所は滿洲に於ける當時の唯一財源であつた野生人參の採掘と其貿易に依る莫大の利を收得せんが爲である。而して其採掘權なるものは滿洲皇室及王公の獨占したものであるが然し如斯理由ばかりで無く滿人は民族精神の維持に努め康熙帝雍正帝の如きは滿人の民族精神維持を以て國家最高政策の一とし漢人より來る可き一切の影響を排斥せんとした即滿洲八旗は清朝の武力的中心をなし康熙の時代に其數十二萬と稱され何れも皆一騎當千の武勇者であつた而して八旗の下には上三旗下五旗の區別あり上三旗は國初以來の親軍であつて下五旗は諸王の兵である其間多少の優劣があつたが武力に於ては遙かに漢人を凌いで居た。

然れども旗人は生計の困難なると漢人趣味の誘惑等によつて貧窮に陷つた又滿洲旗人は多く農業に親しまず賜給せられた土地をば殆んど漢人の小作人に一任し夫れから納租を徵して生活の資に充てた一方小作人は最初細民であつたが中には地主の要求に應じて約束以外の金帛穀類を供給し或は受典者となり遂に土地の上に實權を占むるに至つた、然し政府は其間漢人入滿に對し抑制政策を取つたのである、けれども遂に功を奏する事が出來なかつた斯く滿洲に流入した漢人は何等の武力もなく國家の保護もなくて成功を收め得た所以は實に彼等の不撓不掘の努力に依つたものである、而して彼等が山東地方から遼東に至るや其第一の足溜は遼河の平原であつた。

漢人中最も勢力を有しておつたのは山東人であつて、同じ山東でも曹

州登州萊州のものが其數多く農業を中心として發展した。其他長白山の人蔘私堀と沙金堀とが當時極めて有望視され流民が盛んに入込み事實上の主權は漢人の占むる處となつたので嘉隆帝一八〇三年には北京政府も滿洲の一部を開放し又同治六年(一八六七年)には空間地帶を一般漢人のために開放した滿洲が內部的に滿漢人に依て開放されつゝある間に南北中國より滿洲の門戶を開かしめ且之が開發を刺戟した者は實に北よりする露國と南よりする英國とであつた、卽一八五八年英淸條約によつて牛莊は、國際貿易港として開かれ滿洲が國際市場に入る第一步を踏むに至つた。後滿蒙に於ける露國と淸國との折衝は複雜を極めたが露國は淸國の積弱に乘じて漸時南下し獨佛を誘ひ吾國に對し日淸講和條約に依る遼東半島の占領を抗議し之を還付せしめ淸と交涉し一八九六年のカシニー條約及一八九八年の旅順大連租借條約を締結し更に東淸鐵道を敷設するに到つた、又該鐵道の完成により露國の勢力强大になつたが淸も亦之に對抗する爲滿洲移民の奬勵策を建てた然しながら日露戰後は邦人が滿洲に於ける一大勢力となり中日露三國人を以て滿蒙開發の首要勢力となつた。けれども歐洲戰役後は露人の勢力頓に減退し滿蒙の開發は今や中日兩國人の雙肩にかゝつて居る。

(三) 滿洲名稱の由來

抑も滿洲なる名稱は淸の太祖の尊稱であつて滿住より來たと云ふ意である太祖は明の天啓七年(一六二七年)(に死し太宗卽位し明の崇禎八年まで太宗は太祖の命名した金國(後金)の名稱を以て終始したが其翌年から國號を大淸と改め舊稱金國の代りに滿洲の名稱を以てした、然し滿洲の名稱には二樣の意義があつて上述の如く太祖の名より來り、女眞人をして父太祖の舊部なりし事を忘れさせない樣にする意味であり其二は滿住卽文殊師利なる佛名を部族の名稱とする事に依つて一般漢人に好感を與へさせ樣としたからである。卽ち太宗が大淸の國號を揭げたのは相手國たる明國の人心を緩和せんが爲であつた。

第二 地　理

(一) 地　勢

滿洲は東經百十七度五十分より百三十五度二〇分に亙り北緯三十八度四十二分より五十三度三十分に及び緯度に於ては巖手縣乃至北海道と相均しく歐大陸の南半と略同一である。經緯度の極點は下の如くである。

	經度	
	極西	極東
滿洲	117.50(黑龍江省呼倫池の西北)	135.02(烏蘇里江と黑龍江との會點)
奉天省	119.48(山海關)	129.06(圖們江と馬鹿溝との合流點)
關東州	121.50(鳩灣の南角)	122.33(碧流河口)
吉林省	123.02(長嶺縣の西北端)	135.02(烏蘇里黑龍江二江の合流點)
黑龍江省	117.50(呼倫池の西北)	132.33(松花、黑龍二江の合流點)

	緯度	
	極南	極北
滿洲	38.43(老鐵山高角南端)	53.30(黑龍江省額穆爾河)
奉天省	38.43(同)	45.45(安廣縣二道河子北方洮兒河の彎曲點)
關東州	38.43(同)	39.30(碧流河河口)
吉林省	42.02(濛江縣の南端松花江の分水嶺)	48.25(綏遠縣の北端)
黑龍江省	45.18(大賚縣下老宋家村)	53.30(額穆爾河)

備考　本表は本土の極點を示せるものにして屬島は之を含まず。

大連及長春と同緯度の都市を擧ぐれば下の如くである。

大連と略同緯度のものは秋田市、平壤、天津、アテネ、リスボン、桑港。

長春と同緯度のものは旭川、浦鹽斯德、マルセイユ、シカゴ、ボストン。

1. 山　脈

滿蒙の地勢は東は長白山脈、西は陰山山脈及大興安嶺北は小興安嶺に

依りて包擁せられたる廣大なる平野は南渤海に向つて開展し此間を縱横に貫流する大小幾多の河川に依り成つて居る。

長白山系 長白山脈は吉林省の東南に旁薄し滿鮮の境界を劃し西北に蜿蜒たるものは小白山山脈にして吉林平原を包容し東北に出づるものは完達山脈にして烏蘇里江、松花江、黑龍江、牡丹江等の諸流域を限界して居る、又西南に走るものに千山山脈があり遼陽の東方から金州半島に延びて居る。

イ、長白山脈—白頭山(8,000呎)、費德里山、伊克哈雅範山脈、里山、英額嶺。

ロ、小白山脈—你牙巒哈達、長廣才嶺。

ハ、完達(ワンダ)山脈

ニ、穆克特亨(ムウトホン)山脈—哈爾巴嶺長、嶺子山脈、老爺嶺、大高麗嶺。

ホ、吉林哈達連山—薩哈亮連山脈、庫勒嶺。

ヘ、南部分水嶺山脈——門山脈、大嶺山脈、沙木山脈、分水嶺山脈、崧窰山脈。

興安嶺山系 興安嶺山系の滿洲を走るものに大興安嶺、伊勒呼里(イロホリ)山、小興安嶺の三脈があり黑龍江の全省に盤崛して松花、黑龍、嫩江の三江の各分水嶺をなして居る。

大興安嶺山脈
- 西支脈—英吉里、寶章山、雉鷄場山、托羅(トラ)山、們都里(メントリー)山
- 東支脈(伊勒呼里山)—呼瑪爾(ホマルカチ)窩集、額爾古勒圖(ウロコルト)山、烏雲和爾各克山、阿迷特(アミト)、嗎瑚山
- 蕭愼山脈

小興安嶺
- 小布偏山、瑪拉山
- 煙筒山脈、珠山山脈
- 老龍山脈、里山山脈、達里帶山脈

陰山々系 陰山山脈は西端を吳喇忒部西境に起し北走して綏遠察哈爾嶺を經多倫諾爾の北方を繞り山勢稍斷絕し再び克什克騰の西部に起頂して拜察(メイチヤ)山、喀喇(イカラ)山を出現し茲に興安嶺を分派し復た縱横に支派を出して居る其最も秀拔なるものを喀喇沁右翼旗に屹立す明安山である支派は東南に馳すものを七老圖山脈と稱し更に南東に進んで奇峯重疊たる松嶺山脈となる松嶺山脈中の最高峯を醫巫閭山と稱し支那五大名山の一にして著名である。

2. 河　　流

遼河、鴨綠江及黑龍江を以て滿洲の三大河流とする。

黑龍江　黑龍江の源流に二つある一は什爾喀 (Shilka) 河と云ひ其上流は敖嫩 (Onon) 河及び因才達 (Ingoda) 河等に分れる他の一源は額爾古訥 (Argun) 河にして其上流を克魯連 (Kilulen) 河と稱する二河各東北流し支那領黑龍江省の西北(北緯53,20 東經20,28)に至りて相合し其合流點以下を黑龍江と稱す全長約一千一百邦里小蒸氣船は溯江約七百六十邦里の地點什爾喀河畔シトロフアノヴアに達する事を得る。

支流
- 精奇里河(ゼーヤ)　露領黑龍洲を北より南に流れブラゴウエシチエンスクに於て本流と合する。
- 卓倫奇河(ブレヤ)　セーヤ河の南方にあり黑龍洲を東北方より流れニコリスカヤ附近にて本流と合する。
- 松花江　(次項參照)
- 烏蘇里江　吉林省と沿海州との境界を流れハバロフスク市にて本流に合する。
- アムグン河　本流江口ニコラエヴスク市の南方に於て西來して本流に合する。

黑龍江は其上流額爾古訥河からハバロフメク市に至る間露支境界を劃するのである。

松花江　滿洲の北部及中部を灌漑する大江にして非常の屈曲をなして流れ遂に吉林省の東北部に於て黑龍江と合する。其上流は南北二派に分れ北派を嫩江と稱し南派を松花江本流となす。嫩江は其源を黑龍江の伊勒呼里山脈、松花江本流は其源を長白山派に發し兩江は北滿の主要部分に至るを其流域とする。

- 拉發河　源を吉林省城の東北霍倫川西に出づ、西南流すること四十邦里。
- 瑪延河　吉林省東南瑪延嶺に出で三道溝の西を經て松花江に入る。
- 輝發河　源を吉林省哈達連山中に發し東北流し、海龍縣朝陽鎭を經て三屯河を合し東流輝發城北に至り更に東北流して松花江に注ぐ長さ百邦里。
- 伊通河　源を吉林哈達連山庫勒鑚中の西側に發し西北流し伊通縣城東を過ぎ長春の南東門を掠め驛馬河を併

支流		せ松花江に入る。
	拉林河	額穆縣の闌陵嶺に源を發す英勒思河を併せ楡樹縣の平野を横斷し西北流し黑沙坨口に至り本流に合す。
	呼蘭河	小興安嶺尖頂山東麓に發し音河、頭道汚隆河、二頭道汚隆河を併せ呼蘭に入り濱江の對岸より松花江に入る。
	阿什河	賓縣の中部に發す、大石頭河、大小黄泥河を併せ阿城縣の平野を流れて松花江に入る。
	匪克圖河	賓縣の中部に出つ賓縣、阿城縣の境界をなして本流に注ぐ。
	螞蜒河	同賓縣の東南に發す一面坡、平安鎭等を經て松花江に注ぐ。
	牡丹江	源を敦化縣西南方牡丹嶺に發し寧安管内畢爾騰湖を形成す北湖頭より落水して六百邦里にして依蘭縣に入り松花江に注ぐ。
	窩肯河	源を樺川縣の東南境に發し依蘭縣に入り松花江に注ぐ。

嫩　江　源を墨爾根璦琿の分界線たる興安嶺中伊勒呼里阿林に發し二源を有する諸水を集めて齊々哈爾管内に入り蒙古旗内を過ぎて東南流して松花江に合流する下流は河幅二〇〇米突より六〇〇米突に至り水深五尺乃至一丈を下らぬ、本流域中齊々哈爾、墨爾根間、齊々哈爾、松花江間に舟揖の便あり、結氷期間(十月中旬—四月下旬)以外帆船の往來絶ねず又松花江との合流地點より齊々哈爾城の西南、東支鐵道富拉爾齊(フラチル)驛間は小汽船が航行する。

支　流—雅爾河、綽爾河。

洮兒河　興安嶺索岳爾濟山の東麓に源を發す諸流を合せ札薩克圖旗舊王府に入り南流洮南縣城北を過ぎ蘇郭公旗を横斷して札賚特旗の南涯に至りて白亮泡(ユエリヤンパオ)を形成し東流して嫩江に入る

支　流—歸流河、交流河、那金河

烏蘇里河　源を露領沿海州の近海一帶に蜿蜒する錫特赫山脈に發し其源流は刀畢河及サンタリー、ウラヘの諸河より成り合流して烏蘇里江となりハバロフクスに於て黑龍江に入る。源流より三百二十八邦里餘の全長を有す。

支　流—松阿察河、穆稜河、撓力河

大綏芬河　源を穆克特亨山の北麓圖們山に出で東北流し西に小綏芬河を合し東三岔江を經て北に萬鹿溝河を受け東北ニコリスクを經て東南流しチズドリノエの西方に於て海に入る。

支　流—瑚佈圖河、佛爺溝河

圖們江　朝鮮の東北境と滿洲及露領沿海洲との分界をなす江流にして其源を長白山の南麓及び分水嶺の東麓に發する諸水を合して東北流す嘎牙河の合流點より下流江口に至る長さ約三〇〇邦里あり河口より溯る三〇里の地點左岸に土字界牌がある卽ち露支兩國の境界である卽ち江源地より此界牌に至る迄は支那と朝鮮との界水にして以下は露領と朝鮮との界水となつて居る。

支　流—嘎呀河、大靑王河、佈爾哈通河、海猥河、琿春河、密占河

鴨綠江　鴨綠江は其源を白頭山の西麓に發し朝鮮咸鏡南道の惠山鎭にて南方より來る虛川江を合せ稍々下つて長津江を朝鮮より合せ且つ白頭山脈の溪谷より發する幾多の小流を集めて西北流し滿洲より渾河を加へ是より水量大に增加し義州の上流にて滿洲より靉河を容れ河流は九里島於赤島黔定島、中江臺等の沙洲の爲に三脈に分れる滿洲側を上江といひ幅約百米突中央を中江と云ひ幅約四百米朝鮮側を通天河と稱し平時幅約百米突ある沙河鎭に至つて此三江再び合して一江となり更に成化島を洲積して濶大なる三角江を形成し黃海に入る本江は全長一四〇邦里に及ぶ河床は勾配急にして且つ水量比較的多からず加ふるに岩礁多く激流奔湍の箇所尠からざるを以て航運河としての價値は多くないが流筏に名高い。

支　流—渾江、大蒲石河、靉河(八道河、曹河、遼河)。

遼　河　遼河は奉天省に於ける大河にして其上流東西二派あり一を西喇木倫河又は潢河と云ひ二を東遼河と稱する西遼河は內蒙古克什克(クシク)騰(タン)部に發し老哈河を併せ初めて其名あり更に進みて東遼河を收めてこれより以下遼河又は大遼河と稱する。

支　流—西喇木倫河、老哈河、東遼河、淸河及其支流、新民附近の遼河支流、渾河及其支流、太子河。

灤　河　源を獨石口外東北百三十支里なる牧廠界の巴顏屯圖古爾山に發し多倫縣に入り豐寧縣內察哈爾鑲黃旗の境を過ぎ熱河行宮の禁地

界を經順次諸水を集め遷安、盧龍(舊永平府)を過ぎ灤縣樂亭縣に至り分れて二派さなり一派は東南流して直に海に入り一派は南流して齊家莊を過ぎ東南流して海に注ぐ、水幅は熱河合流地點に於て百米突水深一米突半、灤平附近にて水幅七十米突乃至八十米突水深一米突乃至二米突を算す河底は砂礫牛し舟楫の便は河口より熱河に至る間最も頻繁を極め尙ほ上流は灤平に至り增水季郭家屯に溯るこさを得る年々溢水の害がある。

支　流—伊遜河、熱河、豹河。

大凌河　源を建平縣内に出て二源あり一は平泉東北の楊樹嶺東麓に出て二は松嶺山派中の努魯兒虎嶺中に發し三臺小營に至り第一源流に會合し初めて大凌河さ名けられる朝陽錦州を過ぎて遼東灣に注ぐ水長八五〇支里夏秋水盛に際しては河口より上流約二百餘支里の間は帆船の溯航を得る。

小凌河　源を朝陽縣内の明安山に發し東北流して木疊河、女兒河哈柳圖河の支流を合し柳邊を出て錦縣城西を過ぎ海に注ぐ。

3. 湖　　水

湖には淡水さ鹹水さの二ある其大なるもの下の如し。

興凱湖(ハンカ)　吉林省さ沿海州さの境界線に跨がり北半部は支那領南半部は露領に屬す周圍六十三里十六町の楕圓形にして南北二十二里二十九町餘東西二十二里六町餘水深十四五尺より二十尺に至る。

達巴庫湖(タバホ)　興凱湖の北上に隣接し一小河に依りて其水相通じて居る周圍三十餘邦里小興凱湖或は小湖さも稱する。

必爾滕湖(ピルトン)　吉林省寧古塔の西南十數里に在る牡丹江の滙する處にして長さ約十里。

呼倫池(クライノール)　黑龍江省海拉爾の西方を距る約三十八邦里、烏爾孫河に依りて貝爾池さ連絡し海拉爾河の注ぐ處である南北約五里東西約二里半鹹湖にして鹽を產する。

貝爾池(ボイルノール)　呼倫池の南方に當る鹹湖にして大さ是れより稍小なり。

月亮池(シャンフンチヨラン)　洮兒河の札賚特旗下に入りて嫩江に注ぐ處滙して池さなる周圍約二十四五里頗る魚族に富む。

大魚濼(タラヲンノール)　西札魯特旗下に在る。

達里諾爾（タリノール） 達里泊とも稱し內蒙古克什克騰旗の西北三〇邦里海拔四千二百尺の高地に在り周圍約三十邦里あり。

大布蘇諾爾（タブスノール） 西烏珠穆沁旗の西北 六邦里餘浩 齋特左翼旗の境にあり東西約二十支里南北廣き處に於て五六支里湖岸水なき處鹽現はれ一望白皚々たるものがある。

(二) 面　積

滿蒙の面積に就ては從來發表されたものを見るに何れも各人各樣で中國側にも又正確なる調査がない。今調査者別に之れを示せば下の如くである。

滿蒙面積表

行政區劃	調査者別	面積
奉天省	奉天諮議局(光緒34 明治41)	18,679方里
	關東都督府陸軍部滿洲誌(明治42)	9,330方里
	奉天全省農業統計調査報告(宣統2 明治43)	20,476方面
	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正2)	15,011方里
	關東都督府陸軍部滿蒙產業誌(大正5)	12,721方里
	南滿洲鐵道株式會社調査課(大正5)	14,932方里
吉林省	吉林民政司(光緒34 明治41)	24,936方里
	關東都督府陸軍部滿洲誌(明治42)	22,210方里
	同　滿蒙圖表(大正2)	15,945方里
	東淸鐵道會社(大正5)	17,781方里
	關東都督府陸軍部滿蒙產業誌(大正5)	17,053方里
	南滿洲鐵道株式會社調査課(大五5)	13,605方里
黑龍江省	關東都督府陸軍部滿洲誌(明治42)	7,002方里
	同　滿蒙圖表(大正2)	34,027方里
	同　滿蒙產業誌(大正2)	29,016方里
	南滿洲鐵道株式會社調査課(大正5)	35,497方里
熱河	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正3)	4,624方里
	同　滿蒙產業誌(大正5)	9,101方里
	南滿洲鐵道會社調査課(大正5)	10,168方里
察哈爾	滿蒙經濟事情第二十一號	1,550方里
關東州	關東都督府統計書	219方里

(三) 人　　口

人口もまた面積と同樣な關係から之れを調査者別に示せば下の如くである。

滿蒙人口表

行政區劃	調査者別	人口
奉天省	東三省政略(光緒33.明治40)	8,763,148
	奉天諮議局(光緒34.明治41)	9,889,553
	奉天郡邑誌(宣統元.明治42)	9,106,439
	東三省均法誌(宣統元.明治42)	9,965,045
	奉天全省農業統計調査報告書(宣統2.明治43)	10,582,777
	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正2)	11,093,275
	同　上(大正3)	11,248,297
	同　滿蒙產業誌(大正5)	11,704,241
	南滿洲鐵道會社調査課(大正5)	11,341,000
吉林省	東三省政略(光緒33.明治40)	4,238,382
	吉林民政司(光緒34.明治41)	3,748,067
	東三省鹽法誌(宣統元.明治42)	5,182,728
	吉林民政司(宣統3.明治44)	5,632,838
	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正2)	5,534,999
	吉林國稅廳(民國2.大正2)	5,395,000
	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正3)	5,632,022
	關東都督府陸軍部滿蒙產業誌(大正5)	5,282,559
	東淸鐵道會社(大正5)	5,736,611
	南滿洲鐵道會社調査課(大正5)	5,626,100
黑龍江省	東三省政略(光緒33.明治40)	1,455,657
	東三省鹽法誌(宣統元.明治42)	1,679,510
	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正2)	1,867,939
	同　上(大正3)	1,865,706
	關東都督府陸軍部滿蒙產業誌(大正5)	2,098,819
	南滿洲鐵道會社調査課(大正5)	2,494,000
熱河	關東都督府陸軍部滿蒙圖表(大正3)	2,168,832
	同　滿蒙產業誌(大正5)	1,676,500
	南滿洲鐵道會社調査課(大正5)	4,366,000

地方		戶數 日本人 內地人	戶數 日本人 朝鮮人	戶數 支那人	戶數 外國人	戶數 計	人 日本 內地人 男	人 日本 內地人 女
關東州	旅順 市內	2,539	9	2,238	10	4,796	5 571	4,819
	旅順 市外	162	9	12,846	—	13,017	315	211
	大連 市內	12,751	49	11,685	40	24,525	28,595	25,175
	大連 市外	4,307	22	12,794	22	17,145	8,051	6,915
	金州	204	4	13,659	1	13,868	361	347
	普蘭店	235	9	15,827	—	16,071	390	360
	貔子窩	147	2	16,370	—	16,519	243	220
	計	20,345	104	58,419	73	105,941	43,526	38,047
南滿洲鐵道附屬地	營口	60	—	41	—	101	108	94
	瓦房店	667	—	1,056	—	1,723	1,332	1,160
	大石橋	662	2	477	—	1,141	1,400	1,211
	遼陽	1,159	2	384	—	1,545	2,190	2,020
	鞍山	1,553	4	590	2	2,149	2,820	2,619
	奉天	3,617	21	1,312	19	4,969	7,658	6,675
	本溪湖	640	4	128	—	772	1,152	1,049
	撫順	3,343	51	2,261	5	5,660	6,929	6,009
	鐵嶺	777	13	314	—	1,104	1,271	1,105
	開原	641	7	1,464	—	2,112	1,264	1,155
	長春	2,182	44	1,847	67	4,140	4,503	3,696
	四平街	518	11	1,273	—	1,802	952	847
	公主嶺	736	22	1,112	—	1,870	1,345	1,145
	安東	1,061	254	864	1	2,180	2,086	1,783
	計	17,616	435	13,123	94	31,268	35,010	30,568
領事館	牛莊	873	38	270	—	1,181	1,636	1,453
	遼陽	80	28	—	—	108	137	141
	奉天	1,113	1,372	—	—	2,485	1,992	1,808
	鐵嶺	521	3,433	—	—	3,954	789	763
	長春	262	399	—	—	661	364	380
	安東	1,811	1,079	4,583	5	7,478	3,622	3,306
	計	4,660	6,349	4,853	5	15,867	8,540	7,851
總計		42,621	6,888	103,395	172	153,076	87,076	76,456

區域內常住人口表

人		支那人		外國人		口 合計		
朝鮮人 男	朝鮮人 女	男	女	男	女	男	女	計
21	42	8,553	3,593	18	32	14,163	8,486	22,649
25	9	46,304	42,882	—	—	46,644	43,102	89,746
131	167	70,175	12,974	72	65	98,973	38,381	137,354
59	48	49,448	32,306	56	57	57,614	39,326	96,940
7	7	47,933	43,561	—	2	48,301	43,917	92,218
24	20	64,204	57,047	—	—	64,618	57,427	122,045
2	10	65,502	56,244	—	—	65,747	56,474	122,221
269	**303**	**351,119**	**248,697**	**146**	**156**	**396,060**	**287,113**	**683,173**
—	—	243	25	—	—	351	119	470
—	6	4,351	1,543	—	—	5,683	2,709	8,392
2	2	2,478	807	—	—	3,880	2,020	5,900
5	8	2,229	424	—	—	4,424	2,452	6,876
7	12	3,264	623	2	2	6,093	3,256	9,349
100	31	7,159	1,890	31	25	14,948	8,621	23,569
11	11	501	117	—	—	1,664	1,177	2,841
128	131	25,397	2,297	5	5	32,459	8,442	40,901
43	29	1,581	314	—	—	2,895	1,448	4,343
19	15	11,971	1,743	—	—	13,254	2,913	16,167
100	78	15,387	2,433	131	111	20,121	6,318	26,439
40	28	7,786	1,720	—	—	8,778	2,595	11,373
52	51	6,121	1,379	—	—	7,518	2,575	10,093
607	532	5,134	855	1	2	7,828	3,172	11,000
1,114	**934**	**93,602**	**16,170**	**170**	**145**	**129,896**	**47,817**	**177,713**
84	62	1,595	271	—	—	3,315	1,786	5,101
63	47	—	—	—	—	200	188	388
3,735	3,178	—	—	—	—	5,727	4,986	10,713
9,338	7,876	—	—	—	—	10,127	8,639	18,766
1,018	843	—	—	—	—	1,382	1,223	2,605
3,068	2,452	12,297	6,080	7	5	18,994	11,843	30,837
17,306	**14,418**	**13,892**	**6,351**	**7**	**5**	**39,745**	**28,665**	**68,410**
18,689	**15,694**	**459,613**	**271,128**	**323**	**306**	**565,701**	**363,595**	**929,296**

南滿洲日本人

區分		州內			州外		
		戶數	男	女	戶數	男	女
大正元年	內地人	—	25,009	20,308	—	15,620	12,233
	朝鮮人	—	36	3	—	296	63
	計	**12,866**	**25,045**	**20,311**	**9,163**	**15,916**	**12,296**
大正二年	內地人	13,063	25,880	21,474	9,413	16,553	13,280
	朝鮮人	4	25	2	62	341	108
	計	**13,067**	**25,905**	**21,476**	**9,475**	**16,894**	**13,388**
大正三年	內地人	12,979	26,721	22,265	10,025	18,114	14,625
	朝鮮人	6	34	7	58	304	115
	計	**12,985**	**26,755**	**22,272**	**10,083**	**18,418**	**14,740**
大正四年	內地人	12,980	27,268	22,914	10,260	18,801	15,595
	朝鮮人	19	60	11	69	292	157
	計	**12,999**	**27,328**	**22,925**	**10,329**	**19,093**	**15,752**
大正五年	內地人	13,437	28,160	24,431	10,938	20,439	17,133
	朝鮮人	19	54	13	117	527	288
	計	**13,456**	**28,214**	**24,444**	**11,055**	**20,966**	**17,421**
大正六年	內地人	14,010	29,894	25,625	12,343	23,310	19,364
	朝鮮人	19	85	33	267	854	559
	計	**14,029**	**29,979**	**25,658**	**12,610**	**24,164**	**19,923**
大正七年	內地人	14,727	32,415	27,609	14,454	27,822	22,890
	朝鮮人	38	124	94	309	1,068	750
	計	**14,765**	**32,539**	**27,703**	**14,763**	**28,890**	**23,640**
大正八年	內地人	15,740	35,432	29,950	16,928	33,188	27,160
	朝鮮人	57	167	143	483	1,429	1,048
	計	**15,797**	**35,599**	**30,093**	**17,411**	**34,617**	**28,208**
大正九年	內地人	17,619	39,809	34,085	16,804	33,763	27,813
	朝鮮人	59	192	204	406	1,174	874
	計	**17,678**	**40,001**	**34,289**	**17,210**	**34,937**	**28,687**
大正十年	內地人	19,370	41,249	35,789	17,620	34,789	29,975
	朝鮮人	91	235	273	464	1,179	848
	計	**19,461**	**41,484**	**36,062**	**18,084**	**35,938**	**30,823**

戸口累年比較 （年末現在）

領事館内			總計			
戸數	男	女	戸數	男	女	計
—	6,415	5,753	—	47,044	38,294	85,338
—	213	76	—	545	142	687
3,613	**6,628**	**5,829**	**25,642**	**47,589**	**38,436**	**86,025**
3,771	6,868	6,242	26,247	49,301	40,996	90,297
103	308	170	169	674	280	954
3,874	**7,176**	**6,412**	**26,416**	**49,975**	**41,276**	**91,251**
3,736	6,811	6,167	26,740	51,646	43,057	94,703
174	541	298	238	879	420	1,299
3,910	**7,352**	**6,465**	**26,978**	**52,525**	**43,477**	**96,002**
3,772	6,573	5,917	27,012	52,642	44,426	97,068
116	567	403	204	919	571	1,490
3,888	**7,140**	**6,320**	**27,216**	**53,561**	**44,997**	**98,558**
3,691	6,698	6,164	28,066	55,297	47,728	103,025
328	927	626	464	1,508	927	2,435
4,019	**7,625**	**6,790**	**28,530**	**56,805**	**48,655**	**105,460**
3,874	6,992	6,389	30,227	60,196	51,378	111,574
1,058	2,997	2,262	1,344	3,936	2,854	6,790
4,932	**9,989**	**8,651**	**31,571**	**64,132**	**54,232**	**118,364**
3,834	7,182	6,383	33,015	67,419	56,882	124,301
2,872	8,235	6,395	3,219	9,427	7,239	16,666
6,706	**15,417**	**12,778**	**36,234**	**76,846**	**64,121**	**140,967**
3,887	7,422	6,567	36,555	76,042	63,677	139,719
3,958	11,408	8,558	4,498	13,004	9,749	22,753
7,845	**18,830**	**15,125**	**41,053**	**89,046**	**73,426**	**162,472**
4,812	9,234	8,083	39,235	82,806	69,981	152,787
5,886	16,347	13,644	6,351	17,713	14,722	32,435
10,698	**25,581**	**21,727**	**45,586**	**100,519**	**84,703**	**185,222**
4,694	8,566	7,795	41,684	84,574	73,559	158,133
6,155	17,165	13,462	1,710	18,579	15,083	33,662
10,849	**25,731**	**21,757**	**48,394**	**103,153**	**88,642**	**191,795**

南満洲日本

本籍地		州内			州	
		男	女	計	男	女
東北區	北海道	379	337	**716**	325	237
	青森	153	125	**278**	280	201
	巖手	261	214	**475**	278	223
	秋田	346	291	**637**	445	334
	山形	488	409	**897**	462	316
	宮城	545	482	**1,027**	665	520
	福島	558	434	**992**	836	699
關東區	茨城	495	421	**916**	602	479
	栃木	340	223	**563**	367	305
	群馬	274	207	**481**	326	286
	埼玉	331	266	**597**	339	283
	千葉	454	344	**798**	369	256
	東京	2,344	2,096	**4,440**	1,245	1,069
	神奈川	676	546	**1,222**	450	376
北陸區	新潟	829	685	**1,514**	687	603
	富山	563	417	**980**	487	389
	石川	610	492	**1,102**	625	515
	福井	447	330	**777**	452	381
東山區	長野	754	605	**1,359**	848	629
	岐阜	569	411	**980**	488	369
	滋賀	702	467	**1,169**	662	504
東海區	山梨	230	165	**395**	290	210
	靜岡	774	599	**1,373**	839	682
	愛知	1,192	1,050	**2,242**	903	777
	三重	583	443	**1,026**	504	393

人本籍地別 (大正十年末)

外	領	事	館	總		計
計	男	女	計	男	女	計
562	63	52	115	767	626	1,393
481	32	28	60	465	354	819
501	50	42	92	589	479	1,068
779	71	47	118	862	672	1,534
778	63	36	99	1,013	761	1,774
1,185	124	113	237	1,334	1,115	2,449
1,535	114	72	186	1,508	1,205	2,713
1,081	86	86	172	1,183	986	2,169
672	82	63	145	789	591	1,380
612	43	47	90	643	540	1,183
622	45	45	90	715	594	1,309
625	88	72	160	911	672	1,583
2,314	338	320	658	2,927	3,485	7,412
826	83	74	157	1,209	996	2,205
1,290	146	120	266	1,662	1,408	3,070
876	168	150	318	1,218	956	2,174
1,140	135	116	251	1,370	1,123	2,493
833	85	80	165	984	791	1,775
1,477	126	100	226	1,728	1,334	3,062
857	173	138	311	1,230	918	2,148
1,166	162	101	263	1,526	1,072	2,598
500	60	63	123	580	438	1,018
1,521	137	111	248	1,750	1,392	3,142
1,680	223	223	446	2,318	2,050	4,368
897	139	119	258	1,226	955	2,181

本籍地		州		內	州	
		男	女	計	男	女
近畿區	京都	850	672	**1,522**	481	361
	兵庫	1,416	1,154	**2,570**	850	811
	大阪	1,273	1,375	**2,648**	711	677
	奈良	267	219	**486**	204	172
	和歌山	401	364	**765**	351	271
中國區	鳥取	528	412	**940**	369	274
	島根	849	736	**1,585**	651	619
	岡山	963	842	**1,805**	777	683
	廣島	2,296	2,156	**4,452**	1,460	1,340
	山口	2,188	1,789	**3,977**	1,469	1,330
四國區	德島	450	404	**854**	372	316
	香川	626	571	**1,197**	590	539
	愛媛	1,103	1,132	**2,235**	847	827
	高知	466	400	**866**	331	334
九州區	大分	1,498	1,428	**2,926**	1,198	1,072
	福岡	2,770	2,336	**5,106**	2,986	2,660
	佐賀	1,623	1,486	**3,109**	1,526	1,426
	長崎	2,220	2,403	**4,623**	1,505	1,669
	熊本	2,098	1,914	**4,012**	1,736	1,642
	宮崎	391	286	**677**	424	343
	鹿兒島	2,053	1,630	**3,683**	2,096	1,545
沖繩		20	18	**38**	39	22
臺灣		3	3	**6**	13	6
朝鮮		235	273	**508**	1,179	848
總計		**41,484**	**36,062**	**77,546**	**35,938**	**30,823**

外	領	事	館	總		計
計	男	女	計	男	女	計
841	179	152	331	1,509	1.185	2,694
1,661	242	236	478	2,508	2,201	4,709
1,388	280	266	546	2,264	2,318	4,582
376	112	73	185	583	464	1,047
622	111	91	202	863	726	1,589
643	69	45	114	966	731	1,697
1,270	177	158	335	1,677	1,513	3,190
1,460	200	148	348	1,940	1,673	3,613
2,800	492	446	938	4,248	3,942	8,190
2,799	409	382	791	4,066	3,501	7,567
688	129	91	220	951	811	1,762
1,129	181	155	336	1,397	1,265	2,662
1,674	308	279	587	2,258	2,238	4,496
665	90	73	163	887	807	1,694
2,270	377	341	718	3,073	2,841	5,914
5,646	551	509	1,060	6,307	5,505	11,812
2,952	350	310	660	3,499	3,222	6,721
3,174	509	716	1,225	4,234	4,788	9,022
3,378	432	504	936	4,266	4,060	8,326
767	91	79	170	906	708	1,614
3,641	436	320	756	4,585	3,495	8,080
61	5	3	8	64	43	107
19	—	—	—	16	9	25
2,027	17,165	13,962	31,127	18,579	15,083	33,662
66,761	25,731	21,757	47,488	103,153	88,642	191,795

日本人人口

年次	生		産	死	
	男	女	計	男	女
大正十年	3,103	2,71	**5,814**	1,529	1,338
大正九年	2,266	2,03	**4,298**	1,414	1,290
大正八年	2,126	1,77	**3,905**	1,811	1,489
大正七年	1,765	1,597	**3,362**	1,318	1,042
大正六年	1,984	1,818	**3,802**	1,179	1,017

南満日本人

職業		州	内	州
		男	女	男
農業	本	175	5	369
	従	254	265	294
水産業	本	206	6	6
	従	73	197	4
鑛業	本	31	—	3,474
	従	43	56	2,154
工業	本	7,950	499	5,076
	従	5,814	9,612	2,747
商業	本	6,221	1,287	4,284
	従	3,992	7,977	2,582
交通業	本	3,828	270	6,123
	従	2,325	4,260	3,226
公務自由業	本	4,378	2,831	2,609
	従	3,403	6,646	1,442
其他ノ有業者	本	797	190	632
	従	709	946	421
家事使用人	本	84	378	199
	従	65	99	82
無職業	本	154	33	32
	従	982	505	182
合計	本	**23,824**	**5,499**	**22,804**
	従	**17,660**	**30,563**	**13,134**
	計	**41,484**	**36,062**	**35,938**

動態累年比較

亡	死		産	結婚	離婚
計	男	女	計		
2,867	—	—	395	組 2,336	組 212
2,704	184	125	309	1,800	176
3,300	122	112	234	1,332	91
2,360	119	96	215	1,347	120
2,196	107	76	183	1,078	99

職業別一覽 (大正十年末)

外	領事館		總計	
女	男	女	男	女
5	9,261	624	9,805	634
540	5,977	11,845	6,525	12,650
—	9	1	221	7
13	7	17	84	227
77	287	—	3,792	77
4,261	163	349	2,360	4,666
282	1,789	120	14,815	901
5,887	961	1,937	9,522	17,436
1,007	2,568	371	13,073	2,665
5,115	1,609	2,944	8,183	16,036
253	754	50	10,705	573
7,021	348	825	5,899	12,106
1,416	744	929	7,731	5,176
2,977	425	914	5,270	10,537
518	385	69	1,814	777
870	196	460	1,326	2,276
149	102	108	385	635
187	21	42	168	328
11	19	—	205	44
234	106	152	1,270	891
3,718	15,918	2,272	62,546	11,489
27,105	9,813	19,485	40,607	77,153
30,823	25,731	21,757	103,153	88,642

東支沿線其他北滿及間島現住邦人數（大正十一年六月現在）

地名	戸數		人口	
	內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人
哈爾賓	950	124	3,239	699
雙城堡	27	—	70	—
陶頼昭	14	1	28	7
老少溝	1	—	—	1
窰門	28	1	86	6
ヤブロニ	—	12	—	53
石頭河子	—	17	4	74
亞不里		6	—	22
葦沙河		4	—	12
周宋堡		14	—	77
一面坡	39	20	106	51
橫道河子	13	12	78	72
海林	23	101	48	649
寧古塔	6	126	17	657
牡丹江	2	20	5	58
掖河	1	39	2	123
磨刀石	—	60	—	200
代馬溝	—	1	—	4
穆稜站	10	15	21	84
穆稜河	—	3	—	12
馬橋河	—	10	1	84
細鱗河	—	—	2	—
小綏芬	—	73	2	151
ポグラニーチナヤ	22	20	65	108
東支沿線其外	—	718	—	3,392
三姓	5	—	38	—
安達	5	—	18	—
チチハル	11	—	16	—
齊々哈爾省城	40	—	106	—
布哈圖、海拉爾	11	—	55	—
滿洲里	21	—	52	—
黑河	5	—	37	—
間島	296	49,878	1,068	274,005
計	1,445	51,201	5,434	280,164

(四) 氣象

滿洲に於ける觀測業務は日本側の施設として大連、旅順、營口、奉天、長春等に觀測所が設けられてある外露國側で東支沿線に多少設備してあるのみで支那側の施設に依るものは未だ一箇所もない。今日本側の之れを見るに下の如くである。

明治三十七八年戰役に關し軍事上航路保護の爲め滿鮮地方に於ける氣象觀測の必要を生じ青泥窪、營口、奉天、旅順等に臨時觀測所が設けられたが明治三十九年關東都督府官制實施と共に測候所と改稱し四十一年關東都督府觀測所官制の定めらるると共に同年從來の大連測候所は觀測所に他は同支所と改稱し同時に長春に支所を增設せられた大正八年勅令第九十四號關東廳官制施行と共に觀測所竝各支所は關東廳觀測所竝同支所と改稱せられ現在各所位置は下の如である。

	北緯	東徑	海拔高	創立年月日	所在地
觀測所	38°54′	121°36′	メートル 95.6	明治 37.9.7	大連南山項
同營口支所	40°40′	122°14′	2.9	〃 37.9.30	營口新市街青柳町
同奉天支所	41°48′	123°23′	43.8	〃 38.5.1	奉天西塔大街三丁目
同旅順支所	38°47′	121°16′	79.6	〃 38.7.17	新旅順特憲地第七號
同長春支所	43°55′	125°18′	225.5	〃 41.11.20	長春鐵道附屬地西一條街

觀測所は元中央氣象臺第六臨時觀測所にして明治三十七年九月大連乃木町に開始したが戰時匆々の際設備全からず不便少なからざりしを以て當時海軍大連灣防備隊構內にありし露國觀測所跡を借受け十月同所に移轉し明治三十九年十二月更に大連寺兒溝に移廳したが其の後現在の新築廳舍落成せしに依り大正七年一月移轉した。

營口支所は元中央氣象臺第七臨時觀測所にして元營口軍政署より同地三義廟を借受け明治三十七年九月業務を開始した其の後同家屋は淸國へ還附の事となつた爲更に在牛家屯滿鐵附屬の家屋を借受け明治四十年十一月移轉したが明治四十二年十二月營口新市街の新築廳舍に移轉した。

奉天支所は元中央氣象臺第八臨時觀測所にして元滿洲軍總司令部より奉天大東邊門內の淸國禮部所屬堂子廟を借受け明治三十八年五月業務を開始した其の後同廟は淸國へ還附する事となつて明治四十一年四月同地滿鐵附屬地に移轉せしも大正五年一月現在奉天西塔大街へ移轉した。

旅順支所は元中央氣象臺第六臨時觀測所出張所にして元旅順軍政署より旅順黃金臺露人家屋を借受け明治三十八年七月業務を開始したが該家屋は露人の私有に屬し返付のことに決定したため明治四十三年一月新旅順現廳舍に移轉した。

長春支所は明治四十一年十一月滿鐵附屬地內現廳舍新築落成し業務を開始した。

滿洲各地平

觀測所	年次	一月	二月	三月	四月	五月
旅順	大正七年	(一)4.5	(一)1.5	3.1	9.2	13.5
	〃八年	(一)7.1	(一)1.2	3.2	8.9	13.4
	〃九年	(一)3.6	(一)5.9	2.7	10.5	17.5
	〃十年	(一)2.5	(一)1.9	1.6	8.3	13.9
大連	〃七年	(一)5.6	(一)2.1	3.3	9.5	14.2
	〃八年	(一)8.2	(一)2.0	3.3	9.3	13.7
	〃九年	(一)4.5	(一)6.5	2.9	11.3	18.4
	〃十年	(一)3.3	(一)2.6	1.5	8.6	14.8
營口	〃七年	(一)10.0	(一)5.5	2.1	9.2	14.7
	〃八年	(一)12.8	(一)4.4	1.1	8.8	15.9
	〃九年	(一)9.3	(一)12.3	2.0	10.8	18.7
	〃十年	(一)7.6	(一)5.9	0.1	3.6	15.7
奉天	〃七年	(一)14.3	(一)6.8	1.4	9.3	14.8
	〃八年	(一)15.3	(一)5.9	0.3	7.7	15.1
	〃九年	(一)10.8	(一)14.3	1.8	10.5	19.1
	〃十年	(一)10.3	(一)7.4	(一)1.3	8.1	16.1
長春	〃七年	(一)18.7	(一)11.5	(一)0.8	6.9	13.6
	〃八年	(一)20.4	(一)10.0	(一)2.7	4.7	12.9
	〃九年	(一)14.5	(一)17.0	(一)0.3	9.0	17.5
	〃十年	(一)13.1	(一)10.5	(一)4.1	6.8	15.2
滿洲里	自明治四十二年至大正七年平均	(一)25.7	(一)22.1	(一)14.5	0.2	10.4
齊々哈爾	〃	(一)19.9	(一)14.6	(一)7.5	4.3	11.9
哈爾賓	〃	(一)20.1	(一)15.5	(一)7.4	5.2	13.3
牡丹江	〃	(一)20.2	(一)15.7	(一)7.6	4.8	12.5

均氣溫比較(攝氏)

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
19.5	22.9	24.3	19.8	14.4	5.0	(一)1.7	10.3
19.2	24.2	25.7	20.1	14.2	6.6	(一)1.6	10.5
20.2	24.3	25.1	18.9	15.6	6.9	(一)0.9	10.9
18.9	22.8	23.6	19.7	13.3	5.0	0.0	10.2
19.9	23.3	24.5	19.6	14.1	4.4	(一)2.6	10.2
19.7	24.5	26.1	19.7	13.6	5.9	(一)2.6	10.2
20.6	24.6	25.1	18.4	15.1	6.1	(一)1.7	10.8
19.6	22.9	23.5	19.3	12.8	4.2	(一)0.8	10.1
20.9	24.6	24.2	17.8	11.3	0.8	(一)7.4	8.6
21.7	26.6	25.9	18.4	10.8	1.4	(一)7.6	8.8
21.6	26.2	24.5	17.0	12.6	2.0	(一)6.6	8.9
20.9	24.4	24.3	17.7	9.9	0.0	(一)6.4	8.5
21.2	24.4	23.5	16.1	9.4	(一)1.5	(一)10.7	7.2
21.7	27.5	24.9	17.1	9.0	(一)0.7	(一)9.4	7.7
21.9	26.7	23.6	15.9	11.0	0.0	(一)8.8	8.0
21.8	24.1	23.7	15.9	8.3	(一)2.3	(一)8.0	7.4
18.9	22.4	21.7	14.6	6.8	(一)5.4	(一)15.4	4.4
19.6	27.5	22.7	15.5	7.0	(一)4.6	(一)13.7	4.9
19.6	25.3	21.9	13.4	7.4	(一)3.2	(一)13.0	5.5
20.2	22.6	22.3	14.3	6.3	(一)6.2	(一)12.4	5.1
17.2	20.2	18.0	9.3	(一)0.7	(一)13.7	(一)24.2	(一)2.1
19.0	22.0	21.3	12.1	4.2	(一)8.2	(一)18.3	2.2
18.9	22.3	21.3	13.6	5.1	(一)7.9	(一)17.7	2.6
17.8	21.2	20.6	12.8	4.4	(一)7.3	(一)17.5	2.2

滿洲各地最

觀測所	年次＼月次	一月	二月	三月	四月	五月
旅順	大正七年	5.4	7.7	17.0	24.9	22.4
	〃 八年	7.7	12.0	18.5	23.5	25.6
	〃 九年	5.2	4.0	14.2	23.3	28.6
	〃 十年	9.3	10.8	13.3	18.9	28.7
大連	〃 七年	6.2	7.6	16.6	21.6	26.8
	〃 八年	5.3	12.7	14.6	23.0	26.5
	〃 九年	5.4	2.6	14.5	26.4	28.2
	〃 十年	10.2	13.0	12.9	19.2	29.7
營口	〃 七年	2.9	7.8	14.4	21.8	25.8
	〃 八年	3.9	7.6	15.3	23.1	31.1
	〃 九年	4.7	2.0	18.5	25.0	29.1
	〃 十年	7.5	7.9	13.4	20.6	26.8
奉天	〃 七年	1.8	8.9	19.5	25.5	29.8
	〃 八年	2.4	12.1	15.5	22.5	28.1
	〃 九年	3.5	1.4	18.0	29.1	30.9
	〃 十年	7.4	9.4	16.0	24.0	32.7
長春	〃 七年	(−) 4.9	2.4	16.5	23.6	29.5
	〃 八年	(−) 3.6	10.5	15.1	19.6	30.7
	〃 九年	1.0	0.9	19.9	30.2	30.5
	〃 十年	2.4	7.7	15.7	21.0	31.2
滿洲里	自明治四十二年至大正七年平均	(−) 20.4	(−) 15.8	(−) 7.7	6.3	16.6
齊々哈爾	〃	(−) 13.5	(−) 7.3	(−) 0.5	11.5	19.6
哈爾賓	〃	(−) 14.3	(−) 8.5	(−) 1.1	11.4	19.6
牡丹江	〃	(−) 12.4	(−) 7.7	0.0	11 8	19.3

高 氣 溫 比 較 (攝氏)

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
30.0	31.1	31.2	29.9	24.9	15.9	8.9	31.2
32.9	33.9	35.4	28.4	25.8	22.4	10.4	35.4
34.2	33.2	34.5	29.0	23.6	24.4	13.6	34.5
30.6	31.6	33.1	29.9	24.9	19.8	9.9	33.1
30.4	30.5	32.5	29.0	24.4	15.5	9.9	32.5
32.9	34.0	35.7	28.4	24.4	23.0	10.3	35.7
35.0	33.5	33.9	27.0	22.7	22.0	13.0	35.0
30.4	29.7	32.2	29.2	22.0	17.4	9.6	32.2
31.7	33.7	32.2	28.7	22.6	14.7	6.5	33.7
32.6	34.1	36.9	30.5	25.0	19.8	8.5	36.9
32.8	34.3	33.2	30.0	24.2	22.9	10.4	34.3
30.8	32.6	34.7	30.2	22.6	16.0	7.8	34.7
33.0	32.5	33.1	30.2	23.6	17.0	4.3	33.1
33.5	36.5	37.0	29.3	26.2	21.5	8.5	37.0
39.3	38.9	32.5	29.1	24.4	25.5	10.9	39.3
36.1	34.5	35.3	32.2	24.4	15.8	8.2	36.1
30.6	31.6	31.9	28.1	22.1	16.1	(−) 2.2	31.9
33.2	38.2	35.8	28.1	27.0	18.6	3.4	38.2
36.2	38.3	31.6	27.2	22.2	24.0	3.7	38.3
33.7	34.0	34.3	31.8	24.1	9.2	4.1	34.3
23.2	25.9	24.3	16.0	6.4	(−) 7.8	(−) 19.2	—
25.2	27.9	26.6	19.7	8.1	(−) 3.6	(−) 12.4	—
24.7	27.5	26.7	19.7	11.4	(−) 1.7	(−) 12.4	—
24.5	27.1	27.0	20.9	12.5	(−) 1.3	(−) 10.7	—

滿洲各地最

觀測所	年次	一月	二月	三月	四月	五月
旅順	大正七年	(一) 14.2	(一) 10.0	(一) 5.8	(一) 0.3	6.5
	〃 八年	(一) 16.3	(一) 17.5	(一) 5.8	(一) 0.6	0.1
	〃 九年	(一) 15.3	(一) 17.9	(一) 8.0	1.5	7.9
	〃 十年	(一) 14.5	(一) 11.1	(一) 8.2	(一) 0.4	5.0
大連	〃 七年	(一) 15.3	(一) 10.2	(一) 6.8	0.0	7.0
	〃 八年	(一) 16.9	(一) 17.8	(一) 7.3	(一) 0.2	1.4
	〃 九年	(一) 15.9	(一) 17.6	(一) 7.0	2.0	10.0
	〃 十年	(一) 16.3	(一) 10.9	(一) 7.3	0.0	6.3
營口	〃 七年	(一) 20.5	(一) 17.0	(一) 12.5	(一) 2.7	[illegible]
	〃 八年	(一) 24.9	(一) 23.2	(一) 11.9	(一) 5.2	[illegible]
	〃 九年	(一) 22.8	(一) 31.0	(一) 12.4	(一) 3.0	5.6
	〃 十年	(一) 25.4	(一) 18.0	(一) 12.2	(一) 2.3	3.1
奉天	〃 七年	(一) 26.0	(一) 26.0	(一) 17.1	(一) 3.2	2.2
	〃 八年	(一) 26.4	(一) 25.0	(一) 13.4	(一) 6.1	(一) 0.8
	〃 九年	(一) 25.0	(一) 32.7	(一) 14.4	(一) 2.0	8.6
	〃 十年	(一) 26.5	(一) 18.5	(一) 14.7	(一) 8.0	3.2
長春	〃 七年	(一) 32.7	(一) 32.7	(一) 18.2	(一) 9.7	(一) 2.0
	〃 八年	(一) 33.0	(一) 31.8	(一) 16.2	(一) 11.3	(一) 3.3
	〃 九年	(一) 30.0	(一) 32.8	(一) 81.1	(一) 3.2	5.6
	〃 十年	(一) 27.4	(一) 21.3	(一) 18.1	(一) 6.2	(一) 1.0
滿洲里	自明治四十二年至大正七年平均	(一) 29.8	(一) 28.1	(一) 21.2	(一) 6.7	1.8
齊々哈爾	〃	(一) 25.9	(一) 21.2	(一) 13.9	(一) 2.1	5.7
哈爾賓	〃	(一) 25.6	(一) 21.6	(一) 13.5	(一) 0.9	6.4
牡丹江	〃	(一) 26.2	(一) 23.8	(一) 14.7	(一) 2.3	4.5

低氣溫比較（攝氏）

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
11.7	15.9	19.2	10.4	2.9	(−)6.4	(−)12.3	(−)14.2
11.1	18.4	17.7	12.5	1.3	(−)7.8	(−)12.8	(−)17.5
12.1	17.4	18.8	6.7	6.3	(−)5.5	(−)11.3	(−)17.9
11.6	16.6	16.3	9.9	3.7	(−)4.6	(−)14.4	(−)14.5
12.5	16.5	19.3	10.6	3.1	(−)6.0	(−)12.8	(−)15.3
11.3	18.5	17.6	13.1	1.0	(−)8.9	(−)14.5	(−)17.8
13.3	18.3	18.7	9.9	6.6	(−)6.5	(−)12.2	(−)17.6
12.4	17.2	17.4	9.0	3.0	(−)4.9	(−)15.0	(−)16.3
9.5	16.2	16.6	7.9	(−)1.7	(−)9.1	(−)19.7	(−)20.5
9.8	18.9	13.9	5.4	(−)5.2	(−)13.8	(−)19.4	(−)24.9
8.5	16.2	16.4	1.5	0.4	(−)12.8	(−)18.0	(−)31.0
11.7	15.8	11.4	4.0	(−)1.6	(−)17.1	(−)24.1	(−)25.4
9.2	15.6	15.5	5.9	(−)6.7	(−)13.4	(−)25.0	(−)26.0
8.8	19.7	13.2	4.7	(−)6.9	(−)18.3	(−)20.1	(−)26.4
8.2	14.6	15.0	0.0	(−)2.2	(−)15.9	(−)20.5	(−)32.7
10.5	16.1	9.6	5.7	(−)2.6	(−)19.7	(−)24.2	(−)26.5
8.2	13.8	12.3	3.3	(−)8.1	(−)19.2	(−)26.1	(−)32.7
7.0	16.1	12.6	1.8	(−)9.2	(−)25.2	(−)25.4	(−)33.0
4.8	12.4	12.4	(−)1.4	(−)6.6	(−)19.9	(−)25.5	(−)32.8
7.0	11.2	6.4	2.5	(−)6.4	(−)20.4	(−)28.0	(−)28.0
9.3	13.7	11.4	2.5	(−)7.4	(−)19.6	(−)29.5	—
12.6	17.3	16.1	7.3	(−)3.0	(−)14.8	(−)23.6	—
13.2	17.5	16.8	8.4	(−)0.2	(−)12.1	(−)22.8	—
11.4	15.6	15.0	6.3	(−)2.2	(−)13.7	(−)2.33	—

满洲各地降

觀測所	年次 月次	一月	二月	三月	四月	五月
旅順	大正七年	0.0	1.1	66.1	4.7	88.3
	〃 八年	15.3	—	0.6	25.4	65.1
	〃 九年	7.9	18.9	2.5	18.4	4.5
	〃 十年	3.7	16.5	10.1	26.0	98.3
大連	〃 七年	6.0	0.4	55.7	8.7	109.5
	〃 八年	19.1	0.1	10.0	32.5	37.7
	〃 九年	6.4	27.0	1.9	28.7	5.6
	〃 十年	2.7	18.1	17.1	27.8	81.6
營口	〃 七年	0.0	2.6	31.8	4.0	67.0
	〃 八年	4.8	0.0	23.4	6.4	85.4
	〃 九年	11.2	7.4	3.0	18.5	6.3
	〃 十年	3.4	2.5	3.7	42.5	80.3
奉天	〃 七年	0.1	7.5	44.0	10.4	113.2
	〃 八年	3.2	0.0	27.4	26.6	32.6
	〃 九年	4.5	22.2	3.3	25.6	7.4
	〃 十年	2.3	2.6	2.9	44.2	87.4
長春	〃 七年	1.9	1.7	9.9	12.1	121.2
	〃 八年	5.7	2.1	6.5	18.5	24.7
	〃 九年	7.9	8.7	3.0	24.1	9.5
	〃 十年	2.9	2.1	2.7	24.1	49.2
滿洲里	自明治四十二年至大正七年平均	2.1	1.5	1.1	5.6	11.4
齊々哈爾	〃	2.2	1.7	4.0	10.8	24.3
哈爾賓	〃	4.3	4.7	11.8	22.0	39.4
牡丹江	〃	4.2	4.6	8.5	23.8	48.6

水　量　比　較

六　月	七　月	八　月	九　月	十　月	十一月	十二月	全　年
59.2	127.9	183.8	80.8	17.0	54.1	2.1	685.1
18.5	33.6	64.3	94.4	25.3	20.2	14.0	376.7
31.3	265.3	139.8	205.6	26.8	27.6	2.7	751.3
68.6	69.4	255.1	82.8	5.0	9.3	13.5	658.3
84.4	129.0	197.1	78.7	23.4	51.9	19.9	758.7
30.0	25.3	76.3	131.9	42.2	16.5	7.9	429.5
51.7	376.1	121.9	205.0	27.0	28.7	2.9	882.9
81.6	82.4	180.6	92.0	5.4	6.0	8.1	603.4
60.0	119.6	304.3	146.7	57.2	23.4	4.5	821.1
47.7	82.3	65.1	52.7	57.9	12.6	2.1	440.4
23.0	321.6	91.1	20.4	4.0	25 1	6.0	537 6
38.8	201.4	164.7	38.0	10.1	11.1	7.9	604.4
60.5	162.5	124.5	169.1	45.7	27.1	4.6	769.2
201.5	31.0	146.4	44.4	88.4	13.1	0.9	615.5
30.6	132.8	101.5	46.4	5.7	30.8	6.3	417.1
50.8	271.8	217.0	81.9	8.5	13.4	6.5	789.3
311.3	254.7	96.7	94.2	48.0	18.7	0.1	970.5
102.8	105.1	82.0	21.9	28.6	12.7	1.1	411.7
77.3	123.6	73.7	60.9	39.0	27.0	3.8	458.5
78.8	199.6	71.8	78.1	12.6	8.4	9.8	540.1
49.6	70.6	44.5	30.8	3.5	2.9	2.5	229.1
85.7	142.4	84.8	37.1	12.9	5.5	2.0	413.4
103.8	178.1	107.7	65.6	24.8	12.9	5.1	580.2
111.2	114.8	101.5	73.8	26.9	20.1	5.0	543.0

滿洲各地各種天氣日數比較

觀測所	年次	雨天	雪	霰	雹	電雷	霧	霜	快晴	曇天	暴風
旅順	大正七年	74	17	4	1	12	21	76	122	66	163
	〃 八年	64	26	2	2	12	26	37	132	60	155
	〃 九年	77	36	3	—	11	22	58	114	76	125
	〃 十年	71	25	5	—	8	26	48	100	84	149
大連	〃 七年	74	16	1	—	19	30	71	110	72	250
	〃 八年	63	22	2	—	15	48	38	122	82	237
	〃 九年	84	22	2	—	7	23	38	118	95	203
	〃 十年	73	19	1	—	5	20	39	115	90	237
奉天	〃 七年	85	18	—	1	17	6	103	119	75	174
	〃 八年	72	21	2	2	15	6	93	125	65	154
	〃 九年	70	18	3	—	10	4	108	127	76	128
	〃 十年	80	15	2	1	10	9	98	135	83	122
營口	〃 七年	97	26	1	2	17	7	142	134	69	76
	〃 八年	73	22	2	3	12	11	141	125	67	101
	〃 九年	94	31	3	1	11	8	156	114	74	73
	〃 十年	104	26	1	6	20	8	141	119	85	59
長春	〃 七年	116	42	2	4	27	10	155	113	105	174
	〃 八年	85	47	4	2	18	8	134	104	73	—
	〃 九年	102	36	2	2	18	6	126	96	79	126
	〃 十年	96	36	3	4	15	4	124	105	107	101
滿洲里	自明治四十二年至大正七年平均	73	23	1	—	6	22	—	66	—	10
齊々哈爾	〃	77	19	1	—	10	10	—	63	—	13
哈爾賓	〃	111	37	24	—	16	17	—	73	—	10
牡丹江	〃	114	28	2	—	10	29	—	55	—	9

第三　行　政

(一)　經營の由來

明治二十七八年戰役の結果日本は下ノ關に於て調印締結したる日清講和條約（明治二十八年四月十七日締結）に依據し遼東半島南部一帶の地を清國より割受するの權利を獲得した。然るに之れが發表後旬日ならずして露獨佛三國の干涉は突如日本の遼東半島領有は朝鮮の獨立を危殆ならしめ且つ東洋永遠の平和を害すとの理由の下に之れが拋棄を日本に迫つて來たのである。併し此三國干涉は表面外交辭令としては頗る婉曲なる友誼的勸告であつたけれども背後には恐ろしき威壓と脅迫とが加はつて居た。日本は戰後の疲弊を回復する暇もなく此の三强國の威嚇に遭つて之れを拒否するには餘りに無力であつた。已むなく屈辱の淚を呑んで其忠言を容るゝに決し見す〳〵清國政府に之れが還附をなすに至つたのである。爾來十星霜日本は滿洲に於て何等特殊の關係を有する事なくして經過した。然るに露國は日本が遼東半島還附と同時に清國に對し之れが報酬として當時北京駐紮の同國公使カシニーをして李鴻章との間に祕密條約を締結せしめ東清鐵道敷設並に旅順大連及附近の地を租借するに至つたのである。之れ所謂カシニー條約（明治二十九年九月三十日清國皇帝批准）である。

斯くて露國は滿洲より日本の勢力を驅逐するや著々東方侵略の步を進め滿洲經營の意圖を實現するに日も尙足らざるの有樣であつたが明治三十三年北支那に於ける團匪事件の勃發に際し禍焰延て滿洲に波及せるに藉口して急遽大兵を派して滿洲の全部を軍事占領の下に置くに至つた。當時列國は團匪爭亂の善後策に焦慮して多く東邊の事態を顧みるの遑なく露國は屢々滿洲占領の一時的措置に過ぎざることを自ら聲明したりと雖も更に之れを實現するの意なく清國また之を如何ともする事が出來ない有樣であつた。併し四圍の情勢は長く露國の此の橫暴を容さず曩に英獨協約あり次いで日英同盟の實現に依りて露國勢力の牽制を觀るや明治三十五年四月遂に露淸兩政府の間に滿洲還附協約なるもの締結せられ露國は該協約に依り在滿洲の軍隊を三期に分ちて撤退し且つ其行政を清國に還附することを宣言したのである。卽ち同年十月第一撤兵期限の到來するや露國は先づ遼西地方の占領を撤したるやに見ゆしも其後恣に撤兵を停め行政還附の宣言を無視して益々在滿の兵力を結束し滿洲の境を踰

ゐて朝鮮西北部を侵すと共に一方西伯利方面の軍隊を續々南下せしむる等其の意圖殆んど端倪すべからざるものがあつた。茲に於て乎日本は自衛上今や傍觀の秋に非らざるを看取し明治三十六年七月二十八日我駐露栗野公使に電訓して直接露國政府と交渉し滿鮮の地に於ける日露兩國の勢力範圍を劃定して萬一の支吾衝突を豫め防制するの提議をなさしめたのである。然るに露國政府は直ちに之れを應諾し乍ら其の交渉の成行は彼我の主張に甚しき懸隔あり容易に一致點を發見するに至らなかつたのみならず本來誠意なき露國は曠日彌久の間依然滿洲の占領を繼續し却つて益兵備を增進するの實狀を見たのである。かくて兩國の國交は頗る險悪となりその關係日々に緊張を加へ半歳に亙れる折衝も何等の效果なくして遂に翌三十七年二月不幸兵火を交ゆるに至つた。

日露戰役の經過に就ては今茲に贅するの要を見ない。日本軍は連戰連勝し旅順を陷いれ奉天を占領し日本海の戰に依つて露國波羅的艦隊を粉碎するや海陸共に露軍の敗勢は最早挽回すべからざるに至り、明治三十八年八月米國大統領の斡旋に依り日露兩國は講和談判を開くに同意し日露兩國の全權委員は米國ニウハムプシア州ポーツマスに會して講和條約を議定し九月五日愈々講和條約に調印するに至つた。今滿洲に關する條項を摘記すれば大要下の如くである。

1 露國政府より直接日本國政府に對する讓渡

イ 露國政府は淸國政府の承認を以て關東州租借權竝に之れに關聯する一切の權利を日本國政府に讓渡し且つ該租借地に於ける一切の公共營造物及財產を日本國政府に讓渡すること（第五條）

ロ 露國政府は淸國政府の承諾を以て長春以南の鐵道本支線一切の附屬財產竝に諸權利及該鐵道に屬し又は其の利益の爲めに經營せらるゝ炭坑を日本國政府に讓渡すること（第六條）

2 淸國の利益に關し日露兩國の相互的協定

ハ 日露兩國ともに滿洲より全然且つ同時に撤兵すること但し關東州租借地を除く（第三條第一項第一號及追加約款第一の第一項及第四項）

ニ 日露兩國ともに全滿洲の行政權を淸國に還付すること但し關東州租借地を除く（第三條第一項第二號）

ホ 日露兩國ともに鐵道守備兵を置くの權利を保留すと雖も一キロメートルに付十五名以內に制限すること（追加約款第一の第三項）

3 清國及列國の利益に關し日露兩國の相互的協定

へ 日露兩國ともに清國か滿洲の商工業發達のため列國に共通する一切の措置を執るに方り之れを阻礙せざること（第四條）

ト 滿洲に於ける經營の鐵道を全く商工業の目的に限り軍略の目的を有せしめざること（第七條）

4 清國及列國の利益に關し露國單獨の保障

チ 露國は滿洲に於て清國の主權若くは機會均等主義と相容れざる領土上の利益又は優先的若くは專屬的讓與を有せざることを聲明すること（第三條第二項）

5 鐵道の利益に關し日露兩國の相互的協定

リ 滿洲に於ける兩國鐵道の接續業務を規定する爲め別約を締結すべきこと（第八條）

6 露國國民の利益に關し日本國單獨の保障

ヌ 日本國政府に於て租借地內露國國民の財產權尊重を約すること（第五條第三項）

本條約の效果は(一)明治三十三年以來露國のために侵迫を被りたる滿洲の事態を正當の情勢に復し(二)日露兩國の相互的協定若くは露國單獨の聲明を以て滿洲に於ける清國及列國の利益に保障を與へ(三)露國が從來滿洲に有したる特殊利益の一半を日本に讓渡したるに依り日本は露國と同の一基礎の上に滿洲に於て堅確の地步を占むるに至つた事を擧げなければならぬ。

斯くてポーツマウス條約の結果として日露兩國は撤兵問題及鐵道問題其他に就き兩國の間に交涉を開始し着々協定を遂げ實行に取懸つたのである。明治四十年六月露都に於て締結したる鐵道接續假條約に基き寬城子停車場及附屬物件は原則上日露兩國の共有に屬するも日本は其共有權を放棄し之れか代償として露國より露貨五十六萬三百九十三留の支拂を受け兩國鐵道の分界點を現在の如き狀態に設定したのである。繼いて日露講和條約は鐵道及租借權の讓渡に關し清國政府の承諾を條件として居るばかりでなく日本政府は同條約より生ずる日清關係の各般事項に付ても清國政府と適宜協商の必要を認めたるを以て明治三十八年十一月此等の案件を一括して北京に於て彼我全權の交涉を開始し同年十二月滿洲善後條約及附屬協約の締結を見るに至つた。卽ち滿洲善後條約は日露講和條約と相表裏して一體をなすもので第三國たる淸國の領土內に於ける露

國の鐵道竝にその租借權の讓渡に對して完全なる裏書を與へたるものである。今其附屬協約の概要を擧ぐれば次の如くである。

1 東三省の主要市十六箇所を外國人の居住及貿易の爲めに開放すること(第一條)

2 鐵道守備兵に關して將來露國が淸國に讓歩するだけは日本も亦讓歩すべく淸國自ら完全の保護を爲し得るに至れば露國の同一態度を條件として日本の守備兵を撤すべきこと(第二條)

3 日本軍の撤退を了したる地方には淸國政府其必要の軍隊を派遣するを得べく未撤退地方に於ても土匪剿捕の爲め或條件の下に派兵し得べきこと(第三條)

4 軍用に徵發せる淸國公私財產還附の件(第四條)

5 安奉鐵道經營及改築の件(第六條)

6 南滿洲鐵道と淸國各鐵道との接續業務の爲め別約を設くること(第七條)

7 南滿洲鐵道用材料免稅の件(第八條)

8 營口、奉天、安東縣に日本人居留地を劃定する爲め別に協議を遂ぐべきこと(第九條)

9 鴨綠江採木公司設立及經營の件(第十條)

10 滿韓國境貿易に關し相互に最惠待遇を與ふべきこと(第十一條)

既に日淸兩國の關係は本條約に依り一先づ確定し爾來日本の施設は關東都督府の治政と南滿洲鐵道會社の特殊なる使命と相俟つて漸を以て進捗したのであるが當時戰後混沌の時代に於て我が經營施設する處往々にして淸國官民の誤解を招き種々なる支吾を來たさんとするの傾きあり卽ち安奉線改築問題の如き兩國の國交を危殆に瀕せしめんとした一例があつて將來日本の滿蒙經營の上に面白からざる事象が生起するので兩國政府は之れを遺憾とし明治四十二年九月新たに滿洲協約竝に間島協約を訂立したのである。卽ち滿洲協約は滿洲に於ける鐵道及鑛山の利益に關し從來の紛爭を解決するを主としたもので(一)淸國政府は大石橋營口間鐵道及撫順煙臺兩炭坑に關する從來の主張を撤回して日本に讓歩し(二)新民屯法庫門間鐵道に關しては淸國政府が豫め日本政府に協議すること、(三)滿鐵沿線及安奉沿線の鑛山は撫順煙臺を除き日支合辦とすること(四)京奉鐵道を奉天城根に延長することを日本側に於て異議なき旨の聲明をなすこと等の諸事項が議定されて居る。次ぎに間島問題に對しては

日本政府は滿洲に關する協約の締結を機とし妥當の解決を希望し間島の領有權に對する要求を撤回して讓步の態度を示すと同時に居住朝鮮人の保護及同地開放の利益を收むる事としたものである。

(二) 日本側行政

1. 行政の沿革

關東州租借地及び鐵道沿線附屬地に關する日本行政の沿革は日露戰爭以來大體に於て三期に區分することが出來る卽ち第一期は軍政時代にして第二期は民政時代の前期たる關東都督府時代と民政時代後期の現制關東廳時代である。

軍政時代(自明治三十七年五月至同三十九年八月) 日露戰爭は關東州租借地を除くの外純然たる第三國の領土内に行はれたるものにして所謂敵地占領の場合と其趣きを異にして居る。日軍が連戰連捷と共に其戰線の廣く支那領土内に擴張するに從ひ軍政の必要起り滿洲各地に軍政署が開始せられた。關東租借地内の軍政は最初第二軍に依り開始せられ後第三軍に轉屬し更らに明治三十七年九月遼東守備軍編成せらるゝや同司令部を金州に置き十一月大連に移り從來各軍に屬した各地軍政署は順次其隷下に入り當時遼東守備軍參謀長であつた陸軍少將神尾光臣氏軍政長官となつた。而して明治三十八年五月遼東守備軍の廢止と同時に租借地内に於ける金州大連旅順の三軍政署を撤去し新に關東州民政署を設置することとなつた。關東州民政署は滿洲軍總兵站監陸軍大將兒玉源太郎氏の令下に配屬して州内の安寧秩序を保持し諸般の軍務を補助するの機關として本署を大連に支署を旅順及び金州に置かれ石塚英藏氏民政長官となつた。然るに同年十月日露の講和成立と共に滿洲總司令部は凱旋の事となれるを以て其善後策として關東總督府の編成を見陸軍大將大島義昌氏總督として州内外の軍政機關を董督するに至つた。斯くて日露兩軍の滿洲撤退は豫定の如く進捗し滿洲の事態大に改まれるを以て軍政を撤して民政を布くこととなり明治三十九年八月を以て關東都督府の官制の發布あり爰に始めて純然たる民政機關の組織を見るに至つた。而して關東總督府の撤廢と共に軍政の施設は一部は關東都督府に之れを繼承し他の一部は領事館の管轄に移り別に野戰鐵道提理部に屬したる鐵道業務並に鐵道附屬地に於ける教育衞生土木等の施設は明治四十年四月以後南滿洲鐵道會社の管轄に歸した

のである。

民政時代前期(自明治三十九年九月至大正八年四月) 關東都督府が關東總督府の行政事務を繼承して純然たる民政機關を形成するや旅順に其本據を定め前總督大島義昌氏は更めて關東都督となり前關東州民政長官石塚英藏氏新民政長官に任ぜられ前關東總督府參謀長陸軍少將落合豐三郎氏は引續き關東都督府陸軍參謀長に補せられた。官制に據れば都督は陸軍大將又は中將を以て親任せらるゝものにして其權限の重なるものを擧ぐれば次の如し

1 部下軍隊を統率し外務大臣の監督を受け諸般の政務を統理すること

2 特別の委任に依り清國地方官憲との交渉事務を掌理すること

3 職權又は特別の委任に依り都督府令を發し之に禁錮一年以下又は罰金二百圓以内の罰則を付することを得

4 管轄區域内の防備に當ること

5 管轄區域内の安寧秩序を保持し又は鐵道線路の保護及取締を行ふため必要と認むるときは兵力を使用するを得ること

6 所轄官廳の命令又は處分にして成規に違ひ公益を害し又は權限を犯すものありと認むるときは其の命令又は處分を停止し又は之を取消すことを得

都督府に官房、民政部及陸軍部の三分課を置き民政部は軍事行政を除くの外一切の行政事務を掌り大連金州及旅順に民政署を設け金州民政署管内には更に普蘭店及貔子窩に支署を置き警務財務其他の行政事務に任ぜしめた。然るに四十一年十一月金州民政署は大連民政署の管轄下に屬し金州支署となり普蘭店及貔子窩は同支署出張所となつた。又州外に於ける鐵道線路の保護及取締の事務を分掌せしむるため鐵道附屬地に警務署及支署を設けられた。然るに州外に於ける警務機關は鐵道附屬地以外の領事館所屬にも別個の警察官署ありて系統を異にせる二種の警務機關が同一地に並存するの奇現象を見るに至つたのである。斯の如きは執務上の不便は勿論行政上の不統一を來たすものであつて又往々支那に對する關係上支吾扞格を生ずるの虞れあつたから明治四十一年一月關東都督府官制の上に改正を加へ在南滿洲帝國領事館附警察官に關する件を定め奉天總領事及安東、營口、遼陽、鐵嶺、長春在勤の各領事若くは副領事は都督府事務官を兼任する事となり州外の警察事務は都督府警察官の手に合一する事となつたのである。其後名目上尚ほ警務署及領事館警察の併立は依然として存在して居るけれども右は都督府の管轄が鐵道附屬地に限定され居る現則上已むを得ざる事であつた。尚ほ茲に附記するの必

要あるは都督府の設置と共に滿鐵會社總裁を行政顧問として任命した事で當時後藤新平氏は滿鐵總裁として其任に就いたけれども四十二年六月を以て同令は廢止された。次ぎに都督府建置の當時は外務大臣の監督下にあつたが四十三年内閣に拓殖局を設置せらるゝに及び外交に關する事項の外は内閣總理大臣の監督に移り大正二年拓殖局の廢止と同時に再び外務大臣の監督に復した。

民政時代後期(大正八年四月以後現制) 民政の公布以來十有三年その間制度上に於て諸般の行政事務は著々行はれた併し該制度は關東州及沿線に於ける軍事行政をも統轄したものであつて都督は必ず陸軍武官たるの條件を要した。然るに大正八年四月改正されたる官制に依れば陸軍部は別に獨立し首腦長官は文官を本則とし武官之に任ぜるときは陸軍の長官を兼ねしむることを得る事となり同時に關東都督府は廢せられて關東廳と更められた。卽ち此改正は民政時代の後期として最も顯著なる改革である此新官制の下に第一回の關東長官として林權助氏親任せられ諸般の行政事務は長官官房、民政部及外事部の三分課に分掌せられ陸軍部は關東軍司令部として獨立し新に長官の下に事務總長を設けた以外長官の權限は都督府時代の民政事務と特に相異を見ない。

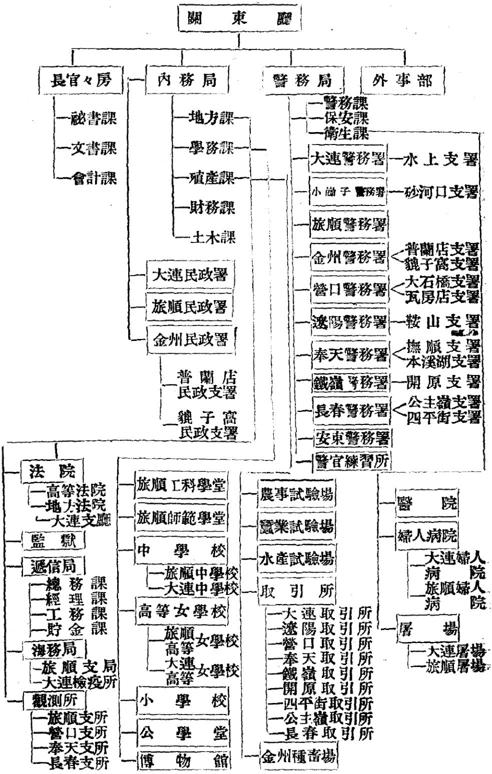
たゞ明治四十一年以來大連民政署に附屬して居た金州民政支署は獨立して民政署となり普蘭店及貔子窩の出張所は再び支署に復した。之に依つて關東州内は大連、旅順、金州の三民政署に區劃せらるゝこととなつた。

而して林長官は就任以來一年有餘にして山縣伊三郎氏と更任する事となり大正十年五月山縣長官の手に依り更らに現行官制の改正を見た。卽ち現行の新官制に依れば從來の民政部は内務局と警務局との二機關に分れそれに從來の長官官房及外事部を對立する事となつたのである。而して現行制度の下に次の職員が置かるゝ事となつた。

關東長官(親任)、事務總長(勅任)、局長二人(勅任)、外事部長、參事官專任二人(奏任)、事務官專任十六人(奏任但シ内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得)、祕書官專任一人(奏任)、學務官專任一人(奏任)、理事官專任八人(奏任)、技師專任十人(奏任)、警視專任十人(奏任)、翻譯官專任二人(奏任)、屬專任百二十人(判任)、視學專任二人(判任)、警部專任五十一人(判任)、技手專任三十九人(判任)、翻譯生專任十八人(判任)、警部補專任百二十一人(判任)尙外務部長は奉天總領事を以て之れに充て、南滿洲鐵道會社長は運輸事務に關しては顧問である。今關東廳現行行政機關の關係を表示すれば次の如くである。

2 機　　關

關東廳行政機關一覽



3　歴代官長一覽

都督	陸軍大將	大島義昌	(明治三十九年九月一日任官)	在官五年八月
同	陸軍中將	福島安正	(明治四十五年四月二十六日任官)	〃 二年五月
同	陸軍大將	中村覺	(大正三年九月十五日任官)	〃 二年十月
同	陸軍中將	中村雄次郎	(大正六年七月三十一日任官)	〃 一年八月
關東長官		林權助	(大正八年四月十二日任官)	〃 一年一月
同		山縣伊三郎	(大正九年五月二十四日任官)	〃 二年三月
同		伊集院彦吉	(大正拾一年九月八日任官)	現職
民政長官		石塚英藏	(明治三十九年九月一日任官)	在官八月
同		中村是公	(明治四十年四月二十五日任官)	〃 一年一月
同		白仁武	(明治四一十年五月十五日任官)	〃 九年二月
同		宮尾舜治	(大正六年七月三十一日任官)	在官一年九月
事務總長		杉山四五郎	(大正八年四月二十四日任官)	〃 一年四月
同		土岐嘉平	(大正十年六月三十日任官)	現職

4　地方制度

關東州に於ける地方制度は之れを大別して市制及び會制の二種とすることが出來る。

現行市制　大正四年十月以來大連及旅順の兩地區に施行せられたもので內地の地方自治制度とは稍その趣を異にした特別市制である。市會は議員の半數を官選とし他の半數は官選議員に依り更らに復選せらるゝ制度であつて大連市には三十名、旅順市には十六名を定員とする。市長は市會の推薦に依る三名の候補者中より關東長官が選任するの制度である市の現在管轄する事務は教育衛生及其他に關し特に指定せられたる頗る狹少の範圍に限られて居る。現行制度は市の發達と伴はざる點少なからざるを以て之れが改正の必要を認め種々研究中であつたが大正十一年二月大連のみ復選を廢し半數を在住日本人の選擧によつて所謂民選となした。

會制度　從來何等の法規なく單に習慣を參酌して不文の儘に會屯駐在の警察官吏をして監督せしめ來たれるものなるが大正八年二月以來會

行政準則其他之れに附帶する諸規定を設けて施行し官治行政の補助機關たらしむると共に會として將來自治的行政機關たらしむる方針である。尙ほ會區域の小區劃は街又は屯に分れ街屯長を置いて其街屯に於ける會の事務を補助せしめ又街長屯會を組織して會行政に關する會長の諮問に應ぜしむる制度である而して會長及街屯長は所轄民政署長の命免するもので有給である。

市及會の經費は徵税に依つて支辨して居る大連旅順兩市は主として戶別割を課し外に大連市は特別税として遊興税自動車使用税及び關東廳の不動產移轉税に對する附加税をも徵して居る。會は收益を目的とする財產を有するもの殆んど稀にして財產收入は僅かに歲入豫算總額の約百五十分の一に足らず、又使用料及手數料等も僅少にして現在會經費の一小部分を支辨するに過ぎない。故に會經費の大部分は之を賦課に仰いで居る。而して會費として賦課すべき種目は主として戶別割及反別割の二種にして準則を以て制限を附して居る卽ち戶別割は一戶に付一圓以內反別割は一畝(日本の百八十餘坪)に付二十錢以內とし特種の事情あるものは認可を得て制限外の賦課をなし得る事として居る。

5 會屯數

(大正十一年三月一日現在)

所轄	會名	街屯數	所轄	會名	街屯數
旅順民政署	旅順市	屯	大連民政署	小平島會	屯 4
	方家屯會	46		革鎮堡會	5
	山頭會	16		大連灣會	11
	三澗堡會	22		周水子會	9
	水師營會	4街 24		嶺前屯會	3
	營城子會	17		岔溝會	16
	王家店會	27		欒家屯會	3
	計	1市 4街 152		海猫屯會	6
大連民政署	大連市	屯		南關嶺會	6
	老虎灘會	4		計 11	1市 77
	沙河口會	10	金州民政署	金州會	街 19

所轄	會名	街屯數	所轄	會名	街屯數
金州民政署	閻家樓會	屯 7	普蘭店支署	粉皮墻會	10
	大魏家屯會	12		長山寺會	8
	老虎山會	7		朝陽寺會	6
	二十里堡會	6		快馬廠會	6
	嵛山會	5		鳳鳴島會	12
	劉家店會	7		計 18	7街266屯
	玉皇頂會	9	貔子窩支署	貔子窩會	4街2屯
	黄咀子廟會	7		宋家屯會	4
	董家溝會	12		清水河會	6
	大孤山會	8		楊樹房會	6
	小孤山會	9		唐家房會	6
	馬家屯會	7		夾河廟會	5
	南山會	6		大譚家屯會	5
	計 14	19街102屯		鄭家屯會	4
普蘭店支署	普蘭店會	7街7屯		贊子河會	5
	石河驛會	7		夾心子會	3
	三十里堡會	6		東老灘會	3
	老爺廟會	7		碧流河會	4
	四道河子會	4		城子疃會	5
	土城子會	7		大長山島會	6
	亮甲店會	8		小長山島會	9
	姜家堡子會	9		廣鹿島會	7
	正明寺會	7		獐子島會	6
	長嶺寺會	8		海洋島會	4
	華家屯會	10		崔家屯會	4
	林家屯會	7		楊樹底會	6
	臥龍屯會	6		計	

6　滿鐵附屬地行政

滿鐵會社附屬地の法理上の性質に就ては今暫らく措き同會社は政府の

命令書に依り鐵道沿線附屬地に於ける土木教育衞生等に關し必要なる施設を爲すの責任を有すると同時に附屬地内の居住者に對し手數料を徵集し其他必要なる費用の分課を爲すことを得るの權能を賦與されて居る卽ち滿鐵附屬地域内に於ては裁判事務及外交事務は領事の管掌に屬し軍事は關東軍司令部に屬し警察權は關東長官の管轄する所にして其他一般の行政權は滿鐵社長の保有する所である。併し此の滿鐵に對する政府の命令は一般に對して公布せられたものでなく加ふるに附屬地居住者中には支那人其他の外國人も少からざるを以て滿鐵會社は契約主義を執り明治四十年九月附屬地居住者規約なるものを制定して地方經營の根本を明かにし此地に入るものは其法規に服することを承認せるものと見做し附屬地居住者に對し會社諸規則の遵守及び公共費用の負擔を強制し得るの途を開いたのである當時鐵道沿線各地には居留民會なる自治機關のありしを明治四十年十月之れを全廢し地方委員制度を布き會社の指名したる委員に依りて諮問機關を設け之れと同時に公費制度を開始した。而して原來制度の上に多少の變改はあつたが大差なく經過し來たりしが大正十年八月一日より此地方委員會規則を改正して從來會社指名であつたものが各地公費賦課區の居住民をして普通選擧に依り選出することに改められた。

大正十年十月一日此の新選擧法に依りて選擧せられたる各地委員數を擧ぐれば下の如し。

地方別	員定	滿鐵側	地方側	地方別	定員	滿鐵側	地方側
瓦房店	8	4	4	安東	8	6	2
大石橋	8	4	4	本溪湖	6	1	5
遼陽	10	8	2	熊岳城	6	2	4
奉天	15	5	10	蓋平	6	1	5
鐵嶺	8	5	3	昌圖	6	1	5
開原	8	1	7	雙廟子	6	3	3
四平街	8	2	6	郭家店	6	1	5
公主嶺	8	4	4	范家屯	6	1	5
長春	13	4	9	橋頭	6	3	3
撫順	16	11	5	鷄冠山	6	5	1

地方別	員定	滿鐵側	地方側	地方別	員定	滿鐵側	地方側
松樹	6	1	5	連山關	6	2	4
海城	6	1	5	累計	182	76	106

地方經營に要する費用は附屬地公費事業の施設は總て會社の負擔として居るが其維持修繕竝に地方の衛生教育の警備に關する經常費は居住者の納付する公費を以て之れに充て其不足の部分は會社より補給することゝして居る。現在公費賦課率は甲乙丙の三種に分れ納入者の資力及收入を參酌して之れを賦課する大正九年度に於ける一戸平均年額は九圓四十五錢の負擔となつて居る。

因に附屬地の戸口は原來漸增の狀況にして明治四十一年三月末に於ては戸數八千六百、人口三萬に及ばざりしが大正十年三月末に於ては戸數四萬三千(内日本人二萬四千、支那人一萬九千)人口約十八萬(日本人七萬一千人、支那人十萬九千人)を算する。

7 警察行政

明治三十八年五月勅令第五十六號を以て占領地民政署職員に關する件公布され同年六月關東州民政署の編成が成つて其一分課として警務部を設け之を警察行政の中央機關と爲し同時に旅順及金州に民政支署を柳樹屯普蘭店及貔子窩に支署出張所を置き警察行政を行はせた是れ滿洲に我警察制度を布いた權輿で爾來官制の改正と共に幾多の更改を見たが其根帶には大なる變化なく今日に及んで居る。

現在の組織は關東廳の一局として警務局を置き滿洲に於ける我警察行政を總括させ地方警察機關としては州內及鐵道沿線主要各地に警務署同支署を配置して居る州外鐵道附屬地は關東廳の管轄ではないが關東長官は官制上の委任によつて鐵道線路の警務上の事を掌る職任を有するのである。

關東廳警務局には警務課保安課及衛生課を置く各課の管掌事務は下の通りである。

1. 警察區劃及配置に關する事項
2. 警察官の服務規程及規律に關する事項

警務課

3. 警察官の教習及監督に關する事項
4. 警衞及警備に關する事項
5. 警察賞與に關する事項
6. 巡査巡捕の進退及身分に關する事項
7. 巡査退隱料及遺族扶助料に關する事項
8. 警察官の給與及貸與品に關する事項
9. 警務局中他課の主管に屬せざる事項

保安課

1. 高等警察に關する事項
2. 行政警察に關する事項
3. 司法警察に關する事項
4. 犯罪卽決事務に關する事項
5. 消防に關する事項

衞生課

1. 保健に關する事項
2. 防疫に關する事項
3. 醫務に關する事項

8 警察配置

	名稱	位置	
州內	旅順警務署	旅順市	民政署管轄區域と同じ
州內	大連警務署	大連市	民政署管轄區域と同じ
州內	水上支署	大連市	民政署管轄區域と同じ
州內	小崗子警務署	小崗子	民政署管轄區域と同じ
州內	沙河口支署	沙河口	民政署管轄區域と同じ
州內	金州警務署	金州會	民政署管轄區域と同じ
州內	普蘭店支署	普蘭店會	民政署管轄區域と同じ
州內	貔子窩支署	老爺廟街會	民政署管轄區域と同じ
州外	營口警務署	營口	自關東州界至湯崗子（直轄營口線全部）
州外	瓦房店支署	瓦房店	自關東州界至蓋平
州外	大石橋支署	大石橋	自蓋平（蓋平を含む）至湯崗子
州外	遼陽警務署	遼陽	自湯崗子（湯崗子を含む）至沙河（沙河を含む）及煙臺炭坑線全部（直轄）自首山（首山を含む）至沙河

州外	鞍山支署	鞍山	自湯崗子(湯崗子を含む)至首山
	奉天警務署	奉天	自沙河至新臺子、自安奉線分岐點至草河口撫順線全部 (直轄)自沙河至新臺子自安奉分岐點至石橋子(石橋子を含む) 撫順線安驛以西(撫安驛を含む)
	撫順支署	撫順	撫順線全部(撫安驛以西を除く)
	本溪湖支署	本溪湖	自石橋子至草河口
	鐵嶺警務署	鐵嶺	自新臺(子新臺子を含む)至滿井滿井を含む(直轄)自新臺子至中固
	開原支署	開原	自中固(中固を含む)至滿井(滿井を含む)
	長春警務署	長春	自滿井至長春 (直轄)自劉房子至長春(長春を含む)
	公主嶺支署	公主嶺	自郭家店(郭家店を含む)至劉房子(劉房子を含む)
	四平街支署	四平街	自滿井至郭家店
	安東警務署	安東	自草河口(草河口を含む)至安東

9 領事館警察との關係

關東州外に於て關東廳警察權の及ぶ範圍は鐵道附屬地に限局され附屬地外卽ち支那行政區域內に在住する邦人の保護取締は帝國領事館所屬の警察署が之を管掌するも關東廳警察と領事館警察とは事務執行上最も密接な關係を有するを以て常に步調を一にし且連絡統一を保つの必要があるので明治四十一年一月關東都督府官制の一部改正され南滿洲駐在の領事に都督府事務官を兼任せしむることを得る途を開き以て領事をして一面事務官として都督府警察事務の執行に當らしめることゝなり之と同時に都督府警察官をして外務省警察官を兼ねしめ之を領事館警察署に配屬し其管內の警察事務に任ぜしめ領事館警察費は都督府に於て負擔する制に改められ四十一年四月から實施されて今日に及んで居る。

10 警察職員配置

大正十年度末に於ける配置は下の如くである。

	署名	派出所數	職員數		署名	派出所數	職員數
州内	旅順警務署	24	146	外（領事館共）	奉天警務署	17	129
	大連警務署	28	301		同　本溪湖支署	13	42
	同　水上支署	2	32		同　撫順支署	20	74
	小崗子警務署	6	58		奉天總領事館	11	64
	沙河口支署	7	51		鐵嶺警務署	6	47
	金州警務署	14	87		同　開原支署	10	81
	同　貔子窩支署	20	99		鐵嶺領事館	14	45
	同　普蘭店支署	22	96		長春警務署	14	188
州	營口警務署	2	60		同　四平街支署	8	38
	同　瓦房店支署	8	31		同　公主嶺支署	6	39
	同　大石橋支署	9	36		長春領事館	8	29
	牛莊領事館	7			安東警務署	16	70
	遼陽警務署	6	44		安東領事館	19	79
	同　鞍山支署	12	66		計	**207**	**1,169**
	遼陽領事館	1	7	總計		**330**	**2,039**

（三）　支那側地方行政

地方行政の最大單位は省で省は道に分れ道は更に縣に分る縣は自治制單位である而して縣治のまだ布かれぬ地方で將來之を布く準備としては設治局なるものを設けて居る尙蒙古地方の如く省制未設の地方には特別區域として特別行政が布かれて居るが之は蒙古行政の部で述べる

1. 官　吏

省　長　省の行政長官で全省の民政各官及巡防隊警備隊等を管轄し且政府の特別委任に依り財政司法行政及其他特別官署の行政事務を監督する。

省長の居る所は卽ち省長公署で內に政務廳長一人を置き第一乃至第四科に分たれて居る其外次に述べる財政敎育實業の三廳も公署內に置かれ省長の監督下にあるのである。

省長は（1)法律敎令の執行を爲し或は法律令の委任に依つて省の單行

章程を發布することを得(2)所轄地方官吏の命令或は處分にして法令に違背し或は公益を妨害し權限を侵すものと認むるときは之は停止或は撤回することを得(3)所轄地方官吏にして懲戒に付すべきものと認むるときは大總統に懲戒方を上申し且つ內務部に通報すること(4)同じ獎勵すべきものも同一手續を爲す(5)各縣知事は省長より大總統に任免を申請し且內務部に通報す(6)政府の特別委任を受け全省財政を監督し賦稅出納及收稅官吏取締の權を有す(7)同じく政府の特別委任に依り司法行政を監督し司法經費の檢査司法官吏の取締權を有す。

財政廳長 財政總長に監隷し省長の監督に屬し一省の財政を管理する

教育廳長 教育總長に直隷し大總統から簡任し省長の意を承けて全省の教育事務を執行し所屬職員及地方教育を辨理する各縣知事を監督す。

實業廳長 農商總長に直隷し省長の意を承け全省實業行政事務を執行し所屬職員及地方實業を辨理する各縣知事を監督す。

道　尹 省長に隷する一道の行政長官であつて法律命令に依り道內の行政事務を執行し且つ省長の委任を受け財政及司法行政其他特別官署の行政事務を監督す。

道尹は(1)法律教令省章程の執行を爲し或は法律教令省章程の委任に依り道の單行章程を發布することを得(2)所轄各縣知事の命令或は處分にして法令に違背し公益を妨害するか若くは權限を侵すものと認むるときは其命令或は處分を停止撤回せしむることを得(3)所轄各縣知事にして懲戒に付すべきものと認むるときは省長に申請して處置す(4)獎勵すべき者亦同じ(5)省長の命を受け該道に駐紮する巡防警備各隊に對し指揮權を有す。

縣知事 道尹に直轄する一縣の行政長官で法律命令に依り縣內の行政事務を執行す。

縣知事は(1)法律行政令省及道の章程の執行を爲し或は法律教令省道章程の委任に依り縣單行章程を發布することを得(2)所轄警察監獄及補佐各吏員の處分にして法令に違背し公益を妨害するか或は越權と認むるときは之を停止或は撤回することを得(3)該縣に駐紮する警備隊を指揮することを得。

2 縣自治制

1. 自治區域　縣の國家行政區域を以て其區域とす。

2. 議員選擧資格　縣内に居住する年齢滿二十歳以上の本國男子にして縣内に繼續二年以上住居する者にして次の一項に合すること。
(イ)直接税年額二圓以上を納むる者(ロ)動產或は不動產五百圓以上を有する者(ハ)從前或は現に公職或は教員に任ぜる者(ニ)高等小學以上の學校卒業者或は之に相當する資格を有する者。

3. 議員被選擧資格　縣内に居住する年齢滿二十五歳以上の本國男子にして縣内に繼續二年以上住居する者にして次一項に合すること。
(イ)直接税年額四圓以上を納むる者(ロ)動產或は不動產一千圓以上を有する者(ハ)曾て或は現に公職教員に一年以上任する者(ニ)中學校以上の學校卒業者或は之と同等の資格ある者。

4. 選擧或は被選擧權制限　(イ)公權を褫奪され未だ復權せざる者(ロ)禁治產準禁治產或は破產の宣告を受け未だ取消されざる者(ハ)文字を知らざる者(ニ)僧道及其他宗教師(ホ)現役軍人。
尙被選擧權制限としては更に(ヘ)現任該縣官吏(ト)現任該縣小學校教員。

5. 自治事務　縣自治團體は法人で監督官署の監督を承け法令の範圍内に於て下記の各自治事務を處理するものである但縣の全體に關係するか或は市鄉で擔任し能はぬものに限る。
(イ)教育(ロ)交通水利及其他土木工事(ハ)勸業及公共營業(ニ)衞生及慈善事業(ホ)其他法令に依り縣自治に屬されたる事務。

6. 縣議會

イ　議員の定員　人口十五萬以内の縣は十名十五萬以上のものは三萬人を增す毎に議員一名を增し最多三十名を限度とす。

ロ　議員の任期　三箇年

ハ　議決事項　(イ)縣自治團體の經費を以て處理する自治事務(ロ)縣自治團體の規約(ハ)縣自治團體の豫算及決算(ニ)縣自治税其他諸費の徵收(ホ)縣自治團體不動產の買入及處分(ヘ)縣自治團體財產營造物公共設備の經營及處分(ト)其他法令に依り縣議會の權限に屬する事項。

ニ　縣議會の種類　通常會と臨時會とに分つ

(一)通常會は毎年一回縣知事召集し四月一日開會し毎會期四十日間とす但必要のときは二十日以內の延長を爲すを得。

(二)臨時會は縣知事が必要と認むるとき或は縣議員過半數以上の請求あるとき召集す會期は十五日以內とす。

ホ 開會及決議要件 開會は議員の過半數の出席あるを要し決議は出席議員の過半數を要す。

7. 縣參事會

イ 定員 會長一人參事四人乃至六人。

ロ 任命 會長は縣知事之を任し參事は縣議會より半數を選擧し其餘の半數は縣知事より任命するものとす但し縣議員たる資格を有するものたることを要す其任期は二年とす。

ハ 職權 (一)縣議會議決事項の執行(二)縣議會議員選擧事項の辦理(三)縣議會に議案の提出(四)縣自治團體規則の制定(五)縣自治團體の財產營造物或は公共設備の管理(六)縣自治團體收入支出の管理(七)法令及縣會の議決に依り自治稅其他の徵收。

8. 財政 縣自治團體の經費は下の收入を以て充當す。

(一)自治團體財產の收入(二)自治團體公共營業の收入(三)縣自治稅(四)手數料其他の收入(五)過怠金

9. 監督 直接監督官は道尹とす。

イ 道尹は監督の必要上自治團體に對し命合或は處分を發することを得。

ロ 縣議會を以て違法越權或は公益妨害と認むるときは上級監督官署に上申して解散を命することを得。

ハ 監督の必要上事務の報告文書簿潑の提出或は實地事務視察出納檢查等を爲すを得。

以上は省長の管轄下にある行政組織の綱概であるが東三省中吉林省には南郭爾羅斯(コルロス)旗奉天省には圖什業圖(トシエト)、札薩克圖(チアサクト)其他蒙古の未開放地も省長の管轄下にあるが之は蒙古の部で述べることにする。

3 東三省支那行政區劃

奉天省 (所轄)三道五十七縣 (所屬)哲里木盟科爾沁部六旗
(公署所在地)奉天

遼瀋道 (所轄)二十二縣 (道尹衙門所在地)奉天

瀋陽縣(奉天)、鐵嶺縣(鐵嶺)、開原縣(開原)、東豐縣(大肚川)、西豐縣(掏鹿)、西安讓(大疙瘩)、營口縣(營口)、遼陽縣(遼陽)、遼中縣(阿什牛录)、臺安縣(八角臺(、蓋平縣(蓋平)、海城縣(海城)、錦縣(錦州)、新民縣(新民屯)、彰武縣(横道子)、黑山縣(小黑山)、盤山縣(雙臺子)、北鎭縣(廣寧)、義縣(義州)、興城縣(寧遠)、綏中縣(中後所)、錦西縣(江家屯)。

東邊道 (所轄)二十縣 (道尹衙門所在地)安東

安東縣(安東)、(興京縣)(新濱堡)、通化縣(頭道江)、鳳城縣(鳳凰城)寬甸縣(寬甸堡)、桓仁縣(六道河)、監江縣(帽兒山)、輯安縣(洞溝)長白縣(塔甸)、安圖縣(娘々庫)、撫松縣(蟒牛哨)、撫順縣(撫順)、本溪縣(本溪湖)、海龍縣(海龍城)、渾南縣(謝家店)、柳河縣(柳樹河子)、金縣(日本租借)、復縣(復州)、岫巖縣(岫巖、莊河縣(莊河)

洮昌道 (所轄)十五縣 (衙門所在地)洮南

遼河縣(鄭家屯)、洮南縣(雙流鎭)、昌圖縣(昌圖)、康平縣(康家屯)梨樹縣(賣買街)、懷德縣(八家子)、開通縣(七井子)、洮南縣(白城子)、安廣縣(鮮家窩棚)、突泉縣(酸泉鎭)、鎭東縣(叉干檮)、法庫縣(法庫門)、雙山縣(板打窩棚)、瞻榆縣(六家子)、通遼縣(白音太來)

<u>**吉林省**</u> (所轄)四道三十九縣 (所屬)哲里木盟の內一旗(公署)吉林

吉長道 (所轄)十一縣 (衙門所在地)長春

吉林縣(吉林)、長春縣(長春)、伊通縣(伊通)、濛江縣(濛江大甸子)農安縣(農安)、長嶺縣(長嶺子)、德惠縣(大房身)、舒蘭縣(朝陽川)樺甸縣(官街)、盤石縣(磨盤石)、雙陽縣(雙陽河)。

濱江道 (所轄)八縣(衙門所在地)哈爾賓

濱江縣(哈爾賓)、扶餘縣(伯都訥)、雙城縣(雙城堡)、賓縣(葦子溝)五常縣(歡喜嶺)、榆樹縣(孤榆樹)、同賓縣、(煐鍋甸子)、阿城縣(阿什河)。

延吉道 (所轄)八縣 (衙門所在地)局子街

延吉縣(局子街)、寧安縣(寧古塔)、琿春縣(琿春)、東寧縣(三岔口)敦化縣(敖東城)、額穆縣(額穆索)、汪淸縣(百草溝)、和龍縣(大拉子)

依蘭道 (所轄)十二縣 (衙門所在地)三姓

依蘭縣(三姓)、勃利縣(東溝)、同江縣(拉哈蘇々)、密山縣(密山)虎林縣(呢瑪口)、綏遠縣(伊方噶)、樺川縣(悅來鎭)、富錦縣(富克錦)、饒河縣(彰敏)、方正縣(方正泡)、穆稜縣(穆稜)寶淸縣(寶淸)、

黑龍江省 (所轄) 三道二十九縣、八設治、一自治區域 (二縣一設治) (所屬)蒙古哲里木盟の內四旗 (公署々在地)齊々哈爾

龍江道 (所轄)十一縣、四設治(外二縣一設治)は治呼倫貝爾總管の自治に委す) (衙門所在地)齊々哈爾

龍江縣(齊々哈爾)、嫩江縣(墨爾根)、大賚縣(莫勒紅崗子)、肇州縣(肇州)、安達縣(安達)、訥河縣(博爾多)、靑岡縣(柞樹崗)、科泉縣(大泡子)、肇東縣(昌五城)、泰來縣(大來氣)、林甸縣(大林家店)、景星設治(景星鎭)、武興縣佐(多耐站)、布西設治)依佈齊、索倫山設治(索倫山)、呼倫縣(海拉爾)、臚濱縣(滿州里)、吉拉林設治(吉拉林)

綏蘭道 (所轄)十四縣、一設治(衙門所在地)綏化

綏化縣(綏化)、呼蘭縣(呼蘭)、海倫縣(通肯)、巴彥縣(巴彥蘇々)、慶城縣(餘慶街)、通化縣(通化)、綏楞縣(上集廠)、蘭西縣(雙廟子)、木蘭縣(秦羅章口)、通化縣(三姑)、湯原縣(湯旺河)、龍鎭縣 (龍門鎭)、望奎鎭(望奎鎭)、鐵驪設治(鐵山包)、克山縣(三站)。

黑河道 (所轄)四縣、三設治(衙門所在地)黑河

璦琿縣(璦琿)、呼瑪縣(古站)、孃北縣(技孃山)、漠河縣(漠河)、奇乾河鎭務局(奇乾河)、烏雲設治(烏雲河)、綏東設治(高家城子)。

蒙古領地內設治各縣 以上東省各縣の內で蒙古領地內に設治の分な蒙古の旗區劃と對照すれば下の通りである旗に關しては蒙古の部で述べる。

奉天省 一哲里木盟達爾罕旗＝懷德縣、梨樹縣、雙山縣、遼源縣(大部分)、康平縣(法庫門外一小部分)通遼縣。

同 博王旗＝昌圖縣、康平縣(一部)、遼源縣(一小部)

同 賓圖王旗＝康平縣(一部)法庫縣(一部)

同 札薩克圖旗＝洮南縣、開通縣、洮安縣

同 蘇鄂公旗＝安廣縣、鎭東縣

同 土什業圖旗＝突泉縣、瞻榆縣

舊養息牧廠地方＝彰武縣

吉林省 一同 郭爾羅斯前旗＝長春縣、農安縣、德惠縣、長嶺縣

黑龍江省　一同　郭爾羅斯後旗＝肇州縣、肇東縣

同　土爾伯特旗＝安達縣(大部分)武興縣、林甸縣

同　札賚特旗＝大賚縣、泰來縣、景星鎮設治

伊克明安旗＝拜泉縣(一部)

呼倫貝爾＝呼倫縣、臚賓縣、室韋縣、奇乾設治局

尚熱河、察哈爾兩特別區域内で蒙古領地内に設治の縣も多いが之等は蒙古の部に讓る。

4　東三省主要職員

奉天省

奉天省長代理	王永江(岷源)	金州
省長公署參議	于沖漢(雲章)	遼陽
奉天省政務廳長	王鏡寰(明宇)	北鎮
財政廳長	王永江(岷源)	金州
教育廳長	謝蔭昌(演蒼)	江蘇武進
實業廳長	談國桓(鐵隍)	瀋陽
東三省鹽運使	翟文選(熙人)	黑龍江
山海關監督	蘇毓芳(秀寧)	義州
奉天關同	關海清(果忱)	瀋陽
安東關同	齊耀珺(文軒)	伊通
高等審判廳長	單豫升(瑞卿)	直隸撫寧
高等檢察廳檢察長	趙梯青(雲平)	同安田
全省警務署長兼全省警察廳長	王家勳(蓮波)	同南皮
遼瀋道尹	何厚琦(子彰)	山西靈石
東邊同	王順存(理堂)	河南商城
洮昌同	都林布(允卿)	京兆霸縣
四洮鐵路督辨	馬龍潭(壽溪)	直隸慶雲
奉天省議會議長	白永貞(佩珩)	遼陽
同　副議長	李樹滋(鐵珊)	錦州
同　同	范先炬(朗青)	海城

吉林省

外交部特派交涉員	孫其昌(鐘舞)	奉天
哈爾賓交涉員(兼)	張壽增(鶴岩)	京兆宛平縣

濱江道尹	同	上	
財政廳長(兼心得)	陳克	正(止中)	奉天遼陽縣
教育廳長(心得)	周玉	柄(斗欽)	四川成都縣
實業廳長(同)	馬俊	顯(績卿)	吉林雙陽縣
吉黑榷運局長(同)	闞澤	溥	直隸天津縣
濱江關監督	毛祖	模(艾孫)	江蘇太倉縣
高等審判廳長(心得)	楊長	溶(季龍)	山西萬泉縣
高等檢察廳長(同)	何同	椿(來忱)	山東桓臺縣
吉林地方審判廳長	裘鯿	章(怡軒)	浙江紹興縣
延吉地方審判廳長(心得)	何慶	雲(朶堃)	廣東新會縣
同 檢察廳長(同)	吳繼	高(筱亭)	山東臨淸縣
東省特別區域高等審判廳長	李家	鏊(蘭州)	江蘇上海縣
全省警務處長	鍾	毓	滿洲鑲紅旗
省會警察廳長(兼)	同	上	
長春警察廳長(心得)	李	毅	奉天黑山縣
濱江警察廳長	興	今	
東省特別區域警察總管理處長	金榮	桂	
吉長道尹(心得)	蔡道	升(品三)	吉林雙城縣

黑龍江省

龍江道道尹	董吉	慶(允升)	奉天鳳城
綏蘭道同	谷芝	瑞(靄堂)	直隸臨榆
黑河道同	宋文	郁(墨林)	奉天
呼倫貝爾善後督辦公署督辦	程廷	恒(守初)	江蘇崑山
政務廳廳長	史紀	常(曜五)	江蘇宜興
財政廳同	董召	棠(雲甫)	奉天鳳城
教育廳同	于駟	興(振甫)	安徽壽縣
實業廳同	張星	楡(伯塵)	直隸撫寧
交涉署特派交涉員	譚士	先(心之)	四川雲陽
警務處處長	高雲	崑(子玉)	奉天
警察廳廳長	高雲	崑(子玉)	同
黑河警察廳同	李家	鼎(禹銘)	同
呼蘭警察廳同	郎官	普(藹忱)	同
高等審判廳同	吳家	駒(子昂)	同

高等檢察廳檢察長	易	恩	侯(仲孚)	湖北隨縣
龍江地審廳廳長	陳	學	釗(靜園)	貴州
同　地檢廳檢察長	楊	名	椿(伯年)	四川三臺
呼蘭地審廳廳長	郭	毓	珍(聘如)	奉天鐵嶺
同　地檢廳檢察長	傅	兆	泰	湖北
菸酒事務局局長	趙	世	澤(叔彥)	京兆大興
森林局局長	丁	夢	武(聘三)	
採金局局長	董	遇	春(柳莊)	直隷天津
鐵路交涉總局總辦	馬	忠	駿(蓋卿)	奉天海城

(四) 東部内蒙古行政

東部内蒙古と呼ぶも哲里木盟の如く東三省の省別區域内に入つて居る地方と卓索圖、昭烏達兩盟の如く熱河特別區域内に入る地方と錫林郭爾及察哈爾八旗の如く察哈爾特別區域に入るものとに大分される併し省若くは特別區域内でも縣治を布く開放地と然らざる未開放地があつて未開放地は依然蒙古王公の統治下にあるので均しく東蒙古でも完全なる蒙古の行政を行ふ處と縣治を行ふ地方とがある東三省に含む地方の縣治行政は前述の通りであるから茲には熱河及察哈爾特別區域内の都統行政と其他の蒙古行政とに分つて概説することにする。

1. 熱河特別區域

都統　特別區域の行政は省行政の如く軍民分治制を採用せず軍治行政を行つて居る特別區域の長官は都統で武官を以て之に充てる都統は所屬軍隊を統轄し該管區内軍政民政事務を管理し所屬地域内の民政各官及巡防警備等の隊を管轄し竝に政府の特別委任を受けて財政及司法行政竝其他特別官署の行政事務を監督する即ち各省に於ける督軍と省長の職權を併有するものである都統の居る衙門は都統署で承德にある都統は上述の如く特別區域の管理者であるから區域内の開放地たる縣のみならず蒙古の各旗も當然其管轄内になるものである。

行政區劃　(盟及旗の説明は後に述ぶ)

イ　道名　熱河道(一道のみで道尹公署承德)

ロ　縣名　承德、灤平、平泉、隆化、豐寧、凌源、朝陽、阜新、建平、綏

東、赤峰、開魯、林西、圍場、經棚(十五縣)

ハ　各縣と蒙古の區劃との對照

縣名	旗名
綏東	錫呼圖庫倫喇嘛旗 昭烏達盟奈曼旗
開魯	札魯特左右旗阿魯科爾沁三旗
林西	巴林右翼旗
經棚	克什克騰旗
赤峰	翁牛特左右翼二旗
建平	敖漢左右翼二旗 喀剌沁右翼旗一部 同　中旗一部
平泉	喀剌沁右翼旗一部 同　中旗一部
朝陽	土默特右翼旗

縣名	旗名
阜新	喀爾喀左翼旗 土默特左翼旗 唐古特喀爾喀旗
凌源	喀剌沁左翼旗
圍場	舊圍場地方
承德 灤平	舊熱河駐防地方
豐寧	舊熱河屬察哈爾黃旗 鑲白旗地方
隆化	同上正白旗 正藍旗地方

而して道及各縣に於ける行政は一般の縣行政と同一であるから茲に再說せぬ。

2. 察哈爾特別區域

部統　其職責權限は熱河のものと同一である部統署は張北縣にある。

行政區劃

イ　道名　興和道(一道のみで道尹公署張北縣)

ロ　縣名　張北、沽澤、多倫、豐鎭、涼城、興和、陶林、商部(計八縣)及寶昌、招墾設治局

ハ　各縣と蒙古の區劃との對照

縣名	旗名
張北、沽澤、多倫、商部縣 寶昌設治局	察哈爾、左翼四旗
豐鎭、涼城、興和、陶林	同　右翼四旗

3. 蒙古の行政

東部內蒙古は旣述の通り東三省と熱河及察哈爾の特別區域とに分屬されて居て旣に滿漢人の爲めに開放して縣行政を布く地方は一般の縣自治行政と同一であるが未開放地方に於ては今尙純然たる蒙古式行政を實施

して居る開放地でも舊熱河地方の如く舊くから縣治を布く地方では其域內に住する蒙古人に對しても滿漢人同樣其行政下に支配して居る所があるが比較的新らしき開放地では縣自治行政は滿漢人のみに施し蒙古人は依然蒙古の行政下にあらしめて居る。

行政區劃　行政區劃の單位は旗である旗とは部落の酋長とも言ふべき一札薩克の統轄する部分で旗を合せて盟とする盟は利害關係の密接な各旗の結合からなるものである而して旗の下には佐領を置く佐領は旗を編成する單位である尚「部」なる名稱を用ゆるが是は同姓或は同族を表はすもので行政區分ではない。

東部內蒙古の範圍に就ては頗る茫漠として一定してゐないが本書では東四盟と察哈爾八旗を含む一帶とする。其行政區劃は下の通りである。(旗の下括弧內は俗稱である)

- 東三省 — 哲里木盟
  - 科爾沁部(コルチン)
    - 科爾沁右翼中旗(圖什業圖)
    - 〃 左翼中旣(達爾罕)
    - 〃 右翼前旗(札薩克圖)
    - 〃 左翼前旗(賓圖王)
    - 〃 左翼後期(博王)
    - 〃 右翼後期(蘇鄂公)
  - 札賚特部(チャライト)—札賚特旗
  - 杜爾伯特部(トルボト)—杜爾沁特旗
  - 郭爾羅斯部(コルロス)
    - 郭爾羅斯前旗(南郭爾羅斯或は齊公旗)
    - 〃 後旗 (北郭爾羅斯)
  - ………………伊克明安旗(イクミンアン)(莽雜公)
  - 計　十八旗

- 熱河 — 卓索圖盟
  - 喀喇沁部(カラチン)
    - 喀喇沁右旗(喀喇沁王)
    - 〃 左旗(吳公旗)
    - 〃 中旗(馬公旗)
  - 土默特部(トムト)
    - 土默特左翼旗(蒙古鎭王)
    - 〃 右翼旗(西土默特)
  - 喀爾喀部(カルル)　哈爾喀旗(唐古特喀爾喀)
  - 計　六旗

- 特別區域
  - 昭烏達盟
    - 敖漢部(アオハン)
      - 敖漢左旗(札薩克王)
      - 〃 右旗(海楞王)
    - 奈曼部(ナマン) 奈曼旗
    - 巴林部(バリン)
      - 巴林右旗(大巴林或巴林王)
      - 〃 左旗(小巴林或巴林貝子)
    - 札魯特部(チャロト)
      - 札魯特左翼旗(東札魯特)
      - 〃 右翼旗(西札魯特)
    - 阿魯科爾沁部(アルコルチン)—阿魯科爾沁旗
    - 翁牛特部(オンニウト)
      - 翁牛特右翼旗(西翁牛特)
      - 〃 左翼旗(東 〃)
    - 克什克騰部(クシクタン)—克什克騰旗
    - 哈爾哈左翼部(ハルハ)—哈爾哈左翼旗(家哈爾哈爾哈(チャハルハルハ))
    - 計 十二旗
- 察哈爾特別區域
  - 錫林郭勒盟
    - 烏珠穆沁部(ウチュムチン)
      - 烏珠穆沁右翼旗(西烏珠穆沁)
      - 〃 右翼旗(東 〃)
    - 浩濟特部(ハオチト)
      - 浩濟特左翼旗(東浩濟特)
      - 〃 右翼旗(西 〃)
    - 蘇呢特部(スニト)
      - 蘇呢特左翼旗(東蘇呢特)
      - 〃 右翼旗(西 〃)
    - 阿巴噶部(アバカ)
      - 阿巴噶右翼旗(小河巴噶)
      - 〃 左翼旗(大王旗)
    - 阿巴哈那爾部(サバハナル)
      - 阿巴哈那右翼旗(西河巴哈那爾)
      - 〃 左翼旗(東 〃)
    - 計 十旗
  - 察哈爾八旗……
    - 察哈爾左翼四旗
    - 〃 右翼四旗
    - 計 八旗

總 計 五十[illegible]旗

行政權關

イ 蒙藏院 大總統に直隷し蒙藏の事務を統管する所で北京に設けられて居る

ロ 旗内各機關

一、札薩克 各旗の行政首腦者卽ち旗長で旗民の管轄行政及司法の

權を有する札薩克の旗民に對する威嚴は我舊幕時代の諸侯にも似たる勢力である何れも元の後裔で昔者諸方に割據して各小版圖を有する獨立の酋長であつたが清朝に至つて內附歸屬したものである清朝は國初に於て是等屬藩の援助を得たこと少なくなかつたので立國後之が懷柔の策として宗室と同じく親王以下貝勒貝子鎭國公輔國公等の爵に對し各王公の子弟には一等から四等に至る臺吉を授けた。

札薩克は大抵世襲であるが後嗣の無き場合等は閑散王公等の中から特に簡任せらるくことがある閑散王公とは王公中札薩克の職にあらざるもの卽ち封土を有せずして封爵を有する者を云ふので一旗內に二、三人若くは四、五人も居る。

民國に至つても蒙古各行政機關原有の特權には差異なき旨を蒙古待遇條例を以て規定して居る。

札薩克の事務は檔事房（タンシーフアン）と辦事房（パンシーフアン）の二科を主管する。

二、檔事房　旗內一般の行政事務を總判し戶口を調查し土地事務を總括し若くは役員の任免黜陟の權を掌握し或は財政を監督し又は刑罰權を行使する等札薩克の全權を行使する主腦機關である。

其職制は下の通りである。

- 主として行政事務を掌る者
  - 協理臺吉、掌印梅倫
  - 掌印札藍、掌帖式
- 檔事房職員
  - 臺吉を總管する者
    - 和碩達、手達、大臺吉
    - 驍騎校、領催
  - 黑人（旗民）を總管する者
    - 管旗章京、管旗副章京、札藍章京
    - 管鎭、章京、驍騎校、領催、屯達、什長

上の各職員の職掌は次の通りである。

（イ）　行政事務を掌る者

協理臺吉　札薩克の輔佐役で旗の大小に依り二名乃至四名ある札薩克の血族中勢力ある閑散王公又は臺吉中から選補する。

掌印梅倫　每旗一人之を置き協理臺吉又は管旗章京の命を奉じて旗政を佐理する者である。

掌印札藍　每旗一人で掌印梅倫を輔け旗政を佐理する。

筆帖式　書記で檔事房の文筆一切を掌り筆帖簿册の保管を爲すものである。

（ロ） 臺吉を總管する者。

和碩達　札薩克に直屬し旗內臺吉を總管する役で每旗一人臺吉中から選補する。

手　達　和碩達の事務を補助す。

大臺吉　和碩達に屬し臺吉を管轄す。

驍騎校、領催は大臺吉の命を受け臺吉を管轄す。

（ハ） 黑人を總管する者。

管旗章京　札薩克に直屬し旗民黑人を總管し或は協理臺吉と協同して旗務監關を掌り直接司獄事務を判ず通例每旗一人を置く。

管旗副章京　通例每旗二名を置く管旗章京の輔佐役である。

札蘭章京　一名參領で古來旗民軍政の長官で四五佐領の上にあつて兵丁を統理監督するを任務として居つたが軍政の廢頽と共に其事務も變更され主として地方租税の徵收長官として其事務を掌る尙管內に於ける重大事件の報告及一般狀況の進達等をも併せ掌るものである。

管鎭章京　卽ち佐領で素と百五十丁に一佐領を編し之を「ソム」と稱し旗を編成する單位として居たが軍政の廢絕と共に單に札藍章京に屬する小地方官として直接旗民を支配し納税戶籍上府命令の傳達等の事務を掌る者となつた。

驍騎校領催　佐領の下役として租税の徵收命令の傳達等に任ずる

屯達、什長　共に十家長の意であるが今は戶數一定せぬ付內の自治を掌る。

三、辦事房　札薩克の一家に對する一切の事務を總辦し王府の器具材薪を保管し金錢の出納物資の調辦等に任じ或は祭典儀仗應接等を掌る。

辦事房の長官は拜生達で其下に我家扶家從に似た哈版包衣達があり更に其下に護衛僮帖式が居る。

四、盟長副盟長　盟內各旗の札薩克から政府が任命するもので旗長たる札薩克と異り世襲ではなく且つ一種の名譽職で職務に對する報酬は受けない尙旗長と盟長との間には統屬的關係なく各旗間に於ける重大なる事件は盟長から旗長を會合して合議で行ふのである。

（五）　東支鐵道沿線の行政

東支鐵道沿線附屬地の行政權は從來東支鐵道長官に屬し同鐵道廳內に民政部を置き民政部長をして此衝に當らしめ哈爾賓滿洲里海拉爾及橫道河子には其大小に應じ市町村の自治制を布いてゐたが露國崩壞後支那は漸次利權を回收して別項述ぶる通り既に裁判及警察等の司法權を完全に回收した外哈爾賓以外の附屬地に於ける其他の行政權も回收したが只哈爾賓市では今尙舊來の自治制を存して居るものゝ市の監督權は濱江道尹に歸し時機の到來を待つて完全に哈市總ての行政權も支那側に回收を企てつゝある故に現今では今尙政情安定せず市自治行政も頗る混沌たるものであるが兎に角自治を持續しつゝある從來の自治制を見るに、

權限　土木衞生教育公安に關するもので之が爲め必要な課稅を爲すの權がある。

機關　イ　市會　選擧せる市會議員からなる選擧權と被選擧權は納稅額不動產永借權及不動產短期貸借料を以て標準とし國籍宗教の如何に拘はらず選擧の方法は候補者を定めて可否の投票を爲し過半數の可票を得たものゝ高點者六十名を當選とする之に充たざるも四十名に達すれば之を以て市會を組織し四十名に及ばざる場合には更に之に達する補缺選擧を爲し尙之に達せぬときは其不足は鐵道長官から之を選任する。

ロ　市參事會　參事會長及五名の參事會員を以て組織する參事會長は市會で選擧し市會議長を兼ね露人でなければならぬ參事會委員の三名は市會で選擧し他の二名は鐵道長官が鐵道會社員若くは普通の公民中から任命する而して參事會の決議は其全出席者の一致に係るものは直ちに實行し得るが然らざるものは鐵道長官の異議なきことを要し異議あるときは市會の決議に附する。

以上は鐵道長官が行政權を有つてゐた時代のもので其後若干の變化あるべきも大體は上の方法に依つて居るものと見てよい市會議員中には目下日本側から三名と支那側は略露國側と同數の議員を出すことになつて居る。

(六) 支那側警察行政

地方警察の最高機關は省長であるが此外警務署道尹各地警察廳各縣警察所、水上警察、鐵路及鑛場警察、地方保衞團に至る迄其種類は甚だ多い以下各機關に就き其大要を述べむ。

1. 省長　省長は一省の行政長官として所管省の民政官及巡防警備各隊を管轄するもので省長公署内の內務科をして各種警察事務を執らしめて居る。

2. 警務處　各省の警察事務を整頓する爲め地方の情形を斟酌して設立せしめたもので民國四年の内務部指令に因るものである全省警務處と稱し省長の指揮監督に屬し省內警察の充實、警察費の分配、警察官吏の教練、警察章程の起草等を掌る東三省は各省共其省城に之を有する。

3. 道尹　省長の命を受け該道管内の巡防隊警備隊等を指揮する權能を有す尙地方警察廳が道尹と同一地にあるときは該警察廳は道尹に直隷し該廳長は其指揮監督を受くるのである。

4. 縣知事　縣內の警察機關を指揮監督する權能を有する。

5. 地方警察廳　省城或は商埠地に設け省城或は商埠地の警察衞生消防事項を掌る地方警察廳が道尹駐在地にあるときに道尹に直隷し省長と同一地にあるときは省長に隷す該廳は治安維持の必要上警察隊を編成する東三省各省共其省城に於て該警察廳を有するの外奉天省は營口安東の二所、吉林省は長春、濱江、延吉の三所黑龍江省は黑河及呼倫の二所卽ち東三省に總計十廳を有する。

6. 縣警察所　各縣に之を設け縣內の警察事務を管理せしめる但し縣にして縣警察所設置の必要なきときは保衞團を以て之に代はらせることが出來る。
該警察所長は知事の兼任である。

7. 警察分所　縣區域內の繁盛な地方に之を設く。

8. 水上警察廳　海及川に瀕する地方で水上の治安を維持する必要上重要なる地點に之を設け水上警察衞生事項を管理せしめる其所在地の關係に依り道尹或は省長に隷す東三省に於て奉天省に二水上警察局を有する卽ち

イ　鴨渾兩江水上警察局　本局を安東に置き大東溝、輯安臨江、通化の

四所に分局を設く。

ロ　遼河水上警察局　本局を新民巨流河に置き分局は遼河に沿ひ十箇所を有する

9. 保衞團　縣内の警察未設置地方で人民の請求及縣知事必要と認むるとき本省長に報告して組織するを得るもので其組織及職責は下の通りである。

イ　組　織

(一)總監督一人　縣知事を以て之に充て各地方の紳士と協商籌劃させる。

(二)團總一人　總監督之を選任す。

(三)保董　五甲毎に之を置く。

(四)甲長　十牌を一甲として甲長を置く。

(五)牌長　居住者十戸を一牌とし牌長を置く。

(六)團丁(壯丁)　居住民毎戸一人を選定して保衞團に入らしめ特に(1)未成年者(2)次男以下の男丁なき者(3)老弱又は殘疾者(4)事故に依り服務する能はぬ者等に對しては總監督の許可を得た上免役させる。

ロ　職責　各團内の戸口調査、盜賊の逮捕、贓品の檢擧を爲し且つ警察區と同一地方に在るものは必要に應じ警察機關に協力させる

ハ　經費　各地方毎に醵出する。

10. 鐵路巡警機關　鐵道用地内の警察事務を管掌するもので下記の數種に分れる。

イ　安奉鐵路巡警局　南滿鐵道の支線たる安奉線の線路用地内警察事務を執行する機關で奉天全省警務處の管理に屬す其職掌に關しては一定の規定あるも事實上から見ると安奉沿線鐵道用地に於ける警察權は悉く日本警察官吏の管理に歸し支那巡警は殆んど實權を有せず僅に線路上に於ける牛豚の取締及轢死者、負傷者等の處分を爲すに過ぎぬ本局を安東に設け其下に二分局六分所を有するが其局員總數は五十名に滿たぬ。

ロ　吉長鐵路警務所　俗に吉長鐵路巡警と稱し吉長鐵路總局内に附設され全線の警務を統轄して居る長春から下九臺迄を長春段とし其以東を吉林段とし全線を二段に區分し巡警總員は百四五十名ある其權限は單に吉長線停車場及客車内の秩序を維持する程度のも

のに過ぎない本所は吉長鐵路局總辦に隷するのである。

ハ　京奉鐵路巡警機關　北京奉天間の鐵路警察事務を處理する機關で全線を三段に分ち第一段は北京、山海關間第二段は山海關溝帮子間第三段は溝帮子奉天間とし毎段の總署を北京溝帮子皇姑屯に置き更に各段を二十署區に分ち主要驛に警察分所又は警察分區を設け小驛には警察分駐所を置く。

京奉鐵路巡警の職務は京奉鐵路線用地內に於ける乘客貨物及鐵路管理局の財產を保衞し交通に關する政務の進行を補促するにあり本機關は京奉鐵路管理局に隷屬する。

ニ　東省特別區警察總管理處　東支鐵道沿線警察の統轄機關で哈爾賓に之を設け濱江道尹が其處長を兼理して居る東支沿線の警察區は五區に分つて居るが其管轄區域と區署所在地は下の通りである

區　別	管轄區域	區署所在地	備　考
第一區	哈爾賓	哈爾賓	本區署は總管理處內に之を置く
第二區	哈爾賓—長春間	張家灣	
第三區	哈爾賓—ポクラニチナヤ間	横道河子	
第四區	哈爾賓—興安間	齊々哈爾	
第五區	伊里克—滿洲里間	滿洲里	

11.　鑛場警察局　鑛業經營地方の秩序を維持する爲めに鑛業を經營する公司から所管道尹又は縣知事に對し鑛場警察機關の設置を請願するときは該官廳は之が設置を爲すと共に鑛務を兼理する財政廳に其旨を通告することゝなつて居る南滿に於ける吉林採金局鑛警、天寶山鑛場警察所の如き之である。

第四　司　　法

(一)　日本側司法制度

1 沿　　革

日露戰爭中在滿邦人に對する司法事務は軍事法廷の管轄に屬し本國法令を適用したが占領地內支那人に對しては別に軍律を制定して之を適用して居つた然るに明治三十八年六月關東州民政署の編成なるや滿洲軍總司法部は同管轄區域內にある占領地人民の刑事及民事に關する處分令を定め同年八月軍令として公布し州內の司法事務は臨時軍法會議及軍事法廷の權限に屬するものを除き民政長官の命ずる司法委員に於て之を執行することゝなり一審裁判であつた明治三十八年十月關東總督府官制出で翌三十九年六月同總督府令を以て關東州審理所條例制定され七月一日から之を實施するに至つた本條例に依れば審理所長以下職員は關東州民政署職員中から總督之を命ずる規定で未だ專門の職員を置くに至らなかつたが司法委員時代唯一の準據法であつた刑事民事處分令を廢止して新に關東州刑事審理規則同民事審理規則及同刑罰令を制定し始めて二審制度を採用することゝなつた。

明治三十九年七月總督府を廢して新に都督府官制公布と同時に勅令第百九十八號を以て關東都督府法院令公布され九月一日から實施することゝなり州內の司法事務は始めて專掌の機關に屬することゝなつた卽ち法院は高等法院と地方法院に分れ地方法院は之を單獨制とし第一審として刑事民事及非訟事件を裁判し高等法院は之を合議制とし三人の判官を以て組織したる部に於て地方法院の判決に對する上訴を審判するものである併し法制未だ完備せざる爲め其準據法としては地方の法規慣習の外本國民法商法等を參酌するに過ぎなかつたが明治四十一年九月勅令第二百十二號を以て關東州裁判令發布され本國民法商法刑法民刑事訴訟法其他須要な法典が關東州に適用さるゝに至り且つ民政署長に於ても輕易なる裁判事務を取扱ふことゝなり高等法院は終審として民政署長の裁判に對する上訴をも覆審することゝなつたが大正八年六月に至り關東州裁判令の一部改正に依り民政署長に屬する裁判事務は登記（公證民事爭訟調停共）を除く外之を地方法院の權限內に移された。

2 領事裁判

帝國領事館は支那及暹羅兩國では條約に依つて本國人の裁判權を有して居る領事裁判權に關する支那との條約は明治二十九年十月締結の日淸通商航海條約第三條に基くものである。

領事官の裁判事務に關しては明治三十二年法律第七十條領事官の職務に關する法律第六條以下十二箇條に亙つて規定されて居る。卽ち領事裁判權を行ふことを得る領事官は本法律の規定に從つて訴訟事件竝非訟事件に關する事務及登記事務を行ふ。之に關し領事館は法令條約及慣例に抵觸せざる範圍に於て地方裁判所及區域裁判所の職務を行ふのである。尙領事官は重罪に關しては豫審のみを爲し公判をする權能を有せぬ。重罪の公判は滿洲以外の支那各地のものは長崎地方裁判所の管轄に屬するが滿洲に於ては旣述の如く明治四十一年四月以前は上の一般方法に依つて居たが四十一年四月法律第五十二號滿洲に於ける領事裁判に關する件公布され重罪の公判は關東廳法院の管轄に移され領事官のした裁判に對する終審は關東廳高等法院の管轄に屬せしめられた。領事館では領事館員又は警察官を以て檢事又は裁判所書記及執達吏の職務を行はせる規定である。因に領事裁判では輕罪には豫審を須いない。

3 關東廳法院

法院は關東長官に直屬し關東州に於ける民事刑事の裁判及非訟事件に關する事務を掌り分つて地方法院と高等法院とする地方法院は單獨判官を以て民事刑事の第一審を爲し且非訟事件に關する事務を取扱ひ高等法院は判官三人を以て組織する合議制を以て終審として地方法院に對する上訴を審理するのである。

法院の編成は各法院を通じて判官專任八人檢察官專任三人の外通譯書記を置き各院長には上級判官を以て之に充て院長は院內一般の事務を指揮し尙高等法院は地方法院の行政事務をも併せて監督する。

現在に於ける法院の名稱位置及管轄區域は下の通りである。

名稱	位置	管轄區域
關東廳高等法院	旅順	
〃 地方法院	〃	旅順民政署管轄區域
地方法院支廳	大連	大連、金州、普蘭店、貔子窩、各民政署及支署管轄區域

支廳の職務範圍は民事の裁判を爲すこと及非訟事件に關する事務並司法事務共助法規定事項に關する事務を取扱ふのである。

尙ほ旅順にある地方法院は近く大連に移轉することになつて居る。

高等法院民刑事件數 （大正十年）

元審廳名	民事 受理	民事 既濟	民事 未濟	刑事 受理	刑事 既濟	刑事 未濟
地方法院	3	2	1	43	30	12
同大連支廳	×1 36	17	×1 19	—	—	—
牛莊領事館	1	—	1	—	—	—
遼陽領事館	5	5	—	3	1	2
鐵嶺領事館	—	—	—	31	31	—
長春領事館	4	—	4	13	12	1
安東領事館	×2 2	×2 2	—	3	3	—
奉天總領事館	11	3	8	16	13	3
哈爾賓總領事館	3	2	1	—	—	—
總計	**65**	**31**	**33**	**80**	**62**	**18**
大正九年	50	34	16	79	76	3
〃八年	52	34	18	73	60	13
〃七年	43	27	16	78	69	9

地方法院民事件數 （大正九年）

件名	受理 舊受	受理 新受	受理 計	既濟 闕席判決	既濟 對席判決	既濟 取下	既濟 和解	既濟 其他	既濟 計	未濟
人事	1	1	2	—	—	2	—	—	2	—
土地	×1	1	×1	—	—	1	—	—	1	×1
建物	—	×1 3	×1 3	×1 1	—	—	1	—	×1 2	1

件名	受理			既濟						未濟
	舊受	新受	計	闕判席決	對判席決	取下	和解	其他	計	
船舶	—	1	1	—	—	1	—	—	1	—
金錢	6	27	33	10	8	2	8	—	28	5
物品	—	1	1	—	—	1	—	—	1	—
證券	—	1	1	—	1	—	—	—	1	—
雜事	—	1	1	—	1	—	—	—	1	—
總計	×1 7	×1 35	×2 42	×1 11	9	7	9	—	×1 36	×1 6
大正九年	6	24 ×3	30 ×3	13	5 ×1	4	×1 1	—	×2 23	×1 7
〃八年	26	126 ×6	152 ×6	28	19 ×1	37 ×1	13 1	49 ×3	146 ×6	6
〃七年	21 ×2	53 ×3	74 ×5	11	15 ×2	19 ×3	×3	—	48 ×5	26

備考　表中×印を付するものは闕席判決に對する故障事件なり

地方法院大連支廳民事件數　（大正十年）

件名	受理			既濟					未濟
	舊受	新受	計	闕判席決	對判席決	取下	和解	計	
人事	10	13	23	—	1	9	1	11	12
土地	13	13	26	—	—	3	1	4	22
建物	10	×7 61	×7 71	×1 12	8	×2 8	×2 12	×5 40	×2 31
金錢	×9 110	×44 517	×53 627	×7 148	×5 62	×7 134	×2 56	×21 400	×32 227
物品	2	×1 7	×1 9	1	1	1	—	3	×1 6
證券	—	4	4	1	—	—	—	1	3
雜事	12	×3 66	×3 78	7	3	×1 22	1	×1 33	×2 45
總計	×9 157	×55 681	×64 838	×8 169	×5 75	×10 177	×4 71	×27 492	×37 346
大正九年	×7 51	×24 374	×31 425	×9 99	×3 27	×8 107	2 ×35	×22 268	×9 157

第四司法

地方法院刑事件數 （大正十年）

罪名	受理 舊受	受理 新受	受理 計	既濟 有罪	既濟 無罪	既濟 消滅	既濟 其他	既濟 計	未濟
逃走の罪	1	—	1	1	—	—	—	1	—
放火及失火の罪	—	4	4	1	2	—	—	3	1
往來を妨害する罪	—	1	1	1	—	—	—	1	—
阿片に關する罪	2	16	18	15	—	—	—	15	3
通貨僞造の罪	1	4	5	4	—	—	—	4	1
文書僞造の罪	—	8	8	5	—	—	—	5	3
有價證券僞造の罪	1	3	4	3	—	—	—	3	1
僞證の罪	—	1	1	—	—	—	—	—	1
猥褻姦淫及重婚の罪	—	8	8	2	2	—	—	4	4
賭博及富籤に關する罪	—	6	6	3	—	—	—	3	3
禮拜所及墳墓に關する罪	—	2	2	2	—	—	—	2	—
瀆職の罪	1	1	2	1	—	—	—	1	1
殺人の罪	4	8	12	5	1	—	—	6	6
傷害の罪	7	26	33	26	1	—	—	27	6
過失傷害の罪	1	8	9	8	—	—	—	8	1
逮捕及監禁の罪	—	1	1	—	—	—	—	—	1
掠取及誘拐の罪	1	1	2	—	1	—	—	1	1
名譽に關する罪	1	1	2	—	—	—	—	—	2
竊盜の罪	20	316	336	306	—	—	—	306	30
强盜の罪	6	37	43	30	1	—	1	32	11
詐欺及恐喝の罪	5	41	46	27	1	—	—	28	18
横領の罪	17	69	86	71	—	—	—	71	15
贓物に關する罪	5	31	36	29	—	—	—	29	7
陸軍召集令施行細則違反	14	51	65	51	1	—	—	52	13
陸軍々人服役令施行規則違反	1	5	6	4	—	—	—	4	2
朝鮮滿洲等演集召集簡閲點呼施行規則違反	1	1	2	1	—	—	—	1	1
明治三十八年法律第六十六號違反	6	1	7	6	—	—	—	6	1
關稅法違反	—	4	4	2	—	—	—	2	2

罪名	受理 舊受	受理 新受	受理 計	既濟 有罪	既濟 無罪	既濟 消滅	既濟 其他	既濟 計	未濟
モルヒネ所持	1	2	3	1	—	—	—	1	2
警察犯處罰令違反	1	—	1	1	—	—	—	1	—
銃砲火藥取締規則違反	—	4	4	4	—	—	—	4	—
關東州防禦營造物地帶令違反	—	11	11	10	—	—	—	10	4
代書取締規則違反	—	1	1	1	—	—	—	1	—
關東州在留者取締規則違反	—	1	1	1	—	—	—	1	—
海軍召集令施行規則違反	—	1	1	1	—	—	—	1	—
貸座敷取締規則	—	1	1	—	—	—	—	—	1
總計	97	676	773	623	10	—	1	634	139
大正九年	69	584	635	544	6	—	6	556	97
大正八年	24	474	498	425	1	3	—	429	69

刑事處罰人員 (大正十年)

		日本人 男	日本人 女	支那人 男	支那人 女	外國人 男	外國人 女	合計 男	合計 女	合計 合
高等法院	死刑	—	—	1	—	—	—	1	—	1
	有期懲役	53	2	3	—	2	—	58	2	60
	有期禁錮	1	—	—	—	—	—	1	—	1
	罰金	4	—	—	—	—	—	4	—	4
	拘留	6	—	—	—	—	—	6	—	6
	計	64	2	4	—	2	—	70	2	72
地方法院	死刑	—	—	1	—	—	—	1	—	1
	無期懲役	4	—	1	—	—	—	5	—	5
	有期懲役	180	3	306	—	1	—	487	3	490
	有期禁錮	—	—	1	—	—	—	1	—	1
	罰金	24	1	33	1	—	—	57	2	59
	笞刑	—	—	177	—	—	—	177	—	177
	科料	72	—	3	—	—	—	75	—	75
	計	280	4	522	1	1	—	804	5	808
總計		344	6	526	1	3	—	873	7	880
大正九年		343	8	398	3	1	—	742	11	753
大正八年		324	19	232	1	—	—	556	20	576

犯罪及

罪名	犯罪件數	檢擧件數	人 日本人 男	女
公務の執行妨害する罪	1	1	—	—
逃走の罪	—	1	—	—
犯人臓匿及證據湮滅の罪	2	2	1	—
放火及失火の罪	8	12	4	1
居住を侵す罪	3	3	1	—
阿片煙に關する罪	63	57	11	1
通貨僞造の罪	2	6	1	1
文書僞造の罪	19	25	22	—
有價證券僞造の罪	2	3	4	—
印章僞造の罪	5	3	2	—
僞證の罪	1	1	—	—
誣告の罪	11	11	1	—
猥褻姦淫及重婚の罪	15	11	12	—
賭博及富籤に關する罪	345	352	202	33
禮拜及墳墓に關する罪	3	3	—	—
瀆職の罪	1	2	2	—
殺人の罪	21	18	4	—
傷害の罪	182	170	53	1
過失傷害の罪	20	22	11	—
墮胎の罪	1	1	—	1
遺棄の罪	1	2	1	—
逮捕及監禁の罪	6	7	—	—
脅迫の罪	46	47	25	—
掠取及誘拐の罪	41	37	7	—
名譽に對する罪	3	3	2	—
信用及業務に對する罪	1	1	1	—
竊盜の罪	3,348	2,015	135	16
馬賊の罪	—	5	—	—
海賊の罪	5	5	—	—

檢　　舉（大正十年）

支那人 男	支那人 女	外國人 男	外國人 女	員 合計 男	員 合計 女	員 合計 計
1	—	—	—	1	—	1
1	—	—	—	1	—	1
3	—	—	—	4	—	4
9	—	—	—	13	1	14
2	—	—	—	3	—	3
65	2	—	—	76	3	79
6	—	—	—	7	1	8
7	—	—	—	29	—	29
4	—	—	—	5	—	5
1	—	—	—	3	—	3
3	—	—	—	3	—	3
10	—	—	—	11	—	11
7	1	—	—	19	1	20
1,145	12	—	—	1,347	45	1,392
4	—	—	—	4	—	4
—	—	—	—	2	—	2
18	—	—	—	22	—	22
201	2	1	—	255	3	258
26	—	—	—	37	—	37
—	1	—	—	—	1	1
1	1	—	—	2	1	3
7	—	—	—	9	—	9
34	1	—	—	59	1	60
36	4	—	—	43	4	47
3	—	—	—	5	—	5
—	1	—	—	1	—	1
1,521	1	3	—	1,662	17	1,679
9	—	—	—	9	—	9
13	—	—	—	13	—	13

罪名	犯罪件數	檢擧件數	人 日本人 男	人 日本人 女
强盜の罪	48	45	9	—
詐欺恐喝の罪	334	239	182	17
横領の罪	253	193	120	3
贓物に關する罪	60	58	1	—
毁棄及隱匿の罪	10	11	4	—
計	**4,861**	**3,372**	**818**	**73**
警察犯處罰令違反	900	900	81	4
刑法外の諸法令違反	4,246	4,247	400	187
計	**5,146**	**5,147**	**481**	**191**
總計	**10,007**	**8,519**	**1,299**	**264**
大正九年	9,156	7,413	1,439	234
大正八年	8,338	6,773	1,389	180

2 州外

罪名	犯罪件數	檢擧件數	人 日本人 男	人 日本人 女
公務の執行を妨害する罪	3	3	3	—
逃走の罪	1	2	—	—
犯人藏匿及證據湮滅の罪	3	3	3	2
放火及失火の罪	3	3	1	—
往來を妨害する罪	1	1	—	—
阿片煙に關する罪	390	392	38	11
通貨僞造の罪	16	17	10	—
文書僞造の罪	19	23	15	5
有價證券僞造の罪	6	5	3	—
印章僞造の罪	3	4	7	—

員						
支那人		外國人		合計		
男	女	男	女	男	女	計
55	—	—	—	64	—	64
83	2	—	—	265	19	284
103	—	—	—	223	3	226
63	—	—	—	64	—	64
11	—	—	—	15	—	15
3,454	27	4	—	4,276	100	4,376
745	—	—	—	826	4	830
3,669	96	—	—	4·069	283	4,352
4,414	96	—	—	4,895	287	5,182
7,868	123	4	—	9,171	387	9,558
5,901	51	16	—	7,356	285	7,641
5,405	20	12	—	6,806	200	7,006

員						
支那人		外國人		合計		
男	女	男	女	男	女	計
—	—	—	—	3	—	3
4	—	—	—	4	—	4
4	—	—	—	7	2	9
2	—	—	—	3	—	3
1	—	—	—	1	—	1
509	37	17	—	564	48	612
20	—	—	—	30	—	30
4	—	3	—	22	5	27
—	—	—	—	3	—	3
—	—	—	—	7	—	7

第四　司法

罪名	犯罪件數	檢擧件數	人	
			日本人	
			男	女
誣告の罪	5	5	—	—
猥褻姦淫及重婚の罪	4	3	3	—
賭博及富籤に關する罪	133	133	74	6
瀆職の罪	3	3	3	—
殺人の罪	21	11	6	—
傷害の罪	72	60	11	2
過失傷害の罪	3	3	2	1
騷擾の罪	2	2	13	—
脅迫の罪	3	3	1	—
掠取及誘拐の罪	9	11	1	—
信用及業務に對する罪	1	1	1	—
竊盜の罪	3,806	1,857	77	6
馬賊の罪	15	7	—	—
强盜の罪	137	115	2	—
詐欺恐喝の罪	171	167	59	2
横領の罪	151	142	51	6
贓物に關する罪	83	90	5	—
毀棄及隱匿の罪	8	8	4	—
計	**5,077**	**3,078**	**398**	**41**
警察犯處罰令違反	597	597	121	8
刑法外の諸法令違反	691	692	253	88
計	**1,288**	**1,289**	**374**	**96**
總計	**6,365**	**4,367**	**772**	**137**
大正九年	9,767	4,896	597	11
大正八年	6,080	3,843	640	124

員						
支那人		外國人		合計		
男	女	男	女	男	女	計
6	—	—	—	6	—	6
1	—	—	—	4	—	4
420	—	—	—	494	6	500
3	—	—	—	6	—	6
10	1	—	—	16	1	17
73	—	1	—	85	2	87
—	—	—	—	2	1	3
7	—	—	—	20	—	20
4	—	—	—	5	—	5
13	—	—	—	14	—	14
—	—	—	—	1	—	1
1,533	4	1	—	1,611	10	1,621
16	—	—	—	16	—	16
111	—	—	—	113	—	113
91	—	1	—	151	2	153
51	3	—	—	102	9	111
97	—	—	—	102	—	102
5	—	—	—	9	—	9
2,986	45	23	—	3,407	86	3,493
468	2	—	—	589	10	599
395	8	1	—	649	96	745
863	10	1	—	1,238	106	1,344
3,849	55	24	—	4,645	192	4,839
3,938	94	4	1	4,539	209	4,748
3,100	62	35	7	3,775	193	3,968

4. 監　　獄

關東廳監獄事務は明治三十八年六月滿洲軍總司令部の下に軍政署の警察事務の一部として處理したのが始めで翌三十九年九月一日都督府民政部内に監獄署を置き旅順に本監を大連に支署を金州に出張所を設置し其翌四十年地方法院出張所の廢止と同時に支署出張所を廢止し拘置人員は總て之を旅順本監に移し越いて四十一年十月監獄署は高等法院及地方法院に繫屬中の刑事被告人兩法院の判決に係る囚人及滿洲に於ける領事にて判決したる者の中其刑の執行を囑託せられた三月以上の禁錮又は懲役囚を拘禁する。尙ほ前記の如く地方法院の近く大連に移轉するため監獄も目下大連市外に新築しつゝあるから近く完成を見るであろう。

大正十年入出監人員

種別		日本人 男	日本人 女	支那人 男	支那人 女	外國人 男	外國人 女	計 男	計 女	計 計	大正九年 男	大正九年 女	大正九年 計
刑事被告人	前年より越	70	1	78	4	2	—	**150**	**5**	**155**	109	—	**109**
	入監	186	5	534	5	—	—	**720**	**10**	**730**	774	17	**791**
	出監	278	7	533	7	2	—	**813**	**14**	**827**	733	12	**745**
	現在	48	—	79	2	—	—	**127**	**2**	**129**	150	5	**155**
囚人	前年より越	220	4	221	6	2	—	**441**	**10**	**451**	383	9	**392**
	入監	177	3	301	4	—	—	**480**	**7**	**487**	614	6	**620**
	出監	209	5	215	4	—	—	**424**	**9**	**433**	556	5	**561**
	現在	188	2	307	6	2	—	**497**	**8**	**505**	441	10	**451**
留置人	前年より越	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	入監	3	—	8	—	—	—	**11**	—	**11**	—	—	—
	出監	1	—	5	—	—	—	**6**	—	**6**	—	—	—
	現在	2	—	3	—	—	—	**5**	—	**5**	—	—	—
合計	前年より越	**290**	**5**	**299**	**10**	**2**	—	**591**	**15**	**606**	**492**	**9**	**501**
	入監	**366**	**8**	**843**	**9**	**2**	—	**1,211**	**17**	**1,228**	**1,388**	**23**	**1,411**
	出監	**488**	**12**	**753**	**11**	**2**	—	**1,243**	**23**	**1,266**	**1,289**	**17**	**1,306**
	現在	**238**	**2**	**386**	**8**	**2**	—	**629**	**10**	**639**	**591**	**15**	**606**

(二)　支那側司法制度

支那の司法制度は我司法省に相當する司法部があつて大總統に直隷し民刑事非訟事件戸籍登記監獄及出獄人保護事務其他一切の全國司法行政を管理し地方に於ては省長道尹が司法行政の監督權を委任されて居る司法事務の實行機關たる裁判警察監獄等の各機關の概況は下の通りである。

1　審判及檢察機關

類　種

イ　大理院　中央に置く

ロ　高等審判廳　地方長官所在地に置く

ハ　地方審判廳　省内の首要地に配置す

而して以上の各廳には我檢査局に相當する總檢察廳高等檢察廳地方檢察廳が夫々配置されて居る。

ニ　大理分院　各省にして中央を距ること遠く或は交通不便なとき該省の高等審判廳内に設くることを得。

ホ　高等審判分廳　各省の地方廣きか或は其他不便の狀況に因り高等審判廳所管の地方審判廳内に設くることを得。

ヘ　地方審判分廳　各省に於て地方の狀況に因り設くることを得。

ト　高等審判分庭　省城を距る遠く交通不便な地方には高等分廳を設くる外必要の狀況に依り道署所在地に之を設くることを得。

チ　地方審判分庭　地方審判廳を既に設置して居る地方では附近の各縣に地方分庭を設くることを得る本分庭は何地方審判廳何縣分庭と稱し縣知事公署内に置く其管轄區域は縣區域と同一である。

以上の各廳には推事(我判事)の外檢察官(我檢事)が配置されてする。

1. 縣司法公署　法院未設の各縣には本公署を設置するを要する本公署は縣公署内に設け審判官と縣知事を以て組織し特に檢察官を配置せぬ之が爲め知事は司法事務に關して高等檢察廳檢察長の監督を受くるを要する。

2. 縣知事　事情に依り上の縣司法公署をも設け能はぬ縣に於ては縣知事に於て司法事務を兼理するのである。

管轄事項

イ　大理院　推事五名の合議制

第一、終審　(1)高等審判廳第二審判決に服せずして上告の案件

(2)高等審判廳の決定或は其命令に服せず法令に照して抗告の案件

第二、第一審並終審　法令に依り大理院の特別權限内に屬する件

ロ　高等審判廳　推事三名の合議制時に依り五名

(1)地方審判廳第一審の判決に服せずして控訴の案件(2)同じく第二審の判決に服せずして控告の案件(3)地方審判廳の決定或は其命令に服まず法令に照し抗告の案件

ハ　地方審判廳　第一審は推事一名第二審は三名

下記民事刑事訴訟事件及其他の非訟事件の管轄權を有す。

第一審　初級管轄に屬する案件及大理院の權限内に屬せざる案件

第二審　(1)初級管轄法庭の判決に服せずして控訴の案件(2)初級管轄法庭の決定或は其命令に服せず法令に照し抗告の案件

ニ　地方審判分庭

初級或は地方廳第一審の民刑案件は總て本分庭に於て受理する。

ホ　縣司法公署

初審民刑案件は事務の輕重を問はず總て本公署で管轄する。

滿洲に於ける審判及檢察廳の配置

イ　奉天省
- 高等審判廳及高等檢察廳(奉天)
- 地方審判廳及地方檢察廳(奉天、營口、安東、遼陽、錦縣、鐵嶺、洮南、海龍、遼源、復縣)

ロ　吉林省
- 高等審判廳及高等檢察廳(吉林)
- 地方審判廳及地方檢察廳(吉林、長春、延吉、濱江)
- 延吉地方審判廳同檢察廳分廳(琿春)

ハ　黑龍江省
- 高等審判廳及高等檢察廳(齊々哈爾)
- 地方審判廳及地方檢察廳(龍江、呼蘭)

東三省特別區域司法制度　支那は東支鐵道の行政權回收後訴訟上の便利上同鐵道附屬地一帶を東省特別區域として特種の法院編制條例を布いて居る。

卽ち哈爾賓に高等審判廳一處地方審判廳一處を設け鐵道沿線に地方分庭若干を設けて之に各檢察官を配置して居る高等及地方審判廳並分庭には司法部から外國人の諮議調査員を配置し且つ外國人の訴訟案件に關しては外國人辯護士の出庭を許すことになつて居る。

其他該法院編制條例に規定なき事項は法院編制法及其他の法令の規定に依るのである。

第五　軍事外交

(一)　日本側軍備

1 沿　　　革

日露戰後兩國間に締結された講和條約(明治三十八年九月)及同年十二月締結された日淸滿洲善後條約に依つて日露兩國は各自其鐵道沿線に一基に付十五名以內の兵を駐屯せしめ之れを守備することゝなつた依つて日本は滿鐵沿線及安奉線の本支線に鐵道守備隊六箇大隊と南滿駐屯派遣一箇師團とを駐むることなつて今日に至つて居る。

2 編　　　成

滿洲に於ける日本陸軍の最高機關は關東軍司令部で駐屯部隊は旅順要塞司令部駐箚師團、獨立守備隊、旅順重砲隊及關東憲兵隊、陸軍倉庫、衛戍病院等で此外陸軍運輸部大連出張所がある。

關東軍司令部　以前は關東都督府內に陸軍部があつて都督は陸軍大中將を以て親補し滿洲に於ける我民政及軍政の長官であつたが大正八年四月都督府廢せられ關東廳及關東軍司令部新に設置され玆に軍政は民政と獨立するに至つたのである。

關東軍司令官は陸軍大中將を以て親補し天皇に直隸し關東州及南滿洲に在る帝國陸軍諸部隊を統率し且關東州の防備及南滿洲に在る鐵道線路の保護に任する。軍司令官は軍政及人事に關しては陸軍大臣、作戰及動員計畫に關しては參謀總長、敎育に關しては敎育總監の區處を承くるのである軍司令部には下の各部がある。

1. 參謀部 } 幕僚
2. 副官部 }
3. 兵器部
4. 經理部
5. 軍醫部
6. 獸醫部
7. 法官部

參謀長は軍司令官を補佐し機務に參畫し命令の普及竝實施を監督し事務整理の責に任じ幕僚の各將校及同相當官は參謀長の指揮を承け分擔の事務を掌り兵器部以下の各部には部長を置き司令官に隸し部務を掌る。

駐箚師團　日露戰役の際野戰部隊に屬した師團中から戰後引續き滿洲に駐屯し爾後二年每に內地師團と交代する駐箚師團は若干の留守部隊

(輜重隊は全部)を殘置する外全師團駐屯する制で司令部は之を遼陽に置き各部隊は州內及南滿鐵道沿線の各地に屯在する。目下は第十五師團が駐屯して居るが大正十二年三月には第六師團と交代することになつて居る。

獨立守備隊 獨立守備隊は明治四十二年七月南滿洲鐵道守備の爲編成せられ司令部は之を公主嶺に置き其各大隊は普蘭店長春間及奉天安東間各地に屯在して鐵道の警備に當る守備隊は六箇大隊からなつて居る

旅順要塞司令部 司令部は關東軍司令官に隷し要塞の防禦計畫を擔任し要塞備付の兵器器具材料及防禦營造物を管理し軍需品の整備に任ずる。

旅順重砲兵大隊 關東軍司令官に直隷し旅順要塞の警備に當る。

關東憲兵隊 本部を旅順に置き其の各分隊は鐵道沿線各地に分駐し軍事警察事務に服す。

關東陸軍倉庫 滿洲駐劄陸軍諸部隊所要の糧秣被服陣營具衛生材料獸醫材料の貯藏調辨製造補給を掌る所で從來旅順に置き之が支庫を大連及鐵嶺に設けたが十年十二月大連を本庫とし旅順を支庫に改めた。

衛戍病院 所在地陸軍部隊の患者を收容治療し衛生材料を保管する所で軍人軍屬の旅行途中發病したものも收容治療することを得る。滿洲に於ては本院を旅順及遼陽に置き、分院を大連、瓦房店、大石橋、奉天、公主嶺等の各地に設けて居る。

衛戍監獄 軍法會議所在地に設くる。滿洲では旅順及遼陽にある。

3 北滿派遣隊の撤退

大正七年八月北滿の變に際し時の南滿駐劄師團たる第七師團が應急準備として出動以來種々其配備編成等に一時的の變遷があつたが大正八年四月第七師團と第十六師團の更代が行はれた時から駐劄師團の應急準備出動が廢されて單に旅團長の率ゆる一箇聯隊が北滿派遣隊なる特別編成のもとに東支鐵道沿線(一部を除く、主として南線及西線)に駐屯して居つた然るに我浦汐派遣軍の撤退と共に大正十一年月　　日全部原守備地に歸還し此處に北滿派遣隊は全く開散するに至つた。更に浦汐派遣軍の撤兵完了と共に尙殘留して居つた東支沿線の特殊部隊全部撤退し今や北滿には僅少の特務機關を除く外全く我一兵をも見ざるに至つた。

4 防　備　隊

海軍側としては初め旅順に鎭守府が設けられてあつたが後要港部に縮

少され今日に至つたところ十一年末に華府會議の決議により海軍縮少の實現に連れて遂に廢止さるるに至り今では單に防備隊が置かれてあるのみである。

(二) 支那側の軍備

1 軍政機關

支那に於ける陸軍を管理する最高長官は言ふまでもなく陸軍總長であるが地方軍政の長官は督軍である。但し東三省は從來巡閲使なるものを設けて督軍の上に置き軍政を統一して來たが昨年奉直戰以來中央との交涉斷絕の結果巡閲使は免ぜられたる儘で張作霖自ら保安總司令として其事務を取つて居る。中央からは別に督軍の任命を見たが赴任するものなく今日尙其儘となつて居る。

2 督　　　軍

一省の軍政長官で全省の軍務を督理する者である。督軍は上將若くは中將から特任されるが其の衙門は督軍公署で編制は槪ね下の通りである但し目下の東三省は前述のごとく例外で此督軍制度が癈されて保安總司令及同副司令に改められて居る。(別項參照)

督軍一名、參謀長一名、參謀四乃至六名、副官長一名、副官三乃至六名書記官二名、課長四名、課員若干名

課には四課ある。即ち軍務課、軍需課、軍法課、軍醫課である。

督軍は該管區内各地方の治安維持の爲め省長の請求に依り兵力を要するときは情況を酌量して兵を派遣して協助することを得る。但緊急の事變に遭遇したときは直接處置することを得るのである。

3 鎭　守　使

省内の重要地方に駐紮して其區域内の軍務を節制し地方警備彈壓に任ずる者で將官を以て之に充て大總統から簡派するのである。鎭守使は中央に直隷して督軍からは指遣を受くるのみであるが其職權等は頗る曖昧である。鎭守使には特に設置されたものと地方の旅長に兼任させるものとがあるが使署の編成は槪ね下の通りである。

鎭守使一名、參謀官一乃至三名、副官一乃至三名、軍需官一名、軍醫

官一名、法官一名、書記官二名

滿蒙に於ける鎭守使の配置は下の如くである。

奉天省	東邊鎭守使(鳳凰城)	洮遼鎭守使(洮南)
吉林省	吉長鎭守使(長春)	依蘭鎭守使(三姓)
	綏寧鎭守使(寧古塔)	延琿鎭守使(局子街)
	濱口鎭守使(哈爾賓)	
黑龍江省	黑河鎭守使(黑河)	呼倫貝爾鎭守使(海拉爾)
	綏海鎭守使(綏化)	安泰鎭守使(安　)
熱河特別區域	朝陽鎭守使(朝陽)	林西鎭守使(林西)
察哈爾特別區域	察東鎭守使(多倫諾爾)	察西鎭守使(　)

4 保安總司令

從來奉天督軍たる張作霖氏は同時に東三省の巡閲使であつたが昨年奉直戰後保安總司令となり吉林、黑龍江兩省の督軍は同副司令と變つた保安總司令公署の編成は未だ確定的のものではないが今では巡閲使時代の儘で卽ち下の如くである。

保安總司令
- 祕書處—祕書、密電
- 參謀處—參謀(3)
- 副官處—副官(3)監印
- 政務處—內務科、外交科(軍政に關する政務に限る)
- 軍需處—會計科、粮服科
- 軍醫處—醫務科、衞生科
- 軍法處—軍法官

以上の外顧問諮議(無定員)及憲兵司令、憲兵百乃至三百を置く處長は少將階級である。

5 兵備

兵備に就ては巡閲使や督軍制の變ると同時に師團制度も改められ目今に於ける東三省の陸軍は第一乃至第二十五の旅に改められた其新舊の對照と隊長とを示せば次の通りである。

新隊號	舊隊號	隊長名
第一旅	暫編奉天第一混成旅	闞朝璽

新隊號	舊隊號	隊長名
第二旅	同　第三混成旅	張學良
第三旅	奉天補充步兵第二旅	張宗昌
第四旅	同　第一旅	張作濤
第五旅	陸軍第二十七師第五十四旅	李振聲
第六旅	暫編奉天混成第八旅	郭松齡
第七旅	同　第十一旅	湯玉麟
第八旅	暫編吉林混成第六旅	末定
第九旅	同　第四旅	劉香九
第十旅	同　第三旅	于深澂
第十一旅	暫編黑龍江第三旅	巴英額
第十二旅	同奉天混成第十旅	逍恩臻
第十三旅	同吉林混成第二旅	丁超
第十四旅	同奉天混成第九旅	楊春生
第十五旅	陸軍第二十九師第五十七旅	萬福麟
第十六旅	暫編奉天混成第五旅	齊恩銘
第十七旅	同　黑龍江第二旅	張明九
第十八旅	同奉天混成第十九旅	張煥相
第十九旅	陸軍第二十七師第五十三旅	高維嶽
第二十旅	暫編吉林混成第一旅	胡永奎
第二十一旅	同　第五旅	蔡永鎭
第二十二旅	同　黑龍江混成第一旅	石得山
第二十三旅	同　奉軍年一師第二旅	李夾塏
第二十四旅	同　第一旅	裴春生
第二十五旅	暫編奉天混成第四旅	蔡平本
第一團	同　第三旅第三團	霽雲
第二團	黑龍江省督軍衛隊團	董書勛
第三團	暫編奉天混成第三旅第一團	劉維勇
第四團	同　吉林混成第五旅第一團	王隆魁
第五團	奉天補充第一旅第一團	袁永翔
第六團	暫編奉天第一師第二旅第四團	張憲

新隊號	舊隊號	隊長名
第七團	暫編吉林混成第二旅第一團	王樹棠
第八團	同 奉天混成第四旅第一團	于芷山
第九團	同 吉林混成第二旅第二團	劉煥章
第十團	同 奉天混成第五旅第二團	孫旭昌
第十一團	同 奉軍第一師第一旅第一團	胡毓坤
第十二團	同 吉林混成第三旅第一團	宗文俊
第十三團	同 吉林第一混成旅步兵團	伍永和
第十四團	同 吉林第二混成旅步兵獨立團	武漢卿
第十五團	同 奉天混成第一旅第一團	陳九芝
第十六團	同 吉林混成第七旅第一團	陳玉崑
第十七團	陸軍二十七師五十四旅第一〇七團	毋其祥
第十八團	暫編奉天混成第八旅第二團	劉振東
第十九團	吉林第十九旅第一團	劉价臣
第二十團	暫編黑龍江混成第三旅步兵團	張凱文
第二十一團	同 奉天混成第九旅第二團	李鴻文
第二十二團	同 第五旅第一團	趙芷登
第二十三團	同 奉天軍第一師第一旅第二團	竇聯芳
第二十四團	同 吉林混成第四旅第一團	王鳴章
第二十五團	同 奉天混成第八旅第一團	范浦江
第二十六團	同 吉林混成第五旅第二團	蘇德五
第二十七團	陸軍二七師第五十四旅第一〇八團	崔鳴山
第二十八團	奉天補充第二旅第二團	程國瑞
第二十九團	暫編吉林混成第二旅第三團	楊金聲
第三十團	陸軍二七師第五十三旅第一〇六團	劉 偉
第三十一團	暫編吉林混成第三旅第二團	李毓久
第三十二團	陸軍二十九師第五十七旅第二三團	李玉田
第三十三團	暫編奉天混成第九旅第一團	徐永和
第三十四團	吉林督軍署衛隊團	臧式毅
第三十五團	暫編奉天混成第十一旅第二團	傅程九
第三十六團	吉林第三旅獨立步兵團	徐士臣

新隊號	舊隊號	隊長名
第三十七團	暫編奉天混成第三旅第二團	張從雲
第三十八團	陸軍二十九師第五十七旅第二四團	梁忠甲
第三十九團	暫編奉天混成第三旅第二團	魏益三
第四十團	陸軍二十七師第五十三旅百五團	朱維先
第四十一團	奉天督軍衛隊團	欒雲奎
第四十二團	暫編吉林混成第四旅第二團	路永方
第四十三團	黑龍江第一旅步兵團	索景清
第四十四團	奉天補充第二旅第一團	許　崑
第四十五團	同　第一旅第一團	李玉文
第四十六團	暫編奉天混成第十旅第二團	朱九齡
第四十七團	同　奉軍第一師第二旅第二團	李世藩
第四十八團	同　奉天混成第八旅第三團	任治平
第四十九團	同　第一旅第二團	齊長勝
第五十團	同　第十旅第一團	溫瓊玉
第五十一團	黑龍江第二旅步兵團	闞海亭
第五十二團	吉林混成第十九旅第二團	柳士廉
第五十三團	奉天第一補充旅第二團	崇　山
第五十四團	暫編奉天混成旅第四旅第二團	丁吉春
	騎兵	
第一旅	奉天第一騎兵旅	穆　春
第二旅	黑龍江騎兵第二旅	張奎武
第三旅	奉天衛隊騎兵團	蘇錫麟
第四旅	黑龍江騎兵第一旅	彭金山
第五旅	黑龍江(二十九師)第五十八旅	陳輔陞
第一團	同　第三旅騎兵團	吳士傑
第二團	陸軍二十七師騎兵第二十七團	楊春芳
第三團	奉天獨立騎兵團	王永清
第四團	黑龍江第一旅騎兵團	李德義
第五團	奉軍騎兵旅第一團	于鳳來
第六團	奉軍衛隊旅第二團	彭振國

新隊號	舊隊號	隊長名
第七團	吉林第五旅騎兵團	李焱唐
第八團	黑龍江第五十八旅第二十五團	馬占三
第九團	奉軍第一師第一騎兵團	朱益淸
第十團	黑龍江第五十八旅二十六團	石青山
第十一團	吉林第二騎兵獨立團	楊過春
第十二團	陸軍第二十九師騎兵第二十九團	李冠英
第十三團	吉林第一騎兵獨立團	孫與武
第十四團	奉天獨立騎兵第二團	陳深
第十五團	奉天衞隊騎兵旅第一團	高金山
第十六團	黑龍江騎兵第一旅第二團	富春
第十七團	同　第一團	張殿九
第十八團	吉林混成第一旅騎兵團	王俊臣
第十九團	黑龍江第二旅第二團	季相送
第二十團	同　第二旅第一團	雋景彬
第二十一團	同	蕭顯揚
第二十二團		王德棟
第二十三團	奉天第九混成旅騎兵團	鍾萬福
	砲兵	
第一團	陸軍二十九師砲兵第二十九團	吳泰來
第二團	奉軍第一師砲兵師	馬瑞雲
第三團	陸軍第二十七師砲兵第二十七團	孟治田
第四團	奉天獨立砲兵團	卸作華
	工兵	
第一營	奉天第一師工兵營	赫文衡
第二營	吉林十九旅工輜混成營	柯文連
第三營	陸軍二十七師工兵營	馬龍圖
第四營	陸軍二十九師工兵營	程遠志
	輜重兵	
第一營	陸軍二十九師輜重二十九營	奕光元
第二營	奉軍第一師輜重營	玉賓

新隊號	舊隊號	隊長名
第三營	陸軍二十七師輜重第二十七營	陳德忠

尙右の外航空隊無線電信等も從來奉天混成第三旅長張學良指揮の下にありたるを今次之を擴張して獨立と爲すへき計畫であると。

(三) 蒙古の軍政

東部內蒙古の大部分を占める開放地には支那の軍隊を配置して省長又は都統が之を管理する。都統は行政の部で述べた如く特別區域の軍民兩行政の長官であつて軍政に關しては其職權は略督軍と同一であるから絮說を略する。

蒙古各旗は始め滿漢八旗に擬して軍政的に編成せられ其人民は齊しく男子十八歲から終身軍役の義務を有し全士皆兵の制であつたが星霜の推移と共に舊制は全く衰微して軍政的色彩は地を拂ひ舊軍政組織に於ける職員の所管事務は變じて地方官事務となり、只馬賊の橫行に備ふる等の爲め少數の新式訓練を施した軍隊を以て王府及旗境を護衞する旗があるに過ぎぬ要するに今や蒙古は軍政の言ふべきものがなきに至つたのである。

(四) 日本側外交機關

關東廳の涉外事務に關しては官制第四條に依り外務大臣の監督を受け廳內に外事部を置き部長一名外職員を置き各地駐在日本領事との聯絡を保ち奉天總領事を以て部長に充て南滿洲に駐在する領事は外事部事務官を兼ゆしむる事を得る樣定めてある。尙南滿洲鐵道株式會社は社內關係事項に關する涉外事務主として支那側との交涉事務處理の爲社長室に外事課を置き奉天、鄭家屯、吉林、哈爾賓、齊々哈爾及北京に公所を置き此方面の事務を掌らしめて居る滿蒙各地日本領事館配置併に管轄區域は下の如くである。

間島總領事館—局子街分館—頭道溝分館—琿春分館（總領事鈴木要太郎）

〔管轄區域〕 吉林省中延吉、和龍、汪淸、琿春各縣、奉天省中撫松、安圖各縣

安東領事館—通化分館(領事富田義詮)

〔管轄區域〕 奉天省中安東、鳳城、岫巖、莊河、寬甸、桓仁、興京、輯安、通化、臨江、長白各縣

奉天總領事館—新民府分館(總領事赤塚正助)

〔管轄區域〕 奉天省中瀋陽、撫松、本溪、新民、彰武、黑山各縣

鄭家屯領事館(領事池部政次)

〔管轄區域〕 奉天省中遼源、洮南、開通、洮安、安廣、鎭東、突泉、雙山、瞻榆各縣、達爾罕、博王、圖什業圖、札薩克圖、賓圖、蘇鄂公各旗

牛莊領事館(領事淸水八百一)

〔管轄區域〕 奉天省中營口、錦、盤山、北鎭、義、錦西、興城、綏中、海城、蓋平、復各縣

遼陽領事館(領事木島仙藏)

〔管轄區域〕 奉天省中遼陽、遼中、臺安各縣

鐵嶺領事館—掏鹿分館—海龍分館(領事岩村成允)

〔管轄區域〕 奉天省中鐵嶺、開原、柳河、輝南、海龍、東豐、西安、西豐、昌圖、康平、法庫各縣

長春領事館—農安分館(領事山崎平吉)

〔管轄區域〕 吉林省中長春、伊通、農安、長嶺、德惠各縣、奉天省中梨樹、懷德各縣

吉林總領事館(總領事堺與三吉)

〔管轄區域〕 吉林省中吉林、磐石、濛江、樺甸、雙陽、舒蘭、敦化、額穆各縣

哈爾賓總領事館(總領事山內四郞)

〔管轄區域〕 吉林省中扶餘、榆樹、雙城、濱江、五常、賓、同賓阿城、寧安、東寧、穆稜、依蘭、樺川、方正、密山饒河、虎林、同江、富錦、綏遠其他黑龍江省一部

齊々哈爾領事館(領事山崎誠一郞)

〔管轄區域〕 黑龍江省中哈爾賓總領事館管轄區域の殘部

滿洲里領事館(領事代理副領事田中文一郞)

〔管轄區域〕

赤峰領事館(領事北條太洋)

〔管轄區域〕 熱河都統の管轄に屬する地域

1 滿洲各地外國領事館

大連	米國領事館	領事	M. D. Kirjassoff.
	英國領事館	領事	W. B. Cunningham.
	露國領事館 丁抹領事館	領事	P. Vaskevich.
	瑞典領事館	名譽領事	W. B. Winning.
安東	米國領事館	領事代理 副領事	Dillard B. Lasseter.
牛莊	和蘭領事館	領事	Geo. Farmer.
	英國領事館	領事	H. H. Bristow.
奉天	英國總領事館	總領事	F. E. Wilkinson.
	米國總領事館	總領事	A. W. Pontius.
哈爾賓	英國領事館	領事	H. Porter.
	米國領事館	領事	Douglas Jenkins.
	佛國領事館	領事	Ch. Lepissier.
	伊國領事館	領事	P. Gibells.
	丁抹領事館	領事	V. Jacobsen.

2 滿蒙關係條約一覽

日本が滿蒙經營に任ずるに至れる根據は日露戰爭後に於ける對露支間の協約議定に基く事は謂ふまでもない。由來滿蒙の地は國際上列國關係の上に重大なる意義を有するに至つた。曩に露國が支那を擁して滿蒙に扶植した利權を繼承してその經營劃策に任じたる日本は對支の關係に於て外交上種々なる難問題に遭遇した。併し幸に數次の協商に依りて順次に確保し來れる優越なる地步は列國も亦認容する處である。今順を追ふて其等の締結されたる重要條約を擧ぐれば次の如くである。

露一支間

1. カシニー條約(露曆一千八百九十六年九月三十日)
2. 旅順大連灣租借に關する露淸條約(同一千八百九十八年三月三十日)
3. 同續約(同一千八百九十八年四月二十五日)
4. 遼東半島租借地境界議定書(同一千八百九十九年四月二十五日)

5. 東清鐵道會社設立に關する條約（同一千八百九十六年八月二十七日）
6. 同續約（同一千八百九十八年六月二十四日）
7. 東清鐵道會社條例（同一千八百九十六年十二月四日）
8. 同條例第一追加（同一千八百九十九年二月五日）
9. 東清鐵道會社の採炭契約（同一千九百七年八月十七日）
10. 東清鐵道會社吉林省內伐木契約（同一千九百七年八月十七日）
11. 吉林省內東清鐵道用地購買契約（同一千九百七年八月十七日）
12. 東清鐵道附屬地行政權問題に關する豫備協約（同一千九百九年四月二十七日）
13. 吉林省鑛山採掘に關する條約（同一千九百一年三月三日）
14. 同續約（日附不明）
15. 奉天省尾明礦山採礦章程（同一千九百二年一月二十二日）
16. 吉林新舊鑛務章程（同一千九百二年一月二十二日）
17. 義勝鑫公司遼陽以下十二箇處採鑛章程（同一千九百二年）
18. 吉林哈爾賓鐵路交涉總局改正章程（同一千九百一年七月五日）
19. 黑龍江鐵路交涉局改正章程（同一千九百二年一月一日）
20. 奉天省鐵路交涉局章程（同一千九百二年四月二十日）
21. 露淸密約（同一千九百一年二月）
22. 滿洲還附協約並附帶宣言（同一千九百二年三月二十六日）
23. 關外鐵道還附條約（同一千九百二年八月二十二日）
24. 牛莊港附還の件に關し在淸國露公使より慶親王宛書翰（同一千九百二年四月八日）
25. 露淸交涉に關す露國の最後通牒（同一千九百十一年二月）
26. 露蒙協約並附屬議定書（同一千九百十二年十月二十一日）
27. 蒙古に關する露支宣言並附屬公文（同一千九百十三年十一月五日）
28. 蒙古鐵道に關する露蒙協約（同一千九百十四年九月十七日）
29. 露支蒙協約並關係公文（同一千九百十五年五月二十五日）
30. 呼倫貝爾に關する露支條約（同一千九百十五年十一月六日）

日—露間

31. 日露講和條約並追加約款（一千九百五年九月五日）
32. 日露兩軍滿洲撤兵手續及鐵道線路引渡順序議定書並覺書（一千

九百五年十月三十日）
33. 寛城子停車場に關する日露協約（日附不明）
34. 第一回日露協約（一千九百七年七月三十日）
35. 第二回日露協約（一千九百十年七月四日）
36. 第三回日露協約（一千九百十六年七月三日）
37. 日露兩國間會社互認に關する協約（一九一一年六月二十三日）

日、英、米—支間

38. 日清滿洲善後條約竝附屬協定（一千九百五年十二月二十二日）
39. 營口還附に關する取極（一千九百六年十二月五日）
40. 大連海關設置竝內水汽船航行に關する協定（一千九百七年五月三十日）
(參考) 膠州灣租借地に於ける製造品に關する規則拔萃
關東州租借地稅關假規則
41. 安奉線改築に關する日清覺書（一千九百九年八月十九日）
42. 日淸間協約（一千九百九年九月四日）
(一)、滿洲に關する日清協約
(二)、間島に關する日清協約
43. 南滿洲及東部內蒙古に關する日支新條約竝關係公文（一千九百十五年五月二十五日）
44. 鄭家屯事件に關する取極（一千九百十七年一月二十二日）
45. 日支軍事協定竝協定趣旨及交換公文（一九一八年五月十六日）
46. 山海關牛莊鐵道借款契約（英淸）（一千八百九十八年十月十日）
47. 滿洲外國品課稅に關する交涉文（米淸）（一千九百九年二月）
附、吉黑官鹽輸送契約竝私鹽輸送取締に關する公文（一千九百十七年一月十七日）

日—米、佛、英間

48. 日米協約（一千九百八年十一月三十日）
49. 日米協商（一千九百十七年十一月二日）
50. 日佛協約竝宣言（一千九百七年六月十日）
51. 第三回日英同盟協約（一千九百十一年七月十三日）
52. 滿蒙に於ける他國の鐵道利權獲得計畫と日本帝國政府の聲明（一千九百十四年六月十三日）

英—露間

53. 清國鐵道に關する英露協商(一千八百九十九年四月二十八日)

(五) 中國側外交機關

中國では各省中外國と直接關係を有する省に外交部特派交渉員なるものを配置して居る。該交渉員の居る處は交渉署と稱し省城所在地に之を置く。特派交渉員は外交總長の命を受け全省の外交行政事務を辦理するものである。尙各省中外國關係ある主要商埠地には交渉員を配置し交渉分署と稱へる。交渉員は外交總長の命を受けて該地の外交行政事務を辦理する者である。而して特派交渉員は省長、交渉員は特派交渉員の監督を受くるのである。

特派交渉員及交渉員は專任のものと兼任のものとあるが寧ろ兼任の者が多く或は海關監督或は道尹等の兼任である。滿蒙に於ける之が配置は下の如くなつてゐる。

奉天省	奉天交渉署 營口交渉分署 安東交渉分署 遼源交渉分署
吉林省	吉林交渉署 長春交渉分署 哈爾賓交渉分署
黑龍江省	黑龍江交渉署 璦琿交渉分署 呼倫交渉分署
熱河特別區域	熱河交渉署

(六) 華府會議と滿蒙

一九二一年一一月一二日から華府に於て開催された所謂華府會議は極東殊に對中國に關係ある幾多の問題を論議したが其中滿蒙に直接關係を有するものに就て其概略を記述すれば下の如くである。

1 關稅改正問題

本問題は中國が關稅自主權恢復の前提として關稅率を一割二分五厘に引上げんことを要求したるもので大體中國の希望通り解決した。卽ち輸入稅率を現實五分に引上ることに決定した尙ほ之れがため上海に關稅會議を開催することになつたが此會議も昨年十月末には約審議を終つたが

ら近く實施を見るであろう從つて滿蒙も勿論此新税率を適用されるに至るは近いことである。因に新税率は海陸何れから入るものにも適用されるのである。

2　租借地還付問題

支那は曩きに巴里會議になしたると同樣の理由を以て華府會議に租借地の還付問題を提起した之れに對し英國は威海衞は放棄するも九龍は香港との軍事經濟上之れを放棄することが出來ないと聲明し日本は膠州灣は之を先きの聲明通り還付するも關東州は斷じて留保する旨を表明した。尙ほ佛國は他の列强が其租借地を還付せば廣州灣を放棄すると聲明したが結局之等各國の聲明に依つて原則として租借地は還付することとなり只特殊事情を有する日本の關東州と英國の九龍とが留保されることとなつて我旅大の地は從前通り何等變りなきことに決定した。

3　在支外國郵便局の撤退問題

本問題に對し各國は原則として撤廢案に贊成し日本の贊成を條件として一九二二年一月一日から實施することとなつたが日本は南滿洲に於て條約に基き設けたものを除外する事を條件として之れに贊成したため可決確定された然して昨年秋から日支郵便會議が北京に開かれ之れに關し細部の審議がなされたが其結果滿蒙で廢止される郵便局は牛莊、遼陽城內、奉天大西關、同大北門、鐵嶺西門、長春城內、吉林、哈爾賓、鳳凰城、安東舊市街の十局である。

4　在支外國軍警撤退問題

本問題は支那から外國軍隊を引揚ると治案維持に差支なきや否やを決定する爲め支那の要求により北京外交團と支那委員三名から成る委員會を組織して調査することに決定した尙此問題に關し日本は滿洲の撤兵は出來ぬ旨聲明して居るから前記委員會が開かれて此問題を調査審議するも滿洲の日本駐兵は特種の事情の起らぬ限り現狀の儘に置かれる事は明かである。

5　在支無線電信撤廢問題

本問題は（一）支那に於ける無電の用途は原則として官報に限る。（二）

支那の認容せる無電は其の規定せるものに限り取扱得る。(三)無承認のものは交通部の準備整ふと共に補償を條件として支那に引繼ぐ事。(四)租借地滿鐵附屬地及上海の佛租界に於ける無電に關し問題の生じた時は支那と關係國間とで審議すべきものと認める。(五)使用電波に對する協定をなすこと等が決議されたが尙滿蒙に關係のある第四項に關しては追加決議として各國から異議の出ない限り本會議で承認した門戶開放機會均等の主義に適合するものであると聲明された。

6　二十一個條問題と滿蒙投資優先權の放棄

支那は滿蒙に多大の關係ある二十一箇條約の廢止要求をなした米國委員は本問題に對し日支兩國間直接の解決を希望し次で山東問題解決迄延期を希望したが日本も此問題を審議することは極力反對したゝために會議中一時本問題は放置されて有つたが中途日本が下の聲明をなしたので解決した。

一、日本は南滿及東部內蒙古に於ける鐵道敷設の借款及同地方に於ける課稅を擔保とする借款に對する優先權を新國際借款團に提供する

二、日本は南滿に於ける政治、財政、軍事及警察に日本人顧問又は教官傭聘に關する日支取極めの優先權を主張しない。

三、一九一五年の日支條約中日本政府が最初提案の第五項は他日の交涉に讓ると留保せる件は撤回する。

右の中第一項は卽ち滿蒙投資優先權の放棄である。

7　東支鐵道問題

本問題に關しては(一)財政委員會の組織(二)運輸事項(三)沿線の警察事務等が審議されんとしたが支那委員の極力反對した處によつて遂に國際管理の討議に入らないで單に下の如き決議を見るに至つた。

露國の狀態が恢復する迄東支鐵道の利益增進及運轉改善のため從業員の選擇と能率增進資金の有利に使用されんことを要求する又支那以外の債權國は株主及債權者の利益のため同鐵道の義務履行の責任を追及する權利を考慮すること。尙此義務の履行不履行に關しては支那が責任を負ふべきことを今後主張するの權利を保管する。

華府會議に於ては以上諸問題の他尙種々の決議を見たが直接滿蒙に關係なきか又は一般的のもの等であるから之れを省略する。

第六　鐵　道

滿蒙に於ける既成鐵道中主要なるものは南滿洲鐵道、東支鐵道及び京奉鐵道の三で其他の四洮、吉長、京綏の三國有鐵道及び溪城、齊昂、通裕の三輕便鐵道は共に以上三大鐵道の支線の如き感がある。之等既成鐵道の總哩數は約二五〇〇哩であつて之れを日本の鐵道總延長一萬一千二百哩（臺灣、樺太、朝鮮を含む）に比しその面積の割に著しく劣つて居る。今滿蒙鐵道の總哩數を其面積と比較するときは約二五方里に一哩の割合となり、日本の三方里に一哩の割合に比すれば及ばざる事甚だ遠く、鐵道と文明は平行して進むものとすれば滿蒙を眞に開發して現在の日本と同程度たらしめる爲には尙ほ一萬七千餘哩の鐵道を要する事となる。然るに滿蒙に於ける未成鐵道の總延長は約三二〇〇哩で之れが全部開通した曉に於ても尙日本の現在鐵道總延長と相距る事頗る遠い狀態である。

前記三大鐵道概況を述ぶれば次の通りである。

南滿洲鐵道　滿洲の咽喉大連に起り南滿洲の中央を貫きて東北走し、長春に於て東支鐵道南部線と連絡する、別に奉天より南走して安東に至り朝鮮鐵道に合し遠く日本鐵道と連絡する安奉線があり、又旅順線撫順線、營口線等の各支線がある。

東支鐵道　北滿洲を横貫し、東はポグラニーチナヤに於て烏蘇里鐵道と連結し浦鹽に至るべく、北は滿洲里に於て後貝加爾鐵道に合し遠く歐露及び歐洲諸國に連絡する、南は南部線に依り南滿洲鐵道と連絡することは上述の通りである。

京奉鐵道　北京、奉天間の鐵道で、奉天に於て南滿洲鐵道に、天津に於て津浦鐵道に、北京に於て京漢鐵道と連絡し、營口線、通州線の支線があり支那本部と滿洲とを連絡する陸上唯一の交通機關である。

以上三鐵道は相依り相扶けて滿蒙鐵道の幹線を爲し、一は歐亞兩大陸を連結して世界交通上重要の役を勤め、一は滿蒙に於ける一大動脈として地方開發に貢献する所甚大である。

その他四洮鐵道は現在四平街鄭家屯間五四哩、鄭家屯白音他來間七二哩開通して居るが全線開通の上は滿鐵と相俟つて東蒙開發に資すべく、吉長鐵道は現在僅に七九哩、吉林省城と東支、南滿兩鐵道に連絡するに過ぎないが、吉會鐵道敷設せられ朝鮮の清會鐵道に連絡する曉には其全機能を發揮して經濟上重要な役目をなすであらう。

満　蒙　既　成

鐵道名	經營者	所在地	性質	起工	竣工
南満洲鐵道	南満洲鐵道株式會社	大連	日本經營	明治四十年五月	明治四十四年十一月
東支鐵道	東支鐵道會社	哈爾賓	露支合辨	明治三十年	明治三十四年一月
京奉鐵道	京奉鐵路管理局	天津	借款官辨	明治三十年	明治四十年
四洮鐵道	四洮鐵路工程局	四平街	借款官辨	大正五年四月	大正十年十二月(一部)
吉長鐵道	吉長鐵路管理局	長春	借款官辨	明治四十二年	大正元年
京綏鐵道	京綏鐵路管理局	北京	官辨	明治三十八年	大正十年五月
齊昂輕便鐵道	齊昂鐵路公司	齊々哈爾	官款商辨	明治四十年	明治四十年
溪城輕便鐵道	溪城鐵路公司通	本溪湖	商款商辨	大正二年八月	大正三年二月
通祐輕便鐵道	通祐輕便鐵道	天津	商款商辨	不明	大正五年五月

上記の既成鐵道に對し満蒙の地に於て計劃されて居る未成鐵道は約三二

満　蒙　未　成

鐵道名	性質	締約年月日
吉開鐵道	借款官辨	民國七年九月七日
長洮鐵道	借款官辨	同
洮熱鐵道	借款官辨	同
臨海鐵道	借款官辨	同
京熱鐵道	官款官辨	一
齊洮鐵道	借款官辨	一
吉會鐵道	借款官辨	民國七年六月十八日
賓黑鐵道	借款官辨	民國五年三月二十七日
蒙古縱斷鐵道		
天圖輕便鐵道	日支合辨	民國七年三月十六日

鐵道一覽表

軌間	區間	哩數 本線	支線	計	備考
48.5	長春—大連 奉天—安東	437,0	248,0	**685,0**	全線開業
50.0	滿洲里—ポクラニーチナヤ 哈爾賓—寬城子	920,0	147,0	**1067,0**	全線開業
48.5	北京—奉天	523.0	49,0	**572,0**	全線開業
48.5	四平街—通遼 鄭家屯—洮南	54,6	70,4	125,0	四平街通遼間未開通
48.5	長春—吉林	79.0	—	**79,0**	全線開業
48.5	北京—京綏	421,0	16,0	**437,0**	全線開業
48.5	齊々哈爾—昂々溪	18,0	—	**18,0**	全線開業
26.0	本溪湖—城廠	61,0	—	**61,0**	牛心臺城廠未開通
48.5	楊圈子—砂崗屯	18,5	—	**18,0**	全線開業

〇〇哩あるが今之を示せば下の如くである。

鐵道一覽表

締款國	距離	區間
日本	哩 233	吉林—海龍—開原
同	180	長春—洮南
同	470	洮南—赤峯—熱河
同	—	洮熱線の一端より海港に達する鐵道
一	140	北京—熱河
露國	160	齊々哈爾—洮南
日本	270	吉林—會寧
露國	658	哈爾賓—墨爾根—黑河、墨爾根—齊々哈爾
	1017	哈克圖—歸化城
	75	天寶山—圖們江

(一) 南滿洲鐵道株式會社

1 會社の沿革

會社の設立 明治三十七八年戰役の結果同三十八年ポーツマス條約第六條により長春以南の鐵道本支線及附帶の利權を繼承した(該戰役中我軍は軍事輸送の爲め安東奉天間に輕便鐵道を敷設した)之を經營する目的のため設立されたのが卽ち南滿洲鐵道株式會社である。

南滿洲鐵道株式會社は明治三十三年九月發布の法律第八七號(帝國臣民にして外國に於て鐵道を敷設し運輸業を營むために帝國內に設置する會社に就ては勅令を以て特別の規定を設くるを得る件)に據り明治三十九年六月七日の勅令を以て設立せられ同年七月十三日設立委員八〇名の任命があつた初め陸軍大將兒玉源太郞氏設立委員長に任命されたが同月二十四日病のため薨去されたので翌二十五日陸軍大將寺內正毅氏其の後任となり同年八月一日外務、大藏、遞信大臣から會社設立事務の件に關する命令を交付された、設立委員は前記の勅令と命令書に據つて事務を進め同月十八日遞信大臣から定款の認可を受け同年九月十日から十月五日迄に第一回の株式募集を終り十一月一日遞信大臣から會社設立の認可を得同二十六日創立總會を開き翌二十七日東京に本社を設置し設立委員長から一切の事務及財產目錄の引繼を受け同年十二月七日設立の登記を了した爾來開業の準備に從事すること四箇月明治四十年四月一日野戰鐵道提理部其他の官憲から鐵道其他の引繼を受け大連に本社事務所を設置し東京に支社を置くこととし業務を開始した。

政府命令の要旨 前記政府命令書の要旨は下の如くである。

イ 日淸條約附屬協約に依り下記鐵道の運輸業を營むべきこと(第一條)

大連長春間鐵道、南關嶺旅順間鐵道、大房身柳樹屯間鐵道、大石橋營口間鐵道、煙臺煙臺炭坑間鐵道、蘇家屯撫順間鐵道、奉天安東縣間鐵道

ロ 沿道主要停車場に旅客の宿泊食事及貨物の貯藏に必要なる諸般の設備並に線路の港灣に達する地點に於て水陸運輸の連絡に必要なる設備を爲すべきこと(第三條)

ハ 鐵道の便益の爲め下の附帶事業を營むことを得る(第四條)

鑛業殊に撫順及煙臺の炭礦採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地に於ける土地及家屋の經營、其他政府の許可を受けた營業

ニ　政府の認可を受け鐵道及附帶事業の用地内に於ける土木敎育衛生に關し必要なる施設を爲すべきこと（第五條）

ホ　上の經費を支辨する爲政府の認可を受けて鐵道及附帶事業の用地内の居住民に對し手數料を徴し其他必要なる費用の分賦を爲すことを得る（第六條）

ヘ　資本總額を二億圓とし内一億圓は政府の出資とし、政府の出資は鐵道と其附帶財産及撫順煙臺兩炭坑であること（第七、八條）

ト　政府の持株以外の株式は日淸兩國人から募集すべきこと（第十條）

チ　設立登記後十五箇年間六分の配當を政府で保證の件（第十一條）

リ　會社の社債に對する政府の利子及元金の拂保證の件（第十三條）

ヌ　政府は必要と認むる場合に於ては特別事情あるものに限り運賃低減を命じ且必要と認むるときは事業設備の新設變更を命ずることを得る（第二十三、二十四條）

歷代の主腦　尙創立當初より今日に至る迄の歷代主腦を擧ぐれば下の如くである。

總裁	男爵	後藤新平	自明治39.11.13至明治41.12.18
同		中村是公	自明治41.12.19至大正 2.12.18
同	工學博士	野村龍太郎	自大正 2.12.19至大正 3. 7.15
同	男爵	中村雄次郎	自大正 3. 7.15至大正 6. 7.31
理事長		國澤新兵衛	自大正 6. 7.31至大正 8. 4.11
社長	工學博士	野村龍太郎	自大正 8. 4.12至大正10. 5.31
同		早川千吉郎	自大正10. 5.31至大正11.10.14
同		川村竹治	自大正11.10.24至現今

會社監督關係の變遷　會社創立時より現今に至る迄會社監督關係の變遷を見るに下の如くである。

1. 遞信大臣所管時代

イ　遞信大臣直轄時代（創立から明治四十一年七月迄）

遞信大臣―次官―鐵道局長―會社

ロ　遞信大臣の下に關東廳を加へた時代（明治四十一年七月勅令第百七十九號に依り）

遞信大臣——(監理官)——會社
遞信大臣——(次官)——(鐵道局長)——會社
遞信大臣——(關東都督)——會社

2. 内閣總理大臣所管時代

イ　第一回鐵道院統理時代(明治四十一年十二月勅令第三百六號)

内閣總理大臣——(監理官)——會社
内閣總理大臣——(鐵道院總裁)—(副總裁)—(總務部長)(監理部)——會社
内閣總理大臣——(關東都督)——會社

ロ　拓殖局統理時代(明治四十四年八月勅令第二百二十八號に依り)

内閣總理大臣——(監理官)——會社
内閣總理大臣——(拓殖局總裁)—(副總裁)—(第二部長)——會社
内閣總理大臣——(關東都督)——會社

ハ　鐵道院拓殖局兩屬時代(大正二年五月勅令第七十四號)

内閣總理大臣——(監理官)——會社
内閣總理大臣——(拓殖局總裁)—(副總裁)—(第二部長)——會社
内閣總理大臣——(鐵道院總裁)—(副總裁)—(監督局長)——會社
内閣總理大臣——(關東都督)——會社

ニ　(第二回)鐵道院統理時代(大正二年六月勅令第百十二號に依り)

内閣總理大臣——(監理官)——會社
内閣總理大臣——(鐵道院總裁)—(副總裁)—(監督局長)——會社
内閣總理大臣——(關東都督)——會社

ホ　拓殖局統理時代(第二回で現行、大正六年七月勅令第七十三號)

内閣總理大臣——(監理官)——會社
内閣總理大臣——(拓殖局長官)—(次長)—(第一課長)——會社
内閣總理大臣——(關東都督)——會社
内閣總理大臣——(關東長官)——會社

ヘ　其後大正九年五月勅令第百四十四號同第百五十號發布され現今下の如き監督系統に至つた

内閣總理大臣——(南滿洲鐵道株式會社監理官)——會社
内閣總理大臣(鐵道及航路を除く)—拓殖局(外交及鐵道並航路を除く)—關東長官——會社
外務大臣(外交)——關東長官
鐵道大臣(鐵道及航路)——關東長官
監理官(鐵道省監督局長)——會社
朝鮮總督(委託業務)——會社

2　會社の組織

大正十一年末日に於ける會社の組織は下表の如くである。

南滿洲鐵道株式會社組織一覽

- 本　社
  - 社長室
    - 文書課—速記生養成所
    - 外事課
    - 人事課—見習學校
    - 社會課
    - 調査課
    - 交渉課
    - 建築課
    - 祕書役
    - 東亞經濟調査局—（東京）
      - 資料課
      - 編輯課
    - 紐育事務所
    - 各　公　所
    - 大連建築事務所
  - 參事
  - 運輸部
    - 庶務課—運輸從事員養成所
    - 旅客課—旅館—（各ヤマトホテル）
    - 貨物課—哈爾賓運輸營業所
    - 運轉課
    - 線路課
      - 大連電氣修繕場
      - 蘇家屯木材防腐場
    - 機械課—遼陽工場
    - 京城管理局
      - 庶務課
      - 營業課
      - 運轉課
        - 各　驛
        - 各旅館
        - 各機關區
        - 各列車區
      - 保線課
      - 建設課
      - 機械課
      - 經理課
      - 淸津出張所
      - 各工務事務所
      - 各　工　場｛草梁、大田、龍山、平壤、元山、城津｝
      - 京城鐵道學校
    - 各運輸事務所｛大連、奉天、長春｝
      - 各　驛
      - 各機關區
      - 各列車區
    - 埠頭事務所
      - 庶務課
      - 陸運課
      - 海運課
      - 車務課
      - 上海支所
    - 沙河口工場
      - 庶　務　課
      - 設　計　課
      - 第一作業課
      - 第二作業課
      - 會　計　課
    - 各工務事務所｛大連、鞍山、奉天、長春、安東｝
    - 大連築港事務所
  - 庶務課
  - 土木課

重　役

社長	川村　竹治
理事	島　安次郎
〃	久保　要藏
〃	中川　健藏
〃	松岡　洋右
〃	大藏　公望
〃	赤羽　克巳
〃	森　俊六郎
監事	河上　謹一
〃	馬越　恭平
〃	大橋新太郎
〃	小山　健三

- 地方部
  - 學務課
    - 教育研究所
    - 奉天圖書館
    - 其他圖書館
    - 奉天中學校
    - 南滿中學堂
    - 各高等女學校
    - 各商業學校
    - 撫順簡易鑛山學校
    - 各小學校
    - 各幼稚園
    - 各家政女學校
    - 各實業補習學校
    - 各公學堂
    - 各日語學堂
  - 衞生課—各醫院
  - 農務課
  - 各地方事務所
    - 瓦房店、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、長春、本溪湖、安東
  - 農事試驗場—（公主嶺、熊岳城分場）
  - 大連醫院—沙河口分院
  - 滿洲醫科大學 奉天—奉天醫院城內分院
  - 南滿醫學堂
  - 南滿洲工業專門學校
  - 南滿洲工業學校
  - 大連圖書館—圖書館—大連所在各圖書館
- 興業部
  - 鑛務課
  - 商工課
    - 各出張所
  - 販賣課
    - 各貯炭場事務所
  - 撫順炭礦
    - 庶務部
      - 庶務課
      - 會計課
      - 用度課
      - 運炭課
    - 鑛務部
      - 鑛務課
      - 各採炭所
    - 工作部
      - 機械課
      - 工業課
      - 土木課
  - 鞍山製鐵所
    - 庶務課
    - 經理課
    - 製造課
    - 工務課
  - 地質調查所
  - 中央試驗所
    - 試驗課
    - 研究課
  - 窯業試驗工場
  - 大連電氣作業所—各電燈營業所
  - 大連瓦斯作業所—瓦斯營業所
- 經理部
  - 主計課
  - 會計課
  - 用度課
  - 大阪事務所
- 東京支社
  - 庶務課
  - 經理課
  - 運輸課—鮮滿案內所

2 從事員

満鐵從事員表 （大正十一年三月末日現在）

部	所屬	職員	雇員	囑託	傭員 日本人	傭員 中國人	計	給料月額
社長室	重役	—	—	—	—	—	11	円 —
社長室	社長室	39	1	1	2	—	43	8,843
社長室	各課	164	104	17	113	34	432	35,341
社長室	消費組合	48	80	1	189	82	400	22,004
社長室	東亞經濟調査局	15	2	—	6	—	23	2,203
社長室	紐育事務所	7	—	—	—	—	7	1,284
社長室	各公所	27	8	2	6	31	74	5,200
社長室	建築事務所	18	24	—	73	23	138	10,530
社長室	非役	15	60	—	—	—	75	3,833
運輸部	本部及各課	295	190	12	108	32	637	55,252
運輸部	運輸事務所 各事務所	85	82	1	39	3	210	15‘832
運輸部	運輸事務所 各驛	423	859	—	1,269	1,119	3,670	180,893
運輸部	運輸事務所 各機關區	419	867	—	932	1,094	3,312	177,996
運輸部	運輸事務所 各列車區	51	451	—	91	40	633	34,680
運輸部	各ホテル	26	34	1	260	143	464	21,690
運輸部	埠頭事務所	271	488	—	633	448	1,840	100,576
運輸部	各工場	130	132	—	1,812	1,926	4,000	225,046
運輸部	各工務事務所	177	171	—	1,268	1,903	3,519	161,730
運輸部	築港事務所	43	18	—	236	159	456	27,583
運輸部	非役	22	174	—	—	—	196	9,932
地方部	本部及各課	128	69	1	28	39	265	22,047
地方部	各地方事務所	123	136	1	178	248	686	34,917
地方部	農事試驗場	31	18	—	19	20	88	6,153
地方部	各醫院	267	106	4	634	319	1,330	81,901
地方部	教育研究所	12	4	1	5	2	24	2,238
地方部	南滿醫學堂	40	7	—	16	17	80	9,802
地方部	各學校	394	124	25	82	100	725	47,824
地方部	各圖書館	13	36	3	24	19	95	4,774
地方部	非役	14	6	—	—	—	20	1,456
興業部	本部及各課	92	85	—	72	308	557	23,788
興業部	撫順炭礦	414	360	3	2,328	4,678	7,783	334,498
興業部	鞍山製鐵所	123	107	—	689	984	1,903	89.082
興業部	地質調査所	12	8	—	2	1	23	2,300
興業部	中央試驗所	33	13	—	28	16	90	7,443
興業部	窯業試驗場	18	12	1	48	103	182	9,275
興業部	電氣作業所	107	137	—	585	569	1,398	66,695
興業部	瓦斯作業所	17	22	—	75	80	194	9,563
興業部	非役	20	33	—	—	—	53	3,156
經理部	本部及各課	149	138	—	181	217	685	38,537
經理部	大阪事務所	6	3	—	5	—	14	1,117
經理部	非役	3	8	—	—	—	11	590
東京支社		25	12	2	23	—	62	5,708
計		4,316	5,189	76	12,059	14,757	36,397	2,042,567

重役の人員及手當額は計に算入せす　本表各課所別の給料月額は職雇

員は本俸額を記載したもので合計に於ては在勤手當を本社所在地たる大連市を以て便宜算出記載 大正七年及同八年給料中には在勤手當及戰時特別手當を含む｜中國人傭員の給料は大正八年十一月十六日より從來の金建制を小洋銀建制に改正し金に換算して支給することさした。

重役其他主なる職員

重役	社長	川村竹治	理事	島安次郎
	理事	久保要藏	理事	中川健藏
	理事	松岡洋右	理事	大藏公望
	理事	赤羽克巳	理事	森俊六郎
	監事	河上謹一	監事	馬越恭平
	監事	大橋新太郎	監事	小山健三
參事	遠藤藤吉	三本武吉	安藤又三郎	
	藤根壽吉	佐田弘次郎	竹中政一	
	古仁所豐	木村豐		
社長室	文書課長	山西恒郎		
	外事課長	入江正太郎		
	人事課長	小倉鐸二		
	社會課長	牧野虎次		
	交通課長 (不在中代理	藤根壽吉 遠藤藤吉)		
	建築課長	小野木孝治		
	調査課長 (不在中代理	石川鐵雄 古仁所豐)		
	東亞經濟調査局主事 (不在中代理	永雄策郎 大川周明)		
	紐育事務所長	田村羊三		
	奉天公所長	鎌田彌助		
	哈爾賓公所長	古澤幸吉		
	鄭家屯公所長	小川清		
	北京公所長	牛島吉郎		
	吉林公所長	奥村愼次		
	齊々哈爾公所長	早川正雄		
	大連建築事務所長	弓削鹿次郎		

地方部 部長 田邊敏行

庶務課長	井下多美雄
土木課長	加藤與之助
學務課長	保々隆矣
(不在中代理	法貴慶次郎)
衛生課長	鶴見三三
農務課長	楞内壬五郎
滿洲醫科大學長	稻葉逸好
南滿醫學堂長	
南滿洲工業專門學校長	今景彥
大連圖書館長	神田城太郎
大連醫院長	尾見薰
農事試驗場長	神田勝亥
瓦房店地方事務所長	畠野正庸
大石橋地方事務所長	佐々山義山
遼陽地方事務所長	矢留文雄
奉天地方事務所長	島崎好直
鐵嶺地方事務所長	石崎賴久
開原地方事務所長	神保太市
四平街地方事務所長	田崎義友
公主嶺地方事務所長	妻木隆三
長春地方事務所長	井上信翁
本溪湖地方事務所長	島田好
安東地方事務所長	山中繁雄

興業部 部長 和田敬三

鑛務課長	和田敬三
商工課長	向坊盛一郎
販賣課長	武部治右衛門
撫順炭礦長	田島猶吉
同 庶務部長	
同 會計課長	三宅亮三郎
同 庶務課長	橫川安三郎
同 用度課長	大垣研
同 運炭課長	桑原義三郎
同 鑛務部長	福田政記
同 鑛務課長	
同 工作部長	荒井綠
同 土木課長	

撫順機械課長	國松綠
同　工業課長	岡村金藏
鞍山製鐵所長	岡虎太郎
同　庶務課長	橫田多喜助
同　經理課長	矢野端
同　製造課長	鈴木庸生
同　工務課長	足立祐一
地質調查所長	木戶忠太郎
中央試驗所長 同　研究課長	齋藤賢道
同　試驗課長	中尾萬三
窯業試驗工場長	平野耕輔
電氣作業所長	出原佃
瓦斯作業所長	富次素平

運輸部　部長　梅野實

庶務課長	岩田熊次郎
旅客課長	築島信司
貨物課長	宇佐美寬爾
運轉課長	小倉亨
線路課長	根橋禎二
機械課長	武村清
遼陽工場長	山崎忠直
大連運輸事務所長	和田九市
奉天運輸事務所長	大藪鉦太郎
長春運輸事務所長	羽田公司
埠頭事務所長	貝瀨謹吾
埠頭庶務課長	市川數造
埠頭陸運課長	高橋仁一
埠頭海運課長	內丸勇
埠頭車務課長	高尾秀市
沙河口工場長	橫井實郎
同　庶務課長 同　會計課長	栗村平三郎
同　設計課長	原正年
同　第一作業課長	松尾勘六
同　第二作業課長	松尾勘六
大連工務事務所長	福田稔

	鞍山工務事務所長	大西　淸
	奉天工務事務所長	加賀種二
	長春工務事務所長	池田勝藏
	安東工務事務所長	上山武熊
	築港事務所長	鳥取末治郎
	庶務課長、經理課長	大内　要
	營業課長	岡田亮之
	運轉課長	佐藤三郎
京城管理局	保線課長	石川眞之
	建設課長	中野　深
	機械課長	黑澤明九郎
	草梁工務事務所長	丸山忠市
	大田工務事務所長	永屋爲雄
	龍山工務事務所長	富田哲造
	平壤工務事務所長	江木貴一郎
	元山工務事務所長	岡　俊雄
	城津工務事務所長	松田一雄
	草梁工場長	池田重治
	龍山工場長	大澤次三郎
	平壤工場長	林部　源
經理部　部長　小林精實	主計課長	小林精實
	會計課長	中島亮作
	用度課長	白濱多次郎
東京支社	支社長	木部守一
	同　運輸課長	井上致也
	同　庶務課長	大和田　勇
	同　經理課長	

3　當會社の狀態

資本

	金額	株數（一株金百圓）
資本金總額	円 440,000,000	四百四十萬株

	金額	株數（一株金百圓）
內／增資前	200,000,000円	二百萬株
內／增資後	240,000,000	二百四十萬株
日本政府持株／增資前（財產出資）	100,000,000	百萬株
日本政府持株／增資後（引受株式）	120,000,000	百二十萬株
日本政府持株／計	**220,000,000**	二百二十萬株
一般募集株式	**220,000,000**	二百二十萬株
募集濟株式／第一回	20,000,000	二十萬株
募集濟株式／第二回	40,000,000	四十萬株
募集濟株式／第三回	20,000,000	二十萬株
募集濟株式／第四回	80,000,000	八十萬株
募集濟株式／計	**160,000,000**	百六十萬株
募集未濟株式	**60,000,000**	六十萬株
拂込濟株金／日本政府持株／財產出資	100,000,000	—
拂込濟株金／日本政府持株／引受株式	117,156,000	—
拂込濟株金／第一回募集株式	20,000,000	—
拂込濟株金／第二回同	40,000,000	—
拂込濟株金／第三回同	20,000,000	—
拂込濟株金／第四回同	24,000,000	—
拂込濟株金／計	**321,156,000**	—
拂込未濟株金／日本政府引受株式	2,844,000	—
拂込未濟株金／第四回募集株式	56,000,000	—
拂込未濟株金／計	**85,844,000**	大正十一年八月末日現在

社債

外國債

	募集の日	發行總額	發行價額	年利率	償還期限
	年 月 日				大正 年 月 日
第一次	40 7 19	四百萬磅	九十七磅	五 朱	21 7 19
					明治
第二次	41 6 1	二百萬磅	九十八磅	五 朱	44 6 1
					大正(償還濟)
第三次	41 12 6	二百萬磅	九十七磅半	五 朱	21 7 23
第四次	44 1 3	六百萬磅	九十八磅	四朱五厘	25 1 1

以上の內第二次分二百萬磅は旣に償還を了し殘額千二百萬磅（日貨換算額一億千七百十五萬六千圓）は大正九年八月三日法律第三十四號に基き同年十二月一日日本帝國政府に於て其の元利支拂の義務を繼承した。

內國債

	募集の日	發行總額	發行價額	年利率	償還期限
	年 月 日				大正年 月 日
第五次	6 8 1	五百七十萬圓	百 圓	六 朱	21 7 31
第六次	6 10 22	四百五十萬圓	九十一圓五十錢	五 朱	36 10 21
第七次	7 5 15	九百八十萬圓	九十六圓五十錢	六 朱	22 5 14
第八次	8 7 21	二千萬圓	九十三圓五十錢	六 朱	23 7 20
第九次	8 12 5	三千萬圓	(現金應募九十七円五十錢 英債乘換九十七円二十五錢)	六 朱	11 12 1
第十次	9 3 1	千萬圓	九十七圓	六 朱	12 8 31
第十一次	9 8 20	千五百萬圓	九十五圓	七 朱	12 8 20
第十二次	9 9 30	千萬圓	九十五圓	七 朱	12 9 1
第十三次	9 11 10	千五百萬圓	九十五圓	七 朱	13 11 10
第十四次	10 2 20	二千五百萬圓	九十六圓	七 朱	15 2 20
第十五次	10 8 1	三千萬圓	九十七圓	七 朱	17 8 1
第十六次	11 9 15	二千萬圓	九十六圓五十錢	七 朱	14 9 15
第十七次	11 11 1	三千萬圓	現金應募九十四圓五十錢第九次乘換百圓	七 朱	16 5 1

大正十一年十一月一日現在額一億九千五百萬圓

興業費 滿鐵の事業中主たるものは勿論鐵道業であるが尙其他各種の事業をなし頗る廣汎に亙つて居る。之等事業に投下した資本は會社創立時より大正十年度(大正十一年三月末)に至る迄實に累計四億七千四百四十四萬三千餘圓に達して居るが今之れ等を各事業別に示せば下の如くである。

興業費事業別表

事業別	大正十年度迄累計	百分比	事業別	大正十年度迄累計	百分比
鐵道	178,847,524	37,7	電氣	13,607,787	2,6
工場	11,304,109	2,4	瓦斯	3,449,941	0,7
船舶	3,301,689	0,7	旅館	2,317,195	0,5
港灣	34,709,996	7,3	地方施設	35,995,386	7,6
鑛山	105,636,241	24,4	雜施設	41,368,145	8,7
製鐵業	33,905,767	7,1	計	474,443,769	100,0

營業收支 營業狀態は逐年盛況を示し大正十年度に於ては創業時に比し實に十倍の增加を見るに至つた。今大正十年度成績竝に累年比較を見るに下の如くである。

種別	收入	支出(含總體費)	損益	百分比例 收入	百分比例 支出
鐵道	円 78,204,132	円 33,172,717	円 45,031,416	53,2	28,7
船舶	555,633	810,556	損 254,923	0,4	0,7
港灣	7,580,560	6,911,904	668,656	5,2	6,
鑛業	40,004,029	36,708,108	3,295,921	27,2	31,7
製鐵所	3,606,999	6,480,725	損 2,873,726	2,5	5,6
電氣	4,297,283	3,483,512	813,771	2,9	3,0
瓦斯	827,422	537,501	289,920	0,6	0,5
旅館	1,085,933	1,305,093	損 219,159	0,7	1,1
地方	3,954,461	10,386,002	損 6,431,539	2,7	9,0
雜損益	2,861,440	465,975	2,395,465	1,9	0,4
收入利息	3,819,491	—	3,819,491	2,6	—

種別	收入	支出(含總體費)	損益	百分比例	
				收入	支出
社債利息	—	10,584,861	損 10,584,861	—	9,1
支拂雜利息	—	2,682,987	損 2,682,987	—	2,3
社債發行差額塡補金	—	2,184,522	損 2,184,522	—	1,9
朝鮮線益金	303,218	—	303,218	0,2	—
計	147,100,603	115,714,464	31,386,139	100,0	100,0

圓以下四捨五入の爲計に符合せさるものあり。

營業收支累年比較表

年度別	收入	支出	損益	收入100に付き支出
明治四十年度	12,543,115,766	10,526,530,531	2,016,585,235	84
同 四十一年度	17,615,682,702	15,502,101,113	2,113,581,589	88
同 四十二年度	23,113,933,255	17,342,234,371	5,771,698,884	75
同 四十三年度	24,777,684,505	21,069,368,240	3,708,316,265	85
同 四十四年度	28,155,080,192	24,487,652,484	3,667,427,708	87
大正元年度	33,546,477,390	28,620,432,681	4,926,044,709	85
大正二年度	42,417,123,427	35,249,844,423	7,167,279,004	83
大正三年度	44,670,616,355	37,129,524,993	7,541,091,362	83
大正四年度	43,786,025,769	35,705,525,772	8,080,499,997	82
大正五年度	52,402,408,447	42,294,801,674	10,107,608,773	81
大正六年度	69,429,252,448	54,503,610,530	14,925,643,918	79
大正七年度	96,257,878,607	74,064,706,191	22,193,171,416	77
大正八年度	153,133,387,090	128,758,423,846	24,374,964,244	84
大正九年度	174,738,287,487	147,346,303,860	27,391,985,627	84
大正十年度	147,100,603	115,714,464	31,386,139	79

利益配當 會社利益金の處分方法は積立金株主配當、役員賞與及六月一日現在の株主名簿により之れを拂渡 、毎年度に於ける利益配當ら十五週年間日本政府から補給されるこさ なつて居る。但し其補給額會社は政府から前記の補給金を受ける間 營業年度經過前一回を限り年三分に當る金額を配當する。但し爾後株 主の異動に拘らず六月一日現利益金が一般株主に對し年六分の配當を なし且つ社債利子を支拂ひ尙迄之を政府持株に配當する但し株主の拂込 に對し年六分の割合を超過政府持株に對する利益配當が年四分三厘 の割合に達したさきは一般株すことを得る。創業以來大正八年度に至る 迄の利益配當表を示せば下の

累 年 利 益

年度	利益金	前年度繰越金	計	配	
				法定積立金	政府配當金
營業開始前	円 454,118	円 —	円 454,118	円 22,706	円 —
明治四十年度	2,016,585	383,741	2,400,326	100,829	—
四十一年度	2,113,582	1,602,497	3,716,078	105,679	—
四十二年度	5,771,699	1,803,399	7,575,098	288,585	2,500,000
四十三年度	3,708,316	2,316,513	6,024,829	185,416	1,500,000
四十四年度	3,667,428	2,465,414	6,132,841	183,371	1,800,000
大正元年度	4,926,045	2,311,470	7,237,515	246,302	2,000,000
二年度	7,167,279	2,151,212	9,318,491	358,364	2,500,000
三年度	7,541,091	2,625,296	10,166,387	377,055	2,500,000
四年度	8,080,499	2,560,999	10,641,498	404,025	2,500,000
五年度	10,107,608	2,857,473	12,965,081	505,380	2,500,000
六年度	14,925,643	4,759,701	19,685,343	746,282	2,500,000
七年度	22,193,171	7,905,728	30,098,899	1,109,659	3,500,000
八年度	24,374,964	7,819,241	32,194,205	1,218,748	3,500,000
九年度	27,391,985	8,148,790	35,540,775	1,369,599	5,445,903
十年度	31,386,139	7,187,602	38,573,740	1,569,307	9,337,708

交際費等に當て殘餘は次年度に繰越すこととなつて居る。株主配當金は
が一般株主の拂込金に對し年六分の割合に達せざる時は設立登記の日か
は如何なる場合と雖も株主拂込金に對し年六分の割合を超過しない。
政府以外の株主に對し毎年二月一日現在の株主名簿により其拂込金額の
在の株主名簿による利益配當金は本項の金額を控除したる殘額とす。
殘餘あるときは該殘餘額を總株式の各拂込高に對し配當割合均一に至る
せざる時は政府持株に對して配當する必要はない。
主の拂込金に對し年四分の割合を超過せざる範圍内に於て第二配當をな
如くである。

配　當　表

			當			
政府以外株主配當金	同上第二配當金	特別積立金	社債償還積立金	役員賞與及交際費	退職役員慰勞金	翌年度繰越金
6% 47,671円	—円	—円	—円	—円	—円	383,741円
〃 120,000	—	400,000	—	177,000	—	1,602,497
〃 120,000	—	1,500,000	—	187,000	—	1,803,399
〃 120,000	—	2,000,000	—	350,000	—	2,316,513
〃 120,000	—	1,500,000	—	254,000	—	2,465,414
〃 120,000	—	1,500,000	—	218,000	—	2,311,470
〃 540,000	—	2,000,000	—	300,000	—	2,151,212
〃 1,058,427	1% 176,405	2,000,000	—	300,000	300,000	2,625.296
〃 1,420 000	2% 473,333	2,500,000	—	300,000	35,000	2,560,999
〃 1,560,000	〃 520,000	2,500,000	—	300,000	—	2,857,473
〃 1,800,000	〃 600,000	2,500,000	—	300,000	—	4,759,701
〃 2,380,000	〃 793,333	5,000,000	—	300,000	60,000	7,905,728
〃 3,120,000	4% 2,080,000	5,000,000	7,000,000	300,000	170,000	7,819,241
〃 3,970,000	〃 2,646,667	5,000,000	7,000,000	500,000	210,000	8,148,790
〃 5,332,603	〃 3,555,068	5,000,000	7,000,000	500,000	150,000	7,187,602
〃 5,520,000	〃 3,680,000	5,000,000	7,000,000	500,000	265,000	5,701,725

4　會社の事業

鐵道營業哩　會社所有の鐵道は大連長春間本支線438.5哩に安奉線161.4哩を加へて686哩の延長を有す今主要驛の哩數を示せば下の如くである

營業線路　　　　　　（大正十一年三月末日現在）

線別	主要驛名	驛間哩	延長哩	線別	主要驛名	驛間哩	延長哩
		哩分	哩分			哩分	哩分
	起點(埠頭)	—	0.0		四平街	36.8	365.8
	大連	1.8	1.8		公主嶺	33.3	399.1
	金州	20.1	21.9		長春	38.5	437.6
本	普蘭店	27.8		線	旅順	(自大連) 37.1	(自分岐點) 28.9
	瓦房店	17.3	49.7		營口	(自大石橋) 13.9	(自大石橋) 13.9
	得利寺	11.9	67.0		撫順	(自蘇家屯) 30.9	(自蘇家屯) 30.8
	熊岳城	33.6	78.9		計	—	**524,3**
	蓋平	19.5	112.5		安東	—	0.0
	大石橋	18.6	132.0		沙河鎭	2.0	2.0
	海城	19.9	150.6	安	鷄冠山	47.8	49.8
	湯崗子	13.2	170.5		草河口	30.1	79.9
	鞍山	9.1	183.7	奉	橋頭	33.5	113.4
	遼陽	15.4	192.8		本溪湖	9.7	123.1
	蘇家屯	30.3	208.2	線	石橋子	11.9	135.0
	奉天	9.7	248.2		蘇家屯	26.7	161.7
	鐵嶺	44.4	292.6		計	—	**161.7**
	開原	20.8	313.4				
	昌圖	19.3	332.7	合計		—	**686.02**

本表の外本線には煙臺炭坑枝線9哩7分、渾榆聯絡線2哩5分、寬城子聯絡線0哩6分がある

鐵道建設費　東支鐵道時代の長春大連間鐵道は軌間五呎なりしを我軍の占領と同時に之れを三呎六吋に改めた會社は繼承設置に之れを四呎六吋半に改めて明治四十一年五月に竣工した。又戰役中我軍の敷設した安奉線の二呎六吋の輕便鐵道は同四十二年八月から改良工事に從つて同四十四年十一月四呎八吋半の廣軌に改められた。爾來鐵道諸工物車輛類の建設及改良工事には多大の費用を掛け今日では設備萬端に於て世界で有樞の狀態を示して居る。大正九年度末に於ける之等費用の累計は實に一億六千六百餘萬圓に達して居る。今大正十年度に於ける之が內譯を見るに次の如くである。

科目		大正十年度鐵道建設費	同年度迄の累計
線路費	土工費	416,619,01	15,416,532,58
	橋梁費	540,711,40	24,320,739,13
	伏樋費	3,707,78	214,312,39
	隧道費	13,515,86	3,813,006,49
	建物費	21,763,81	823,316,56
	軌道費	4,811,968,54	39,642,616,64
	機器費	—	—
	計	**5,808,346,46**	**84,230,523,79**
停車場費	建物費	619,553,55	8,631,517,57
	設備費	298,891,72	4,614,720,14
	機器費	11,560,35 56,791,66	134,968,05 686,611,66
	計	**963,676,58**	**14,067,817,42**
通信費	通信機費	74,761,95	313,210,11
	信號機費	132,869,96	982,474,03
	電線路費	594,387,84	2,734,031,73
	建物費	5,803,88	148,210,10
	器具費	23,09	18,055,06
	計	**807,690,54**	**4,195,981,03**
車輛費	機關車費	1,417,909,58	25,381,472,75
	客車費	1,258,665,59	10,302,469,23
	貨車費	2,885,909,69	30,855,12,319
	車掌車費	—	—
	機器費	283,466,52	—
	覆布費	04	524,013,78
	計	**5,279,018,30**	**67,063,078,95**
工場費	建物費	116,136,58	3,838,269,35
	軌道	628,491,57	505,86,544
	機器費	761,180,37	4,612,702,64
	土工費	—	110,670,89
	溝渠費	4,234,52	51,137,49
	給水費	18,494,59	454,242,63
	計	**1,522,537,63**	**9,542,687,54**
合計			

鐵道營業收支 鐵道收入は會社に於ける最も重要なる財源である。

累年收支一覽表

年度別	收入	支出	損益	收入百に付支出
明治四十年度	9,768,887,113	610,164,866	3,667,272,247	62
同　四十一年度	12,537,142,420	5,161,407,550	7,375,734,870	41
同　四十二年度	150,161,98,080	5,818,333,098	9,197,864,982	39
同　四十三年度	15,671,604,840	6,542,639,520	9,128,965,320	42
同　四十四年度	17,526,287,860	6,908,353,780	10,617,934,080	39
大正元年度	19,907,456,280	7,846,922,850	12,060,533,430	39
同　二年度	22,275,132,040	7,913,948,370	14,361,187,680	36
同　三年度	23,216,721,520	8,345,286,210	14,871,435,310	36
同　四年度	23,894,203,790	8,174,520,390	15,719,683,400	34
同　五年度	27,815,348,540	8,435,939,270	19,379,409,270	30
同　六年度	34,457,922,720	10,858,734,030	23,599,188,690	32
同　七年度	44,992,871,670	17,038,156,840	27,954,714,830	38
同　八年度	67,0607 20,030	30,528,937,560	36,531,782,407	46
同　九年度	85,316,806,020	36,760,264,400	48,556,541,620	43
同　十度年	78,204,132,000	33,172,717,000	45,031,416,000	42

機關車 滿鐵の機關車は總數三四七輛にして營業線路十哩に付き五輛強の割合に當り今大正十一年末現在[illegible]容を見るに下の如し。

車種		製造地	輛數	車種		製造地	輛數
アメリカン、タイプ	(A)	米國	4	コンソリデーション	(H.1)	米國	46
エート、ホイーラー	(C)	同	18		(H.2)	同	20
ブレーリ、スヰッチャー	(D)	同	24		(H.3)	英國	40
ダブル、テングータンク	(E)	同	66		(H.4)	滿鐵工場	13
テン、ホイーラー	(F.1)	同	23	ミカド	(M)	米國	25
	(F.2)	英國	5	デカポッド	(P)	同	32
パシフイツク	(G)	米國	7	インスペクション、ロコモチーブ	(I)	同	2
	(G.1)	滿鐵工場	6	インスペクション、モーターカー	(I.1)	英國	2
	(G.2)	米國	6	クレーン、ロコモチーブ	(K)	獨逸	3
	(G.3)	同	5	計			347

客貨車類 大正十一年三月末日現在に於ける客車數總數は349輛貨車總數は6028輛にして今同日現在の客貨車類內譯を見るに下の如し。

客　車　類

車種	一車の座庫數	輛數	車種	一車の座庫數	手荷物容量(立方呎)	郵便容量(立方呎)	輛數
特別車	8 7	2	二三等合造車	(二等)32 (三等)62 (三等)51	— — —	— — —	17
一等寢臺車	52 56 48	9	三等客車	100 92 122	— — —	— — —	134
食堂車	30 50	19	三等手荷物合造車	60 63 52	1,343 1,178 1,106	— — —	48
一等客車	66 64 63	16					
一等食堂合造車	(一等)28 (食堂)12	3	手荷物郵便車合造車貨	— — — — —	1,721 2,156 1,543 1,152 1,880	1,720 1,589 2,147 2,208 1,880	30
一二等合造客車	一等24 二等47 三等40	17					
二等寢臺車	56	7	手荷物車	— — —	3,365 3,265 2,800		18
二等寢臺手荷物合造車	36	7	監査車	—	—	—	1
二等客車	72	21	合計	—	—	—	349

貨　　車

車種	一車の積量(噸)	輛數	車種	一車の容量(米噸)	輛數
有蓋貨車	30	2,485	水槽車	4,200 4,000 3,880 3,820 3,800 2,500	13
無蓋貨車	30	2,513			
無側貨車	30	278			
同	60	1			
石炭車	50	195	油槽車	6,752 7,380 7,400	8
鑛石車	50	59			
土運車	30	230			
灰運車	30	12	車掌車	—	214
家畜車	30	5	非常車	—	10
冷藏車	27.5	5	合計	—	6,025

運輸 鐵道の運輸狀況を見るに貨物收入が最大であつて旅客收
のは大豆、豆粕等の特產物であつて極論すれば滿鐵は大豆で立つて居る

最近八年間の

年度別	年度末營業哩	乘車人員	貨物噸數	客車收入
	哩		噸	円
大正三年度	687.6	3,617,547	5,705,948	4,367,168.30
同四年度	687.2	3,708,165	5,860,716	4,842,338.02
同五年度	687.2	4,410,816	6,229,757	6,040,453.26
同六年度	687.2	5,844,929	7,274,177	8,136,707.10
同七年度	687.2	7,491,946	8,334,084	10,911,382.08
同八年度	887.3	9,274,114	10,096,672	14,243,789.91
同九年度	686.0	8,123,411	10,154,259	14,659,336.61
同十年度	686.0	6,926,619	10,400,208	12,194,288.00

備考　計は大正九年度十年度の計は各々附屬港灣收入　199,049圓及

大正十年度運

月別	月末營業哩	乘車人員	貨物噸數	客車收入	貨車收入
			噸	円	円
四月	686,0	555,414	770,344	1,013,726.09	5,027,369.74
五月	686,0	577,266	757,135	977,835.96	3,714,932.84
六月	”	483,564	868,234	840,520.01	5,059,082.63
七月	”	494,921	647,832	874,375.06	3,954,112.92
八月	”	530,761	609,772	871,728.53	2,891,464.11
九月	”	549,678	633,259	961,990.94	2,950,693.20
十月	”	631,752	854,578	1,098,183.18	4,[illegible]25,013.83
十一月	”	647,985	1,006,074	1,132,868.14	5,657,209.74
十二月	”	649,298	1,123,269	1,161,611.51	6,845,794.54
一月	”	569,494	1,076,105	964,735.15	6,513,355.93
二月	”	533,962	907,833	929,223.83	5,506,713.88
三月	”	702,524	1,145,773	1,367,489.11	7,670,091.62
計	”				

入は之れに次ぐ之れ內地鐵道と異る所である。然して貨物中其主なるものと云ふことが出來る程滿蒙と大豆とは重要關係を有して居る。

運輸成績一覽表

貨車收入	倉庫收入	雜收入	計	一日平均	一哩平均
円 17,550,149.70	円 177,138.58	円 1,122,294.94	円 23,216,721.52	円 63,607.46	円 33,608.46
17,260,655.11	247,775.88	1,181,348.58	23,532,117.59	64,295.40	34,238.49
19,882,475.77	325,189.12	1,567,230.39	27,815,348.54	76,206.34	40,476,35
23,793,056.04	512,248.30	2,015,911.28	34,457,922.72	94,405.27	50,142.50
30,377,681.90	1020,064.40	2,683,743.29	44,992,871.67	123,268.14	65,472.75
46,305,759.02	1578,742.44	4,932,428.66	67,067.200.03	183,226.01	97,628.07
63,867,030.42	330,933.43	6,260,456.86	85,316,806,92	233,744.67	124,332.27
59,615,835.00	206,373.00	6,017,440.00	78,204,132.00	214,258.00	114,000.00

170,197圓を含む

輸成績一覽表

倉庫收入	附屬港灣	雜收入	計	一日平均	一哩平均
円 45,416.49	円 13,147.44	231,007.13 90,228.71	円 6,420,895.65	円 214,029.86	円 9,359.91
42,243.54	18,029.60	226,125.54 205,294.43	5,184.461.91	167,240.71	7,557.52
14,593.75	22,245.97	229,240.23 374,597.04	6,540,279.63	218,009,32	9,533.94
14,293.09	22,471.69	231,383.88 159,886.36	4·356,523.00	140,533.00	6,350.62
18,371.12	19,305.85	155,984.83 89,916.29	4,046,770.73	130,540.99	5,899.08
27,577.86	25,088.76	184,588.82 293,397.43	4,443,337.91	148,111.24	6,477.17
24,339.79	20,344.98	268,838.40 136,536.76	5,873,256.94	189,459.90	8,561.61
16,214.61	26,421.45	324,439.53 216,479.63	7,373,633.10	245,787.77	10,748.74
22,762.16	2,821.69	370,605.91 400,975.35	8,804,571.16	284,018.42	12,834.65
26,559.48	389.02	341,095.14 135,556.80	8,381,891.52	270,377.15	12,218.21
32,509.19	1,208.31	294,970.34 181,300.76	6,945,926.31	248,068.80	10,125,26
78,508.30	1,278.07	394,339.99 480,651.07	9,832,785.42	317,186.63	14,333.51

年度	年度末營業哩	乘車人員	旅客 客車收 乘車賃金	座席料	手小荷物賃金
大正			円	円	円
3	684.3	3,617,547	4,045,176.21	34'368.78	245,417.51
4	684.5	3,708,165	4,518,996.03	23,291.98	257,803.58
5	684.5	4,410,816	5,566,015.95	32,648.89	399,415.59
6	684.5	5,844,929	7,526,684.10	49,197.79	518,540.88
7	684.5	7,491,946	10,005,004.26	69,036.48	795,722.21
8	680.8	9,274,114	13,174,024.50	121,932.75	902,274.11
9	683.3	8,123,411	13,484,871.07	164,019.50	964,481.13
10	677.8	6,926,619	11,006,048.00	280,012.00	824,446.00

年度	年度末營業哩	貨物 取扱噸數 一車扱	小口扱	計	貨車收 一車扱	小口扱
	哩				円	円
3	687.6	5,300,770	405,178	**5,705,948**	15,736,217.62	1,813,932.08
4	687.2	5,419,111	441,605	**5,860,716**	15,287,381.04	1,973,274.07
5	687.2	5,704,289	525,468	**6,229,757**	17,482,015.70	2,400,460.07
6	687.2	6,661,869	612,308	**7,274,177**	20,911,498.71	2,881,557.33
7	687.2	7,264,177	1,069,907	**8,334,084**	24,510,691.25	5,866,990.65
8	686.3	8,530,991	1,565,681	**10,096,672**	35,495,376.81	10,810,382.21
9	686.0	9,555,333	598,926	**10,154,259**	58,467,527.90	5,399,502.52
10		9,724,868	675,340	**10,400,208**	538,855.59	57,302.76

運　　　　輸

入		一人平均		一日平均	
郵便物賃金	合計	乘車哩	乘車賃金	乘車人員	客車收入
円	円	哩	円		円
42,205.80	**4,367,168.30**	61.2	1.118	9,911	11,964.85
42,246.43	**4,842,338.02**	68.8	1.219	10,132	13,230.43
42,372.83	**6,040,453.26**	71.1	1.262	12,084	16,549.19
42,284.33	**8,136,707.10**	68.6	1.288	16,014	22,292.35
41,619.13	**10,911,382.08**	68.2	1.335	20,526	29,894.20
45,558.55	**14,243,789.91**	62.1	1.421	25,339	38,917.46
45,964.91	**14,659,336.61**	64.9	1.660	22,256	40,162.57
83,781.00	**12,194,288.00**	63.9	1.589	18,977	33,409.00

運　　　　輸

入	一噸平均						一日平均	
	輸送哩			賃金				
計	一車扱	小口扱	計	一車扱	小口扱	計	取扱噸數	收入
円	哩	哩	哩	円	円	円	噸	円
17,500,149.70	24.7	161.4	**210.9**	2.969	4.477	**3.760**	15,633	48,082.60
17,260,655.11	198.4	165.6	**190.6**	2.821	4.468	**2.945**	16,013	47,160.26
19,882,475.77	212.5	178.5	**209.6**	3.065	4.568	**3.192**	17,068	54,472.54
23,793,056.04	211.1	168.2	**207.5**	3.139	4.706	**3.271**	19,929	65,186.45
30,377,681.90	206.2	212.9	**207.0**	3.374	5.484	**3.645**	22,833	83,226.53
46,305,759.02	196.8	247.7	**204.7**	4.161	6.905	**4.586**	27,587	126,518.47
63,867,030.42	228.4	172.9	**225.1**	6.119	9.015	**6.290**	27,820	174,978.17
596,158.35	231.5	180.2	**228.1**	5.541	8.485	**5.732**	28,494	1,633.31

主要驛乘

	乘			車			
	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
大連	202,993	275,845	382,466	461,779	566,809	563,364	523,521
金州	42,433	50,996	67,768	84,029	104,267	110,123	104,881
普蘭店	31,577	42,524	55,619	71,560	97,572	97,656	92,617
瓦房店	45,468	62,238	67,064	76,504	92,021	85,914	81,101
蓋平	57,807	74,020	91,517	104,852	125,899	111,795	97,191
大石橋	74,004	84,838	103,631	119,648	156,481	137,963	124,401
海城	31,912	93,310	118,886	144,502	184,967	150,177	124,519
遼陽	160,420	174,603	283,229	376,694	424,687	340,175	272,741
奉天	487,584	587,063	753,770	952,799	1,107,129	1,114,737	949,030
鐵嶺	153,101	165,991	193,294	213,317	258,158	242,947	213,885
開原	168,722	191,716	216,948	261,228	326,664	296,793	257,076
四平街	81,805	94,510	124,117	152,131	184,733	161,261	145,887
公主嶺	95,620	109,189	133,388	157,008	190,732	171,079	143,706
長春	298,321	354,361	450,180	549,183	656,411	561,342	525,786
旅順	55,750	165,276	79,971	98,929	120,184	127,832	135,173
營口	185,878	203,450	254,806	268,698	317,196	317,050	251,226
撫順	91,803	110,465	149,448	209,956	299,020	266,227	220,244
安東	67,559	99,194	157,607	276,230	226,858	112,473	91,297
鳳凰城	47,926	52,297	65,184	81,315	104,225	97,556	84,007
本溪湖	64,064	71,383	97,572	126,873	172,357	129,438	101,524

降 旅 客 數

降				車		
大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
197,569	236,847	332,929	413,320	533,878	521,8[illegible]9	513,436
43,147	52,671	69,656	85,382	106,260	111,554	106,348
32,131	43,722	55,038	70,474	98,956	97,392	92,109
45,672	62,172	64,387	74,358	91,406	85,410	79,120
55,948	74,955	91,985	105,113	127,581	111,928	95,555
75,044	85,754	101,450	119,128	157,372	138,801	122,452
79,774	92,392	119,709	139,255	181,390	145,033	121,843
156,464	178,178	287,292	377,903	425,494	337,696	273,481
538,098	624,016	785,178	958,324	1,178,068	1,065,373	1,002,693
145,289	159,189	191,483	209,449	257,949	239,870	207,728
174,585	181,886	224,246	268,495	321,902	308,454	248,933
82,502	94,620	127,663	154,270	184,412	168,444	152,225
95,040	107,496	131,476	153,347	187,188	172,488	142,638
327,383	435,477	525,441	684,523	705,857	745,916	564,913
54,404	64,256	79,970	97,847	119,557	128,709	134,916
163,928	183,886	232,557	254,246	297,042	254,610	235,555
88,388	103,955	156,141	228,568	304,304	266,240	198,983
64,391	85,788	139,973	221,713	183,161	85,508	75,846
48,054	53,687	67,061	83,885	106,244	100,119	84,854
61,582	69,797	94,915	123,696	169,840	123,042	94,162

品種別主要貨

種類		大正四年度	大正五年度	大正六年度
農産物	大豆	992,647	1,062,169	1,177,035
	米	36,803	40,526	42,587
	高粱	146,568	243,440	354,545
	玉蜀黍(包米)	30,341	29,646	105,715
	小豆	28,025	40,948	43,642
	粟	31,106	20,498	58,351
	小麥	20,413	40,554	22,957
	其他麥類	5,834	5,369	8,587
	雜穀及種子	34,614	55,741	64,659
	落花生	13,593	19,094	11,533
	野菜			
	甜菜	41,594	48,293	53,154
	果實			
	繭	9,009	4,746	17,684
	煙草類	17,636	31,190	27,492
林産物	木材	78,096	132,005	188,633
	薪炭	36,825	34,730	40,764
鑛産物	石炭及コークス	2,760,107	2,657,124	2,892,243
	石材及砂利	28,821	57,332	120,583
	石油及鑛油	30,782	38,936	38,652
	鑛石	*	*	*
海産物	鹽	124,906	120,409	205,925
	鮮魚介蟲	3,005	4,402	4,371
	鹽干魚	8,639	9,762	14,677
畜産	生獸	*	*	*
	骨	6,335	6,071	11,116

物　取　扱　噸　數

大正七年度	大正八年度	大正九年度	大正十年度
1,336,298	1,838,507	1,861,925	1,829,893
37,476	38,356	38,685	53,781
226,000	243,921	518,217	750,411
62,510	90,494	116,564	164,848
49,552	32,896	34,172	4,998
122,903	180,793	174,356	140,663
53,277	138,974	584,637	116,531
20,272	17,304	10,428	6,543
91,543	165,006	135,291	122,702
18,018	24,346	23,793	22,862
		35,027	26,983
70,854	55,667	23,132	
		43,131	37,713
14,609	15,090	12,465	10,568
30,322	35,664	34,219	35,151
235,686	311,363	220,146	304,367
45,321	52,017	62,298	74,387
3,220,398	3,367,460	3,499,415	3,775,445
103,031	117,862	166,535	95,248
28,466	55,073	37,279	38,055
*	*	5,037	145,744
158,441	179,394	175,242	183,475
3,087	2,263	1,849	2,761
14,674	20,130	12,237	15,391
*	*	22,468	12,136
9,337	12,149	6,913	11,147

種類			大正四年度	大正五年度	大正六年度
物	皮革		4,398	7,329	7,988
加工物其他	豆粕		117,259	166,975	184,450
	豆油		10,985	14,971	42,342
	飲食料品	麥粉	50,399	74,499	95,472
		砂糖	18,180	24,861	43,027
		味噌醬油	3,532	3,865	4,260
		酒精飲料	12,574	14,416	16,868
	布帛類	綿絲	7,673	10,079	13,364
		生糸及柞蠶絲	2,490	1,395	1,951
		綿布	44,844	47,451	57,268
		綿及棉花	6,564	7,002	4,573
		麻袋	30,210	35,452	43,243
	金物類		62,927	90,119	101,008
	燐寸		4,690	5,814	3,025
	紙類		15,138	16,757	18,375
	安平		11,246	10,912	13,898
	セメント及石灰類		48,373	35,058	45,271
	煉瓦及瓦		4,524	19,143	24,381
	土器及陶磁器		8,531	10,533	13,256
	硝子及其製品		1,455	2,028	3,519
	藥品及藥材		5,532	7,239	8,042
	人造肥料		*	*	*
軍需品			*	*	*
社用品扱	木材		195,424	156,462	162,959
	石材及砂利		290,640	207,458	287,881
小荷物扱	銀貨(價額)		32,793,221	36,067,955	28,936,283
	野菜・果物		1,679	2,201	5,731
	鮮魚介蟲		3,633	4,628	5,336
牛(頭數)			1,687	440	583
豚及羊(頭數)			24,115	28,032	31,730

大正八年以前に於ける*印は加工物其他の雜品中に併算せり。

大正七年度	大正八年度	大正九年度	大正十年度
6,472	6,698	6,119	3,422
253,388	370,652	315,675	399,444
36,907	55,598	16,862	23,931
96,234	139,198	191,880	135,133
77,230	36,750	26,015	51,649
5,913	4,948	4,484	5,083
21,365	23,006	20,982	20,818
11,216	16,394	14,998	20,836
1,860	2,098	1,305	813
63,332	68,499	52,752	64,940
6,098	6,814	11,905	16,714
45,808	53,575	48,668	66,512
119,161	193,687	78,030	213,879
6,437	8,778	2,706	4,474
22,689	26,640	17,647	28,956
16,016	16,683	15,341	19,796
60,012	92,374	74,295	75,476
60,946	27,842	35,283	18,590
17,079	17,533	15,778	16,307
4,329	5,578	4,433	5,985
9,186	12,334	12,904	36,107
＊	＊	10,767	13,312
＊	＊	25,170	15,820
235,092	268,709	210,829	118,315
370,227	606,311	412,660	494,494
20,129,607	18,025,022	27,689,456	21,256,018
7,669	7,632	3,979	3,319
		6,389	4,621
6,303	7,513	8,836	8,335
2,096	3,083	1,424	1,971
41,614	44,954	47,161	29,130

第六鐵道

大正十年度主要

種別	年度	大連	大石橋	遼陽	奉天	鐵嶺	開原
發送	大正四年度	229,002	52,655	51,884	144,030	61,954	321,827
	〃 五年度	283,993	66,537	76,747	138,481	112,225	331,789
	〃 六年度	383,431	85,135	95,085	143,905	137,274	338,239
	〃 七年度	504,874	79,074	82,727	263,868	140,283	323,477
	〃 八年度	562,925	60,442	95,510	286,927	186,059	464,869
	〃 九年度	373,628	128,665	93,433	303,662	165,706	543,416
	〃 十年度	487,035	88,641	121,793	292,415	145,985	526,649
到著	大正四年度	2,203,209	63,035	126,680	432,674	138,891	93,643
	〃 五年度	2,617,842	56,291	104,019	437,255	132,693	82,987
	〃 六年度	2,981,985	66,226	125,350	632,069	144,626	114,969
	〃 七年度	3,201,869	89,656	149,339	637,534	172,065	119,378
	〃 八年度	3,634,410	111,890	204,550	774,204	241,675	184,417
	〃 九年度	4,065,851	114,957	162,721	1,055,835	190,613	122,400
	〃 十年度	4,843,560	105,617	147,063	937,194	224,568	142,350
計	大正四年度	2,432,211	115,690	178,564	576,704	200,845	415,470
	〃 五年度	2,901,835	122,828	180,766	575,736	244,918	414,776
	〃 六年度	3,365,416	151,361	220,435	775,974	281,900	453,208
	〃 七年度	3,706,743	168,730	232,066	901,402	312,348	442,855
	〃 八年度	4,287,335	172,332	300,060	1,061,131	427,734	649,285
	〃 九年度	4,439,479	243,622	256,154	1,359,497	356,373	665,816
	〃 十年度	5,330.595	194,258	268,856	1,229,609	370,553	668,999

驛 取 扱 貨 噸 數

四平街	公主嶺	范家屯	長春	營口	撫順	安東	本溪湖
120,754	128,700	62,507	459,642	162,145	2,319,217	233,678	348,537
101,777	130,408	81,029	633,398	163,889	2,218,456	420,203	349,301
121,759	146,916	91,284	879,689	228,888	2,447,446	489,316	359,194
178,780	154,113	82,334	1,108,225	260,049	2,699,327	534,377	386,118
265,279	192,776	177,877	1,498,784	303,200	2,935,966	515,163	414,513
266,260	212,709	212,558	2,280,617	270,203	3,092,971	156,416	479,143
350,270	242,205	222,857	1,902,398	260,802	3,371,331	99,986	372,819
51,734	89,492	13,666	567,122	588,330	220,483	447,212	96,487
72,478	88,551	17,239	610,919	363,881	209,329	589,048	141,959
114,385	93,673	19,259	689,210	355,827	207,474	751,626	154,928
118,377	106,752	18,052	797,597	336,818	272,172	894,964	132,848
159,516	134,730	48,540	902,242	401,715	364,200	897,476	243,694
147,965	111,822	42,366	872,898	559,628	248,935	648,761	151,595
161,085	133,103	52,615	938,142	622,772	113,649	488,485	84,063
172,488	**218,192**	**76,173**	**1,026,764**	**750,475**	**2,539,700**	**680,890**	**445,024**
174,255	**218,959**	**98,268**	**1,244,317**	**527,770**	**2,427,785**	**1,009,251**	**491,260**
236,144	**240,589**	**110,543**	**1,568,899**	**584,715**	**2,654,920**	**1,240.942**	**494,122**
297,157	**260,865**	**100,389**	**1,905,822**	**596,768**	**2,971,499**	**1,489,341**	**518,966**
424,795	**327,506**	**226,407**	**2,401,026**	**704,915**	**3,300,166**	**1,412,639**	**658,207**
414,176	**324,531**	**254,924**	**3,153,515**	**829,858**	**3,341,306**	**805,177**	**630,738**
511,355	**375,308**	**275,472**	**2,840,540**	**883,574**	**3,484,980**	**588,471**	**456.882**

年度	大					
	明治四十三年度	明治四十四年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度
遼陽	2,076	4,501	4,304	6,150	10,919	8,735
奉天	1,959	2,216	3,496	618	12,875	2,063
鐵嶺	24,347	14,546	21,754	44,658	40,531	14,541
開原	121,019	131,470	132,074	191,674	216,049	256,311
昌圖	7,144	11,778	4,804	9,200	16,910	12,790
雙廟子	9,029	12,365	6,310	10,246	13,695	13,767
四平街	65,979	54,317	36,262	35,555	55,336	59,536
四洮線	—	—	—	—	—	—
郭家店	19,380	27,056	20,722	23,048	30,927	32,049
公主嶺	110,655	105,739	83,660	87,950	96,416	84,272
范家屯	38,244	40,010	26,636	29,972	39,491	47,296
長春	203,349	178,168	219,843	200,649	253,234	223,467
吉長線	—	—	—	—	—	—
東支線	—	—	12,193	16,446	58,601	66,633
撫順	24,925	38,134	30,023	23,396	34,874	44,354
其他各驛	31,710	44,781	41,320	53,732	108,870	103,180
安奉線各驛	8,373	15,135	11,149	7,785	25,939	23,653
計	**668,189**	**680,216**	**654,520**	**741,079**	**1,014,665**	**992,647**

年度	豆					
	明治四十三年度	明治四十四年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度
遼陽	17,534	19,751	13,006	14,434	17,675	12,718
奉天	7,588	13,197	9,773	10,244	17,631	6,019
鐵嶺	17,366	16,706	13,247	20,123	24,373	14,197
開原	28,862	19,580	27,827	16,230	24,216	20,155
昌圖	4,898	3,984	1,916	2,249	4,167	2,174
雙廟子	14,658	11,612	7,056	4,211	6,242	2,755
四平街	17,283	13,485	12,077	7,788	6,979	6,432
四洮線	—	—	—	—	—	—
郭家店	1,397	1,726	3,190	1,141	1,804	897
公主嶺	10,055	4,948	9,071	6,839	7,123	5,473
范家屯	1,511	535	868	1,011	1,453	790
長春	13,528	8,711	10,835	7,444	6,935	3,553
吉長線	—	—	—	—	—	—
東支線	—	—	—	39	366	194
撫順	2,030	2,804	2,512	3,916	3,393	7,248
其他各驛	14,925	20,946	19,865	20,357	29,537	28,672
安奉線各驛	1,393	2,447	2,333	3,011	4,845	5,982
計	**153,028**	**140,432**	**133,654**	**119,037**	**156,739**	**117,259**

大正九年度以降(　)内は安東驛發朝鮮線及鐵道省線到着にして本數を著を合計したるものとは符合せす

驛發送噸數（一）

豆

	大正五年度	大正六年度	大正七年度	大正八年度	大正九年度	十年度 大連著	十年度 營口著	十年度 計
	18,155	20,432	9,942	5,945	13,331	9,316	5,075	14,461
	5,234	4,073	21,666	7,064	385	5,140	309	5,185
	46,267	66,708	31,081	56,857	24,023	22,634	8,042	37,866
	241,392	286,309	178,951	285,643	302,326	174,400	3,771	218,881
	8,706	10,601	12,218	9,635	13,737	15,690	210	16,073
	10,700	14,460	10,395	11,850	12,102	14,400	60	14,466
	40,549	41,301	50,019	34,716	54,525	52,646	7,530	61,879
	—	—	18,789	46,702	8,854	4,563	5,730	10,627
	22,369	18,806	19,383	19,900	24,186	21,631	900	22,682
	75,741	73,872	64,570	123,637	99,467	73,037	11,820	98,512
	35,672	38,271	49,880	126,844	94,394	68,136	2,132	76,598
	270,594	334,849	453,957	685,517	587,018	215,277	5,130	226,788
	—	—	34,909	139,834	170,814	253,233	90	253,413
	81,624	139,290	217,145	75,812	268,663	493,606	41,490	540,976
	44,530	59,688	37,244	83,764	59,998	45,454	8,280	53,922
	127,457	28,942	85,870	85,170	79,331	92,374	26,293	131,726
	33,179	39,433	40,779	39,680	30,771 (1,987)	14,730	542	45,574 (260)
	1,062,169	**1,177,035**	**1,336,298**	**1,838,507**	**1,861,925** (1,9?7)	**1,576,267**	**155,404**	**1,829,893** (260)

粕

	大正五年度	大正六年度	大正七年度	大正八年度	大正九年度	十年度 大連著	十年度 營口著	十年度 計
	17,757	8,383	10,060	23,400	16,049	7,839	17,880	25,794
	8,671	3,898	12,176	20,204	11,303	15,960	1,676	17,637
	20,437	19,895	18,653	18,616	14,252	15,541	1,080	16,671
	21,569	21,761	22,308	60,399	45,982	58,743	3,935	62,719
	284	60	1,559	1,611	648	1,654	—	1,668
	1,221	1,118	1,763	1,090	1,380	2,227	—	2,227
	5,544	5,756	9,020	14,002	14,974	19,520	—	19,704
	—	—	1,170	2,497	3,333	10,650	1,221	11,876
	158	183	92	187	555	2,897	31	2,928
	3,850	2,971	4,673	8,193	12,026	9,791	488	10,436
	332	187	1,407	3,973	32,628	32,685	427	33,516
	1,820	1,423	3,840	2,025	16,236	31,880	611	32,566
	—	—	90	180	58	840	—	840
	7,645	22,483	48,675	94,272	86,060	47,004	390	47,394
	4,106	3,294	2,515	10,009	8,586	17,356	550	17,905
	30,307	29,998	47,672	65,987	48,183	73,514	15,183	90,385
	43,274	63,040	67,710	44,007	3,416 (36,648)	3,355	374	5,177 (19,722)
	166,975	**184,450**	**253,388**	**370,652**	**315,675** (36,648)	351,462	**43,846**	**399,444** (19,722)

含ます　大正十年度計中には其の他驛著を包含せるを以て大連、營口驛

5 聯絡運輸

滿鐵會社は隣接各鐵道及汽船會社と聯絡運輸協定をなし輸送を便にして居るが今其各線名及び取扱事項を示せば次の如くである。

連絡線名	取扱事項
鐵道省線(朝鮮線又は大阪商船航路經由)	旅客、手小荷物、貨物
日鮮滿巡遊	旅客、手荷物
大阪商船航路	旅客手、小荷物、貨物(小荷物當分休止)
日本郵船航路	貴重品、貨物
朝鮮郵船阿波共同汽船聯合航路	貨物
澤山汽船航路	貨物
大連汽船航路	貨物
日清汽船航路(社線上海航路經由)	貨物
山東鐵道線(社線上海航路又は大連汽船航路經由)	旅客、手小荷物、貨物
吉長鐵道線	旅客、手小荷物、貨物
四洮鐵道線	旅客、手小荷物、貨物
日支	旅客、手小荷物
日支周遊	旅客、手荷物
日支巡遊	旅客、手荷物
鮮滿支周遊	旅客、手荷物
北支周遊	
京奉東支(當分休止)	旅客、手荷物
中支東支(〃)	
南滿東支	旅客、手小荷物、貨物(旅客手小荷物は東支發送)
日滿(朝鮮線又は大阪商船航路經由)	旅客、手小荷物、貨物(同上)
哈爾賓苦力(團體貨車輸送但當分休止)	旅客
山東苦力船車連絡運輸(貨物輸送)	
自芝罘(大連經由)	旅客
自龍口(大連又は營口經由)	旅客
自威海衛(大連經由)	旅客

連絡線名	最扱事項
社線內直通運輸	
鮮滿直通	旅客、手小荷物、貨物
上海航路(青島寄港)	旅客、手小荷物、貨物

尙大正十二年一月一日から滿鐵線經由で吉長又は四洮線と中國國有鐵道間に華北連絡が開始せれる。

6 賃　率

乘車賃金率

(1) 乘車賃金率は下の如くである。

一等　一人　一哩に付　金七錢
二等　同　同　金四錢五厘
三等　同　同　金二錢五厘

(2) 乘車賃金は五錢を單位とする算定上二錢五厘未滿を切捨て二錢五厘以上七錢五厘未滿を五錢とし七錢五厘以上を十錢とする。

(3) 二哩未滿の乘車に就ては二哩分の賃金を取る。

運賃率

普通貨物

種別／哩程	小口扱（百斤一哩に付）			
	一紙品	二級品	三級品	四級品
自一哩百哩迄	六厘二毛五	五厘	三厘七毛五	二厘五毛
自百一哩二百哩迄	六厘	四厘八毛	三厘六毛	二厘四毛
自二百一哩四百哩迄	五厘七毛五	四厘六毛	三厘四毛五	二厘三毛
四百一哩以上	五錢五毛	四厘四毛	三厘三毛	二厘二毛

種程／哩別	一車扱（一噸一哩に付）		
	二級品	三級品	四級品
自一哩百哩迄	五錢	三錢七厘五毛	二錢五厘
自百一哩二百哩迄	四錢八厘	三錢六厘	二錢五厘
自二百一哩四百迄哩	四錢六厘	三錢四厘五毛	二錢三厘
四百一百以上	四錢四厘	三錢三厘	二錢二厘

一箇の重量三噸を超ゆる貨物は左の割合に依り割増運賃を申受く（累加計算法に依る）但し割増率の異なるものは各別に計算す。

三噸を超ゆるもの二割　六噸を超ゆるもの三割　十噸を超ゆるもの四割　十五噸を超ゆる五割　二十噸を超ゆるもの臨時の約束に依る

長さ又は容積の關係上橫側戸口より有蓋貨車に積載し得ざる爲特に無蓋貨車を要する小口扱貨物は之を全部又は一部とする一口の重量一萬五千斤に滿たざるときは一萬五千斤分の運賃及發著手數料を受申く但し等級を異にする貨物を一口となしたる場合は其未滿重量に對しては低率の等級を適用す。長さ三十三尺を超ゆ三十噸積無蓋貨車に積載し得さるものは臨時の約束に依る。

特種貨物危險品

扱別運賃 ＼ 品名	小口扱（百斤一哩に付）	一車扱（一噸一哩に付）
石油類、燐寸、生石灰カーバイト	二級品賃率に依る	二級品賃率に依る
爆竹、玩弄花火類、油紙油布及强酸類等發火し易きもの	二級品普通賃率五割增	

特種貨物箇數扱

死體	一體に付	二級品一車扱普通賃率一噸分の四倍
人力車	一輛に付	同上一噸分
乘用馬車（一軸のもの）	同	同上一噸分二倍
同（二軸のもの）	同	同上一噸分三培
自働車	同	同上二噸分八倍
轎子	一箇に付	同上一噸分五割

生獸類（積卸は貨主に於て爲すことを得）

（一）頭數に依るとき（付添人あるときに限り途中驛に於て取卸を爲すことを得、但し全部に對す終著驛迄の運賃を申受く）

一託送每に一車若は其の未滿每に二級品一車扱普通賃率一噸分の三倍外に一頭に付

駱駝、牛、馬、驢、犢、駒、驢	二級品一車扱普通賃率一噸分の八割
羊、山羊、豚	同上の三割

(二) 頭數に依らざるとき（付添人あるときに限り途中驛に於て積卸を爲すことを得）

一車若は其の未滿每に

駱駝、馬、騾、駒、驢 ⎫
牛、犢、羊、山羊、豚 ⎭ 二級品一車扱普通賃率一噸分の十倍

料　金　率

發著手數料

（會社が積卸を爲すとき）

(一) 普通貨物

小 口 扱　百斤に付　金五錢

一 車 扱　一噸に付　金五十錢

一箇の重量が一噸を超ゆる貨物は左の割合に依る但し其の率の異るものは各別に計算す。

一　噸を超ゆるもの	一噸若くは其の未滿每に	金九十錢
三　噸を超ゆるもの	同	金一圓五十錢
六　噸を超ゆるもの	同	金二圓十錢
十　噸を超ゆるもの	同	金二圓七十錢
十五噸を超ゆるもの	同	金三圓九十錢
二十噸を超ゆるもの	同	臨時の約束に依る

(二) 特種貨物（危險品）

品名　扱別　料金	小口扱（百斤に付）	一車扱（一噸に付）
石油類、爆寸、生石灰カーバイト	金六錢	金六十錢
爆竹、玩弄花火類、油紙油布及强酸類等發火し易きもの	金九錢	—

(三) 特種貨物箇數扱

死體	一體に付	金七十五錢
人力車	一輛に付	金十八錢
自働車	同	金七十五錢

乘用馬車	一輛に付	金四十錢
轎子	一箇に付	金二十五錢

（四） 特殊貨物（生獸類）

一 頭數に依るとき一頭に付

駱駝、牛、馬、騾、犢、駒、驢　　金四十五錢

羊、山羊、豚　　金十五錢

二 頭數に依らざるとき　一車若は其の未滿毎に　金四圓五十錢

（荷主が積卸をなすとき）

（一） 小口扱、箇數扱貨物及生獸類會社が積卸をなすときの發著手數料の半額

但し一箇の重量が一噸を超ゆる場合と雖も常に超えざるものの率に依る。

（二） 一車扱貨物

普通貨物　一噸に付　金二十錢

危險品　同　金二十五錢

（荷主が積又は卸の一方をなすとき）

會社が積卸をなすときの發著手數料の半額及荷主が積卸を爲すときの發著手數料の半額

代金引換手數料

代金百圓迄　金十圓若は其の未滿毎に　金五錢

代金百圓を超ゆるとき　其の超過額金二十圓若は其の未滿毎に金五錢を加ふ。

最低料金　金二十錢

指圖手數料

運送規程第六十六條第一項の指圖（一回に付一種若は數種）金一圓

運送規程第六十六條第二項の指圖（同）　金五十錢

運送規程第六十九條の指圖　（同）　金五十錢

貨車留置料

十二時間若は其の未滿毎に貨車積載重量　一噸に付　金三十錢

保管料

二十四時間若は其の未滿毎に

普通貨物	小口扱 一車扱	百斤に付 一噸に付	金二錢 金二十錢	但し戸外保管に適する粗雜品にして戸外に保管したるときは其の半額
	小口扱 一車扱	百斤に付 一噸に付	金五錢 金五十錢	

駱駝、牛、馬、騾、犢、駒、驢	一頭に付	金十五錢
羊、山羊、豚	同	金十錢
體	一體に付	金五十錢
乘用馬車	一輛に付	金二十錢
自働車	同	金三十錢
轎子、人力車、棺槨(空)	一箇に付	金十錢

檢斤手數料

小口扱	百斤に付	金一錢五厘
一車扱	一噸に付	金十五錢

7 委任經營鐵道

朝鮮國有鐵道 大正六年七月二十八日帝國政府は勅令第九十號を以て朝鮮總督の管理する國有鐵道の業務の委託に關する件を公布した該勅令に依り朝鮮總督は滿鐵に其の經營の鐵道全部の業務を委託することになつたのである。

朝鮮鐵道線の大正九年度末營業哩數は千百五十九哩二分で年度內取扱旅客數は千三百八十一萬三千八百六十六人、貨物は三百七十萬三百十九米噸である。尙收入は客車收入金千三百三十六萬千九百三圓、貨車收入金千百四十五萬四千九十四圓、雜收入金二百四十萬三千八百七十五圓、計金二千七百二十一萬九千八百七十二圓である。

受託後の損益計算

年度	總益金	總損金	利益金	總督府納金	滿鐵損益
	円	円	円	円	円
大正六年度	13,168,949	7,375,794	5,793,155	4,369,988	益 650,958
大正七年度	17,977,336	14,257,025	3,720,311	3,433,243	同 287,068
大正八年度	23,966,388	20,725,734	3,240,654	4,017,963	損 777,309
大正九年度	27,173,855	23,328,749	3,845,106	4,921,881	同 1,076,775
大正十平度	28,109,695	21,629,879	6,479,816	6,176,599	益 303,217

支那國有吉長鐵道 本鐵道は大正六年十二月三十一日から滿鐵で其經營を引受けることとなつて居るが詳細は該鐵道の部に讓る。

8 其他の事業

滿鐵は前記鐵道業の他下の如き各種事業を行つて居るが委しくは（ ）の内の各部內に就て見られたば。

1. 工　　場（工業の部參照）	2. 海　　運（水運の部參照）
3. 港　　灣（水運の部參照）	4. 鑛　　山（鑛業の部參照）
5. 工　　業（工業の部參照）	6. 製鐵所（工業の部參照）
7. 電　　氣（　同　）	8. 瓦　　斯（　同　）
9. 旅　　館	10. 地方經營（行政の部參照）
11. 學　　校（教育、宗教の部參照）	12. 病院（醫事衞生の部參照）

(二) 東支鐵道

1 沿　革

日清戰後三國干涉に依り支那に賣恩以來支那に於ける露國の勢力日と共に加はり遂に千八百九十六年（我明治二十九年 清光緒二十二年）露皇帝戴冠式に參列せる李鴻章は駐淸露公使カシニーの慫慂に依つて露國外務大臣ロプノフと會見し所謂カシニー條約を締結し同年九月三十日北京で之が批准を了するに至つた。李が戴冠式に參列し修約を締結した裡面には恩威併施の手段が弄せられたらしいが其內幕の詳細は知る由もない。露國は同條約と同年八月二十七日淸國政府と道勝銀行との間に締結された東支鐵道設立に關する條約とに依つて西比利鐵道（後貝加爾州）の一點から淸國領土を貫き浦鹽に至り烏蘇里鐵道に連絡すべき鐵道の布設權を得たれ之。露國が滿蒙侵略の發端である。

期くて千八百九十六年十二月四日東支鐵道條例が發布され翌七年二月愈會社の組織を見爾來同社は各方面の工事に着手したが千八百九十八年三月偶々獨逸の膠州灣租借權を得るや露國は更に同年旅順及大連灣の租借權を得東支本線から大連旅順に至る鐵道布設權をも獲得し哈爾賓を其起點として工事を急施し千九百二年（明治三十五年）一月には早くも滿洲里から哈爾賓に至り更に南して大連旅順に及び哈爾賓以東も亦露支國境たる「ポグラニーチナヤ」に至り營口支線を合して全線の延長約千六百哩

の假營業を見るに至つた。然るに明治三十七年(千九百四年)日露戰爭に際會し翌三十八年のポーツマス條約に依り長春以南は日本に歸屬した結果全線千六十八哩となつた。

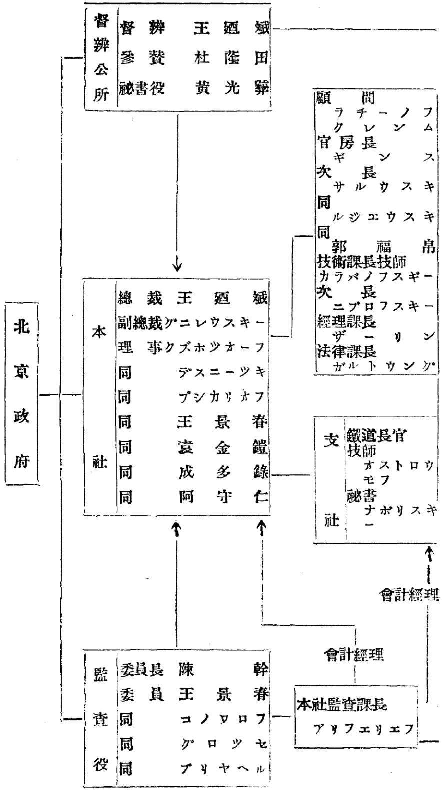
條約に依ると東支鐵道は露清兩國合辦の株式會社で其事業は鐵道の外其地域内の鑛業其他附帶商工業及水路航運等を兼營する特權を有して居る。其資金たる株式の總額は之を條例面に見れば僅に五百萬留で其他は總て露政府の擔保ある債券の發行に依るものとし道勝銀行が其機關である。而して革命前迄財源の伸縮は一に露國大藏大臣の手中に收められて居つた。故に表面は私設會社であるが實は露政府の直營に等しいものであつた。

然るに露國は勞農政府出現と共に主義政策變更し西比利亞の秩序亦大に亂るゝや協商國は當時西比利に於て過激派と戰つて居たチエツクスロヷキヤ援助の目的で西比利に出兵することになつたが東支鐵道及其他西比利鐵道の運輸が大に澁滯したので日米間に先づ協議を重ね嗣いで露、英、佛伊、支の五國を加へ七箇國で聯合軍の撤兵する迄同鐵道を管理することとなり千九百十九年三月十五日同鐵道管理に關する規定を發表するに至つたが大正十一年十月二十五日最後迄駐兵した我軍の撤兵を終ると共に管理を中止するに至つた。

此間中國は機を見て利權の回收を行はんと努め先づ多年缺員となつて居つたる總裁(督辦)の位置に中國人を任命し或は新例を開いて中國側の理事を入れなどして居たが遂に一九二〇年三月從業員の同盟罷業に乘じて沿線の警備及附屬地の警察權を掌握し同年九月二十三日の大總統令を以て突然在支露國公使、同領事の待遇停止を公布し各地露國租界を沒收したのみならず東支沿線の行政權をも回收し東支鐵道管理の爲めには督辦公所を設立し從來露國政府に屬した職權は支那政府之を執行することになつた、故に東支鐵道は露支合辦たるは原の如しと雖も今日では完全なる中國の行政權下に回收されたものと言ふてよい。

2 組　　　織

次表は大正十一年二月調べであるが一、大正九年三月露國守備隊は武裝を解除され二、領事及裁判所は九月閉鎖され三、大正十年三月東支鐵道廳に中國職員を入れ行政司法機關を廢した。


督辦公所
督辦 王迺斌
參贊 杜蔭田
祕書役 黄光驊
顧問
ラチーノフ
クレンム
官房長
ギンス
次長
サルウスキ
同
ルジエウスキ
同
郭福帛
技術課長技師
カラバノフスギー
次長
ニプロフスキー
經理課長
ザーリン
法律課長
ガルトウング
北京政府
本社
總裁 王迺斌
副總裁 グニレウスキー
理事 クズホツオーフ
同 デスニーツキ
同 プシカリオフ
同 王景春
同 袁金鎧
同 成多祿
同 阿守仁
支社
鐵道長官
技師
オストロウモフ
祕書
ナポリスキー
會計經理
會計經理
監査役
委員長 陳幹
委員 王景春
同 コノワロフ
同 グロツセ
同 ブリヤヘル
本社監査課長
アリフエリエフ

鐵路警察
劉德權

- 警察課長
- 少將ミトロフアノフ
- 內務守備隊長
- 中將ウオロツチエンコ
- (大正九年九月新設)

附屬機關

臨時商業部長	デイチエフテイコフ
同　次長	メニシコフ
收入審査課長	ツーボレフ
同　次長	ノウイコフ
法律課長	ゲイシスドル
同　次長	トマシエフスキー
庶務課長(官房)	ウーイチ
同　次長	ペレビーノソフ
會計課長	ステプーニン
同　次長	セミヨーノフ 顧宋林
恩給課長	センテヤーニン

營業機關
- 鐵道部副長官
- 技師
- オツフヘンベルグ
- 同右(副局長)
- 余　䮻 (シユーシエイ)

線路課長技師	アレクサンドロフ
同　次長	ヤコブソン
同　次長	屠慰曾
臨時營業課長技師	ウオイトフ
同次長(代理)	プリヤンスキー
同	唐士清
電信課長技師	ザテプリンスキー
同　次長	ノウイツキー
車輛運轉課長技師	カリーナ
同　次長	シパコフスキー
同　同	鈕因祥
用度課長	(缺員)
同　次長	ウイリテ
河船課長	ルネーフスキー(臨時)

地方業務
- 總務部
- 副長官
- 中將
- アフアナシモフ

總務部長中將	アフアナフエフ
地方部長	ゴンダツチ
同　次長	ヲルパホフスキー
衛生課長	グリゴリエフ
同　次長 (中央病院長)	オフカーリフ イワシチエンコ
獸醫課長	オニシメンコ
露支交渉係	ウエセロウゾーロフ
教育課長	デイヤコフ
同次長(臨時)	ゲドロフ
測候所長	バウロフ
防疫課長	ロシチーロフ

- 支社監査課長
- メシナエルスキー
- 次長
- シエーリツ

3 營業狀態

主要驛間距離 哈爾賓基點主要驛間の距離下の如くである。

滿洲里	876 露里	海拉爾	700 露里	免渡河	594 露里
布哈圖	505	札蘭屯	389	齊々哈爾	253
安達	119	一面坡	153	橫道河子	255
海林	313	穆稜	402	ポグラニーチナヤ	512
陶賴昭	115	窰門	152	寬城子	222

車輛數 大正十一年四月末日現在に於ける機關車及客貨車數下の如し。

機關車數

區分＼型別	Г	Ш	Ц	Х	ОВ	Е	Ь	計
所屬車數	83	100	111	117	33	—	47	**491**
借受車數	—	—	—	—	—	124	—	**124**
貸與車數	—	—	50	12	20	—	9	**91**
(現在車) 使用車	37	29	37	47	4	56	8	**218**
(現在車) 豫備車	11	54	9	20	5	49	11	**159**
(現在車) 修繕車	35	17	15	38	4	19	19	**147**
(現在車) 計	**83**	**100**	**61**	**105**	**13**	**124**	**38**	**524**

客車數

種類＼區分	使用車	豫備車	貸與車	修繕車	計
勤務用車	35	17	13	35	**100**
食堂車	13	1	—	4	**18**
一等車	9	9	7	33	**58**
一二等車	20	3	3	23	**49**
二等車	17	4	12	91	**124**
二三等車	—	—	1	3	**4**
三等車	143	3	29	90	**265**

種類＼區分	使用車	豫備車	貸與車	修繕車	計
四等車	19	2	22	33	76
郵便車	13	4	—	13	30
手荷物車	22	2	—	24	48
衞生車	—	7	5	8	20
囚人車	—	2	5	2	18
合計	291	54	97	368	810

貨　車

種類＼區分	所屬車輛數	現在車輛數	修繕車輛數
有蓋車	5,489	7,473	721
無蓋車	1,923	1,921	385
側板車	1,160	2,579	390
其他	990	487	231
合計	9,562	12,460	1,727

収支狀況 東支鐵道大正十年(自一月至十二月)及同十一年自一月至六月收支狀况を見るに下の如くである。(單位金留)

大正十年自一月至十二月收入月別表

月別	營業收入	附帶事業收入	總收入
一月	2,894,842.12	44,714.81	2,939,556.93
二月	2,278,110.66	60,959.92	2,339,070.58
三月	3,641,478.48	73,563.09	3,715,041.57
四月	3,647,615.12	149,773.88	3,797,389.00
五月	4,148,189.53	196,433.09	4,344,622.62
六月	3,994,845.82	229,139.80	4,223,985.62
七月	2,865,421.54	432,729.31	3,298,150.85
八月	3,043,059.44	279,846.30	3,322,905.74
九月	2,571,130.88	203,879.90	2,775,010.78

月別	營業收入	附帶事業收入	總收入
十月	2,878,820.66	157,648.15	3,036,469.81
十一月	3,260,156.93	127,949.81	3,388,106.74
十二月	4,562,005.01	163,486.93	4,725,491.94
合計	**39,785,677.19**	**2,120,124.99**	**41,905,802.18**

大正十年自一月至十二月支出月別表

月別	營業支出	營業以外支出	總支出
一月	2,699,542.08	348,474.72	3,048,016.80
二月	2,920,929.62	358,717.01	3,279,646.63
三月	3,079,864.63	364,353.22	3,444,217.85
四月	2,593,888.42	350,078.16	2,943,966.58
五月	2,432,153.76	357,153.76	2,789,306.08
六月	2,832,495.62	214,139.41	3,046,635.03
七月	2,401,175.27	222,481.41	2,623,656.68
八月	2,455,389.07	403,589.08	2,858,987.15
九月	2,483,568.43	457,644.11	2,941,212.54
十月	2,233,244.49	234,746.17	2,467,970.66
十一月	2,874,145.75	384,046.07	3,258,191.82
十二月	3,805,227.60	1,148,824.14	4,954,051.74
合計	**32,821,624.74**	**4,844,245.82**	**37,655,850.56**

大正十一年自一月至六月收入月別表

月別	營業收入	附帶事業收入	總收入
一月	3,040,062.39	42,079.45	3,082,141.84
二月	2,402,207.82	99,246.20	2,501,517.02
三月	3,515,762.29	124,394.90	3,640,164.19
四月	3,357,616.63	252,732.11	3,610,348.74
五月	2,460,141.94	150,775.67	2,610,917.61

月別	營業收入	付帶事業收入	總收入
六月	2,621,463.18	150,081.08	2,771,544.26

大正十一年自一月至六月支出月別表

月別	營業支出	營業以外支出	總支出
一月	2,125,455.41	157,720.62	2,283,176.03
二月	2,183,653.08	161,363.64	2,345,016.72
三月	2,530,249.36	275,096.06	2,805,345.42
四月	2,313,211.73	292,988.48	2,606,200.22
五月	2,706,791.63	456,665.50	3,163,457.13
六月	2,265,317.62	560,482.20	2,825,799.82

4 運輸狀態

旅客輸送 大正九年及十年に於ける旅客數を見るに下の如くである（括弧内は九年を示す）

乘客數

區分	一等	二等	三等	四等	計
大人	11,641 (11,720)	62,217 (86,156)	924,967 (1,261,332)	984,376 (804,618)	**1,983,201** **(2,163,826)**
小兒	163 (164)	936 (930)	10,392 (9,951)	13,921 (7,777)	**25,406** **(18,832)**
割引	—	36 (1,031)	14,011 (68)	21,263 (10,368)	**35,310** **(11,467)**
庫人	—	—	—	—	**1,918** **(1,368)**
其他	5,851 (3,529)	21,441 (18,700)	204,815 (151,340)	—	**232,107** **(172,763)**

手荷物輸送數

年次	有賃	無賃	附隨	計
一九二一年	布度 136,284	布度 119,275	布度 456,340	布度 **711,899**
一九二〇年	142,326	277,953	521,610	**941,889**

貨物輸送 東支線の貨物輸送は革命以來其影響を受け久しく振はなかつたが近年少しく恢復して大正十年度に於ては實に此處數年間其地を見ろざる盛況を呈するに至つた。勿論戰前の旺盛であつた時代には及ばないがオストロウーモフ長官就任以來逐次順調に向ひつゝあるは事實である。殊に注意すべきは之等輸送品の大宗たる穀物の輸送方向で東行に於て特に昔日の盛況を再現せんとしある若し夫れ經濟上の狀況恢復と政治上の不安除去にしてなれは大連には大なる影響を與へるものがあらう。今知り得たる諸統計を見るに下の如くである。

貨物輸送量 （單位千布度）

品名＼年次	一九一七	一九一八	一九一九	一九二〇	一九二一
大豆	30,384	24,731	13,130	16,479	40,409
小麥	8,846	7,164	10,681	24,944	20,186
豆粕	7,702	4,587	6,163	5,996	8,671
麥粉	5,062	4,598	6,399	7,791	7,320
其他穀類	10,136	5,052	3,327	4,762	5,920
穀類總計	62,130	46,132	39,700	59,972	82,506
其他貨物	61,260	31,629	38,654	33,225	41,795
合計	**123,390**	**77,763**	**78,355**	**93,197**	**124,307**

方向別輸送量

區分			1917	1918	1919	1920	1921
地方的輸送	穀類		12,007	11,287	8,067	8,910	7,217
	其他		20,298	15,193	16,411	16,969	19.677
輸出	穀類	東行	32,075	10,619	11,549	6,152	25,702
		西行	3,981	399	1,771	508	—
		南行	14,045	23,818	18,304	44,398	49,583
	其他	東行	1,054	617	752	418	478
		西行	2,245	256	1,162	47	—
		南行	3,668	3,808	3,157	2,525	3,256
輸入	穀類	東行	1	1	—	—	—
		西行	—	—	—	—	—
		南行	—	—	—	2	2
	其他	東行	3,763	2,172	2,673	7,931	805
		西行	776	74	570	74	—
		南行	11,020	8,867	9,258	12,269	17,576
通過	穀類	東行	7	—	5	—	—
		西行	13	6	2	—	—
	其他	東行	1,326	100	444	9	—
		西行	17,115	538	4,222	117	—
計	穀類		62,130	46,133	39,700	59,972	82,506
	其他		61,260	31,629	38,654	33,225	41,795

主要穀類の大連及浦潮行數量

年次		大豆	豆粕	小麥	麥粉	豆油
1917	浦潮行	20,014	5,990	42	259	116
	大連行	9,042	907	2,647	1,504	649
1918	浦潮行	4,805	1,708	535	257	7
	大連行	18,826	2,553	2,942	1,837	839
1919	浦潮行	3,632	1,648	199	621	24
	大連行	9,120	4,092	3,597	2,712	1,576
1920	浦潮行	2,172	171	248	176	—
	大連行	13,559	5,489	18,284	4,715	319
1921	浦潮行	13,267	5,759	3,717	445	125
	大連行	26,453	2,737	13,037	4,816	157

(三) 吉長鐵道

吉長鐵道は滿鐵長春驛から吉林に至る七十九哩一四の鐵道であつて支那交通部直轄の國有鐵道である吉林省城に於て松花江の水運と聯絡するもので目下滿鐵に其經營を委任して居る經濟上頗る重要なる鐵道である

1 概　說

吉長鐵道は明治四十年四月十五日の日淸協約に基き我が借款鐵道で大正元年十月全線開通を見し以來數箇年間は、經營其宜しきを得ずして內外の信望を繫ぐに足らなかつたが、大正六年十月借款契約の改訂成り、同契約に基き大正七年一月から滿鐵會社が代つて指揮經營をするに及んで漸く革新の曙光を認めるに至つた。

吉長線は長春鐵道滿驛から吉林驛に至る間全長七十九哩一に過ぎぬが他日吉會鐵道が敷設される曉に於ては兩鐵道連絡が成つて南滿洲北部開發上主要な使命を有することゝなる。

2 組　織

本鐵道は支那國有鐵道であつて支那政府の管理に屬するが大正六年十月十六日の借款契約改訂に據り借款期限たる三十箇年間は滿鐵で委任經營する事になつて居り支那人を局長に撰任し工務、會計、運輸の三主任は滿鐵より撰任して其他一人は滿鐵代表者となつて事業を遂行して居る今其組織系統を見るに下の如くである。

- 吉長鐵路管理局(在長春)
  - 局長室
    - 文書課
    - 調査課
    - 監査課
    - 稽核課
    - 警務課
  - 滿鐵代表室
    - 運輸處
      - 營業課
      - 運轉課
    - 工務處
      - 工程課
      - 養路課
    - 會計處
      - 計理課
      - 材料課

3　資本及借款

吉長鐵道は最初530萬圓(内215萬圓は滿鐵より借款)の資金を以て設立されたが大正六年再び建設資金の全額六百五十萬圓を滿鐵會社から借入れることゝし既に滿鐵から支那政府に交付した二百十五萬圓中の未償還額百九十八萬餘圓を差引き、殘額四百五十一萬一千二百五十圓を新に滿鐵から交付を受けたのである。

改定借款契約の要綱は下の通りである。

1. 起債年月　千九百十七年十月(大正六年十月)
2. 起 債 額　日貨六百五十萬圓
3. 支那政府の手取額　百圓に付金九十一圓五十錢
4. 利　　息　年五分
5. 擔　　保　吉長鐵道財産及其の收入
6. 特別條件

（イ）借款期限内滿鐵會社(以下單に會社と稱す)をして代て指揮經營並營業を爲さしむ

（ロ）日本人三名を選任し之を工務、運輸及會計の各主任に充つ而して内一名を會社の代表者と爲し會社の權利、義務の執行を爲さしむることを得

（ハ）職員の任免、黜陟及俸給の制定は主任に關するものを除くの外鐵道局長と會社の代表者と協議の上之を定む

（ニ）會社に於て本鐵道の營業に從事する間は政府に於て會社と協議の上定むべき每營業期間に於ける鐵道純益の内より本借款の元利及會社よりの借入金に對する元利並政府の墳補金の元利の償還に必要なる金額を控除したる殘額の二割を會社に分配す

（ホ）本鐵道の營業收入其の經費を支辨するに足らざるときは政府に於て必要なる資金を供給す若し政府之を供給すること能はざるときは會社より借入るゝものとす

（ヘ）本鐵道の收入金は日本國銀行に預入るゝものとす

（ト）將來本鐵道に接續する支線又は延長線を建設する場合に於て外國資金を要するときは第一に會社に申込むものとす

6. 償　　還

（イ）償還期限　三十箇年

（ロ）据置期限　十 箇 年

(ハ)償還方法　十一箇年目より償還を始め借款金全額を四十に均分したる一分卽ち十六萬二千五百圓を半年毎に償還するものとす

4　營業狀態

創業以來年々缺損を續けて居り大正四年は十三萬圓同五年には二萬五千圓の缺損を見たが翌六年からは營業狀態著しく好況を見るに至つた之れ東支鐵道の亂脈等其他種々の原因あつて吉長線を有利に導いた結果ではあるが主として滿鐵の委任經營其宜しきを得たからである。今累年の出支表を見るに下の如くである。

收入累年比較

年次	旅客收入	貨物收入	其他收入	收入計
	元	元	元	元
大正四年	335,413	559,579	16,110	**911,102**
〃五年	356,700	564,554	12,258	**933,512**
〃六年	378,346	682,350	20,474	**1,081,170**
〃七年	545,519	1,216,401	14,224	**1,776,144**
〃八年	576,396	1,031,751	17,504	**1,895,651**
〃九年	700,206	1,470,894	17,394	**2,188,494**
〃十年	655,356	2,087,978	13,621	**2,756,955**

營業費累年比較

年次	總務費	車務費	運務費	備品維持費	工務維持費	計
	千元	千元	千元	千元	千元	千元
大正四年	115	108	132	140	268	**763**
大正五年	102	110	126	160	257	**756**
大正六年	114	110	149	191	190	**754**
大正七年	150	189	209	203	287	**1,038**
大正八年	221	215	237	279	357	**1,309**
大正九年	249	246	280	320	330	**1,430**
大正十年	345	308	425	301	366	**2,169**

5　運輸狀態

驛名及距離

長春	0 哩	土們嶺	43.23 哩

卡倫街	12.72	趙家店	45.61
馬飲河	23.88	樺皮廠	54.89
下九臺	29.28	狐店子	61.36
營城子	33.87	九站	68.20
馬鞍山	37.67	吉林	76.52

車輛數

種類		輛數	種類		輛數
機關車	旅客用	5	貨車	車掌車	8
	貨物用	10		有蓋車	50
	入換用	5		高側板車	97
	計	**20**		低側板車	24
客車	貴賓車	2		土運車	41
	一二等合造車	4		無蓋車	6
	三等車	9		家畜車	1
	郵便、三等合造車	2		計	**227**
	計	**17**			

旅客人員

年次	人員	年次	人員
大正十年	430,558	大正六年	287,215
大正九年	478,954	大正五年	271,634
大正八年	383,670	大正四年	263,222
大正七年	383,437		

種類別貨物噸數　(單位千噸)

種類	大正十年	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年
農產物	418	360	320	231	136	115	120
森林品	190	142	120	106	42	39	44
本鐵道材料	68	62	75	35	74	188	171

種類	大正十年	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年
礦産品	43	44	39	38	22	12	15
他鐵道材料	45	29	23	20	11	—	—
製造品	15	12	12	14	20	21	21
政府用品	1	3	3	3	1	—	1
禽畜品		2	2	1	1	2	1
合計	780	654	594	448	307	387	373

大豆輸送數量累年比較　（單位噸）

年次	數量	年次	數量
大正十年	305,382	大正六年	103,076
大正九年	244,534	大正五年	81,463
大正八年	276,307	大正四年	88,539
大正七年	187,991		

運賃率

				片道	往復
旅客	普通運賃率		一等 一公里に付き	銀四分六厘	
			二等 同	同三分二厘	
			三等 同	同一分八厘	
	團隊運賃率	一般團隊	二十人	普通運賃率の一割引	同 二割引
			二十人以上四十九人	同 一割五分引	同 三割引
			五十人以上九十九人	同 二割引	同 四割引
			百人以上	同 二割五分引	同 五割引
		學生團隊	十人以上	同 二割五分引	同 五割引
		演劇、音樂、曲馬等の團隊	六人以上	同 二割引	同 四割引
	手小荷物運賃率	託送手荷物	一公里二十公斤に付き	銀二厘	
		小荷物	一公斤五十公里に付き	銀二角五分	
			聯絡	銀一元	

貨物			一公里	一級品	二級品	三級品	四級品	五級品	六級品
	普通貨物	小口扱	百公斤に付キ	七厘	六厘	五厘	四厘	三厘	二厘
		一車扱	一公噸に付キ	六分	五分	四分	三分	二分	一分五厘
	特種貨物								
	諸料金								
	諸手數料								
	貨車留置料								
	保管料								

(四) 四洮鐵道

1. 概　說

本鐵道は民國二年十月日支交涉の結果敷設契約の成つた所謂滿蒙五鐵道(後に述ぶ)の一たる四平街、洮南線の一部で、民國四年十二月支那政府と橫濱正金銀行との間に四平街鄭家屯間の四鄭鐵路借款契約の調印を了し、越へて五年七月實測を開始し翌六年四月起工、同年十一月三十日全線開通、七年一月十日假營業を開始したのである。

鄭家屯から西方七十哩の白音太來(パインタラ)に通ず所謂鄭白支線は鄭家屯洮南間本線の延長に先ぎち布設することゝなり大正十年四月一日から全線を五區に分つて各區同時に起工し翌大正十年一月から營業を開始するに至つた。

2 組　織

本鐵道は交通部直轄の支那國有鐵道であつて之れを經營する機關は四洮鐵道局と稱し四平街にある局長は中國人であるが車務、工務、會計の三主任は借款契約により日本人之れに當つて居る今其概要を見るに下の如くである。

局長—副局長
- 總務處
  - 文書課、考工課、用度課
  - 編査課、警務課、庶務課
- 工務處
  - 文牘課、建設課、保線課
  - 庶務課、材料課
- 會計處
  - 文牘課、綜核課、出納課
  - 檢査課
- 車務課
  - 文牘課、營業課、轉運課
  - 機務課、計核課、庶務課

3 資本及借款

前述の如く本鐵道に横濱正金銀行から提供した資金は大正四年に金百萬圓と大正七年に金二百六十萬圓計七百六十萬圓であつたが鄭家屯、白音太來間支線の布設着手の爲め更に資金を要するを機として大正八年滿鐵で正金銀行の借款を引繼ぎ其額も四千五百萬圓迄を限度とすることになつた。

今參考の爲め正金銀行と本鐵道との最初の借款條約の概況を述ぶれば下の通りである。

1. 起債年月　民國四年(千九百十五年)十二月

2. 起債額　日貨五百萬圓

3. 手　　取　八十一パーセント

4. 利　　息　年五分

5. 擔　　保　現在及將來に於ける本鐵道に屬する一切の動產、不動產及收入とし尙公債元利金の支拂に不足を生するときは民國政府は他の財源から之を補足する。

6. 特別條件

イ　鐵道建築材料として外國品を購入する場合は正金銀行指定の取扱者(正金銀行は滿鐵會社を指定して居る)を經ることゝし外國產品としては最先に日本品を認め取扱手數料として價格百分の五を支拂ふこと。

ロ　本鐵道又は延長線を建設するに當り外國債に依る場合は正金銀行に優先權を與ふること。

ハ　技師長、會計主任、運輸主任、保線主任は正金銀行の承諾を得て日本人を聘傭すること、

7. 償　　還

イ　償還期限　四十箇年

ロ　据置期限　公債發行の日から十箇年

ハ　償還方法　十一箇年目から每年一回(五月一日)六萬圓乃至三十一萬七千圓を償還す其各年に償還すへき額は契約附表に定めて居る。

然るに建設着手後資金に不足を告けたので大正七年二月正金銀行から金二百六十萬圓の短期借款を爲し大正八年原契約を更改して更に償還期を一箇年延長した契約條件は下の通りである。

1. 起債年月日　大正七年二月七日

2. 手　　　取　金額

3. 利　　　息　年七分

4. 擔　　　保　四鄭鐵道の財產二番抵當及支那政府無條件保證

5. 償還期限　滿一箇年

4　營業狀態

營業哩

區間	哩	區間	哩
四平街—八面城	17.5	八面城—三江口	22.5
三江口—鄭家屯	14.6	鄭家屯—大　林	40.6
大　林—錢家屯	15.4	錢家屯—通　遼	14.4

車輛數

機關車		五　輛
客　車	一二等合造車	三　輛
	三　等　車	三　輛
貨　車	有蓋貨車	一五輛
	無蓋貨車	三　輛

累年收入比較表

款別 / 月別	大正七年		大正八年		大正九年		大正十年	
	收　入	一日一公里當リ	收　入	一日一公里當リ	收　入	一日一公里當リ	收　入	一日一公里當リ
1	24,628.11	13.33	56,753.40	20.80	78,561.74	28.83	61,484.27	22.56
2	24,610.53	9.99	45,110.49	18.31	70,369.05	27.61	41,363.80	16.81
3	46,703.96	17.12	69,488.46	25.47	105,675.97	38.78	79,232.61	29.08
4	40,048.52	15.17	62,598.02	23.71	78,345.87	29.71	71,087.10	26.96
5	35,336.58	12.95	59,744.04	21.90	63‘546.34	23.32	76 684.04	28.11
6	28,051.23	10.63	58,324.27	22.12	38,154.22	14.47	66,974.24	25.40
7	22,550.28	8.27	44,764.98	16.43	44,252.46	16.22	54,218.61	19.90
8	21,665.27	7.94	46,899.86	17.21	37,513.99	13.77	53,172.15	19.51
9	24,542.44	9.30	34,527.71	16.51	41,409.28	15.69	52,071.40	19.75
10	34,469.86	12.63	43,215.33	15.86	50,240.42	18.44	74,035.87	27.17
11	35,762.63	13.55	59,714.93	22.65	45,274.17	17.15	68,890.75	26.12
12	53,194.32	19.50	70,301.45	25.80	52,257.17	19.18	84,693.23	31.08
計	391,560,73	12.53	660,442.94	20.56	705,600.68	21.93	783,908.07	24.43

5 運　輸

客　車

月別＼款別	大正七年 乗客數	大正七年 客車收入	大正八年 乗客數	大正八年 客車收入
1	8,972	12,463.49	14,643	19,963.63
2	8,885	12,012.57	11,587	15,728.70
3	16,697	22,637.43	18,102	23,995.26
4	15,167	20,177.99	14,354	18,042.07
5	10,825	14,333.36	12,998	16,225.19
6	9,046	12,057.30	10,336	13,444.74
7	9,238	12,177.90	10,459	13,327.06
8	9,984	12,939.12	10,400	12,669.25
9	10,983	14,745.76	12,425	16,387.71
10	11,377	14,774.02	12,812	16,714.45
11	11,335	14,494.36	15,263	19,731.62
12	14,528	19,699.33	17,838	23,255.45
共計	**137,037**	**182,512.63**	**161,217**	**209,485.13**

貨　車

月別＼款別	大正七年 噸數	大正七年 貨車收入	大正八年 噸數	大正八年 貨車收入
1	11,298	12,164.62	23,256	36,789.77
2	13,017	12,597.96	16,921	29,381.79
3	17,655	24,066.53	26,217	45,493.20
4	23,366	19,870.53	27,970	44,555.95
5	28,486	21,003.22	25,674	43,518.85
6	20,351	15,993.93	24,358	44,879.53
7	10,999	10,372.38	17,901	31'437.92
8	10,185	8,726.15	17,748	34,230.61
9	9,268	9,796.68	17,285	27,140.00
10	15,518	19,692.84	12,799	26,500.88
11	17,952	21,268.27	19,632	39,983.31
12	24,509	33,494.99	21,776	47,046.00
共計	**202,604**	**209,048.10**	**251,537**	**450,957.8**

狀　　態

收　　入

大正九年		大正十年	
乘客數	客車收入	乘客數	客車收入
19,615	25,531.98	16,576	21,186.26
14,539	18,197.12	10,211	12,934.45
23,901	31,283.00	16,980	22,369.83
20,100	26,263.09	14,092	17,840.99
15,567	20,102.14	12,048	15,501.16
11,928	15,369.13	11,606	14,459.94
11,833	15,459.29	11,563	14,670.99
13,313	17,514.30	11,151	13,363.28
14,310	18,813.94	13,269	16,468.36
14,846	19,812.10	15,715	19,727.29
14,602	19,412.09	17,624	21,668.16
15,729	20,712.87	19,123	24,685.67
190,283	**248,471.05**	**169,958**	**214,876.38**

入

大正九年		大正十年	
噸數	貨車收入	噸數	貨車收入
19,674	53,029.76	14,196	39,821.39
19,070	52,171.93	9,981	28,313.55
29,894	74,392.97	23,810	56,433.87
22,592	52,082.78	25,687	53,110.02
23,245	43,444.20	26,406	60,673.75
20,080	22,785.09	33,073	52,173.05
40,003	28,793.17	31,577	39,292.92
18,467	19,999.69	40,057	39,542.45
10,315	22,595.34	47,243	85,350.45
17,351	30,428.32	52,286	54,159.70
11,985	25,852.08	38,839	47,049.37
12,462	31,544.30	36,875	59,719.60
245,138	**457,119.63**	**380,030**	**565,640.12**

主要貨物累年輸送料 (單位噸)

種類 年別	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
大豆	8,619	48,142	31,235	1,3379
高粱	16,364	7,278	20,692	34,693
粟	4,603	14,636	13,146	15,327
麻子	942	5,857	3,189	8,752
瓜子	1,942	5,200	13,335	14,902
雜粮	7,113	25,580	12,584	17,051
豆粕	1,668	3,402	4,018	13,296
葯材	214	824	1,095	821
獸毛皮骨	1,193	955	1,019	1,028
城	2,789	4,768	3,126	1,607
木材	8,428	17,910	3,309	2,808
煤	10,274	16,862	21,478	5,388
鹽	4,121	9,515	5,612	6,749
綿布綿絲	1,472	2,411	2,512	2,506
糖酒及食料品	1,579	1,738	1,795	1,836
麻袋	804	1,712	1,582	1,803
疏菜鮮果	1,717	1,304	1,925	989
煤油	432	1,140	1,953	923
洋灰石灰	408	790	620	832
紙	301	609	406	594
瓦磁器	213	578	819	525
洋麫	590	406	472	1,222

	運	賃	率
旅客	一等	一人一里に付	五錢
	二等	同	三錢
	三等	同	二錢
手小荷物	手荷物	一等一人八十斤迄二等一人六十斤迄三等一人四十斤迄無賃超過斤量は二十斤每に一里に付二厘	
	普通小荷物	五十里若は其未滿每に二十五錢（最低運賃二十五錢）	

		一級品	二級品	三級品	四級品	五級品	六級品
貨物	小口扱	厘 7.5	厘 6.5	厘 5.5	厘 4.5	厘 4.0	厘 3.5
	一車級	65.0	55.0	4.5	35.0	30.0	25.0
	其他手數料あり						

(五) 京奉鐵道

1 概　說

京奉鐵道は北京奉天間及支線を合せて六百十九哩軌間四呎八吋半の鐵道である唐山炭坑から北塘に至る塘山炭鑛鐵道は其先身で光緒三年時の直隷總督李鴻章の主唱に依り成立せる煤礦公司の手で英人技師キンダーをして工事に著手せしめ同七年完成した之れ實に北支那鐵道の嚆矢である。

其後李鴻章は軍事上の見地から本鐵道を天津まで延長せんとし中國鐵路公司を設立した然れども株式の應募者少なく諸外國の援助により兎も角起工し同十六年開通した。翌十七年に至つて旨を奉じ官資を用ひて古冶山海關間の鐵道を建設し二十年には天津古野間の商辦鐵道を回收して國有となし總公司の管理に歸せしめ二十四年山海關內外鐵路督辦大臣胡燦棻と英國中英公司との間に借款契約を締結し英金二百三十萬磅を借入れ以て線路を延長し一方新民府に達せしめ且つ溝營支線建設の用に供することにした。該支線は溝帮子から營口に至る百二十七支里である。二十八年直隷總督袁世凱等は英國公使と關內外鐵道交還章程を訂立して之を回收し庚子年間に英國武員の築設した通州正陽門及永定門間の軍用鐵道を支那政府の管理に歸し繼で三十三年外務部と日本公使との間に契約を締結し日本の建造した新奉間の軍用鐵道を買收し翌三十四年郵遞部鐵

路總局に長たる梁士詒は新奉鐵道續約なるものを締結し京奉鐵道遼河以東の本路に要する資金の半數を滿鐵から借入れることゝし日本金三十二萬圓を借入れ全路を完成し茲に京奉鐵道は完成を告げたのである。

2 組　　織

民國五年十月發布された京奉鐵路管理局の組織を見るに下の如くである。

- 京奉鐵路管理局
  - 總務處
    - 文書課
    - 材料課
    - 道澤課
    - 營業課
    - 編査課
    - 電務課
    - 警務課
    - 庶務課
    - 新河材料廠
  - 事務處
    - 文牘課
    - 運輸課
    - 計核課
    - 車務總段(分段)
    - 站
  - 工務處
    - 文牘課
    - 工程課
    - 工務總段(分段)
    - 山海關鐵工廠
  - 機務處
    - 文牘課
    - 工事課
    - 唐山製造廠
    - 溝帮子製造分廠
    - 機務總段(分段)
  - 會計處
    - 文牘課
    - 綜核課
    - 出納課
    - 檢査課

3 資本及借款

京奉鐵道の資産は五千八百九十一萬餘圓と評價されてあるが其資金は株式及借款になつたもので其内外國借款を見ろに下の如くである。

條件	關內外鐵路借款	新奉鐵道遼河以東借款	中英公司短期借款
起債年月日	光緒24.8.25	光緒33.3.1	民國4.12.4
債權者	英國中英公司	南滿鐵道會社	英國中英公司
起債額	金二百三十萬磅	金三十二萬圓	規銀二百十萬輛
年利	五分		七分
實收	九十	九十三	總額
擔保	鐵道財產及收入	遼河以東線財產及收入	京奉鐵道收益
借款年限	四十五年	十八年	四年
元金償還期	第六年目より四十箇年均分	借款後十八年間に三十六回均分	民國六年より三年間六回に均分

上記の中中英公司短期借款は本鐵道用に供せられたのでないから資本勘定に算入する事は出來ない。

主要驛哩程

1. 北京奉天間 (北京より)

北京正陽門	0哩	盧臺	139.87	寧遠州	331.96
通州岔道	1.75	胥各莊	161.64	連山	344.96
永定門	5.78	唐山	167.66	高橋	357.42
豐臺	11.87	開平	173.40	錦州	376.18
黃等	22.02	古冶	182.73	溝帮子	415.87
天津總站	83.93	灤州	201.24	新民府	485.75
天津東站	86.64	昌黎	223.28	皇姑屯	520.19
塘沽	113.83	湯河	250.73	南滿驛(奉天)	521.85
北塘	121.65	山海關	262.18	瀋陽城	522.55

2. 營口支線

溝帮子 — 田庄臺 45.0 營口 57.0

3. 通州支線(此の中二哩間は北京奉天線と共通線なり)

北京正陽門 — 通州岔道 2.0 通州 16.0

4. 秦皇島支線(本線は開平炭鑛會社の所有とす)

湯河 — 秦皇島 4.0

5. 連山灣支線

連　　山　　—胡蘆島　　7.5

6. 西沽支線

天津總車站　—西　　沽　　3.0

7. 京漢連絡線

豐　　臺　　—蘆溝橋　　4.0

(六) 其他の既成鐵道

前述の他滿蒙の地に於ける既成鐵道に通裕鐵道及京綏鐵道の二がある

通裕鐵道は京奉線女兒河驛から楊圈子を經大窰溝卽ち砂鍋屯に至る十八哩の鐵道である通裕煤礦公司の敷設に係り大正五年五月營業を開始した目下の處では單なる運炭鐵道に過ぎないが便宜上旅客の請求ある時は賃金を取つて便乘を許して居る。

京綏鐵道は北京綏遠間の本線四百二十一哩及北京門頭溝間の支線十六哩合計四百三十七哩の鐵道で資本は京奉鐵道純益中から支辨し又工事も外人の力を借らず支那獨力で之れを建設し爾後完全に支那人のみの手に依つて經營されてある鐵道である目下支那全國を通じ外人の力に據らざる獨立の鐵道は本鐵道唯一つあるのみで頗る特色あるものとされてある。該鐵道の蒙古に含まるゝ部分は未だ極めて僅な距離であるが將來蒙古を縱貫して北方に至るべく計畫されつゝあるから本鐵道の前途は洋々たるもので支那に於ける重要なる鐵道の一つであると云ふことが出來る。

(七) 輕便鐵道

線名	起點	終點	經過地	里程	備考
溪城鐵道	本溪湖	城廠	牛心臺	180支里	炭礦用輕便鐵道で大正二年十月起工同三年二月本溪湖、牛心臺間の九哩三鎖及支線五哩餘を竣工同年四月から營業を開始したが牛心臺城廠間は今尙起工せぬ溪城鐵道公司の資本金は十七萬圓で內滿鐵七分煤鐵公司三分の出資である

線名	起點	終點	經過地	里程	備考
廟兒溝鐵道	南坟驛	廟兒溝鑛	—	5哩	煤鐵公司の敷設したもので鐵鑛を本溪湖に運搬する爲めの輕鐵である
齊昂鐵道	昂々溪	齊々哈爾	五河瑪	12哩	支那人經管の輕鐵である
天圖鐵道	朝鮮會寧	天寶山	朝鮮上三峰、問島龍井村	75哩	天寶山の採掘權を有する我大興公司に於て敷設せんとするもので會寧、上三峰間は大正九年一月既に營業を開始した

(八) 未成鐵道

重なる未成鐵道

鐵道名	性質	締約年月日	締約國	巨離	起點—終點
吉會鐵道	借款官辦	民國 7.6.18	日本	哩 270	吉林—會寧
開海 〃	〃	民國 7.9.28	〃	120	開原—海龍
吉海 〃	〃	〃	〃	110	吉林—海龍
長洮 〃	〃	〃	〃	180	長春—洮南
洮熱 〃	〃	〃	〃	470	洮南—熱河
臨海 〃	〃	〃	〃	—	洮熱線の一點から海に至る
齊洮 〃	〃	—	露國	160	齊々哈爾—洮南
濱黑 〃	〃	民國 5.3.27	〃	658	哈爾賓—墨爾根—黑河 黑爾根—齊々哈爾

其他の未成鐵道

名稱	距離	起點—經過地—終點	備考
甘河運炭鐵道	哩 41	甘河—墨爾根	黑龍江甘河產の運炭鐵道(輕便)
對黑鐵道	350	對靑山—黑河	大體に於て濱黑線と同一
錦瑷鐵道	—	錦州—法庫門—伯都納—齊々哈爾—墨爾根—瑷琿	米支シンヂゲート及英國の寶林公司等の計畫せるもの

第六鐵道

各種	距離	起點—經過地—終點	備考
錦洮鐵道	563	錦州—朝陽—阜新—小庫倫—洮南	日本及露國が錦愛鐵道に反對するや本鐵道を計畫す
海吉鐵道	265	海林—寧古塔—吉林	露國の軍事上の目的に依り計畫する
延琿鐵道	—	延吉—琿春	在浦汐山東人等の計畫せる輕便鐵道
巴連鐵道	150	連山—錦州—朝陽—赤峰—巴林	熊希齡周自齊等の發起
赤綏鐵道	410	赤峰—綏遠	
京熱鐵道	140	北京—熱河	北京政府で再三計畫したるも未だものにならない
北南行横斷鐵道	—	齊々哈爾—墨爾根—黑河—哈爾賓—海倫—黑爾根	賓黑鐵道と同じ大正五年三月二十八日露支間に借款調印
蒙古縱斷鐵道	—	恰克圖—庫倫—北京	支那、露國、白耳義等互に其手に收めんとしたるもの
蒙古横斷鐵道	1,950	海拉爾—烏里雅蘇臺—科布多	露帝國外蒙に勢力を張りし時代の計畫
錦義線	約40	錦州—義縣	兩地商民の發起に係るもの
營蓋線	?	營口—蓋平	兩地商民の發起に係るもの
鐵法線	30	鐵嶺—法庫門	兩縣民の出資に依るもの
伊公線	30	伊通—公主嶺	
臨安線	?	臨江縣—安東	輕鐵

第七 水　　運

滿蒙の地に於ける海港の主なるものは大連、營口、安東の三港で其他旅順、大東溝、葫蘆島等があるが何れも特殊のものか又は未成港若しくは規模少なるもので論ずるに足らぬ。以上は日本及其他海外各國とを結び付くる海運上の要路たる海港であるが河運としては遼河、鴨綠江、松花江、黑龍江等があつて鐵道と相俟ち滿蒙內地に於ける主要なる交通系統をなして居る。

(一) 大　連　港

1 概　　況

本港は南滿洲鐵道の基點で滿蒙の門戶をなし滿蒙特產物の輸出港とし且極東唯一の自由貿易港である。

露國が東洋に不凍港を得んと焦慮し西歷一千八百九十八年（明治三十一年）露支條約によつて、二十五箇年の契約を以て遼東半島の南端關東州を租借するや鋭意大商港の建設に力を注ぎ築港せるものが卽ち此の大連港の前身であるが、日露戰爭後滿鐵が此經營に當るや大修築大增築を加へて今日の大連港を形成するに至り一千噸級乃至三千噸級の船舶十三隻四千噸乃至八千噸級のもの十一隻一萬噸級のもの五隻二萬五千噸級のもの一隻合計三十隻(十四萬噸)を同時に繫留し年計五百萬噸の貨物を呑吐する能力を設備するに至つた。

大連港と各港との距離

熱田	1,048	鎭海	538	鎭南浦	179
仁川	288	伏木	1,027	釜山	544
元山	841	義州	183	群山	304
函館	1,225	博多	583	神戶	869
關門	610	基隆	850	唐津	566
吳	769	三池	659	木浦	369
舞鶴	867	門司	614	新潟	1,060
長崎	577	七尾	117	直江津	123
根室	1,742	小樽	1,315	大阪	876

境	762	酒田	1,116	佐吉保	562
清水	1,089	下關	614	淡水	853
打狗	1,032	多獅島	150	東京永代橋	1,225
土崎	1,154	敦賀	891	宇和島	729
四日市	1,040	横須賀	1,205	横濱	1,212
安東	190	厦門	1,000	秦皇島	140
芝罘	88	長沙	1,306	廣東省	1,225
福州	879	香港	1,255	漢口	1,099
海洋島	71	宜昌	1,472	廣東	1,352
龍口	114	澳門	1,298	牛莊	186
寧波	581	貔子窩	52	旅順	33
三都澳	843	沙市	1,390	上海	544
汕頭	1,095	天津	242	太沽	181
靑島	262	威海衞	92	蕪湖	787
吳淞	532	營口	177	岳州	1,221
バタビヤ	2,983	ジヤバ	1,957	マニラ	1,564
蘭貢	3,765	新嘉坡	2,623	亞丁	6,280
孟買	5,080	甲谷陀	4,280	古倫母	4,180
マドラス	4,190	波南	2,995	ポートセッド	7,680
スマトラ	4,190	アムステルダム	11,005	アントワープ	10,970
ジブラルタル	9,390	グラスゴー	10,980	漢堡	11,230
海芽		ハル	11,030	クパープール	10,865
倫敦	10,900	マルセーユ	9,200	マンチエスター	10,905
ロッテルダム	10,965	浦潮	1,046		

2　埠頭設備と能力

海上設備

防波堤　東防波堤　1,221尺
　　　　北防波堤　7,405〃　計　13,436尺(1里1町餘)
　　　　西防波堤　4,810〃

港口　東港口　(主港口)巾　1,200尺

北港口・（帆船及小蒸汽船用）巾　400尺
西港口　（同　上）巾　200〃

降波堤内水面積　95萬坪（實際使用し得べき水面積約92萬坪）

繫船岸壁　第一埠頭　2,525尺 第二埠頭　4,424〃 }甲埠頭　1,144尺 第三埠頭　4,400〃 }乙埠頭　900〃 }計　13,393尺

繫船區　34區 自1區 至34區　各區長さ　400尺

危險物用棧橋　長さ　1,132尺（荷役に使用し得べき長さ約420尺）

港内水深　平　均（最干潮面以下）30尺（一潮干滿の差平均 8尺）

小蒸汽船　（船舶發著用及曳船用）　15隻　最大總噸數　435噸
最小　〃　11〃

艀船（ライター）　（鐵　製）　24隻　一隻積載量　250噸 16隻　100〃 8〃

__陸上設備__（埠頭構内全面積約50萬坪）

給水設備　各岸壁に給水栓アり、一栓一時間給水能力約60噸
給水船　3隻、一隻給水能力一時間30噸乃至50噸

給炭設備　第一、第二、第三、第四區を特別に石炭バースとして使用する、焚料炭は貨車より各岸壁に於て積込むことを得又艀船にても給炭することを得（石炭バース貯炭能力八萬噸）

荷役設備　海　上　50噸クレーン二臺、25噸クレーン三臺
陸　上　1.5噸、3噸、5噸、15、27噸、30噸、數臺

船舶荷役能力　一日（十時間）約二萬噸

		棟數	保管坪數	
倉庫及上屋	普通倉庫	57	85,376坪	
	危險倉庫	10	2,189〃	
	保溫倉庫	1	240〃	
	豆油タンク	5基	各タンク容積	120噸
	上屋	3	1,180坪	
	合計		88,985坪	

野積保管場　約　120,000坪

構內貨物收容能力	約	750,000噸
(貨物保管記錄)	〃	620,000〃

構內荷繰設備	鐵道線路延長	50哩
	機關車	14臺
	貨車(一車三十噸)	250車
	自働車(一車四噸)	4臺
	同上附屬ツレーラー(一臺二噸)	8臺
	ツラフク(一臺二噸)	8臺
	ツラクター	2臺
	同上附屬ツレーラー(一臺一噸)	10臺
	其他馬車小車を以て荷繰をなす	
	一日(十時間)荷繰能力 約	20,000噸
荷役勞働者	支那苦力	
	平均一日出働數 約	6,000乃至8.000人
	一人一日荷役力 約	5噸
	供給者	福昌公司(一手引受)(一萬二三千人を收容する宿舍を有す)
乾船渠	一箇所(滿鐵所有)川崎造船所經營	
	入渠能力 純噸數約	6,000噸

3 荷繰

當港に於ける船舶荷役は岸壁荷役を本則とし補助的に沖荷役をなすことがある、繫船岸壁着離の安全を期し總噸數一千噸以上の船舶に對しては、强制水先制度を設くるも船舶をして水先料を負擔せしめない、亦岸壁使用料をも徵收せず、只着離に際し使用する小蒸汽船其他の費用として、發着手數料を徵收するのみで如斯は東洋諸港にその類例を見ない。

岸壁上の荷役設備としては目下見るべきものなく、殆んど全部苦力によつて作業するも其能率に於ては敢て機械的設備に劣らない且其賃金の低廉なるが爲めに荷役諸料金の安價なること各國諸港に其比を見ない。

苦力は膂力强く其性質至つて溫順で團體の作業に適し、其頭腦亦至つて單純なるが爲めに目下勞働問題等の危惧はない、主として山東省方面より招來する。

大連港は主として農產物の輸出港なるが爲め季節によつて繁閑の差著

しく其最も多忙なる時期は毎年十一月中頃より翌年三月中頃で夏期は概して閑散である。冬季の最繁忙期に於ては往々三、四十隻の沖待船を生ずることあるに反し夏季閑散の時間に於ては僅々二、三隻の繋留船を見るに過ぎないことがある。

4 諸 掛

埠頭料金表

料金計算規則

第一條 船舶又は貨主の請求に依り時間外作業を爲したるときは其料金に對して左の割增金を申受く

一 所定の終業時より午後十二時迄若くは其以內 五割增

一 午前零時より所定就業時迄若くは其以內 十割增

前項の場合に於て船舶揚積作業を爲したるときは其請求者より船內人夫賃及び揚積賃に對し前項の割增金を申受く

第二條 埠頭貨物取扱規則第八條第二項の貨物に對しては假置料計算日數が十日に滿たざる場合と雖も十日分の料金を申受く

第三條 船積貨物にして所定の區域外に在るときは別に定むる荷繰賃を申受く

第四條 埠頭貨物取扱規則第八條の貨物にして倉庫營業規程に依る寄託に移されたるときは埠頭構內に送致せられたる日より受寄の前日迄の假置料を申受く

前項の貨物にして送致の日より受寄の前日迄に七日を經過したるときは埠頭貨物取扱規則第九條を準用し殘荷取扱料を申受く

第五條 埠頭貨物取扱規則第七條及び第八條の期間內に倉庫營業規程に依る寄託を爲したるときは之に要したる荷繰に對しては殘荷取扱料を申受く

第六條 輸入貨物にして船舶より埠頭陸揚後二十日以內に船積輸出せらるゝ場合に於て埠頭陸揚前仕向先、品名、數量其他必要事項の申出ありたるときは接續貨物として別に定むる料金を申受く

第七條 船舶荷役用具不足の場合には會社に相當の使用料を申受け之を貸與することあるべし但之に基因する損害あるも會社は其責に任せず

第八條 本表に於て一噸と稱するは四十才、四十立方呎、六石、千五百

十二斤、二千封度又は九百七庇とし會社の選擇に依り之を定む

第九條　噸の端數は第一位に止め以下之を切上け錢の端數は之を切上く但船車聯絡貨物に付き特別の規定ある場合は此限に在らす

第十條　容器に入れたる動物の才量は其容器の儘計算す

第十一條　料金は其率を異にする毎に各別に計算す

第十二條　各種料金か各金十錢に滿たさるときは各金十錢を申受く但所定の時間外に入港したる船舶の時間外作業に對する料金は金二十圓に滿たさる場合と雖金二十圓を申受く

會社に於て準備を爲したる後所定時間外作業取消の申込を受けたるときは金二十圓を申受くることあるへし

第十三條　埠頭假置貨物證の再發行、名義書換又は分割の請求に對しては一通に付金十錢を申受く

第十四條　貨物に關する證明書の請求に對しては一件に付金二圓を申受く

第十五條　本表に揭けさる貨物及び作業に對しては別に定むる料金を申受く

料　　金　　率

第一　船內人夫賃

一、一般作業

（イ）普通貨物　　一噸　　金二十錢

一箇又は一噸を超ゆる貨物は別に定むる所に依る

（ロ）特別貨物

品名	單位	賃率
駱駝、牛、馬、騾、驢（容器に入れざるもの）	一頭	金三十錢
羊、山羊、豚（同　）	同	金十錢
小船類	一隻	金六十錢
死體	一箇	金一圓
危險品	一噸	金三十錢
貴重品 價格金一千圓迄		金十錢
貴重品 價格金一千圓以上は金一千圓若くは其未滿每に		金二錢を加ふ

危險品並貴重品の品類の範圍に付ては貨物料金表を準用す

二、特別作業

其都度協定するものとす

三、戎克揚積の場合は船内人夫賃を申受けす

第二　陸揚賃及船積賃

（イ）　普通貨物（毎一噸に付）陸揚賃・船積賃各　金五十五錢

一箇一噸又は一噸を超ゆる貨物は別に定むる所に依る

（ロ）　特種貨物

品名	單位	陸揚賃・船積賃各
駱駝、牛、馬、騾、驢（容器に入れさるもの）	一頭	金一圓五十錢
羊、山羊、豚（同　）	同	金三十錢
小船類	一隻	金三圓
死體	一箇	金二圓
危險品　燐寸	一噸	金六十錢
危險品　其他	同	金一圓二十錢
貴重品　價格金一千圓迄		金四十錢
貴重品　價格金一千圓以上は金一千圓若くは其未滿毎に		金八錢を加ふ

危險品並貴重品の品類の範圍に付ては貨物賃金表を準用す

（ハ）　特定船積賃（毎一噸に付）

品名	賃率
豆類	金三十
豆粕	金三十
穀類及ひ種子類	金三十
食鹽	金三十
豆油類	金四十錢

第三　假置料

（イ）　普通貨物（毎一日一噸に付）　金三錢五厘

（ロ）　特種貨物（毎一日に付）

品名	單位	賃率
小船類	一隻	金十五錢
死體	一箇	金十錢
危險品	一噸	金十錢
貴重品（價格金一千圓若くは其未滿毎に）		金二錢
木材類（工を加へさるもの）	一噸	金一錢五厘

第四 艀荷取扱料

品名	單位	賃率
普通貨物	一噸	金二十錢
小船類	一隻	金一圓
死體	一箇	金一圓
貴重品(價格金一千圓若くは其未滿毎に)		金十錢

一箇一噸又は一噸を超ゆる貨物は別に定むる所に依る

貴重品の品類の範圍に付ては貨物賃金表を準用す

埠頭特定料金

貨物積卸賃

貨物船積賃

	單位(船内人夫を除く)	賃金
豆油流し込み	一噸	金六十錢

船内荷繰賃

作業種別	單位	賃金
同一船艙内荷繰	一噸	金二十五錢
隣接せる船艙間荷繰	同	金三十五錢
隣接せざる船艙間荷繰	同	金四十五錢

特量品に付ては其都度協定す

特種貨物船内人夫賃

種別	單位	賃金
豆油流し込み	一噸(重量)	金三十錢
重量Rail(六十封度以上のもの)	同(同)	金四十錢
一噸以上三噸未滿	同(容積又は重量)	金六十錢
三噸以上五噸未滿	同(同)	金一圓
五噸以上十噸未滿	同(同)	金一圓五十錢
十噸以上十五噸未滿	同(同)	金二圓
十五噸以上二十噸未滿	同(同)	金二圓五十錢
二十噸以上二十五噸未滿	同(同)	金三圓
二十五噸以上三十噸未滿	同(同)	金四圓
三十噸以上三十五噸未滿	同(同)	金六圓

三十五噸以上は臨時の約束に依る

Fore Peak, After Peak, Banker space, Deep Tank. 船内人夫賃は當所に於て該作業が一般作業に比し困難なりと認むるときは特殊料金として普通船内人夫賃の十割増を申受く

特種貨物陸揚及び船積賃

別	單位	賃金
重量Rail(六十封度以上のもの)	一噸(重量)	金八十錢
一噸以上三噸未滿	同 (容積又は重量)	金一圓
三噸以上五噸未滿	同 (同)	金一圓二十錢
五噸以上十噸未滿	同 (同)	金一圓五十錢
十噸以上十五噸未滿	同 (同)	金二圓
十五噸以上二十噸未滿	同 (同)	金二圓五十錢
二十噸以上二十五噸未滿	同 (同)	金三圓
二十五噸以上三十噸未滿	同 (同)	金四圓
三十噸以上三十五噸未滿	同 (同)	金六圓

三十五噸以上は臨時の約束に依る

但陸揚の際貨車へ直積したるとき又は船積の際貨車より直積したるときの揚積賃は其半額とす

沖合荷役賃

汽船より艀積又は其反對(船内人夫賃共)

一般貨物	一噸	金四十錢
危險貨物	同	金六十錢
火藥類	同	金八十錢
特量貨物	同	特殊貨物船内人夫賃の十五割

埠頭繫留船舶艀荷役 (危險物棧橋繫留のものを除く)

船内人夫賃及陸揚又は船積賃の外別に一噸に付金三十錢を申受く

解船賃貸料 (沖合危險物棧橋間)

但し會社之を廻漕す

危險貨物	一噸及び一噸未滿	金五圓
	一噸以上は一噸又は一噸未滿毎に	金二圓五十錢
	十噸以上は一噸又は一噸未滿毎に	金一圓五十錢

貨主の要求に依り危險貨物登載艀船を滯泊せしめたるときは艀船荷役終了後艀船賃貸規定に依り別に滯泊料を申受く

別段の定めなき限り艀船の取扱は艀船賃貸規定に依る

危險物棧橋積卸賃

危險貨物(船舶揚より危險物倉庫迄又は其反對)一噸　　金七十錢

船舶揚より寺兒溝火藥倉庫迄又は其反對の場合には前項の外に所定の荷繰賃を申受く

接續貨物費用

一、普通貨物	一噸	金一圓二十錢
一、危險貨物	同	金二圓
一、特量貨物	陸揚賃船積賃及ひ荷繰を要したる場合には荷繰賃を併算したるものを申受く接續貨物に對しては前項の外別に荷繰賃及ひ假置料を申受けす	

危險貨物貨車積卸賃 (鐵道貨物賃金表に掲名せさる危險物)

危險貨物貨車積込賃

小口扱	百斤	金六錢
一車扱	一噸	金七十錢

危險貨物貨車卸賃

小口扱	百斤	金五錢
一車扱	一噸	金六十錢

看貫賃

品名	單位	賃金
雜貨	一噸	金三十錢
袋物(百八十五斤未滿)	一件二十袋未滿	金四十錢
同(同)	同二十袋以上一袋に付金二錢五厘増	
同(百八十五斤以上)	一件二十袋未滿	金五十錢
同(同)	同二十袋以上一袋に付金三錢増	
豆粕(大小共)	同三十枚未滿	金四十錢
同(同)	同三十枚以上一枚に付金八厘増	
燒酎及油類(籠箱及ひDrum入)	一箇(二十才未滿)	金八錢

燒酎及油類(籠箱及びDrum入)	一箇(二十才以上)	金十　五　錢
燒酎、油類の空籠空箱及び空樽	同	金二　錢
石油箱入豆油類	一箱(二罐入)	金二錢五厘

改裝及び荷造賃（絲、釘、ハンダ會社持）

品名	作業種別	單位	賃金
袋物(百八十五斤未滿)	普通改裝	一袋	金五　錢
同　(百八十五斤以上)	同	同	金六　錢
同	口縫直し	同	金三錢五厘
同	看貫付の場合	同	金一錢五厘增
同	二重麻袋の場合	同	金一錢五厘增
同	混合	同	金五厘增
同	萬通し使用の場合	同	金二錢增
同	唐箕使用の場合	同	金三錢增
同	荷印刷込	同	金二錢五厘
同	荷印刷込他作業に伴ふさき	同	金五厘增
落花生	二枚續麻袋普通改裝	同	金十　錢
油類	普通改裝(出來上り)	一才	金二　錢
同	濾付改裝(同)	同	金四錢五厘
同	罐詰(看貫付)一箱二罐入	一箱	金九　錢
同	同(豆油糟附屬荷造場)(看貫付)	同	金八　錢
同	中味均一箱詰(看貫付)	同	金十　錢
同	中味均一樽入(看貫付)	一樽(二十才未滿)	金二十八錢
同	荷印削込一箱(二罐入)	一箱	金一錢八厘
同	荷印刷込他作業に伴ふさき	同	金六厘增
同	荷印削	同	金二錢五厘
同	荷印削作業に伴ふさき	同	金一錢三厘增
同	帶鐵打付	同	金二錢五厘
同	帶鐵打付他作業に伴ふさき	同	金一錢三厘增

油類	二罐箱詰	一箱	金二錢
同	番號荷印量目又は番號量目片面刷込	一樽	金五錢
同	右兩面刷込	同	金八錢
牛骨	普通改裝	一袋	金八錢
同	袋繕合せ	同（十才以下）	金七錢
雜貨	普通改裝（叺又は麻袋詰）	一箇	金七錢
一般貨物	繩掛（繩貨主持）	同	金四錢
同	繩掛他作業に伴ふさき（繩貨主持）	同	金二錢
同	同（看貫付）	同	金二錢増

解凍Drum入鉛封作業に對しては其都度協定するものとす

荷繰賃

品名	單位	賃金
大豆、雜穀、種子類及其他の貨物	一袋	金四錢
同（百八十五斤以上）	同	金五錢
豆粕	一枚	金一錢四厘
燒酎及油類（籠箱及Drum入）	一噸	金七十錢
石油箱入豆油類	同	金五十錢
落花生（二枚續麻袋入）	同	金五十錢
撒コークス	同	金六十錢
鑛石類	同	金六十錢
銑鐵	同	金六十錢
木材（工を加へざるもの）	同	金六十錢
雜貨	同	金五十錢
死體	一箇	金一圓
危險貨物（燐寸）	一噸	金六十錢
危險貨物（其他）	同	金九十錢
同（火藥倉庫鐵道線路間荷繰）	同	金一圓二十錢
小口扱發送荷繰（發送倉庫に荷繰さるる場合に限る）	同	金三十錢
一噸以上三噸未滿		金一圓二十錢
三噸以上五噸未滿		金一圓五十錢

特量貨物	五噸以上十噸未滿	金二圓
	十噸以上十五噸未滿	金三圓
	十五噸以上二十噸未滿	金四圓
	二十噸以上二十五噸未滿	金五圓
	二十五噸以上三十噸未滿	金六圓
	三十噸以上の貨物は臨時の約束に據る	

穀類及種子類豆粕油類其他普通品の配替賃は荷繰賃の半額とす

殘荷取扱料

特量貨物　特量貨物荷繰賃の半額

起重機、起重機船、潜水器船使用料

種別	一時間又は其未滿毎に	一時間以上は（一時間又は其未滿毎に）
三十噸起重機	金三十圓	金十圓
五十噸起重機船	金五十圓	金二十圓
五噸起重機及ひ起重機船	金十五圓	金六圓
潜水器船	金十圓	金五圓

但時間の計算は其使用地點に到著したる時より起算し其作業の終したるときを以て終る

檢量立會料

品名		單位	賃金
袋	物	一袋	金八厘
豆	粕（大小共）	一枚	金三厘
豆	油（石油箱入）	一箇	金五厘
同（籠Drum及ひBarrel入）	總量風袋檢量	同	金一錢五厘
同	總量檢量	同	金一錢
同	風袋檢量	同	金一錢
雜	貨	一噸	金十五錢

雇傭賃

種別	時間	賃金
日本人夫	半日	金二圓
同	一日	金三圓五十錢

苦力	一時間	金二十錢
同	半日	金五十錢
苦力	一日	金八十錢
常傭苦力	一時間	金三十錢
同	半日	金七十錢
同	一日	金一圓二十錢
Tally-man(支那人)	半日	金一圓二十錢
同　(同　)	一日	金二圓
同　(日本人)	半日	金三圓
同　(同　)	一日	金五圓

夜業を爲したるときは左の割増金を申受く

一、所定終業時より午前十二時迄若くは其以内	五割増
一、午前零時より所定就業時迄若くは其以内	十割増

代辨手數料

一、通關手續

箇數又は價格に依り計算し何れか高額のものを申受く

(イ)箇數に依りて計算する場合

一件に付	箇數	一箇以上十箇迄	金一圓
	同	十一箇以上五十箇迄	金二圓五十錢
	同	五十一箇以上	金四圓
		但價格金十圓未滿の場合	金五十錢

(ロ)價格に依りて計算する場合

一件に付	價格	金五千圓以上金一萬圓迄	金五圓
	同	金一萬圓を超ゆるときは金五千圓若くは其未滿毎に	金二圓

麻袋豆粕麥粉及び大豆其他の穀物又は同一品質にして荷造せざる貨物

一件に付　金二圓

但數量に拘らず

貨物の性質上箇數を以て計算し難きものは臨時の約束に依る

二、運送取扱

通關手續代辨手數料と同率とす

但通關手續の代辨と同時に運送取扱の代辨を爲したる場合には其一方のみを申受く

三、倉庫寄託に關する手續

通關手續代辨手數料と同率とす

四、海上又は陸上保險契約の締結		一件に付	金　一圓
五、代金の取立（但南滿鐵道運送規程及び南滿東淸聯絡運送規程に依る場合を除く）			
取立金額	金一千圓迄	金一百圓若くは其未滿毎に	金五十錢
同	金一千圓を超ゆる時	同	金二十五錢
六、免重徵專照申請手續		一件に付	金　一圓
七、子口半稅單申請手續		同	金　一圓
八、運照申請手續		同	金　一圓
但支那收入印紙代金は別に之を申受く			
九、陸揚證明書申請手續		同	金　一圓
但收入印紙代金は別に之を申受く			
十、貨物に關する檢查及び證明請求手續		同	金　一圓
十一、事故損害賠償金の取立		同	金　一圓

十二、代辨事務に關聯し金錢の立替を爲したるときは金拾圓若くは其未滿毎に金五錢の割にて別に手數料を申受く

5　出入船舶

大連に於ける一般航行章程に依る出入船舶は合計4592隻6,328.734噸で前年に比し隻數減したるも噸數に於て却つて增加を示して居る國籍別を見るに日本、中國、英國、米國の順位である其中日本船の隻數甚しく減少せるに拘らず噸數の增加著しきは年初以來大阪商船東洋汽船等の歐米航路船の寄港と其他一般船主が近海の小型船運航を減じ大型船を之れに代へるに至つた結果である。

又內水航行章程に依る汽船の出入は638隻218,659噸で前年に比し三割强の增進である之れを國籍別に見るに中國日本英國の順位である。

一般航行章程に依る累年出入船舶

年次	汽船		西洋型帆船其他		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
大正六年	3,394	3,490,446	539	15,471	**3,933**	**3,505 917**
同七年	4,417	3,812,742	393	11,995	**4,810**	**3,824,737**
同八年	4,955	4,766,410	158	13,352	**5,113**	**4,779,762**
同九年	5,084	5,507,705	116	1,609	**5,200**	**5,509,314**
同十年	4,534	6,328,019	58	715	**4,592**	**6,328,734**

戎克出入

地方別	大正六年		大正七年	
	隻數	擔數	隻數	擔數
關東州	9,243	551,707	9,216	737,280
安東	673	47,167	1,243	99,420
牛莊	12	2,975	29	2,321
奉天省	1,966	160,203	1,912	152,968
直隷省	207	35,545	328	26,240
天津	133	22,865	275	22,021
龍口	1	150	714	57,120
煙臺	1,042	134,854	1,090	87,208
威海衞	540	52,884	670	72,562
膠州	134	40,190	86	6,880
山東省	8,401	1,035,836	8,182	654,568
上海	129	36,535	110	33,000
朝鮮	166	9,199	334	10,085
江蘇省	266	88,750	237	78,210
寧波	38	37,400	28	28,960
福州	31	30,620	29	29,580
計	**22,984**	**2,286,880**	**24,720**	**2,098,423**

內水航行章程に依る累年出入船舶

年次	英吉利船		日本船		支那船		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
大正六年	—	—	469	134,488	29	10,586	**498**	**145,074**
同七年	—	—	393	116,488	33	10,282	**420**	**126,730**
同八年	12	3,372	300	90,031	141	39,009	**453**	**132,412**
同九年	15	4,215	197	71,861	257	81,062	**469**	**157,138**
同十年	2	562	139	55,551	497	162,542	**638**	**218,659**

累年比較

大正八年		大正九年		大正十年	
隻數	擔數	隻數	擔數	隻數	擔數
8,493	407,491	7,144	385,537	6,606	404,383
920	103,213	497	42,853	475	37,160
144	14,996	121	12,457	12	2,900
2,679	233,300	2,236	157,049	2,268	158,012
281	40,437	421	58,833	404	50,970
216	22,453	282	38,010	258	32,530
0	28,984	761	57,759	656	49,280
581	78,651	707	85,507	459	74,880
238	17,961	348	29,680	183	13,620
12	4,148	11	2,270	43	10,245
2,940	252,443	6,102	539,876	5,741	555,592
94	24,895	99	24,160	125	54,780
338	26,107	148	9,475	218	13,296
188	48,554	209	55,245	420	101,070
32	12,750	24	12,700	28	22,150
32	25,400	28	17,700	44	30,600
17,578	**1,431,783**	**19,138**	**1,529,111**	**17,935**	**1,606,468**

國 籍 別

年次	種別地方別	入		港		出	
		外國貿易		沿岸貿易		外國貿易	
		隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
大正六年	日本	747	774,982	1,087	738,429	784	873,403
	支那	10	5,125	241	101,008	16	6,776
	諾威	5	17,343	2	4,271	6	20,589
	英吉利	4	6,612	95	106,677	3	4,006
	丁抹	2	5,434	2	6,628	4	12,062
	和蘭	1	2,880	11	35,082	1	4,384
	露西亞	3	3,662	8	7,666	2	2,429
	北米合衆國	2	3,664	1	1,158	1	1,832
	計	**774**	**819,702**	**1,447**	**1,000,919**	**817**	**926,031**
大正七年	日本	1,171	1,028,985	1,111	708,317	1,186	1,044,361
	支那	6	3,121	269	121,933	12	6,316
	北米合衆國	1	5,195	1	5,195	2	10,390
	英吉利	2	8,523	43	49,610	2	6,836
	和蘭	3	10,919	4	12,796	1	3,510
	露西亞	7	7,570	7	8,629	14	16,199
	諾威	1	3,276	—	—	—	—
	丁抹	1	3,301	—	—	—	—
	佛蘭西	1	638	—	—	1	638
	計	**1,193**	**1,071,528**	**1,435**	**906,480**	**1,218**	**1,088,259**
大正八	日本	1,320	1,315,235	958	700,235	1,295	1,329,934
	英吉利	23	67,292	67	111,302	8	30,897
	支那	16	10,100	352	141,602	9	5,502
	北米合衆國	7	27,924	2	5,089	6	18,457
	丁抹	7	28,632	—	—	7	28,632
	露西亞	2	2,934	12	13,442	6	6,336
	瑞典	5	14,789	—	—	4	11,523

出入船舶

港		合				計	
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	隻數登簿	隻數	登簿噸數	隻數	噸數登簿	隻數	登簿噸數
1,040	649,690	1,531	1,648,385	2,127	1,388,119	3,658	3,603,504
234	99,419	26	11,901	475	200,427	501	212,328
1	1,025	11	37,932	3	5,296	14	43,228
96	108,688	7	11,218	191	215,365	198	226,583
—	—	6	17,496	2	6,628	8	24,124
11	33,578	2	7.264	22	68,660	24	75,924
9	8,899	5	6,091	17	16,565	22	22,656
2	2,990	3	5,496	3	4,148	6	9,644
1,393	**904,289**	**1,591**	**1,745,783**	**2,840**	**1,905,208**	**4,431**	**3,650,991**
1,076	689,281	2,357	2,073,346	2,187	1,397,598	4,544	3,470,944
263	117,849	18	9,437	532	239,782	550	249,219
—	—	3	15,585	1	5,195	4	20,780
43	51,297	4	15,359	86	100,907	90	116,266
6	20,205	4	14,429	10	33,001	14	47,430
—	—	21	23,769	7	8,629	28	32,398
1	3,276	1	3.276	1	3,276	3	6,552
1	3,301	1	3,301	1	3,301	2	6,602
—	—	2	1,276	—	—	2	1,276
1,390	**885,209**	**2,411**	**2,159,778**	**2,825**	**1,791,689**	**5,236**	**3,951,467**
999	704,703	2,615	2,645,169	1,957	1,404,938	4,572	4,050,107
82	147,697	31	98,189	149	258,999	180	357,188
359	146,187	25	15,602	711	287,789	736	303,391
3	14,556	13	46,381	5	19,645	18	66,026
—	—	14	57,264	—	—	14	57,264
8	10,040	8	9,270	20	23,482	28	32,752
1	3,266	9	26,312	1	3,266	10	29,578

年次	種別地方別	入港				出	
		外國貿易		沿岸貿易		外國貿易	
		隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
年	和蘭	1	2,293	1	3,510	1	2,293
	諾威	1	1,065	1	1,066	—	—
	獨逸	—	—	—	—	—	—
	計	**1,382**	**1,470,264**	**1,393**	**976,246**	**1,336**	**1,433,574**
大正九年	日本	1,225	1,348,675	666	565,675	1,226	1,379,481
	支那	27	22,079	477	227,833	15	11,229
	英吉利	36	141,216	70	99,621	31	116,225
	北米合衆國	47	194,311	16	59,624	51	208,912
	和蘭	7	24,626	16	15,170	12	38,744
	丁抹	5	23,366	1	4,232	5	22,381
	佛蘭西	1	4,278	2	8,448	3	12,726
	瑞典	4	12,256	—	—	4	12,256
	露西亞	3	7,800	6	6,826	3	7,800
	諾威	—	—	7	6,134	1	1,102
	伊太利	—	—	—	—	—	—
	計	**1,355**	**1,778,607**	**1,261**	**993,563**	**1,351**	**1,810,856**
大正十年	日本	903	1,515,721	702	791,880	908	1,591,355
	支那	4	2,566	495	282,324	21	19,678
	英吉利	11	46,633	70	157,833	19	68,438
	北米合衆國	22	79,065	29	110,444	35	136,745
	和蘭	16	64,991	12	40,059	14	52,188
	佛蘭西	1	4,282	5	18,823	6	23,105
	諾威	4	2,772	11	9,073	2	1,386
	丁抹	2	10,687	4	18,253	5	23,471
	伊太利	—	—	1	3,949	1	3,949
	瑞典	1	3,271	—	—	1	3,271
	露西亞	1	134	2	182	1	134
	計	**965**	**1,730,122**	**1,331**	**1,432,820**	**1,013**	**1,923,720**

港		合			計		
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
1	3,510	2	4,586	2	7,020	4	11,606
2	2,131	1	1,065	3	3,197	4	4,262
—	—	—	—	—	—	—	—
1,455	**1,032,090**	**2,718**	**2,903,838**	**2,848**	**2,008,336**	**5,566**	**4,912,174**
637	499,324	2,451	2,728,156	1,303	1,064,999	3,754	3,793,155
486	240,345	42	33,308	963	468,178	1,005	501,486
74	123,469	67	257,441	144	223,090	211	480,531
12	45,023	98	403,223	28	104,647	126	507,870
11	1,052	19	63,370	27	16,222	46	79,592
1	5,217	10	45,747	2	9,449	12	55,196
—	—	4	17,004	2	8,448	6	25,452
—	—	8	24,512	—	—	8	24,512
6	6,826	6	15,600	12	13,652	18	29,252
6	5,032	1	1,102	13	11,166	14	12,268
—	—	—	—	—	—	—	—
1,233	**926,288**	**2,706**	**3,589,463**	**2,494**	**1,919,851**	**5,200**	**5,509 314**
704	717,965	1,811	3,107,076	1,406	1,509,845	3,217	4,616 921
471	265,292	25	22,244	966	547,616	991	569,860
63	137,170	30	115,071	133	295,003	163	410,074
16	52,764	57	215,810	45	163,208	102	379,018
14	52,862	30	117,179	26	92,921	56	210,100
—	—	7	27,387	5	18,823	12	46,210
13	10,459	6	4,158	24	19,532	30	23 690
1	5,469	7	34,158	5	23,722	12	57,880
—	—	1	3,949	1	3,949	2	7,898
—	—	2	6,542	—	—	2	6,542
1	91	2	268	3	273	5	541
1,283	**1,242,072**	**1,978**	**3,653,842**	**2,614**	**2,674,892**	**4,592**	**6,328,734**

大連港入船

	月別	日本 隻	日本 噸	支那 隻	支那 噸	英 隻
入港	一月	157	326,194	86	69,091	16
	二月	132	274,194	68	56,080	13
	三月	204	452,101	108	79,404	8
	四月	180	410,917	60	47,601	7
	五月	160	379,996	43	40,798	3
	六月	154	348,463	43	32,412	2
	七月	133	265,803	58	49,577	2
	八月	130	279,850	42	30,445	5
	九月	130	319,879	41	30,753	2
	十月	152	367,233	57	49,584	4
	十一月	141	309.037	76	65,016	5
	十二月	173	413,663	94	72,553	12
	計	**1,846**	**4,137,330**	**776**	**623,314**	**79**
出港	一月	165	330,852	86	69,091	16
	二月	126	257,948	68	56,235	14
	三月	205	464,779	110	81,145	9
	四月	184	401,530	59	44,876	7
	五月	157	393,651	44	42,001	3
	六月	157	344,681	44	34,558	2
	七月	134	268,795	56	48,321	2
	八月	128	278,714	43	31,156	5
	九月	131	304,434	41	30,340	1
	十月	153	377,785	57	49,451	3
	十一月	133	287,088	75	62,870	7
	十二月	174	426,083	93	74,030	11
	計	**1,847**	**4,136,340**	**775**	**623,524**	**80**
大正九年	入港	2,064	3,352,731	632	472,413	113
	出港	2,077	3,370,460	635	474 177	112
大正八年	入港	2,409	3,628,834	364	247,082	92
	出港	2,392	3,613,963	360	243,861	91
大正七年	入港	3,207	3,085,290	275	203,459	45
	出港	2,196	3.035,905	276	203,807	46

舶 月 別 表

國	米	國	和	蘭	佛	國
噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸
47,101	6	36,546	2	13,100	—	—
43,123	4	19,907	1	3,511	2	3,540
27,573	7	39,864	5	28,536	1	7,676
25,447	9	51,127	3	17,842	2	14,195
21,940	1	5,651	3	13,094	—	—
19,196	2	7,357	4	22,678	1	6.782
14,563	5	30,957	4	28,617	—	—
34,760	8	47,065	1	4,597	1	5,875
14,314	1	5,625	3	20,738	—	—
23,457	3	18,765	2	12,507	—	—
22,195	3	19,051	4	25,509	—	—
47,595	2	12,262	1	7,228	—	—
341,264	**51**	**294,204**	**33**	**197,957**	**7**	**38,068**
47,101	6	36,546	2	13,100	—	—
45,812	3	17,009	1	3,511	2	3,540
32,382	7	37,517	4	20,838	—	—
25,447	10	56,372	4	25,540	2	13,632
21,940	1	5,651	3	13,094	1	8,239
19,196	2	7,357	3	15,763	1	6,782
14,563	5	30,957	4	28,836	—	—
34,760	8	47,065	2	11,293	1	5,875
6,754	1	5,652	3	20,738	—	—
19,386	1	6,698	2	12,507	—	—
33,826	5	31,118	3	19,889	—	—
45,853	2	12,262	2	12,848	—	—
342,479	**51**	**294,204**	**33**	**197,957**	**7**	**38,068**
363,375	67	405,813	20	66,971	3	17,936
362,936	67	405,813	20	66,971	3	17,936
286,227	11	55,587	2	8,648	—	—
284,233	11	55,587	2	8,648	—	—
93,349	2	17,306	7	37,808	1	935
94,777	2	17,306	7	37,808	1	935

大連港入船

	月別	丁抹 隻	丁抹 噸	諾威 隻	諾威 噸
入港	一月	—	—	1	1,095
	二月	1	5,570	1	1,095
	三月	1	6,650	3	4,050
	四月	—	—	1	1,350
	五月	—	—	—	—
	六月	—	—	—	—
	七月	—	—	—	—
	八月	1	8,597	—	—
	九月	—	—	—	—
	十月	1	8,654	—	—
	十一月	—	—	—	—
	十二月	—	—	—	—
	計	4	29,471	6	7,590
出港	一月	—	—	1	1,095
	二月	1	5,570	1	1,095
	三月	1	6,650	3	4,050
	四月	—	—	1	1,350
	五月	—	—	—	—
	六月	—	—	—	—
	七月	—	—	—	—
	八月	1	8,597	—	—
	九月	—	—	—	—
	十月	1	8,654	—	—
	十一月	—	—	—	—
	十二月	—	—	—	—
	計	4	29,471	6	7,590
大正九年	出港	6	37,380	7	9,795
	入港	6	37,380	6	8,700
大正八年	出港	7	42,769	2	3,401
	入港	7	42,769	2	3 401
大正七年	出港	1	5,259	1	5,275
	入港	1	5,259	1	5,275

舶　月　別　表

其他		計		累計	
隻	數	隻	噸	隻	噸
—	—	268	493,127	268	493,172
(伊國) 1	6,366	223	413,386	223	413,386
—	—	337	645,854	337	645,854
—	—	262	568,479	262	568,479
(瑞典) 1	6,650	211	468,129	211	463,129
(同) 1	5,414	207	442,302	207	442,302
—	—	202	389,517	202	389,517
(露國) 1	156	189	411,345	189	411,345
—	—	177	391,336	177	391,336
—	—	219	480,200	219	480,200
—	—	229	440,808	229	440,808
—	—	282	553,301	282	553,301
4	18,586	2,806	5,697,784	2,806	5,697,784
—	—	275	492,694	275	492,694
—	—	216	390,720	216	390,720
(伊國) 1	6,366	340	653,727	340	653,727
—	—	267	568,747	267	568,747
1	6,650	210	491,226	210	491,226
1	5,414	210	433,751	210	433,751
—	—	201	391,472	201	391,472
1	156	189	417,616	189	417,616
—	—	177	367,918	177	367,918
—	—	217	474,481	217	474,481
—	—	223	434,791	223	434,791
—	—	282	571,076	282	571,076
4	18,586	2,807	5,688,219	2,807	5,688,219
14	43,465	2,926	4,769,879	2,926	4,769,879
14	43,465	2,940	4,787,838	2,940	4,787,838
18	47,627	2,905	4,320,175	2,905	4,320,175
18	47,627	2,883	4,300,089	2,883	4,300,089
15	29,707	2,554	3,428,388	2,554	3,428,388
15	29,707	2,545	3,430,779	2,545	3,430,779

6 輸出

(貿易の

7 出入

累年旅客

種別	地方別	大正六年 支那人	其他	計	大正七年 支那人	其他	計
入港	日本	848	31,952	32,800	1,275	37,758	39,003
	朝鮮	531	1,127	1,658	2,152	1,088	3,240
	浦潮斯德	405	—	405	—	—	—
	香港	—	—	—	—	—	—
	關東州諸港	298	232	530	244	62	306
	安東	3,909	249	4,158	4,389	157	4,546
	牛莊	126	13	139	23	3	26
	秦王島	—	—	—	59	55	114
	天津	6,346	1,595	8,031	4,983	1,376	6,359
	龍口	24,200	109	24,309	13,501	103	13,604
	登州府	—	—	—	—	—	—
	芝罘	63,644	1,231	64,875	44,989	589	45,578
	威海衛	45	—	45	—	—	—
	青島	90,284	3,425	93,709	45,340	3,995	49,335
	上海	3,043	3,061	6,104	4,874	2,912	7,786
	福州	—	—	—	—	1	—
	廈門	—	—	—	—	—	—
	其他	—	—	—	—	—	—
	計	**193,769**	**42,994**	**236,763**	**121,829**	**48,099**	**169,928**
出港	日本	764	17,839	18,603	243	15,608	15,851
	朝鮮	108	739	847	987	367	1,354
	浦潮斯德	—	—	—	—	—	—
	香港	—	—	—	—	—	—
	關東州諸港	345	134	479	330	69	399
	安東	1,018	226	1,244	838	179	1,017
	牛莊	13	26	39	3	7	10
	秦王島	—	—	—	36	16	52
	天津	3,110	1,394	4,504	2,788	1,241	4,029
	龍口	16,090	88	16,178	7,504	120	7,624
	登州府	—	—	—	—	—	—
	芝罘	32,482	1,132	33,614	26,654	753	27,407
	威海衛	301	3	304	64	—	64
	青島	22,990	3,545	26,535	16,538	2,912	19,450
	上海	14,299	2,268	16,567	4,029	1,963	5,992
	福州	—	—	—	—	—	—
	廈門	—	—	—	7	—	7
	其他	—	—	—	—	—	—
	計	**91,520**	**27,394**	**118,914**	**60,021**	**23,235**	**83,256**

入　　貨　　物

部　　參　　照)

旅　　客

出　　入　　表

大正八年 支那人	大正八年 其他	大正八年 計	大正九年 支那人	大正九年 其他	大正九年 計	大正十年 支那人	大正十年 其他	大正十年 計
901	43,427	44,328	1,093	44,935	46,028	550	31,505	32,055
5,048	1,179	6,227	4,145	628	4,773	859	369	1,228
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	992	26	1,018
—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,316	171	2,487	7,215	205	7,420	4,958	106	5,064
—	—	—	42	103	145	17	45	62
298	61	359	96	30	126	64	27	91
6,599	1,383	7,982	12,830	1,957	14,787	13,880	1,411	15,321
33,734	210	33,944	30,081	81	30,162	27,188	43	27,231
230	—	230	—	—	—	—	—	—
91,782	705	92,487	81,950	642	82,592	58,584	519	59,103
—	—	—	—	—	—	5	—	5
49,936	3,528	53,464	80,402	3,759	81,161	54,819	3,760	58,579
3,021	2,758	5,779	5,672	2,693	8,365	2,927	1,437	4,364
—	—	—	—	—	—	45	3	48
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	139	—	139
193,865	**53,422**	**247,287**	**223,526**	**55,033**	**278,559**	**165,027**	**39,281**	**204,308**
484	27,850	28,334	468	35,262	35,730	513	22,222	22,735
1,501	495	1,996	1,294	329	1,623	922	412	1,334
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	25	—	25
—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,270	126	1,396	9,495	252	9,747	3,286	111	3,397
—	—	—	115	7	122	7	22	29
76	39	115	210	31	241	68	11	79
3,511	1,285	4,796	5,493	1,421	6,914	7,338	1,275	8,613
21,983	81	22,064	24,316	125	24,441	19,195	37	19,232
125	1	126	—	—	—	—	—	—
37,097	687	37,775	45,659	839	46,498	41,608	674	42,282
20	—	20	—	—	—	—	—	—
23,254	3,532	26,786	36,749	3,883	40,632	19,854	3,272	23,126
3,887	2,472	6,359	4,989	3,988	8,977	2,222	1,669	3,891
—	2	2	—	—	—	—	—	—
3	1	4	—	—	—	—	—	—
—	8	8	—	—	—	1,879	1	1,880
93,211	**36,570**	**129,781**	**128,788**	**46,137**	**174,925**	**96,917**	**29,706**	**126,623**

8 關東州置籍船舶 (大正十一年十一月二十八日現在)

遠洋航路

船名	總噸數	所有者
博進丸	1,482	大連汽船株式會社
一進丸	1,440	〃
興順丸	2,180	〃
長順丸	2,245	〃
滿洲丸	5,266	〃
東洋丸	3,019	合資會社草場船舶部
第八乾坤丸	4,668	關東汽船合資會社
天城山丸	3,662	遼東汽船株式會社
吾妻山丸	4,359	〃
榛名山丸	2,981	〃
愛宕山丸	3,949	〃
金剛山丸	5,177	〃
太陽丸	3,610	河内合資會社
泰平丸	3,299	合資會社野口商會
安宅丸	3,881	合資會社辰馬商會
慶津丸	4,286	〃
明天丸	4,323	大正海運株式會社
明宇丸	8,230	〃
明元丸	5,467	〃
北海丸	4,448	〃
第十二乾坤丸	3,390	乾合名會社
安陽丸	2,147	〃
泰陽丸	2,657	濱口汽船株式會社
東和丸	2,900	大連東和汽船株式會社
東慶丸	2,271	〃
第二英丸	2,637	村尾汽船株式會社
泰昌丸	2,579	大連佐藤國汽船株式會社
隆昌丸	2,880	〃

船名	總噸數	所有者
萬國丸	5,953	大正汽船株式會社
菊桐丸	5,218	關東汽船合資會社
白鳳丸	5,397	合資會社辰馬商會
第十八多聞丸	4,589	多聞汽船合資會社
建久丸	5,230	日滿汽船株式會社
北洋丸	4,987	北洋汽船合資會社
富丸	5,444	東海汽船株式會社
曉光丸	5,342	山下汽船合資會社
北光丸	5,346	〃
南光丸	4,714	〃
西光丸	4,618	〃
東光丸	4,717	〃
長福丸	4,490	長福汽船株式會社
第六眞盛丸	3,400	眞盛汽船合資會社
極東丸	4,353	合資會社極東公司
第二極東丸	4,336	〃
英龍丸	3,439	田中汽船合資會社
遼海丸	4,592	合資會社山本汽船商會
南華丸	4,044	〃
淺間丸	4,864	〃
天祐丸	3,752	株式會社小野商會
共成丸	5,043	共成汽船株式會社
陽仁丸	7,459	大華汽船株式會社
敬義丸	檢査中	日出汽船株式會社
二見丸	〃	合資會社松本汽船部
神州丸	2,896	合資會社佐藤商會
計 54	213,616	

近海航路

船名	總噸數	所有者
濟通丸	1,037	大連汽船株式會社

船名	總噸數	所有者
天潮丸	1,261	大連汽船株式會社
龍平丸	724	〃
益進丸	993	〃
長平丸	1,737	〃
第十六共同丸	1,477	共同汽船合資會社
計 6	7,229	

沿海航路

船名	總噸數	所有者
海州丸	172	大連汽船株式會社
遼海丸	113	關東廳
營城丸	31	〃
長風丸	71	南滿鐵道株式會社
圓島丸	223	〃
帽島丸	224	〃
宗谷丸	107	〃
三山丸	416	〃
龍山丸	416	〃
海洋丸	69	〃
妙法丸	42	〃
鐵島丸	102	〃
長島丸	61	〃
薪島丸	73	〃
青島丸	76	〃
大連丸	437	〃
奉天丸	427	〃
利生丸	193	滿洲運輸株式會社
計 18	3,253	

平水航路

船名	總噸數	所有者
鶴丸	36	大連汽船株式會社
廟島丸	24	關東廳
小高丸	46	〃
南山丸	462	南滿洲鐵道株式會社
明治丸	31	〃
北島丸	57	〃
平島丸	569	〃
戊申丸	31	〃
南島丸	152	〃
臺山丸	419	〃
常盤丸	36	〃
瑞穗丸	24	〃
榮丸	20	〃
鉛島丸	75	〃
北山丸	109	〃
黑島丸	109	〃
計 16	2,200	川崎造船所

帆船

船名	總噸數	所有者
黃海丸	53	宮田仁吉
朝陽丸	34	關東廳
榮光丸	65	光田伊太郎
計 3	152	

不登簿船

船名	總噸數	所有者
吉林丸	16	石田榮造
乙姫丸	13	南滿洲鐵道株式會社
鳩丸	4	關東廳
櫻丸	18	櫻井常之助
鴨丸	7	大連汽船株式會社
鎭江丸	6	關東廳
計 6	64	

9 大連港關係

航路別	使用船 船名	使用船 總噸數	經
天津、大連、安東線	天潮丸	1,261	大連汽
〃	濟通丸	1,037	
天津、大連線	長平丸	1,737	
大連、龍口線	龍平丸	742	
青島、上海線	益進丸	993	
大連、貔子窩線	利生丸	193	滿洲運
大連、柳樹屯線	華信丸	19	
大連、青島、上海線	さかき丸	3,400	大連汽
〃	西京丸	2,850	
大連、芝罘線	永利號	—	政記
〃	生利號	—	
大連、芝罘、青島線	十六共同丸	1,477	阿波國共
大連、芝罘、仁川線	二十一共同丸	1,380	阿波國共
仁川、青島、大連、芝罘線	江原丸	—	朝鮮郵
〃	海州丸	—	
大連、青島線	平安丸	1,580	
香港、北米線	さいべりや丸	11,785	東洋汽
〃	ぺるしや丸	4,380	
大阪、大連線	はるびん丸	5,169	大阪商
〃	臺南丸	3,176	
〃	臺中丸	3,212	
〃	ばいかる丸	5,243	
高雄、天津線	盛京丸	2,565	
〃	湖北丸	2,610	
〃	福建丸	2,568	
ピユーゼツトサウンド線	ありぞな丸	9,695	
〃	あらばま丸	9,695	
〃	あふりか丸	9,496	

汽船定期航路

營　　者	寄　港　地	備　考
船株式會社	(往航)天津、安東 (復航)安東、天津	天津冬期結氷の際は秦皇島に寄港す安東行は冬期結氷の際休止す
〃	(往航)天津、大連 (復航)大連、天津	天津冬期結氷の際は秦皇島に寄港す旅順に寄港する事あり
〃	(復航)大連、登州府、龍口 (往航)龍口、登州府、大連	
〃	(往航)青島、上海 (復航)上海、青島	
輸株式會社	(往航)大連、貔子窩 (復航)貔子窩、大連	島廻の場合は廣鹿島、獐子島、海洋島、小長山島、大長山島に寄港す
〃	(往航)大連、柳樹屯 (復航)柳樹屯、大連	
船株式會社	(往航)大連、青島、上海 (復航)上海、青島、大連	
〃	〃　〃	
公　司 〃	(往航)大連、芝罘 (復航)芝罘、大連	
同汽船株式會社	(往航)大連、芝罘、青島 (復航)青島、大連	
同汽船株式會社	(往航)大連、芝罘、仁川 (復航)仁川、大連	
船株式會社	(往航)仁川、青島、大連、芝罘 (復航)芝罘、大連、青島、仁川	
〃	(往航)青島、海州 (復航)海州、青島	
〃	(往航)仁川、鎮南浦、新義州、芝罘、大連(復航)大連、青島、仁川	
船株式會社 〃	(往航)香港、上海、大連、神戸、横濱、ホノルル、桑港(復航)桑港、ホノルル、横濱、神戸、大連、上海、香港	べるしや丸は往復共上海に寄港せず
船株式會社 〃 〃 〃	(往航)大阪、神戸、門司、大連 (復航)大連、門司、神戸、大阪	宇品に寄港することあり
〃 〃 〃	(往航)高雄、基隆、福州、上海青島、天津、大連(復航)大連、上海、福州、基隆、高雄	
〃 〃 〃	(往航)香港、上海、大連、神戸、四日市、清水、横濱、ビクトリヤ、シヤトル、タコマ(タコマ荷揚後晩香坡行)(復航)タコマ、シヤトルビクリトヤ、横濱、神戸、門司、長崎、上海、マニラ、香港	

航路別	使用船 船名	總噸數	經
營口、大連、大阪線	長順丸	2,245	大連汽
ピユーゼツトサウンド線	あらびあ丸	9,499	大阪商
〃	まにら丸	9,518	
〃	はわい丸	9,484	
紐育線	ほのろゝ丸	5,750	
〃	へいぐ丸	5,812	
〃	あむうる丸	7,770	
〃	はばな丸	5,823	
〃	はあぶる丸	5,821	
〃	春光丸	6,776	
日本歐洲線	あらすか丸	7,378	
〃	あまぞん丸	7,770	
〃	あるたい丸	7,772	
日本歐洲線	あんです丸	7,772	大阪商
〃	ひまらや丸	5,228	
〃	あさらす丸	7,374	
〃	あるぐん丸	6,609	
甲谷陀、ニユーオルリンス線	はんぶるぐ丸	5,219	
〃	せれべす丸	5,863	
〃	ぼるねお丸	5,863	
〃	すまさら丸	1,675	
橫濱北支那線	高砂丸	1,456	日本郵
〃	花咲丸	1,833	
〃	相模丸	1,958	
大阪牛莊線	山東丸	5,266	

營　者	寄　港　地	備　考
船株式會社	(往航)營口、大連、大阪 (復航)大阪、大連、營口	
船株式會社	(往航)香港、上海、大連、神戸、四日市、淸水、横濱、ビクトリヤ、シヤトル、タコマ(タコマ荷揚後晩香坂行)(復航)タコマ、シヤトル、ビクトリヤ、横濱、神戸、門司、長崎、上海、マニラ、香港	
〃		
〃		
〃	(往航)新嘉坡、香港、上海、大連、神戸、四日市、横濱、桑港、バルボア、クリストバル、ハバナ、紐育(馬尼刺に寄港することあり、)(復航)紐育、クリストバル、バルボア、桑港、横濱、神戸、上海、香港、マニラ、新嘉坡(大連に寄港することあり)	
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃	(往航)神戸、横濱、大連、上海、香新港、嘉坡、古倫母、蘇士、坡西土、馬耳塞、倫敦、安士府、ロツテルダム、漢堡(復航)漢堡、安士府、坡西土、蘇士、新嘉坡、香港、上海、神戸、横濱、神戸(大連門司に寄港することあり)	
〃		
船株式[illegible]社		
〃		
〃		
〃		
〃	(往航)甲谷陀、古倫母、坡西土、サンチヤゴ、シエンフエゴ、ハバナ、ニユーオルリンス(復航)ニユーオルリンス、ククリストバル、バルボア、横濱、神戸、門司、大連、上海、香港、新嘉坡、甲谷陀	
〃		
〃		
〃		
船株式會社	(往航)横濱、大阪、名古屋(又は四日市)門司、長崎、大連、太沽、牛莊(仁川に寄港することあり)(復航)牛莊、大連、長崎、神戸、横濱	
〃		
〃		
〃	(往航)大阪、神戸、門司、大連、牛莊、 (復航)牛莊、大連、門司、神戸大阪	冬期休航

10 關東州置籍汽船臨時航路 (大正十一年十一月現在)

航路別	船名	總噸數	經營者
大連、南洋各地間	滿洲丸	5,266	大連汽船株式會社
大連、內地、臺灣、南支、南洋	興順丸	2,180	〃
大連、南支方面間	一進丸	1,440	〃
〃	博進丸	1,482	〃
濠洲方面	第十二乾坤丸	3,390	乾合名會社
南支方面	安陽丸	2,147	〃
歐洲方面	太陽丸	3,610	河內合資會社
孟買ムールメント間	安宅丸	3,881	合資會社辰馬商會
新嘉坡、西貢、香港間	慶津丸	4,286	〃
印度方面	東洋丸	3,019	澤山汽船合資會社
〃	第八乾坤丸	4,668	關東汽船合資會社
坡西土及喜望峯以東の亞細亞、亞弗利加、濠洲各沿岸並に離島間	隆昌丸	2,880	大連佐藤國汽船株式會社
〃	泰昌丸	2,579	〃
秦皇島、上海、香港、マニラ間	泰平丸	3,299	合資會社野口商會
南支方面	第二英丸	2,637	村尾汽船合資會社
北米、印度、太洋島方面	金剛山丸	5,177	遼東汽船株式會社
歐洲、南米方面	吾妻山丸	4,359	〃
歐洲、北米方面	愛宕山丸	3,949	〃
印度、濠洲方面	天城山丸	3,662	〃
〃	榛名山丸	2,981	〃
浦鹽方面	海天丸	2,922	田中商事株式會社
芝罘、安東、大連、龍口、登州府	北平丸	386	〃
大連、安東、天津、營口、龍口、青島	北海丸	4,448	〃
芝罘、大連、仁川	利通丸	1,900	〃
支那歐洲線	まらや丸	6,827	寶隆洋行
芝罘、安東、大連、龍口、登州府	海寧丸	487	田中商事株式會社

(二) 安東港

1 概　　況

港灣としての價値甚だ低く水深と澪筋の變化は航運上甚だ不便を伴ひ安東附近に於ても干滿の差は平時七、八呎を出で江水の膨脹する時は更に其差を大にするのである今架橋點附近の狀況を見るに。

干潮時	深き時	21呎	平均水量時	12呎
滿潮時	〃	34〃	〃	23
最高水量時	〃	38〃	〃	27〃

流水速度一時間最急時一萬六千呎なるも最緩時は殆んど停流し平均速度は六千呎で之より下流約三里に三道浪頭と稱する安東の副港がある平時相當の水深を保ち一千噸內外の汽船碇泊し得るも其上流約一里五道溝の流域に方り淺瀨一箇所其下に一箇所の難所あつて干潮時に僅に水深二三尺に過ぎない爲め深吃水の船舶は江外門白又は朝鮮多獅島に投錨し支那沿海航路船で木材積載を目的とするものは多く三道浪頭に投錨するを常とするが故に錨地と安東港との間は艀舟又は戎克小汽船等に依り連絡を取りつゝあるのである當港に入埠する汽船は滿潮時に於ても七、八百噸が限度で三道浪頭に在りては一千二、三百噸更に大なるものは門白若くは多獅島に碇泊せねばならぬ。

更に港灣として安東港の價値を減殺するものは冬期四箇月に亘る江水の結氷と流氷である。其期間は寒暖により一樣でないが概ね下の如くである。

結氷	最早	十一月十四日
	最晚	一月二十三日
	平均	十二月六日
解氷	最早	三月二日
	最晚	三月三十一日
	平均	三月十一日

而して結氷の厚さ最大三尺五寸に至り又結氷、解氷前後約一箇月は流氷多く船舶の航行を妨げる事大である。

2 各地との距離

本港と各連絡地に至る距離は下の通りである(浬)

神戸	880	宇品	454	關門	635
釜山	561	巨文島	446	仁川	281
鎭南浦	135	龍岩浦	154	大孤山	73
大連	145	營口	435	芝罘	218
元山	858	多度津	800	天津	357
上海	599	青島	343		

3 港灣設備

護岸延長	一千五百二十五間		
荷揚場所	五箇所	長 50間幅 11 間のもの	2
		長 45間幅 $14\frac{1}{2}$間のもの	1
		長 123間幅 11 間のもの	1
木材保管貯水池地積	25,051坪		
主要倉庫	八棟	2,430坪	外に野積場もある
ポンツーン	三		

4 諸 掛

何れも各自の競爭から一定しないが下に滿鐵の作業賃金解賃豫定表等を示し一般を窺ふの參考とする。

木材作業賃

種類		水切河卸	水切い運搬い集積	運搬い集積
		錢	錢	錢
角材	1,000寸以下	78	130	56
	1,500 同	109	120	84
	2,500 同	138	220	101
	3,000 同	166	303	139
	3,000寸以上	200	380	180
丸太	五寸以下	31	39	19
	尺 同	68	107	46
	尺五 同	138	208	84
	尺五 以上	180	310	130

保管料

	角材	太招莚	丸太
	錢	錢	錢
陸上一連一箇月	15	9	6
水中一連一箇月	23	15	9

船舶作業賃

種別	戎克積卸賃	汽船積賃	汽船卸賃	荷繰賃
雜品	錢 45.0	錢 64.0	錢 74.0	錢 39.0
豆粕	42.0	46.0	—	39.0
木材	58.0	58.0	—	—
穀物	42.0	46,0	58.0	38.0
繭(一籠ニ付キ)	42.0	4,60	58.0	39.0
蠶絲	42.0	46,0	66.0	39.0
薪炭	46.0	58.0	62.0	39.0
麥粉	46.0	58.0	68.0	39.0
セメント	50.0	58.0	68.0	39.0
牛骨	87.0	—	—	—
蛹	87.0	—	—	—
鑛石	48.0	—	—	—

仲仕賃

	收入	支拂		收入	仕佛
沖積	35.0錢	17.1	棧橋積	20.0	9.8

石炭作業賃

貨車積	25.0錢	貨車卸	25.0
貨車積替	21.0	艀直下	39.0
戎克貯炭直下	39.0	汽船貯炭直下	54.0
港內艀賃	112.0	三道浪頭艀賃	175.0
		(荷物料)	214.0
港內沖積	58.0	三道浪頭沖積	68.0
(荷物料)	68.0	(荷物料)	112.0
看貫料	5.0	構內運搬	97.0
構外運搬	112.0	貯炭場荷繰	17.0

5 出入船舶

本年の一般航行章程による出入船舶は合計 1,354隻 697,617噸で前年に比し 248隻 276,805噸の增加である之を國籍別に見るに日本 214隻226,279噸で殆ど外國貿易を獨占して居る次で支那30隻45,006噸英國14隻13,130噸の順位である。內水航行章程に依る出入汽船の數は 566隻 111,051噸で前年に比し14隻を減じた噸數に於て 8,818噸の增加を表して居る今三年間の出入狀態を見るに下の如くである。

一般航行章程に依る累年出入船舶

年次	汽船 隻數	汽船 噸數	西洋型帆船其他 隻數	西洋型帆船其他 噸數	合計 隻數	合計 噸數
大正六年	302	186,290	896	26,616	**1,198**	**212,906**
同 七年	402	208,692	632	21,388	**1,034**	**230,080**
同 八年	674	388,554	722	22,546	**1,396**	**411,100**
同 九年	586	408,836	520	11,976	**1,106**	**420,812**
同 十年	884	686,811	470	10,806	**1,354**	**697,617**

安東港出入船舶國籍

年次	船舶國籍別	入港 外國貿易 隻數	入港 外國貿易 登簿噸數	入港 沿岸貿易 隻數	入港 沿岸貿易 登簿噸數	出港 外國貿易 隻數	出港 外國貿易 登簿噸數
大正六年	日本	171	6,068	414	79,248	176	5,934
	英吉利	—	—	23	17,758	—	—
	支那	—	—	179	35,631	—	—
	諾威	—	—	5	4,245	—	—
	和蘭	1	501	—	—	—	—
	計	**172**	**6,569**	**621**	**136,882**	**176**	**5,934**
大正七年	日本	190	9,257	246	83,809	211	7,312
	英吉利	—	—	17	14,861	—	—
	支那	—	—	279	47,436	—	—
	和蘭	1	501	—	—	—	—
	計	**191**	**9,758**	**542**	**146,106**	**211**	**7,312**
大正八年	日本	307	49,738	223	91,218	271	43,342
	英吉利	2	1,997	25	24,362	1	1,159
	支那	—	—	302	74,605	—	—
	計	**309**	**51,735**	**550**	**190,185**	**272**	**44,501**
大正九年	日本	201	41,393	122	50,882	178	27,604
	英吉利	1	1,227	39	44,263	—	—
	支那	1	33	184	68,803	1	33
	諾威	—	—	5	3,805	—	—
	計	**203**	**42,653**	**350**	**167,753**	**179**	**27,637**
大正十年	日本	271	106,152	158	98,973	279	109,452
	英吉利	—	—	47	52 055	—	—
	支那	—	—	200	91,339	—	—
	計	**271**	**106,152**	**405**	**242,367**	**279**	**109,452**

內水航行章程に依る累年出入船舶

年次	英吉利船		日本船		支那船		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
大正六年	—	—	326	54,986	62	19,010	**388**	**73,996**
同七年	—	—	172	40,478	260	41,170	**432**	**81,648**
同八年	—	—	180	45,692	142	27,048	**322**	**72,740**
同九年	256	8,632	68	16,264	382	77,337	**706**	**102,233**
同十年	278	8,040	10	2,529	278	100,482	**566**	**111,051**

・別貿易額累年比較

貿易額單位(海關兩)

海		合				計	
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
409	79,382	352	16,502	823	158,630	1,170	170,632
23	17,758	—	—	46	35,516	46	35,516
179	35,631	—	—	358	71,262	358	71.262
5	4,245	—	—	10	8,490	10	8,490
1	501	1	501	1	501	2	1,002
617	**137,517**	**353**	**17,003**	**1,238**	**274,399**	**1,586**	**286,902**
225	85,754	401	16,569	471	169,563	872	186,132
17	14,861	—	—	34	29,722	34	29,722
279	47,436	—	—	558	94,872	558	94,872
1	501	1	501	1	501	2	1,002
552	**148,552**	**402**	**17,070**	**1,064**	**294,658**	**1,466**	**311,728**
259	97,614	578	122,580	482	188,832	1,060	281,812
26	25,200	3	3,156	51	49,562	54	52,718
302	74,605	—	—	604	149.210	604	149,210
587	**197,419**	**581**	**125,736**	**1,137**	**387,604**	**1,718**	**483,840**
145	64,671	579	68,997	267	115,553	646	184,550
40	45,490	1	1,227	79	89,753	80	90,980
184	68,803	2	66	368	137,606	370	137,672
5	3,805	—	—	10	7,610	10	7,610
374	**182,769**	**382**	**70,290**	**724**	**350,522**	**1,106**	**420,812**
152	96,252	550	215,604	310	195,225	860	410,829
47	52,055	—	—	94	104,110	94	104,110
200	91,339	—	—	400	182,678	400	182,678
399	**239,646**	**550**	**215,604**	**804**	**482,013**	**1,354**	**697,617**

6 輸出入貨物

貿易部の參照

7 出入旅客

安東港出入旅客累年比較

種別		入港	出港
地方別		支那各港ヨリ	支那各港ヘ
大正六年	支那人	56,116	21,795
	其他	353	168
	計	56,469	21,963
大正七年	支那人	62,466	31,326
	其他	385	164
	計	62,851	31,490
大正八年	支那人	61,832	30,626
	其他	321	222
	計	62,153	30,848
大正九年	支那人	53,645	87,785
	其他	135	349
	計	53,780	88,134
大正十年	支那人	48,659	70,321
	其他	132	298
	計	48,791	70,619

(三) 營口港

1 概況

營口は遼河々口十三浬上流の南岸にあつて外人は之れを牛莊と呼ぶ牛莊港の開放されたのは1858年の天津條約に據るもので所謂牛莊は遼河々口から約 601支里の上流にある。然るに最初に赴任した英國領事は此地

貿易港として將來の見込少なきを見下流50支里の現營口に駐繫し New-chwang と稱し以來今日に至つたのである。

營口は河を港とするだけ又複雜なる港區がある河岸延長頗る長く他の港と趣を異にしてる當港は河口を溯る約十四海里の地點にありて港區は二區に分ち一は汽船及西洋型帆船の碇泊區域で他は民船戎克の碇泊區域である其の境界は

1. 汽船碇泊區域　西、老爺閣より正北に遼河を横斷したる線

東、青堆子河口より正北に遼河を横斷したる線

で延長一萬七千呎河幅平均二千五呎なるが海關の許可を得れば港外にも碇泊し貨物の積卸を爲す事が出來る。

2. 戎克碇泊區域　汽船碇泊區域の下流より河北驛に至る

然して汽船は東稅關、戎克は西稅關の管掌で船舶の出入期間は日出より日沒迄である夜間は「バー」(門洲)の關係上出入を禁止さる。

港内潮水干滿の差甚しく十六呎に達し速力一時間二哩及四哩、水深河北驛附近干潮時に於て四十呎、最深所は七十五呎、新市街附近も五十呎乃至六十呎ある上流牛家屯附近にても尙三十呎乃至四十呎て其上流亞細亞「タンク」に至つても尙二十五呎より三十呎である一帶の地質土六分砂四分礫の混入絕無の爲め牛家屯の大灣曲より西稅關に亙る南岸は水勢の爲め年々崩潰し陸地の浸蝕甚しく是等の護岸工事に莫大なる犧牲を拂ひつゝある次第である河口の門洲は營口の港灣的價値を大に減殺するもので第一浮標より第三浮標に至る四哩間の門洲は干潮時吃水十呎以上の汽船の航行不能で滿潮時に於ても十八呎以上の船舶の通過は困難である。

2 埠頭設備

上記門洲に對する設備として港口に燈臺船がある又水先案內船はスループ型帆船で航路標識も設けられてある。水先案內は定員十八豫備一人で强制制度ではないが多くの汽船はこれを使用する其料金は下の如くである。

入港	外浮標の南から吃水一呎に付	汽船	銀四兩	帆船五兩	曳船せる帆船三兩
	外浮標內側から吃水一呎に付き	〃	銀三兩	〃 四兩	〃 三兩
出港	港外浮標の外迄吃水一呎に付き	〃	銀四兩	〃 五兩	〃 三兩

但し登簿噸數1500噸以上の汽船は超過噸數每噸に付き二分宛を徵收する。

棧橋の設備は波受頗る簡單で護岸工事を施した陸上に繫留柱を立て前方に浮標箱を繫留し之を仲繼として本船との間に跳板を以て交通する。當港棧橋の完全なるものは滿鐵及京奉線鐵道のもので港內主なる棧橋の延長は下の通りである。

滿鐵埠頭	間 164	怡和洋行	間 180	太古洋行(東西)	間 125
小寺船舶倉庫部	145	吉林省採鹽局	95	卜內公司	88
遠來公司	87	東海關	83	營口倉庫汽船	65
日本郵船	60	招商局	51	開平鑛務局	51
東和公司	46	其他	207	計	1,448

陸揚設備としては

1. 消火栓　倉庫內事務所詰所の周圍に八箇所の消火栓を設く

2. 給水栓　各「バース」每に一箇所合計四箇所ある

船舶及「ポンツーン」	小蒸汽船		2
	艀船		6
	傳馬船		1
	ポンツーン	鐵製大	8
	〃	〃 小	1
	〃	木製大	5
	〃	〃 小	1

其他埠頭に屬する倉庫に就ては商業の項參考のこと。

碼頭にある倉庫は煉瓦造及トタン張のものがつて其設備稍完全に近い從つて荷役に不便が少くない尙倉庫の多くは稅關に對して保證書を差入れ其倉庫に荷揚した船舶は通關手續未了でも出港し得られる便がある。

碼頭各	構內坪數	煉瓦造		トタン張	
		棟數	坪數	棟數	坪數
營口倉庫汽船碼頭	5,900	2	506	2	488
太古(東) 同	4,800	1	351	—	—
同(西) 同	2,640	4	450	—	—
吉黑採鹽局 同	840	—	—	3	769
日本郵便 同	2,500	2	256	—	—
東和 同	2,688	1	296	1	49
小寺 同	3,860	—	—	3	242
遼來 同	1,200	1	97	—	—
怡和 同	6,500	2	288	5	60
旗昌 同	800	1	22	—	—
招商局 同	612	—	—	2	124
肇興 同	307	—	—	2	81
太古 同	420	3	462	1	143
ト内 同	137	1	88	—	—
合計	33,104	18	2,796	19	2,496

3 諸掛

稅關諸掛

未開放地に輸出される支那產貨正稅以外の特別稅率は下の如くである。

		兩			兩
各種穀類(主として米小麥)	一擔	0,040	粟、高粱、玉蜀黍	一擔	0,010
小豆大豆	〃	0,030	豆粕	〃	0,020
豆油	〃	0,150	精製陶器	〃	0,450
粗製陶器	〃	0,225	土器	〃	0,025
紙(一等紙)	百塊	0,350	紙(二等紙)	百塊	0,200
茶	一擔	0,625	各種の支那布	一擔	0,500

噸稅

	兩		兩
150 噸未滿每噸	0.10	150 噸以上每噸	0.40

棧橋料

各倉庫業者に依り異るも標準に近き小寺船舶のを示せば下の如くである。

	兩		兩
300 噸以下	銀 25	400 噸以下	銀 30
500 噸以下	銀 40	600 噸以下	銀 50

領事館の入港證明手數料

	円		円		円
20 噸以上	金 0.50	100 噸以上	金 1.00	200 噸以上	金 1.50
500 噸以上	金 2.50	1000噸以上	金 4.00		

出　　入

一般航行章程に據る出入船舶數は 958隻 852,194噸で前年に比し44隻
支那の順位である。
內水航行章程に據る出入汽船は 308隻 106,604噸で前年に比し92隻42

一般航行章程に依る累年出入船舶

年次	汽船		西洋型帆船其他		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
大正六年	516	490,192	2	256	**518**	**490,448**
同七年	535	425,438	2	256	**537**	**425,694**
同八年	960	830,446	10	1,280	**970**	**831,726**
同九年	914	777,532	—	—	**914**	**777,532**
同十年	954	850,286	4	1,908	**958**	**852,194**

戎克出入

地方別	大正六年		大正七年	
	隻數	擔數	隻數	擔數
錦州	239	78,759	535	172,473
蓋州	3,596	1,141,770	5,553	1,850,718
天津	1,762	1,097,484	1,430	1,067,799
山東諸港	1,109	827,928	1,365	88,405
上海	157	731,655	158	751,845
寧波	98	589,860	63	364,305
福州	82	521,610	113	709,185
計	**7,043**	**4,989,066**	**9,217**	**5,801,730**

船　　舶

74662 噸の增加である又國籍別に之れを見れば日本、英國、諾威、米國

748 噸の減少を示し日本、英國、支那の順位である。

内水航行章程に依る累出入船舶

年次	英吉利船		日本船		支那船		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
大正六年	6	1,686	42	12,230	212	71,454	**260**	**85,370**
同七年	—	—	89	27,270	156	53,558	**245**	**80,828**
同八年	60	16,860	210	63,086	176	63,796	**446**	**143,742**
同九年	64	17,984	212	73,550	124	57,818	**400**	**149,352**
同十年	54	16,012	120	43,214	134	47,378	**308**	**106,604**

累年比較

大正八年		大正九年		大正十年	
隻數	擔數	隻數	擔數	隻數	擔數
861	233,079	731	193,815	845	229,620
4,161	1,372 770	3,782	1,181,649	5,356	1,705 935
847	491,787	834	491,850	1,255	777,186
786	475,647	828	450,000	777	460,870
127	619,005	150	677,640	128	600,870
48	296,850	59	359,895	60	365,085
88	563,565	96	571,500	104	664,905
6,918	**4,052,703**	**6,480**	**3,926,349**	**8,525**	**4,804,356**

國籍別出

年次	船舶國籍別	入港 外國貿易 隻數	入港 外國貿易 登簿噸數	入港 沿岸貿易 隻數	入港 沿岸貿易 登簿噸數	出 外國貿易 隻數	出 外國貿易 登簿噸數
大正六年	支那	2	1,764	180	92,046	1	573
	英吉利	10	9,128	69	67,415	2	1,177
	日本	23	27,978	97	74,320	7	3,616
	和蘭	—	—	2	4,605	2	4,605
	北米合衆國	1	5,195	1	1,344	1	5,195
	諾威	—	—	1	849	—	—
	露西亞	—	—	3	3,265	1	1,492
	計	**36**	**44,065**	**353**	**243,844**	**14**	**16,958**
大正七年	支那	11	8,449	146	82,391	7	5,369
	日本	62	39,663	135	85,594	71	34,899
	英吉利	2	1,741	34	33 157	1	641
	和蘭	—	—	1	2,293	—	—
	計	**75**	**49,826**	**316**	**203,435**	**79**	**40,909**
大正八年	日本	111	85,929	282	166,213	143	96,182
	支那	10	6,688	198	119,899	4	1,104
	英吉利	10	13,672	91	81,325	4	11,708
	和蘭	1	1,119	3	6,795	2	3,597
	北米合衆國	1	5,028	—	—	1	5,028
	諾威	—	—	1	1,066	—	—
	計	**133**	**112,436**	**575**	**375,298**	**154**	**117,610**
大正九年	支那	9	8,205	150	103,882	—	—
	英吉利	14	16,643	99	130,236	4	12,621
	日本	72	69,256	108	54,978	37	25,306
	諾威	2	1,888	2	2,167	—	—
	露西亞	1	1,511	—	—	—	—
	計	**98**	**97,503**	**359**	**291,263**	**41**	**37,927**
大正十年	支那	3	2,785	143	105,625	4	3,287
	英吉利	14	16,829	106	122,227	3	3,346
	日本	58	59,451	140	96,897	104	96,678
	諾威	11	7,623	—	—	11	7,623
	北米合衆國	1	4,774	2	9,703	1	4,774
	露西亞	—	—	1	156	—	—
	計	**87**	**91,462**	**392**	**334,635**	**123**	**115,708**

入　　船　　舶

港		合				計	
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
181	93,234	3	2,337	361	185,283	364	187,620
77	75,366	12	10,305	146	142,781	158	153,086
113	98,682	30	31,594	210	173,002	240	204,596
—	—	2	4,605	2	4,605	4	9,210
1	1,344	2	10,390	2	2,688	4	13,078
1	849	—	—	2	1,698	2	1,698
3	1,773	1	1,492	5	5,038	6	6,530
375	**271,251**	**50**	**60,723**	**728**	**515,095**	**778**	**575,818**
150	85,471	18	13,818	296	167,862	314	181,680
126	90,358	133	74,562	261	175,952	394	250,514
35	34,230	3	2,355	69	67,387	72	69,742
1	2,293	—	—	2	4,586	2	4,586
312	**212,352**	**154**	**90,735**	**628**	**415,787**	**782**	**506,522**
250	155,960	254	182,111	532	322,173	786	504,284
204	125,483	14	7,792	402	245,382	416	253,174
97	83,289	14	25,380	188	164,614	202	189,994
2	4,317	3	4,716	5	11,112	8	15,828
—	—	2	10,056	—	—	2	10,056
1	1,066	—	—	2	2,132	2	2,132
554	**370,115**	**287**	**230,055**	**1,129**	**745,413**	**1,416**	**975,468**
159	112,087	9	8,205	309	215,969	318	224,174
109	134,258	18	29,264	208	264,494	226	239,758
143	98,928	109	94,562	251	153,906	360	248,468
4	4,055	2	1,888	6	6,222	8	8,110
1	1,511	1	1,511	1	1,511	2	3,022
416	**350,938**	**139**	**135,430**	**775**	**642,102**	**914**	**777,532**
142	105,150	7	6,072	285	210,802	292	216,874
117	135,710	17	20,175	223	257,937	240	278,112
94	59,670	162	156,129	234	156,567	396	312,696
—	—	22	15,246	—	—	22	15,246
2	9,703	2	9,548	4	19,406	6	28,954
1	156	—	—	2	312	2	312
356	**310,389**	**210**	**207,170**	**748**	**645,024**	**958**	**852,194**

5 輸出入

貿易の部參照

6 出入

累年出入

種別	地方別	大正六年 支那人	大正六年 其他	大正六年 計	大正七年 支那人	大正七年 其他	大正七年 計
入港	日本	706	1	707	—	3	3
	浦潮斯德	—	—	—	—	—	—
	香港	4	—	4	23	1	24
	安東	14	—	14	—	—	—
	大連	17	2	19	18	—	18
	秦皇島	—	—	—	—	—	—
	天津	9,440	8	9,448	18,123	132	18,255
	大沽	21,168	127	21,295	—	—	—
	塘沽	2,481	4	2,485	—	—	—
	芝罘	6,917	12	6,929	10,627	12	10,639
	青島	706	1	707	216	3	219
	上海	1,762	7	1,769	1,459	8	1,469
	厦門	—	—	—	—	—	—
	汕頭	17	—	17	14	—	13
	廣東	—	—	—	—	—	—
	其他(主として龍口)	42,631	3	42,634	40,424	3	40,427
	計	**85,863**	**165**	**86,028**	**70,903**	**162**	**71,065**
出港	日本	5	3	8	—	—	—
	浦潮斯德	—	—	—	—	—	—
	香港	—	—	—	27	1	28
	安東	—	—	—	22	—	22
	大連	185	15	200	96	33	129
	秦皇島	47	1	48	107	—	107
	天津	2,795	—	2,795	8,408	32	8,440
	大沽	10,880	31	10,911	—	—	—
	塘沽	—	—	—	—	—	—
	芝罘	6,292	15	6,307	5,987	11	5,998
	青島	—	—	—	—	—	—
	上海	146	7	153	257	—	257
	厦門	15	—	15	10	—	10
	汕頭	54	2	56	5	—	5
	廣東	2	1	3	—	—	—
	其他(主として龍口)	32,901	—	32,901	29,057	2	29,059
	計	**53,322**	**75**	**53,397**	**43,976**	**79**	**44,055**

貨物

旅客

旅客表

大正八年			大正九年			大正十年		
支那人	其他	計	支那人	其他	計	支那人	其他	計
—	5	5	9	—	9	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
154	—	154	22	4	26	14	—	14
14	—	14	6	2	8	7	—	7
337	2	339	86	31	117	118	22	140
250	—	250	12	—	12	198	—	198
26,089	200	26,289	74,471	158	74,629	35,559	71	35,630
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
5,885	16	5,901	3,024	17	3,041	6,146	21	6,167
22	—	22	223	—	223	4	—	4
2,665	19	2,684	3,562	44	3,606	3,859	32	3,891
—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	5	—	—	—	—	—	—
30	—	30	—	—	—	—	2	2
43,291	14	43,305	39,568	19	39,677	35,814	5	35,819
78,742	**256**	**78,998**	**121,073**	**275**	**121,348**	**81,719**	**153**	**81,872**
—	—	—	2	—	2	—	1	1
6	3	9	—	—	—	—	—	—
—	—	—	36	—	36	18	1	19
—	—	—	75	—	75	79	—	97
87	21	108	283	88	371	261	63	324
452	4	456	22	1	23	93	2	95
10,095	99	10,194	9,244	10	9,254	21,685	18	21,703
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,586	16	3,602	3,597	30	3,627	3,473	12	3,485
—	—	—	—	—	—	—	—	—
778	6	784	301	2	303	372	6	378
29	2	31	4	—	4	50	—	50
45	—	45	280	1	281	283	—	283
—	—	—	12	—	12	2	—	2
32,569	13	32,582	27,559	20	27,579	23,767	2	23,769
47,647	**164**	**47,811**	**41,415**	**152**	**41,567**	**50,101**	**105**	**50,206**

(四) 大東溝港

大正十年大東溝港の出入汽船は42隻5,038噸で出入旅客は入港683人出港1,584人である輸出入貿易額を見るに55,007海關兩で前年に比すれば9,335海關兩の増加である、土地柄から云つて何等特記すべき事項がない。

大東溝は支那貿易上不振の地位にあるので最近支那側に於て朝鮮多獅島築港に對抗して當港築港計畫の議擡頭して居るが多額の經費を要するから到底實現は不可能だと信ぜらる當港支那税關設置の價値としては積極的に將來輸移出入貨物の増加を來すと謂ふ點に就ては望なきも消極的に密輸出入の監視機關としては多大の效力を有するものである。

(五) 多獅島築港問題

多獅島築港問題の起つた由以を見るに元來鴨綠江は開江中でも大型汽船は江を遡航するを得ず薪島及多獅島に碇泊するを要せられ安東及新義州との間は艀船又は戎克等に依るのである又鴨綠江の本流は年々其河底を埋め而も其水路常に變轉極りなく五十噸級の艀船すら滿潮時にあらざれば其通航を許さぬ有樣で艀船の多獅島と安東及新義州間の一往復に五日を費すとは驚く可き事で其艀賃も一噸金二圓を要するが如き其不利不便な點に於て他に類例が無い殊に鴨綠江は毎年十一月末日より翌年三月末に至る滿四箇月間は結氷し全然水路の交通を杜絶するので斯かる水路聯絡の完全は我が對滿貿易上甚だしく圓滑を缺くを以て玆に多獅島築港問題が提唱さるるに至つたのである。

多獅島の位置は北緯三十九度四十七分東經百二十四度二十五分に位し鴨綠江東水道を距る事約十浬平安北道の西北端に當つて居る多獅島の錨地より十三浬にして龍岩浦に二十四浬にして新義州及安東に達する多獅島は一名多沙島とも稱して大小の二島より成り大島を通常多獅島と稱する面積五十町歩程で主として岩石より成る頂點の標高は干潮面上百四十五尺である小多獅島とは千三百間の距離があり小多獅島の標高は九十四尺、又北方約百二十間にして龍川郡郭串嶼に達する錨地は多獅島の西岸幅員三十間の大澪筋で水深の大部分は干潮面以下五六尋で最も淺い處で二尋四分の三である故に干潮時と雖も千五百噸級乃至二千噸級の汽船の

出入碇泊には差支へかない若し少し潮位を利用したならは三千噸級の汽船の出入は自由である最も淺い處の二尋四分の三は錨地の下流に在るので碇繋上には差支へかない多獅島錨地か不凍港である事は曾て日露戰爭當時我軍の陸揚地として實驗され又風浪に對しても艀船荷役差支へない事も知られて居る朝鮮總督府は大正八年末より翌九年三月末中旬迄と九年末から三月初旬迄技師を派遣し岬に駐在せしめて氣溫、水溫及結氷流氷の狀況調査を行はした其報告に據れは冬期三箇月間の最低氣溫は平均零下一度八分結氷狀況は多獅島附近は水面凍結する事なく島嶼江畔に近き地盤高き干潟地は厚さ一尺乃至三尺低き部分は一寸乃至三寸程結氷するか滿潮時に流失して了ふ唯多少危險を感ずるものは三月頃の解氷期一週間位鴨綠江より來る流氷てあるか其の大部分は西水道に流失し多獅島方面に來たるものは少いので大體から觀察して不凍港としての價値を有し多獅島に棧橋を架し同島と岬との間に築港して鐵道を敷設すれは四時安全に貿易を繼續する事が出來る。

多獅島築港の規模及竣成後幾許の物資か呑吐さるへかは大に研究すへき事である多獅島築港期成同盟會の趣意書に據れば半島突端と多獅島間の干潟地を埋築し其西方岸壁を浚渫して船舶の繫留に便ならしむ事とし其經費三百萬圓との事である而して多獅島より鐵道聯絡線を敷設するを要するか其聯絡地點には朝鮮線南市驛及新義州驛との二所がある前者は約十四哩後者は約二十一哩ありて七哩の差がある鐵道敷設上前者は優つてをるが多獅島は北滿物資の呑吐を以て第一の目的とする爲に陸運の最少距離を計る爲新義州に聯絡するを得策とする（南市驛迂廻に比し約十五哩の短縮）今大阪より朝鮮線經由奉天及長春に至る距離と多獅島築港後の距離及大連經由の距離を示せは下の如くてある。

1. 大阪より朝鮮縱貫鐵道を經て奉天及長春に至る距離

イ、大阪奉天間—海路百二十二浬鐵道九百五十五哩二

ロ、大阪長春間—海路百二十二浬鐵道一千百四十四哩六

2. 大阪より多獅島經由奉天及長春に至る距離

イ、大阪奉天間—海路八百七十六浬鐵道百九十九哩

ロ、大阪長春間海路八百七十六浬鐵道三百八十八哩四

3. 大阪より大連經由奉天及長春に至る距離

イ、大阪奉天間—海路八百七十三浬鐵道二百四十六哩四

ロ、大阪長春間一海海八百七十三浬鐵道四百三十五哩八

郎多獅島經由は朝鮮縱貫鐵道經由に比し大阪長春間に於て鐵道七百五十六哩二分短縮し海路七百五十四浬延長する又大連經由に比し海路は僅に三浬の差てあるか鐵道にては四十七哩四分短縮する事となる。

多獅島の使命は二つある一は北滿地方の物資を呑吐する國際的貿易港他は北鮮の地方的商港てある修築後は幾許の物資か呑吐さるゝかと云ふに大體に於て北滿需給物資は大連、營口、鴨綠江及朝鮮縱貫鐵道に依るのてあるか大連港は將來其設備の完備する事は到底多獅島の比てはない故に單に距離の關係により遽に其經路の變化を望む事は難く營口も亦同樣と見なくてはならぬ唯鴨綠江及朝鮮縱貫鐵道經由の物資を呑吐するものと推定するを妥當とする郎現在鴨綠江の水路に依り安東新義州、龍岩浦經由物資の一部朝鮮縱貫鐵道通過貨物の一部及平安北道需給物資の大半の呑吐港てある其金額は今玆に揭くる事は困難てあるか五千四百萬圓と見られて居る而して國境通過貨物として關稅三分の一減の特典並に距離短縮の運賃低減の結果逐次貿易額增加して大連及營口經由の物資の幾分をも吸收するに難からさる素質は有して居る。

今參考として多獅島築港期成同盟會の調査に係る長春大阪間の運賃を大連經由と多獅島經由と鐵道三線連絡とに分ち揭くれは下の如くてある。

1. 日本へ輸入の場合(豆粕は千枚に付き製材は噸當一噸三三〇才)

區分 / 諸掛	大連經由		三線連絡		多獅島經由(現在)		同上(築港後)	
	豆粕	製材	豆粕	製材	豆粕	製材	豆粕	製材
	円	円	円	円	円	円	円	円
汽車賃(南滿線)	399.86	6.34	—	—	399.86	6.34	369.89	5.39
同上(三線連絡)	—	—	975.00	22.25	—	—	21.78	—
同上(新義州支線)	—	—	—	—	—	—	—	73
埠頭作業所	15.15	70	—	—	7.58	35	7.58	35
艀船賃	—	—	—	—	43.00	1.99	—	—
汽船賃	59.80	3.30	—	—	90.00	6.35	76.50	4.95
輸出稅(支那)	33.65	3.60	22.40	2.40	33.00	従價五分五厘 3.60	22.40	2.40

諸掛＼區分	大連經由		三線連絡		多獅島經由（現在）		同上（築港後）	
	豆粕	製材	豆粕	製材	豆粕	製材	豆粕	製材
輸入稅（日本）	円 —	円 —	円 —	円 —	円 —	円 —	円 —	円 —
爲替料及保險料	17.50	10	2.50	—	25.00	保險料百円ニ付二十五錢約 15	22.75	15
其他	—	—	—	25	28.00	船內人夫賃 35	—	—
合計	**525.96**	**14.04**	**999.90**	**24.90**	**628.04**	**19.12**	**520.09**	**13.97**

2 滿洲へ輸出の場合（綿絲は一梱に付きメリヤス類は米噸に付き）

諸掛＼區分	大連經由		三線連絡		多獅島經由（現在）		同上（築港後）	
	綿絲	メリヤス	綿絲	メリヤス	綿絲	メリヤス	綿絲	メリヤス
汽船賃	円 60	円 3.00	円 —	円 —	円 1.20	円 20.60	円 90	円 20.60
艀船賃	—	—	—	—	38	7.91	—	—
埠頭作業料	15	15	—	—	07	1.44	15	1.44
汽車賃（南滿線）	5.31	23.81	—	—	5.31	23.81	4.51	23.81
同上（新義州支線）	—	—	—	—	—	—	32	1.84
同上（三線連絡）	—	—	5.79	27.65	—	—	—	—
輸出稅（日本）	—	—	—	—	—	—	—	—
輸入稅（支那）	6.00	134.31	4.00	89.51	6.00	134.31	4.00	81.40
爲替料及保險料	27	53	—	—	68	3.89	54	3.89
其他	—	—	05	—	—	—	—	—
合計	**12.33**	**161.80**	**9.84**	**117.16**	**13.64**	**161.95**	**10.42**	**133.67**

補記—多獅島の築港は距離の點よりも關稅三分の一減を主要なる項目としてをるが支那政府は大正十一年四月一日より露支國境陸路貿易章程を撤廢する事となり（事實は實行されて居らず延期となる）の安東稅關に於ける特定稅率卽陸路貿易關稅三分の一減の特權も當然消滅に歸すべき運命にあるものと支那側及我一部にても解釋されて居るが其撤廢は多獅島の築港問題には一頓坐を與へるものである又或一部の論者は減稅特典

の廢棄に次て三線連絡特定運賃制度の撤廢さると滿鐵は當然大連中心主義の海港特定運賃主義をも撤廢して距離比例制度に依る事となり奉天大連間の二百四十六哩に對し奉天安東間百七十哩之に安東多獅島間の二十一哩を加算するも五十五哩の短縮である故多獅島經由が大連經由に比して有利であると論するが早計に斯く斷定する事は出來ぬ元來貨物の移動は距離のみに據らず商取引の關係金融機關の完備等に負ふ所が多い。

（六） 葫蘆島築港問題

1 概　　況

滿洲の利權日に外國に移るを憂ひた結果大連に匹敵する不凍港を開き失はれた利權の恢復のため時の東三省總督徐世昌の提唱せるもので光緒十三年天津から英國人ヒユーズを聘し技師長とし沿岸視察の結果遼西錦州の南連山灣の一角葫蘆島を以て最も適當とし英貨八十萬磅の豫算で明治四十三年十月工事を開始したが其一部を築造せるのみで翌四十四年十月革命のため中止し爾來今日に至るまで更に手が付けられてない。茲に連山灣築港と云はれてあるものも卽ち葫蘆島築港で同一のものである。

2 地　　勢

葫蘆島は遼西錦州の南端に位し連山灣の南を劃して突出する細狹なる海角で北は連山灣を包繞し北角の西海にと相對し灣外の小島大筆架山を望み南は海を隔てて遙に菊花島と相對して居る。此地は京奉線連山驛から七、一哩で其間南方に稍高峻な茨兒山を望む外概ね平坦な耕地であるが葫蘆島附近に至れば望海寺に狹小なる平地を有する外概ね山島を以て包まれ而も岩石多く樹木を見ない半島の北面は俗に之れを北海と稱し連山灣を包み波浪穩かであるが海淺く冬季結氷して船舶の碇泊に適さない又半島の南面は之を南海と稱して渤海灣の激浪を受け海岸に侵蝕されて斷崖屹立300呎に及ふものがある然れども海深結氷の憂がない爲適當の工事を施せば海港とするに困難でない葫蘆島の築港は卽ち此海深と不凍とを利用せんとするものである。

3 價　値

葫蘆島は港灣夫れ自身として遼西地方の背景餘りに狹く左程の價値を認められないが鐵道其他の交通機關と適當なる聯絡を保つ時は熱河管內蒙古及北滿貨物の呑吐港として價値の存するものである然れども現在のままでは單に自然の地形を利用して交通する民船の碇泊地としても不適當な位である。

(七) 遼　河

4 概　況

遼河は源を內蒙古に發し其中流以下及支流を以て南滿洲の平野地帶を貫流し併も河口から千四百支里の鄭家屯迄は民船の航行が自由であるから南滿洲の開發に大なる恩惠を與へたが年々上流から土砂を流下し河底を淤塞して各所に淺瀨を作り航行を阻害するのと重要物資の輸送期たる冬季四箇月間は河水氷結し交通が杜絕するとの缺點がある上に南滿鐵道の布設を見るに至つて頓に其價値を減じて來た。之が爲め露治時代に一萬餘隻の輸送船を有したものが今や三千餘隻の少數に減じて居る。可航區域は營口鄭家屯間1520支里に支流太子河の三叉河韓家店子間400支里渾河の三叉河長灘間410支里である。

然れども爾來年々輸運する貨物數量一定して大體に於て下航貨物にあつては穀物1300,000石內外上航貨物は雜貨30,000件內外である。穀物仕出地及雜貨の分布範圍は道路又は相場に依り一定せざるも沿岸近き地方一帶と鐵道沿線を除く遼西一帶の地である。

5 沿岸埠頭

埠頭は多く河水灣曲せる深處に自然的に設けられたもので勿論護岸などしてあるものはない。遼河本流の最上流の埠頭は鄭家屯の東方四支里なる鄭家溝で以下營口に至るまで大小五十餘箇所ある。今其內貨物積卸繁多なる地の水路里程を示せば下の如くである。

地名	位置	營口よりの水路里程	鄭家屯よりの水路里程	馬峰溝よりの水路里程	船捐局經理房檢票所
		支里	支里	支里	
鄭家屯	右岸	1,528	—	660	船店 5
三江口	右岸	1,448	80	580	船店 3
通江口	左岸	1.038	490	170	船店 1 代理店 7
英宅屯	左岸	918	610	50	船店 2
馬峰溝	左岸	868	660	—	船捐局檢票所
柳柏松	右岸	780	—	88	經記房 5
石佛寺	左岸	700	—	168	檢票所經記房 3
三面船法庫	右岸	685	—	183	檢票所 船捐局船店 2
凉民塔	右岸	595	—	273	經記房 4
門家灣新民	右岸	521	—	347	經記房 2
老達房	右岸	400	—	468	船捐局經記房
卡力馬	左岸	345	—	523	
達連堅子	右岸	293	—	575	經記房 8
三叉河	左岸	173	—	695	
田莊臺	右岸	60	—	808	
營口	左岸	—	—	868	

6　船舶日數

航行日數は水量の增減及風の順逆積載貨物の多寡により一定し難いが

概して下の如くである。

1. 鄭家屯、通江口間　此航路は水深淺く、通江口三江口間三江口間二尺乃至四尺、三江口鄭家屯間一尺五寸乃至三尺、鄭家屯から營口へ下航十三日上航十七日間を要する。

2. 通江口、馬蜂溝間　此間水淺く四十石以上の舟を行ることができぬ。沿岸の埠頭としては英守屯(開原の埠頭)を主なるものとする。通江口營口間上航十二日、下航九日を要する。

3. 馬蜂溝、馬廠間　下り七日上り十日を要する。

4. 馬廠、三叉河間　水深三尺乃至五尺で減水の際は淺吃水の民船すら通行し難いことがある。雙臺子河口の水閘を開けば低水時でも少くとも三、四尺に上るべく五十石以上の民船を通すことが困難でない。營口から馬廠まで上航七日、下航四日を要する。

5. 三叉河、營口間　此間は水路屈曲が甚しく河幅廣く水深は平時に於ても五尺乃至三十尺ある。大潮の際は三叉河上流十二浬まで影響するから、民船の航行は常に自由で小汽船を通ずることが出來る。此間平均上航三日下航二日である。

6. 太子河支流、三叉河韓家店子間　營口三叉河間下航三日上航七日を要する。

7. 渾河支流、三叉河、埃金堡間　渾河は水量少なく且つ淺洲多く近來漸次水路としての價値を減退しつゝある。

7　船種及隻

遼河を上下する船舶は舢板、撥船、牛船、槽船の四種あるが其内主要なものは牛船と槽船である。槽船は五十石(十噸)乃至百五十石(三十噸)積で八、九十石積のものが最も多い。牛船は三十石(六噸)乃至九十石(十八噸)で六、七十石積のものが最多である。其隻數は兩種合計二千四百隻に過ぎざるが如く内牛船三分の二、槽船三分の一の割合である。

結氷及解氷日

年次	流水初日	最終船月日	結氷月日	結氷期間	最低氣温
	月 日	月 日	年 月 日	日	年 月 日
大正元年	11.14	11.27	12.19	84	1.25 零下 15度
同二年	11.27	12. 1	3. 1. 7	8	1. 8 零下 9度5
同三年	11.26	11.30	4. 1. 9	110	1. 9 零下 20度
同四年	12. 6	11.30	—	—	1. 5 零下 1度
同五年	12. 8	12. 1	12.22	89	12.24 零下 17度
同六年	11.27	12. 3	12.25	78	12.27 及 30 零下 3度
同七年	11.27	12. 1	12.27	70	1.30 零下 8度
同八年	11.24	11.29	12.28	81	2. 8 零下 20度
同九年	12. 6	11.29	10. 1. 5	63	1. 3 零下 7度
同十年	11.22	11.30	11. 1.11		

年次	氷最大厚サ	解氷月日	流氷終日	初入港船月日	備考
	月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
大正元年	2. 8 36吋	2. 3.25	4. 5	3.27	
同二年	1.10 10吋	3. 1.15	4. 5	3. 1	
同三年	2.20 23吋4ノ分1	4. 3.23	4.10	3.29	
同四年	—	—	5. 4. 3	3.20	本春ハ結氷セス
同五年	2.23 23吋4分ノ3	6. 3.21	3.31	3.29	
同六年	2.16 17吋8分ノ1	7. 3.13	3.23	3.21	
同七年	2.10 11、12、19 19吋4分ノ3	8. 3. 6	3.23	3.17	
同八年	2.26 27、28 20吋4分ノ3	9. 3.17	3.31	3.26	
同九年	2.24 16吋	10. 3. 9	3.27	3.18	
同十年					

8　遼河の改修工事

概況　遼河は毎年上流蒙古地方より流下する泥砂の爲め漸次河床を高め殊に河口營口附近に於ては潮流（干滿の差は大潮時十二呎速力一時間七浬内外）の關係も加はりて益々水深を淺くするのみであつた加之明治四十四年の大洪水の爲め河口約二哩に亙りて水深七呎の閂州を生し大正四年には新民府地方汎濫の爲め右の閂州は五呎に變し水路の幅員八十呎内外で大潮時に於ても吃水七十呎以上の船舶は通航に困難を感ずるに至つた又一方河北驛の北方鴨島に接せる地峽は年々流水に浸蝕せられ之を自然の儘に放任せんか幾年かの後には地峽を缺壞し引ひては營口市街をも危くするの狀態に陷つた。

遼河改修問題の起りは最初に顯はれたものは明治三十九年遼陽の紳商金氏が遼河航運保商輪船無限公司を設立して河底を浚渫せんとする計劃であつたが故あつて其儘行惱みとなつた次て明治四十一年時の東三省總督徐世昌氏は遼河改修工事を官營とするに決し營口道臺周長に命し遼河改修を立案せしめが道臺は駐營各國領事と協議の結果

1.河口浚渫　2.鴨島護岸の築設　3.鴨島より通江口に至る上流の浚渫

而して第一第二案は各國領事之に關興し第三案は支那政府自ら之を遂行する事に決したのである。

其他遼河河口改修工事實行機關として遼河河口改修工程局が出來改修工事に關する指揮監督を掌り該工事が竣工を告げ且つ關係借款の償還を完了する迄存續するものとし大正三年七月漸く之が協定を見同年八月二十三日大總統令を以て發布せられ附加税は同日より實施さるるに至つた而して該協定の下に實施せらるへき工事の概要は

一、鴨島護岸　護岸と地峽間の水流を中斷し侵蝕を防く。

二、西水道閉塞　兩岸と同高の築堤約一哩。

三、東水道の閉塞（本工事の目的は舊砲臺前より河口に向つて延長約五哩に亙り高さ干潮面八呎の導水堤を築き以て河底幅員二百呎深二十六呎を閂州に於て保たしめとするもの。

其改修工事見積概算は六十萬圓で大正五年春季解氷期から著手し大正七年迄に424,436兩を費して第一期工事を完了した。工程局は續て上流及

下流の第二期工事を實施すべく北京政府と交渉し上流は日本人技師をして下流は英人技師をして工事を擔任せしめ上流の經費 1,350,000 兩は下流は450,000 兩と概算した。

實行方法としては芝罘防波堤に於けると同樣借款によりて之に當て上流借款の返還は上流附加税下流借款は下流附加税を以て返還する事に決した然るに英國側の技師「ピー、エヌ、フォーセット」氏は「ヒューズ」氏に代りて大正七年八月着任し上流技師として日本側工學博士岡崎氏は大正九年五月七月就任された。

工事現況 現在迄の工事進行模樣は大正五年第一著に施行せられた西水道の閉塞は既に完成し東水道を通過する水流は干潮時に在りては全く杜絶せられ泥土の堆積年を重するに從つて層を高め滿潮時に於てさへ辛ふして小形戎克の通航をなし得る程度に達し豫期の如く滿潮の水流は東流に集注されて其水勢を增大した。

次きに河口浚渫工事中の最大工程で又目的の主要部たる東水道閉塞を目的とせる導水堤の修築は大正七年より十年迄に豫定の三分の二の工程を終へて修築せる導水堤の延長は約三萬呎之に投せられたる石塊七萬五千立方呎に達した本工事の進捗に連れ水流の方向變換並に之に依る門州の位置異動、門州の浚渫等著しき效果を示して門州は漸次外海に移動し堆積泥土の浚出したるもの尠くない而して現在水深は大正七年以降干潮水深六呎であつたのが七呎半に增加し門州の延長一萬四千呎なりしものが僅かに三千呎に短縮された其後詳細の測量の結果水勢は中央浮標より西折した現在航路をさけて南西に奔流し水流自然作用で該處に新水道を開鑿せんとする傾向が顯著となつた又大正九年は降雨量僅少なりし爲上流より流下したる泥土殆と無かつたので門州の水深非常に增加を示したるも其後上流地方に數回の豪雨あり爲に門州一面に土砂を流下し來り大部分は門州に沈澱堆積した併し幸に是等堆積せる土砂泥土は東導水堤に沿ふて流下し導水堤には何等危害を與へざりしも水路は現航路を避けて中央浮標より南西に向つて其勢を强め多量の泥土あるに拘はらず益海面に進行し門州を中斷して其等の泥土を海面又は潮流の緩漫なる方面に排泄し以て中央門州を突破せんとしつつあつて之が影響は現航路に及し現航路西北側に存在する淺瀨は漸次東南方に進出し或一部は正に突出して

航路を遮らんとして居る斯の如き新傾向は遼河河口浚渫事業に一革命を起さしめたもので從來の航路を主眼とする計畫の支持よりも寧ろ自然の水勢に依つて開拓されんとしつつある新水道を助長して現航路に於ける浚渫速度以上の效果を收得するを以て得策なりと爲し技師の提議による導水堤延長方面を右新傾向に副はしむる目的を以て既成地點より西と南に延長すべき導水堤を南西に變更すべき新提案は工程局委員會を通過し更に測量を重ねて確信を得たる上に於て實行する筈である浚渫船の力を借らずして自然力に依る浚渫の效力が斯の如く顯著なるを得たるは當港の爲めに喜ぶべき現象である。

尙上流工程に關しては從來營口の上流八十一哩の所にある唐家窩舖に於て水流は雙臺子河に流入し直接海に注いで本流に流下せざるを以て雙臺子河流入の水を本流に取戾すことに苦心し現在迄は單に唐家窩舖三叉河間の浚渫事業のみに過ぎなかつたが上流技師岡崎博士の提案に係る上流浚渫事業計畫は左の三案である。

一、二道橋子より夾心子に至る十三哩間掘割。

二、三道溝より九臺子掘割九臺子より三叉河浚渫。

三、六臺子より九臺子間掘割九臺子より三叉河間浚渫。

右の中委員會に於て第一案を採用することに決定し實行方法としては掘割を機械力に依るか或は人力に據るかは調査の結果に俟つ事とし孰れにしても經濟的なる方法を執る事に決した。

（八）鴨　綠　江

1　槪　　　況

朝鮮及滿洲の境界森林地を流るる爲め其經濟的價値に於て遼河には遙かに及ばぬが鴨綠江材が今日東洋に於て重きを爲すのは全く本江の賜である。本江は下流に於ては安東港迄汽船を通じ安東は之が爲め貿易港として相當重きを爲して居るが、安東港の水運は別項に述べたから玆に之を略する。本江は江口から輯安迄は大型の民船が航行することを得る。本江には上流各地との連結を取る爲め朝鮮總督府の命令航路たる鴨綠江運輸株式會社の經營する河川航路がある。

鴨綠江は峽流の性質を有し水流良好ならず加ふるに冬季十二月より翌年三月に至る四箇月は結氷し夏季七八月の頃は洪水の恐れあり秋季十、

十一月には減水の憂がある卽一年の過半は水運利用の途少なく將來水路の整理河床の改修沿岸通路の修築によりて航行の安全曳船の輕便を計る事を得たならば水運の利用の程度は益々擴大さるるのである。

2 水　　路

鴨綠江の水路は便宜上五區に分ける事が出來る卽ち水勢水量共に論ずるに足らず二十四道溝の上流七邦里の所より木材の管流をなす。

上流域　二十四道溝より帽兒山に至る區間で水勢漸く緩となり川の趣を呈し朝鮮側より普臺江五溪水長津江の諸流を合せ中國側よりも多數の細流を合せて幅と深さを增し一、二の難所を除く外危險少く初めて流筏の便がある且帽兒山より上流二道溝迄は十石乃至十五石積の小形戎克が通ずる。

中流域　帽兒山より渾江口間とし地形次第に低く勾配漸く減して水勢緩く水量を增し流筏力は前區よりも二倍の大さとなり三十五石積中國艚子又は約三十五擔積高瀨船の航行容易にして增水期には百二十石積戎克は外寮口に遡行し得る然し尙諸所に難所があり水路危險の區域を脫しない。

下流域　渾江口より安東に至る間とし鴨綠江は一大支流たる渾江を合せて舟揖の便大に開くるも深度平均せず舟筏の流下に不便である然し筏は惠山鎭附近の四倍となり平水に於て渾江口長甸河口間は八十石積戎克を長甸河、安東間は百石積戎克の往來をなし得る。

江口域　安東江口間とし安東より下流は河幅三千尺に達し潮の干滿の差は平時七、八尺を出て汽船戎克の往來頻繁を極む然し流水の沖積作用其他によりて沙泥を所々に堆積し河床常に變動し船舶の航行に多大の支障を與へて居る。卽半潮以上の時を利用して漸く安東迄吃水十呎以下三道浪頭迄十二呎以下龍岩浦迄十三呎以下の船舶のみ通航し得る有樣で大型汽船は多獅島に碇泊するの不止得現狀で安東港との間は艀舟又は戎克等により連絡を取らねばならぬ。

次に朝鮮總督府の調査に係る新義州を起點とした鴨綠江岸各地に至る浬程を揭ぐれば下の如くである。

朝鮮側	中國側	浬數	朝鮮側	中國側	浬數
多獅島		22.8	江界江口		157.0
龍岸浦		13.6	(江界)		225.5
	安東	1.2	高山鎭		165.6
北下洞		2.4		通溝	174.4
	馬芝臺	9.3	滿浦鎭		179.8
義州		11.8	慈城江口	大水滴臺	221.1
淸城鎭	長甸河口	32.1	土城里		235.3
甲岩里	永甸河口	47.8	中江鎭		257.2
昌城		50.3		帽兒山	259.5
私倉里	浦石河口	63.7		樺皮甸子	285.2
大吉里	白菜地	70.8	竹田里		295.7
	大黃溝	78.9	富山洞	八道溝	306.6
碧潼		89.3	厚州古邑	古米洞	325.7
忠滿江口		112.6	松田里		334.1
	渾江口	122.8	新乫坡鎭	十三道溝	344.7
雲海川	外察口	126.3	羅暖堡		354.8
楚山		130.2	惠山鎭	長白街	381.3
	楡樹林子口	133.0			

3 船舶

鴨綠江を往來する水運機關は筏、獨木舟、艚子及売、高瀨舟及汽船とするは二十四道溝より流下し得るが素より小形て五、六符（一符は十一連一連は八尺物一本）に過ぎない新嘉坡鎭十三道溝にて十符内外に帽兒山にては二十符乃至二十五符、高山鎭道溝よりは三十符乃至三十五符とし て流下する而して惠山鎭長白街より安東迄日本式筏にて十五日乃至二十五日中國式筏にて六十日乃至八十日を要する獨木舟は鮮人が兩岸の往

來若くは近距離の交通に使用せらる小舟であり貨物の積載に用ひられ又艚子は戎克の一種で安東帽兒山の間を往來し通常四十擔より百二、三十擔迄の積載力を有し安東より帽兒山に至る上航には普通四十日乃至五十五日を要し下航は十五日乃至二十日である、安東と上流各地を往來する艚子の數は大約七百隻內外である、高瀨船は營林廠が我富士川及其他急流の河川に使用せらると同形のものを明治四十年に試運したに始まり高瀨船の出現は鴨綠江水運に一新を來たし從來の艚子の航行は帽兒山下流に限られたが高瀨船は能く尚上流百二十浬なる長白街、惠山鎭まで運行し其の航行區域を廣めた、其の積載力は二千斤乃至八千斤である鴨綠江運輸會社は高瀨船て朝鮮總督府の命令航路に從事し新義州帽兒山を往復して居る、戎克及汽船の航行は安東下流である。

4 輸送貨物

鴨綠江を上航する貨物は綿絲布、鹽、麥粉、石油、燐寸等が主たるもので此外砂糖、茶、紙、干鹽魚、蠟燭、陶器、金物等である。

綿絲布は全部日本品で安東に輸入されたもの積換へられ仕送らるるので上航貨物中價額に於ては第一位である、鹽は生活必需品として當流域にて消費さるる額巨額に達し精確なる數字なきも水運に依るもののみにて三萬石に達すと產地は關東州沿岸又は復州附近で戎克にて安東、新義州又は北下洞に來り鹽船と稱する鹽積船に積換へ各地に送らる鴨綠江沿岸は森材地帶て農產物少き爲め麥粉の輸送も多く鐵嶺物、日本物、上海及香港物等である安東の中國商人に取扱はるる石油は亞細亞、米油等最も多く日本油は賣行惡く總體の一割に達しない、燐寸は全部日本品で占めて居る。

下航する貨物は木材を第一とし大豆、豆粕、雜穀、山繭を主とし此外燒酒、麻、葉煙草、鑛石等である木材の流下狀況は別項鴨綠江材に記述の如く大豆及豆粕は沿岸各地方より輸出さるるが重なる地方は帽兒山、通溝、楚山、外察口、蒲石河口、昌城、長甸河口及渾江支流地方である、雜穀は包米、高粱、粟蘇子、吉豆等て其數量は比較的少なく產出地は下流域である、山繭は寬甸產最も多く桓仁、輯安之に次き長甸河口、蒲石河口、沙尖子、外察口、通溝より多く積出され主として安東にて製絲せらる。

(九) 松花江

1 概　　況

松花江は黑龍江の一支流に過ぎないが其流域は實に北滿全域に亙る大流であるから本流たる黑龍江と共に東支鐵道と相俟つて北滿洲に於ける主要交通路を形成し殊に鐵道布設前に於ては唯一の交通機關として流域の發達に資する所が莫大であつた。

松花江は其の全延長六百里を降らず水量又潤澤にして黑龍江の水勢が松花江を收容してより俄然其性質を異にし航運上の利益多きを見ても如何に其の水量の潤澤なるかを知る事が出來る而して松花江の水量は一般に解氷期に於て豐富であるが上流水源地方に於ける冬期降雪の多寡により其の增減がある又氷雪の全く融解し終る六月下旬乃至七月に至ると上流地方は稍々水量不足を感ずるに至り八月の雨期に入れば直に水量增加して平準を越ゆ又次いで天候回復すると共に水量は日々減少し九月末十月の終航期に於ては減水量も甚だしく航行困難に陷り遂に結氷期に入るのである哈爾賓に於ける最近十數年間の解結氷平均日を揭ぐれば下の如くである。

結氷期	解氷期	事實上の航行日數
十一月十日	四月十五日	一九五日

卽約六箇月を航行し得るので其他の六箇月は冬營をなすの止むなきに至るのである。松花江の可航區域は吉林より黑龍江合流點迄1,254 露里(831哩)であるが貨客の最も輻輳して航運の殷賑を極むるは哈爾賓より河口に至る航路である蓋し哈爾賓下流の松花江に在つては同流域に未だ鐵道の敷設なき爲め水運の便に富める同江は自ら夏季に於ける交通機關として最も優良なる地步を占め沿江一帶より哈爾賓又は露領各地に出入する百般の貨物を獨占輸送し得るに反して哈爾賓より吉林に至る第二松花江の航路は南滿、東支吉長線等の諸鐵道其の間に介在すれば自然貨客の爭奪戰行はれ船運の不振を招いて居る松花江流域の埠頭は何れも附近出貨地と地理的關係に基きて專ら船舶の寄航、停船に便なる地點を擇びて設けられる自然的埠頭で護岸工事突堤又は棧橋等の陸上設備は殆どなく概ね江流灣曲して水勢緩漫なる深處に位置し乘客の乘降には短艇を用ひ貨物の積卸には跳板を渡して爲してゐる有樣である。

2　松花江航行權の由來

露國が實際松花江の航行權を得たのは1910年の松花江航行條約（從來世には璦琿、北京、露都條約等に依り確認されたる如く稱へられてあるが實際は此條約である）である卽ち璦琿條約を曲解した露國の暴擧に對する策として中國が松花江輪船局を設けた事が反つて航行を默許したかたちとなつて途に1909年松花江の航行を各國に解放するの止むなきに至つた其結果露國は更に1910年八月八日露支間に松花江航行に關する北京議定書の締結となし璦琿條約の精神を敷衍して露支兩國の船舶に限り松花江の航行貿易積を認める事となつた此處で露國は條約上不定の航行權を確實に掌握せしむるに至つたのである。

斯くの如く露國は長年月と幾多の努力とに依つて占有せる松花江上の勢力も1917年舊露國の崩壞過激派の猖獗と共に露國の船主は財產の安全を期する目的で汽船を中國人に賣却するもの續出し途に法律により禁止せられし船舶賣却をも許可するの止むを得さるに至つた支那は此の機に乘し凡有手段を以て中國に於ける露國の勢力を驅逐した卽一方東支鐵道管理權の回收と共に黑龍江及松花江に於ける露國の航行權をも回收せんと企てたのである。

3　航　　　　路

航路は（1)吉林より上流(2)吉林、陶賴昭間、(3)陶賴昭、新城間(4)新城、哈爾賓間(5)哈爾賓、河口間の五區に分つて述べるを便とする。

1.　吉林より上流　水速急で水深淺く淺吃水の小民船が稀に朝陽鎭、樺甸縣地方から吉林に來航するものがあるに過ぎぬ。

2.　吉林、陶賴昭間　吉林は一名船廠と呼ぶが之は昔造船所があつたからである。從て吉林は昔時から本江航行の起點であつたが汽船も淺吃水のものは哈爾賓との間に航行が出來る。

   吉林、陶賴昭間は約百二十哩で水深は二呎七乃至九呎を普通とし河幅三百碼乃至五百碼で吃水は二呎の小汽船が往來出來る。

3.　陶賴昭、新城間　此間約百哩で河幅は廣い所は一哩もある併し水深は二呎に足らぬ處があるのみならず屢水路も變るので民船の外航行が容易でない。從て小汽船も往復することが少ない。

4.　新城、哈爾賓間　約百七十二哩で江幅の廣い所は約二十町もあ

る。水深は四呎五乃至八、九呎で水速亦漸く緩漫となり航行從つて容易である。殊に新城の下流約十二哩の地點で嫩江を合せて後は俄に水量を増加し沙灘等の存在なく夜間でも汽船の航行が自由となる。

5. 哈爾賓、河口間 此間約434哩で江幅は六町乃至二十町水深四呎五乃至九呎である、此間は黑龍江と共に陸上に番號を逐記した航路標識の高札と旗標竝に水深指示標等が設備され航行が最も容易である只減水の際汽船の航行を阻礙する難所が數箇所あつて其內最も難なものは三姓の難所であるが延長十七哩の間に及び江底悉く岩礁より成り減水時は航行甚だ危險で時に依ると空船すら航行出來ぬことがある。

4 汽船埠頭

1. 吉林新城間(數字は吉林からの露里程一露里は我約九町四十六間)

吉林	—	秀水甸子	121	五家站	—
烏拉街	34	朱家船口	—	八里營子	—
舒蘭河	80	五棵樹	162	喀拉木	—
白旗屯	—	老哨溝	187	新城	339
法待哈門	—	小外子	—		

2. 新城河口間(數字は新城からの露里程)

新城(右)	—	巴彥蘇々(左)	377	三姓(右)	580
肇州(左)	82	新甸(右)	405	湯源河(左)	629
大胡(古)	104	木蘭(左)	421	佳木斯(右)	682
岱吉(右)	125	同葛拉(左)	455	泰琿(右)	697
滂州(左)	207	南天門(右)	476	蘇々屯(右)	723
哈爾賓(右)	260	岙林河(左)	483	瓦里霍呑(右)	745
滴打咀子(左)	336	依漢通(右)	500	克活瑪(右)	785
烏河(右)	345	達馬里(右)	509	富克錦(右)	840

5 航行汽船

松花江上に浮べる船舶は帆船と汽船の二種類に分つことが出來るが其數は確たる事は不明だが現在では大體下の如きものであらう。

		露人船主	支人船主	日人船主	計
汽船の部	隻數	162	77	10	**249**
	馬力	24,992布度	14,586布度	3,465布度	**43,043**布度
	積載量	552,930布度	452,500布度	113,500布度	**1,118,930**布度
	索引量	3,386,500	1,695,500	493,000	**5,576,500**
「ライター」の部	隻數	190	45	4	**239**布度
	積載量	4,750,995	1,247,000	167,000	**6,164,995**

右現在船舶の中で日本人及中國人を船主とする全部と露人所有のもので船主船名の確實なるものに就て船主船名別に表示すれば次の如くである。

松黑兩江船舶明細表

國籍	船主	船名	船質	實馬力	積載量 布度	索引量 布度
日	極東運輸組合	ワヽアレキセーフ	鋼客貨	550	25,500	—
同	同	シビル	鋼客貨曳	400	12,000	68,000
同	同	シルカ	同	210	15,000	30,000
同	同	カオストーク	木客貨	210	21,000	—
同	同	ソーコル	同	135	8,000	—
同	同	ムコモル	鋼客曳	220	4,000	20,000
同	同	アムグニ	鋼曳	500	—	125,000
同	同	ネロノフ	同　同	600	—	125,000
同	同	プメスト	同ライター	—	—	—
同	同	ジョセフ	同	—	45,000	—
同	北滿運輸	ウラシミルモノマフ	木客貨曳	400	24,000	65,000
同	同	アムル	鋼客曳	240	5,000	60,000
同	同	ゼーヤ	鐵ライター	—	50,000	—

國籍	船主	船名	船質	馬力	積載量 布度	索引量 布度
日	北滿運輸	シルカ	同同	—	40,000	—
米	エクスホルトヌイ公司	エクヤ	木客貨曳	39	2,000	1,000
同	同	ニーナ	木ライター	—	2,500	—
同	同	(浚渫船)	鐵	—	—	—
支	松黑兩江郵船公司	慶濂	鐵客貨	210	15,000	—
同	同	江鳧	同曳	36	—	5,000
同	同	江鷗	同	36	—	5,000
同	同	江鷹	同	36	—	5,000
同	同	公濟	木貨客	70	1,500	—
同	同	松花	同	70	3,000	—
同	同	江鷗	鐵ライター	—	5,000	—
同	同	嫩江	同	—		—
同	吉林軍務局	吉宏	鐵客貨曳	180	8,000	25,000
同	同	吉大	鐵ライター	—	20,000	—
同	廣信公司	廣濟	鋼客貨曳	400	12,000	65,000
同	同	廣利	同	210	15,000	25,000
同	同	濟波	鐵ライター	—	45,000	—
同	同	利波	同	—	35,000	—
同	東亞火磨公司	南京	木客貨曳	250	24,000	30,000
同	同	北京	鐵曳	120	—	20,000
同	同	辛酉	同貨曳	120	1,500	15,000
同	同	ドプルイ	汽艇	75	—	15,000
同	同	遠東	木ライター	—	7,000	—
同	同	濟東	鐵ライター	—	15,000	—
同	同	西京	木客貨曳	240	21,000	25,000

國籍	船主	船名	船質	馬力	積載量 布度	索引量 布度
支	東亞火輪公司	カザケヴツチ	鋼 曳	400	—	100,000
同	同	ロヤ	鐵 ライター	—	25,000	—
同	同	ナトム(安東)	同	—	30,000	—
同	同	ユーラン	同	—	75,000	—
同	通源森林公司	新原	同 曳	400	80,000	—
同	同	通原	同 貨曳	160	3,600	20,000
同	同	立通	同 曳	180	—	25,000
同	同	通昌	木 ライター	—	35,000	—
同	同	通裕	同	—	35,000	—
同	鏡波輪船森林公司	鏡波	鐵 曳	90	17,000	—
同	同	代波	同 客曳	80	—	25,000
同	同	利光	木 ライター	—	30,000	—
同	同	正元	同	—	30,000	—
同	光榮輪船公司	光裕	木 貨客曳	46	4,000	—
同	同	裕華	同	126	2,500	15,000
同	商濟公司	大平	木 貨客	82	5,000	—
同	德元輪船公司	德元	同	120	4,000	—
同	同	德亨	同	75	5,000	—
同	天利採木公司	天利	鐵 曳	90	—	15,000
同	同	裕埠	木 ライター	—	20,000	—
同	同	天定	同	—	30,000	—
同	烏福慶	慶遠	鐵 客貨曳	225	2,000	20,000
同	同	附屬ライター	同 ライター	—	25,000	—
同	同	新城	同 曳	45	8,000	—
同	振興航業公司	龍江	木 貨客	105	6,000	—

國籍	船主	船名	船質	實馬力	積載量 布度	索引量 布度
支	振興航業公司	三江	木客貨	105	6,000	—
同	芝陽公司	芝陽	同	105	6,000	—
同	伯和公司	伯和	鐵客貨曳	120	3,500	10,000
同	同	普渡	木ライター	—	7,000	—
同	中和洪	中華	木客貨曳	240	17,000	30,000
同	方比藩	鎭江	同	240	18,000	22,000
同	福山公司	福山	木客貨	100	6,000	—
同	福安公司	福安	同	60	3,500	—
同	華泰公司	華泰	同	120	8,000	80,000
同	江防司令部	江安	鐵貨	100	3,000	—
同	同	仁平	鋼客貨曳	400	5,000	80,000
同	同	江通	同同	400	—	
同	戊通航業股公司	海城	同同	650	12,000	100,000
同	同	鋼山	同同	400	8,000	60,000
同	同	杭州	同貨曳	200	6,000	35,000
同	同	嘉定	同	400	—	80,000
同	同	陽湖	同	300	4,000	50,000
同	同	遂陽	同	400	6,000	80,000
同	同	武進	鐵曳	500	—	100,000
同	同	三水	同	450	—	100,000
同	同	吾興	同	500	—	100,000
同	同	南翔	鐵客貨曳	400	—	75,000
同	同	常州	鐵貨曳	300	3,000	63,700
同	同	萊州	同	225	—	40,000
同	同	名山	同	110	3,000	8,000

國籍	船主	船名	船質	實馬力	積載量 布度	索引量 布度
支	戊通航業股公司	紹興	木客貨	250	25,000	—
同	同	上海	同	240	26,000	—
同	同	大興	同	240	18,000	—
同	同	宜興	同	330	27,000	—
同	同	暨陽	木客貨曳	240	15,000	35,000
同	同	蘇州	同	240	18,000	35,000
同	同	富錦	同	180	15,000	10,000
同	同	廣州	同	135	7,000	8,000
同	同	濬陽	同	150	6,000	12,000
同	同	璦琿	同	210	15,000	—
同	同	文珠	鋼ライター	—	75,000	—
同	同	舍利	同	—	70,000	—
同	同	大明	同	—	75,000	—
同	同	妙音	同	—	60,000	—
同	同	梵音	同	—	27,000	—
同	同	名聞	鐵ライター	—	50,000	
同	同	日生	同	—	50,000	—
同	同	寶相	同	—	60,000	—
同	同	觀音	同	—	20,000	—
同	同	名光	同	—	30,000	—
同	同	華蓋	同	—	27,000	—
同	同	大光	同	—	35,000	—
同	同	寶華	同	—	35,000	—
同	同	普賢	同	—	15,000	—
同	同	鋼明	同	—	20,000	—

國籍	船主	船名	船質	實馬力	積載量 布度	索引量 布度
支	戊通航業股公司	須彌	鐵ライター	—	25,002	—
同	同	華嚴	同	—	27,000	—
同	同	彌陀	同	—	25,000	—
同	同	韋陀	同	—	6,000	—
同	同	金剛	同	—	11,000	—
同	同	達摩	木ライター	—	30,000	—
同	同	無量	同	—	18,000	—
同	同	如來	鐵ライター	—	80,000	—
同	利春水	鴻泰	鐵曳	200	—	12,000
同	同	順泰	同	120	—	14,000
同	同	祥泰	同	180	—	19,000
同	同	民利	鐵客貨曳	48	1,000	12,000
同	同	瑞太	木貨客	60	2,000	—
同	同	賓州	汽艇	36	1,500	—
同	同	新安	木貨客	80	7,500	—
同	同	同興	同	90	7,000	—
同	黑河商人	ミハイル	鋼客貨曳	100	—	25,000
同	同	ウヒルトヌイ	鐵曳	206	—	25,000
同	同	ウエストニツク	木客貨	36	2,000	—
同	哈市商人	ウオストーク	鐵客貨曳	120	1,500	20,000
同	同	オロツオンカ	木ライター	—	6,000	—
同	黑河商人	モスクバ	木客貨曳	240	20,000	25,000
同	同	ツルゼニツク	木貨客鐵	30	3,000	—
同	不明	長江	鐵曳	100	—	20,000
同	同	盛江	同	110	—	1 5,000

國籍	船主	船名	船質	實馬力	積載量 布度	索引量 布度
露	東支鐵道船舶部	自第一號 至第十二號	鋼 曳	(各) 400	—	(各) 80,000
同	同	自第十八號 至第十九號	鋼 客貨曳	(各) 100	(各) 1,500	(各) 20,000
同	同	自第四號 至第三十八號	鐵 ライター	—	(各) 30,000	—
同	同	自第四十一號 至第四十二號	鋼 ライター	—	(各) 30,000	—
同	黑龍商船	アトミニクルポシエタ	鋼 曳	200	—	25,500
同	同	アムルチツク	同	100	—	15,500
同	同	アフロラ	同 ライター	—	23,000	—
同	同	カールガ	鐵 同	—	25,000	—
同	同	カムチヤツカ	鋼 ライター	—	27,000	—
同	同	ビシヘヤ	鐵 同	—	2,000	—
同	同	シレカ	同	—	50,000	—
同	同	ツーラ	同	—	25,000	—
同	同	チカゴ	同	—	25,000	—
同	マルクユ商會	エキミチヤン	木 貨客	100	8,000	—
同	同	バエツ	鋼 曳	300	—	40,000
同	同	バルシ	木 ライター	—	—	25,000
同	同	アドミナルネウエルスコイ	鋼 曳	800	—	200,000
同	同	セミヨンデジニヨク	同	500	—	125,000
同	同	チグル	鐵 ライター	—	50,000	—
同	同	ホドルーカ	同	—	30,000	—
同	同	ソーコル	同	—	30,000	—
同	同	ベゲモード	同	—	60,000	—
同	同	リヨフ	同	—	50,000	—
同	同	パセリニヤ	同	—	30,000	—
同	同	メドウエン	同	—	50,000	—

國籍	船主	船名	船質	實馬力	積載量 布度	索引量 布度
露	マルクユ商會	チビス	鐵ライター	—	30,000	—
同	シユフキン商會	フロペソ	鐵貨曳	150	8,000	15,000
同	同	ツフチナ	鐵ライター	—	25,000	—
同	ウ、ア、ゴスチン	ブリヤツカ	同	—	17,000	—
同	セシヨン	スラウヌイ	汽艇	50	—	8.000
同	スレゲコフ	オリドイ	木客貨曳	120	6,000	6,000
同	セロイモフ	タリスマン	汽艇	40	—	5,000
同	ゲユドルコフ	ウグ゛レコフ	同	40	—	15,000
同	ミロウエツチ	レフレジ、エラトル	鐵ライター	—	3,500	魚類冷藏
同	不明	セレンガ	鋼曳	200	—	25,000

而して松黑兩江の船舶を航行可能區域に配船するときは一九一七年迄は汽船一隻二十四露里「ライター」一隻二十三露里で船腹過剩の感があつたが各船主共に相應の利益を擧けた露國政府の經濟制度の根本的破壞により黑龍江本流方面は物資の移動なく船舶業者は悲境裡に落入つた又過激派の沒收より逃れて安全なる松花江方面に避難し來たりし船舶甚だ多く爲めに松花江も亦船腹過多となり加ふるに減水の爲め本年の如きは十數年來始めての不況を呈するに至つた卽本年松花江(哈爾賓ラハスス間)を航行したる船舶は汽船九十七隻ライター八十九隻(共に延數にあらす)の多きに達し之を航行區域六七五露里に配船すれば汽船ライター共に一隻七露里になる之れでは到底營業の償はざるは明かである。

汽船の素質 松花、黑龍兩江航行汽船の構造其他の概況は下の通りである。

イ 積載力
- 汽船は千乃至五千布度から三萬布度迄を普通とし最大四萬布度
- 貨船(ライター)は千乃至五千から三萬布度迄とし最大八萬布度

ロ 汽船の曳引力 一萬布度から十萬布度最大十六萬布度

ニ 吃水 二呎乃至六呎を普通とし最大九呎

ニ　船　體　鐵又は鋼製四に對し木製三の割
ホ　推進機　雙輪式約半數を占め後輪船及スクリユー約四分一宛
ヘ　燃　料　薪を主として石炭を用ゆるものは極めて稀である。
ト　馬　力　五馬力以上三百馬力迄最大八百八十馬力普通は百馬力から二百五十馬力迄

帆船の種類及積載力　改緑、槽船、牛船、對子、大頭船等あるが其積載力は下の通りである。

改　緑	2萬乃至10萬斤	對　子	1萬乃萬2萬斤
槽　船	2萬乃至10萬斤	大頭船	1萬乃至2萬斤
牛　船	1萬乃至 。萬斤		

帆船の現在數　確數を得ることが出來ぬが上流から哈爾賓迄に巻一千隻、之に哈爾賓から下流及嫩江、呼蘭河等の分を全部合計すると約二千隻に上るであらう。

航行日數　結氷は十一月中旬から下旬、解氷は四月の上旬乃至中旬の間で開河期間は普通二百二十日内外であるが結氷、解氷の前後は流氷の爲め數週間航行不能であるから航行期間は一年の半分百八十日内外である。

イ　帆　船	伯都訥(新城)—吉林間	上航二十七日下航十二日
	伯都訥—哈爾賓間	上航十四日下航七日
	哈爾賓—三姓間	上航十三乃至十五日下航七八日
ロ　汽　船	伯都訥—哈爾賓間	上航三日下航二日
	哈爾賓—三姓間	上航三日下航二日
	三姓—拉哈蘇間	上航三日下航二日

哈爾賓と黑龍江各地との航行日數は下の如し。

哈爾賓—尼港	往航十乃至十四日	復航七乃至九日
哈爾賓—ブラゴウエ間	往航八乃至十日	復航七乃至九日
哈爾賓—ハバロフスク間	往航四五日	復航七乃至九日

6　松花江水運に依る貨物

最近五箇年間松花江の水運に依り哈爾賓に出入した貨物を見るに下の如くである(單位海關兩)

年　度	輸移入額	輸移出額	再輸移出額	合　計
大正六年	3,852,483	2,243,478	7,243,710	13,339,671
大正七年	9,350,898	1,969,017	5,507,233	16,827,148
大正八年	8,622,756	895,984	5,919,571	15,435,311
大正九年	13,279,933	663,515	7,069,459	21,012,907
大正十年	19,372,651	1,752,356	6,485,179	27,610,186

再輸移出額多きは鐵道にて集りたる貨物が再輸移出したるに由る更に之れを主なる品種別に擧ぐれば下の如くである。

輸移出されたる主なる貨物

品　名	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
	擔	擔	擔	擔	擔
大豆	1,124,301	2,880.243	2,268,510	1,624,328	3.720,914
小麥	477,092	1,757,286	1,290,077	4,266,896	1,602,356
雜穀	168,955	231,725	109.318	89,739	301.334
麥粉	15,139	14,153	35,035	24,396	21,486
豆粕	2.694	11,464	43,248	23,872	9,249
薪材	1,004,193	877,673	1,651,385	2,003,192	303,581
	海關両	海關両	海關両	海關両	海關両
木材	231,899	799,548	564,056	902,182	2,102,760

松花江に依り哈爾賓より輸移出(再輸移出を含む)されたる主なる中國品

品　名		大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
綿製品	(海關両)	281,747	316,713	189,298	631,495	722,997
雜穀	(擔)	363,229	243.013	244,892	23,191	58,191
麥粉	(擔)	194.324	247,203	92,148	37,562	73,336
鷄卵	(個)	8,973,965	2,550,433	999,865	52,000	451,000
靴	(足)	142.462	114,950	80,128	83,606	186,340

松花江に依り哈爾賓より再輸移出されたる主なる外國品

品　名		大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
綿製品	(海關両)	1,987,778	1,839,796	2,571,649	1,584,103	1,088,008
石油	(米噸)	482,003	289,593	196,125	679,400	411,905
燐寸	(グロス)	117,500	20,467	75,961	12,309	22,144
砂糖	(擔)	42,109	23,224	23,724	2,012	25,153
卷煙草	(千本)	119,777	59,113	82,309	60,344	69,700
麻袋及其他袋類	(枚)	1,838,022	2,403,161	2,252,849	2,139,989	2,574,791

7　嫩　江

齊々哈爾瑷琿の中間墨爾根迄帆船を通ずる、帆船は四十石積から百五十石迄のもので大小約百隻を有して居る。本江帆船のみでなく哈爾賓、齊々哈爾間には從來淺吃水の汽船を通して居つたこともあつた。航行期は五月上旬から十月下旬迄で航行日數は齊々哈爾、墨爾根間上航七日下航四日、齊々哈爾伯都訥間上航十日下航六日を要する。

8　呼　蘭　河

小舟は慶城縣附近まで通し得られる。本江は江口から五邦里許りの呼蘭迄は水深深くして汽船を通ずるから哈爾賓呼蘭間には汽船二隻を以て毎日一回宛定期航行を行つて居る。

本河の帆船數は詳かでないが五十石積以上二百石積迄のもの約二百隻を有する。之等は綏化一帶の平野に產する穀類運搬の爲め大に重要なるのである。水深は呼蘭から上流綏化迄は二乃至七呎で呼蘭から下流は五乃至八呎である。

哈爾賓出入船舶國

年次	船舶國籍別	入港 外國貿易 隻數	入港 外國貿易 船簿噸數	入港 沿岸貿易 隻數	入港 沿岸貿易 船簿噸數	出 外國貿易 隻數	出 外國貿易 船簿噸數
大正六年	露西亞	105	42,000	270	91,882	144	57,600
	中國	—	—	9,036	196,547	—	—
	計	**105**	**42,000**	**9,306**	**291,429**	**144**	**57,600**
大正七年	中國	2	800	10,968	267,910	2	800
	露西亞	26	9,9000	291	103,400	17	6,500
	計	**28**	**10,700**	**11,259**	**371,310**	**19**	**7,300**
大正八年	中國	9	3,600	11,191	327,940	8	3,200
	露西亞	54	21,600	220	88,000	64	25,600
	計	**63**	**25,200**	**11,411**	**415,940**	**72**	**28,800**
大正九年	中國	10	4,000	13,417	411,600	11	4,400
	露西亞	13	5,200	392	156,800	9	3,600
	計	**23**	**9,200**	**13,809**	**568,400**	**20**	**8,000**
大正十年	中國	7	2,800	13,314	438,800	5	2,000
	露西亞	6	2,400	255	102,000	3	1,200
	計	**13**	**5,200**	**13,659**	**540,800**	**8**	**3,200**

哈爾賓出入

種別	地方別	大正六正 中國人	大正六正 其他	大正六正 計	大正七年 中國人	大正七年 其他	大正七年 計
入港	松花江及黑龍江各沿岸	97,203	1,963	**99,166**	119,368	2,055	**121,423**
出港	松花江及黑龍江各沿岸	93,451	2,684	**96,135**	107,711	2,359	**110,070**

籍別貿易額累年比較　　貿易單位(海關兩)

港		總				計	
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
239	82,679	249	99,600	509	177,561	758	277,161
8,369	184,003	—	—	17,405	380,550	17,405	380,550
8,608	**266,682**	**249**	**99,600**	**17,914**	**558,111**	**18,163**	**657,711**
10,853	259,330	4	1,600	21,821	527,240	21,825	528,840
270	94,700	43	16,400	561	198,100	604	214,500
11,123	**354,030**	**47**	**18,000**	**22,382**	**725,340**	**22,429**	**743,340**
9,972	304,320	17	6,800	21,163	632,260	21,180	639,060
214	85,600	118	47,200	434	173,600	552	220,800
10,186	**389,920**	**135**	**54,000**	**21,597**	**805,860**	**21,732**	**859,860**
13,508	410,760	21	8,409	26,925	822,360	26,946	830,760
375	150,000	22	8,800	767	306,800	789	315,600
13,883	**560,760**	**43**	**17,200**	**27,692**	**1,129,160**	**27,735**	**1,146,360**
12,301	424,620	12	4,800	25 615	863,420	25,627	868,220
256	102,400	9	3,600	511	204,400	520	208,000
12,557	**527,020**	**21**	**8,400**	**26,126**	**1,067,820**	**26,147**	**1,076,220**

旅客累年比較　　(松花江開航期中)

大正八年			大正九年			大正十年		
中國人	其他	計	中國人	其他	計	中國人	其他	計
72,471	1,075	**73,546**	98,845	1,913	**100,758**	71,819	1,599	**73,418**
82,182	1,459	**83,641**	93,641	1,254	**94,895**	64,519	764	**65,283**

三姓出入船國籍

年次	船舶國籍別	入港				出	
		外國貿易		沿岸貿易		外國貿易	
		隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
大正六年	露西亞	42	20,088	537	2,77,579	46	22,219
	中國	11	454	751	2,478	20	756
	計	**53**	**20,542**	**1,252**	**320,057**	**69**	**22,975**
大正七年	中國	16	1,284	1,279	107,189	20	1,346
	露西亞	25	7,254	413	135,872	15	4,952
	計	**41**	**8,538**	**1,692**	**243,061**	**35**	**6,298**
大正八年	露西亞	36	10,833	229	69,105	72	22,383
	中國	31	2,231	1,121	103,406	41	2,440
	計	**67**	**13,064**	**1,350**	**172,511**	**113**	**24,823**
大正九年	中國	14	2,259	10	1,938	1,958	167,498
	露西亞	3	912	4	1,216	448	136,192
	總	**17**	**3,171**	**14**	**3,154**	**2,046**	**303,690**
大正十年	露西亞	5	1,520	388	177,952	5	1,520
	中國	6	1,740	2,040	259,312	2	580
	計	**11**	**3,260**	**2,428**	**377,264**	**7**	**2,100**

三姓出入旅

種別	地方別	大正六年			大正七年		
		中國人	其他	計	中國人	其他	計
入港	松花江及黑龍江各沿岸	9,805	64	**9,869**	14,248	263	**14,511**
出港	松花江及黑龍江各沿岸	3,209	59	**3,268**	9,762	150	**9,912**

別貿易額累年比較 （貿易額單位海關兩）

港		合				計	
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
529	273,840	91	42,307	1,066	551,419	1,157	593,726
746	42,380	31	1,210	1,461	84,858	1,492	86,068
1,275	316,220	122	43,517	2 527	636,277	2,649	679,794
1,309	107,909	36	2,630	2,588	215,098	2,624	217,728
424	138,968	40	12,206	837	274,840	877	287,046
1,733	246,877	76	14,836	3,425	489,938	3,501	504,774
186	34,721	108	33,216	415	112,826	523	146,042
1,051	97,203	72	4,671	2,172	200,609	2,244	205,280
1,237	104,924	180	37,887	2,587	313,435	2,767	351,322
1,658	170,278	1,612	169,757	1,668	172,216	3,280	341,973
454	138,016	451	137,104	458	139,232	909	276,336
2,112	308,294	2,063	306,861	2,126	311,448	4,189	618,309
387	117,648	10	3,040	775	235,600	785	238,640
1,843	254,235	8	2,320	3,883	513,547	3,891	515,867
2,230	371,883	18	5,360	4,658	749,147	4,676	754,507

旅客細年比較 （松花開航期中）

大正八年			大正九年			大正十年		
中國人	其他	計	中國人	其他	計	中國人	其他	計
11,325	45	11,370	15,607	122	15.729	52,976	2,479	55,455
8,596	96	8,692	13,451	166	13.617	49,047	2,630	51,677

（十）黒　龍　江

1 概　　況

黒龍江は往時漢北の黒水と云つたもので黒龍江の名も其水色から出たものと云はれて居る源流は蒙古のオノン河及後貝加爾州フインゴダ河で之れがシルカ河となつて黒龍江省界に至りアルグン河と合し露支國境を流れてブラゴウエシチエンスクでゼーヤ河に合し之れより下流は水勢緩く河幅一浬乃至一浬半で更にブレヤ河及前記の松花江並に烏蘇里江等を合してニコライエフスクで海洋に出でて居る。以上の諸船何れも汽船を通し經て現可航區域6679露里である。（黒龍江本流域の可航全域は2663露里である。）尚航行日數は松花江で述べた外下の如くである。

尼港—ハバロフスク間	往行四、五日	復行三、四日
尼港—哈爾賓間	〃 十乃至十四日	〃 七乃至九日
尼港ブラゴウエ間	〃 十乃至十四日	〃 七乃至九日
ブラゴウエ—スレテンスク間	〃 九乃至十二日	〃 七八日

尚ほ最近の汽船賃は左の如である。

	一　等	二　等	三　等
スレーチエンスク—武市	二三留	一五留	七留
武市　—　哈府	一五	一〇	四
哈府　—　尼港	一五	一〇	四

2 哈　府　埠　頭

黒龍江流域中最大なる埠頭は哈府である。

ハバロフスクは黒龍江と烏蘇里河との合流點で、又アムール鐵道とウスリー鐵道の交叉點である。當埠頭はハバロフスク驛を去ること支線で五露里戰前迄は貨物積卸場五箇所あつて一時に五隻の荷船に積み込みを爲し得た。埠頭倉庫は烏蘇里鐵道の四倉庫（坪數四百十四露坪）アムール鐵道の四倉庫（坪數三百六十露坪）又稅關で借用し居るもの屋根無し置場二箇所（二百三十二露坪）屋根を有する置場三箇所（二百二十八露坪）合計倉庫七百七十四露坪′置場四百六十坪がある。浦潮からの貨物輻輳するが如き場合にはニコロアレキサンドロフスカヤ埠頭（ハバロフスク驛より二十五露里の地點）を補助埠頭とした。同埠頭には普通倉庫十五棟、屋根を有するもの三棟、合計三千四百二十露坪を有する陸軍省に屬せし倉庫の一部と、アムール汽船會社所有倉庫一つを合せて總計三千五百五十露坪を有して居る一露坪當り平均四百布度宛を收容し得るとせば其容積約百四十萬布度となる。尚外に荷物積卸に便せんが爲めの廣軌鐵道引込線を有するが、倉庫が埠頭から遠隔の地にある爲め、荷役作業に著しく冗費を要する事は本埠頭の最大缺點とする所である。

3 船　　舶

露國の船舶は全部政府の手にあつて之れを處理するため知多に水路運輸本局なるものが設けられてあるが中國側の船舶と競爭を要するに至つたため廣範な權限を附與された黑龍州船舶管理局と稱するものが武市に設けられた此水路管理局の所有する黑龍江全流域に於ける船舶の總數は小艇を除いて汽船六十三隻無蒸氣102隻である其内舊黑龍州水路局の所有が14隻各官衙に屬するものが8隻舊バラトラ社所有のものが32隻其の他は何れも私用船である。露國水域中には中國戊通汽船會社の汽船が32隻無蒸汽船が111隻船行して居る又船舶國有當時以後所有者が不法行爲を以て外國人に賣渡したるものが122隻の多きに達して居る其内戊通公司は最も多く不法買入を爲し今日では同社所有の汽船が213隻曳船23隻が松花江を航行してる居る。

4 貨 物 輸 送

東支鐵道の輸送能力不充分なるか、又は哈爾賓を通過する輸出積替貨物に對する總ての特典を變更せらるゝ場合には、松花江流域の貨物は著しき滯貨なきハバロフスクに向けられて烏蘇里鐵道を經て浦鹽より輸出さるゝか、或は其の捌口を黑龍江河口ニコラエフスクに求むるに至る事は自然の趨勢である、之等河水を利用する露國船舶は混亂時代過激派の跋扈其の他種々の原因で中國商の手に渡つたものが多く、外國輸出業者は之を利用してニコラエフスクに搬出し大正八年には其數量一千五百萬布度の豫定だつたが松花江減水のため航行を妨げ漸く五百萬布度を搬出したに過ぎない。

1921年度に於ける貨物輸送の全數量は四百四十七萬二千布度で内百二十八萬布度は汽船の輸送量である戊通公司の輸送貨物は甚だしく小量である筏で貨物十九萬二千布度及四百七十九萬布度の材木竝に薪を輸送した水域輸送數量は九百五十萬布度であつた其の半數は汽船及曳船にての輸送である戰前に於ける貨物の輸送量は八千萬布度に達し五千萬布度は汽船輸送であつた而して露國船舶に依る松花江輸送は三千萬布度で重に勞農露國行の參粉である。

要運出入船舶國籍

年次	船舶國籍別	入		港		出	
		外國貿易		沿岸貿易		外國貿易	
		隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
大正五七年	露西亞	179	38,443	380	101,495	172	38,528
	中國	381	6,798	1,623	23,056	381	6,798
	計	**569**	**45,241**	**2,003**	**124,551**	**553**	**45,326**
大正七年	中國	39	700	809	33,588	39	700
	露西亞	67	24,156	71	30,634	60	16,599
	計	**106**	**24,856**	**880**	**64,222**	**99**	**17,299**
大正八年	中國	242	9,967	1,292	34,974	232	7,852
	露西亞	213	20,373	531	23,492	199	18,105
	計	**455**	**30,340**	**1,823**	**58,466**	**431**	**25,957**
大正九年	中國	52	21,775	662	65,170	57	25,956
	露西亞	190	42,585	80	7,196	181	38,860
	計	**242**	**64,360**	**742**	**72,366**	**238**	**64,816**
大正十年	中國	44	5,848	1,135	77,802	45	7,107
	露西亞	93	16,740	163	29,340	84	15,120
	計	**137**	**22,588**	**1,298**	**107,142**	**129**	**22,290**

要運出入旅

種別	大正六年			大正七年		
	哈爾賓其他松花江沿岸	黑龍江本支流各沿岸	計	哈爾賓其他松花江沿岸	黑龍江本支流各沿岸	計
入港	13,218	8,656	**21,874**	8,611	835	**9,446**
出港	15,240	6,198	**21,438**	6,660	1,308	**7,968**
合計	**28,458**	**14,854**	**43,312**	**15,271**	**2,143**	**17,414**

別貿易額累年比較　　　　兩關海關單位貿易額

港		總				計	
沿岸貿易		外國貿易		沿岸貿易		計	
隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
387	101 410	351	76,971	767	202,905	1,118	279,876
1,622	23,033	762	13,596	3,245	46,089	4,007	59,685
2,009	124,443	1,113	90 567	4,012	248,994	5,125	339,561
795	33,407	78	1,400	1,604	66,995	1,682	68,395
78	38,191	127	40,755	149	68,825	276	109,580
873	71.598	205	42,155	1,753	135,820	1,958	177,975
1,301	37,271	474	17,819	2,593	72,245	3,067	90,064
545	25,760	412	38,478	1,076	49,252	1,488	87,730
1,846	63,031	886	56,297	3,669	121,497	4,555	177,794
630	58,787	109	47,731	1,292	123 957	1,401	171,688
85	9,391	371	81,445	165	16,587	536	98,032
715	68,178	480	129,176	1,457	140,544	1,937	269,720
1,069	74,262	89	13,018	2,204	152,064	2,293	165,982
169	30,420	177	31,860	332	59,760	509	91,620
1,238	104,682	266	44,878	2,536	211,824	2,802	256,702

第七水運

客累年比較

大正八年			大正九年			大正十年		
哈爾賓其他松花江沿岸	黑龍江本支流各沿岸	計	哈爾賓其他松花江沿岸	黑龍江本支流各沿岸	計	哈爾賓其他松花江沿岸	黑龍江本支流各沿岸	計
7,964	3,462	11,426	9,737	8,767	18,504	8,693	7,113	15,806
6,666	5,550	12,216	8,460	6,587	15,047	9,133	7,472	16,605
14,630	9,012	23,642	18,197	15,354	33,551	17,826	14,585	32,411

第八　通　信

日本側の通信

1 沿　革

滿洲に於ける我通信事業は明治三十七、八年戰役の際野戰郵便及軍用電信等の軍事通信機關を施設したるに初まつて爾來軍政の下に經營されて居つたが明治三十九年七月關東都督府郵便電信官制が發布され同年九日通信機關を繼承し玆に初めて民政組織の下に一般業務を開始するに至つた。爾後屢々官制の變遷を經て大正九年十月二十三日現在の遞信局となつた。

2 機　關

滿洲に於ける遞信業務は大連に關東廳遞信局が在つて之れを統て居るが其の下に郵便局四十二箇所、同出張所十八箇所、同取扱所七十五箇所、郵便所六箇所、電信取扱所八十一箇所、無線電信局二箇所、電話局一箇所電話取扱所九箇所等が在つて其業務を行つて居る。今之れを各地別に示せば下の如くである。(大正十一年三月末日現在)

地名	遞信局	郵便局	郵便局出張所	郵便所	無線電信局	電話局	電信取扱所	郵便取扱所	電話取扱所
大連	1	6	—	5	—	1	2	—	3
周水子	—	1	—	—	—	—	1	1	1
旅順	—	2	—	1	—	—	2	—	—
柳樹屯	—	1	—	—	—	—	—	—	—
金州	—	1	—	—	—	—	1	—	—
普蘭店	—	1	—	—	—	—	1	—	
貔子窩	—	1	—	—	—	—	—	—	—
瓦房店	—	1	—	—	—	—	1	—	1
熊岳城	—	1	—	—	—	—	1	—	—
蓋平	—	1	—	—	—	—	1	—	—
大石橋	—	1	—	—	—	—	1	—	—
營口	—	1	1	—	—	—	2	—	—

地名	遞信局	郵便局	郵便局出張所	郵便所	無線電信局	電話局	電信取扱所	郵便取扱所	電話取扱所
海城	—	1	—	—	—	—	1	—	—
鞍山	—	1	1	—	—	—	2	—	—
立山	—	1	—	—	—	—	1	—	—
遼陽	—	1	1	—	—	—	2	—	—
煙臺	—	1	1	—	—	—	1	—	—
蘇家屯	—	1	—	—	—	—	1	—	—
撫順	—	1	1	—	—	—	1	—	—
奉天	—	1	3	—	—	—	2	—	—
鐵嶺	—	1	1	—	—	—	2	—	—
開原	—	1	—	—	—	—	1	—	—
昌圖	—	1	—	—	—	—	1	—	—
四平街	—	1	—	—	—	—	1	—	—
公主嶺	—	1	—	—	—	—	1	—	—
范家屯	—	1	—	—	—	—	1	—	—
長春	—	1	2	—	—	—	2	—	—
哈爾賓	—	1	—	—	—	—	—	—	—
吉林	—	1	—	—	—	—	—	—	—
新民府	—	1	—	—	—	—	—	—	—
本溪湖	—	1	—	—	—	—	1	—	—
橋頭	—	1	—	—	—	—	1	—	—
連山關	—	1	—	—	—	—	1	—	—
鷄冠山	—	1	—	—	—	—	1	—	—
鳳凰城	—	1	—	—	—	—	1	—	—
安東縣	—	1	1	—	—	—	2	—	—
上記以外ノ各地	—	—	6	—	1	—	3 38	8 66	4
船中	—	—	—	—	1	—	—	—	—
計	1	42	18	6	2	1	81	75	9

3 郵

我郵便局所の配置は前表の如くであるが鐵道沿線で未だ之れを設置の
はしめて居る。內地との連絡便は大正七年八月以降每日二回朝鮮經由で
路に依つて行つて居る。中國に在る日本郵便局との間は上海線（凡每月
又は滿鐵及之れに接續する鐵道便に依つて居る外國郵便物の連絡は日本
小包のみは大阪商船及東洋汽船の米國航路が大連に寄港するに至つたた
今大正十年度に於ける通常郵便物の滿洲各地別取扱數を見るに下の如

地名	引受數 普通	書留	價格表記	計
大連	15,611,352	349,804	9,843	15,970,999
周水子	25,651	786	128	26,565
旅順	2,233,874	52,115	1,271	2,287,260
柳樹屯	90,095	783	96	90,974
金州	205,005	3,510	701	209,216
普蘭店	216,694	4,433	609	221,736
貔子窩	189,869	4,514	569	194,952
瓦房店	277,708	6,808	779	285,295
熊岳城	267,313	1,813	607	269,733
蓋平	157 172	1,754	663	159,589
大石橋	431,444	6,912	1,055	439,411
營口	937,292	28,232	1,872	967,496
海城	706,803	3,537	628	710,968
鞍山	830,808	19,231	939	850,978
立山	55,085	895	438	56,418
遼陽	1,445,301	21,256	2,314	1,468,871
煙臺	82,839	1.522	479	84,840
蘇家屯	136,089	1,499	364	137,952
奉天	4,816,678	103,424	5,321	4,925,423
鐵嶺	1,096,460	21,040	1,755	1,119,255
開原	1,155,463	21,977	2,324	1,179,764
昌圖	86,692	1,499	253	88,444
四平街	836,551	15,654	959	854,164
公主嶺	751,219	15,500	1,211	767,930
范家屯	250,547	4,747	740	256,034
長春	1,905,036	64,094	5,358	1,974,488
吉林	276,485	10,991	996	288,472
哈爾賓	2,909,565	29,644	591	2,939,800
新民府	34,135	462	210	34,807
撫順	1,304,258	34,137	2,549	1,340,944
本溪湖	978,478	9,481	1,124	989,083
橋頭	86,153	1,894	379	88,426
連山關	167,325	2,798	418	170,541
鷄冠山	95,728	1,713	420	97,861
鳳凰城	119,731	1,149	638	121,518
安東縣	2,072,828	58,081	4,258	2,135,167
鐵道便	1,456,616	—	—	1,456,616
計	44,301,342	907,689	52,959	45,261,990

程度に達せざる地方に對しては鐵道驛長をして郵便物の引受交付を取扱
行ひ又滿洲相互間の發著は一二通常道路又は水路に由るの外悉く鐵道線
四回）天津線（凡月九回）青島線（凡月十回）及芝罘線（凡每日一回）の便船
內地局若しくは上海の日本郵便局を經由して遞送して居る。但し米國行
め凡月二回直接の遞送を行つて居る。
くである。

配達數				合計
普通	書留	價格表記	計	
18,574,398	332,814	6,661	18,913,873	34,884,872
37,710	854	44	38,608	65,173
2,730,067	41,932	1,325	2,773,324	5,060,584
119,465	1,040	149	120,654	211,628
340,164	3,596	558	344,318	553,534
285,318	3,710	340	289,368	551,104
240,491	3,302	248	244,041	438,993
373,403	6,141	639	380,183	655,478
377,932	2,265	2,666	382,863	652,596
165,300	1,678	2,767	169,745	329.334
428,020	5,454	2,115	435,589	875,000
1,098,312	29,937	4,504	1,132,753	2,100,249
625,497	4,670	1,635	631,802	1,342,770
1,283,998	13,085	895	1,297,978	2,148,956
71,544	545	296	72,385	128,803
1,487,027	20,399	4,058	1,511,482	2,980,350
111,167	1,483	335	112,985	197,825
153,906	1,198	221	155,325	293,277
4,935,565	108,438	8,796	5.052,799	9,978,222
1,077,825	23,165	2,242	1,103,232	2,222,487
1,080,648	19,034	694	1,100,376	2,280,140
112,280	1,675	194	114,149	202,593
1,010,512	12,037	220	1,022,769	1,876,933
708,713	13,005	351	722,069	1,489,999
302,693	2,774	243	305,710	561,744
2,174,923	51,504	2,156	2,228,573	4,203,061
424,252	8,671	1,031	433,954	722,426
2,773.899	29,891	184	2,803,974	5.743,774
47,386	532	225	48,143	82,950
1,431,892	22,489	958	1,455,339	2,796,283
1,037,311	7,304	509	1,045,124	2,034,207
162,337	1,675	208	164,220	252,646
143,978	3,164	494	147,636	318,177
88,471	891	105	89,467	187,328
135,792	1,196	320	137,318	258,836
2,376,056	54,895	2,356	2,433,307	4,568,474
1,054,569	—	—	1,054,569	2,511,185
50,750	49,582,821	836,433	50,470,004	95,731,994

3 電　　信

有線電信 滿洲の電信は日露戰後當時の軍用電信機關を繼承し爾今年々回線の增設設備の改善等を行ひ現今の狀態に至つたのである。日滿間の連絡は初め戰時中布設した大連佐世保間の海底電線一條のみに過ぎなかつたが大正八年朝鮮の媒介連絡に依り大連東京直通線を構成した上大正十年四月には大連長崎間の海底電線が開通した。中國及歐米宛の電報は我電信系を中國電信系に接續し直接通信を行つて居る。因に海底電信線で我國の所有に係るものは前記大連一長崎大連一佐世保の他旅順の芝罘一威海衛の一線があるのみである。

無線電信 無電としては明治四十四年十一月大連灣の一角に海岸局を設置し僅に內地一大連、上海一大連航路の船舶局と交信しありたるに過ぎなかつたが現時無電の發達に伴つて規模狹少を感じ最新の設備をした大規模の無線局建設の議が起り遂に柳樹屯の地に大正九年四月から起すし大正十一年六月竣工を見た。之れ大連灣無線電信局で在來局は之れを分室とし爾後兩々相俟つて大いに無電機能を發して居る。今各地に於ける電信取扱數を見るに下の如くである。

地名	內國電報		外國電城		計		中繼信
	發信	著信	發信	著信	發信	著信	
大連	1,066,832	908,812	111,300	106,229	1,178,132	1,015,041	1,333,919
周水子	706	633	—	—	706	633	—
營城子	252	216	—	—	252	216	—
旅順	51,762	45,697	805	1,079	52,567	46,776	785
南關嶺	73	223	—	—	73	223	—
柳樹屯	707	694	2	2	709	696	7
金州	2,939	2,899	112	167	3,051	3,066	41
三十里堡	841	599	—	—	841	599	1
普蘭店	3,477	5,010	16	31	3,493	5,011	5

地名	內國電報		外國電報		計		中繼信
	發信	著信	發信	著信	發信	著信	
貔子窩	2,400	2,602	104	121	2,544	2,723	7
瓦房店	5,725	7,843	31	65	5,756	7,908	295
得利寺	389	434	—	—	389	434	1
松樹	1,138	1,581	—	—	1,138	1,581	1
萬家嶺	564	704	—	—	564	704	—
熊岳城	3,440	5,382	41	91	3,481	5,473	2
蓋平	3,481	4,825	342	911	3,823	5,736	8
大平山	102	262	—	—	102	262	—
大石橋	7,406	6,712	11	15	7,417	6,727	2,062
營口	74,765	83,852	1,569	322	76,334	84,174	1,233
分水	265	222	—	—	265	222	—
海城	5,475	6,426	5	3	5,480	6,429	28
湯崗子	1,605	1,135	—	—	1,605	1,135	1
千山	537	818	—	—	537	818	3
鞍山	21,615	21,409	25	25	21,640	21,434	776
遼陽	29,172	30,300	149	243	29,321	30,543	11,851
立山	766	1,012	2	2	768	1,014	11
張臺子	54	163	—	—	54	163	—
煙臺	1,681	2,106	1	3	1,682	2,109	4
沙河	477	867	—	—	477	867	3
蘇家屯	2,557	2,401	—	2	2,557	2,403	11
渾河	407	196	—	—	407	196	—
奉天	223,615	211,903	7,272	3,808	230,887	215,711	1,005,343
虎不臺	423	439	—	—	423	439	—
新城子	415	541	—	—	415	541	1
新臺子	2,314	3,208	—	—	2,314	3,208	5
亂石山	106	255	—	—	106	255	—
鐵嶺	41,073	54,492	520	905	41,593	55,397	1,360
開原	85,286	87,510	47	7	85,333	87,517	41

地名	內國電報		外國電報		計		中繼信
	發信	著信	發信	著信	發信	著信	
金溝子	36	171	—	—	36	171	—
昌圖	1,709	3,554	—	—	1,709	3,554	13
雙廟子	766	1,428	—	—	766	1,428	—
四平街	40,312	47,930	43	5	40,355	47,935	2
十家堡	55	237	—	—	55	237	—
郭家店	1,285	2,521	—	—	1,285	2,521	2
公主嶺	26,486	36,195	21	13	26,507	36,208	3,072
劉房子	38	198	—	—	38	198	—
范家屯	14,708	17,319	—	—	14,708	17,319	12
大屯	273	704	—	—	273	704	—
孟家屯	189	184	—	—	189	184	1
第一局臨電	31,219	22,788	19	7	31,238	22,795	—
長春	205,303	231,519	3,657	2,680	208,960	234,199	99,822
柳樹臺	238	197	—	—	238	197	—
撫順	36,529	35,262	90	37	36,619	35,299	4,712
陳相屯	297	241	—	—	297	241	—
石橋子	567	556	—	—	567	556	—
火連寨	299	273	—	—	299	273	—
本溪湖	10,879	11,237	187	277	11,066	11,514	8
福金	186	156	—	—	186	156	—
橋頭	2,610	2,206	—	3	2,610	2,209	105
南坟	795	803	—	—	795	803	—
下馬塘	426	470	—	—	426	470	—
連山關	1,942	1,834	—	3	1,942	1,837	6
祁家堡	219	240	—	—	219	240	—
草河口	776	943	—	—	776	943	—
通遠堡	1,069	1,019	—	—	1,069	1,019	—
劉家河	502	548	—	—	502	548	1
秋木莊	98	251	—	—	98	251	—

地名	內國電報		外國電報		計		中繼信
	發信	著信	發信	著信	發信	著信	
鷄冠山	1,661	1,864	1	1	1,662	1,864	650
鳳凰城	1,975	2,611	—	—	1,975	2,611	4
高麗門	242	204	—	—	242	204	—
湯山城	323	346	—	—	323	346	1
五龍背	634	429	—	—	634	429	—
安東縣	173,882	171,856	384	158	174,270	172,014	58,585
大連灣	946	2,561	38	27	984	2,588	39,003
神戸丸	83	514	16	28	99	542	—
榊丸	959	44	177	2	1,136	46	—
總計	2,205,402	2,105,796	126,987	117,272	2,332,389	2,223,068	2,571,442

4 電話

日露戰後の軍用電話を明治三十九年繼承後幾多の改善を加へて今日に至つたのであるが關東州內は勿論滿鐵沿線の重なる處は全て交換業務を行つて居る。尙我管外に在る營口水道電氣會社、本溪湖煤鐵公司、公主嶺中國電話公司、梨樹縣中國電話公司、復州中國電話局、蓋平中國電話局及四鄭鐵路等の私營電話は我電話線に接續を許し連絡通話に供して居る。

大連電話局に於ては手働式交換機からストロジヤー式自働交換機に改めんとして目下工事中であるが之れ我國に於ては初めての試みであつて大正十二年四月には竣工の豫定である。今各地電話加入者數を見るに

電話加入者數

局所名＼種別	日本人	中國人	外國人	合計
大連	3,333	616	31	3,980
沙河口	199	18	—	217
旅順	419	57	—	476
柳樹屯	18	6	—	34

種別／局所名	日本人	中國人	外國人	合計
金州	25	42	—	67
普蘭店	33	64	—	97
貔子窩	34	47	—	81
瓦房店	46	33	—	79
大石橋	59	2	—	61
海城	41	5	—	46
鞍山	373	10	—	383
遼陽	227	123	—	350
撫順	255	15	—	270
奉天	1,314	200	5	1,519
新民府	16	41	—	57
鐵嶺	243	54	—	297
開原	247	132	—	379
四平街	177	76	—	253
公主嶺	163	64	—	227
范家屯	40	81	—	121
長春	771	515	10	1,296
本溪湖	115	3	—	118
安東縣	728	24	3	755
計	8,876	2,228	49	11,153

(二) 中國側の通信

1 郵政

沿革 從來中國に於ける郵便事務は驛站文報局等の機關に依つて掌られて居つたが時世の進運と總稅務司にバートハート氏の努力により海關附屬郵政部の發達等に依つて現制に迄進んだのである。然して東三省に於ける郵務は牛莊を中心として牛莊郵界內に括られて居つたが民國二年東三省郵界となり總局を奉天に移し外蒙古は一郵界として庫倫に郵政副總局を置く計畫であるが未だ實施に至らない又特別區域は各夫れぞれ

直隷、山西郵界に入つて居る。

郵務機關

東三省郵務管理局　奉天

一等郵局
- 奉天省　營口、安東
- 吉林省　長春、吉林、哈爾賓
- 黑龍江省　——

二等郵局
- 奉天省　瓦房店、復州、蓋平、大石橋、海城、遼陽、牛莊、沙鎭、小北河、田莊臺、遼中、盤山、溝帮子、錦州、高橋、連山、寧遠、綏中、前衛、義州、北鎭、新立屯、彰武、新民、法庫、莊河、岫巖、大孤山、大東溝、鳳凰城、本溪湖、寬甸、大平溝、懷仁、輯安、興京、千金寨、撫順、鐵嶺、開原、開原驛、通江口、昌圖、四平街、八面城、奉化、郭家店、公主嶺、懷德、鄭家屯、洮南、西豐、山城子、西安、東平、海龍、朝陽、輝南、柳河、通河、臨江、長昌、計六十二
- 吉林省　伊通、農安、窰門、新城、石頭城子、雙城、阿什河、楡樹、磐石、官街、五常、賓、額穆、敦化、一面坡、寧古塔、穆稜、延吉、六道溝、汪淸、琿春、綏芬河、東寧、三姓、富錦、綏遠、計二十六
- 黑龍江省　齊々哈爾、昂昂溪、訥河、嫩江、大黑河、大賚、肇州、呼蘭、綏河、海倫、巴彥、海拉爾、滿洲里、計十三

	天奉省	吉林省	黑龍江省
三等郵局	38	23	9
郵寄代辦所	111	88	53

郵路　郵路には民船、汽船、鐵道に依る他郵差と稱するものがあるが之れは前記三路以外にあつて人足により郵便物を運般する事を云ふのである。而して滿蒙に於ける主なる郵路は下の如くである。

安東、綏芬河及滿洲里を起點とし北京に至る線。

東支鐵道—南滿洲鐵道—京奉鐵道

京張鐵道—張河口—庫倫—哈克圖

ある。

齊々哈爾—黑河線　　哈爾賓—海倫線　　哈爾賓—三 姓 線

奉　　天—通化線　　新　民—法庫線　　北　京—寧 夏 線

峰）

郵票種類　郵票 {半分、一分、二分、三分、四分、五分、六分、七 / 五圓、十圓

明信（葉書）　國內單一分　同雙二分　國外單四分　同雙八分

郵　　便

種別	等級	國內 第一種（市內）	國內 第二種（各局間）
封書	20瓦	1分	3分
	15	—	—
葉書	普通	1	1
	往復	2	2
新聞紙	—	100瓦每に 0.5	50瓦每に 0.5
印刷物	100瓦	0.5	1
	100—200	1	2.5
事務用書類	250—500瓦	2	5
	500—1000	4	7.5
	1000—2000	7.5	15
廣告郵便	百枚又は其端數	10	10
商品見本	100瓦	1	2
	100—250	2	5
	250—350	4	10
書留	普通書留	5	5
	配達證明書留	10	10
速達	普通郵稅以外に	10	10
價格表記	普通郵稅及書留以外に	一圓每に 2 但し10圓迄 10	第一種に同し
爲替	一圓每に	料金不同	—
小包	5,000瓦	10	·10
	5,000—10,000	10	但 1,000瓦迄 20
	1,000瓦每 2,750	—	—
	750—1,500	—	—
	1,500—2,250	—	—
	2,250—3,375	—	—
	3,375—4,500	—	—
	4,500—5,625	—	—

北京を起點として哈克圖にする線。

以上は二大幹線であるが其他各地區に於ける主なるものは下の如くで

吉　林—琿春線　四平街—洮南線　孫家臺—朝陽鎭線

北京—東部蒙古（北京—熱河—朝陽。張家口—多倫諾爾—林西—赤

分、八分、一角、一角五分、一角六分、二角、三角、五角、一圓、二圓、

印花税票(收入印紙）一分、二分、一角、五角、一圓

料　　金

國			外		
第三種（聯合各國）		第四種（日本及屬領）		第五種（香港、青島、澳門、威海衛）	分
最低の5分を追加す			—		4
	—		3	（澳門）	4
	4		1.5		1
	8		3		2
50瓦毎に	2	1,120瓦を限り 75瓦毎に	0.5	50瓦毎に	2
事務用書類は250瓦迄	10	1,120瓦を限り 112瓦毎に	2	50瓦毎に 但し250迄	2 10
50瓦毎に	2				
（但し別に印刷物としての郵税を徴す）					
100瓦迄 50瓦毎に	4 2	375瓦限り112瓦毎に	2	50瓦毎に 但し 100瓦迄	2 4
	10		7		1
	20		10		20
	12		12		—
	—		—		—
	—		—		—
外國爲替ハ取扱はず					
各國不同		中國國內小包料の外に	—	香港青島威海衛 495瓦	
			—		
			30		10
			5	澳	門
			4	1,350瓦	30
			50	1,150—3,150瓦	58
			60	3,150—4,950瓦	85
			70		

2 電　　政

一八六五年露國は天津—哈克圖間に電線架設を提議し、中國をして之をなさしむべく大に慫慂に勉めたが固陋なる中國人の反對に向つて果し得なかつた。然れども中國當局中の具眼者は之を必要とし光緒六年の冬、時の直隷總督李鴻章は河東の軍機製造局から天津招商局を經太沽の兵營に達する電線を架設するに至つた。之れ中國に於げる電線の嚆矢である爾來益々其利便を感じ現在では滿蒙に於ても各所に電線の架設せらるるを見るに至り東三省電線延長一萬二百餘支里に達して居る。

機　關

奉天電報局監督區域

一等電報局　奉天、營口°吉林、哈爾賓、齊々哈爾

二等電報局　錦州、安東、長春、三姓、昌圖、洮南、延吉、鐵嶺、通化、大孤山、寧古塔、海蘭泡、琿春

三等電報局　新民、大東溝、遼源、雙城、呼蘭、楡樹、賓州、新甸拉、哈蘇蘇、綏化、伯都訥、海倫、阿什河、撫順、遼陽、莊河、義州、岫巖、德墨利、佳木斯、富克錦、訥河、海城、肇州、興京、通江、開原、臨江、鳳凰城、法庫門、公主嶺、長日、輯安、興化、懷仁、伊通、方正、雙陽、農安、嫩江、大賚、龍王、廟額、木棠、愛琿、通化、林甸、拜泉、青崗

北京電報局監督區域（蒙疆）

一等電報局　張家口、庫倫

二等電報局　哈克圖、歸化、烏得、叩林、傍江、承德、經棚、多倫諾爾、包頭

三等電報局　赤峰、建昌、大同、什巴、爾臺、泃電河、林西、烏丹開魯、綏東、阜新、橋東、朝陽、平泉、圍場、建平、豐鎭、懷來宣化

電報符號及料金

中國電報は電報局で發賣して電報新編による數字である其料金は

1 同省內の華文　一字六分　　2 省外華文　一字一角二分

3 華文暗號數字及洋文は五割增　4 政官府の報は全て半額

5 新聞電報は全て半額（ローマ字15字內—語）

6 上海、福州、厦門、香港は大東北公司て扱ふ。

第九　財　　政

租借地の經營は歲々其の步を進め租借地の行政以外に滿鐵附屬地及居留地に於ける通信警察及觀測事務等を行ふため歲計も逐年膨張を加へるに至つた。

明治三十九年關東都督府の初めて創立せられた時の會計は之れを臨時事件費から支辨したが翌四十年三月法律第七十七號を以て特別會計とし其歲入及一般會計の補充金を以て歲出に充てることに規定され外務省の所管となつた。更に翌四十一年五月勅令第百十八號を以て關東州地方令が公布された之れ關東州居住民からする地方稅其の他の收入を以て敎育衞生勸業等地方住民の福利に關係ある費用を支辨せしむるものである。明治四十三年六月拓殖局が設置せられて從來外務省所管であつたのが大藏省に移つたが大正二年六月拓殖局廢止の結果再び外務省に復し大正六年七月拓殖局復活のため又大藏省所管となつて今日に至つて居る。

（一）關東廳歲計

特別會計歲入出累年比較

	年度	經常部	國庫補充金	其他臨時部	合計
歲入	明治四十二年度	円 1,519,322	円 2,964,000	円 1,165,081	円 **5,648,404**
	四十三年度	1,631,862	3,615,416	1,395,140	**6,642,418**
	四十四年度	1,796,499	3,691,747	1,164,180	**6,652,426**
	大正元年度	1,782,723	3,122,500	1,257,547	**6,162,770**
	二年度	1,913,716	2,347,800	1,277,239	**5,538,755**
	三年度	2,107,841	2,233,000	1,149,252	**5,490,093**
	四年度	2,221,473	1,937,000	1,404,985	**5,563,458**
	五年度	2,782,610	2,007,000	1,490,714	**6,280,324**
	六年度	3,584,830	2,007,000	2,133,394	**7,725,224**
	七年度	4,554,887	2,103,202	3,217,870	**9,875,959**
	八年度	5,816,733	3,000,000	3,281,974	**12,098,707**
	九年度	7,563,530	3,250,000	3,410,750	**14,224,280**
	十年度	8,849,332	4,000,000	3,954,508	**16,803,840**
	十一年度(豫算)	9,554,171	4,300,000	2,074,916	**15,929,087**

	年度	經常部	臨時部	合計
歲出	明治四十二年度	円 2,817,358	円 1,800,331	円 **4,617,689**
	四十三年度	2,988,893	2,782,442	**5,771,335**
	四十四年度	3,164,962	2,334,335	**5,499,297**
	大正元年度	3,299,371	2,060,132	**5,359,503**
	二年度	2,971,346	1,457,906	**4,429,252**
	三年度	3,048,276	1,068,623	**4,116,899**
	四年度	3,024,977	1,093,947	**4,118,924**
	五年度	3,148,378	1,059,625	**4,208,003**
	六年度	3,410,211	1,202,773	**4,612,984**
	七年度	3,800,329	3,095,525	**6,895,854**
	八年度	4,825,650	4,731,550	**9,557,200**
	九年度	7,006,522	4,699,205	**11,705,727**
	十年度	9,902,026	4,090,764	**13,792,790**
	十一年度(豫算)	12,035,426	3,893,661	**15,929,082**

圓位以上切捨てたるに依り合計額符合せざるものあり

特別會計歲入三箇年比較

科目			大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
經常部	租税	地租	円 217,228	円 217,767	円 216,925
		鹽税	198,599	164,487	209 043
		所得税	368,381	1,829,350	1,660,462
		取引所營業税	52,567	156,127	63,852
		取引税	175,832	187,236	118,457
		酒税	—	—	145,336
		煙草税	—	—	448,270
		計	1,012,609	2,554,967	2,862,345

科目			大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
經常部	官業及官有財產收入	郵便電信及電話收入	5,149,587	4,809,039	5,132,401
		土地家屋貸下料	560,050	783,417	849,490
		圖徒工鐵及製作收入	35,623	39,291	35,624
		醫院收入	—	—	95,135
	印紙收入		573,983	404,163	373,421
	雜收入	諸免許及手數料	4	539	972
		懲罰及沒收金	1,851	4,900	1,664
		授業料	36,699	54,764	64,135
		雜入	193,120	198,192	138,984
		計	231,674	258,395	205,755
	合計		**7,563,530**	**8,849,332**	**9,554,171**
臨時部	官有物拂下代	物品拂下代	16,349	43,692	43,151
		競賣地區拂下代年賦有金	447,327	1,391,736	427,436
		建物拂下代	20,089	526	12,381
		計	483,765	1,435,954	482,968
	前年度剩餘金繰入		2,926,985	2,518,553	348,053
	補充金		3,250,000	4,000,000	4,300,000
	公債金		—	—	1,243,895
	合計		**6,660,750**	**7,954,508**	**6,374,916**
總計			**14,224,280**	**16,803,840**	**15,929,087**

特別會計歲出三箇年比較

科		目	大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
經常部	關東廳	俸給	円 418,720	円 611,036	円 774,981
		廳費及修繕費	168,755	219,625	861,386
		雜給及雜費	287,251	420,239	
		裁判及登記諸費	2,451	4,953	1,230
		機密費	60,000	120,000	120,000
		計	937,179	1,375,903	1,757,597
	裁判及監獄費	俸給	82,277	110,544	112,386
		廳費及修繕費	25,865	230,825	187,612
		雜給及雜費	98,686	138,699	
		裁判及登記諸費	5,502	8,890	5,942
		在監人費	71,999	62,054	82,309
		計	284,332	344,012	388,249
	警察費	俸給	189,427	291,692	314,340
		廳費及修繕費	209,761	261,738	2,863,489
		雜給及雜費	1,358,966	2,219,349	
		計	1,758,154	2,772,779	3,177,829
	教育費	俸給	539,316	881,559	1,136,157
		廳費及修繕費	175,053	199,004	490,106
		雜給及雜費	159,432	246,438	
		計	873,802	1,327,001	1,626,263
	遞信費	俸給	541,994	723,263	784,524
		遞信事業費	2,454,679	2,974,421	3,119,983
		計	2,966,673	3,697,684	3,904,507
	海務局	俸給	36,533	46,625	46,632
		廳費及修繕費	24,788	23,932	89,790
		雜給及雜費	37,827	46,638	
		檢査及審判費	173	446	540
		海港檢疫費	4,776	8,761	3,782
		計	104,100	126,402	140,744

科			目	大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
				円	円	円
經常部	醫院費		俸給	—	—	87,003
			事務費	—	—	318,570
			計	—	—	405,573
	傳染病豫防費			—	—	35,159
	國債整理基金特別會計繰入			—	—	43,073
	諸支出金			—	58,244	306,432
	豫備金			—	—	250,000
	合計			7,006,522	9,702,026	12,035,426
臨時部	事業費		新營費	847,539	1,254,325	1,080,906
			大連郵便局電話課廳舍新營費	234,035	146,634	—
			修繕費	96,069	109,765	22,019
			大連拘置監新營費	—	—	77,782
			電信電話營繕費	454,201	355,947	185,474
			大連電話改良及擴張費	36,261	549,163	431,000
			大連上水第三期擴張費	412,827	808,956	1,243,895
			大連市街擴張費	—	313,580	398,430
			測量及調査費	2,637	6,254	6,450
			計	2,317,636	3,544,624	3,445,959
	土地調査費			323,519	355,034	329,890
	臨時戶口調査費			—	86,600	117,815
	ペスト防遏費			259,237	104,506	—
	合計			4,699,205	4,090,764	3,893,661
總計				11,705,727	13,792,790	15,929,087

關東州地方費收入三箇年比較

科		目	大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年豫算
經常部	租稅	營業稅	979,338	1,222,030	1,006,087
		雜種稅	404,754	423,333	441,988

科		目	大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度決算
經常部		計	円 1,384,093	円 1,645,363	円 1,448,075
	事業及財産收入	電氣收入	200,892	247,744	270,062
		水道收入	732,197	863,908	927,687
		營造物貸下料	25,690	34,947	35,179
		取引所收入	53,336	35,764	40,828
		屠獸場收入	62,054	84,670	71,659
		火葬場收入	9,408	8,454	9,788
		博物館及記念品陳列所收入	760	1,319	2,000
		醫院收入	97,604	108,267	—
		計	1,181,944	1,385,173	1,357,203
	雜收入	授業料	5,486	6,710	6,565
		特許料	3,737,615	1,585,318	923,969
		免許及手數料	15,581	20,130	13,182
		雜入	228,091	311,052	122,337
		計	3,986,775	192,301	1,066,053
	合計		**6,552,812**	**4,953,646**	**3,871,331**
臨時部	拂下代		47,277	140,335	40,278
	前年度剰餘金繰入		4,081,324	3,785,389	708,797
	合計		**4,128,801**	**3,925,724**	**749,075**
總計			**10,681,613**	**8,879,370**	**4,620,406**

關東州地方費支出三箇年比較

科		目	大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
經常部	會屯事務費		円 18,417	円 20,817	円 47,145
	教育費	小學校費	85,806	91,303	103,243
		公學堂費	77,399	82,326	198,851
		學事諸費	66,867	—	4,500

科		目	大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
			円	円	円
經常部		奬學費	534	480	—
		計	230,607	174,109	206,594
	勸業費	農事試驗場費	28,159	26,979	28,642
		水產試驗場費	29,219	29,196	30,160
		蠶業試驗場費	96,992	25,437	25,944
		林業費	68,776	67,056	72,124
		種畜場費	10,787	9,752	10,025
		計	163,934	158,419	166,895
	衞生費	公醫費	38,339	27,502	33,511
		種痘費	6,280	1,228	3,334
		獸疫豫防費	6,273	8,955	6,385
		商品試驗手數料	1,528	891	700
		醫院費	180,228	166,929	—
		傳染病豫防費	142,415	43,003	—
		婦人醫院費	60,155	56,955	—
		療病院費	132,375	113,417	—
		計	567,596	418,880	43,930
	營造物費	博物館費	40,596	17,493	29,980
		取引所費	310,231	280,342	309,334
		公園費	12,251	11,598	11,858
		屠獸場費	26,601	27,260	29,933
		火葬場費	14,448	12,878	14,139
		街燈費	8,138	8,053	9,228
		計	417,119	357,624	404,472
	救育費		1,100	1,039	650
	消防費		37,737	37,497	61,235
	作業費	電氣作業費		189,042	214,237
		水道作業費		426,836	367,623
		計	759,703	615,878	581,860
	土木維場費		185,205	184,775	185,702

科目			大正九年度決算	大正十年度決算	大正十一年度豫算
經常費		地方費取扱費	円 76,920	円 84,352	円 69,447
		諸支出金	2,090	6,923	1,700
		豫備費	—	—	50,000
		合計	**2,460,434**	**2,060,313**	**1,319,330**
	營繕及土木費	監督諸費	80,151	61,579	59,842
		營繕費	1,517,167	941,575	1,186,218
		土木費	1,857,266	1,160,989	698,330
		測量調査費	6,842	1,998	3,750
		計	3,461,428	2,166,142	1,948,140
		產業獎勵費	333,220	232,285	474,370
		補助費	293,276	119,810	168,260
		家屋調節費	149,075	210,190	210,000
		博覽會出品費	7,651	1,571	—
		合計	**4,435,796**	**2,730,000**	**2,800,776**
總計			**6,896,230**	**4,790,314**	**4,620,406**

圓位以下切捨てたるに依り合計符合せざるものあり

（二） 自治體の財政

關東州內の自治體としては市及會屯であるが市は大連と旅順の二である會屯數は旅順管內六大連管內十一金州管內十四普蘭店管內十九貔子窩管內二十合計七十ある。

市の財政

市には何れも收益を目的とする財產殆どなく使用料手數料等の收入も僅かで大部分は市稅に依つて居る即ち戶別割であるが大連に於ては大正八年度より特別稅を起し貸座敷料理店貸席等に對し收入金額の百分二乃至四の遊興稅を課して居る。

大連市歳計

歳入

		大正十年		大正十一年豫算	
		科目	金額	科目	金額
經常部		賦課金	円 405,671	賦課金	円 419,825
		授業料	8,899	使用料及手數料	22,895
		水道收入	53,477	給水收入	59,625
		雜收入	42,869	雜收入	39,145
		繰越金	76,635	繰越金	50,000
		關東廳補助金	12,000	關東廳補助金	12,000
		特別賦課金	56,199	特別賦課金	72,064
		社會事業收入	686	社會事業收入	1,311
		計	662,610	計	676,865
臨時部		借入金	110,420	借入金	127,919
				關東廳補助金	30,000
		計	110,420	計	157,919
合計			773,030	合計	834,784
特別會計	基本財産	財産收入	531	財産收入	566
		寄附金	500	寄附金	300
		計	1,031	計	866
	窮民救助費	繰越金	10,333	繰越金	10,200
		雜收入	1,572	雜收入	792
		計	11,906	計	10,992
	南山麓土地經營	土地賣却代	231,676	土地賣却代	207,831
		借入金	—	雜入	1,900
		雜收入	—	繰越金	144,258
				借入金	674,000
		計	231,676	計	983,989

歳　出

		大正十年		大正十一年豫算	
		科目	金額	科目	金額
經常部		役所費	円 90,182	役所費	円 99,738
		會議費	1,932	會議費	2,198
		教育費	163,558	教育費	192,590
		衛生費	221,254	衛生費	241,480
		救育費	3,977	社會事業費	14,973
		水道費	38,958	給水費	43,254
		補助費	17,200	補助費	17,200
		豫備費	—	豫備費	10,000
		社會事業費	11,142		
		計	548,203	計	621,433
臨時部		營繕費	106,284	營繕費	158,738
		負債償却費	35,181	負債償却費	52,613
				調査費	2,000
		計	141,465	計	213,351
合計			689,668	合計	834,784
特別會計	基本財產	基本財產蓄積金	1,031	基本財產蓄積金	866
		計	1,031	計	866
	窮民救助費	窮民救助費	1,698	窮民救助費	10,992
		計	1,698	計	10,992
	南山麓土地經營	土地代納付金	85,000	事務費	5,204
		事務費	1,381	負債償却費	181,813
		豫備費	2,100	豫備費	39,714
				土地代納付金	757,258
		計	88,481	計	983,989

特別會計商工學校歳計(大正十一年度)

	歳入		歳出	
	科目	金額	科目	金額
		円		円
經常部	事業收入	15,000	商工學校費	61,762
	雜收入	2,190	豫備費	4,722
	繰越金	133,700		
	計	150,890	計	66,484
臨時部	寄附金	100,000	營繕費	4,361
			設備費	25,045
	計	100,000	計	29,406
合計		250,890	合計	95.890

特別會計市營住宅經營歳計(大正十一年度)

	歳入		歳出	
	科目	金額	科目	金額
		円		円
	借入金	370,000	建築費	370,000
	家屋貸借料	14,800	雜費	2,220
	雜收入	5,550	負債償却費	17,267
	拂入金	2,100	豫備費	2,963
	計	392,450	計	392,450

旅順市歲計

歲入

		大正十年度		大正十一年度豫算	
		科目	金額	科目	金額
經常部		賦課金(戶別割)	円 57,911.09	(賦課金戶別割)	円 55,735.00
		使用料	2,944.87	使用料	2,872.00
		授業料	4,231.57	授業料	876.00
		手數料	757.80	手數料	680.00
		汚物處分收入	19,879.45	汚物處分收入	20,120.00
		過年度收入	536.40	過年度收入	230.00
		雜入	780.50	雜入	440.00
		計	87,041.68	計	80,953.00
臨時部		償還金	318.18	物件賣却代	1,059.00
		前年度繰越金	14,041.11	前年度繰越金	9,959.00
		繰入金	72.52	繰入金	74.00
		關東廳補助金	11,700.00	關東廳補助金	—
		計	26,131.81	計	11,083.00
合計			**113,173.49**	合計	**92,036.00**
特別會計	教育資金	資金收入	1,067.00	資金收入	1,087.00
		利子收入	81.52	利子收入	7.600
		寄附金	20.00	寄附金	50.00
		計	1,168.52	計	1,213.00
	特許事業	特許事業收入	1,492.91	特許事業收入	3,380.00
		預金收入	455.11	預金收入	265.00
		前年度繰越金	5,802.59	前年度繰越金	4,657.00
		計	7,750.61	計	8,302.00
合計			**8,924.62**	合計	**9,115.00**
總計			**122,098.11**	總計	**101,551.00**

歳出

		大正十年度		大正十一年度豫算	
		科目	金額	科目	金額
經常部		市役所費	円 19,839.86	市役所費	円 20,720.00
		會議費	99.85	會議費	200.00
		公會堂費	129.92	公會堂費	251.00
		衛生費	29,166.57	衛生費	34,496.00
		教育費	33,280.61	教育費	26,845.00
		水道費	1,493.17	水道費	1,568.00
		救育諸費	34.50	救助費	80.00
		豫備費	—	豫備費	3,170.00
		計	84,044.48	計	87,330.00
臨時部		臨時手當	6,983.09	下水費	1,000.00
		下水工事費	443.70	驅蠅費	3,076.00
		計	7,426.79	計	4,076.00
合計			**91,471.27**	合計	**92,036.00**
特別會計	教育資金	資金へ編入	1,062.00	資金へ編入	1,139.00
		一般會計へ繰入金	72.52	一般會計へ繰入金	74.00
		計	1,134.52	計	1,213.00
	特許事業	事業費	758.72	事業費	1,450.00
		公益費	2,097.10	公益費	2,852.00
		豫備費	—	豫備費	4,000.00
		計	2,855.82	計	8,302.00
合計			**3,990.34**	合計	**9,515.00**
總計			**95,461.61**	總計	**101,551.00**

2 會屯の財政

關東州内の會數は旅順管内六會、大連管内十一會、金州直轄管内十四會、普蘭店管内十九會、貔子窩管内二十會、計七十會あるが今其歳出入を見るに下の如くである。

關東州内各會歳入出表（銀勘定）

所轄	會名	大正九年度		大正十年度		大正十一年度豫算
		歳入	歳出	歳入	歳出	
		円	円	円	円	円
旅順民政署	方家屯會	18,304,593	16,839.391	25,087.358	21,597.666	31,928.000
	山頭會	6,904,510	5,079.100	10,864.780	8,198.450	11,340.000
	水師營會	10,014,270	8,804.370	13,310.330	11,344.130	16,486.000
	三澗堡會	10,285.236	8,697.662	16,441.366	12,205.345	19,050.000
	營城子會	10,906,570	9,255.320	15,768.580	12,708.740	17,889.000
	王家店會	10,157,212	9,264.476	14,809.229	10,593.791	16,000.000
大連民政署	老虎灘會	1,155,470	983.100	1,983.190	1,528.560	5,280.000
	沙河口會	15,050,520	14,344.080	22,764.810	21,869.990	9,094.000
	小平島會	3,687,170	2,676.750	4,846.250	3,790.350	5,994.000
	革鎭堡會	4,351,653	4,301,653	6,747.012	5,746.137	9,474.000
	大連灣會	5,359,297	4,543.349	7,153.988	6,178.231	9,780.000
	周水屯會	8,731,715	6,575.268	13,746.637	11,620.237	19,979.000
	嶺前屯會	1,427,444	754.565	2,521.129	1,561.665	12,815.000
	岔溝會	4,130,180	4,077.750	5,048.210	4,399.480	4,959.000
	欒家屯會	3,014,110	2,680.470	4,957.840	4,580.550	4,640.000
	海猫屯會	4,938,215	4,192.690	6·018.275	4,884.736	7,062.000

所轄	會名	大正九年度 歲入	大正九年度 歲出	大正十年度 歲入	大正十年度 歲出	大正十一年度豫算
	南關嶺會	2,958.983	2,583.904	9,145.193	8,250.510	13,377.000
金州民政署直轄	金州會	7,782.223	6,046.958	1,951.339	7,400.992	8,221.000
	南山會	3,456.631	3,294.021	1,153.317	3,861.005	4,744.000
	馬家屯會	3,808.104	3,459.591	1,275.509	4,953.468	6,135.000
	小孤山會	4,625.255	3,634.485	1,749.711	5,822.572	6,918.000
	大孤山會	5,028.559	4,114.153	6,731.496	5,768.716	10,976.000
	董家溝會	6,520.989	6,129.494	7,757.426	5,471.590	8,692.000
	黃咀子廟會	3,850.900	3,462.979	5,643.980	4,085.187	5,554.000
	玉皇頂會	7,809.778	7,446.934	7,242.062	5,271.924	6,685.000
	劉家店會	5,260.945	4,644.335	7,153.714	6,050.097	7,024.000
	岔山會	4,291.424	3,839.338	5,711.362	3,953.443	6,020.000
	二十里堡會	4,130.963	3,522.566	6,447.855	5,137.659	6,860.000
	老虎灘會	6,810.001	5,995.823	8,387.894	6,807.773	8,216.000
	大魏家屯會	9,662.390	8,940.525	8,745.697	7,659.244	10,422.000
	閻家樓會	3,744.615	3,461.100	5,639.933	6,925.604	6,540.000
	普蘭店會	7,508.757	5,740.407	13,210.848	9,413.682	14,658.000
	長堡店會	2,583.708	2,355.678	—	—	—
	土城子會	9,525.584	8,983.404	8,764.768	6,680.286	8,863.000

所轄	會名	大正九年度		大正十年度		大正十一年度豫算
		歲入	歲出	歲入	歲出	
普蘭店支署	石河驛會	5,306.341	5,207.614	7,819.647	5,754.012	8,979.000
	老爺廟會	5,919.953	5,643.476	8,220.520	6,729.621	8,904.000
	三十里堡會	6,416.536	5,956.536	9,322.515	7,462.782	12,909.000
	四道河子會	2,997.078	2,767.870	6,184.548	4,048.603	6,053.000
	亮甲店會	6,707.916	6,125.928	6,922.167	5,683.237	8,253.000
	華家屯會	6,165.608	5,633.953	14,016.795	7,889.179	9,886.000
	姜河堡子會	4,893.648	4,288.188	8,702.090	7,189.791	10,273.000
	正明寺會	4,756.195	4,476.659	7,638.482	5,984.082	8,003.000
	長嶺寺會	4,910.228	4,548.585	9,569.736	7,777.276	10,798.000
	林家屯會	5,220.927	4,613.662	5,074.708	4,019.100	4,887.000
	臥龍屯會	7,589.246	7,169.345	7,848.944	6,720.954	5,164.000
	粉皮墻會	6,271.294	5,232.393	11,618.586	9,821.496	9,214.000
	長山寺會	7,859.915	6,149.701	11,492.911	8,202.960	10,563.000
	朝陽寺會	8,142.568	6,640.149	8,383.634	6,537.760	8,756.000
	快馬廠會	6,891.226	6,058.319	8,903.113	6,544.692	10,095.000
	鳳鳴島會	5,970.761	4,172.972	10,281.889	7,526.742	9,127.000
	貔子窩會	6,154.330	5,850.187	8,240.643	7,855.705	8,156.000
	夾心子會	5,036.042	4,239.564	6,617.395	5,553.470	7,618.000

所轄	會名	大正九年度 歲入	大正九年度 歲出	大正十年度 歲入	大正十年度 歲出	大正十一年度豫算
貔子窩支署	東老灘會	3,861,793	3,410.801	5,557.711	462.462	5,709,000
	碧流河會	3,544,661	3,194.012	6,261.697	4,582.703	5,388.000
	城子疃會	5,899,513	4,891.225	7,480.056	5,676.407	7,591.000
	崔家屯會	4,215,920	3,815.920	6,034.560	4,435.604	5,845.000
	贊子河會	5,592,918	5,118.548	7,685.603	5,796.625	7,042.000
	鄭家窰會	4,681,597	4,443.215	5,730.128	4,785.663	6,419.000
	央河廟會	4,347,949	3,987.730	6,805.759	5,149.289	6,335.000
	大譚家屯會	5,148,736	4,892.230	7,354.053	5,899.707	8,088.000
	唐家房會	5,063,914	4,774.172	7,436.242	5,992.492	7,610.000
	淸水河會	4,519,844	4,131.886	5,786.396	4,759.853	5,576.000
	楊樹房會	3,564,046	3,414.272	6,002.181	4,958,880	5,414.000
	楊樹底會	4,389,357	4,030.267	6,706.865	5,267.819	6,676.000
	宋家屯會	3,959,618	3,551.788	7,263.938	5,130.697	6,552.000
	廣鹿島會	3,932,161	3,672.024	6,807.427	5,854.822	8,471.000
	大長山島會	3,622,017	2,903.551	6,055.069	4,721.784	5,046.000
	大長山島會	3,082,968	2,465.232	5,663.162	4,604.623	5,037.000
	獐子島會	2,622,336	2,483.110	3,845.426	2,991.544	4,954.000
	海洋島會	3,818,567	3,633.881	3,937.321	3,177.666	4,423.000

4 滿 鐵 附 屬

行政の部に述べたる如く滿鐵は政府命令書第五條に依つて沿線附屬地竝に手數料を課して居る。

公 費 累 年 歲

年度	前年度繰越金	歲入					事務費
		公費	手數料	其他	會社補給金	計	
明治40	円 404	円 22,739	円 1,603	円 1,725	円 885	円 **26,915**	円 4,787
〃 41	6,284	70,225	4,021	9,437	40,558	**124,241**	11,295
〃 42	15,504	57,635	6,143	15,397	84,271	**163,445**	8,743
〃 43	20,131	59,959	12,412	8,864	151,616	**232,851**	10,181
〃 44	16,676	71,291	17,300	11,004	217,654	**317,250**	10,710
大正 1	18,066	83,484	23,583	10,450	270,328	**387,845**	9,943
〃 2	14,450	132,940	34,119	21,474	529,625	**718,158**	9,780
〃 3	47,398	145,777	45,472	22,342	471,542	**685,133**	12,837
〃 4	—	158,046	53,736	20,376	475,918	**708,076**	11,830
〃 5	—	167,271	59,181	23,778	609,105	**859,334**	16,027
〃 6	—	203,672	81,527	18,992	733,853	**1,038,044**	18,542
〃 7	—	260,965	107,264	21,521	873,003	**1,262,735**	21,207
〃 8	—	374,247	129,534	35,996	1,472 205	**2,011,983**	27,154
〃 9	—	646,584	147,322	39,773	1,819,725	**2,653,404**	32,047
〃 10	—	581,777	185,811	67,517	1,887,531	**2,695,636**	30,259

本表は圓以下四捨五入の爲計に符合せざるものあり

地　歳　計

に對し土木、教育、衛生等の設置をなし同時居住民に對しに公費の分賦

入　歳　出　決　算

歳				出			翌年度
土木費	教育費	衛生費	警備費	公園費	其　他	計	繰越金
円 2,122	円 4,594	円 8,144	円 747	円 140	円 538	円 **21,072**	円 6,284
18,603	26,892	32,980	17,938	2,575	4,739	**115,021**	15,504
21,709	44,619	33,346	33,045	5,699	11,658	**158,818**	20,131
26,648	77,113	43,280	50,369	10,267	18,448	**236,307**	16,676
46,532	102,997	51,587	63,732	18,805	21,497	**315,859**	18,966
84,808	102,244	59,883	77,187	19,620	19,776	**391,450**	14,450
136,642	251,407	87,137	79,361	69,081	21,803	**685,210**	47,398
124,246	297,100	117,371	91,574	32,176	57,227	**732,531**	—
126,247	287,178	99,580	83,969	30,916	68,356	**708,076**	—
135,284	331,493	115,969	82,566	40,034	107,962	**859,334**	—
235,480	390,706	156,832	89,982	48,523	97,979	**1,038,044**	—
300,165	430,822	187,519	120,692	98,785	103,563	**1,262,753**	—
543,461	693,932	274,661	165,645	149,176	157,953	**2,011,983**	—
598,714	1,089,286	401,032	220.196	150,332	161,797	**2,653,404**	—
180,390	1,098,314	372,495	219,797	137,956	656,425	**2,695,636**	—

大正十年度戶數割

區　種別　名	賦課額 過年度賦課未徵收額	本年度徵收額	計
沙河口	円 107.80	円 17,764.70	円 17,872.50
瓦房店	—	8,517.55	8,517.55
松樹	—	1,349.85	1,394.85
熊岳城	—	2,079.15	2,079.15
蓋平	—	1,104.60	1,104.60
大石橋	105.00	9,111.68	9,216.68
海城	—	2,067.30	2,067.30
遼陽	358.25	21,881.45	22,239.70
奉天	1,921.05	91.511.10	93,432.15
鐵嶺	21.60	12,634.50	12,656.10
開原	—	31,983.50	31,983.50
昌圖	—	1,143.15	1,143.15
雙廟子	—	1,049.85	1,049.85
四平街	268.80	23,977.10	24,245.90
郭家店	—	2,797.50	2,797.50
公主嶺	11.55	24,164.75	24,176.30
范家屯	564.90	8,458.50	9,023.40
長春	8.85	95,511.65	95,520.50
撫順	9.60	58,584.60	58,594.20
本溪湖	1,266.90	9,290.25	10,557.15
橋頭	—	1,711.65	1,771.65
連山關	—	752.10	752.10
鷄冠山	—	2,356.25	2,356.25
安東	794.95	38,353.34	39,148.29
計	5,439.25	468,261.07	473,700.32

大正十年度雜種割

種別 區名	賦課額 過年度賦課未徵收額	本年度徵收額	計
	円	円	円
沙河口	—	—	—
瓦房店	—	1,014.02	1,014.02
松樹	—	195.15	195.15
熊岳城	—	289.80	289.80
蓋平	—	—	—
大石橋	51.30	1,180.58	1,231.88
海城	—	426.85	426.85
遼陽	125.60	5,886.57	6,012.17
奉天	336.55	17,153.19	17,489.74
鐵嶺	3.32	3,886.87	2,890.19
開原	—	22,534.62	22,534.62
昌圖	—	—	—
雙廟子	—	—	—
四平街	65.76	5,478.39	5,544.15
郭家店	—	175.00	175.00
公主嶺	—	4,425.50	4,425.50
范家屯	—	199.50	199.50
長春	—	48,287.47	48,287.47
撫順	30	10,391.50	10,391.80
本溪湖	432.93	916.68	1,349.61
橋頭	—	115.05	115.05
連山關	—	57.90	57.90
雞冠山	—	71.35	71.35
安東	25.10	1,557.90	1,573.00
計	1,030.86	123,243.89	124,274.75

大正十一年度公費豫算

區別	戸數割	雜種割	區別	戸數割	雜種割
沙河口	円 17,480.00	—	四平街	25,847.00	5,690.00
瓦房店	9,367.00	850.00	郭家店	3,005.00	108.00
松樹	1,432.00	172.00	公主嶺	25,937.00	4,847.00
熊岳城	2,303.00	239.00	范家屯	8,840.00	134.00
蓋平	1,113.00	—	長春	94,310.00	50,763.00
大石橋	9,555.00	1,187.00	撫順	55,471.00	9,589.00
海城	2,337.00	466.00	本溪湖	6,867.00	954.00
遼陽	22,395.00	5,394.00	橋頭	1,661.00	124.00
奉天	91,593.00	16,327.00	連山關	562.00	52.00
鐵嶺	13,190.00	2,683.00	雞冠山	2,353.00	95.00
開原	35,832.00	18,855.00	安東	30,974.00	1,405.00
昌圖	1,138.00	—			
雙廟子	1,220.00	17.00	合計	464,782.00	119,951.00

特別會計法實施以前に於ける歳出事務は關東都督を仕拂命令官とし必要の部局に現金前渡官吏を置て之を掌理せしめたのであるが同法實施以後に於ては金庫所在各部長を以て分任仕拂命令官となし金庫の設置なき地方に於ては前渡官吏を置いて支拂をなさしむる事にしたのである。

南滿洲に於ける金庫は現在本金庫一、支金庫一、派出所四、合計六箇所である。又租税其他の公課の徵收に關しては明治四十年三月勅令第五十六號を以て國税徵收法の規定を準用するの件公布せられ同四月府令第十七號を以て之が細則を規定し訓令第二十一號を以て歳出取扱規程を制定したのである。卽ち歳入事務は各部局を歳入徵收官となし必要に應して分掌官を置き之を掌理せしむることとしたのである。

關東廳特別會計の歳出は廳收入及一般會計の補充金を以て之れに充つるものとし明治四十年度から實施せられたのである。而して關東廳の官制上の行政區域は單り關東州に局限せらるるに反し其管　する所は南滿洲鐵道の保護取締並に鐵道附屬地帶及其他に於ける通信觀測に關する事務并に南滿洲六領事館の經費もまた廳の負擔する所であつて之れ其收入に比して多額の行政費を要する所以である。

地方費制度も明治四十年度から實施されて居るが其目的とする所は地方住民の安　福利と其負擔との關係を密接ならしむると共に一面特別會計法と相俟つて州財政の運用を圓滑ならしむるにある。地方費收入は地方税地方費に於て管理する事業及財產の收入諸手數料及特別會計の補足金より成り其費途は會社事務費教育費衞生費勸業費營繕土木費其他に充つるものである而して地方收入は其歳出を償ふに足らざるため本會計實施以來每年十五萬圓乃至二十萬圓の補助を國庫に仰いだのであるが大正六年度以降は地方收入のみを以て獨立し得るに至つた。

關東廳の租税は之を分ちて國庫所屬租税及地方税の二とする前者に屬するものは地租及鹽税であつ後者に屬するものは營業税及雜種税である

地租は田及畑にのみ賦課し其他は免税である初め銀建で徵收したが明治四十年以後は金建とし土地の所有者に賦課して居る。

鹽税は移出及輸入税に分ち前者は製鹽を製造場から他に移出する時製業者に課し後者は他から(日本製鹽を除く)輸入する者に賦課する。

1 關

科目	種目	賦課
地租	田畑	一畝に付（一箇
鹽税	移出鹽	一石に付
	移入鹽	同
取引所營業税		賣買手數料
取引税	第一種 地方債證券社債券	定期取引の賣買
	第二種 有價證券	同
	第三種 商品	同
	第四種 錢鈔	同
所得税	超過所得	資本金額年百分の十を
		同百分の二十を
		同百分の三十を
	留保所得	拂込株式(出資)金額の の及所得の 二十分の一 拂込株式(出資)金額の もの
		同 金額を超ゆ
	配當所得	配當
	清算所得	清算所
	外國法人所得	外國法人所
土地家屋貸下料	市内外一般	一級 一坪
		二級 同
		三級 同
		四級 同
		五級 同
		六級 同
		七級 同
		八級 同
		九級 同
		十級 同
		十一級 同
		十二級 同
		十三級 同
		十四級 同
		十五級 同

國　稅　率

標　準	稅　率	納　期
年）	金二十錢	十一月｛各村長は畝に付金五厘の手數料を徵收す
	金六十錢	移出の時｝日本產鹽を除く
	金一圓五十錢	移入の時｝
	百分の十五	每月分を翌月末日限
各約定金高	萬分の一・五	同
	同　三	同
	同　二	同
	（關東州內）十萬分の一 （同　外）十萬分の五	同
超ゆるもの	百分の四	
超ゆるもの	百分の十	
超ゆるもの	百分の二十	
二分の一以下のも 以下のもの	百分の五	
二分の一を超ゆる	百分の十	臨時收入
るもの	百分の二十	
所　得	百分の五	
得金額	百分の七・五	
得金額	同	
に付（月）	金一錢	
同	金二錢	
同	金三錢	
同	金四錢	
同	金六錢	
同	金八錢	自四月至七月　七月十日
同	金十錢	
同	金十二錢	自八月至十一月　十一月十日
同	金十四錢	
同	金十六錢	自十二月至三月　三月十日
同	金十八錢	
同	金二十錢	
同	金二十二錢	
同	金二十四錢	
同	金二十六錢	

2 關東州地方稅率

營業稅

種目	課稅標準	稅率	納期
物品販賣業	年稅 賣上金額	卸賣 甲千分の一.二 卸賣 乙千分の一.七 小賣 甲千分の三.三 小賣 乙千分の五.〇	第一期五月三十一日 第二期十一月三十日
	年稅 從業者	一人金三圓	以下同じ
銀行業 保險業 無盡業	年稅 資本金額	千分の三	1. 每期納額は年額の二分一づゝさす 2. 新規開業は其翌月より廢業の場合には當月分迄月割を以て課稅す廢業の時は稅金卽納さす 下の業體は三箇年以內課稅猶豫をなすことを得 銀行業、保險業倉庫業、特殊製造業、印刷業、出版業 物品販賣業の內下に揭くるものは卸小賣共に甲の稅率を適用す 米、麥、豆、豆油、石油、肥料、鹽、煙草、薪炭 下に揭くるものは卸のみ甲の稅率を適用す 藥品、白絹絲、白絹布、棉花、綿、白綿絲、白綿布白麻布、麥稈眞田、花莚、砂糖、麥粉、マッチ、銅、鋼、鐵地金 特殊製造業は下の通り定む 1. 豆粕及豆油製造業 2. セメント製造業 3. 高粱酒釀造業
	年稅 從業者	一人金三圓	
金錢貸付業 物品貸付業	年稅 資本金額	千分の十二	
	年稅 從業者	一人金三圓	
倉庫業 運送業	年稅 收入金額	千分の十	
	年稅 從業者	一人金三圓	
請負業	年稅 請負金額	千分の五	
取引所 信託業	月稅 收入金額	錢鈔千分の二百 其他千分の三百五十	
周旋業 問屋業 代理業 兩替業 仲立業 信託業 代書業	年稅 報償金額	千分の三十	
業	特殊 年稅 收入金額	千分の二	
	其他 年稅 同	千分の五	
印刷業 出版業	年稅 收入金額	千分の五	
寫眞業	年稅 收入金額	千分の十.五	
糶市場	年稅 賣上金額	千分の一.五	
洗濯業 湯屋業	年稅 收入金額	千分の五	
旅人宿業	年稅 收入金額	千分の五	
	年稅 建物賃貸價格	千分の二十	
	年稅 從業者	一人金六圓	

種目		課稅標準	稅率	納期
貸席業 料理店業 貸座敷業	月稅	收入金額	千分の十	4. 醤油釀造業 5. 石鹼製造業 6. 硝子製造業 7. ソーダイト製造業 8. 人造肥料製造業 9. 粉條子製造業 10. 脂肪酸及グリセリン製造業 11. 礦物製造業 12. 硬化油製造業 以上
		建物賃貸價格	千分の三十	
		從業者	一人金一圓	
飲食店業 芝居茶屋	月稅	收入金額	千分の五	
		建物賃貸價格	千分の二十	
		從業者	一人金五十錢	
藝妓置屋	月稅	藝妓	一人に付金一圓	
		小藝妓	一人に付金五十錢	

消費稅

種目	課稅標準	稅率	
酒稅	支那酒たる淸酒、黃酒、濁酒	一石に付	一圓
	麥酒	同	四圓
	葡萄酒	同	十二圓
	前記以外の釀造酒	同	十圓
	原容量百分中純酒精の容量二十以下のもの	同	一圓五十錢
	原容量百分中純酒精の容量二十を越へ三五以下のもの	同	三圓
	原容量百分中純酒精三五以上のもの	同	三十五を越ゆる一箇每に上記の金額に三十錢を加ふ
	再製酒	同	原容量百分中純酒精の容量一箇を越ゆる每に三十錢但し一石十二圓に充たざる時は十二圓とす
煙稅	口附紙卷煙草及刻煙草	小賣定價	百分の二五
	其他の製造煙草	同	百分の三〇
	葉煙草	小賣價格	百分の二五
	葉屑刻屑其他の屑煙草は之れを葉煙草と見做す		

種目	課稅標準
藝妓　藝妓	一人に付月稅　大連市（沙河口を含む）
	旅順市
	其の他
藝妓　小藝妓（十四未滿）	一人に付月稅　大連市（沙河口を含む）
	旅順市
	其の他
俳	一人に付　月稅
幇間	同　同
遊藝師匠	同　同
遊藝稼人	
娼妓	一人に付月　大連市（沙河口を含む）
	旅順市
	其の他
酌婦	同　大連市（沙河口を含む）
	旅順市
	其の他　日本人
	其の他　外國人
技場　玉	臺一箇に付月稅
技場　玉突以外のもの	月稅
車　西洋形乘用馬車	一臺に付月稅
車　支那形同	同
車　荷積馬車	同
車　人力車	同
車　荷車	同

税	
税率	納期
七圓	每月二十五日
五圓	
三圓	
三圓	
二圓	
一圓五十錢	
金二圓	六月、九月、十二月 翌年三月の各二十五日
金二圓	同
金二圓	同
金二圓	同
二圓	每月二十五日
一圓五十錢	
一圓	
二圓五十錢	同
二圓	
一圓五十錢	
一圓	
金二圓	六月、九月、十二月 翌年三月の各二十五日
金一圓	
金二圓	同
金一圓五十錢	同
金一圓五十錢	同
金七十錢	同
金五十錢	同

種目	課税標準
自轉車	同
自働車 自家用	同
自働車 營業用	同
自動自轉車 一人乘用	同
自動自轉車 二人乘以上	同
船舶	登簿噸數一噸に付年稅 (但し一噸未滿は一噸として計算す)
理髮業	一人に付月稅 (但し職工一人を增す每に金五十錢を加ふ)
女髮結	一人に付月稅 (但し職工一人を增す每に金參拾錢を加ふ)
艀船業	船一隻に付月稅
潜水業	一人に付
興行	收入金額日稅
演劇	收入金額日稅
人寄席	收入金額日稅
屠畜業 牛	一頭に付
屠畜業 馬騾	同
屠畜業 其の他	同
職工	前期(自四月至九月) 後期(自十月至翌年三月)
露店業	前期(自四月至九月) 後期(自十月至翌年三月)
行商	前期(自四月至九月) 後期(自十月至翌年三月)
貸家	年稅　貸付用建物賃貸價格
不動產に關する權利移轉	當事者雙方に對し各移轉價額

税率	納期
金五十錢	同
金七圓	同
金五圓	同
金七十錢	同
金八十錢	同
金三十錢	前期(年額二分の一)九月三十日 後期(同)翌年三月三十一日
金一圓	六月、九月、十二月、翌年三月の各二十五日
金八十錢	六月、九月、十二月、翌年三月の各二十五日
金一圓	九月三十日、三月三十一日、六月、九月、十二月、翌年三月の二十五日
金一圓	
百分の五	隨時
金一圓五十錢	同
金五十錢	
金三十錢	
金二圓	同
金一圓	
金一圓	同
金一圓	
金一圓	
金一圓	
千分の二十六	第一期(年額二分の一)五月三十一日 第二期(同)十一月三十日
百分の一	隨時

3. 滿鐵附屬地

戸數

等級	甲	號		乙
	賦課年額	標準所得年額	千分率	賦課年額
特	円 435,000 以上	円 12,000,000 以上	円 36,250	円 376,200 以上
一	315,000	9,600,000	32,810	280,200
二	243,000	7,800,000	31,150	215,400
三	195,000	6,600,000	29,550	172,200
四	159,000	5,700,000	27,900	139,800
五	123,000	4,800,000	25,630	107,400
六	105,000	4,200,000	25,000	91,800
七	87,000	3,600,000	24,160	76,200
八	78,000	3,300,000	23,640	68,400
九	69,000	3,000,000	23,000	60,600
十	60,000	2,700,000	22,220	52,800
十一	51,000	2,400,000	21,250	45,000
十二	43,200	2,100,000	20,570	37,800
十三	35,400	1,800,000	19,660	30,600
十四	27,600	1,500,000	18,400	23,400
十五	19,800	1,200,000	16,500	16,200
十六	15,000	960,000	15,630	11,400
十七	11,400	780,000	14,610	8,400
十八	7,800	600,000	13,000	5,400

考

1. 甲號表は沙河口、瓦房店、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平
2. 乙號表は熊岳城及昌圖に之を適用す
3. 丙號表は松樹、蓋平、海城、雙廟子、郭家店、范家屯、橋頭、連山
4. 甲號表に於て年收12,000圓以上のものに對しては12,000圓を超過す
5. 乙號表に於て年收12,000圓以上のものに對しては12,000圓を越過す
6. 丙號表に於て年收12,000圓以上のものに對しては12,000圓を越過す
7. 勤勞者の所得は其の二割を控除したる額を以て標準とす
8. 所得を賦課とし難き者に對する標準課率及賦課額は其の部度別に之

公費賦課率

割

號		丙		號
標準所得年額	千分率	賦課年額	標準所得年額	千分率
円 12,000,000 以上	円 31.530	円 324.600 以上	円 12,000,000 以上	円 27.050
9,600,000	29.180	238.200	9,600,000	24.810
7,800,000	27.620	184.200	7,800,000	23.620
6,600,000	26.090	148.200	6,600,000	22.450
5,700,000	24.530	121.200	5,700,000	21.269
4,800,000	22.380	94.200	4,800,000	19.630
4,200,000	21.860	79.800	4,200,000	19.000
3,600,000	21.160	65.400	3,600,000	18.160
3,300,000	20.730	58.200	3,300,000	17.640
3,000,000	20.200	51.000	3,000,000	17.000
2,700,000	19.550	43.800	2,700,000	16.220
2,400,000	18.750	36.600	2,400,000	15.250
2,100,000	18.000	30.600	2,100,000	14.570
1,800,000	17.000	24.600	1,800,000	13.660
1,500,000	15.600	18.600	1,500,000	12.400
1,200,000	13.500	12.600	1,200,000	10.500
960,000	11.880	9.000	960,000	9.380
780,000	10.770	6.600	786,000	8.460
600,000	9.000	4,200	600,000	7.000

街、公主嶺、長春、撫順、本溪湖及安東に之を適用す

關及鷄冠山に之を適用す
る金額に對し千分の五十を適用し之に 435圓 を加へ賦課年額を定む
る金額に對し千分の四十 適用し之に 376圓 200を加へ賦課年額を定む
る金額に對し千分の三十六を適用し之に324圓600を加へ賦課年額を定む

を定む

雜種割

科目	等級種別	課率
藝妓	甲 一等	一人一箇月に付 3.000円
	甲 二等	同 2.000
	乙 一等	同 2.000
	乙 二等	同 1.500
酌婦	甲 一等	同 1.500
	甲 二等	同 1.000
	乙 一等	同 1.000
	乙 二等	同 .700
舞妓	甲 一等	同 1.000
	甲 二等	同 .700
	乙 一等	同 .700
	乙 二等	同 .500
仲居	甲 一等	同 1.000
	甲 二等	同 .700
	乙 一等	同 .700
	乙 二等	同 .500
中國婦人俳優	甲 一等	同 2.000
	甲 二等	同 1.500
	甲 三等	同 1.000
	甲 四等	同 .500
	乙 一等	同 1.000
	乙 二等	同 .700
	乙 三等	同 .500
	乙 四等	同 .300
幇間	甲	同 1.500
	乙	同 1.000

科目	等級種別	課率
馬車(乘用)	自用	一臺一箇月に付 2.000
	營業用	同 1.200
騾引小車(同)	(開原に限る)	同 .700
轎車		同 1.000
	(開原)	同 .700
人力車(乘用)	自用	同 1.000
	營業用	同 .700
自轉車		同 .300
自働車	自用	同 3.500
	營業用	同 2.500
乘馬	自用	一頭一箇月に付 .800
	營業用	同 .500
荷車 馬車		一臺一箇月に付 1.000
	小車(開原)	同 .700
荷車 人力		同 .300
遊戲場 球突	甲	同 2.000
	乙	同 1.000
遊戲場 其他	甲	一箇月に付 1.000
	乙	同 .500
演劇		一日に付收入見込額の百分の三但し納額金十錢に充たざるときは金十錢とす
興業		同上
屠畜 牛		一頭に付 .500
屠畜 其他		同 .200
	大豆、高粱	一車に付金二錢
	小麥(鐵、開、四、長)	同上

科目			等級種別	課率
糧豆先物取引	穀種		大麻子(鐵、公)	一車に付金二錢
			粟(鐵、四、公)	同上
			其他の雜穀(遼、鐵)	同上
	豆油		(鐵、遼、公)	百函に付金二錢
	豆粕			一千枚に付金二錢
錢鈔先物取引	金票		吉林官帖建(長)	一千圓に付官帖三十文
			小洋錢建(長)	同　小洋十分の四分
			同(遼)	同　同　四厘
			羗帖建(長)	同　露貨十分の三哥
			小洋錢建(鐵、開、四、公)	同　金　四厘
	鈔票		吉林官帖建(長)	同　官帖三十文
			小洋錢建(長)	同　小洋十分の四分
			同(遼)	同　同　四厘
			羗帖建(長)	同　露貨十分の三哥
			小洋錢建(鐵、開、四、公)	同　金　四厘
			金建(鐵、公)	同　金　四厘
	羗帖		吉林官帖建(長)	一千留に付官帖三十文
			小洋錢建(長)	同　小洋十分の四分
			同(遼)	同　同　一厘
			同(開)	同　金　四
			同(鐵、四、公)	同　金　一厘
	小洋錢		金建(遼)	一千元に付　小洋四厘
			吉林官帖建(長)	同　官帖三十文
	官帖		小洋錢建(遼)	一千吊文に付小洋一厘
			同(公)	同　金　一厘

備考

1. 等級を分たざるものに在りては各地同一課率に依り等級を分ちたるものに在りては瓦房店、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、長春、撫順、本溪湖及安東には甲號を松樹、熊岳城、蓋平、海城、昌圖、雙廟子、郭家店、范家屯、橋頭、連山關及鷄冠山には乙號を適用す
2. 遼陽、奉天(奉天は休止中)、鐵嶺、開原、四平街、長春及撫順の各區に於ては附屬地外より來る車馬にも雜種割を賦課す
3. 先物取引に於ける等級種別欄括弧内、遼、鐵、開等は遼陽、開原、四平街、公主嶺、長春の略なり略稱なきものは前記五區に共通のものなり

(四)　東三省の財政と税制

財　政　機　關

中國各省には財政廳があつて省財政を行つて居る省財政廳は中央財政部に直屬する財政廳以下の財政官廳卽ち道尹公署にては道尹は省長の委任を受け所轄道內の各縣知事の支配せる財政事務を監督する權限を有するのみで各縣公署及税捐徵收局は財政廳長の指揮監督を受けて直接徵收事務を分掌する地方財政官廳である。而して此等一般地方財政官廳の掌る所は一切の財政に涉るにはあらずして鹽税關税に關する事務は別に鹽務官廳關税官廳の特設官廳があつて之れを掌つて居る。卽ち之れを表示すれば下の如くである。

財政部管轄
- 財　政　廳（財政部に直屬）……
  - 税捐徵收所——税捐
  - 縣公署——田賦掌税契税等
  - 漁業商船保護局——漁業税
- 稽核分所（鹽務署稽核總所に直屬）……鹽税
- 海關監督公署（税務處に直屬）……
  - 海關——海關税（但し實權は總税務司及税務司之を掌る）
  - 常關——常關税

(五)　關　　　税

1　中　國　關　税

中國に於ける税關は各關港場に設置されたる洋關と往時より中國內地に存する常關とがあるが洋關は北京總税務司の管理に歸し其徵税法規は全く兩者其赴きを異にして居る洋關の徵收する租税は近世法の所謂關税に屬するが常關の徵收する租税は畢境內地税の一種で眞正の關税ではない。

故に常洋兩關は等しく税關と稱しても全くその性質を異にしてゐるのである。西洋人の中國に對する通商は其始め廣東の一局部に限られ又其關税は中國從來の税法に照らして奧海關監督之を徵收したゝ而して其の正税の外種々の各目の下に苛税を賦課し其他收税官吏の不正行爲多く，

當時廣東稅關の稅目には輸入稅、輸出稅、附加、船料、贈遺の五種あり輸入稅は廣東に輸入する貨物に對し一定の稅率に依つて之を賦課し輸出稅は貨物の何れの地より來るを問はず一切廣東より輸出するものに對しては之を賦課した。故に外國貨物が一度廣東に輸入せられたるもの再び廣東以外の港に輸出せらるゝ場合にも亦此の輸出稅を賦課せらるゝ事を免れなかつた。而してその稅率は該貨物の輸入稅に貨物の價格の百分の六を加へたものであつたといふ。附加稅は京餉の外に貨物檢查吏及通事の費用並に海關監督衙門の費用として納付すべき金額をも含むもので其の稅額は殆ど正稅の半に達したと云はれて居る。此外又船料及贈遺に要したる金額を加ふるときは外國貨物に對する負擔の非常に重かつた事が想像し得られるのである。一八四二年鴉片戰爭の結果として英清兩國政府間に締結せられた紅寧條約に依つて清國政府は廣州、福州、厦門、江寧及上海の五港を開き英國政府が領事、管事等の官吏を派遣して專ら商人の事務を司らしめ、且つ地方官と交涉して英國臣民をして一定の條件に從つて貨稅、鈔鋼等の費を交納せしむる事を承諾した。併し各開港場に於ける關稅の徵收は尙ほ舊關に於ける清國官吏の手に歸し、新關若くは洋關と稱するものは當時は未たなかつたのである。唯其關稅の徵收は此條約以前に比較せば頗る公平になつたのである。然るに外國商人は清國官吏を蔑視し其の監督に服せざる租界內に於ては租稅を徵收するは越權なりと主張し公然と脫稅をはかるものが多クつた爲輸入の額は逐年增加したにも拘はらず關稅は依然增加する事がなかつた、後外國人間に收稅の事務を以つて外國人の手に歸するを便宜なりとするもの生じ道臺も其の議を入れ長髮賊の亂に際し上海駐在英國領事アルユツクか、米領事モルフイー、佛國領事エダン等と道臺との間に稅關事務に關する章程を議決して秩序回復せらるゝまで一時外國人を以て收稅を辨理せしめる事と定めた。茲に於て三國領事は稅務幇助者をして各一人づゝを推薦し海關內部の組織も漸次完備し次で米佛の代表者は退任し英國の代表者のみを以つて處理せらるゝ事となつた。稅關內に外國人を採用するは一時の便法に止つて秩序回復と共に其の事務を清國政府に還附する主意であつたが其の徵稅の方法公平無私で且つ能率も頗る上つたので內外の好評を博し上海克復の後も尙關稅事務を外國人手のに歸し一時の便宜より成れるもの變して恒例となつたのである。

今滿蒙に於ける兩關の所在地を擧げれば下の如くである。

- 洋關：大連、安東縣、營口、大東溝、滿洲里、哈爾賓、黑河、ポグラニーチナヤ、琿春、龍井村
- 常關（山海關監督）：楡關總局(直隷臨楡縣)中後所總局（奉天省綏中縣)興城縣總局(奉天省興城)復縣總局(奉天省蓋平)藍家屯總局（奉天省錦縣)界嶺口總局(直隷撫寧縣)錦縣車站總局（奉天省錦縣)起峰口總局(直隷遷安縣)溝幫子車站總局（奉天省北鎮縣)新民屯車站總局(奉天省新民縣)大孤山總局（奉天省岫巖縣)天橋廠總局(奉天省錦縣)

2 賦　　　　稅

東三省の現行賦稅は下の如くである。

- 賦稅
  - 直接稅
    - 行爲稅
      - 印花稅
      - 登錄稅
        - 驗契
        - 契稅
        - 註冊費
    - 收益稅
      - 礦稅
      - 田賦
      - 營業稅
        - 菸酒牌照稅
        - 牙稅
        - 官田稅
      - 房稅
    - 所得稅（未實施）
      - 一般所得稅
      - 特別所得稅
  - 間接稅
    - 貨物稅
      - 出產稅
      - 通過稅
      - 銷場稅
    - 消費稅
      - 必要品
        - 糖稅
        - 茶稅
        - 鹽稅
      - 奢侈品
        - 菸酒稅
        - 蘭絲稅
    - 關稅
      - 進出口稅　海關稅
      - 通過稅　常關稅

中國關稅の最大特質は稅額の著しく低率なことと輸出入共に併も同標準の稅を課する所にある。稅率は從價五分を原則とするが之は一八四二年英淸南京條約に基くもので同條約に於て主要貨物にのみ從價五分を標準とした從量稅を賦課することになつたに始まる。其後標準物價の高低と共に實價に對する步合の變動に伴ひ大正八年迄に數回の改訂を經て現

今の税率となつたが實價に對しては今尙五分の率に及ばぬとあつて中國から各國に對し更に改訂方を要求した處1921から1922に催された華府會議で其主張を認められ上海に於ける關稅會議で從價五分から現實五分に改定をされた事は既に外交の部で述べた通りである。

滿洲に於ける中國關稅制度の特質としては次に述べる關東州の自由港制度と陸路の輸出入に對する三分一減稅制度である。陸路減稅は原と露國の獲得した特權であつたが日露戰後日本も此特權を得て朝鮮からする陸路貿易に於て之を享有して居つたが米國から機會均等の主義に反すとの申出でがあつて遂に十一年十二月一日から廢止することとなつた。

3 關東州租借地關稅制度

關東州の關稅制度は明治四十年五月北京で日支委員に依り調印された大連稅關設置に關する協定に依り定められたもので、獨逸が膠州灣で千八百九十九年から千九百五年迄實施した舊制に則り、租借地全部を自由區域とし大連に中國海關の設置を許容して居る。今課稅關係の梗概を記すれば下の通りである。

1. 輸入稅は租借地の境界を踰へて中國內地(背後地)に入る場合に於て始めて海上から大連に輸送された物品に課せられる。換言すれば租借地で消費される輸入貨物は輸入稅を課せられぬが租借地の境界を踰へて中國領土に入る場合に始めて大連で課稅を受ける。
2. 輸出稅は物品が租借地から海路他に輸送される場合に始めて中國內地(背後地)から大連に輸送される物品に課せられる。換言すれば中國內地から陸路租借地に入るばかりでは輸出稅を要せぬ。租借地で內地產品に加工して海路他に輸出する場合には申告書の選擇に依り其の原料又は製品に對して輸出　を課せられる。
3. 租借地の產物で作られた物品は大連から海路他に輸出されるに當り輸出稅を課せられぬ。海路租借地に輸送された原料に加工して輸出する場合も亦同じ
   租借地產若は海路輸入の物品を原料として租借地で加工せられた物品を陸路背後地に輸入する場合には其の製品に對し輸入稅を課せられ、背後地から輸入した原料に加工して更に背後に逆送する場合には一定條件に依つて之を證明すれば稅課を免除される。
4. 中國條約港の一から大連に回漕された外國品は條約上の條件を具備する限り先の輸入港に於て全部の戻稅を受ける。
5. 外國汽船の內水航行に關しても大連を中國の一開港と看做し大連と他の不開港又は開港及不開港との航行に對し大連稅關は內水航行免除を發給する。

第十　通貨及金融

(一) 通　　貨

1　中國の幣制

中國の現狀は凡百の事全て紊亂不統一の一言で盡されてある。就中其幣制に至つては正に代表的のものである。曾つてエツチ、ビー、モールス氏に依つて中國に流通せる通貨は實に百七十餘種に及ぶと發表されたが其形式に於て紙幣あり鑄造貨あり地金あり又本位に於て銅、銀、金等があつて千差萬別頗る複雜を極めて居る從つて各種類每に換算を要し日本の夫れの如く十進法に依る事は出來ない同じ單位でも種類の異ふ每に各別の計算を行ふのである。例へば目下中國に最も多く流通されて居る錢銅子、十錢小洋銀、一圓大洋銀との間の計算を見るに一錢銅子十二三枚で十錢小洋銀一枚、十錢小洋十一枚で一圓大洋銀一枚である之れとても勿論時と場所とに依つて異るが其他各種類の通貨及各地の土貨との間の換算の如き實に複雜を極め之れを詳細に論ずるは容易な事でない。

斯の如きは中國自身の不利益なるのみならず通商關係を有する各國に取りても大なる不利不便を與ふるを以て各國よりの勸告と中國自國の自覺とに依つて從來屢々法令として發布され又草案として附議せられた銀兩本位制度、圓銀本位制度、金爲替本位制度、小銀貨本位制度、金銀複本位制度、金券條令制度等の改革案があるが何れも其儘立消ゆの姿である。殊に民國八年の金券條令が實行されたならば內外共に受くる處の利益は大なるものであるが諸方面の反對に遇ひ遂に行惱に陷り爾來今日に至るまで中國幣制統一の事業は渺として知るを得ざるは遺憾の極みである。

2　滿蒙の通貨

中國中央政府の幣制が前述の如き狀態にあるため滿蒙に於ける夫れも甚しく複雜を極めて居る。然も中國本來の通貨の他各種土貨あり加ふるに各國の外來通貨が流通して居るから更に複雜を大ならしめて居るの感がある。

然れども民國六年奉天省に於ては大洋制度を實現せんとし翌七年日支金融調節委員に於て小洋票の整理と共に之れが實施を協定し幣制の統一に努力して居る事は滿洲以外の各省に比し聊か特異とすべき點である。今滿蒙に流通せる通貨を示せば下の如くである。

通貨の種類

國別	種	類	名稱	區分
中國通貨	制錢系	制錢	制錢	
		銅元	奉天省銅元	三種：當二十文、當十文、當二文
			吉林省銅元	
		官帖	吉帖	七種：一吊、二吊、三吊、五吊、十吊、五十吊、百吊
			江帖	
		銅元券	江省券	八種：五枚、十枚、二十枚、三十枚、五十枚、百枚、二百枚、千枚
			奉省券	二種：十枚、五十枚
	洋錢系	洋錢	大洋錢	一種：一圓
			小洋錢	四種：五角、二角、一角、五分
		大洋券	國幣券 中國銀行券	七種：五分、一角、二角、五角、一元、五元、十元
			國幣券 交通銀行券	
			中國銀行券	三種：一元、五元、十元
			交通銀行券	二種：五元、十元
			殖邊銀行券	三種：一元、五元、十元
			東三省官銀號券	三種：一元、五元、十元
			黑龍江省官銀號券	
			吉林官銀號券	三種：一元、三元、十元
		小洋券	吉黑券 中國銀行券	四種：五角、一元、五元、十元
			吉黑券 殖邊銀行券	三種：一元、五元、十元
			長春券 交通銀行券	八種：一角、二角、五角、一元、五元、十元、五十元、百元
			長春券 殖邊銀行券	六種：一角、二角、五角、一元、五元、十元
			中國銀行券	六種：一角、二角、五角、一元、五元、十元
			交通銀行券	四種：五角、一元、五元、十元
			殖邊銀行券	六種：一角、二角、五角、一元、五元、十元

國別	種類	名稱	區分
中國通貨		東三省官銀號券	七種：半角、一角、二角、五角、十角、百角
		吉林官銀號券	七種：一角、二角、一元、三元、五元、十元、五十元
		黑龍江省官銀號券	六種：一角、二角、五角、十角、五十角、百角
		奉天興業銀行券	四種：半角、一元、二元、五元
	帖子	(一名私帖)	一角、二角、五角等不定
	銀兩系 銀錠	營平銀	一錠約 53.5 品位約992
		瀋平銀	同 品位 ?
		鎭平銀	一錠約 5.35 品位は甚低し
		寬平銀	同 品位約980
		吉平銀	同 品位約995
	過爐銀	江平銀	同 品位約992
日本側通貨	硬貨	圓銀	一種：一圓
		日本補助貨	各種
	紙幣	日本銀行券	各種
		正金銀行券(圓銀本位)	四種：一圓、五圓、十圓、百圓
		朝鮮銀行券	七種：十錢、二十錢、五十錢、一圓、五圓、十圓、百圓
		軍用手票	六種：十錢、二十錢、五十錢、一圓、五圓、十圓
露國通貨	硬貨	留金貨	四種：十五留、十留、七留、五留
		留補助貨	十三種：一留、五十哥、二十五哥、二十哥、十五哥、十哥、五哥、(以上銀) 五哥、三哥、二哥、一哥、½哥、¼哥 (以上銅)
	紙幣	留紙幣	(帝制末年) 八種：五百留、百留、五十留、十留、五留、三留、一留 (近時流通不能)
其他	墨銀	鷹洋	一種：一圓
	香港銀	洋人	一種：一圓

3　通貨の解說と流通範圍

制　錢　一に東錢、薬錢又㨾錢とも言ふ圓形で中央に方孔を有し我寛永通寳に倣た銅錢である銅元及洋錢の出ぬ以前には中國全般に流通して居たが漸次流通額を減じて今では殆んど流通を見ぬ。

銅　元　俗に銅子兒と稱し我一錢二錢銅貨に酷似して居る元來制錢の代用貨であるから其流通區域も全國に亙つて居る。經濟の發達と共に多額の取引には不便であるから其流通額も減じつゝあるが下級勞働者等日常の生活に缺くべからざるものとして必要を認められて居る。

官　帖　省の機關銀行から發行する一種の兌換券で制錢の單位たる吊を以て其額面とする之には吉林省官帖、黑龍江省官帖の二種ある前者は永衡官帖局後者は黑龍江廣信公司から發行されて居る官帖は制錢本位の兌換券であるのに何等の準備なく事實上の不換紙幣である兩省共亂發を重ね其價格は非常に暴落して居る兩官帖各其省を流通範圍とする。

銅元券　黑龍江省官銀號と奉天の官銀行發行のもので銅元の不足を補ふ爲めに發行されたものである各自省内一般に流通して居る。

洋　錢　銀元とも言ふ大洋錢小洋錢の區別がある大洋とは一圓銀貨のことで小洋とは五角以下の洋錢である當初中國政府は五角以下の洋錢を補助貨の積りで鑄造したが小洋は品質を下げてあるので造幣差金利得の爲め鑄造過多に陷り遂に大洋との間開きを生ずるに至り各獨立の貨幣たる如くなつたのであるが洋錢は比較的文明貨幣で携帶に便なので滿洲は勿論中國至る處で尤も一般的に流通して居る但し紙幣の流通が多い爲め其額はあまり多くない。

大洋券　大洋錢本位の兌換券である國立銀行たる中國銀行と交通銀行の大洋券は最も信用があつて滿洲一般に通ずるが其他の銀行の分は準備金其他の關係上信用に厚薄あり且流通範圍も發行銀行の所在地附近或範圍に限られ一般でない。

小洋券　滿洲には小洋の流通が盛なので小洋本位の兌換券が發行されるに至つたのであるが其流通力及範圍は大洋券と略同樣である。

帖　子　一に私帖と呼ぶ錢莊又は其他の銀店及商家が自家の信用で發行する一覽拂の手形である小洋錢の代用たらしめるもので流通範圍は各其地方の小區域に限られて居る。

銀錠 元寶銀、中顆、小錠、片銀等あるが主要なものは元寶銀である之は邦人間に馬蹄銀と稱するもので一種の銀塊である素と制錢と並んで多年勢力を持て居たが洋錢其他新式紙幣の普及と共に一般には殆んど流通を見ぬやうになつた。

過爐銀 營口に限り特に發達したるもので一言にして云へば銀爐が其取引先に對して有する元寶銀單位の貸借に屬する定期勘定であつて通貨と稱するよりも反て銀行事務的のものである過爐銀の起源は信用ある銀爐に顧客が自己所有の地銀を持ち行き元寶銀と爲し其儘必要迄保管を依賴し銀爐は無手數料で保管し置きしものを依賴者が他の第三者に支拂の必要より自己依賴の銀爐直接に其支拂を爲すべき債權者に自己保管元寶銀に對する所有權を移轉するの便法から之が漸次度を重ね銀爐は事實手元に現物の元寶銀を全部保有せずとも唯帳簿の記載のみでこと足ることに至つたものが極端に發達して今日の如く單に帳簿上のみの貸借決濟の振替制度となつたものである。

日本圓銀 明治四年發布に係る我舊一圓銀貨で正金の銀券は此銀圓を代表するものであるが市中には殆んど流通して居らぬ。

正金銀行券 俗に鈔票と稱し日本圓銀を代表するものである中國人間に信用厚く南滿洲鐵道沿線全域に流通して居る。

朝鮮銀行券 朝鮮銀行が朝鮮銀行法に依りて發行する金券で日本銀行兌換券を以て引換へられるものである大正六年金券發行權を正金銀行から繼承以來其流通額著しく發達したが流通範圍は關東州及滿鐵沿線、哈爾賓地方に限られ奧地には今尚ほ其勢力がない。

日本銀行券 主として旅客等に依り携行し來つたもの概ね朝鮮銀行券の流通する範圍に於てに流通して居るが其額は僅かである。

軍用手票 日露戰役當時發行したものと西比利出兵當時發行したものとあるが何れも日本側銀行券に引替られ今日流通して居るものは甚だ少ない。

露國紙幣 一時は北滿一帶鐵道沿線及松花黑龍兩江流域から餘程奧地迄勢力を持つて居たが歐戰及露國內部の改變に依り亂發され極端に信用を失墜し今では哈爾賓に於てすら投機賣買の目的物に用ひられるのみで一般には公然流通を見ぬ現況である。

墨銀、香港銀 共に支那の大洋錢日本の圓銀と同一形態を持て居る圓銀で大洋と共に多少の流通を見るも滿洲としては其額は極めて少ない。

（二） 金 融

1 日本側の金融

沿 革 滿洲に於ける本邦金融機關の嚆矢は橫濱正金銀行牛莊支店で同支店は明治三十三年一月の開設に係り滿洲方面に對する活動の先驅である明治三十四年九月に至り同行は其定款に新に「海外に於て營業上必要又は便益と認むるときは支店出張所をして請求次第持參人に仕拂ふべき手形を發行せしむること」の一項を加へ以て銀行劵發行の準備に着手し明治三十五年一月天津支店に於て始めて同手形を發行し次で牛莊支店で之を發行したのであるが偶々日露戰爭の開始は本邦側金融機關として同行の發展を促進し明治三十七年八月大連に及翌年五月奉天に各支店を設置するに至つた然るに日露戰爭中我軍の發行した一億四千萬圓の軍票は戰後之が回收の要があるので。政府は三十九年九月勅令第二百四十七號を以て正金銀行支店をして兌換銀劵を發行させて軍票回收に努めると同時に關東州及淸國に於ける法貨として强制通用力を附與することゝなつた於是正金銀行は滿洲に於ける發行銀行となり發行店を大連に變更し兼れて國庫事務も取扱ふことになつた正金銀行銀劵は此種特權に基きて發行されたもので明治四年五月十日發布に係る我舊一圓銀貨を以て請求次第兌換せられるものである。

然るに軍票は其後着々回收せられたが戰時滿洲に散布した資金は漸次減少し銀劵の發行高豫期の如くなかつたのみならず四十年に入るや銀塊相場の暴落を來し鈔票の金に對する比價が度々變動するに至つたので滿洲在留邦人は官民共に其不便尠なからず金庫出納官吏等も其煩に堪へなかつたそこで之が救濟策として四十年四月關東都督府の收支標準は金に據ることゝせられ翌五月滿洲在留軍人軍屬の俸給は金劵を以て交付することゝなり同年十月南滿洲鐵道會社は運賃其他の料金を金劵に改定するに至り關東州に於て金本位制行はるゝことになり日本銀行兌換劵の需要頓に加はり其流通額が大に增加したので正金銀行支店をして金を以てす

る預金及爲替をも取扱はしむる必要を認め四十二年十二月から之を實行させ兌換券供給の手段さしては滿洲に於ける金庫の出納には兌換券を原則さして必要に應じて内地から廻送し民間の取引は兌換券又は銀行券孰れさも自由撰擇に依らせ以て滿洲に金銀複本位制を布くことになつた。

初め正金銀行の銀券發行の特權を得るや之に依つて滿洲通貨を統一するの抱負に基きて劃策する所尠なくなかつたが前述の事情に加ふるに邦人の滿洲に於ける經濟的勢力年さ共に發展し金資金の需要愈增加したので遂に大正二年七月勅令第二百五十號の發布を見るに至つた。同行は從來の圓銀兌換券の外別に金貨又は日本銀行券を以て引換ふべき銀行券の發行を許され同年十月始めて金券の發行を見るに至つた。兩券共に其發行高に對し常に同額の準備を有し關東州及中國に於て公私一切の取引に無制限に通用する資格を有するものである。

滿洲經營の正に緒に就かんさした明治四十二年來拓殖資金融通の爲め特種銀行設立論が各方面に喧傳され偶々帝國議會の問題さなつたが政府は種々研究の結果正金銀行に拓殖資金を融通することゝし以て機宜の策さして居つたが日支交渉に依る帝國の利權擴張後依然如斯姑息の制度に甘ずるを得ず又も特種銀行案が政府案さして第三十七議會に提出されたが否決し去られたので政府は大正六年東洋拓殖株式會社の滿洲進出の機會に正金の特貨業務を同社に引繼くことゝし之さ同時に從來正金銀行に屬して居た金券發行の權を朝鮮銀行に移すことに改め國庫事務も引繼を受け事實上の滿洲中央銀行さして今日に及んで居る。

昨年度の概況　昨年度は大正九年以來引續く財界不況の結果さして依然整理時代を脱し得ず加ふるに一般事業界の不振さ取引所建値變更に伴ふ結果さして銀行業者間に相當遊金あるに拘らず金融界は活氣を呈するに至らず越年したが十一年度に入りて引續く不景氣は益々激しく銀行側も資金の固定さ共に漸く貸出を引締めるに至つた。

金融界の斯く不振の折柄八月教育銀行が突然休業を發表したるに次で平和銀行も之れに倣つたが年末に至るも未だ復活するに至らぬ。之れがため金融界も一時は恐慌の體であつたが幸にして他に大なる波及をなさずして終つた。

然れども一方に於ては早川滿鐵社長が滿蒙銀行設立に關する一部腹案の發表あり又滿洲實業團體聯合會の低利資金調達運動等があつて一時人氣を沸したが前者は具體案の發表に先つて十月十五日奉天に物故せられ爾後中心人物を失つた感がある後者は委員を上京せしめ大いに運動する處あつたが結局東拓會社より三百五十萬圓の肩代りをして貰ふ事を得たに過なかつた要するに大正十一年の金融界は極めて不況裡に越年するに至つたのでるあ。

銀行業

在 滿 洲 日

銀行名	本店所在地	設立年月		資本金
橫濱正金銀行	橫濱	13.	2	100,000,000
朝鮮銀行	京城	42.	11	80,000,000
正隆銀行	大連	41.	1	20,000,000
大連銀行	同	1.	12	3,000,000
龍口銀行	同	6.	9	11,000,000
大連商業銀行	同	7.	11	2,000,000
遼東銀行	同	5.	4	3,000,000
教育銀行	同	33.	6	500,000
旅順銀行	旅順	7.	5	1,500,000
貔子窩銀行	貔子窩			1,000,000
東華銀行	瓦房店	7.	7	3,000,000
商工銀行	遼陽	2.	4	500,000
營口銀行	營口	8.	5	300,000
奉天銀行	奉天	10.	11	1,000,000
鐵嶺商業銀行	鐵嶺	41		1,000,000
日華銀行	同	8.	10	1,000,000
開原銀行	開原	8.	11	1,000,000
四平街銀行	四平街	7.	2	1,000,000
范家屯銀行	范家屯	6.	7	100,000
長春實業銀行	長春	6.	12	1,000,000
滿洲商業銀行	安東	44.	2	2,275,000
鞍山銀行	鞍山	9.	2	1,000,000
振興銀行	營口	7.	5	1,000,000
平和銀行	吉林	9.	1	1,000,000
南滿銀行	鞍山	9.	1	1,500,000
滿洲殖產銀行	奉天	7.	7	500,000
協成銀行	安東	9.	3	1,000,000
大昌銀行	遼陽	10.	12	1,000,000
哈爾賓銀行	哈爾賓	10.	11	2,000,000
吉林銀行	吉林	9.	2	300,000

本　　銀　　行　　表

拂込資本金	積立金	在滿支店出張所所在地
円 100,000,000	円 65,000,000	大連、牛莊、奉天、長春、開原、哈爾賓
50,000,000	9,110,000	安東、奉天、大連、長春、四平街、開原、哈爾賓、營口、吉林、龍井村、旅順、遼陽、鐵嶺、鄭家屯、傅家甸(派出所)奉天新市街(派出所)
9,500,000	2,125,000	撫順、鄭家屯、錦州、四平街、營口、奉天、旅順、長春、開原
2,500,000	686,779	大連、沙河口、鞍山、奉天、立山
4,862,500	295,000	哈爾賓、公主嶺
2,000,000	116,800	
1,575,000	297,706	大連、金州、普蘭店、瓦房店、貔子窩
200,000	20,000	
487,500	22,500	大連
325,000	21,250	同
825,000	18,650	大連、松樹
275,000	13,000	遼陽城外、海城、鞍山
300,000	17,750	老爺閣(派出所)
500,000	76,000	奉天浪速通(派出所)鐵嶺、本溪湖
250,000	16,600	
1,000,000	50,500	開原、大連
500,000	51,500	
302,500	2,890	
100,000	23,450	
400,000	96,400	
2,275,000	1,275,000	安東舊市街、奉天、奉天城内、吉林、本溪湖、撫順、公主嶺、長春、大連
250,000	6,170	安東
325,000	40,700	營口新市街(出張所)
250,000	2,450	大連
375,000	14,900	同
500,000	18,700	遼陽
250,000		
250,000		
500,000		
75,000		

銀行別

銀行名	種別	大正十年 貸出高
朝鮮銀行	金	417,301,906
横濱正金銀行	金	160,835,125
	銀	75,101,977
	洋	1,176,358
正隆銀行	金	116,628,636
	銀	4,213,351
	洋	1,472,238
龍口銀行	金	69,385,760
	銀	22,721,355
	洋	—
大連銀行	金	20,731,216
	銀	857,931
大連商業銀行	金	8,050,476
遼東銀行	金	23,845,801
	銀	3,543,596
	洋	966,895
教育貯金銀行	金	11,036,231
大連庶民銀行	金	416,028
旅順銀行	金	5,367,369
東華銀行	金	3,883,333
平和銀行	金	1,676,240
滿洲商業銀行	金	51,876,310
南滿銀行	金	1,355,141
	銀	—
	洋	62,088
中國銀行	銀	10,679,485
交通銀行	銀	3,919,126

貸　出　高　（大正十年度）

上半期 返濟高	大正十年下半期 貸出高	大正十年下半期 返濟高	殘高
411,868,678	597,723,171	559,203,034	109,442,259
160,465 195	200,244,510	193,907,451	26,747,107
73.462,821	79,504,278	76,282,942	9,382,638
1,431,036	3,972,341	3,818,865	182,576
117,132,601	153,120,488	151,187,289	34,567,395
4,206,775	4,315,384	4,064,225	808,011
1,546,390	1,626,918	1,402,118	315,300
68,924,957	839,21,155	81,606,512	17,037,859
22,324,826	17,558,264	17,775,614	1,051,656
—	808,316	770,113	38,203
21,117,819	38,786,738	36,942,999	10,634,299
865,950	298,514	267,798	43,455
7,905,729	10,622,973	10,723,339	3,208,585
21,559,489	35,986,553	34,420,404	9,439,650
3,493,216	2,914,791	2,884,901	102,349
1,049,498	1,054,931	1,030,174	198,921
10,795,634	21,118,545	20,587,462	4,500,432
467,082	—	—	372,494
5,625,057	7,902,078	8,089,421	1,784,212
3,759,733	6,939,314	6,835,674	1,090,629
1,593,593	2,120,202	2,071,102	510,705
52,505,336	69,158,444	66,194,566	15,230,573
1,336,297	4,210,981	3,900,710	740,749
—	948,553	928,328	20,225
61,704	365.766	296,612	81,544
10,745,275	4,868,775	4,920,976	419,340
3,481,667	3,051,185	3,316,744	305,238

銀行名	種別	大正十年 貸出高
商工銀行	金	[illegible]910,545
	洋	—
營口銀行	金	4,898,558
	洋	1[illegible]1,214
振興銀行	金	4,6[illegible]7,364
	洋	130,607
鞍山銀行	金	657,950
奉天銀行	金	3,898,916
日華銀行	金	9,071,628
	銀	775,659
	洋	3,792,778
鐵嶺商業銀行	金	2,394,321
	洋	733,766
協成銀行	金	2,455,994
吉林銀行	金	743,760
開原銀行	金	6,246,530
	銀	116,478
	洋	1,972,644
四平街銀行	金	728,217
	洋	53,145
范家屯銀行	金	2,221,377
	洋	215,180
長春實業銀行	金	4,125,803
	銀	248,000
奉天殖產銀行	金	2,012,369
總計	金	938,422,904
	銀	121,928,958
	洋	10,696,913

上半期	大正十年下半期		殘高
返濟高	貸出高	返濟高	
2,235,942	2,519,926	2,369,529	1,085,120
—	70,234	56,400	13,834
4,777,790	5,836,683	5,735,584	1,111,024
97,865	173,432	151,480	54,373
4,619,751	4,853,016	4,855,211	1,297,257
106,462	109,823	119,966	84,239
639,454	824,375	763,598	310,775
4,051,509	4,420,073	4,312,659	1,596,795
8,916,361	16,014,966	14,919,834	2,867,457
669,174	593,909	524,335	246,059
3,355,884	4,579,730	5,039,154	133,107
2,255,081	7,410,950	7,161,241	992,170
703,284	1,157,110	1,210,974	43,136
2,459,047	4,362,227	4,241,106	500,044
712,555	698,958	654,490	167,794
6,248,423	11,005,757	10,665,408	1,277,330
113,278	109,952	110,152	3,000
2,103,709	2,845,512	2,872,189	103,833
726,415	817,700	727,212	736,720
53.812	28,928	28,918	39,875
2,287,969	2,301,644	1,770,371	901,530
246,580	468,493	465,393	17,100
4,012,910	4,923,642	4,797,223	1,129,952
296,542	67,458	47,958	19,500
2,061,723	2,624,582	2,658,132	1,637,942
931,952,130	**1,300,469,651**	**1,241,301,591**	**250,917,858**
119,659,524	**113,866,597**	**111,123,973**	**12,401,471**
10,694,524	**17,261,534**	**17,262,356**	**1,256,041**

銀行別

銀行名	種別	大正十年 預り高
朝鮮銀行	金	570,477,970
横濱正金銀行	金	326,836,601
	銀	335,526,314
	洋	19,826,389
正隆銀行	金	149,196,007
	銀	19,737,320
	洋	13,168,072
龍口銀行	金	88,588,075
	銀	88,948,390
	洋	—
大連銀行	金	27,100,899
	銀	4,238,319
遼東銀行	金	16,697,588
	銀	13,496,736
	洋	2,901,910
大連庶民銀行	金	599,608
東華銀行	金	3,973,986
平和銀行	金	3,374,378
滿洲商業銀行	金	57,027,314
南滿銀行	金	277,931
	銀	—
	洋	153,542
交通銀行	銀	9,546,547
中國銀行	銀	14,689,386
商工銀行	金	615,128
	洋	—
大連商業銀行	金	4,520,098
	銀	8,011
教育貯金銀行	金	47,524,440

預　　金　　高

上半期 拂戻高	大正十年下半期 預リ高	大正十年下半期 拂戻高	殘高
569,769,314	751,588,126	746,549,456	33,383,770
326,311,120	366,962,115	368,090,769	16,735,770
328,878,640	255,405,355	258,253,324	7,455,173
19,794,789	38,974,589	39,220,535	280,354
148,068,912	232,344,154	231,962,579	22,506,618
19,210,993	17,629,887	17,428,700	1,556,010
12,796,219	32,880,399	33,753,949	569,511
89,779,276	113,433,335	110,600,770	8,084,156
86,800,538	71,418,021	63,462,900	1,044,568
—	2,428,777	2,381,237	47,540
27,263,019	43,461,468	42,520,571	4,863,355
1,749,298	4,038,004	1,952,723	29,303
41,384,545	15,670,269	40,471,974	2,894,822
12,842,155	10,652,680	11,196,388	220,896
2,743,790	2,276,739	2,499,965	346,321
620,592	—	—	29,032
3,331,971	8,607,096	8,487,106	409,833
3,657,518	5,036,603	5,010,035	338,093
57,772,893	83,112,460	85,187,367	6,751,208
268,378	6,010,135	5,327,476	751,742
—	3,088,755	2,811,247	277,508
149,569	1,013,285	947,144	84,136
9,113,453	5,650,304	6,153,866	152,169
13,714,056	6,724,423	7,768,323	89,563
911,519	1,201,132	1,100,344	343,841
—	66,943	66,743	200
4,828,041	9,535,286	9,217,664	1,418,500
8,002	—	22	—
47,155,221	59,872,961	59,348,759	3,011,358

銀行名	種別	大正十年 預リ高
旅順銀行	金	7,431,050
營口銀行	金	2,893,684
	洋	232,106
奉天銀行	金	2,543,169
鐵嶺商業銀行	金	1,267,328
	洋	2,080,110
日華銀行	金	4,749,690
	銀	1,070,588
	洋	14,120,795
開原銀行	金	2,020,374
	銀	1,067,730
	洋	7,443,536
四平街銀行	金	15,275
	洋	4,967
范家屯銀行	金	185,069
	銀	37,000
	洋	878,057
長春實業銀行	金	1,841,143
	銀	198,632
鞍山銀行	金	190,687
振興銀行	金	1,687,845
	洋	203,409
奉天殖產銀行	金	511,903
協成銀行	金	2,883,764
吉林銀行	金	474,577
計	金	**1,325,505,581**
	銀	**488,564,973**
	洋	**61,012,893**

上半期	大正十年下半期		殘高
拂戻高	預リ高	拂戻高	
7,866,353	7,740,276	8,110,605	824,385
2,900,758	4,183,337	4,145,705	291,571
231,769	771,421	769,897	20,291
2,671,072	9,321,468	8,958,109	787,387
1,282,609	14,656,817	14,502,689	272,985
1,938,555	1,611,245	1,774,646	43,315
4,737,683	15,742,073	15,195,980	726,400
872,793	753,838	894,089	59,953
13,308,067	26,348,881	27,162,559	223,018
1,997,623	10,170,262	9,900,932	556,041
1,000,981	454,595	471,663	53,321
7,470,040	20,725,067	20,854,769	95,776
26,104	441,046	461,596	89,304
7,076	70,702	81,646	28,474
179,704	661,856	634,238	65,724
28,000	87,800	85,300	11,500
852,446	3,827,956	3,865,974	12,253
1,862,878	2,522,013	2,534,715	233,264
204,132	90,592	88,708	1,884
189,052	1,166,507	1,001,689	201,963
1,746,290	2,721,007	2,715,970	497,561
187,386	171,435	203,559	7,768
632,907	299,808	498,919	718,310
6,254,193	2,836,353	6,312,303	206,283
519,149	448,878	502,127	62,050
1,353,988,691	**1,769,746,841**	**1,789,350,447**	**136,965,329**
474,423,041	**375,994,254**	**370 567,253**	**10,951,848**
59,479,706	**131,167,439**	**133,582,623**	**1,788,954**

第十　通貨及金融

金融信託

滿洲金融信託業者一覽 （資本金五十萬圓以上大正十年末）

會社名	所在地	設立年月	公稱資本金	拂込資本金
			円	円
安東興業株式會社	安東	8. 2	500,000	125,000
安東商事信託株式會社	安東	8. 3	500,000	125,000
安東晝夜金融株式會社	安東	10. 11	500,000	125,000
鞍山證券信託株式會社	鞍山	10. 10	500,000	125,000
撫順信託株式會社	撫順	5. 8	1,000,000	287,500
長春取引所信託株式會社	長春	5. 3	1,000,000	250,000
中央商事株式會社	大連	8. 9	1,000,000	250,000
第一商事株式會社	同	8. 9	500,000	125,000
營口取引所信託株式會社	營口	9. 9	2,000,000	500,000
營口證券信託株式會社	同	8. 10	500,000	125,000
奉天公株信託株式會社	奉天	10. 6	500,000	125,000
奉天信託株式會社	同	10. 11	500,000	125,000
奉天取引所信託株式會社	同	10. 7	3,000,000	750,000
哈爾賓貯金信託株式會社	哈爾賓	9. 5	500,000	125,000
蓬萊信託株式會社	大連	8. 9	500,000	125,000
開原取引所信託株式會社	開原	4. 12	2,000,000	875,000
同 相互證券信託株式會社	同	9. 10	1,500,000	375,000
同 交易信託株式會社	同	10. 10	1,500,000	375,000
同 證券金融株式會社	同	10. 10	500,000	125,000
公主嶺取引所信託株式會社	公主嶺	8. 8	500,000	125,000
共濟信託株式會社	沙河口	8. 2	1,000,000	250,000
共榮信託株式會社	大連	8. 12	500,000	125,000
華東信託株式會社	同	8. 10	1,500,000	375,000
宏濟證券株式會社	同	8. 10	3,000,000	750,000
滿洲證券信託株式會社	同	6. 11	1,000,000	750,000
同 貯金信託株式會社	同	6. 9	2,000,000	650,000
同 不動產信託株式會社	同	8. 8	2,000,000	500,000

會　社　名	所在地	設立年月	公稱資本金	拂込資本金
滿洲不動產貯金株式會社	大連	9. 3	1,000,000	250,000
同　起業株式會社	同	8. 12	1,000,000	1,000,000
同　晝夜金融株式會社	奉天	8. 11	500,000	125,000
滿蒙證券株式會社	同	9. 3	5,000,000	1,250,000
南滿信託株式會社	瓦房店	8. 11	500,000	125,000
中和興業株式會社	奉天	6. 11	750,000	750,000
日華證券信託株式會社	大連	8. 7	5,000,000	1,250,000
遼陽取引所信託株式會社	遼陽	9. 8	500,000	125,000
同　鞍山信託株式會社	同	7. 8	500,000	200,000
遼東信託株式會社	大連	8. 9	500,000	500,000
四平街取引所信託株式會社	四平街	8. 9	500,000	125,000
西崗信託株式會社	大連	8. 9	1,000,000	250,000
大連商事信託株式會社	同	8. 7	3,000,000	750,000
同　華商金融株式會社	同	8. 11	500,000	500,000
同　取引所信託株式會社	同	2. 6	3,000,000	2,000,000
同取引所錢鈔信託株式會社	同	6. 5	3,000,000	1,500,000
大連信託株式會社	同	6. 11	1,000,000	250,000
同　株式信託會社	同	9. 3	5,000,000	1,250,000
同　ビルブローカー	同	8. 9	750,000	750,000
同　市場商興株式會社	同	8. 9	500,000	125,000
同　貯金株式會社	同	2. 11	1,000,000	775,000
同　商品信託株式會社	同	10. 10	3,000,000	750,000
鐵嶺取引所信託株式會社	鐵嶺	8. 11	500,000	125,000
同　公益信託株式會社	同	10. 8	750,000	187,500
奉東信託株式會社	大連	8. 12	1,200,000	300,000
東省實業株式會社	奉天	7. 5	3,000,009	3,000,000
東海起業株式會社	長春	7. 4	500,000	250,000
大信商事株式會社	大連	9. 3	1,000,000	280,000
大興商事株式會社	奉天	10. 3	500,000	125,000
大海信託株式會社	大石橋	9. 1	500,000	125,000
東亞證券商品信託株式會社	東京（支店奉天）	9, 4	2,000,000	5,000,000

第十　通貨及金融

其他の金融

東洋拓殖株式會社滿洲

年月	年賦償還貸付金							
	大連		奉天		哈爾賓		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
		円		円		円		円
9.1	392	4,593,471	395	6,050,303	—	—	787	10,643,774
2	402	4,922,508	411	6,404,613	—	—	813	11,327,121
3	421	5,264,051	427	6,999,389	14	421,845	862	12,685,285
4	425	5,707,683	438	7,855,123	14	421,845	877	13,984,651
5	427	5,741,577	444	8,019,559	14	421,090	885	14,182,226
6	435	6,010,736	445	7,970,120	14	421,090	894	14,401,946
7	488	6,516,422	444	7,811,722	16	464,636	948	14,792,780
8	439	6,428,658	451	7,867,298	17	484,636	907	14,780,592
9	446	6,787,122	457	7,880,542	17	479,151	920	15,146,815
10	453	7,163,866	464	7,942,575	15	448,759	932	15,555,200
11	473	7,673,865	471	8,089,086	15	446,333	959	16,209,284
12	499	8,057,480	513	8,460,978	16	724,844	1,028	17,243,392
10.1	504	8,139,415	515	8,500,922	15	689,844	1,034	17,330,181
2	522	8,238,808	518	8,497,483	15	687,294	1,055	17,423,585
3	527	8,311,083	526	8,426,068	15	676,601	1,063	17,413,752
4	540	8,443,727	539	8,549,752	15	667,230	1,094	17,660,709
5	544	8,480,065	545	8,636,681	15	665,559	1,104	17,782,305
6	546	8,528,954	559	8,698,929	15	663,910	1,120	17,891,793
7	552	8,567,715	567	8,721,616	16	671,410	1,135	17,960,741
8	559	8,592,421	568	8,689,778	16	667,219	1,143	17,282,199
9	571	8,707,797	581	8,689,721	14	619,666	1,165	18,017,184
10	589	8,927,230	579	8,678,674	14	600,232	1,173	18,206,136
11	597	9,173,906	594	8,787,427	14	582,410	1,205	18,543,743
12	626	9,791,073	611	8,907,540	14	577,761	1,251	19,276,374
11.1	653	10,158,750	610	8,950,224	14	577,761	1,277	19,686,735
2	671	10,497,921	610	8,977,484	14	575,119	1,295	20,050,524
3	682	11,367,271	614	8,903,100	14	552,764	1,310	20,823,135
4	693	11,455,691	615	8,924,651	14	546,813	1,322	20,927,155
5	697	11,474,360	618	8,941,013	14	543,640	1,329	20,959,013
6	700	11,441,898	615	8,959,041	14	549,640	1,329	20,950,579

支店貸出月末殘高表

年 月	定期償還貸付金							
	大連		奉天		哈爾賓		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
		円		円		円		円
9.1	260	4,850,327	442	7,800,249	—	—	**702**	**12,650,576**
2	277	5,087,718	474	8,682,245	—	—	**751**	**13,769,963**
3	251	4,860,083	491	8,919,198	86	5,029,162	**828**	**18,808,443**
4	250	4,877,464	482	8,853,444	90	5,098,162	**822**	**18,829,070**
5	252	4,863,978	470	8,780,010	94	5,259,162	**816**	**18,903,150**
6	262	4,872,837	479	8,795,514	95	5,459,162	**836**	**19,127,513**
7	209	4,657,592	476	8,865,902	98	5,403,162	**783**	**18,926,656**
8	261	5,118,441	480	9,083,259	101	5,428,429	**842**	**19,630,129**
9	275	5,160,308	494	9,604,731	105	5,612,574	**874**	**20,377,613**
10	296	5,339,453	499	9,683,276	107	5,650,225	**902**	**20,672,954**
11	344	5,825,433	504	9,878,310	113	5,765,856	**961**	**21,469,599**
12	463	6,861,596	522	10,171,812	117	5,888,084	**1,102**	**22,921,492**
10.1	606	7,232,192	520	10,285,789	115	5,971,584	**1,241**	**23,489,562**
2	711	7,691,304	525	7,079,696	120	6,064,084	**1,356**	**20,835,086**
3	735	8,658,744	521	7,274,038	125	6,482,984	**1,381**	**22,415,766**
4	756	8,885,278	534	7,274,932	128	6,577,384	**1,418**	**22,737,594**
5	756	8,938,412	551	7,629,624	128	6,558,455	**1,435**	**23,126,491**
6	784	9,275,401	550	7,633,974	144	6,873,069	**1,478**	**23,782,444**
7	748	9,189,937	547	7,727,521	150	6,940,358	**1,445**	**23,857,816**
8	757	9,280,837	549	7,796,711	160	7,320,858	**1,466**	**24,398,406**
9	780	9,363,277	548	6,689,555	169	7,488,858	**1,497**	**23,541,690**
10	783	9,352,417	539	6,609,652	171	7,497,358	**1,493**	**23,456,427**
11	780	9,339,517	534	6,654,164	177	7,841,488	**1,491**	**23,835,169**
12	794	9,391,404	506	6,782,726	187	8,070,951	**1,487**	**24,245,081**
11.1	1,397	9,358,004	1,113	6,768,522	209	8,399,951	**2,719**	**24,526,477**
2	733	9,261,574	494	7,964,039	198	8,615,951	**1,425**	**25,841,564**
3	744	9,310,704	495	7,994,246	197	9,303,689	**1,436**	**26,608,639**
4	733	9,290,934	500	8,036,931	197	9,301,451	**1,430**	**26,629,316**
5	723	9,253,394	494	8,033,759	195	9,273,339	**1,412**	**26,560,492**
6	720	9,211,455	484	7,975,696	194	9,268,993	**1,396**	**26,456,144**

東拓貸出金用途別表(大正十一年三月末現在)

區分 用途別	大連支店 口數	大連支店 金額	奉天支店 口數	奉天支店 金額
市街經營	768	円 15,348,098.97	760	円 8,608,498.90
農事經營	456	1,155,678.51	54	936,393.13
土地改良及開墾	23	509,980.09	67	2,347,316.36
果樹栽培	12	127,000.00	8	55,840.32
林業	—	—	20	648,167.79
畜産業	6	31,647.36	5	65,789.20
蠶業	1	38,983.06	—	—
製氷業	1	1,692.02	—	—
製粉業	2	46,646.13	—	—
煙草製造業	—	—	1	1,800.00
釀造業	20	333,607.57	23	187,361.79
皮革業	—	—	1	19,000.00
豆粕製造	3	37,600.00	2	14,000.00
製紙業	1	30,000.00	3	5,452.76
窯業	4	127,500.00	18	141,076.90
諸製造業	37	1,140,716.39	15	986,712.36
鑛業	4	92,970.92	8	565,819.95
電氣瓦斯事業	8	48,500.00	1	30,000.00
精米業	—	—	9	34,400.00
水産業	14	111,634,04	—	—
運輸交通業	—	—	5	101,220.72
教育	8	353,580.00	—	—
衞生	—	—	4	14,686.37
雜資金	37	978,613.95	99	2,073,606.46
公共事業	—	—	6	60,203.65
計	1,405	20,514,449.01		
特別貸付	20	138,527.00		
總計		20,652,796.01	1,109	16,897,346.67

日本人質屋の

地方		營業戸數	前年ヨリ越		本年貸出	
			口數	金額	口數	金額
州内	旅順	10	783	円 20,100	6,171	円 67,445
	大連	69	22,519	293,799	89,334	1,037,410
	計	**79**	**23,302**	**313,899**	**95,505**	**1,104,855**
州外	瓦房店	4	436	2,718	574	7,061
	大石橋	26	15,722	26,965	44,974	46,912
	遼陽	7	3,224	25,735	6,808	48,315
	鞍山	13	2,567	51,175	8,180	122,665
	奉天	38	24,280	147,491	59,982	436,318
	本溪湖	12	3,155	24,791	4,945	29,148
	撫順	19	40,053	91,141	121,427	298,603
	鐵嶺	8	117	983	4,034	15,819
	開原	17	106,350	81,416	40,824	167,354
	長春	30	4,381	60,177	20,604	253,867
	四平街	12	5,623	44,824	22,164	85,338
	公主嶺	13	5,599	30,754	13,294	66,256
	安東	3	102	197	47	605
	計	**202**	**211,609**	**588,367**	**348,280**	**1,578,261**
領事館	牛莊	25	15,341	30,040	65,740	98,366
	遼陽	1	1,505	1,672	4,494	4,345
	奉天	15	43,441	132,445	77,625	250,853
	新民府	5	1,488	1,952	26,618	24,587
	鐵嶺	126	53,985	232,406	277,652	458,192
	長春	53	18,950	64,490	90,076	387,934
	安東	8	5,704	86,997	14,511	228,313
	計	**233**	**140,414**	**550,002**	**556,716**	**1,452,590**
大正十年總計		**514**	**375,325**	**452,268**	**1,000,501**	**4,135,706**
大正九年總計		**467**	**250,342**	**1,066,841**	**1,152,587**	**4,211,836**
大正八年總計		**489**	**286,204**	**998,565**	**1,122,464**	**4,713,609**
大正七年總計		**519**	**350,633**	**711,639**	**1,167,911**	**2,750,761**

貸付金狀況 (大正十年度)

本年受戻		本年流		本年末現在	
口數	金額	口數	金額	口數	金額
4,091	円 55,971	945	円 12,132	1,918	円 19,442
63,721	757,722	21,023	213,074	27,109	360,413
67,812	**813,693**	**21,968**	**225,206**	**29,027**	**379,855**
550	6,422	102	1,099	358	2,258
36,214	42,135	12,826	17,197	11,620	14,545
4,430	34,973	767	5,817	4,835	33,260
6,179	100,779	1,502	33,321	3,066	39,740
61,988	399,146	7,120	57,433	15,154	127,230
4,221	24,815	357	2,875	3,522	26,249
115,335	276,787	13,696	35,816	32,449	77,141
2,207	9,525	166	901	1,778	6,376
30,528	165,833	4,396	15,977	12,250	61,960
15,717	205,257	2,719	29,591	6,549	79,196
17,981	70,755	3,491	8,804	6,315	50,603
12,727	66,466	1,845	10,448	4,321	20,096
129	416	4	54	16	332
308,206	**1,403,309**	**48,991**	**219,333**	**102,233**	**543,986**
53,608	79,375	15,239	21,724	12,234	27,307
3,668	3,506	698	778	1,633	1,733
66,885	241,979	9,449	21,144	41,732	120,175
24,735	20,292	2,445	3,555	926	2,692
189,206	439,388	59,801	95,416	82,630	156,794
80,371	356,406	14,531	60,524	14,124	35,494
13,322	212,745	3,684	34,039	3,209	68,526
431,795	**1,353,691**	**105,847**	**237,180**	**159,488**	**412,721**
807,813	**3,570,693**	**176,806**	**681,719**	**290,748**	**1,336,562**
852,579	**3,343,959**	**145,014**	**637,022**	**405,336**	**1,297,696**
948,956	**3,785,515**	**161,435**	**497,292**	**298,227**	**1,429,367**
1,022,061	**2,100,570**	**204,229**	**308,093**	**292,254**	**1,053,737**

手形交換

大連手形交換高

年	月	金勘定 手形枚數	金勘定 交換金額	銀勘定 手形枚數	銀勘定 交換金額
			円		円
大正九年	7	25,814	100,063,311	8,292	38,242,465
	8	25,031	101,239,735	6,593	37,690,988
	9	25,669	85,061,199	7,748	36,456,410
	10	26,110	100,694,243	8,306	41,434,990
	11	26,232	92,252,400	9,896	43,552,448
	12	31,550	98,885,387	12,293	55,230,657
	計	**160,406**	**578,766,074**	**53,128**	**252,607,958**
大正十年	1	20,676	75,581,135	10,795	49,243,193
	2	20,420	52,973,522	7,574	32,349,842
	3	26,694	83,074,245	12,361	60,278,856
	4	24,030	58,431,452	7,902	32,997,509
	5	25,954	69,198,766	9,689	41,105,066
	6	26,897	80,393,468	8,961	35,005,786
	7	24,094	77,588,134	8,504	41,727,578
	8	24,496	62,338,557	6,551	27,171,487
	9	27,083	85,996,548	6,302	29,187,956
	10	29,182	104,079,370	5,263	28,274,451
	11	37,314	118,736,703	5,977	25,603,437
	12	46,593	148,007,410	6,070	25,993,560
	計	**333,433**	**1,016,399,313**	**95,949**	**428,938,324**
大正十一年	1	28,651	98,628,304	5,036	20,315,893
	2	32,208	104,500,714	2,538	20,480,368
	3	41,574	140,249,003	5,985	29,215,026
	4	38,924	128,786,476	5,207	25,662,262
	5	40,234	117,112	5,065	27,368,848
	6	36,269	105,985,817	4,139	23,802,916
	計	**217,860**	**578,167,426**	**27,970**	**146,845,313**

銀塊及爲替

年次	月次		倫敦銀塊相場	相場 銀勘定 日本向 參著賣	日本向 參著買	上海向 參著賣	上海向 參著買	倫敦 參著賣
大正十年	一月	最高	$42\frac{1}{4}$	116.00	121.25	73.25	74.00	$3.1\frac{5}{16}$
		最低	$36\frac{1}{2}$	98.00	102.65	71.25	72.00	2.5
		平均	$39\frac{3}{4}$	107.93	112.54	71.72	72.47	2.9
	二月	最高	$36\frac{3}{8}$	100.00	106.15	73.25	74.00	$2.6\frac{1}{2}$
		最低	$31\frac{3}{8}$	92.00	97.15	71.75	72.50	$2.3\frac{13}{16}$
		平均	$33\frac{15}{16}$	95.90	101.50	72.87	73.62	2.5
	三月	最高	$33\frac{3}{4}$	94.00	99.65	73.25	74.00	$2.4\frac{1}{16}$
		最低	$30\frac{1}{8}$	85.50	90.65	72.25	73.00	$2.3\frac{3}{16}$
		平均	$31\frac{3}{4}$	90.54	95.00	73.12	73.87	$2.2\frac{13}{16}$
	四月	最高	36	98.00	101.65	72.25	73.00	$2.4\frac{3}{4}$
		最低	32	90.00	94.65	71.25	72.00	$2.2\frac{5}{8}$
		平均	$33\frac{3}{4}$	95.06	99.24	71.78	72.54	$2.3\frac{15}{16}$
	五月	最高	$34\frac{7}{8}$	100.50	104.65	72.12	72.87	$2.4\frac{7}{8}$
		最低	$32\frac{5}{8}$	95.00	98.30	71.75	72.50	$2.3\frac{3}{8}$
		平均	$33\frac{3}{4}$	97.00	100.60	72.00	72.75	$2.4\frac{1}{16}$
	六月	最高	$35\frac{5}{8}$	99.20	102.30	72.12	72.87	$2.6\frac{5}{8}$
		最低	$33\frac{1}{8}$	95.50	99.10	72.00	72.75	$2.4\frac{1}{8}$
		平均	$34\frac{5}{8}$	97.00	100.25	72.02	72.77	$2.5\frac{9}{16}$

表

	金		勘		定	
向	倫敦向		米國向		孟買向	
參着買	參着賣	參着買	參着賣	參着買	參着賣	參着買
3.3 1/2	2.8 1/4	2.9 7/8	48	49 1/4	184	191
2.7 11/16	2.5 5/8	2.7	47 3/4	49	167	174
2.11 1/2	2.6 9/16	2.8 3/16	47 13/16	49 1/16	170 1/2	177 1/4
2.8 15/16	2.5 5/8	2.7	47 3/4	49	194	200
2.5 11/16	2.5 3/8	2.5 5/8	47 3/4	49	174	179
2.7 1/16	2.5 1/2	2.5 1/2	47 3/4	49	181 3/8	187 1/16
2.6 3/16	2.5 3/8	2.6 5/8	47 3/4	49	192	198
2.3 3/4	2.5 5/16	2.6 1/16	47 3/4	48 3/4	184	190
2.4 15/16	2.5 3/8	2.6 3/8	47 3/4	48 15/16	188 1/4	194 3/8
2.6 13/16	2.5 9/16	2.6 7/8	48 1/8	48 7/8	186	192
2.4 7/16	2.5 7/16	2.6 1/16	47 3/4	48 3/4	184 1/2	190 1/2
2.5 13/16	2.5 3/8	2.6 1/8	47 7/8	48 13/16	185 11/16	191 5/16
2.6 15/16	2.5 1/4	2.5 11/16	48 1/4	48 7/8	188	192
2.4 9/16	2.4 13/16	2.5 5/16	48 1/8	48 3/4	183	187 1/2
2.5 5/8	2.5	2.5 7/16	48 1/4	48 7/8	185 3/8	190
2.7 5/8	2.6 3/8	2.6 11/16	48 1/8	48 3/4	197 1/2	201 1/2
2.5 1/4	2.5 1/4	2.5 9/16	48	48 5/8	188	192
2.6 15/16	2.6 1/8	2.6 7/16	48	48 11/16	193 3/8	197 1/2

年次	月次		倫敦銀塊相場	銀勘定 日本向 參著賣	銀勘定 日本向 參著買	銀勘定 上海向 參著賣	銀勘定 上海向 參著買	銀勘定 倫敦 參著賣
大正十年	七月	最高	42⅝	123.00	126.65	72.00	72.75	3.0⅞
		最低	38¾	112.00	115.65	71.50	72.25	2.9—
		平均	41 13/16	118.43	122.25	71.87	72.62	2.11—
	八月	最高	43—	123.00	126.65	72.00	72.75	3.1⅛
		最低	37⅜	101.00	103.65	71.50	72.25	2.7⅜
		平均	39 1/16	108.98	108.88	71.92	72.67	2.9 9/16
	九月	最高	38¼	101.00	103.65	71.625	72.375	2.8⅞
		最低	36¼	98.50	101.60	71.50	72.25	2.7⅜
		平均	37¾	99.67	102.68	71.64	72.39	2.7 13/16
	十月	最高	38¼	100.50	103.60	72.00	72.75	2.8⅛
		最低	35¼	97.00	100.10	71.625	72.375	2.6¼
		平均	36¾	98.67	101.83	71.73	72.50	2.7¼
	十一月	最高	39⅞	114.50	118.15	72.00	72.75	2.9⅛
		最低	37⅜	109.50	113.15	71.00	71.75	2.7¼
		平均	38½	112.50	115.73	71.42	72.16	2.8½
	十二月	最高	37½	114.50	118.15	72.00	72.75	5.8⅝
		最低	34⅜	111.00	114.65	71.25	72.00	2.6⅛
		平均	35 7/16	112.50	115.89	71.60	72.35	2.7⅛

	金		勘		定	
向	倫敦向		米國向		孟買向	
參著買	參著買	參著買	參著買	參著買	參著買	參著買
3.2 9/16	2.6⅜	2.7⅜	48—	48⅝	178—	181½
2.10 7/16	2.5—	2.5½	47¾	48⅜	166—	169½
3.8⅛	2.6⅞	2.6 1/16	47 3/16	48 7/16	171½	174½
3.2 9/16	2.7⅜	2.8⅛	48⅜	49—	184—	188—
2.8 11/16	2.6⅞	2.7½	48—	48⅝	171—	174½
2.11⅛	2.7 13/16	2.7 13/16	48 3/16	48 13/16	179½	183 3/16
2.9 13/16	2.8½	2.9 7/16	48¼	49—	209—	213—
2.8 11/16	2.7⅜	2.8¼	48⅛	48¾	284½	188½
2.8 1/16	2.8¼	2.8¾	48 3/16	48 15/16	196½	200½
2.10 1/16	2.8½	2.9 7/16	48—	48¾	209—	213—
2.7 7/16	2.6⅜	2.6 13/16	47⅞	48⅝	197½	201½
2.8 9/16	2.7⅜	2.7 13/16	47 15/16	48⅝	204¼	207⅞
2.10 9/16	2.5⅜	2.5⅞	48⅛	48⅝	178½	182—
2.9 1/16	2.4¾	2.5¼	47¾	48⅜	174½	178—
2.9 15/16	2.5¼	2.5⅛	48—	48⅜	176½	180—
2.9 7/16	2.4 11/16	2.5¼	48—	48⅝	178½	182—
2.7 9/16	2.3¼	2.3⅛	48—	48⅝	169½	172¼
2.8⅝	2.3⅝	2.4¼	48—	48⅝	171¾	175⅜

年次	月次		倫敦銀塊相場	銀勘定 日本向 參著賣	銀勘定 日本向 參著買	銀勘定 上海向 參著賣	銀勘定 上海向 參著買	銀勘定 倫敦 參著賣
大正十一年	一月	最高	$35\frac{7}{8}$	112.70	115.95	71.90	72.65	$2.6\frac{7}{8}$
		最低	$34\frac{3}{8}$	106.50	110.00	70.30	71.05	$2.5\frac{1}{16}$
		平均	$34\frac{7}{8}$	109.59	112.85	70.95	71.70	$2.5\frac{13}{16}$
	二月	最高	$34\frac{3}{4}$	109.50	113.15	71.35	72.10	$2.5\frac{9}{16}$
		最低	$32\frac{1}{8}$	103.25	106.40	70.30	71.05	$2.2\frac{5}{8}$
		平均	$33\frac{7}{8}$	107.36	110.52	71.13	71.87	$2.4\frac{1}{4}$
	三月	最高	$33\frac{3}{4}$	108.50	112.15	71.20	71.95	$2.4\frac{3}{8}$
		最低	$31\frac{5}{8}$	100.75	103.90	71.00	71.75	$2.1\frac{9}{16}$
		平均	$32\frac{7}{8}$	105.00	108.48	71.03	71.72	$2.3\frac{3}{8}$
	四月	最高	$35\frac{7}{8}$	113.25	116.65	71.20	71.95	$2.5\frac{1}{8}$
		最低	$33\frac{3}{8}$	108.50	111.65	71.00	71.75	$2.4\frac{1}{8}$
		平均	$34\frac{5}{8}$	110.52	113.83	71.08	71.83	$2.4\frac{5}{8}$
	五月	最高	$37\frac{7}{8}$	122.00	125.65	71.00	71.75	$2.7\frac{1}{4}$
		最低	$34\frac{3}{8}$	113.75	117.40	70.50	71.25	$2.5\frac{7}{16}$
		平均	$35\frac{15}{16}$	117.27	120.52	70.75	71.50	$2.6\frac{3}{16}$
	六月	最高	$36\frac{1}{2}$	118.00	120.65	71.60	72.35	$2.6\frac{3}{4}$
		最低	$35\frac{1}{8}$	115.00	118.65	70.70	71.45	$2.5\frac{3}{8}$
		平均	$35\frac{15}{16}$	116.66	119.78	71.03	71.78	$2.6\frac{1}{4}$

	金		勘		定	
向	倫敦向		米國向		孟買向	
參著買	參著賣	參著買	參著賣	參著買	參著賣	參著買
2.8 13/16	2.3 3/8	2.3 15/16	48 3/4	48 5/8	170—	175—
2.6 3/16	2.2 13/16	2.3—	48—	48 3/8	166 3/4	172 3/4
2.7 5/16	2.3 1/8	2.3 7/16	48 1/16	48 7/16	167 1/8	173 13/16
2.6 5/8	2.2 13/16	2.3 3/4	48—	84 3/8	168 1/4	173 1/4
2.3 5/8	2.1 1/2	2.1 3/4	48—	84 3/8	164—	169—
2.5 1/4	2.2 5/8	2.2 5/16	48—	84 3/8	165 5/8	170 5/8
2.5 3/8	2.2 3/8	2.2 5/8	48—	84 3/8	170 1/2	175 1/2
2.2 9/16	2.1 7/16	2.1 11/16	48—	84 3/8	165—	170—
2.4 9/16	2.1 15/16	2.2 3/16	48 -	84 3/8	168 1/4	173 1/4
2.6 1/8	2.1 15/16	2.2 3/16	48—	48 3/8	169—	174—
2.5 3/16	2.1 9/16	2.1 7/8	47 3/8	47 1/2	167 1/2	172—
2.5 11/16	2.1 11/16	2.1 15/16	47 7/8	48 1/8	168 1/4	173 1/16
2.8 5/8	2.1 11/16	2.2—	47 5/8	48 1/8	168—	172—
2.6 3/8	2.1 1/2	2.1 3/4	47 3/8	47 3/4	161 1/2	166 1/2
2.7 1/4	2.1 9/16	2.1 13/16	47 9/16	47 15/16	163 3/8	168 3/8
2.7 3/4	2.2 1/8	2.2 3/8	47 3/4	48 1/8	166 1/4	171 3/4
2.6 5/8	2.1—	2.1—	47 1/2	47 7/8	161 1/4	166 1/4
2.7 3/8	2.1 5/8	2.1 15/16	47 5/8	48—	163 1/2	168—

郵便貯金

郵便貯金及

地名	郵便貯			
	預入		拂戻	
	度數	金額	度數	金額
大連	114,788	2,605,658	54,044	2,623,487
周水子	5,358	18,002	334	13,209
旅順	33,276	536,911	11,647	462,750
柳樹屯	2,113	21,510	291	16,464
金州	2,248	41,153	709	30,291
普蘭店	1,935	40,093	775	38,276
貔子窩	3,029	44,045	621	28,121
瓦房店	7,283	119,065	2,506	105,850
熊岳城	2,975	63,168	709	48,219
蓋平	866	13,514	189	12,945
大石橋	7,565	123,544	2,348	103,013
牛莊	5,134	105,630	1,812	83,732
海城	5,270	45,291	1,187	37,470
鞍山	8,168	272,407	5,019	261,575
立山	643	16,365	286	10,980
遼陽	28,864	261,249	4,734	180,140
煙臺	4,683	24,916	701	20,155
蘇家屯	1,312	28,829	530	18,074

及　爲　替

振　替　貯　金　（大正十年度）

金		郵便振替貯金			
年度末現在		拂込		拂渡	
口數	金額	度數	金額	度數	金額
43,567	1,952,652	59,723	4,301,984	11,684	4,782,353
541	27,467	317	3,684	6	136
13,338	594,435	17,286	922,228	1,497	213,506
1,811	36,416	1,434	19,093	201	21,798
658	54,215	2,846	754,186	749	343,831
479	29,302	2,226	322,141	572	294,646
559	42,737	1,866	305,650	562	348,337
1,947	105,027	4,262	169,947	855	74,357
622	42,462	1,813	100,139	319	28,782
225	17,834	917	41,503	90	4,643
2,029	127,529	5,119	277,957	664	92,165
946	36,545	7,531	340,959	1,023	240,834
1,659	44,561	2,349	184,918	641	87,225
2,000	117,462	10,042	455,104	575	42,196
733	27,090	493	7,029	29	979
6,708	246,729	10,158	529,399	689	84,310
813	30,235	1,533	34,148	137	6,524
308	15,453	876	20,058	52	967

地名	郵便貯			
	預入		拂戻	
	度數	金額	度數	金額
奉天	45,441	767,789	14,231	656,401
鐵嶺	19,645	246,449	5,647	205,533
開原	6,008	106,770	1,742	86,200
昌圖	1,608	26,916	546	18,739
四平街	8,786	128,963	2,160	104,385
公主嶺	10,053	184,651	3,386	122,427
范家屯	1,212	15,647	547	14,551
長春	23,396	444,281	6,557	469,056
吉林	106,840	386,736	6,219	377,321
新民府	486	5,738	84	4,000
撫順	17,911	534,113	8,477	404,606
本溪湖	4,868	125,397	1,918	93,908
橋頭	2,342	52,767	793	34,311
連山關	5,521	79,194	1,309	70,098
鷄冠山	1,724	54,848	720	44,609
鳳凰城	508	10,631	201	8,070
安東縣	13,296	268,148	5,136	253,211
計	505,155	7,671,425	148,111	6,990,177

金		郵便振替貯金					
年度末現在		拂込		拂渡			
口數	金額	度數	金額	度數	金額		
13,003	523,057	33,052	1,647,049	2,610	429,705		
6,421	229,739	9,170	392,550	804	66,861		
1,779	85,543	6,892	288,339	437	27,523		
557	37,714	1,489	45,679	150	7,632		
1,784	96,635	7,219	249,409	589	49,189		
3,523	172,867	8,073	330,713	777	91,198		
310	8,399	885	25,637	69	3,870		
7,210	289,610	18,289	620,730	1,113	109,795		
2,743	141,969	24,551	669,752	539	88,826		
126	5,910	364	10,143	39	3,326		
7,493	426,494	19,687	754,287	827	55,928		
2,160	135,300	5,210	250,107	532	50,349		
866	52,554	2,106	64,459	200	17,171		
613	28,817	2.684	127,292	412	22,157		
824	45,110	1,605	41,457	45	3,856		
[illegible]24	14,663	868	18,819	93	3,797		
[illegible],816	228,525	16,625	1,874,545	1,656	268,660		
[illegible]33,486	**6,071,057**	**187,535**	**16,265,503**	**31,237**	**6,858,637**		

第十 通貨及金融

地名	郵便振出 內國爲替 口數	金額	外國爲替 口數	金額	合 口數
大連	202,942	6,252,715	213	4,930	203,155
周水子	761	12,897	—	—	761
旅順	35,885	1,023,139	25	780	35,910
柳樹屯	556	12,274	—	—	556
金州	2,772	72,259	—	—	2,772
普蘭店	2,739	79,713	—	—	2,739
貔子窩	2,840	112,000	—	—	2,840
瓦房店	7,263	194,934	—	—	7,263
熊岳城	2,269	67,749	—	—	2,269
蓋平	1,003	25,552	—	—	1,003
大石橋	8,048	229,420	—	—	8,048
牛莊	14,964	422,707	85	6,237	15,049
海城	3,323	106,990	—	—	3,323
鞍山	21,290	550,475	11	220	21,301
立山	940	22,413	—	—	940
遼陽	16,999	471,675	4	32	17,003
煙臺	1,274	29,065	—	—	1,274
蘇家屯	1,484	28,831	—	—	1,484

為替 (大正十年度)

計	拂渡					
	內國為替		外國為替		合計	
金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
6,257,646	93,646	3,184,751	78	4,227	93,724	3,188,978
12,897	133	3,131	—	—	133	3,131
1,023,920	19,543	437,591	14	967	19,557	438,559
12,274	422	13,914	—	—	422	13,914
72,259	1,240	54,575	—	—	1,240	54,575
79,713	1,003	47.141	—	—	1,003	47,141
112,000	1,309	126,031	—	—	1,309	126,031
194,934	2,630	85,864	—	—	2,630	85,864
67,749	1,490	84,519	—	—	1,490	84,519
25,552	569	39,211	—	—	569	39,211
229,420	2,734	100,981	—	—	2,734	100,981
428,945	4,740	212,894	6	256	4,746	213,151
106,990	2.305	89,096	—	—	2,305	89,096
550,696	5.815	191,565	—	—	5,815	191,565
22,413	271	9,666	—	—	271	9,666
471,707	7,163	190,465	—	—	7,163	190,465
29,065	538	11,203	—	—	538	11,203
28,831	306	5,771	—	—	306	5,771

地名	振				出
	內國爲替		外國爲替		合
	口數	金額	口數	金額	口數
奉天	73,778	2,399,723	85	1,952	73,863
鐵嶺	17,180	478,056	1	11	17,181
開原	14,415	470,712	2	12	14,417
昌圖	1,196	25,946	—	—	1,196
四平街	11,771	327,121	—	—	11,771
公主嶺	11,828	331,408	6	55	11,834
范家屯	1,364	38,882	—	—	1,364
長春	39,077	1,279,632	14	629	39,091
吉林	42,736	1,491,387	—	—	42,736
新民府	631	15,550	—	—	631
撫順	43,765	1,176,377	13	485	43,778
本溪湖	9,822	286,117	12	498	9,834
橋頭	2,688	65,605	—	—	2,688
連山關	2,407	59,625	—	—	2,407
鷄冠山	2,722	66,385	—	—	2,722
鳳凰城	1,230	27,562	—	—	1,230
安東縣	41,721	2,100,529	45	1,537	41,766
計	645,683	20,278,479	516	17,378	645,199

計	拂				渡		
	內國爲替		外國爲替		合計		
金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	
2,401,675	32,192	1,465,344	14	504	32,206	1,465,849	
478,067	6,276	147,440	1	36	6,277	147,477	
470,724	2,555	84,649	1	484	2,556	85,133	
25,946	447	12,673	1	950	448	12,674	
327,121	2,753	91,356	—	—	2,753	91,356	
331,463	3,871	131,846	1	6	3,872	131,853	
38,882	711	11,971	—	—	711	11,971	
1,280,262	12,459	518,423	11	609	12,470	519,033	
1,491,387	12,141	1,511,750	—	—	12,161	1,511,750	
15,550	218	29,669	—	—	218	29,669	
1,176,862	9,129	304,587	4	151	9,133	305,739	
236,615	3,351	121,975	—	—	3,351	121,975	
65,605	869	44,522	—	—	869	44,522	
59,625	1,365	71,278	—	—	1,365	71,278	
66,385	609	21,879	—	—	609	21,879	
27,562	621	33,670	—	—	621	33,670	
2,102,067	20,010	933,860	6	943	20,016	934,803	
20,322,809	**255,434**	**10,425,262**	**137**	**4,228**	**255,591**	**10,434,455**	

2 中國側の金融

由來滿蒙の地は經濟的發達幼稚にして中國人の金融は銀行の外票號、錢號、金店等に據る者未だに多く從つて之等舊式金融機關にして輕視すべからざる勢力を有して居るものがある。

銀　行　滿洲に於ける中國の新式銀行は創業日尚淺く何れも日露戰後の事に屬する其種類は純官立あり半官半民のもの又純民間設立に係るもの等あつて何れも其多くは紙幣の發行權を有して居る。

營業科目は一般銀行業務を取扱ふと稱するも事實は貸付と爲替業務を行ふばかりで手形の割引も行はず只徒らに紙幣の亂發をなすのみである

錢　舖　滿蒙に於ける舊式金融機關は前述の如く票莊（送金爲替業店にして多くは錢舖を兼營するも其數少なし）、銀爐（過爐銀の發行貨其他兩替爲替等一般銀行業務をなす店營口に十戸あるが何れも油房又は綿糸布雜貨問屋等を兼營する）。當舖（質屋）及錢舖等あるが其中錢舖が最も多く各都市に殆んど設けられない處はない其本業務は兩替であるが其他下の如き營業をもなして居る。

貸付、兩替、爲替、預金、抹兌、錢舖相互取引

尚東部内蒙古に於ては何れも錢票卽ち帖子を發行して居る。

中國側官公立銀行表

名稱	性質	設立年月	公稱資本	拂込資本	本店所在地
中國銀行	官民合辦	民國 1.8	元 60,000,000	元 1,229,980	北京
交通銀行	同	光緒34.3	15,000,000	7,500,000	同
殖邊銀行	株式組織	民國 3.3	30,000,000		同
東三省官銀號	省立	光緒 31	両 100,000	両 100,000	奉天
奉天興業銀行	官民合辦	民國 3	元 130,000	元 130,000	同
同 商業銀行	株式組織	同 5	2,000,000		同
公濟平市錢號	官民合辦	不詳	3,000,000		同
吉林官銀號	省立	光緒 24.	両 30,000 官帖 吊 1,500,000		吉林

名稱	性質	設立年月	公稱資本	拂込資本	本店所在地
東三省銀銀	官民合辦	民國9. 10	元 8,000,000	4,380,000	哈爾賓
黑龍江官銀號	省立	光緒34.	405,000		齊々哈爾
江省廣	官民合辦	同 31.	500,000		同
熱河興業銀行	同	民國6. 8	1,000,000	250,000	熱河
察哈爾銀行	同	同 8. 12	2,000,000	600,000	張北

中國側民間銀行表

名稱	設立年月	性質	本店及(支店)	資本金	拂込金
廣濟銀行	民國2. 12	有限株式會社	北鎮(營口錦州)	元 200,000	全額
廣益銀行	同 2. 12	同	北鎮	200,000	同
晋升公銀行	同 5. 6	同	法庫	15,000	同
益通銀行	同 8. 1	同	長春	1,000,000	元 250,000
惠華銀行	同 6. 8	同	同	250,000	—
濱江商業銀行	同 7. 6	同	哈爾賓	2,500,000	1,262,250
濱江貯蓄銀行	同 10. 6	同	同	200,000	全額
裕商銀行	同 8. 2	同	同	500,000	—
三信銀行	同 8. 4	同	同	5,000,000	2,500,000
濱江實業銀行	同 8. 4	同	同	250,000	1,000,000
濱江貯蓄銀行	同 1, 3	同	同	留 1,000,000	留 211,000
裕通銀行	同 5. 3	株式組織	伊通	元 44,000	全額
鄉豐長銀行	同 4. 5	同	五常	160,000	同
蔚豐商業銀行	同 5. 5	同	北京(歸綏薩拉齊)	3,000,000	144,900
晋勝銀行	同 2. 1	同	山西陽曲(薩拉齊)	不詳	不詳
浙江興業銀行	光緒31.	同	上海(哈爾賓奉天)	2,500,000	全額
東萊銀行	民國7. 1	同	青島(大連)	200,000	全額

中國側銀行以外

所在地	名稱	業種	公稱資本	
大連	(錢莊) 雙聚福	爲替賣買其他預金貸出		
	(錢莊) 儲蓄公司	同		
	(錢莊) 福和盛	同		
	(錢莊) 祐記錢莊	同		
	(錢莊) 瑞昌錢莊	同		
安東縣	華勝銀號	預金、貸出	小洋錢	420,000元
營口	(銀爐) 公益銀號	過爐銀取扱		
	(銀爐) 永惠興	同		
	(銀爐) 世昌德	同		
	(銀爐) 永茂號	同		
遼陽	遼陽貯蓄會			540,000元
	(錢莊) 公義乾	金銀賣買及交換		
	(錢莊) 大中縉	同		
	(錢莊) 鏹集鐩	同		
	(錢莊) 德成福	同		
奉天	公濟平市錢號			1,000,000元
	(錢舖) 成元會			
	(錢舖) 富森峻			
	(錢舖) 義泰長			
	(錢舖) 錦泉福			
	(錢舖) 淵泉傳			
	(錢舖) 永裕長			
	(錢舖) 豫豐長			
	(錢舖) 隆奉東			
	(錢舖) 萬億恒			
	奉天貯蓄會			

拂込資本		預金		貸出		備考
		最高殘約	元 500,000	最高殘約	元 250,000	總替賣買年額約 元 30,000,000
		同	300,000	同	200,000	同 27,000,000
		同	300,000	同	120,000	同 27,000,000
		同	600,000	同	500,000	同 10,000,000
		同	300,000	同	400,000	同 20,000,000
小洋票	元 105,000	小洋錢	元 73,000	小洋錢	元 93,000	民國九年月創業
		鎮平銀	両 180,000	鎮平銀	両 220,000	
		小洋票	元 10,000	小洋票	元 51,000	
(手許)營平過爐銀	両 500,000	營平過爐銀	両 500,000	營平過爐銀	両 900,000	上欄數字は孰れも大正十年舊年末調査推定額とす
同 同	150,000	同	400,000	同	300,000	
同 同	200,000	營	600,000	同	300,000	
同 同	300,000	同	400,000	同	250,000	
	元 405,000	同	元 300,000		元 700,000	民國八年一月創業
	1,000,000				3,000,000	東三省官銀號の娘銀行なり銅元票を發行し預金を扱はす。三省內各地に支店を置く光緒三二年創立
			170,000		230,000	
			50,000		100,000	奉天に於て所謂錢莊なるものは全然預金貸出を扱はず上欄預金貸出は共に奉天市內のみの勘定
			100,000		160,000	
			70,000		120,000	
			100,000		150,000	
			50,000		100,000	
			40,000		90,000	
			100,000		120,000	
			60,000		70,000	預金は本支店の分を含む吉林に支店を置く
			2,000,000		300,000	

所在地	名稱	業種	公稱資本
鐵嶺	鐵嶺地方儲蓄會	農業金融	元 360,000
	鐵嶺農商儲蓄會	同	360,000
	四民儲蓄會	同	240,000
	鄕民儲蓄會	同	120,000
	銀州儲蓄會	同	50,000
四平街	（錢莊）天合盛	爲替、各種貨幣交換、地金銀賣買	
	義和順	同	
	同慶長	各種貨幣交換	
	德合公	同	
	雙發長	同	
	永慶長	同	
	同合成	同	
	福源盛	同	
	興盛昌	同	
鄭家屯	慶畬銀號	普通銀行業務、質屋	
吉林	吉林儲蓄會		
	（錢莊）功成玉	金爐、生熟金銀の賣買、爲替業竝貸付	奉天小洋票 元 700,000
	天錫公	各種貨幣の先物竝現物取引、爲替業	大洋 1,000,000
	增竹合	同 農產物賣買	同 40,000
	恒竹慶	各種貨幣の賣買、雜貨大豆	同 30,000
	會源河	各種貨幣兩替竝現先物取引	
	義豐錢	同	
	永衡茂	同	
	源竹慶	同 雜貨、特產物	
	德盛興	各種貨幣の兩替、先物現物取引	
	瑞昌錢	同	
	協同久	同	
	協同祥	同	
	大順隆	同 藥房	

拂込資本	預金	貸出	備考
360,000元		(年額) 1,300,000元	(積立金) 90,000元
360,000		同 900,000	同 50,000
150,000		同 250,000	
60,000		同 50,000	
40,000		同 25,000	
小洋 50,000		營業年額小洋 15,000,000	
同 40,000		同 10,000,000	
同 5,000		同 2,000,000	
同 2,000		同 500,000	
同 3,000		同 700,000	
同 5,000		同 2,000,000	
同 3,000		同 650,000	
同 2,000		同 400,000	
同 2,000		同 450,000	私帖子發行高約 1,500,000元
		1,300,000	民國五年五月創立
奉天小洋票 700,000元	0	大洋 600,000元	民國九國八月創立 開業以來五十餘年を經吉林第一流の錢莊なり。爲替取組地天津上海北京滿洲各地

3　滿洲に於ける財界當面の諸問題

1　滿洲中央銀行設置問題

滿洲中央銀行設置の必要は曩に政友會の提唱により議會に現れ、次で大正六年三月第三十七議會に代議士石本鏆太郎氏憲政會の意を得て其の提案を見たが、從來の行懸上政友會も之れに同意し全院一を致以て衆議院を通過したが貴族院の握潰しに會ひ爾來其儘になつて居た。然るに同年十一月勅令第二一七號に依り朝鮮銀行に銀行券の發行權が賦與せられ其發行に係る金券を滿洲の日本政權下に於ける法貨と定められ勅令第二一八號を以て正金銀行の金券發行を廢止せしめた結果鮮銀は滿洲各地に支店を設置し積極的に營業範圍を擴張するに至つた。次で東洋拓殖會社も亦滿洲に進出し來り拓殖資金を融通供給し正金銀行其の他の既設銀行の活動と相俟つて滿洲に於ける金融機關は表面上稍完備に近づいた觀を呈したので本問題は自然一時立消の姿となつた。

然ども前記三會社は何れも組織、權限、資力並に其方針に於て一般の期待に副ひ難き點あり加ふるに近時滿洲財界は頓に著しき發達を遂げ、對支對露の取引は勿論歐米南洋方面との貿易も漸次擡頭し來つて爲替關係は複雜を極めて居る。且つ又滿洲に於ける通貨は金本位、銀本位、銅本位、鑄造地金等實に多種多樣に亙つて市場に流通し頗る繁雜を極め其の統一を欠いて居る。ために滿洲に於ける富源を開發し邦商の勢力を伸張し、我經濟的發展の基礎を確立するには先づ滿洲中央銀行を創立し金券銀券を發行して通貨の統一、金融の圓滑を計り、拓殖資金を潤澤にする必要が漸く一般人士に諒解されるに至つた斯くして滿洲中央銀行設立問題は朝野の有力者間に論議せらるるに至つたが一方大正十年三月第四十四議會に於て政友會代議士吉野小一郎、松野鶴平氏等が所謂滿蒙經營に關する金融機關たる正金、鮮銀、東拓三者の各缺陷を指摘し政府は此際實状に適應せしむべき滿蒙本位の中樞金融機關を設立すること に考慮の要を認めざるやとの質問を發した。之れに對して政府は滿蒙に於ては金融機關として既に前記三社各活動し相當効果を擧げつ ゝ あるから之等既設金融機關をして充分に其職能を發揮せしめ、以て滿蒙の金融需要に應ぜしむれば敢へて滿蒙本位の中樞機關新設の必要を認めない旨答辯した

之れがため爾來幾分氣勢をそがれた傾きであつたが多年銀行經營に携

はり斯界の權威者たる早川千吉郎氏が滿鐵社長に就任するや此點を洞察し熱心なる本問題の唱道者となつて之が創設の抱負を有したが未具體的成案の發表を見ずして其の訃に接したのは遺憾である。然れ共今日では夫れが爲めに頓挫を來すものでなく今や全滿洲の輿論と化し在滿有力者に依て中央要路に向ひ著々交渉の步を進めつゝあるから之が實現は要するに唯時日の問題であるのみである。

2 大連に於ける金銀建値問題の經過

大連取引所の賣買建値は從來圓銀建を以て成立して來た。然るに關東廳は大正十年四月十六日告示第三十三號を以て大正十年十月十四日以後の受渡取引より金建に變更實施する旨公表するや大連の日支當業者は意外にも熾烈なる反對を惹起するに至り金銀兩派の贊否論內外に起つて囂々を極め遂に華商側のボイコツトに依つて特產並に錢鈔兩取引市場は一時休業の已むを得ざるに立至り關係諸株式は大暴落を見る等經濟界は空前の恐慌を現出した。

元來大連取引所の建値問題は今日に始まつたものではない。大正二年關東都督府が大連取引所を設置するや最初金建制度の規定であつた。然るに當時華商側に於ては飽迄圓銀建を主張したので遂に都督府は其の府令を改め當分の間銀建制を採用する事に讓步した。而して爾來八年間圓銀建制度を實施して今日に至つたのである。然るに大連經濟界の推移は異常なる變化を示し關東廳當局をして最早金建を實施するも遲からずと思慮せしめたので取引所設立の當初に於て規定したる金建制度を實現したのである。今金銀兩派の主張する處を見るに其主要點は大體左の如くである。

1 金建論の主要點 （イ）金券普及の結果金融市場主なる通貨が圓銀券より圓金券に遷りたること （ロ）圓銀券が法貨たる性質を失ひたること （ハ）大連を中心とせる商工業資金は圓金に移れること （ニ）金資金供給機關の完成したること （ホ）中國人の金資金利用の增進したること （ヘ）金建に據つて大連對日本貿易は之を國內貿易と同一に取扱へ得ること （ト）豐富なる輸出資金の供給を受くるに至るべきこと （チ）滿洲幣制上內地との經濟的連盟を完ふし得べきこと （リ）滿洲を經濟的に本部中國より分離して內地に連絡せしめ得ること。

2 銀建論の主要點 （イ）中國在滿商民は日本とは資金關係少く山東

又は南支方面との經濟關係甚だ密接である且つ其貿易額も總額の三、四割を算し對金貨國貿易を調節するに重要の地位にあること（ロ）金銀相場變動の危險は華商の負擔である從つて之れが危險を豫防すべき機關の利用が不充分であるから金銀の切換に際し取引上大に不安を増す慢あること（ハ）南部中國への輸出取引は金建に據れば二回の金銀切換を要し從つて生產地との連絡は一々之を切替採算する不便あり其結果大連以外に數箇の中心市を現出し大連は單に通過港となる慢がある（ニ）華商は農產物を提供し日商は資金を供給するの地位にある今日金銀爲替決濟は資金供給者に俟たなければならない從つて取引所建値を金建とせば資力なき華商は爲替決濟上大なる不便に陷り取引困難となること（ホ）爲替決濟上必要なる資金に乏しき華商取引人は金建實施の結果爲替變動の危險は自ら之を負擔するか若は奥地委託者に歸せねばならぬ從つて之がため損害を蒙るに至らば委託者は大連取引所に賣買することを避け奥地に於て取引するに至るであろう。

以上兩論者の說く處各相當理由の存する處であるけれども一概に之れが贊否を決し難いものがある。卽ち兩者の主張は多く豫想論に出發して未だ之を肯定する事實上の結果を見て居ない。唯だ官憲が金建の實施を發令するや當業者の事情如何を顧みず高壓的に之れが執行を急いだのは對者たる銀建派をして益々反感を釀した憂がある而して引いて一般經濟反界に惡影響を齎らした事も事實である。斯くて十年十月十四日より實施さるべき金建取引は同年六月十五日に於て事實上の實行期に入つたけれど市場は全く取引なく商況不振の狀態を呈した。之れに加ふるに華商側の反對氣勢は漸く全滿洲に彌漫するの傾向あり奉天商總會は金票問題に對する決議を東三省各商總會其他に祕密傳達をなせる事實がある。然れども大勢は金建制度の動かすべからざるを見るや銀建派は當局に向つて金銀兩建請願書を提出して過渡期の困難を救はんと企てたけれども認容さるゝ處とはならなかつた。斯の如くして人心稍々緩和し九月六日大連取引所に始めて金建に依る特產の先物賣買が開始され次いで錢鈔市場に於ても先物取引を見るに至つた。

要するに建值問題は事實の問題にして議論ではない結果に徵して其好ならば何にも當業者等の反對はない譯である從つて之れを暫らく時間の經過に俟たねばならぬ畢竟するに現在は試驗的の狀態にあると謂はねばならない。

第十一　貿　　易

(一)　南滿洲の貿易

1　大正十年度貿易の概況

大正十年度に於ける滿洲輸出入貿易の總額は376,549,883海關兩で前年に比し13,755,282海關兩の增加である。之れを更に輸出入各別に見ると輸入は 182,474,806 海關兩、輸出は 194,075,077 兩で前年に比し前者は8,638,513海關兩、後者は5,116,769海關兩の增加を示して居る。如斯金額に於ては九年度より增加を示して居るが之れ銀價格の下落と輸出入品市價騰貴の結果であつて大正十年度の滿洲貿易は大體に於て大正九年突發せる財界不況の影響を受け不振であつた。卽ち今兩年度の海關兩貿易額を金換算し之れを示せば下の如くで反つて約三割の減少を示して居る。

年　　度	輸移入額	輸移出額	貿易總額
	円	円	円
大正九年	413,730,377	449,720,773	863,451,150
大正十年	286,485,445	304,697,871	591,183,316
比較減	127,244,932	145,022,902	272,267,834

備考　海關兩と日本金貨の平均相場は大正九年—2,38円大正十年—1,57円である。

輸移入品の主なるものは綿織物、綿絲物、煙草、機械器具、鐵及鋼、麻袋及其他袋類、砂糖、石油、紙類、米、衣服及附屬品、麥粉、染料及塗料、酒類及其他飲料の順位で輸移出品は豆粕、大豆、豆油、小麥、柞蠶絲、高粱、石炭及コークス、木材、金屬及金物、玉蜀黍、粟、繭、瓜子胡麻の順位である。

尙南滿四港(大連、營口、安東、大東溝)と主なる相手國とを見るに日本及朝鮮は總貿易額の四割八分を占め第一位で以下支那、米國、香港、英國の順位で然も日本及中國以外の諸國は航路並に距離の關係で片貿易の觀がある。卽ち其金額を見るに下の如くである。

對手國	輸移入額	輸移出額	總額
		海關兩	海關兩
日本	71,559,487	89,774,085	161,333,572
朝鮮	6,458,549	13,063,829	19,522,378
計	**87,018,036**	**102,837,914**	**180,855,950**
中國	77,698,294	57,506,854	135,205,148
北米合衆國	12,512,343	2,822,653	15,334,996
香港	6,996,009	3,439,334	10,435,343
英吉利	2,017,642	4,418,839	6,436,481

南滿洲四港輸出入

		大正六年	大正七年
汽船貿易	外國品		
	外國より輸入額	91,623,477	93,459,477
	中國より移入額	15,470,697	14,403,379
	計	**107,094,174**	**107,863,070**
	外國へ再輸出額	2,375,159	4,620,847
	中國へ再移出額	2,768,266	3,412,799
	計	**5,143,425**	**8,033,646**
	純輸移入額	101,950,749	99,829,424
	中國品		
	中國より移入額	23,635,514	33,762,374
	外國へ再輸出額	4,560,305	8,644,079
	中國へ再移出額	130,295	154,401
	計	**4,690,600**	**8,798,480**
	純移入額	18,944,914	24,964,894
	外國へ輸出額	59,091,251	88,371,415
	中國へ移出額	27,717,129	22,866,338
	計	**86,808,380**	**111,237,753**
汽船貿易	輸移入額	130,729,688	141,626,444
	輸移入額	86,808,380	111,237,753
	再輸移出額	9,834,025	16,832,126
	計	**227,372,093**	**269,696,323**
戎克貿易	輸移入額	8,273,359	10,534,416
	輸移出再移出額	8,699,722	12,226,298
	計	**16,973,081**	**22,760,714**
合計	輸移入額	**139,003,047**	**152,160,860**
	輸移出及再輸移出額	**105,342,127**	**140,296,177**
	計	**244,345,174**	**292,457,037**

品價額累年比較　價格單位　海關兩

大正八年	大正九年	大正十年	前年との比較増減
126,910,158	109,831,467	104,747,355	(−) 5,084,112
16,814,766	19,210,706	30,688,332	(+) 11,473,626
143,724,024	**129,046,173**	**135,435,687**	(+) **6,389,514**
7,808,490	8,100,330	6,425,365	(−) 1,674,865
3,153,367	2,845,563	1,729,660	(−) 1,115,903
10,961,857	**10,945,793**	**8,155,025**	(−) **2,790,768**
132,763,067	118,100,380	127,280,662	(+) 9,180,282
41,100,994	33,383,733	37,299,102	(+) 3,915,369
11,545,873	3,164,942	4,096,479	(+) 931,537
500,106	1,445,551	214,261	(−) 1,231,290
12,045,979	**4,610,493**	**4,310,740**	(−) **299,753**
32,055,015	28,773,240	32,988,362	(+) 4,215,122
128,454,373	130,576,731	126,046,379	(−) 4,530,352
20,256,508	33,633,887	44,839,790	(+) 11,205,903
148,710,876	**164,210,618**	**170,886,169**	(+) **6,675,551**
187,825,918	162,429,906	172,734,789	(+) 10,304,883
148,710,876	164,210,618	170,886,169	(+) 6,675,551
23,007,836	15,556,286	12,465,765	(−) 3,090,512
359,544,630	**342,196,810**	**356,086,723**	(+) **13,889,913**
11,282,544	11,406,387	9,740,017	(−) 1,666,370
6,222,975	9,191,404	10,723,143	(+) 1,531,739
17,505,519	**20,597,791**	**20,463,160**	(−) **134,631**
199,108,462	**173,836,298**	**182,474,806**	(+) **8,638,513**
177,941,687	**188,958,308**	**194,075,077**	**5,116,769**
377,050,149	**362,794,601**	**376,549,883**	**13,755,282**

南滿洲四港輸移出品

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
大豆	擔	4,070,176	9,665,221	5,987,901	15,193,765
其他豆類	"	709,649	1,820,285	1,008,365	2,413,029
玉蜀黍	"	832,552	1,580,179	866,651	1,658,907
高粱	"	3,618,259	5,628,967	3,043,609	5,728,335
粟	"	505,480	1,422,772	754,528	2,227,326
小麥	"	186,077	443,539	488,265	1,370,790
其他穀物	"	35,736	96,091	97,861	282,084
胡麻	"	34,717	175,526	13,768	82,513
瓜子	"	58,194	470,928	37,043	327,377
落花生	"	17,034	64,457	16,391	64,282
其他種子	"	370,090	1,148,313	233,614	800,803
野菜及果物	"	6,516	51,936	12,676	60,252
麥粉	"	163,107	693,925	143,872	699,438
素麵	"	818	7,530	1,504	12,521
鷄卵	千箇	25	190	71	569
水產物	擔	39,119	260,631	34,872	220,914
支那酒	"	51,535	438,621	62,341	548,845
煙草		—	719,843	—	646,288
茶	"	69	3,216	45	1,881
其他飮食料品		—	748,108	—	943,869
豆粕	"	18,154,763	29,293,014	19,651,002	36,471,470
豆油	"	1,889,557	18,342,091	2,308,869	25,611,788
落花生油	"	20	205	3,180	33,390
桐油	"	34	436	80	1,031
其他油脂	"	53,746	531,742	69,223	720,975
苧麻	"	17,757	114,164	9,504	82,141
棉花	"	1,360	35,532	809	21,826
麥稈眞田	"	1	32	4	86

數量及價額累年比較　　　價額單位　海關兩

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
10,365,498	29,508,001	9,830,903	28,305,271	10,081,590	34,074,381
1,272,221	3,335,790	564,997	1,713,166	1,034,738	3,052,476
941,673	1,534,957	898,774	2,154,842	1,273,992	2,744,197
1,275,932	1,957,056	2,616,754	5,734,500	3,957,808	8,326,085
2,487,183	7,408,908	2,207,796	7,302,429	838,553	2,493,751
1,092,093	2,933,171	6,845,325	22,753,876	3,633,878	12,722,925
325,588	840,556	196,802	483,638	148,109	353,118
220,014	1,331,990	303,675	1,824,530	168,962	1,120,777
71,164	564,287	190,924	1,139,256	241,871	1,323,801
60,927	250,778	114,370	546,874	163,385	612,793
513,545	1,801,776	677,884	2,125,395	566,688	1,537,301
9,066	48,711	13,541	140,223	11,086	123,395
142,261	740,289	179,880	866,732	253,685	1,101,365
1,761	15,546	5,130	39,524	2,198	19,837
36	349	1,055	10,628	2,571	37,661
24,771	166,851	1,625	158,576	41,164	317,376
59,893	512,431	53,264	533,635	64,866	574,827
—	349,554	—	718,660	—	554,176
328	7,755	36	1,417	371	11,101
—	1,523,576	—	805,634	—	838,296
22,030,361	48,164,570	22,408,082	49,158,831	23,559,121	53,679,565
2,266,011	20,212,214	2,081,894	17,847,556	1,954,986	16,001,920
11,928	101,151	89	1,109	1,374	9,115
187	2,425	42	534	40	351
84,169	754,157	69,563	560,635	50,315	322,415
22,507	164,242	10,878	74,922	6,070	48,462
1,814	49,520	523	12,732	4,096	74,314
—	—	—	—	—	—

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
繭	擔	131,317	2,070,167	191,964	3,088,994
柞蠶絲	〃	16,984	4,596,799	19,358	9,739,621
生絲	〃	1	300	11	4,675
屑絹絲	〃	9,241	377,411	15,686	836,127
絹製品	〃	—	64,169	—	75,568
豚毛	〃	4,616	397,858	3,187	229,031
羊毛及其他毛	〃	27,200	874,900	22,473	580,839
皮革		—	788,613	—	960,685
角牙	擔	1,667	7,530	1,602	21,561
獸骨	〃	120,357	148,474	127,035	128,492
家畜	頭	3,423	29,649	4,150	35,218
家禽	羽	72,621	2,772	68,665	1,910
獸脂		69	787	1,639	21,229
木材	擔	—	1,528,552	—	2,209,318
薪及木炭		17,911	13,677	9,485	10,635
石炭及コークス	擔	1,089,238	4,594,222	996,062	5,490,097
其他鑛產品	英噸	—	30,348	—	185,892
藥品及藥材		—	820,173	—	699,225
染料塗料		—	16,663	—	7,272
人蔘	斤	471,054	518,717	256,096	388,223
金屬及金物		—	2,9[illegible]2,960	—	4,461,147
其他雜品		—	1,484,335	—	1,813,701
小包郵便物		—	26,150	—	85,773
輸移出計		—	**95,095,720**	—	**123,251,728**
再輸移出 中國品		—	4,691,200	—	8,798,480
再輸移出 外國品		—	5,555,207	—	8,245,960
計		—	**10,246,407**	—	**17,044,449**
合計		—	**105 432,127**	—	**140,296,177**

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
153,312	2,705,584	83,196	2,119,148	100,850	2,250,712
24,905	6,697,294	20,136	6,250,691	27,944	13,077,315
4	1,411	—	—	—	—
23,893	1,208,374	17,200	1,496,457	—	812,543
—	196,573	—	107,898	9,649	72,679
2,562	178,853	3,300	280,830	3,275	321,694
39,066	1,237,719	14,248	391,851	9,412	259 051
—	1,413,043	—	774,200	—	598,806
559	1,761	1,262	36,087	—	—
177,777	220,602	114,904	166,311	147,516	169,365
6,320	47,369	5,004	41,343	4,149	33,256
92,300	6,359	81,854	3,410	55,070	7,834
1,235	15,503	422	5,304	2,208	23,962
—	2,891,740	—	3,174,010	—	5,212,318
10,038	11,537	4,618	7,508	83,250	112,027
665,825	3,744,340	861,012	7,006,789	1,224,602	8,034,499
—	237,629	—	195,481	—	240,735
—	750,068	—	574,591	—	773,234
361,107	38,579	—	20,231	—	183,984
—	529,076	260,506	403,329	246,922	535,533
—	5,014,976	—	2,036,060	—	3,530,333
—	2,487,094	—	2,332,274	—	2,272,911
—	569,223	—	595,740	—	509,957
—	**154,467,324**	—	**173,043,731**	—	**181,113,520**
—	12,045,979	—	4,610,493	—	4,310,740
—	11,428,384	—	11,304,084	—	8,650,817
—	**23,474,363**	—	**15,914,577**	—	**12,961,557**
—	**177,941,687**	—	**188,958,308**	—	**194,075,077**

南滿洲四港輸移入品

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
綿織地		—	29,491 269	—	35,517,976
毛及毛綿交織物		—	2,776,798	—	1,935,544
絹及絹綿交織物		—	2,808,769	—	2,218,724
其他雜織物		—	1,651,325	—	1,764,477
綿縫絲	擔	—	461,345	—	678,110
綿織絲	〃	210,182	7,147,254	170,942	8,212,062
棉花	〃	31,183	824,045	44,261	1,248,509
繭蠶絲及絹製品		—	159,742	—	1,072,970
其他絲縷及材料		—	1,094,281	—	707,769
衣服及附屬品		—	7,027,939	—	5,589,610
米	擔	639,747	2,556,447	739,974	3,251,631
其他穀物及種子	〃	1,187,916	3,008,652	548,663	1,517,722
麥粉	〃	607,957	2,290,372	813,550	3,538,641
野菜及果物	〃	303,394	917,863	355,606	973,810
砂糖	〃	793,424	5,133,224	1,126,427	7,620,431
味噌及醬油	〃	29,827	142,575	29,305	153,199
水產物		182,303	1,113,486	240,407	1,317,164
其他食料品	擔	—	4,678,662	—	2,770,539
茶		54,970	1,997,916	100,760	3,562,740
酒類及其他飲料		—	1,280,519	—	1,551,593
煙草		—	6,741,407	—	6,328,795
卷煙草製造材料		—	254,356	—	437,273
家具		—	614,135	—	712,595
藥品及藥材		—	3,374,301	—	2,270,946
染料及塗料		—	2,345,685	—	1,031,063
石油	米哦	16,339,643	4,414,413	8,486,636	2,365,983
機械油	哦	1,019,436	484,548	1,970,899	777,846

數量及價額累年比較

價額單位 海關兩

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
—	54,067,693	—	50,079,543	—	46,347,826
—	2,174,720	—	2,304,106	—	2,259,555
—	3,061,998	—	2,150,574	—	2,232,836
—	3,112,325	—	2,065,244	—	2,745,510
—	638,258	—	350,772	—	510,910
257,396	13,255,346	232,609	13,365,971	334,190	16,659,074
48,576	1,363,010	59,164	1,328,076	55,175	1,380,534
—	1,084,802	—	763,752	—	822,640
—	683,467	—	342,797	—	687,752
—	5,950,760	—	3,886,604	—	3,720,015
1,521,300	6,766,683	757,489	3,552,429	778,548	3,963,247
863,413	2,282,209	696,459	2,061,931	379,534	1,118,166
933,019	3,977,825	451,404	2,170,064	734,980	3,515,472
408,158	1,160,985	568,817	1,606,816	481,389	1,909,784
740,133	4,890,816	385,721	4,134,098	808,261	6,974,937
24,464	149,741	28,531	258,083	22,657	239,262
323,609	1,709,900	386,690	2,260,139	284,893	2,018,531
—	2,912,246	—	2,212,992	—	2,575,709
95,592	2,819,823	60,640	2,760,385	74,318	2,255,120
—	2,232,676	—	2,522,481	—	2,668,026
—	7,252,893	—	7,331,028	—	9,201,961
—	504,137	—	394,197	—	450,480
—	1,157,731	—	1,226,426	—	1,749,978
—	2,718,705	—	2,311,175	—	2,569,900
—	1,094,669	—	2,381,743	—	3,382,664
18,793,910	5,278,713	17,049,042	4,908,533	14,406,060	5,116,432
1,311 692	619,246	1,405,586	576,726	984,526	641,131

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
其他油脂		—	2,994,181	—	5,988,961
蠟燭	擔	23,448	445,134	13,070	249,367
蠟燭製造材料		—	1,339,044	—	52,310
石鹼		—	542,601	—	456,734
燐寸	グロス	1,729,327	517,820	1,503,777	452,553
燐寸製造材料		—	61,478	—	303,011
薪及木炭	擔	153,790	72,857	151,772	96,982
石炭及コークス	英噸	10,123	76,789	95,066	541,834
鐵及鋼	擔	1,077,962	7,063,882	1,182,320	11,220,193
其他金屬	擔	609,856	1,604,793	467,750	1,853,924
金物		—	2,061,444	—	2,141,606
機械器具		—	2,617,704	—	5,175,067
セメント	擔	360,775	288,272	514,108	561,312
木材		—	1,654,350	—	2,368,969
建築材料		—	203,390	—	347,284
鐵道材料		—	13,990	—	300,499
電氣材料		—	1,503,308	—	1,852,074
美術及化粧用品		—	492,048	—	544,716
皮革毛骨角牙類		—	5,736,273	—	3,307,828
紙類		—	3,955,067	—	4,293,534
圖書及文具		—	859,507	—	953,108
硝子板及硝子器		—	343,409	—	623,009
陶磁器及土器	枚	—	1,045,704	—	1,196,483
麻袋及其他袋類		28,863,849	4,157,312	—	2,709,901
其他雜品		—	4,349,829	22,129,537	5,578,764
小包郵便物		—	183,533	—	253,085
合計		—	139,003,047	—	152,160,860

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
—	3,917,342	—	824,536	—	782,790
12,326	229,552	11,896	226,409	9.149	172,663
—	460,504	—	302,425	—	324,417
—	501,460	—	495,496	—	632,763
5,070,327	1,397,712	1,382,535	337,211	1,648,481	386,408
—	78,939	—	165,553	—	114,566
155,176	96,883	110,061	66,562	62,239	51,504
302,805	2,149,134	283,357	3,015,128	63,149	686,460
1,738,273	10,300,601	1,012,111	7,015,125	1,174,485	7,911,467
820,043	3,281,448	573,308	3,410,887	246,048	2,091,777
—	1,675,303	—	1,248,780	—	1,462,695
—	10,724,715	—	6,880,056	—	8,107,307
955,894	1,032,249	714,552	703,335	570,229	808,768
—	2,950,502	—	3,919,103	—	2,450,935
—	682,528	—	712,011	—	708,955
—	121.858	—	114,174	—	260,939
—	2,119,579	—	1,983,314	—	2,252,806
—	657,508	—	697,156	—	1,006,663
—	2,347,279	—	2,239,266	—	2,274,208
—	5,622,978	—	4 312,351	—	4,806,490
—	1,152,555	—	1,368,443	—	1,502,148
—	864,312	—	908,819	—	938,743
—	893,217	—	1,193,324	—	1,304,138
33,304,425	5,692,782	36,515,260	59,24,908	50,041,638	7,383,871
—	6.598,577	—	6,106,328	—	5,833,481
—	367,811	—	349,324	—	460,383
—	**199,108,462**	—	**173,836,293**	—	**182,474,806**

大正十年南滿洲四港

品別	數量單位	外 日本 數量	價額
大豆	擔	3,403,947	11,698,545
其他豆類	〃	606,412	1,745,626
玉蜀黍	〃	37,027	83,509
高粱	〃	244,022	516,204
粟	〃	32,710	98,233
小麥	〃	1,121,254	3,938,638
其他穀物	〃	21,076	36,498
胡麻	〃	95,648	621,779
瓜子	〃	5,979	31,868
落花生	〃	8,895	31,943
其他種子	〃	411,062	1,197,195
野菜及果物	〃	1,047	4,176
麥粉	〃	45,735	216,329
素麵	〃	346	2,688
鷄卵	千箇	2,265	32,959
水產物	擔	1,232	9,688
支那酒	〃	43	412
煙草		—	148,094
茶	擔	91	2,881
其他飲食料品		—	659,155
豆粕	〃	20,293,109	45,742,382
豆油	〃	51,078	426,912
落花生油	〃	28	208
桐油	〃	—	—
其他油脂	〃	5,016	34,849
苧麻	〃	44	269
棉花	〃	71	1,810
麥稈眞田	〃	—	—

輸移出品數量及價格 (其二) 價額單位海關兩

朝鮮 數量	朝鮮 價額	其他亞細亞國 數量	其他亞細亞國 價額
2,949	9,659	1,395,490	4,826,524
26,229	78,325	67,391	226,800
106	222	—	—
583	1,174	—	—
125,707	377,121	—	—
30,719	128,320	92,038	321,213
20,814	52,867	1,330	8,416
43,341	309,627	—	—
18	118	106,120	571,652
2,912	9,606	123,229	461,924
29,016	67,630	1,068	4,727
1,716	7,679	362	16,435
80,041	458,772	—	—
720	8,635	871	6,271
95	1,362	—	—
306	3,712	46	948
581	5,728	867	8,257
—	76,741	—	2,624
19	644	—	—
—	93,410	—	12,213
245,341	610,459	—	—
5,053	34,376	6,009	49,091
—	—	—	—
16	172	—	—
108	1,049	239	1,634
475	6,299	—	—
738	15,692	—	—
—	—	—	—

品名	數量單位	外 日本 數量	外 日本 價額
繭	〃	243	9,185
柞蠶絲	〃	19,948	10,575,645
生絲	〃	—	—
層絹絲	〃	1,012	96,140
絹製品	〃	—	4,981
豚毛	〃	—	—
羊毛及其他毛	〃	2,199	57,882
皮革		—	197,159
角牙	擔	—	—
獸骨	〃	141,748	161,187
家畜	頭	573	5,138
家禽	羽	54,352	7,687
獸脂	擔	2,121	22,942
木材		—	564,713
薪及木炭	擔	11,421	21,414
石炭及コークス	英噸	435,375	2,616,515
其他鑛產品		—	221,983
藥品及藥材		—	155,094
染料及塗料		—	12,357
人蔘	斤	613	905
金屬及金物		—	2,990,863
其他雜品		—	1,042,009
小包郵便物		—	498,321
輸移出計		—	**86,535,877**
再輸移出 支那品		—	879,715
再輸移出 外國品		—	2,358,674
計		—	**3,238,389**
合計		—	**89,774,266**

國			
朝鮮		其他	
數量	價額	數量	價額
—	—	—	—
24	8,400	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	64,082	—	—
—	—	—	—
280	13,255	—	—
—	55,848	—	—
—	—	—	—
5,734	7,998	—	—
897	7,511	—	—
718	147	—	—
18	273	—	—
—	1,935,712	—	1,761
59,973	69,987	—	—
316,780	2,505,320	188,924	1,136,148
—	10,879	—	—
—	44,741	—	172,744
—	23,410	—	136
5,050	7,103	55,734	107,091
—	205,139	—	—
—	269,571	—	67,931
—	18,962	—	593
—	**7,607,737**	—	**8,105,186**
—	1,826,520	—	18
—	3,629,391	—	94,465
—	**5,455,911**	—	**94,483**
—	**13,063,648**	—	**8,199,619**

品名	數量單位	外 歐羅巴其他 數量	價額	亞米利 數量
大豆	擔	838,548	2,918,157	683,565
其他豆類	〃	—	—	300
玉蜀黍	〃	144	325	—
高粱	〃	—	—	3,449
粟	〃	—	—	834
小麥	〃	447,536	1,561,901	1,876,213
其他穀物	〃	53,275	120,402	769
胡麻	〃	8,410	55,580	—
瓜子	〃	—	—	—
落花生	〃	—	—	—
其他種子	〃	97,579	207,035	27,447
野菜及果物	〃	—	—	—
麥粉	〃	7,446	35,220	2,043
素麵	〃	84	397	1
鷄卵	千箇	—	—	—
水產物	擔	—	—	—
支那酒	〃	—	—	—
煙草		—	—	—
茶	擔	—	—	239
其他飮食料品		—	513	—
豆粕	擔	—	—	116,661
豆油	〃	604,119	5,135,012	422,475
落花生油	〃	1,346	8,907	—
桐油	〃	—	—	—
其他油脂	〃	1,470	8,907	570
苧麻	〃	—	—	—
棉花	〃	—	—	—
麥稈眞田	〃	—	—	—

輸移入品數量及價格　（其　二）

國 加其他・	支那向 （支那諸港）		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
2,378,806	3,757,091	12,242,690	10,081,590	34,074,381
750	334,376	1,000,975	1,034,738	3,052,476
—	1,236,715	2,660,141	1.273,992	2,744,197
7,243	3,709,754	7,801,464	3,957.808	8,326,085
2,502	679,302	2,015,895	838,553	2,493,751
6,547,983	66,118	229,870	3,633,878	12,727,925
1,726	50,845	133,206	148,109	353,118
—	21,563	134,791	168,962	1,102,777
—	129,754	720,163	246,871	1,323,801
—	28,349	109,320	163,385	612,793
56,425	516	4,289	566,688	1,537,301
—	7,961	95,105	11,086	123,395
9,663	118,336	380,987	353,685	1,101,365
7	260	2,236	2,198	19,337
—	211	3,340	2,571	37,661
—	39,580	303,028	41,164	317,376
—	63,375	560,430	64,366	574,827
—	—	326,717	—	554,176
6,881	22	695	371	11,101
456	—	67,932	—	838,296
256,654	2,904,010	7,070,070	23,559,121	53,679,565
3,591.037	866,252	6,765,492	1,954,986	16,001,920
—	—	—	1,374	9,115
—	24	179	40	351
3,762	42,912	274,645	50,315	322,415
—	5,551	41,894	6,070	48,462
—	3,287	56,812	4,096	74,314
—	—	—	—	—

品名	數量價額	外		
		歐羅巴其他		亞米利
		數量	價額	數量
繭	〃	—	—	—
柞蠶絲	〃	—	—	9
生絲	〃	—	—	—
屑絹綿	〃	—	—	—
絹製品		—	—	—
豚毛	擔	426	32,950	2,373
羊毛及其他毛	〃	940	33,847	933
皮革		—	30,937	—
角牙	擔	—	—	—
獸骨	〃	—	—	—
家畜	頭	—	—	—
家禽	羽	—	—	—
獸脂	擔	—	—	—
木材		—	254	—
薪及木炭	噸	—	—	—
石炭及コークス	英噸	15,885	47,412	19,478
其他鑛產品		—	115	—
藥品及藥材		—	—	—
染料及塗料		—	—	—
人蔘	斤	—	—	—
金屬及金物		—	—	—
其他雜品		—	103,393	—
小包郵便物		—	471	—
輸移出計		—	10,350,818	—
再輸移出 支那品		—	351,756	—
再輸移出 外國品		—	120,273	—
計		—	616,685	—
合計		—	11,067,363	—

向 加其他	支那向 (支那諸港)		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
—	100,607	2,241,527	100,850	2,250,712
2,358	7,963	2,490,912	27,944	13,077,315
—	—	—	—	—
—	8,637	716,394	9,649	812,534
—	—	3,616	—	72,679
243,105	476	45,639	3,275	321,694
34,360	5,132	119,705	9,412	259,051
118,789	—	196,073	—	598,806
—	—	—	—	—
—	34	180	147,516	169,365
—	2,679	20,607	4,149	33,256
—	—	—	55,070	7,834
—	69	747	2,208	23,962
—	—	2,709,878	—	5,212,318
—	11,856	20,626	83,250	112,027
116,868	248,160	1,564,338	1,224,602	8,034,499
117	—	7,642	—	240,735
19	—	400,636	—	773,234
—	—	148,081	—	183,984
—	185,525	320,434	246,922	535,533
66,356	—	267,975	—	3,530,333
242	—	789,765	—	2,272,911
700	—	—	—	509,957
13,446,811	—	**55,067,141**	—	**181,113,520**
924,971	—	214,261	—	4,310,740
91,401	—	2,225,452	—	8,650,817
1,016,376	—	**2,439,713**	—	**12,961,557**
14,463,187	—	**57,506,854**	—	**194,075,077**

品名	數量單位	外 日本 數量	外 日本 價額	外 朝鮮 數量
綿織物		—	22,994,838	—
毛及毛綿交織物		—	787,836	—
絹及絹綿交織物		—	316,557	—
其他雜織物		—	264,463	—
綿縫絲		—	196,694	—
綿織絲	擔	177,538	8,539,929	308
棉花	〃	998	11,512	78
繭蠶絲及絹及製品		—	57,026	—
其他絲縷及材料		—	335,955	—
衣服及附屬品		—	2,981,663	—
米	擔	29,320	242,107	317,905
其他穀物及種子	〃	10,586	65,850	60,870
麥粉	〃	14,214	85,017	2,214
野菜及果物	〃	154,102	856,860	13,391
砂糖	〃	240,663	2,313,907	175
味噌及醬油	〃	18,431	205,050	4,104
水產物	〃	167,577	1,193,922	34,740
其他食料品		—	728,883	—
茶		2,392	94,842	17
酒類及其他飲料		—	1,832,931	—
煙草		—	209,374	—
卷煙草製造材料		—	287,818	—
家具		—	1,119,416	—
藥品及藥材		—	1,405,706	—
染料及塗料		—	343,383	—
石油	米吼	771,365	373,403	—
機械油	吼	488,324	254,218	2,356

輸移入品數量及價格　（其一）　價額單位　海關両

國			品	
鮮	支那		其他亞細亞	
價額	數量	價額	數量	價額
86,449	—	9,605,521	—	73,466
20,901	—	1,179,405	—	36,334
6,263	—	16,828	—	1,308
20,868	—	819,328	—	2,615
4,316	—	252,132	—	9,328
16,189	35,928	2,143,164	—	—
743	38	366	—	—
8,801	—	10,945	—	—
1,066	—	17,168	—	107,299
25,199	—	116,174	—	602,550
1,970,880	8,995	51,706	—	—
131,434	213	791	—	—
10,009	9,873	30,933	—	—
101,992	3,992	39,821	—	—
2,859	79,254	762,900	469,157	3,801,116
33,883	—	—	—	—
286,051	11,901	97,860	1,211	43,583
19,808	—	219,467	—	68,466
483	4,492	47,494	5,801	76,775
74,517	—	416,272	—	4,962
194,492	—	5,144,862	—	33,341
17,384	—	79,517	—	—
6,243	—	176,529	—	4,277
47,033	—	197,503	—	176,718
45,624	—	2,712,819	—	142,949
—	3,252,705	1,043,352	—	—
1,361	363,545	272,394	—	—

品名	數量單位	外		
		日本		朝
		數量	價額	數量
其他油脂		—	176,365	—
蠟燭	擔	925	19,579	14
蠟燭製造材料		—	99,551	—
石鹼		—	426,441	—
燐寸	グロス	967,621	245,814	3,301
燐寸製造材料		—	92,008	—
薪及木炭	擔	9,034	27,422	5,915
石炭及コークス	英噸	24,376	402,634	2,586
鐵及鋼	擔	440,477	2,760,470	38,632
其他金屬	〃	55,070	984,070	95,860
金物		—	643,022	—
機械器具		—	3,430,757	—
セメント	擔	479,553	677,066	77,514
木材		—	1,043,011	—
建築材料		—	419,593	—
鐵道材料		—	29,842	—
電氣材料		—	1,607,018	—
美術及化粧用品		—	467,571	—
皮革毛骨角牙類		—	361,097	—
紙類		—	1,811,190	—
圖書及文具		—	794,966	—
硝子板及硝子器		—	621,929	—
陶磁器及土器		—	408,434	—
麻袋及其他袋類	枚	13,932,087	2,035,787	355,785
其他雜品		—	3,474,283	—
小包郵便物		—	400,488	—
合計		—	71,559,487	—

國					品
鮮	支	那	其他亞細亞		
價額	數量	價額	數量	價額	
1,664	—	25,841	—	12,320	
233	3,738	69,136	—	—	
913	—	223,455	—	—	
3,122	—	70,823	—	1,893	
968	22,427	6,133	—	—	
12,384	—	330	—	62	
6,755	—	—	—	—	
20,143	—	—	—	—	
159,986	149,866	1,451,236	28,855	123,568	
28,472	15,487	224,271	2,973	66,400	
13,631	—	211,644	—	29,883	
1,469,985	—	470,252	—	18,174	
122,001	872	1,238	—	—	
556,148	—	20,522	—	—	
23,992	—	84,954	—	4,143	
97,100	—	9,608	—	—	
2,825	—	351,553	—	4,461	
2,863	—	80,661	—	—	
358,383	—	99,315	—	271,739	
89,842	—	249,781	—	25,521	
15,484	—	49,939	—	3,712	
2,281	—	155,119	—	579	
3,071	—	1,484	—	—	
36,139	6,661,848	991,815	28,102,259	4,181,074	
257,381	—	387,161	—	236,533	
37,935	—	—	—	2,224	
6,458,549	—	30,692,022	—	10,920,094	

大正十年南滿洲四港

品名	數量單位	外國 歐羅巴 數量	歐羅巴 價額	亞米 數量
綿織物		—	224,283	—
毛及毛綿交織物		—	184,980	—
絹及絹綿交織物		—	2,655	—
其他雜織物		—	59,203	—
綿縫絲		—	38,363	—
綿織絲	擔	—	—	—
棉花	〃	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	4,920	—
其他絲縷及材料		—	4,004	—
衣服及附屬品		—	45,565	—
米	擔	—	—	—
其他穀物及種子	〃	—	84,536	—
麥粉	〃	—	—	60,391
野菜及果物	〃	19	1,004	4,467
砂糖	〃	—	—	—
味噌及醬油	〃	—	—	—
水產物	〃	278	1,500	—
其他食料品		—	37,635	—
茶	擔	—	—	281
酒類及其他飲料		—	151,461	—
煙草		—	92,205	—
卷煙草製造材料		—	2,173	—
家具		—	104,477	—
藥品及藥材		—	112,432	—
染料及塗料		—	62,352	—
石油	米喊	—	—	10,381,990
機械油	喊	2,102	2,625	128,199

輸移入品數量及價格　　（其　二）

品 利加	支那品（支那諸港）		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
9,910	—	13,353,359	—	46,347,826
50,099	—	—	—	2,259,555
—	—	1,889,225	—	2,232,836
31,999	—	1,547,024	—	2,745,510
—	—	77	—	510,910
—	117,140	5,816,556	334,190	16,659,074
—	54,051	1,367,669	55,175	1,380,543
—	—	740,948	—	822,640
395	—	221,865	—	687,752
101,057	—	390,102	—	3,720,015
—	192,687	810,845	778,548	3,963,247
—	305,796	837,377	379,534	1,118,166
319,492	647,170	3 064,141	734,980	3,515,472
81,189	289,652	795,736	481,389	1,909,784
—	19,012	94,105	808,261	6,974,937
—	122	329	22,657	239,262
—	68,966	393,074	284,893	2,018,531
152,282	—	1,325,910	—	2,575,709
2,991	61,335	2,032,535	74,318	2,255,120
4,105	—	184,778	—	2,668,026
748,739	—	2,778,974	—	9,201,961
58,633	—	4,955	—	450,480
65,628	—	273,408	—	1,749,978
37,356	—	593,152	—	2,569,900
7,642	—	67,895	—	3,382,664
3,699,677	—	—	14,406,060	5,116,432
110,033	—	—	984,526	641,131

品名	數量單位	外國 歐羅巴 數量	價額	亞米 數量
其他油脂		—	2,881	—
蠟燭	擔	4	173	6
蠟燭製造材料		—	—	—
石鹼		—	3,154	—
燐寸	グロス	—	—	—
燐寸製造材料		—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—
鐵及鋼	擔	20,716	160,866	495,899
其他金屬	”	9,156	80,561	62,829
金物		—	177,474	—
機械器具		—	1,014,445	—
セメント	擔	—	—	—
木材		—	—	—
建築材料		—	107,761	—
鐵道材料		—	298	—
電氣材料		—	49,918	—
美術及化粧用品		—	86,941	—
皮革毛骨角牙類		—	10,521	—
紙類		—	44,876	—
圖書及文具		—	36,991	—
硝子板及硝子器		—	139,619	—
陶磁器及土器		—	2,252	—
麻袋及其他袋類	枚	29,260	8,115	—
其他雜品		—	88,689	—
小包郵便物		—	5,456	—
合計		—	3,283,356	—

品	支那品		合計	
利加	（支那諸港）			
價額	數量	價額	數量	價額
316,711	—	247,010	—	782,790
130	4,462	83,412	9,149	172,663
—	—	498	—	324,417
7,230	—	120,100	—	632,763
—	655,132	133,493	1,648,481	386,408
—	—	9,782	—	114,566
—	47,290	17,327	62,239	51,504
—	36,187	263,683	63,149	686 460
3,224,456	5,039	30.885	1,174,485	7,911,467
665,029	4,667	42,474	246,048	2,091,777
53,535	—	338,506	—	1,462,695
1,641,273	—	62,421	—	8,170,307
—	11,770	7,671	570,299	808,768
523,037	—	297,455	—	2,450,935
53,834	—	14,678	—	708,955
95,091	—	29,000	—	260,939
227,326	—	9,705	—	2,252,806
68,351	—	82,467	—	1,006,663
21,389	—	1,151,764	—	2,274,208
15,664	—	2,609,616	—	4,846,490
20,453	—	580,603	—	1,502,184
14,672	—	5,544	—	938,743
2,190	—	886,581	—	1,304,138
—	960,399	130,941	50,041,638	7,383,871
106,700	—	1,267,617	—	5,833,481
14,280	—	—	—	460,383
12,555.026	—	47,006,272	—	182,474,806

2 大　連

大正十年度の概況　大正十年度の大連に於ける貿易總額は221
然して之れを前年に比すれば總額に於て一分六厘の増加輸出に於て三分
如き理由で前年度に比し何れも激減を示して居る。
然して輸出入の對比は四五對五五で輸出超過を示し不振ながらも概し

大連港輸移出入

		大正六年	大正七年
汽船貿易	外國品		
	外國より輸入額	58,274,497	66,979,626
	支那より移入額	9,497,596	8,814,734
	計	**67,772,093**	**75,794,360**
	外國へ再輸出額	2,003,638	3,935,740
	支那へ再移出額	2,586,825	3,138,273
	計	**4,590,463**	**7,074,013**
	純輸移入額	63,181,630	68,720,347
	支那品		
	支那より移入額	14,193,247	19,807,558
	外國へ再輸出額	4,551,800	8,586,830
	支那へ再移出額	65,107	129,601
	計	**4,616,907**	**8,716,431**
	純移先額	9,576,340	11,091,127
	外國へ輸出額	47,023,741	72,389,242
	支那へ移出額	16,163,469	13,623,491
	計	**63,187,210**	**86,012,733**
汽船貿易	輸移入額	81,965,340	95,601,918
	輸移出額	63,187,210	86,012,733
	再輸移出額	9,207,370	15,790,444
	計	**154,359,920**	**197,405,095**
戎克貿易	輸移入額	1,431,004	1,833,703
	輸移出及再輸移出額	4,229,122	6,349,320
	計	**5,660,126**	**8,183,023**
合計	輸移入額	**83,396,344**	**97,435,621**
	輸移出及再輸移出額	**76,623,702**	**108,152,497**
	計	**160,020,046**	**205,588,118**

港　　　貿　　　易

69萬海關両で其中輸出は12160萬海關両輸入は10009萬海關両である。

二厘の減退輸入に於て七分の増加を示して居るが金換算をなせば前述の

て好調であると云ふことが出來る。

品價格累年比較　　價額單位　海關両

大正八年	大正九年	大正十年	前年との比較増減	
89,521,323	71,040,883	67,632,933	(−)	3,407,950
9,810223	9,069,260	16,603,685	(+)	7,534,425
99,331,546	**80,110,143**	**84,236,618**	(+)	**4,126,475**
7,028,856	7,168,483	5,485,865	(−)	1,682,618
2,872,264	2,720,945	1,626,461	(−)	1,094,484
9,900,920	**9,889,428**	**7,112,326**	(−)	**2,777,102**
89,430,426	70,220,715	77,124,292	(+)	6,903,577
28,045,630	12,959,342	15,855,073	(+)	2,895,371
11,325,767	3,098,932	4,018,079	(+)	919,147
413,320	1,373,789	133,443	(−)	1,240,346
11,739,987	**4,472,721**	**4,151,522**	(−)	**321,199**
16,306,543	8,486,621	11,703,551	(+)	3,216,930
97,243,766	108,223,857	97,385,499	(−)	10,838,378
7,767,101	16,842,406	24,217,943	(+)	7,375,537
105,010,867	**125,066,263**	**121,603,422**	(−)	**3,462,841**
127,377,176	93,069,485	100,091,691	(+)	7,022,206
105,010867	125,066,263	121,603,422	(−)	3,462,841
21,640,007	14,362,149	11,263,848	(−)	3,098,301
254,028,050	**232,497,897**	**232,958,961**	(+)	**461,064**
2,790,841	1,805,795	1,536,931	(−)	368,864
2,421,394	5,305,056	6,797,330	(+)	1,492,274
5,212,235	**7,110,851**	**8,334,261**	(+)	**1,223,410**
130,168,017	**94,875,280**	**101,628,622**	(+)	**6,753,342**
129,072,268	**144,733,468**	**139,664,600**	(−)	**5,068,868**
259,240,285	**239,608,748**	**241,293,222**	(+)	**1,684,474**

大連港輸移出品數

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
大豆	擔	2,814,364	6,290,694	4,941,952	12,459,815
其他豆類	〃	539,360	1,365,290	761,072	1,773,517
玉蜀黍	〃	646,217	1,277,241	666,069	1,280,598
高粱	〃	2,824,338	4,180,020	2,290,829	4,215,126
粟	〃	115,488	242,056	162,115	394,924
小麥	〃	180,925	427,345	438,102	1,226,686
其他穀物	〃	24,698	61,270	70,584	165,511
胡麻	〃	23,397	100,607	7,630	37,387
瓜子	〃	33,847	238,012	21,229	164,071
落花生	〃	16,361	62,394	16,228	63,608
其他種子	〃	299,218	844,299	188,172	608,556
野菜及果物	〃	2,353	33,055	4,410	30,960
麥紛	〃	117,153	532,526	53,830	225,598
素麵	〃	464	3,945	1,071	8,086
鷄卵	千箇	19	140	61	458
水產物	擔	19,780	139,815	20,929	157,604
支那酒	〃	14,819	103,733	16,785	124,377
煙草		—	537,253	—	376,517
茶	擔	7	245	6	144
其他飲食料品		—	550,433	—	904,010
豆粕	擔	13,781,568	21,149,127	15,943,034	29,470,979
豆油	〃	1,710,413	16,397,731	2,101,525	23,158,805
落花生油	〃	18	189	3,180	33,390
桐油	〃	11	127	54	648
其他油脂	〃	22,955	230,216	48,689	449,258
苧麻	〃	7,462	46,458	2,430	17,848
棉花	〃	151	3,020	96	2,304
麥稈眞田	〃	—	—	—	—

量及價額累年比較　價額單位　海關兩

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
8,831,164	24,750,377	8,451,782	24,493,497	8,506,632	29,425,440
1,033,917	2,624,436	416,917	1,215,926	895,793	2,606,975
531,252	828,753	537,521	1,365,304	746,769	1,641,851
879,273	1,318,910	1,991,083	4,420,205	2,850,431	5,888,590
646,647	1,739,480	649,215	2,168,378	392,017	1,116,701
744,473	2,047,301	6,660,946	22,247,560	3,447,635	12,032,097
189,615	527,202	105,920	248,774	85,286	199,681
168,338	967,943	244,980	1,455,180	102,374	661,263
27,280	175,410	125,357	619,263	187,150	989,489
60,416	248,944	113,605	543,560	161,955	607,628
483,550	1,703,877	671,516	2,105,404	548,859	1,486,463
4,311	23,152	4,841	87,991	5,355	72,222
32,574	143,976	69,862	324,160	147,001	540,374
972	6,473	4,208	31,223	1,280	9,040
5	66	112	902	1,947	30,755
13,871	85,527	8,961	72,150	16,420	126,895
15,421	124,756	10,479	92,110	12,283	76,727
—	171,737	—	241,577	—	453,163
276	6,624	23	1,057	330	9,562
—	562,432	—	700,808	—	705,235
16,639,962	36,851,244	17,546,748	38,712,231	17,944,773	39,482,161
1,991,933	17,369,655	1,858,143	15,942,867	1,682,541	14,301,685
11,927	101,141	62	744	1,374	9,115
171	2,205	18	259	23	160
32,991	271,686	—	—	7,225	46,218
8,431	60,694	17,885	150,417	557	3,904
710	20,540	899	3,961	3,403	58,833
—	—	187	5,410	—	—

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
繭	〃	83,238	1,054,738	94,963	1,615,091
柞蠶絲	〃	9,713	2,652,500	8,605	3,003,215
生綿	〃	1	300	11	4,675
屑絹絲	〃	5,847	181,257	8,080	458,298
絹製品		—	54,816	—	37,740
豚毛	擔	1,987	147,327	684	46,058
羊毛及其他毛	〃	21,208	706,531	16,101	393,301
皮革		—	265,899	—	641,230
角牙	擔	89	623	538	4,304
獸骨	〃	39,935	45,961	40,217	44,239
家畜	頭	1,934	14,794	1,860	11,945
家禽	羽	72,462	2,747	68,600	1,886
獸脂	擔	5	54	1,057	14,798
木材		—	89,187	—	97,047
薪及木炭	擔	8,525	7,679	5,268	7,920
石炭及コークス	英噸	732,296	2,937,362	617,537	3,400,803
其他鑛產品		—	26,434	—	102,419
藥品及藥材		—	309,913	—	172,360
染料及塗料		—	4,852	—	1,718
人蔘	斤	41,416	54,524	58,634	63,551
金屬及金物		—	2,504,182	—	3,239,484
其他雜品		—	1,126,056	—	1,436,881
小包郵便物		—	—	—	—
輸移出計		—	**67,003,950**	—	**92,149,730**
再輸移出 支那品		—	4,616,907	—	8,716,431
再輸移出 外國品		—	5,002,845	—	7,286,336
計		—	**9,619,752**	—	**16,002,767**
合計		—	**76,623,702**	—	**108,152,497**

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
105,128	1,671,849	—	—	64,896	1,391,900
4,292	753,464	67,201	1,505,933	5,814	1,714,678
—	—	6,437	1,827,176	—	—
5,849	289,174	6,862	575,927	2,137	157,881
—	32,308	—	21,546	—	—
895	53,077	1,294	114,200	1,576	136,871
30,865	990,968	12,047	312,003	6,748	158,275
—	742,609	—	535,396	—	291,818
559	1,761	36	113	—	—
156,137	193,610	104,338	141,900	129,746	146,854
3,534	22,589	2,268	14,733	1,593	10,921
92,300	2,641	81,700	3,331	54,330	7,670
1,117	13,917	352	4,003	2,188	23,675
—	56,923	—	137,082	—	498,851
6,151	8,549	3,454	6,113	19,026	36,909
314,213	1,721,245	348,876	3,235,991	891,008	5,306,487
—	149,375	—	140,152	—	184,184
—	158,218	—	109,103	—	152,942
—	17,805	—	3,715	—	153,522
86,356	109,153	8,946	14,380	11,639	16,911
—	4,752,185	—	1,882,889	—	2,796,399
—	1,946,172	—	1,635,673	—	1,700,396
—	543,601	—	540,751	—	444,300
—	**106,965,734**	—	**130,013,028**	—	**127,913,709**
—	11,739,087	—	4,472,721	—	4,151,522
—	10,367,447	—	10,247,719	—	7,599,369
—	**22,106,534**	—	**14,720,440**	—	**11,750,891**
—	**119,072,268**	—	**144,733,468**	—	**139,664,600**

大連港輸移入品數

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
綿織物		—	8,724,497	—	13,685,716
毛及毛綿交織物		—	1,360,894	—	1,334,432
絹及絹綿交織物		—	2,103,993	—	1,453,447
其他雜織物		—	1,517,297	—	1,609,498
綿縫絲		—	331,124	—	490,317
綿織絲	擔	38,552	1,174,294	45,492	2,160,174
棉花	〃	4,785	95,675	40,933	240,539
繭蠶絲及絹製品		—	114,266	—	1,039,162
其他絲縷及材料		—	899,053	—	541,180
衣服及附屬品		—	3,494,233	—	4,338,329
米	擔	403,903	1,556,802	530,936	2,280,278
其他穀物及種子	〃	1,080,959	2,772,942	479,829	1,279,380
麥粉	〃	467,979	1,862,772	503,374	2,112,915
野菜及果物	〃	200,288	580,969	260,760	628,029
砂糖	〃	546,445	3,560,050	885,030	6,060,609
味噌及醬油	〃	22,023	104,883	20,908	110,112
水產物	〃	77,596	530,865	131,648	656,579
其他食料品		—	3,914,826	—	2,292,908
茶	擔	14 762	339,608	33,718	1,028,642
酒類及其他飲料		—	865,725	—	971,340
煙草		—	5,945,249	—	5,145,320
卷煙草製造材料		—	132,968	—	233,175
家具		—	369,654	—	532,681
藥品及藥材		—	2,559,001	—	1,477,630
染料及塗料		—	1,061,957	—	482,482
石油	米哦	11,668,190	3,383,775	5,100,940	1,359,605
機械油	哦	925,721	357,649	1,930,601	758,923

量及價額累年比較　　價額單位　海關兩

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
—	27,096,535	—	16,204,001	—	13,911,355
—	1,465,609	—	1,588,691	—	1,833,427
—	1,551,772	—	1,060,718	—	1,564,146
—	2,771,694	—	1,792,704	—	2,266,005
—	367,813	—	234,381	—	318,167
145,473	7,086,504	93,913	4,432,208	84,489	3,801,386
14,921	412,268	7,100	222,016	17,651	511,165
—	721,335	—	581,932	—	755,910
—	435,972	—	216,737	—	492,718
—	4,467,641	—	2,936,118	—	2,836,358
1,375,103	6,116,892	522,684	2,426,988	549,425	2,876,324
758,319	1,980,835	367,986	1,146,919	176,314	839,101
522,467	2,205,099	279,193	1,410,918	454,151	2,263,058
299,952	783,811	415,216	1,154,253	376,551	1,491,687
533,938	3,626,817	197,803	2,297,248	436,458	3,942,125
15,109	97,305	20,628	206,280	17,883	186,111
161,883	888,112	266,302	1,415,279	185,278	1,222,831
—	1,083,660	—	1,280,262	—	1,413,596
47,024	885,044	8,683	204,262	26,225	437,605
—	1,576,835	—	1,901,162	—	2,030,671
—	4,553,876	—	5,835,194	—	7,698,576
—	244,111	—	331,285	—	328,186
—	883,229	—	923,275	—	1,466,988
—	1,771,326	—	1,452,959	—	1,550,170
—	623,538	—	580,149	—	777,791
8,961,668	3,118,302	8,551,555	2,523,707	9,555,885	3,437,912
1,252,663	524,718	1,354,825	555,302	913,161	603,635

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
其他油脂		—	2,904,154	—	5,623,351
蠟燭	擔	10,627	200,766	8,447	167,037
蠟燭製造材料		—	853,577		9,550
石鹼		—	335,441	—	242,978
燐寸	グロス	1,476,934	460,595	1,273,231	392,800
燐寸製造材料		—	32,284	—	247,425
薪及木炭	擔	119,236	64,518	130,856	88,640
石炭及コークス	英噸	8,901	70,866	90,412	516,598
鐵及鋼	擔	1,047,128	6,870,905	1,157,046	10,988,334
其他金屬	〃	124,507	1,297,959	184'615	1,563,237
金物		—	1,373,182	—	1,392,940
機械器具		—	2,440,212	—	4,817,542
セメント	擔	322,841	264,004	456,604	498,138
木材		—	1,414,944	—	2,041,813
建築材料		—	183,021	—	329,266
鐵道材料		—	10,856	—	286,828
電氣材料		—	1,331,296	—	1,737,344
美術及化粧用品		—	333,702	—	341,880
皮革毛骨角牙類		—	3,590,146	—	1,766,414
紙類		—	1,631,313	—	1,625,816
圖書及文具		—	652,376	—	732,906
硝子板及硝子器		—	299,614	—	552,595
陶磁器類		—	491,772	—	551,796
麻袋及其他袋類	枚	22,387,153	3,568,342	16,092,231	2,104,174
其他雜品		—	3,005,178	—	4,512,816
小包郵便物		—	—	—	—
合計		—	**83,396,344**	—	**97,435,621**

大正八年 數量	大正八年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	大正十年 數量	大正十年 價額
—	3,866,578	—	776,786	—	704,543
5,230	104,440	7,041	132,000	6,006	117,212
—	397,385	—	240,194	—	258,919
—	301,541	—	321,253	—	467,593
4,654,774	1,287,887	1,259,995	306,914	1,365,043	329,676
—	31,839	—	71,044	—	66,063
129,818	86,255	100,930	56,504	58,603	47,188
258,420	1,833,123	226,790	2,591,443	47,630	564,524
1,630,599	9,840,664	885,535	6,361,783	995,112	6,848,021
269,096	2,202,908	221,114	1,621,771	135,625	1,743,821
—	1,036,706	—	865,098	—	980,942
—	10,130,812	—	6,291,898	—	6,275,545
927,880	1,002,120	504 447	497,601	482,590	667,119
—	2,378,272	—	2,976,149	—	1,569,364
—	646,739	—	646,498	—	660,961
—	109,840	—	106,773	—	117,402
—	2,029,741	—	1,902,217	—	2,164,016
—	428,321	—	457,784	—	767,599
—	1,203,332	—	1,131,469	—	1,287,859
—	2,408,691	—	1,369,951	—	1,969,396
—	750,955	—	909,822	—	1,023,010
—	782,854	—	744,127	—	804,329
—	323,327	—	378,199	—	415,300
25,653,649	4,812,361	29,022,601	5,157,905	43,791,044	6,527,423
—	4,803,673	—	4,048,149	—	4,393,792
—	—	—	—	—	—
—	**130,168,017**	—	**94,875,280**	—	**101,628,622**

大正十年大連港輸

品名	數量單位	外 日本 數量	外 日本 價額
大豆	擔	3,343,790	11,513,573
其他豆類	〃	522,850	1,479,164
玉蜀黍	〃	35,229	79,618
高粱	〃	226,111	474,833
粟	〃	31,830	95,490
小麥	〃	962,119	3,357,795
其他穀物	〃	16,486	26,419
胡麻	〃	85,992	558,088
瓜子	〃	5,979	31,868
落花生	〃	8,894	31,934
其他種子	〃	400,599	1,184,512
野菜及果物	〃	786	2,648
麥粉	〃	45,735	216,326
素麵	〃	305	2,196
鷄卵	千箇	1,747	27,595
水產物	擔	1,277	9,668
支那酒	〃	41	393
煙草		—	139,590
茶	擔	69	1,986
其他飲食料品		—	642,751
豆粕	擔	17,147,630	37,766,265
豆油	〃	47,561	404,269
落花生油	〃	28	208
桐油	〃	—	—
其他油脂	〃	5,015	34,835
苧麻	〃	36	157
棉花	〃	—	—
麥稈眞田	〃	—	—

移出品數量及價格　(其ノ一)　價額單位 海關兩

國			
朝鮮		亞細亞其他	
數量	價額	數量	價額
4	14	1,339,486	4,655,996
484	1,588	67,391	226,800
—	—	—	—
79	166	—	—
5,469	16,407	—	—
5,688	19,851	92,038	321,213
1,105	2,497	1,330	8,419
2,984	19,367	—	—
—	—	99,410	529,855
1,483	4,450	123,229	461,924
22,680	39,164	729	1,524
73	1,260	261	7,253
6,116	28,929	—	—
1	7	871	6,271
—	—	—	—
28	136	39	248
—	—	201	1,930
—	2,334	—	2,624
—	—	—	—
—	717	—	—
13,812	31,636	—	—
766	6,511	5,046	42,891
—	—	—	—
—	—	—	—
34	213	—	—
1	13	—	—
122	2,150	—	—
—	—	—	—

品名	數量單位	外 日本 數量	價額
繭	“	27	715
柞蠶絲	”	487	177,495
生絲	”	—	—
屑絹絲	”	—	—
絹製品		—	—
豚毛	擔	—	—
羊毛及其他毛	”	1,863	44,676
皮革		—	122,454
角牙	擔	—	—
獸骨	”	129,736	146,831
家畜	頭	272	2,550
家禽	羽	54,330	7,670
獸脂	擔	2,119	22,928
木材		—	442,848
薪及木炭	擔	8,755	17,072
石炭及コークス	英噸	433,945	2,603,823
其他鑛產品		—	177,981
藥品及藥材		—	133,743
染料及塗料		—	12,268
人蔘	斤	—	—
金屬及金物		—	2,578,580
其他雜品		—	910,923
小包郵便物		—	444,300
輸移出計		—	**65,929,038**
再輸移出 支那品		—	861,558
再輸移出 外國品		—	2,085,299
計		—	**2,946,857**
合計		—	**68,875,895**

國			
朝鮮		亞細亞其他	
數量	價額	數量	價額
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	791	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	1,761
—	—	—	—
28.384	170,304	188,004	1,128,024
—	4,553	—	—
—	1,115	—	6,112
—	524	—	136
—	—	10,500	12,626
—	64,238	—	—
—	59,786	—	66,107
—	—	—	—
—	478,811	—	7,481,714
—	1,770,862	—	—
—	2,968,124	—	90,307
—	4,738,986	—	90,307
—	5,217,797	—	7,572,021

大正十年大連港輸

品名	數量單位	外		
		歐羅巴其他		亞米利
		數量	價額	數量
大豆	擔	838,548	2,918,157	683,565
其他豆類	〃	—	—	300
玉蜀黍	〃	144	325	3,449
高粱	〃	—	—	834
粟	〃	—	—	—
小麥	〃	447,536	1,561,901	—
其他穀物	〃	53,275	120,402	769
胡麻	〃	8,410	54,580	—
瓜子	〃	—	—	—
落花生	〃	—	—	—
其他種子	〃	97,159	203,061	27,447
野菜及果物	〃	7,446	35,220	—
麥粉	〃	84	397	2,043
素麵	〃	—	—	1
鷄卵	千箇	—	—	—
水產物	擔	—	—	—
支那酒	〃	—	—	—
煙草		—	—	—
茶	擔	—	—	239
其他飲食料品		—	4,885	—
豆粕	擔	—	—	116,661
豆油	〃	604,119	5,135,012	422,475
落花生油	〃	1,346	8,907	—
桐油	〃	—	—	—
其他油脂	〃	1,470	6,476	570
苧麻	〃	—	—	—
棉花	〃	—	—	—
麥稈眞田	〃	—	—	—

移出品數量及價格　（其ノ二）

國 加其他	支那向 （支那諸港）		合計	
價額	數量	價額	總量	價額
2,378,806	2,301,239	7,958,894	8,506,632	29,425,440
750	304,768	898,673	895,793	2,606,975
7,243	711,396	1,561,908	746,769	1,641,851
2,502	2,620,792	5,406,348	2,850,431	5,888,590
—	353,884	1,002,302	392,017	1,116,701
—	64,041	223,354	3,447,635	12,032,097
1,726	12,321	40,218	85,286	199,681
—	4,988	29,228	102,374	661,263
—	81,761	427,766	187,150	989,489
—	28,349	109,320	161,955	607,628
56,425	245	1,777	548,859	1,486,463
—	4,235	61,061	5,355	72,222
9,663	85,577	249,839	147,001	540,374
7	102	567	1,280	9,048
—	200	3,160	1,947	30,755
—	15,126	116,793	16,420	126,895
—	12,041	74,404	12,283	76,727
—	—	308,615	—	453,163
6,881	22	695	330	9,562
154	—	56,181	—	705,235
256,654	666,670	1,427,606	17,944,773	39,482,161
3,591,037	602,574	5,121,965	1,682,541	14,301,685
—	—	—	1,374	9,115
—	23	160	23	160
3,762	136	962	7,225	46,248
—	520	3,734	557	3,904
—	3,281	56,683	3,403	58,833
—	—	—	—	—

品名	數量單位	外		
		歐羅巴其他		亞米利
		數量	價額	數量
繭	"	—	—	—
柞蠶絲	"	—	—	9
生絲	"	—	—	—
屑絹絲	"	—	—	—
絹製品		—	—	—
豚毛	擔	—	—	1,223
羊毛及其他毛	"	—	—	390
皮革		—	30,937	—
角牙	擔	—	—	—
獸骨	"	—	—	—
家畜	頭	—	—	—
家禽	羽	—	—	—
獸脂	擔	—	—	—
木材		—	254	—
薪及木炭	擔	—	—	—
石炭及コークス	英噸	15,885	95,310	19,478
其他鑛產品		—	114	—
藥品及藥材		—	—	—
染料及塗料		—	—	—
人蔘	斤	—	—	—
金屬及金物		—	—	—
其他雜品		369	102,900	—
小包郵便物		—	—	—
輸移出計		—	**8,226,378**	—
再輸移出 支那品		—	462,731	—
再輸移出 外國品		—	253,254	—
計		—	**715,985**	—
合計		—	**10,995,437**	—

圖 加其他	支那向 (支那諸港)		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
—	64,869	1,391,185	64,896	1,391,900
2,358	5,318	1,534,825	5,814	17,14,678
—	—	—	—	—
—	2,137	157,881	2,137	157,881
—	—	—	—	—
107,143	353	29,728	1,576	136,871
13,916	4,495	99,683	6,748	158,275
45,569	—	92,067	—	291,818
—	—	—	—	—
—	10	23	129,746	146,854
—	1,321	8,371	1,593	10,921
—	—	—	54,330	7,670
—	69	747	2,188	23,675
—	—	53,988	—	498,851
—	10,271	19,837	19,026	36‘909
—	205,312	1,192,158	891,008	5,306,487
116,868	—	1,419	—	184,184
117	—	11,932	—	152,942
—	—	140,594	—	153,522
—	1,139	4,285	11,639	16,911
—	—	87,225	—	2,796,399
66,356	—	560,069	—	1,700,396
242	—	—	—	444,300
13,216,464	—	30,528,230	—	127,913,709
922,928	—	133,443	—	4,151,522
88,881	—	2,113,504	—	7,599,369
1,011,809	—	2,246,947	—	11,750.891
14,228,273	—	32,775,177	—	139,664,600

大正十年大連港輸

品名	數量單位	外 日本 數量	外 日本 價額	朝 數量
綿織物		—	7,292,300	—
毛及毛綿交織物		—	619,885	—
絹及絹綿交織物		—	208,389	—
其他雜織物		—	219,634	—
綿縫絲		—	125,529	—
綿織絲	擔	59,660	2,828,657	—
棉花	”	348	5,657	—
繭蠶絲及絹製品		—	44,873	—
其他絲縷及材料		—	276,918	—
衣服及附屬品		—	2,222,090	—
米	擔	28,786	236,360	184,711
其他穀物及種子	”	10,382	60,349	3,615
麥粉	”	6,127	52,055	1,755
野菜及果物	”	133,016	759,401	2,881
砂糖	”	225,613	2,149,218	10
味噌及醬油	”	17,015	176,765	748
水產物	”	149,957	1,068,546	1,339
其他食料品		—	711,685	—
茶	擔	1,984	79,332	—
酒類及其他飲料		—	1,352,996	—
煙草		—	70,105	—
卷煙草製造材料		—	189,591	—
家具		—	934,898	—
藥品及藥材		—	1,154,161	—
染料及塗料	米哦	—	297,564	—
石油	哦	3,865	1,335	—
機械油		424,494	223,456	42

移入品數量及價額　(其ノ一)　價額單位　兩海關兩

國		品		
鮮	支那		亞細亞其他	
價額	數量	價額	數量	價額
9,751	—	4,312,831	—	73,466
5,363	—	936,766	—	36,334
—	—	11,794	—	1,308
14,900	—	517,892	—	2,579
4,229	—	175,169	—	5,972
—	2,442	89,248	—	—
—	31	296	—	—
—	—	10,037	—	—
624	—	11,695	—	106,504
1,073	—	109,355	—	58,232
1,319,267	7,645	49,577	196,266	744,659
11,098	201	592	—	—
7,406	5,930	15,142	750	4,368
19,756	2,320	32,341	6,376	12,209
93	25,278	221,116	183,321	1,555,634
9,056	—	—	—	—
12,660	9,429	38,992	1,095	26,634
11,806	—	162,793	—	42,097
—	4,490	47,401	5,801	76,775
14,504	—	366,449	—	4,677
36,020	—	4,745,863	—	22,769
234	—	75,656	—	—
600	—	146,618	—	3,520
29,041	—	135,068	—	10,555
1,207	—	402,958	—	10,715
—	—	—	—	—
62	358,324	267,459	—	—

品名	數量單位	外		
		日本		朝
		數量	價額	數量
其他油脂		—	173,337	—
蠟燭	擔	761	16,957	—
蠟燭製造材料		—	92,902	—
石鹼		—	335,403	—
燐寸	グロス	940,529	230,526	—
燐寸製造材料		—	57,526	—
薪及木炭	擔	9,034	27,422	2,288
石炭及コークス	英噸	24,306	401,889	1,626
鐵及鋼	擔	406,286	2,601,675	16,683
其他金屬	〃	50,665	863,558	590
金物		—	498,590	—
機械器具		—	3,111,121	—
セメント	擔	457,946	645,010	14,228
木材		—	1,041,308	—
建築材料		—	400,975	—
鐵道材料		—	29,105	—
電氣材料		—	1,548,859	—
美術及化粧用品		—	392,718	—
皮革毛骨角牙類		—	232,493	—
紙類		—	1,395,936	—
圖書及文具		—	647,649	—
硝子板及硝子器		—	554,995	—
陶磁器及土器		—	348,946	—
麻袋及其他袋類	枚	12,262,611	1,845,835	17,904
其他雜品		—	2,876,541	—
小包郵便物		—	—	—
合計		—	43,732,125	—

國	品			
鮮	支那		亞細亞其他	
價額	數量	價額	數量	價額
—	—	20,926	—	2,659
—	1,795	31,900	—	—
—	—	166,017	—	—
28	—	58,318	—	50
—	21,717	6,080	—	—
—	—	—	—	—
2,452	—	—	—	—
9,426	—	—	—	—
53,563	33,753	678,793	—	—
3,610	7,258	77,051	1,555	26,076
566	—	182,638	—	24,623
15,277	—	440,433	—	18,174
16,151	—	—	—	—
29,371	—	17,753	—	563
541	—	80,179	—	3,606
—	—	9,608	—	—
79	—	333,069	—	4,461
270	—	77,153	—	85,763
—	—	63,691	—	206,595
6,074	—	134,102	—	87
198	—	43,017	—	295
152	—	95,020	—	500
16	—	1,370	—	126
2,485	6,143,048	915,023	24,792,900	3,673,000
34,303	—	291,488	—	179,377
—	—	—	—	—
1,683,285	—	**16,606,737**	—	**7,126,933**

大正十年大連港輸

品名	數量單位	外國 歐羅巴其他 數量	外國 歐羅巴其他 價額	外國 亞米利 數量
綿織物		—	180,077	—
毛及毛綿交織物		—	184,980	—
絹及絹綿交織物		—	2,655	—
其他雜織物		—	59,213	31,999
綿縫絲		—	7,268	—
綿織絲	擔	—	—	—
棉花	〃	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	4,920	—
其他絲縷及材料		—	3,466	—
衣服及附屬品		—	45,565	—
米	擔	—	—	—
其他穀物及種子	〃	—	84,531	—
麥粉	〃	—	—	60,391
野菜及果物	〃	19	1,004	4,467
砂糖	〃	—	—	—
味噌及醬油	〃	—	—	—
水產物	〃	250	1,627	220
其他食料品		—	60,853	—
茶	擔	—	—	281
酒類後其他飲料		—	150,461	—
煙草		—	92,205	—
卷煙草製造材料		—	2,101	—
家具		—	103,726	—
藥品及藥材		—	111,851	—
染料及塗料		—	39,416	—
石油	米瓩	—	—	9,552,020
機械油	瓩	2,102	2,625	128,199

移入品數量及價額　(其ノ二)

品	支那品		合計	
加其他	支那諸港			
價額	數量	價額	數量	價額
9,910	—	2,033,020	—	13,911,355
50,099	—	—	—	1,833,427
—	—	1,340,000	—	1,564,146
—	—	1,419,788	—	2.266,005
—	—	—	—	318,167
—	22,387	883,481	84,489	3,801,386
—	17,182	502,212	17,651	511,165
—	—	696,080	—	755,910
395	—	93,116	—	492,714
101,057	132,017	298,986	—	2.836,358
—	160,130	526,461	549,425	2,876,324
—	376,198	684,512	176,314	839,101
219,492	227,472	1,864,595	454,151	2,263,058
81,189	2,232	585,787	376,551	1,491,687
—	120	16,064	436,458	3,942,125
—	22,960	290	17,883	186,111
2,442	—	71,958	185,278	1,222,831
151,723	13,669	272,599	—	1,413,596
2,991	—	231,106	26,225	437,605
4,105	—	137,479	—	2,030,671
746,399	—	1,985,215	—	7.698,576
55,649	—	4,955	—	328,186
62,459	—	215,166	—	1,466,988
37,356	—	72,138	—	1,550,170
7,642	—	18,289	—	777,791
3,436,577	—	—	9,555,885	3,437,912
110,033	—	—	913,161	603 635

品名	數量單位	外國 歐羅巴其他 數量	價額	亞米利 數量
其他油脂		—	2,881	—
蠟燭	擔	—	—	6
蠟燭製造材料		—	—	—
石鹼		—	3,154	—
燐寸	グロス	—	—	—
燐寸製造材料		—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—
鐵及鋼	擔	20,717	160,866	495,899
其他金屬	〃	9,156	81,061	62,829
金物		—	177,474	—
機械器具		—	1,012,807	—
セメント	擔	—	—	—
木材		—	—	—
建築材料		—	107,761	—
鐵道材料		—	298	—
電氣材料		—	49,918	—
美術及化粧用品		—	86,941	—
皮革毛骨角牙類		—	10,421	—
紙類		—	44,876	—
圖書及文具		—	36,891	—
硝子板及硝子器		—	136,002	—
陶磁器及土器		—	2,252	—
麻袋及其他袋類	枚	—	8,115	—
其他雜品		—	101,288	—
小包郵便物		—	—	—
合計		—	**3,159,582**	—

品 加其他	支那品 支那諸港		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
316,711	—	188,129	—	704,543
130	3,444	69,125	6,006	117,212
—	—	—	—	258,919
2,549	—	68,091	—	467,593
—	402,797	84,070	1,365,043	329,676
—	—	8,537	—	66,063
—	47,281	17,314	58,603	47,188
—	21,698	153,209	47,630	564,524
3,224,456	4,613	26,597	995,112	6,848,021
665,029	3,572	27,436	135,625	1,743,821
53,535	—	43,516	—	980,942
1,641,243	—	36,490	—	6,275,545
—	10,416	5,958	482,590	667,119
266,990	—	213,379	—	1,569,364
53,834	—	14,065	—	660,961
49,391	—	29,000	—	117,402
227,326	—	304	—	2,164,016
67,032	—	57,722	—	767,599
21,389	—	753,270	—	1,287,859
15,664	—	372,657	—	1,969,396
20,453	—	274,507	—	1,023,010
14,672	—	2,988	—	804,329
2,190	—	60,400	—	415,300
—	545,321	82,992	43,791,044	6,527,423
106,054	—	813,742	—	4,393,793
—	—	—	—	—
11,946,772	—	17,359,795	—	101,628,622

3. 安　　東

大正十年度概況　安東港に於ける大正十年度貿易總額は64,299,463海關兩前年より減少して居る。由來安東は陸路貿易と海上貿易の行關係を數字數的に見れば下の如くである。(單位海關兩)

	鐵道に依る貿易
諸外國より輸入	27,440,318
中國諸港より輸入	—
外國へ輸出	17,104,138
中國諸國へ輸出	—
計	**44,544,456**

安東港輸移出入

	大正六年	大正七年
外國品		
外國より輸入額	28,260,438	21,545,342
中國より移入額	965,328	1,040,575
計	**29,225,766**	**22,585,917**
外國へ再輸出額	361,391	660,780
中國へ再移出額	31,650	22,629
計	**393,041**	**683,409**
純輸移入額	28,832,725	21,899,508
中國品		
中國より移入額	1,307,088	2,703,614
外國へ再輸出額	8,455	57,249
中國へ再務出額	9,287	194
計	**17,742**	**57,443**
純移入額	1,289,346	2,646,171
外國へ輸出額	9,272,304	11,722,273
中國へ移出額	3,534,989	3,961,851
計	**12,807,298**	**15,684,124**
汽船貿易　輸移入額	30,525,119	25,271,132
汽船貿易　輸移出額	12,752,380	15,625,858
汽船貿易　再輸移出額	410,183	737,852
汽船貿易　計	**43,687,682**	**41,634,842**
合計　輸移入額	30,532,854	25,286,531
合計　輸移出及再輸移出額	13,218,076	16,424,976
合計　計	**43,750,930**	**41,711,507**
陸路貿易　輸入額	27,821,340	21,063,939
陸路貿易　輸出及再輸出額	8,952,876	11,563,040
陸路貿易　計	**36,774,210**	**32,626,979**

港　　貿　　易

で銀價格に於ては從來のレコードであるが金換算をなせば大連と同じく
はにる關係から他の海關と異る處があるが大正十年度に於ける兩貿易の

汽船に依る海外貿易	汽船に依る中國內地貿易	計
1,786,047	2,386,059	**31,612,424**
—	4,417,502	**4,417,502**
4,271,880	—	**21,376,018**
—	6,893,519	**6,895,519**
6,057,927	**13,697,080**	**64,299,463**

品價額累年比較　(大東溝を含む)　價格算位海關兩

大正八年	大正九年	大正十年	前年との比較增減
31,301,880	31,685,444	29,232,210	(−) 2,453,234
1,508,336	1,504,099	2,386,299	(+) 897,254
32,810,216	**33,189,543**	**31,618,509**	(−) **1,571,034**
764,774	925,029	917,023	(−) 8,006
33,356	20,477	18,924	(−) 1,553
898,133	**945,506**	**935,947**	(−) **9,559**
32,012,083	32,244,037	30,682,562	(−) 1,561,475
4,163,688	3,876,932	4,417,502	(+) 540,570
204,892	65,036	57,338	(−) 7,693
5,803	24,873	1,721	(−) 23,152
210,695	**89,909**	**59,059**	(−) **30,850**
3,952,993	3,787,023	4,358,443	(+) 571,420
20,739,292	19,134,584	21,379,677	(+) 2,245,093
4,735,268	6,015,227	6,938,782	(+) 923,555
25,474,560	**25,149,811**	**28,318,459**	(+) **3,168,648**
36,943,618	37,052,068	36,029,926	(−) 1,022,142
25,436,436	25,118,566	28,269,539	(+) 3,150,971
1,007,728	1,035,415	995,006	(−) 46,409
63,388,082	**63,206,049**	**65,294,469**	(+) **2,088,420**
36,973,904	37,066,475	36,036,011	(−) 1,030,464
26,483,388	26,185,226	29,313,465	(+) 3,128,239
63,457,292	**63,251,701**	**65,349,476**	(+) **2,097,775**
30,504,645	30,317,852	27,440,318	(−) 2,931,534
17,832,678	17,847,520	17,894,960	(+) 47,440
48,337,323	**48,219,372**	**45,335,278**	(−) **2,884,094**

安東港輸移出品數

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
大豆	擔	481,441	1,137,733	366,362	933,292
其他豆類	〃	121,894	277,956	193,080	479,627
玉蜀黍	〃	91,696	137,225	113,739	199,038
高粱	〃	3,411	4,980	30,968	53,575
粟	〃	321,141	982,677	513,912	1,593,132
小麥	〃	1,451	4,567	2,514	6,875
其他穀物	〃	9,107	24,357	12,278	33,393
胡麻	〃	2,833	10,960	4,153	29,003
瓜子	〃	2	23	7	60
落花生	〃	673	2,063	163	764
其他種子	〃	62,065	277,534	40,080	177,635
野菜及果物	〃	1,303	4,153	1,996	9,258
麥粉	〃	41,118	145,215	88,766	467,945
素麵	〃	354	3,585	416	4,302
鷄卵	千箇	6	50	10	111
水產物	擔	1,132	8,270	364	4,792
支那酒	〃	2,081	17,844	1,858	17,324
煙草	〃	—	9,199	—	15,360
茶	〃	6	212	19	340
其他飲食料品	〃	—	29,789	—	23,042
豆粕	〃	1,697,568	2,970,783	1,455,757	2,474,787
豆油	〃	46,725	457,905	32,469	312,029
落花生油	〃	2	16	—	—
桐油	〃	21	279	17	261
其他油脂	〃	22	81	8	89
苧麻	〃	5,858	43,378	1,925	17,848
棉花	〃	202	4,162	708	19,364
麥稈眞田	〃	1	43	4	86

量及價額累年比較　　價額單位　海關兩

大正八年 數量	大正八年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	大正十年 數量	大正十年 價額
364,338	1,112,997	250,939	670,932	83,660	251,653
183,895	545,787	85,924	332,426	98,063	290,915
93,330	20,113	271,608	610,250	224,324	459,189
178,520	357,040	344,848	802,048	40,970	81,940
1,742,481	5,400,892	1,306,004	4,347,528	124,623	373,869
143,427	326,363	106,284	244,852	15,909	75,168
93,026	234,439	85,698	209,870	23,920	66,178
20,593	135,473	16,770	115,676	40,403	290,572
12	106	28	160	26	170
511	1,834	734	3,213	1,430	5,165
2,816	13.111	2,223	10,231	6,361	28,709
2,050	10,355	1,239	6,214	2,089	14,620
109,143	593,816	82,147	400,987	74,550	433,640
789	9,053	920	8,236	844	10,128
28	251	412	4,476	159	2,110
616	7,642	838	8,999	787	9,558
4,407	35,258	4,043	37,157	751	7,428
—	80,488	—	425,084	—	75,223
44	726	13	360	41	1,539
—	28,752	—	17,110	—	35,687
1,863,887	3,727,526	1,802,250	4,249,681	2,168,207	5,420,517
36,016	360,160	4,509	39,771	12,288	79,871
1	10	—	—	—	—
15	204	22	241	16	1,023
53	760	11	260	75	850
949	3,748	835	5,714	608	7,811
1,075	28,027	330	7,164	617	11,562
—	—	—	—	—	—

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
繭	擔	46,805	901,284	96,602	1,451,356
柞蠶絲	〃	5,008	1,429,078	9,057	2,344,660
生絲	〃	—	—	—	—
屑絹絲	〃	1,890	136,080	3,954	217,470
絹製品	〃	—	8,353	—	36,994
豚毛	〃	37	3,445	3	375
羊毛及其他毛	〃	4,368	128,197	2,697	97,970
皮革	〃	—	300,266	—	112,055
角牙	〃	1,556	6,849	936	4,553
獸骨	〃	74,157	95,388	78,591	74,612
家畜	頭	457	5,539	438	6,913
家禽	羽	159	25	65	24
獸脂	擔	64	733	575	6,319
木材		—	1,437,542	—	2,090,071
薪及木炭	擔	9,386	5,998	4,217	2,733
石炭及コークス	英噸	319,828	1,448,962	317,183	1,744,233
其他鑛產品		—	—	—	14,276
藥品及藥材		—	45,485	—	45,032
染料及塗料		—	4,688	—	1,926
人參	斤	18,779	19,379	17,937	22,689
金屬及金物		—	102,136	—	261,458
其他雜品		—	158,534	—	263,834
小包郵便物		—	13,240	—	11,329
輸移出計		—	**12,807,293**	—	**15,641,124**
再輸移出 中國品		—	18,342	—	57,443
再輸移出 外國品		—	392,441	—	3,409
計		—	**410,783**	—	**740,852**
合計		—	**13,218,076**	—	**16,424,976**

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
46,905	951,774	15,548	579,283	35,873	852,596
17,477	5,098,948	11,922	3,925,195	20,760	10,942,680
4	1,411	—	—	—	—
11,729	621,637	7,474	601,853	4,487	426,265
—	160,738	—	83,637	—	69,590
84	5,187	10	1,413	2	283
2,492	109,736	231	17,163	385	23,700
—	294,915	—	150,391	—	130,453
—	—	970	19,856	—	11,158
4,569	4,740	5,981	18,358	10,154	9,767
1,045	12,282	965	12,182	1,133	164
—	—	154	79	740	287
109	1,405	33	639	20	4,582,869
—	2,811,995	—	2,945,633	—	73,931
3,880	2,975	1,164	1,395	63,874	2,347,846
295,131	1,657,932	489,743	3,563,590	290,028	7,363
—	12,176	—	14,570	—	128,093
—	64,143	—	72,678	—	26,042
—	7,729	—	2,446	—	13,923
26,260	35,468	11,473	17,278	9,532	143,737
—	95,706	—	71,186	—	435,364
—	309,945	—	448,797	—	56,114
—	13,320	—	43,549	—	**28,750,459**
—	**2,547,456**	—	**25,149,811**	—	59,059
—	210,695	—	89,909	—	—
—	798,133	—	945,506	—	935,947
—	**1,008,828**	—	**1,035,415**	—	**995,006**
—	**26,483,388**	—	**26,185,226**	—	**29,313,465**

安東港輸移入品數

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價額
綿織物		—	11,835,763	—	11,360,080
毛及毛綿交織物		—	1,361,900	—	550,998
絹及絹綿交織物		—	158,936	—	204,365
其他雜織物		—	91,207	—	74,408
綿縫絲	擔	—	63,104	—	110,854
綿織絲	〃	95,245	3,578,598	53,436	2,933,108
棉花		5,428	166,940	9,359	311,697
繭蠶絲及絹製品		—	41,786	—	29,147
其他絲縷及材料		—	145,650	—	103,744
衣服及附屬品		—	3,460,631	—	1,187,117
米	擔	193,456	823,569	155,143	712,663
其他穀物及種子	〃	101,307	207,800	21,459	80,110
麥粉	〃	74,944	142,049	193,126	888,850
野菜及果物	〃	68,472	211,501	54,323	173,557
砂糖	〃	50,031	310,185	33,422	211,671
味噌及醬油	〃	6,243	29,905	5,989	28,654
水產物	〃	55,096	306,796	52,331	297,945
其他食料品		—	170,259	—	128,582
茶	擔	1,670	49,025	2,449	64,239
酒類及其他飲料		—	282,739	—	396,445
煙草		—	262,581	—	467,871
卷煙草製造材料		—	81,781	—	62,453
家具		—	259,857	—	127,231
藥品及藥材		—	282,812	—	253,140
染料及塗料		—	318,539	—	114,668
石油	米噸	980,966	270,232	338,015	101,601
機械油	噸	62,408	7,378	36,872	15,706
其他油脂		—	35,512	—	22,685

量及價額累年比較　　價額單位 海關兩

大正八年 數量	大正八年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	大正十年 數量	大正十年 價額
—	17,381,101	—	19,093,149	—	16,798,435
—	641,235	—	483,184	—	213,522
—	677,575	—	106,465	—	147,793
—	149,756	—	144,117	—	203,863
—	154,622	—	92,836	—	81,081
55,524	3,310,384	37,232	3,039,571	102,803	4,961,012
12,823	387,513	15,649	372,499	14,293	374,500
—	347,433	—	181,795	—	51,331
—	142,330	—	111,768	—	76,033
—	1,403,953	—	855,062	—	776,963
111,230	500,841	185,561	908,062	168,955	833,361
14,693	46,248	94,655	281,630	63,521	146,306
257,996	1,116,607	112,911	497,311	203,554	942,999
62,096	205,629	77,837	290,340	47,831	236,909
29,948	215,297	22,780	212,451	50,620	497,956
7,278	35,893	7,362	48,563	3,719	28,322
108,054	541,093	79,079	505,368	50,596	392,298
—	243,351	—	87,843	—	142,347
2,226	62,879	2,280	64,518	2,589	81,691
—	516,946	—	448,967	—	481,942
—	757,585	—	622,618	—	570,091
—	190,850	—	41,680	—	71,788
—	194,637	—	183,593	—	153,275
—	323,421	—	210,496	—	266,183
—	182,249	—	263,879	—	230,679
1,423,655	402,441	1,277,975	348,174	967,560	443,400
52,227	16,083	48,612	16,312	63,517	31,351
—	16,426	—	12,400	—	25,492

品名	數量單位	大正六年		大正七年	
		數量	價額	數量	價
蠟燭	擔	3,202	66,176	1,515	22,780
蠟燭製造材料		—	103,454	—	7,017
石鹼		—	131,385	—	128,739
燐寸	グロス	186,022	37,313	101,757	27,555
燐寸製造材料		—	8,364	—	—
薪及木炭	擔	33,796	8,034	20,916	8,382
石炭及コークス	英噸	370	1,894	2,242	13,162
鐵及鋼	擔	18,280	113,388	15,965	144,466
其他金屬	〃	471,668	141,623	274,857	161,352
金物		—	217,981	—	236,856
機械器具		—	204,305	—	340,013
セメント	擔	27,727	24,040	57,294	62,920
木材		—	151,753	—	227,777
建築材料		—	19,617	—	18,009
鐵道材料		—	3,134	—	13,671
電氣材料		—	167,045	—	64,542
美術及化粧用品		—	94,412	—	102,293
毛皮革骨角牙類		—	1,861,862	—	892,008
紙類		—	564,159	—	497,694
圖書及文具		—	133,904	—	132,688
硝子板及硝子器		—	26,820	—	49,124
陶磁器及土器		—	50,181	—	93,246
痲袋及其他袋類	枚	5,117,049	393,800	4,881,081	438,806
其他雜品		—	929,162	—	730,819
小包郵便物		—	122,013	—	169,066
合計		—	**30,532,854**	—	**25,286,531**

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
2,728	38,806	1,455	24,855	781	15,533
—	20,245	—	12,094	—	8,260
—	133,006	—	110,377	—	97,110
322,508	88,797	109,316	27,768	272,833	55,633
—	12,229	—	14,021	—	12,756
24,718	10,375	9,131	10,058	3,627	4,303
2,713	28,626	5,070	28,988	3,864	31,845
71,868	316,950	66,934	376,265	60,214	352,038
533,170	864,912	323,355	1,463,791	97,835	99,479
—	190,500	—	108,373	—	143,270
—	535,340	—	547,485	—	1,760,364
27,744	29,883	209,743	205,374	84,736	137,246
—	317,420	—	586,893	—	529,079
—	34,643	—	60,703	—	44,657
—	12,018	—	675	—	97,837
—	70,356	—	68,477	—	61,865
—	106,861	—	94,581	—	69,010
—	535,062	—	502,064	—	537,193
—	954,735	—	704,194	—	845,373
—	208,940	—	186,590	—	181,430
—	64,515	—	72,597	—	65,041
—	116,825	—	130,082	—	81,668
6,367,116	630,323	6,165,340	621,232	2,435,684	296,210
—	1,191,324	—	1,303,305	—	887,798
—	296,618	—	280,777	—	369,095
—	**36,973,984**	—	**37,065,475**	—	**35,036,011**

大正十年安東港輸移出

品名	數量單位	外國 日本 數量	外國 日本 價額	外國 朝鮮 數量	外國 朝鮮 價額
大豆	擔	5,699	17,515	2,945	9,645
其他豆類	〃	68,417	205,252	25,745	76,737
玉蜀黍	〃	—	—	106	222
高粱	〃	11	22	504	1,008
粟	〃	45	135	120,238	360,714
小麥	〃	—	—	15,901	75,145
其他穀物	〃	423	1,924	19,709	50,370
胡麻	〃	—	—	40,357	290,260
瓜子	〃	—	—	18	118
落花生	〃	1	9	1,129	5,156
其他種子	〃	24	238	6,336	28,466
野菜及果物	〃	217	1,453	1,643	6,419
麥粉	〃	—	—	73,925	429,843
素麵	〃	41	492	719	8,628
鷄卵	千箇	53	568	95	1,362
水產物	擔	5	20	278	3,526
支那酒	〃	—	—	581	5,728
煙草		—	—	—	74,407
茶		22	895	19	644
其他飲食料品	擔	—	16,404	—	17,723
豆粕	〃	1,302,514	3,256,284	231,529	578,823
豆油	〃	1	7	4,287	27,865
落花生油	〃	—	—	—	—
桐油	〃	—	—	16	172
其他油脂	〃	1	14	74	836
苧麻	〃	8	112	474	6,286
棉花	〃	—	—	616	13,542
麥稈眞田	〃	—	—	—	—

數量及價額仕向國別　(大東溝を含む)價額單位　海關兩

向 計 數量	向 計 價額	中國向 (中國諸港) 數量	中國向 (中國諸港) 價額	合計 數量	合計 價額
8,644	27,160	75,016	224,493	**83,660**	**251,653**
94,162	281,989	3,901	8,926	**98,063**	**290,915**
106	222	224,218	458,967	**224,324**	**459,189**
515	1,030	40,455	80,910	**40,970**	**81,940**
120,283	360,849	4,340	13,020	**124,623**	**373,869**
15,901	75,145	8	23	**15,909**	**75,168**
20,132	52,294	3,788	13,873	**23,920**	**66,167**
40,357	290,260	46	312	**40,403**	**290,572**
18	118	8	52	**26**	**170**
1,430	5,165	—	—	**1,430**	**5,165**
6,360	28,704	1	5	**6,361**	**28,709**
1,860	7,872	220	6,748	**2,080**	**14,620**
73,925	429,843	625	3,797	**74,550**	**433,640**
760	9,120	84	1,008	**844**	**10,128**
148	1,930	11	180	**159**	**2,110**
283	3,546	504	6,012	**787**	**9,558**
581	5,728	170	1,700	**751**	**7,428**
—	74,407	—	816	**—**	**75,223**
41	1,539	—	—	**41**	**1,539**
—	34,127	—	1,560	**—**	**35,687**
1,534,043	3,835,107	634,164	1,585,410	**2,168,207**	**5,420,517**
4,288	27,872	8,000	52,000	**12,288**	**79,872**
—	—	—	—	**—**	**—**
16	172	—	—	**16**	**172**
75	850	—	—	**75**	**850**
482	6,398	126	1,413	**608**	**7,811**
616	13,542	1	20	**617**	**13,562**
—	—	—	—	**—**	**—**

品名	數量單位	外國			
		日本		朝鮮	
		數量	價額	數量	價額
繭	擔	216	8,470	—	—
柞蠶絲	〃	19,461	10,398,150	24	8,400
生絲	〃	—	—	—	—
屑絹絲	〃	1,012	96,140	—	—
絹製品		—	4,981	—	64,082
豚毛	擔	—	—	—	—
羊毛及其他毛	〃	177	10,445	208	13,255
皮革		—	74,705	—	55,057
角牙	擔	—	—	—	—
獸骨	〃	4,420	3,160	5,734	7,998
家畜	頭	—	—	897	7,511
家禽	羽	22	17	718	147
獸脂	擔	2	14	18	273
木材		—	104,552	—	1,935,712
薪及木炭	擔	2,316	3,155	59,973	69,987
石炭及コークス	英噸	37	385	288,016	2,331,661
其他鑛產品		—	1,036	—	6,326
藥品及藥材		—	10,789	—	43,586
染料及塗料		—	89	—	22,886
人參	斤	613	905	5,050	7,103
金屬及金物		—	894	—	140,901
其他雜品		—	106,453	—	209,349
小包郵便物		—	40,042	—	16,072
輸移出計		—	**14,365,726**	—	**7,013,951**
再輸移出 中國品		—	1,680	—	55,658
再輸移出 外國品		—	255,836	—	661,187
計		—	**257,516**	—	**716,845**
合計		—	**14,623,242**	—	**7,730,796**

向 計 數量	向 計 價額	中國向 (中國諸港) 數量	中國向 (中國諸港) 價額	合計 數量	合計 價額
216	8,470	35,657	844,126	35,873	852,596
19,485	10,406,550	1,275	536,130	20,760	10,942,680
—	—	—	—	—	—
1,012	96,140	3,475	330,125	4,487	426,265
—	69,063	—	527	—	69,590
—	—	2	283	2	283
385	23,700	—	—	385	23,700
—	129,762	—	691	—	130,453
—	—	—	—	—	—
10,154	11,158	-	—	10,154	11,158
897	7,511	236	2,256	1,133	9,767
740	164	—	—	740	164
20	287	—	—	20	287
—	2,040,264	—	2,542,605	—	4,582,869
62,289	73,142	1,585	789	63,874	73,931
288,053	2,332,046	1,975	15,800	290,028	2,347,846
—	7,362	—	1	—	7,363
—	54,375	—	73,718	—	128,093
—	22,975	—	3,067	—	26,042
5,663	8,008	3,869	5,915	9,532	13,923
—	141,795	—	1,942	—	143,737
—	315,802	—	119,562	—	435,364
—	56,114	—	—	—	56,114
—	**21,379,677**	—	**6,938,782**	—	**28,318,459**
—	57,338	—	1,721	—	59,059
—	917,023	—	18,924	—	935,947
—	**974,361**	—	**20,645**	—	**995,006**
—	**22,354,038**	—	**6,959,427**	—	**29,313,465**

大正十年安東港輸移入

品名	數量單位	外 日本 數量	日本 價額	朝鮮 數量	朝鮮 價額	國 中 數量
綿絲物		—	14,141,467	—	76,698	—
毛及毛綿交織物		—	166,755	—	15,538	—
絹及絹綿交織物		—	107,386	—	6,263	—
其他雜織物		—	44,090	—	5,968	—
綿縫絲		—	54,337	—	87	—
綿織絲	擔	100,392	4,843,435	308	16,189	147
棉花	〃	332	3,604	78	743	5
繭蠶絲及絲製品		—	12,140	—	8,801	—
其他絲縷及材料		—	54,628	—	442	—
衣服及附屬品		—	733,957	—	24,126	—
米	擔	309	3,567	133,192	651,604	—
其他穀物及種子	〃	191	5,441	57,255	120,336	2
麥粉	〃	5,079	32,854	459	2,603	—
野菜及果物	〃	21,072	95,737	10,510	82,236	104
砂糖	〃	10,269	113,230	165	2,766	39,257
味噌及醬油	〃	363	3,495	3,356	24,827	—
水產物	〃	16,020	104,417	33,401	273,391	827
其他食料品		—	16,840	—	8,002	—
茶	擔	405	15,467	17	482	—
酒類及其他飲料		—	409,997	—	60,013	—
煙草		—	1,467	—	152,827	—
卷煙草製造材料		—	54,638	—	17,150	—
家具		—	142,638	—	5,643	—
藥品及藥材		—	193,932	—	17,992	—
染料及塗料		—	30,036	—	44,417	—
石油	米瓩	767,500	372,068	—	—	200,000
機械油	瓩	59,996	29,149	2,314	1,299	1,207
其他油脂		—	3,023	—	1,664	—

品數量及價額仕出國別　(大東溝を含む)價額單位　海關兩

品			中國品		合計	
國	諸港		(中國諸港)			
價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
1,144,384	—	15,362,549	—	1,435,886	—	16,798,435
31,229	—	213,522	—	—	—	213,522
—	—	113,649	—	34,144	—	147,793
65,693	—	115,751	—	88,112	—	203,863
26,657	—	81,081	—	—	—	81,081
7,740	100,847	4,867,364	1,959	93,648	102,803	4,961,012
35	415	4,382	13,878	370,118	14,293	374,500
—	—	20,941	—	30,390	—	51,331
1,968	—	57,038	—	18,995	—	76,033
212	—	758,295	—	18,658	—	776,953
—	133,501	655,171	35,454	178,190	168,955	833,361
76	57,448	125,853	6,073	20,453	63,521	146,306
—	5,538	35,457	198,016	907,542	203,554	942,999
231	31,686	178,204	16,145	58,705	47,831	236,909
373,150	49,691	489,146	929	8,810	50,620	497,956
—	3,719	28,322	—	—	3,719	28,322
10,206	50,248	388,014	348	4,284	50,596	392,298
15,932	—	40,774	—	101,573	—	142,347
—	422	15,950	2,167	65,741	2,589	81,691
7,918	—	477,928	—	4,014	—	481,492
198,563	—	352,857	—	217,234	—	570,091
—	—	71,788	—	—	—	71,788
864	—	149,145	—	1,130	—	153,275
11,450	—	222,374	—	43,809	—	266,183
145,407	—	219,860	—	10,819	—	230,679
71,332	967,500	443,400	—	—	796,500	443,400
903	63,517	31,351	—	—	63,517	31,351
1,080	—	5,767	—	19,725	—	25,492

品名	數量單位	外				國
		日本		朝鮮		中
		數量	數額	數量	數額	數量
蠟燭	擔	164	3,522	14	233	385
蠟燭製造材料		—	5,690	—	913	—
石鹼		—	77,087	—	3,094	—
燐寸	グロス	27,042	6,266	3,301	968	660
燐寸製造材料		—	372	—	12,384	—
薪及木炭	擔	—	—	3,627	4,303	—
石炭及コークス	英噸	—	—	960	10,717	—
鐵及鋼	擔	13,710	103,878	21,949	106,423	24,349
其他金屬	〃	1,992	64,635	95,270	24,862	280
金物		—	124,999	—	13,065	—
機械器具		—	292,930	—	1,454,708	—
セメント	擔	21,450	31,396	63,286	105,850	—
木材		—	1,478	—	526,777	—
建築材料		—	18,354	—	23,451	—
鐵道材料		—	737	—	97,100	—
電氣材料		—	57,506	—	2,746	—
美術及化粧用品		—	61,564	—	2,593	—
皮革毛骨角牙類		—	128,524	—	358,383	—
紙類		—	348,179	—	83,768	—
圖書及文具		—	140,158	—	15,256	—
硝子板及硝子器		—	58,112	—	2,129	—
陶磁器及土器		—	59,109	—	3,055	—
麻袋及其他袋類	枚	1,656,539	189,439	337,881	33,681	277,150
其他雜品		—	578,040	—	222,778	—
小包郵便物		—	323,464	—	36,631	—
合計		—	**24,464,234**	—	**4,767,976**	—

品			中國品		合計	
國諸	港		(中國諸港)			
價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
6,725	563	10,480	218	5,053	**781**	**15,533**
1,159	—	7,762	—	498	—	**8,260**
1,379	—	81,580	—	15,550	—	**97,110**
33	31,003	7,267	241,830	48,366	**272,833**	**55,633**
—	—	12,756	—	—	—	**12,756**
—	3,627	4,303	—	—	**3,627**	**4,303**
—	960	10,717	2,904	21,128	**3,864**	**31,845**
139,825	60,008	350,126	206	1,912	**60,214**	**352,038**
8,623	97,542	98,120	293	1,359	**97,835**	**99,479**
275	—	138,339	—	4,931	—	**143,270**
7,316	—	1,754,954	—	5,410	—	**1,760,364**
—	84,736	137,246	—	—	**83,736**	**137,246**
654	—	528,909	—	179	—	**529,079**
2,692	—	44,497	—	160	—	**44,657**
—	—	97,837	—	—	—	**97,837**
1,613	—	61,865	—	—	—	**61,865**
553	—	64,710	—	4,300	—	**69,010**
7,508	—	494,415	—	42,783	—	**537,198**
10,943	—	442,890	—	402,483	—	**845,373**
1,067	—	156,481	—	24,949	—	**181,430**
4,284	—	64,525	—	516	—	**65,041**
—	—	62,164	—	19,504	—	**81,668**
52,283	2,271,570	275,430	164,114	20,807	**2,435,684**	**296,210**
24,097	—	824,915	—	62,883	—	**887,798**
—	—	360,095	—	—	—	**360,095**
2,386,059	—	**31,618,509**	—	**4,417,742**	—	**36,036,011**

4. 營　　　口

大正十年度概況　大正十年度に於ける營口貿易總額は57,364,464
入に於ては明らかに順調を示して居る。然れども金換算をなすに於ては

營口輸移出入

		大正六年	大正七年
汽船貿易	外國品		
	外國より輸入額	5,088,542	4,934,723
	中國より移入額	5,007,773	4,551,070
	計	**10,096,315**	**9,485,793**
	外國へ再輸出額	10,130	24,327
	中國へ再移出額	149,791	251,897
	計	**159,921**	**276,224**
	純輸移入額	9,936,394	9,209,569
	中國品		
	中國より移入額	8,135,179	11,252,202
	外國へ再輸出額	50	—
	中國へ再移出額	55,901	24,606
	計	**55,951**	**24,606**
	純移入額	**8,079,228**	**11,227,596**
	外國へ輸出額	2,795,209	4,259,900
	中國へ移出額	8,018,671	5,280,996
	計	**10,813,877**	**9,549,896**
汽船貿易	輸移入額	18,231,494	20,737,995
	輸移出額	10,813,877	9,540,896
	再輸移出額	215,872	300,830
	計	**29,261,243**	**30,579,721**
戎克貿易	移入額	6,842,355	8,700,713
	移出及再移出額	4,470,600	5,876,978
	計	**11,312,955**	**14,577,691**
合計	輸移入額	**25,073,849**	**29,438,708**
	輸移出及再輸移出額	**15,500,349**	**15,718,704**
	計	**40,574,198**	**45,157,412**

貿　　　　易

海關兩で銀爐の閉業する等あつて多少金融界の梗塞を來たしたが海關收大連安東と同樣反つて減少を示して居る。

品價額累年比較　　　價額單位 海關兩

大正八年	大正九年	大正十年	前年との比較增減
6,086,955	7,105,140	7,882,212	(+) 777,072
5,496,207	8,641,347	11,698,348	(+) 3,057,001
11,583,162	**15,746,487**	**19,580,560**	(+) **3,834,073**
15,060	6,718	22,477	(+) 15,759
247,744	104,141	84,275	(−) 19,866
262,804	**110,859**	**106,752**	(−) **4,107**
11,320,358	15,635,628	19,473,808	(+) 3,838,180
11,891,676	16,547,459	17,026,527	(+) 479,068
15,214	974	21,062	(+) 20,088
80,983	46,889	79,097	(+) 32,208
86,197	**47,863**	**100,159**	(+) **52,296**
11,795,479	16,499,596	16,926,368	(+) 426,772
10,471,315	3,218,290	7,281,223	(+) 4,062,933
7,754,134	10,776,254	13,683,065	(+) 2,906,811
18,225,449	**13,994,544**	**20,964,288**	(+) **6,969,744**
23,474,838	32,293,945	36,607,087	(+) 4,313,141
18,225,449	13,944,544	20,964,087	(+) 6,969,744
359,001	158,722	206,911	(+) 48,189
42,059,288	**46,447,212**	**57,728,286**	(+) **11,331,074**
8,491,703	9,600,592	8,203,086	(−) 1,367,506
3,801,581	3,886,348	3,925,813	(+) 39,465
12,293,284	**13,486,940**	**12,128,899**	(−) **1,358,041**
31,966,541	**41,894,538**	**44,810,173**	(+) **2,915,635**
22,386,031	**18,039,614**	**25,097,012**	(+) **7,057,393**
54,352,572	**59,934,152**	**69,907,185**	(+) **9,973,033**

牛莊港輸移出品數

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
大豆	擔	774,371	2,236,794	679,587	1,800,658
其他豆類	〃	48,395	177,039	54,213	159,885
玉蜀黍	〃	94,639	165'713	86,843	179,271
高粱	〃	783,510	1,443,967	721,812	1,459,634
粟	〃	68,851	198,039	78,501	239,270
小麥	〃	3,701	11,627	47,649	137,229
其他穀物	〃	1,931	10,464	14,999	83,180
胡麻	〃	8,487	63,959	1,985	16,123
瓜子	〃	24,345	232,893	15,807	163,246
落花生	〃	—	—	—	—
其他種子	〃	8,807	26,430	5,392	14,612
野菜及果物	〃	2,860	14,728	6,270	20,034
麥粉	〃	4,836	16,184	1,276	5,895
素麵	〃	—	—	17	133
鷄卵	千箇	—	—	—	—
水產物	擔	18,207	112,546	13,579	58,518
支那酒	〃	34,635	317,044	43,698	407,144
煙草		—	173,391	—	254,411
茶	擔	56	2,759	20	1,397
其他飲食料品		—	167,886	—	16,817
豆粕	擔	2,675,627	5,173,104	2,252,231	4,525,704
豆油	〃	132,419	1,486,455	174,875	2,140,954
落花生油	〃	—	—	—	—
桐油	〃	2	30	9	122
其他油脂	〃	30,772	304,445	19,901	271,628
苧麻	〃	4,437	24,328	5,149	46,445
棉花	〃	1,006	28,339	5	158
麥稈眞田	〃	—	—	—	—

量及價額累年比較　　價額單位　海關兩

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
1,169,945	3,644,627	1,128,182	3,140,842	1,491,298	4,397,288
54,409	165,567	52,156	164,814	40,882	154,586
317,091	520,644	89,645	179,288	301,899	643,157
218,139	281,106	280,823	521,247	1,066,407	2,355,555
98,055	268,536	252,577	786,523	321,913	1,003,181
204,193	559,507	78,094	261,464	170,334	620,660
42,947	78,915	5,184	24,994	38,903	87,270
31,083	228,574	41,925	253,674	26,185	168,942
43,872	388,771	65,539	519,833	54,695	334,142
—	—	31	101	—	—
27,179	84,788	4,145	9,760	11,468	22,129
2,705	15,204	7,461	46,018	3,651	36,553
544	2,497	27,871	141,585	32,134	127,351
—	—	2	65	74	661
3	32	531	5,250	465	4,796
10,284	73,682	11,826	77,427	23,957	180,923
40,065	352,417	38,742	404,368	51,832	490,672
—	97,329	—	51,999	—	25,790
8	405	—	—	—	—
—	932,392	—	87,716	—	97,374
3,526,512	7,567,800	3,059,084	6,196,919	3,446,141	8,776,887
238,062	2,482,399	219,242	1,814,918	260,157	1,620,363
—	—	27	365	—	—
1	16	2	34	1	19
51,125	481,711	51,667	409,958	43,015	275,317
13,427	99,800	9,144	65,247	4,905	36,747
29	953	6	158	76	1,919
—	—	—	—	—	—

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
繭	擔	1,274	114,145	399	22,547
柞蠶絲	〃	2,263	515,221	1,696	391,746
生絲	〃	—	—	—	—
屑絹絲	〃	1,504	60,074	3,652	160,359
絹製品		—	—	—	834
豚毛	擔	2,592	247,086	2,500	182,598
羊毛及其他毛	〃	1,624	40,172	3,675	89,568
皮革		—	222,448	—	207,400
角牙	擔	22	126	128	12,704
獸骨	〃	6,263	7,082	8,227	9,641
家畜	頭	1,032	9,291	1,852	16,360
家禽	羽	—	—	—	—
獸脂		—	—	7	112
木材		—	1,820	—	22,200
薪及木炭	擔	—	—	—	—
石炭及コークス	英噸	37,114	207,899	61,342	345,061
其他鑛產品		—	3,914	—	69,197
藥品及藥材		—	465,775	—	481,833
染料及塗料	斤	—	7,150	—	3,628
人蔘		410,859	444,814	179,525	301,983
金屬及金物		—	336,642	—	960,205
其他雜品		—	199,745	—	112,986
小包郵便物		—	12,910	—	24,444
輸移出計		—	**15,284,477**	—	**15,417,874**
再輸移出 中國品		—	55,951	—	24,606
再輸移出 外國品		—	159,921	—	276,224
計		—	**215,872**	—	**300,830**
合計		—	**15,500,349**	—	**15,718,704**

大正八年		大正九年		大正十年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
1,279	81,961	447	33,932	81	6,216
3,136	844,882	1,777	498,320	1,376	419,957
—	—	—	—	—	—
6,315	297,563	2,864	318,677	3,025	228,388
—	3,527	—	2,715	—	3,089
1,583	120,589	1,996	165,217	1,697	184,540
5,709	137,015	1,970	62,685	2,279	77,076
—	375,519	—	88,413	—	176,535
—	—	256	16,118	—	—
17,071	22,252	4,585	6,053	7,616	11,353
1,741	16,216	1,771	14,428	1,423	12,568
—	—	—	—	—	—
9	181	37	662	—	—
—	22,828	—	91,295	—	130,598
7	13	—	—	350	1,187
56,481	365,163	22,393	207,208	43,566	380,166
—	76,078	—	40,759	—	49,188
—	527,707	—	392,810	—	492,199
—	13,045	—	14,160	—	4,420
248,491	384,455	246,087	371,671	225,751	504,699
—	167,085	—	81,985	—	590,197
—	230,977	—	247,777	—	137,151
—	12,302	—	11,440	—	9,543
—	**22,027,030**	—	**17,880,892**	—	**24,881,352**
—	96,197	—	47,863	—	100,159
—	262,804	—	110,859	—	115,501
—	**359,001**	—	**158,722**	—	**215,660**
—	**22,386,031**	—	**18,039,614**	—	**25,097,012**

牛莊港輸移入品數

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
綿織物		—	8,931,009	—	10,472,180
毛及毛綿交織物		—	54,004	—	50,114
絹及絹綿交織物		—	545,840	—	560,912
其他雜織物		—	42,821	—	80,571
綿縫絲		—	67,117	—	76,939
綿織絲	擔	76,385	2,394,362	72,014	3,418,780
棉花	〃	20,970	561,430	23,969	696,273
繭蠶絲及絹製品	〃	—	690	—	4,661
其他絲縷及材料		—	49,578	—	62,845
衣服及附屬品		—	73,075	—	64,164
米	擔	42,388	176,076	54,195	258,690
其他穀物及種子	〃	5,650	27,910	47,375	158,232
麥粉	〃	65,034	285,551	117,050	536,876
野菜及果物	〃	34,634	125,393	40,523	172,224
砂糖	〃	196,948	1,262,989	207,975	1,348,151
味噌及醬油	〃	1,561	7,787	2,408	14,433
水産物	〃	49,611	275,825	56,428	362,640
其他食料品		—	393,577	—	349,049
茶	擔	38,537	1,609,283	64,593	2,469,862
酒類及其他飲料		—	132,055	—	183,808
煙草		—	533,577	—	625,604
卷煙草製造材料		—	30,607	—	141,645
家具		—	14,324	—	52,683
藥品及藥材		—	532,488	—	540,176
染料及塗料		—	965,189	—	433,913
石油	米哦	3,690,487	760,406	3,047,681	914,777
機械油	哦	4,307	69,521	3,426	3,217

較比年累額價及量　　價額單位 海關兩

大正八年 數量	大正八年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	大正十年 數量	大正十年 價額
—	9,590,057	—	14,782,393	—	15,638,036
—	67,876	—	232,231	—	212,606
—	832,651	—	983,391	—	520,897
—	190,875	—	128,423	—	275,642
—	115,823	—	23,555	—	111,662
56,399	3,128,458	101,463	5,894,192	146,898	7,896,676
20,832	563,229	36,415	733,561	23,231	494,878
—	16,034	—	25	—	15,399
—	105,165	—	14,292	—	119,001
—	79,166	—	95,424	—	106,704
34,967	148,950	49,244	217,379	60,168	253,562
90,401	255,126	233,818	633,382	39,699	132,759
152,556	656,119	59,300	261,835	77,275	309,415
46,110	171,545	75,764	162,223	57,007	181,188
176,247	1,048,702	165,138	1,633,399	321,183	2,534,856
2,077	16,543	541	3,240	1,055	24,829
53,672	280,695	41,309	339,492	49,019	403,402
—	1,585,235	—	844,887	—	1,019,766
46,342	1,871,900	58,677	2,491,605	45,504	1,735,824
—	138,895	—	172,352	—	155,413
—	1,941,432	—	876,216	—	933,294
—	69,176	—	21,232	—	50,506
—	79,865	—	119,558	—	129,715
—	623,958	—	647,720	—	753,547
—	288,882	—	1,537,715	—	2,374,194
8,408,587	1,757,970	7,219,512	2,036,664	3,882,675	1,235,120
6,802	78,445	2,149	5,112	7,848	6,145

品名	數量單位	大正六年 數量	大正六年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額
其他油脂		—	51,515	—	42,924
蠟燭	擔	9,619	178,192	3,108	59,550
蠟燭製造材料		—	382,013	—	35,743
石鹼		—	75,775	—	85,017
燐寸	グロス	66,371	19,912	128,789	32,198
燐寸製造材料		—	20,830	—	55,586
薪及木炭	擔	677	305	—	—
石炭及コークス	英噸	852	1,029	2,412	12,074
鐵及鋼	擔	12,554	79,589	9,309	87,393
其他金屬	〃	13,684	165,211	8,278	129,335
金物		—	470,281	—	511,810
機械器具		—	33,182	—	17,512
セメント	擔	207	228	210	254
木材		—	87,653	—	99,379
建築材料		—	752	—	9
鐵道材料		—	—	—	—
電氣材料		—	4,967	—	50,188
美術及化粧用品		—	63,934	—	100,543
皮革毛骨角牙類		—	284,265	—	649,406
紙類		—	1,759,595	—	2,170,024
圖書及文具		—	73,227	—	87,514
硝子板及硝子器		—	16,975	—	21,290
陶磁器及土器		—	503,751	—	55,441
麻袋及其他袋類	枚	1,359,647	195,170	1,156,225	167,023
其他雜品		—	415,489	—	335,070
小包郵便物		—	61,520	—	84,006
合計		—	**25,073,849**	—	**29,438,708**

大正八年 數量	大正八年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	大正十年 數量	大正十年 價額
—	34,338	—	35,350	—	52,755
4,259	86,089	3,383	69,337	2,362	39,918
—	42,874	—	50,137	—	57,238
—	66,913	—	63,866	—	68,060
93,045	21,028	13,224	2,529	10,605	1,099
—	34,871	—	80,488	—	35,747
640	253	—	—	9	13
41,672	287,385	51,497	394,751	11,655	90,091
35,806	142,987	59,642	277,077	119,159	711,408
17,777	213,628	28,839	325,325	12,588	248,477
—	448,097	—	275,309	—	338,483
—	58,563	—	40,673	—	71,398
270	243	360	360	2,974	4,403
—	254,810	—	356,061	—	352,492
—	876	—	4,810	—	3,337
—	—	—	6,726	—	45,700
—	19,482	—	12,650	—	26,925
—	122,326	—	144,791	—	170,054
—	581,885	—	605,733	—	449,151
—	2,259,552	—	2,238,206	—	2,031,721
—	192,660	—	272,031	—	297,708
—	16,943	—	92,095	—	69,373
—	453,065	—	685,043	—	807,170
1,283,660	250,098	1,325,319	145,771	3,814,910	560,238
—	603,580	—	754,874	—	551,890
—	71,223	—	69,047	—	100,288
—	**31,966,541**	—	**41,894,538**	—	**44,810,173**

大正十年牛莊港輸

品別	數量單位	外 日本 數量	外 日本 價額	朝 數量
大豆	擔	54,458	167,457	—
其他豆類	”	15,175	61,210	—
玉蜀黍	”	1,798	3,891	—
高粱	”	17,900	41,840	—
粟	”	835	2,608	—
小麥	”	159,135	580,843	9,130
其他穀物	”	4,167	8,155	—
胡麻	”	9,656	63,691	—
瓜子	”	—	—	—
落花生	”	—	—	—
其他種子	”	10,439	12,445	—
野菜及果物	”	44	75	—
麥粉	”	—	—	—
素麵	”	—	—	—
鷄卵	千箇	465	4,796	—
水產物	擔	—	—	—
支那酒	”	2	19	—
煙草		—	8,504	—
茶	擔	—	—	—
其他飲食料品		—	—	—
豆粕	擔	1,842,965	4,719,833	—
豆油	”	3,516	22,636	—
落花生油	”	—	—	—
桐油	”	—	—	—
其他油脂	”	—	—	—
苧麻	”	—	—	—
棉花	”	71	1,810	—
麥稈眞田	”	—	—	—

移出品數量及價格 (其ノ一) 價額單位 海關兩

國 鮮 價額	香港 數量	香港 價額	向 歐羅巴 數量	歐羅巴 價額
—	56,004	170,528	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
33,324	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	6,710	41,797	—	—
—	—	—	—	—
—	339	3,203	420	3,974
—	101	9,182	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	7	700	—	—
—	666	6,327	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
74,970	—	12,213	—	—
—	—	—	—	—
—	963	6'200	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	339	1,634	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

品名	數量單位	外		
		日本		朝
		數量	價額	數量
繭	擔	—	—	—
柞蠶絲	〃	—	—	—
生絲	〃	—	—	—
屑絹絲	〃	—	—	—
絹製品		—	—	—
豚毛	擔	—	—	—
羊毛及其他毛	〃	159	2,761	—
皮革		—	—	—
角牙	擔	—	—	—
獸骨	〃	7,592	11,196	—
家畜	頭	301	2,588	—
家禽	羽	—	—	—
獸脂	擔	—	—	—
木材		—	17,313	—
薪及木炭	擔	350	1,187	—
石炭及コークス	英噸	1,393	12,307	380
其他鑛產品		—	42,966	—
藥品及藥材		—	10,562	—
染料及塗料		—	—	—
人蔘	斤	—	—	—
金屬及金物		—	411,389	—
其他雜品		—	24,633	—
小包郵便物		—	4,889	—
輸移出計		—	**6,241,113**	—
再輸移出 中國品		—	16,477	—
再輸移出 外國品		—	17,539	—
計		—	**34,016**	—
合計		—	**6,275,129**	—

國	向			
鮮	香港		歐羅巴	
價額	數量	價額	數量	價額
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	426	32,950
—	—	—	940	33,847
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
3,355	920	8,124	—	—
—	—	—	—	—
—	—	166,632	—	—
—	—	—	—	—
—	45,234	194,465	—	—
—	—	—	—	—
436	—	1,824	—	124
2,890	—	593	—	471
114,975	—	**623,422**	—	**71,366**
—	—	18	—	—
80	—	4,158	—	700
80	—	**4,176**	—	**700**
115,055	—	**627,598**	—	**72,066**

品別	單位數量	外國 北米合衆國 數量	外國 北米合衆國 價額	外國 計 數量
大豆	擔	—	—	110,462
其他豆類	〃	—	—	15,175
玉蜀黍	〃	—	—	1,798
高粱	〃	—	—	17,900
粟	〃	—	—	835
小麥	〃	—	—	168,265
其他穀物	〃	—	—	4,167
胡麻	〃	—	—	9.656
瓜子	〃	—	—	6,710
落花生	〃	—	—	—
其他種子	〃	—	—	11,198
野菜及果物	〃	—	—	145
麥粉	〃	—	—	—
素麵	〃	—	—	—
鷄卵	千箇	—	—	465
水產物	擔	—	—	7
支那酒	〃	—	—	668
煙草		—	—	—
茶	擔	—	—	—
其他飲食料品		—	—	—
豆粕	擔	—	—	1,842,965
豆油	〃	—	—	4,479
落花生油	〃	—	—	—
桐油	〃	—	—	—
其他油脂	〃	—	—	239
苧麻	〃	—	—	—
棉花	〃	—	—	71
麥稈眞田	〃	—	—	—

移出品數量及價格　(其ノ二)

向計	中國向（中國諸港）		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
337,985	1,380,836	4,059,303	1,491,298	4,397,288
61,210	25,707	93,376	40,882	154,586
3,891	301,101	639,266	301,899	643,157
41,349	1,048,507	2,314,206	1,066,407	2,355,555
2,608	321,078	1,000,573	321,913	1,003,181
614,167	2,069	6,493	170,334	620,660
8,155	34,736	79,115	38,903	87,270
63,691	16,529	105,251	26,185	168,942
41,797	47,985	292,345	54,695	334,142
—	—	—	—	—
19,622	270	2,507	11,468	22,129
9,257	3,506	27,296	3,651	36,553
—	32,134	127,351	32,134	127,351
—	74	661	74	661
4,796	—	—	465	4,796
700	23,950	180,223	23,957	180,923
6,346	51,164	484,326	51,832	490,672
8,504	—	17,286	—	25,790
—	—	—	—	—
87,183	—	10,191	—	97,374
4,719,433	1,603,176	4,057,054	3,446,141	8,776,887
28,836	256,678	1,591,527	260,157	1,620,363
—	—	—	—	—
—	1	19	1	19
1,634	42,776	273,688	43,015	275,317
—	4,905	36,747	4,905	36,747
1,810	5	109	76	1,919
—	—	—	—	—

品別	數量單位	外國 北米合衆國 數量	價額	計 數量
繭	擔	—	—	—
柞蠶絲	„	—	—	—
生絲	„	—	—	—
屑絹絲	„	—	—	—
絹製品		—	—	—
豚毛	擔	1,150	135,962	1,576
羊毛及其他毛	„	543	20,446	1,642
皮革		—	73,220	—
角牙	擔	—	—	—
獸骨	„	—	—	7,592
家畜	頭	—	—	30[illegible]
家禽	羽	—	—	—
獸脂	擔	—	—	—
木材		—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	350
石炭及コークス	英噸	—	—	2,693
其他鑛產品		—	—	—
藥品及藥材		—	19	—
染料及塗料		—	—	—
人蔘	斤	—	—	45,234
金屬及金物		—	—	—
其他雜品		—	—	—
小包郵便物		—	700	—
輸移出計		—	**230,347**	—
再輸移出 中國品		—	4,567	—
再輸移出 外國品		—	—	—
計		—	**4,567**	—
合計		—	**234,914**	—

向計	中國品（中國諸港）		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
—	81	6,216	81	6,216
—	1,370	419,957	1,370	419,957
—	—	—	—	—
—	3,025	228,388	3,025	228,388
—	—	3,089	—	3,089
168,912	121	15,628	1,697	184,540
57,054	637	20,022	2,279	77,076
73,220	—	103,315	—	176,535
—	—	—	—	—
11,196	24	157	7,616	11,353
2,588	1,122	9,980	1,423	12,568
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
17,313	—	113,285	—	130,598
1,187	—	—	350	1,187
23,786	40,873	356,380	43,566	380,166
42,966	—	6,222	—	49,188
177,213	—	314,986	—	492,199
—	—	4,420	—	4,420
194,465	180,517	310,234	225,751	504,699
411,389	—	178,808	—	590,197
27,017	—	110,134	—	137,151
9,543	—	—	—	9,543
7,281,223	—	17,600,129	—	24,881,352
21,062	—	79,097	—	100,159
22,477	—	93,024	—	115,501
43,539	—	172,121	—	215,660
7,324,762	—	17,772,250	—	25,097,012

品名	數量單位	外		
		日本		朝
		數量	價額	數量
綿織物		—	1,561,071	—
毛及毛綿交織物		—	1,196	—
絹及絹綿交織物		—	782	—
其他雜織物		—	739	—
綿縫絲		—	16,828	—
綿織絲	擔	17,486	867,837	—
棉花	〃	228	2,251	—
繭蠶絲及絹製品		—	13	—
其他絲縷及材料		—	4,409	—
衣服及附屬品		—	25,616	—
米	擔	225	2,180	2
其他穀物及種子	〃	13	60	—
麥粉	〃	8	108	—
野菜及果物	〃	14	1,668	—
砂糖	〃	4,781	51,459	—
味噌及醬油	〃	1,053	24,790	—
水產物	〃	1,600	20,959	—
其他食料品		—	358	—
茶	擔	3	43	—
酒類及其他飲料		—	69,938	—
煙草		—	137,775	—
卷煙草製造材料		—	43,589	—
家具		—	41,880	—
藥品及藥材		—	58,613	—
染料及塗料		—	15,783	—
石油	米哦	—	—	—
機械油	哦	3,834	1,613	—

入品數量價額仕出國別　(其ノ一)　價額單位　海關兩

國		品		
鮮	中 國		其他亞細亞	
價額	數量	價額	數量	價額
—	—	4,148,306	—	—
—	—	211,410	—	—
—	—	5,034	—	—
—	—	235,743	—	36
—	—	50,306	—	3,356
—	33,339	2,016,176	3,276	143,236
—	2	35	10	253
—	—	908	—	—
—	—	3,505	—	795
—	—	6,607	—	2,023
9	450	2,129	34,275	143,050
—	10	123	83	164
—	3,943	15,791	368	1,512
—	1,568	7,249	9,390	21,027
—	14,719	168,634	285,832	2,245,532
—	—	—	—	—
—	1,645	48,662	116	16,949
—	—	40,742	—	26,369
—	2	93	—	—
—	—	41,905	—	285
5,645	—	200,436	—	10,573
—	—	3,861	—	—
—	—	29,047	—	757
—	—	50,985	—	166,163
—	—	2,164,454	—	132,234
—	3,052,705	972,020	—	—
—	4,014	4,532	—	—

品名	數量單位	外國 歐羅巴其他 數量	價額	亞米利 數量
其他油脂		—	5	—
蠟燭	擔	—	—	—
蠟燭製造材料		—	959	—
石鹼		—	13,951	—
燐寸	グロス	50	22	—
燐寸製造材料		—	34,110	—
薪及木炭	擔	—	—	—
石炭及コークス	英噸	70	745	—
鐵及鋼	擔	20,481	54,917	—
其他金屬	〃	2,419	55,877	—
金物		—	19,433	—
機械器具		—	26,706	—
セメント	擔	157	660	—
木林		—	225	—
建築材料		—	264	—
鐵道材料		—	—	—
電氣材料		—	653	—
美術及化粧用品		—	13,289	—
皮革毛骨角牙類		—	80	—
紙類		—	67,075	—
圖書及文具		—	7,159	—
硝子板及硝子器		—	8,822	—
陶磁器及土管		—	379	—
麻袋及其他袋類	計	12,937	513	—
其他雜品		—	28,702	—
小包郵便物		—	77,024	—
合計		—	3,363,128	—

品 加其他	中國品 (中國諸港)		其他亞細亞	
價額	數量	價額	數量	價額
—	—	3,835	—	3,759
—	1,558	30,511	—	—
—	—	56,279	—	—
—	—	11,126	—	1,843
—	50	20	—	—
—	—	330	—	62
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	91,764	632,618	6,694	21,497
—	7,949	138,597	1,418	40,324
—	—	28,731	—	260
—	—	22,503	—	—
—	872	1,238	590	792
—	—	2,115	—	10,199
—	—	2,083	—	537
—	—	—	—	—
—	—	16,871	—	—
—	—	2,955	—	132,046
—	—	28,116	—	65,144
—	—	104,736	—	25,434
30	—	5,855	—	3,417
—	—	55,815	—	79
—	—	114	—	—
—	240,450	24,269	3,309,359	508,074
300	—	71,576	—	57,156
1,304	—	—	—	2,224
7,288	—	**11,698,986**	—	**3,793,161**

大正十年牛莊港輸移

品名	數量單位	外		
		歐羅巴其他		亞米利
		數量	價額	數量
綿織物		—	42,576	—
毛及毛綿交織物		—	—	—
絹及絹綿交織物		—	—	—
其他雜織物		—	—	—
綿縫絲		—	31,425	—
綿織絲	擔	—	—	—
棉花	〃	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	—	—
其他絲縷及材料		—	538	—
衣服及附屬品		—	—	—
米	擔	—	—	—
其他穀物及種子	〃	—	—	—
麥粉	〃	—	—	—
野菜及果物	〃	—	—	—
砂糖	〃	—	—	—
味噌及醬油	〃	—	—	—
水產物	〃	—	—	—
其他食料品		—	—	—
茶	擔	—	—	—
酒類及其他飲料		—	—	—
煙草		—	—	—
卷煙草製造材料		—	72	—
家具		—	750	—
藥品及藥材		—	581	—
染料及塗料		—	18,773	—
石油	米哦	—	—	820,970
機械油	哦	—	—	—

入品數量價額仕出國別　(其ノ二)

國			合計	
加其他	中國諸港			
價額	數量	價額	數量	價額
—	—	9,889,453	—	15,638,036
—	—	—	—	212,606
—	—	515,081	—	520,897
—	—	39,124	—	275,642
—	—	77	—	111,662
—	92,797	4,839,427	146,898	7,896,676
—	22,991	492,339	23,231	494,878
—	—	14,478	—	15,399
—	—	109,754	—	119,001
—	—	72,458	—	106,704
—	25,216	106,194	60,168	253,562
—	39,593	132,412	39,699	132,759
—	72,956	292,004	77,275	309,415
—	46,035	151,244	57,007	181,188
—	15,851	69,231	321,183	2,534,856
—	2	39	1,055	24,829
—	45,658	316,832	49,019	403,402
—	—	951,738	—	1,019,766
—	45,499	1,735,688	45,504	1,735,824
—	—	43,285	—	155,413
3,340	—	576,525	—	933,294
2,984	—	—	—	50,506
3,169	—	54,112	—	129,715
—	—	477,205	—	753,547
—	—	38,787	—	2,374,194
363,100	—	—	3,882,675	1,235,120
—	—	—	7,848	6,145

品名	數量單位	外國 歐羅巴其他 數量	外國 歐羅巴其他 價額	外國 亞米利 數量
其他油脂		—	—	—
蠟燭	擔	4	173	—
蠟燭製造材料		—	—	—
石鹼		—	—	—
燐寸	グロス	—	—	—
燐寸製造材料		—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—
鐵及鋼	擔	—	—	—
其他金屬	〃	—	—	—
金物		—	—	—
機械器具		—	1,638	—
セメント	擔	—	—	—
木材		—	—	—
建築材料		—	—	—
鐵道材料		—	—	—
電氣材料		—	—	—
美術及化粧用品		—	—	—
皮革毛骨角牙類		—	100	—
紙類		—	—	—
圖書及文具		—	100	—
硝子板及硝子器		—	3,617	—
陶磁器及土管		—	—	—
麻袋及其他袋類	枚	—	—	—
其他雜品		—	2,512	—
小包郵便物		—	5,456	—
合計		—	108,311	—

品 加其他	中國品 (中國諸港)		合計	
價額	數量	價額	數量	價額
—	—	39,156	—	52,755
—	800	9,234	2,362	39,918
—	—	—	—	57,238
4,681	—	36,459	—	68,060
—	10,505	1,057	10,605	1,099
—	—	1,245	—	35,747
—	9	13	9	13
—	11,585	89,346	11,655	90,091
—	220	2,376	119,159	711,408
—	802	13,679	12,588	248,477
—	—	290,059	—	338,483
30	—	20,521	—	71,398
—	1,354	1,713	2,973	4,403
256,047	—	83,906	—	352,492
—	—	453	—	3,337
45,700	—	—	—	45,700
—	—	9,401	—	26,925
1,319	—	20,445	—	170,054
—	—	355,711	—	449,151
—	—	1,834,476	—	2,031,721
—	—	281,147	—	297,708
—	—	1,040	—	69,373
—	—	806,677	—	807,170
—	252,164	27,382	3,814,910	560,238
652	—	390,992	—	551,890
14,280	—	—	—	100,288
594,302	—	25,228,975	—	44,810,173

（二） 北滿洲の貿易

1. 大正十年度貿易の概況

西比利の政情は未だ不安の域を脱しないが北滿は之れに反し、稍秩序を保つに至り、經濟的復活も漸く其緒に著かんとして居る。從つて特產物の出廻りも舊に復しつつあるから、大正十年度の北滿貿易は、前年に比し增額を來たした。今北滿貿易額の累年比較を見るに下の如くである。

	海關両
大正六年度	72,753,796
大正七年度	47,603,139
大正八年度	61,711,392
大正九年度	65,222,231
大正十年度	71,487,856

尚大正十年度各關の輸移出入及對露貿易の情勢を見れば下の如くである。

大正十年北滿各關貿易額

地名	總貿易額			對露領	
	輸移入	輸移出	合計	輸入	輸出
	海關両	海關両	海關両	海關両	海關両
愛琿	5,665,087	3,289,548	8,954,635	67,975	1,872,986
三姓	866,686	6,028,407	6,895,093	342,005	312,463
滿州里	1,631,406	5,118,440	6,749,846	1,563,699	4,946,504
哈爾賓（松花江貿易）	19,372,651	8,237,535	27,610,186	110,663	987,330
綏芬河	5,237,571	16,040,525	21,278,096	5,237,571	16,040,525
合計	32,773,401	38,714,455	71,487,856	7,321,913	24,159,808

上表を見るに本年の貿易額は前年に比し約一割の増進である然るに北滿各關を通した貿易額を以て直ちに北滿全體の貿易と見る事は出來ない何故なれは大連、營口、安東等の南滿諸港を通關して哈爾賓及其附近に入り更に其より地方に分布さるる貨物が非常に多いのであるが是等の貨物の計數は前表に含まれて居ない卽哈爾賓の計數は松花江水運によりて江岸地方又は接壤地西伯利地方との輸移出入のみて鐵道其他の交通機關に依る輸移出入は計上されてないのである。

然して北滿各關を通じて本年の對露輸入總額は7321913海關兩で衰退したとはいへ前年の8187852海關兩に比し更に一層の減少である之れ西比利の政情混沌として產業組織は破れ住民は一般に其日暮しの狀態に陷つたゝめ產業並に購買力の減少した結果である。

今過去五箇年間の對露貿易輸入額を各税關別に揭ぐれは下の如くである。

	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
	海關兩	海關兩	海關兩	海關兩	海關兩
愛琿	48,161	114,390	25,207	51,456	67,975
三姓	12,610	21,200	16,968	39,428	342,005
滿州里	2,869,238	1,356,812	1,572,836	3,348,691	1,563,699
哈爾賓	93,422	129,138	53,106	289,588	110,663
綏芬河	5,814,002	3,738,193	11,391,547	4,458,689	5,237,571
計	8,837,453	5,359,733	13,059,664	8,187,852	7,321,913

次に北滿各關を通して本年の對露輸出總額を見るに24,159,808海關兩て前年の34,361,133海關兩に比し三割の減退である之れ對露輸出も前述の如く露國內產業の萎靡頽敗に基く購買力の減少は到底一時に回復を望み難く輸出貿易の旺盛なりしは唯浦鹽方面行北滿特產物の輸出のみであつた。

今過去五箇年間の對露貿易輸入額を各税關別に揭ぐれは下の如くである。

	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
	兩	兩	兩	兩	兩
愛琿	1,651,077	2,765,147	1,420,247	3,769,590	1,872,986
三姓	921,837	204,893	1,661,565	533,098	312,463
滿州里	20,291,587	3,050,715	13,197,490	13,118,271	4,946,504
哈爾賓	4,068,497	314,604	1,336,722	1,100,152	987,330
綏芬河	5,814,202	3,738,193	11,391,547	15,870,022	16,040,525
計	32,747,020	10,073,552	19,007,571	34,391,133	24,159,808

北滿各關對露輸出

品名	數量單位	愛琿		三姓	
		數量	價額	數量	價額
大豆	擔	5,571	12,880	284	648
其他豆類	〃	152	330	1,365	4,150
玉蜀黍	〃	240	480	667	1,074
高粱	〃	5,228	13,245	16,485	33,557
粟	〃	—	—	—	—
小麥	〃	4,073	6,562	33,922	138,036
其他穀物	〃	2,590	3,238	1,248	2,438
胡麻	〃	212	2,120	—	—
瓜子	〃	14	132	134	831
落花生	〃	59	378	—	—
其他種子	〃	—	—	33	84
野菜及果物	〃	1,877	14,142	984	1,623
麥粉	〃	27,958	273,297	5715	38,748
素麵	〃	686	7,186	140	1,134
鷄卵	千箇	40	880	69	1,342
水產物	擔	248	5,022	11	68
支那酒	〃	54	448	1,053	7,687
煙草	〃	—	7,649	—	13,207
茶	〃	167	4,556	8	242
其他飲食料品	〃	—	73,210	—	758
豆粕	〃	8	15	13,445	26,890
豆油	〃	5,943	43,382	923	4,947
落花生油	〃	—	—	—	—
桐油	〃	—	—	—	—
其他油脂	〃	—	482	—	270
苧麻	〃	33	1,896	18	1,256
棉花	〃	158	17,276	123	124
麥稈眞田	〃	494	—	4	—

品數量及價格表

滿洲里		哈爾賓		綏芬河		合計	
數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
3,064	8,094	—	—	2,622,637	5,633,303	2,631,556	5,654,925
—	—	248	756	28,171	86,762	29,936	91,998
19	43	—	—	6,716	9,381	7,642	10,978
620	824	—	—	4,345	5,214	26,678	52,840
29,057	100,555	9,617	20,677	33,964	49,886	72,638	171,118
86,178	295,617	—	—	1,370,570	3,615,404	1,494,742	4,055,619
42,828	143,337	81	254	34,179	107,886	80,926	257,153
—	—	—	—	59	244	271	2,364
—	—	—	—	—	—	148	963
766	5,424	98	571	2	20	925	6,393
133	2,918	—	—	43	1,379	209	4,381
69	550	131	481	26,082	51,118	29,143	67,914
122,876	597,329	60,037	407,051	241,920	821,294	458,506	2,137,719
204	2,406	25	203	—	—	1,055	10,929
65	1,275	90	1,620	20,346	333,334	20,610	338,351
1,505	7,823	12	97	800	5,600	2,576	18,610
4	64	—	—	1	6	1,112	8,205
—	431,305	—	3,559	—	67,431	—	523,151
16,493	252,366	1,031	13,765	106	2,779	17.805	273,708
—	322,392	—	6,634	—	798,198	—	1,192,192
—	—	—	—	1,511,052	2,730,630	1,524,505	2,757,535
8,219	75,824	5,022	26,918	26,056	260,583	46,172	645,654
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	20	758	20	758
—	—	5	56	250	2,500	255	3,308
—	—	26	265	247	3,530	324	6,947
—	—	2	62	—	—	283	17,462
—	—	—	—	—	—	498	—

品名		愛琿 數量	愛琿 價額	三姓 數量	三姓 價額
繭	擔	—	—	—	—
柞繭糸	〃	—	—	—	—
生絲	〃	—	—	—	—
屑絹糸	〃	—	—	—	—
絹製品	〃	—	326	—	—
豚毛	〃	—	—	—	—
羊毛及其他毛	〃	19	469	—	—
皮革	〃	—	21,823	—	—
角牙	〃	—	—	—	—
獸骨	〃	—	—	—	—
家畜	頭	7,223	174,613	500	8,047
家禽	羽	910	380	—	—
獸脂	擔	187	2,620	—	—
木材		—	—	—	15
薪及木炭	擔	78,030	40	—	—
石炭及コークス	英噸	—	34,632	—	—
其他鑛產品		—	—	—	—
藥品及藥材		—	3,498	—	24
染料及塗料		—	—	—	—
人參	斤	—	—	—	—
金屬及金物		—	—	—	—
其他雜品		—	534,574	—	6,114
小包郵便物		—	—	—	—
輸出計		—	**1,261,783**	—	**293,214**
再輸出 中國品		—	873,479	—	17,458
再輸出 外國品		—	611,203	—	1,791
計		—	**1,484,682**	—	**19,249**
合計		—	**1,872,986**	—	**312,463**

滿洲里		哈爾賓		綏芬河		合計	
數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	18	—	—	—	344
—	—	—	—	—	—	—	—
64	2,714	24	459	75	3,930	182	7,572
—	16,085	—	821	—	50,485	—	89,214
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
1,307	29,403	—	—	13,820	498,443	22,850	710,506
84	120	—	—	49,366	20,253	50,360	20,753
8,742	113,359	154	1,831	101	1,418	9,184	119,228
—	—	—	17	—	217,740	—	218,060
1,347	430	—	—	230,412	71,886	309,789	72,356
540	4,963	—	—	—	—	540	39,595
—	—	—	—	—	—	—	—
—	4,260	—	847	—	77,128	—	85,757
—	36	—	—	—	13,650	—	13,686
—	—	—	—	213	1,737	213	1,737
—	67,977	—	659	—	105	—	68,741
—	868,432	—	87,003	—	209,480	—	1,705,603
—	—	—	15	—	—	—	15
—	**3,355,925**	—	**574,639**	—	**15,753,495**	—	**21,239,056**
—	—	—	83,612	—	—	—	**974,549**
—	1,590,579	—	412,691	—	287,030	—	**2,903,294**
—	**1,590,579**	—	**496,303**	—	**287,030**	—	**3,877,843**
—	**4,946,504**	—	**987,330**	—	**16,040,525**	—	8,119,283

北滿各關對露輸

品名	數量單位	愛琿 數量	愛琿 價額	三姓 數量	三姓 價額
綿織物		—	—	—	—
毛及毛綿交織物		—	20	—	—
絹及絹綿交織物		—	—	—	—
其他雜織物		—	—	—	—
綿縫絲		—	—	—	—
綿織絲	擔	—	—	—	—
棉花	〃	—	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	—	—	—
其他絲縷及材料		—	—	—	—
衣朝及附屬品		—	—	—	134
米	擔	—	—	—	—
其他穀物及種子	〃	—	—	—	—
麥粉	〃	—	—	—	—
野菜及果物	〃	—	—	563	7,207
砂糖	〃	—	—	—	—
味噌及醬油	〃	—	—	—	—
水產物	〃	1,358	12,358	9,683	126,031
其他食料品	〃	—	—	—	12,618
茶		—	—	18	324
酒類及其他飲料		—	7,816	—	76
煙草		—	—	—	30
卷煙草製造材料		—	—	—	—
家具		—	124	—	1,101
藥品及藥料		—	655	—	10,284
染料及塗料		—	1,717	—	228
石油	米哦	—	1	—	—
機械油	哦	—	—	—	—
其他油脂		—	—	—	—

入品數量價額表

滿洲里		哈爾賓		綏芬河		合計	
數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
—	22,017	—	—	—	220,130	—	242,147
—	2,030	—	—	—	44,912	—	46,962
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	757	—	757
—	450	—	—	—	11,116	—	11,566
—	—	—	—	30	1,780	30	1,780
95	4,750	—	—	1,876	29,735	1,971	24,485
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	16,518	—	16,518
—	25,194	—	—	—	399,954	—	425,282
—	—	—	—	241	1,283	241	1,283
868	7,840	—	—	673	7,512	1,541	15,352
—	—	—	—	—	—	—	—
163	1,757	—	—	6,085	59,939	6,811	68,903
—	—	—	—	8,612	121,503	8,612	121,503
15	45	—	—	18	171	33	216
425	3,042	4	480	11,593	179,854	23,063	321,765
—	48,600	—	440	—	14,494	—	76,152
163	5,365	—	—	7,541	207,330	7,722	213,019
—	—	—	—	—	11,862	—	—
—	—	—	—	—	11,988	—	12,018
—	—	—	—	—	970	—	970
—	90	—	—	—	17,651	—	18,966
—	24,409	—	1,330	—	86,362	—	123,040
—	—	—	824	—	37,316	—	40,085
1,040	479	45	—	15,000	7,847	16,035	8,327
2,959	3,580	—	63	116,007	71,799	118,966	75,442
—	—	—	—	—	7,810	—	7,810

品名	數量單位	愛琿 數量	愛琿 價額	三姓 數量	三姓 價額
蠟燭	擔	—	—	—	—
蠟燭製造材料		—	—	—	—
石鹼		—	100	—	355
燐寸	グロス	26,945	13,788	—	—
燐寸製造材料		—	—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—	—
鐵及鋼	擔	965	7,687	6,848	32,288
其他金屬	〃	202	7,065	20	211
金物		—	390	—	7,615
機械器具		—	7,384	—	18,133
セメント	〃	—	—	17	53
木材		—	—	—	4,755
建築材料		,500	225	—	100
鐵道材料		—	—	—	—
電氣材料		—	30	—	76
美術及化粧用品		—	23	—	111
皮革毛骨角牙類		—	3,550	—	101,014
紙類		—	—	—	—
圖書及文具		—	350	—	—
硝子板及硝子器		—	—	—	46
陶磁器及土器		—	—	—	—
麻袋及其他袋類	枚	100	255	7,830	1,011
其他雜品		—	4,380	—	18,204
小包郵便物		—	—	—	—
合計		—	67,975	—	342,005

滿洲里		哈爾賓		綏芬河		合計	
數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
10	628	—	—	912	20,057	922	20,685
—	—	—	—	—	12,510	—	12,510
—	—	—	168	—	19,204	—	19,827
7	3	—	—	174	86	26,126	13,877
—	—	—	—	—	—	—	—
162	434	—	—	—	—	162	434
11,598	87,657	—	—	15,454	152,426	27,052	240,083
5,496	65,243	365	3,329	110,387	1,276,183	124,061	1,384,670
13	137	864	40,311	2,481	57,658	358	105,382
—	16,172	—	32	—	155,356	—	179,565
—	35,804	—	970	—	820,170	—	882'461
121	167	964	6,910	534	2,122	1,636	9,252
—	77,856	—	1,708	—	164,858	—	249,177
—	186	—	300	—	11,784	1,500	12,595
—	93,630	—	—	—	—	—	93,630
—	13,456	—	—	—	27,066	—	40,628
—	15,504	—	—	—	11,148	—	26,786
—	800,248	—	49,825	—	562,143	—	1,516,780
—	407	—	—	—	24,890	—	25,297
—	3,910	—	—	—	79,974	—	84,234
—	6,690	—	—	—	10,571	—	17,307
—	—	—	—	—	5,496	—	5,496
10,085	1,084	10,000	1,500	17,779	2,701	45,794	6,551
—	194,835	—	2,473	—	250,575	—	470,467
—	—	—	—	—	—	—	—
—	1,563,699	—	110,663	—	5,237,571	—	7,321,913

第十二　商　　業

滿蒙に於ける商業狀態を一見すれば三、四の大都市を除く外所謂都市經濟時代に髣髴たるものがある。然れども全體を通して之を觀る時、中國人の問屋商業は異彩を放つて各省及海外に支店又は取引店を有し營業盛大に信用亦深厚なるものがある。商買中注目すべきものは彼等商人間に於て仲買組合の存在せる事と專賣特權の行はれてゐる事である。然して近時對日本其他外國との商業取引は日進月歩の勢で發展し、殊に歐洲大戰以來大連港の如きは滿蒙に於ける一大吞吐港となり、輸出入の貿易額は駸々として增進した。今中國が條約其他に依つて開放した滿蒙の商業都市を擧げて見るに奉天省に於ける牛莊、安東、大東溝、奉天、鳳凰城、遼陽、鐵嶺、開原、吉林省に於ける長春、哈爾賓、寧古塔、三姓、綏芬河、龍井村、黑龍江省に於ける齊々哈爾、璦琿、海拉爾、滿洲里及蒙古に於ける恰克圖庫倫烏蘇里雅蘇臺科布多赤峰洮南等である。而して滿蒙殊に南滿に於ける一般商業は大正七、八年の好況時代に於て幾多の企業を中心として諸會社の亂設を見たが、大正九年の財界恐慌は滿蒙の經濟界をも脅威して商業、貿易の沽滯、事業界の不振、金融梗塞等は普遍的事象となつて表れた。之がため裡面的の內情に臻つては寧ろ筆致の及び難きものがある。殊に大連、奉天、長春、營口、安東等の大市場は對內的に將た對外的に取引額が多大であつた丈け其影響する處も多かつた。從つて一般財界も所謂整理時代に入り諸會社及商店も逐次經營縮少乃至合併を敢行し、極力之が整理と救濟とを行つた爲、玆に一般商業界は眞面目なる經營策をとるに到つた。從つて以下掲くる諸會社中にも事實に於て整理若くは合併縮少のものが少くない。

(一) 日本側諸會社

各地別會社數

地方別		會社數	總額	拂込	支店數
			千円	千円	
旅順	資本金十萬圓以下	4	125	125	2
	同以上	9	4,910	1,442	5
	合計	13	5,035	1,567	7

地方別		會社數	總額	拂込	支店數
大連	資本金十萬圓以下	158	4,845	4,742	26
	同以上	211	693,519	404,892	66
	合計	**369**	**698,364**	**409,634**	**92**
金州	資本金十萬圓以下	—	—	—	—
	同以上	—	—	—	1
	合計	—	—	—	**1**
普蘭店	資本金十萬圓以下	—	—	—	—
	同以上	1	300	75	2
	合計	**1**	**300**	**75**	**2**
貔子窩	資本金十萬圓以下	3	120	100	1
	同以上	2	400	250	3
	合計	**5**	**520**	**350**	**4**
瓦房店	資本金十萬圓以下	2	80	46	—
	同以上	2	3,500	950	2
	合計	**4**	**3,580**	**996**	**2**
大石橋	資本金十萬圓以下	2	62	28	1
	同以上	1	150	37	1
	合計	**3**	**212**	**65**	**2**
遼陽	資本金十萬圓以下	1	50	12	—
	同以上	7	2,520	795	1
	合計	**8**	**2,570**	**807**	**1**
鞍山	資本金十萬圓以下	9	364	190	2
	同以上	15	11 940	4,789	6
	合計	**24**	**12,304**	**4,979**	**8**
營口	資本金十萬圓以下	3	130	82	3
	同以上	21	11,800	6,360	10
	合計	**24**	**11,930**	**6,442**	**13**
奉天	資本金十萬圓以下	13	575	486	6
	同以上	48	59,467	20,244	26
	合計	**61**	**60,042**	**20,730**	**32**

地方別		會社數	總額	拂込	支店數
本溪湖	資本金十萬圓以下	1	42	42	1
	同以上	6	8,320	6,918	3
	合計	**7**	**8,362**	**6,960**	**4**
撫順	資本金十萬圓以下	1	50	25	1
	同以上	11	8,900	2,592	4
	合計	**12**	**8,950**	**2,617**	**5**
鐵嶺	資本金十萬圓以下	5	160	142	1
	同以上	14	12,760	6,469	8
	合計	**19**	**12,920**	**6,161**	**9**
開原	資本金十萬圓以下	2	86	86	1
	同以上	13	8,650	3,825	9
	合計	**15**	**8,736**	**3,911**	**10**
長春	資本金十萬圓以下	10	469	342	5
	同以上	23	14,800	5,276	17
	合計	**33**	**15,269**	**5,618**	**22**
四平街	資本金十萬圓以下	4	172	64	—
	同以上	7	2,150	680	2
	合計	**11**	**2,322**	**744**	**2**
公主嶺	資本金十萬圓以下	2	70	45	—
	同以上	4	1,250	437	4
	合計	**6**	**1,320**	**482**	**4**
安東	資本金十萬圓以下	14	514	355	5
	同以上	35	29,150	13,224	13
	合計	**49**	**29,664**	**13,579**	**18**
總計	資本金十萬圓以下	**234**	**7,914**	**6,912**	**55**
	同以上	**430**	**874,486**	**479,255**	**183**
	合計	**664**	**882,400**	**486,167**	**238**

領事館管内の分も夫々本表各地方に含む

諸會社(本社)一覽

大正十年末現在

(資本總額拾萬圓以上のもの)

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
旅順	(株)旅順銀行	乃木町	7. 5	銀行業	1,500	487
	滿洲澱粉(株)	金比羅町	7. 7	澱粉製造販賣	200	50
	(株)旅順鐵工所	乃木町	7.10	製鐵品	500	125
	(資)丸三商會	大津町	7.10	動產不動產賣買	110	110
	滿洲醬油(株)	朝日町	9. 3	味噌醬油販賣	600	150
	內外商事(株)	乃木町	9. 3	有價證券賣買	1,000	250
	旅順殖產(同)	同	8.10	金融業	500	125
	旅順機業(同)	土屋町	8.10	織物業	100	25
	南滿畜產(同)	大島町	9. 3	畜產業	400	100
	計 9				**4,910**	**1,422**
大連	(株)三星洋行	吉野町	41. 3	食料品 和洋酒 販賣	100	80
	南滿洲鐵道(株)	東公園町	39.11	鐵道運輸業	440,000	309,156
	(株)滿洲日日新聞社	同	40.11	新聞發行	500	227
	滿洲水產(株)	信濃町	41. 1	水產業	1,000	385
	(株)正隆銀行	大山通	41. 1	銀行業	20,000	9,500
	遼東汽船(株)	山縣通	1.12	運送業	250	250
	(株)大連銀行	伊勢町	1.12	銀行業	3,000	2,500
	南滿洲物產(株)	山縣通	2. 1	油脂工業海運業	1,000	1,000
	(株)朝日商會	同	2.12	船舶運送業	110	110
	大連取引所信託(株)	軍用地區	2. 6	取引所信託事務	3,000	2,500
	滿洲殖產(同)	大山通	2. 7	特產物賣買 農事經營	5,000	1,250
	大連貯金(同)	吉野町	2.11	金融業	1,000	325
	大連汽船(同)	同	4. 1	海運倉庫業	2,000	2,000
	黃海渤海裕民漁業(同)	北大山通	4. 5	水產業	350	350
	大連油脂工業(株)	軍用地區	5. 5	諸油類製造販賣	1,000	750
	大連東和汽船(同)	山縣通	5. 5	海運業	2,000	2,000

大連

會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
				千円	千円
(株)遼東銀行	大山通	5. 7	銀行業	3,000	1,575
大連製氷(株)	西公園町	6. 3	製氷業	500	400
大連取引所錢鈔信託(同)	愛宕町	6. 5	取引所清算事務	3,000	1,250
滿洲製麻(同)	小崗子	6. 5	製麻業	1,000	250
山東興業(株)	加賀町	6. 9	セメントコークス製造販賣	1,000	250
滿蒙興業(同)	山縣通	6. 9	甘草エキス販賣	200	150
滿洲證券信託(同)	三河町	6.11	有價證券賣買	1,000	750
大連信託(同)	同	6.11	講會經營	1,000	250
滿洲貯金信託(同)	羽前町	6.11	同	2,000	650
大連質業(同)	越後町	6.11	質業	200	100
(株)龍口銀行	浪速町	6. 9	銀行業	11,000	4,862
大連工業(同)	小崗子	7. 4	家具建具製造販賣	500	250
南滿鑛業(同)	山縣通	7. 4	鑛業	3,000	750
滿鮮證券信託(同)	若狹町	7. 4	有價證券賣買	100	25
(株)大連機械製作所	沙河口	7. 5	諸機械製作販賣	2,000	1,500
(同)工友社	同	7. 7	物品賣買	150	37
大連鑄鐵(株)	但馬町	7. 7	鐵工業	200	50
滿洲バリウム工業(株)	軍用地區	7. 9	バリウム鹽製造販賣	500	125
滿洲煙草(株)	近江町	7. 9	煙草製造販賣	100	25
滿洲麥酒(同)	奧町	7.10	麥酒製造	1,000	350
滿洲坩堝(同)	沙河口	7.10	坩堝の製造販賣	500	125
滿洲釀造(同)	小崗子	7.11	醬油味噌製造	500	125
(株)大連商業銀行	西通	7.11	銀行業	2,000	500
スミス自働車(株)	飛彈町	7.12	自働車賃貸賣買	500	125
(株)大信洋行	監部通	7.12	貿易	1,000	600
滿洲製紙(株)	若狹町	7.12	製紙販賣	500	200
共濟信託(同)	沙河口	8. 2	講會經營	1,000	250
滿洲ペイント(同)	軍用地區	8. 2	塗料顏料製造販賣	500	250
渡邊商事(同)	三河町	8. 2	貿易業	1,000	250

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
大連	永田鑛業(同)	西公園町	8.3	鑛業	100	100
	大連木材(同)	若狹町	8.4	製材業	3,000	750
	大連牛乳(同)	西公園町	8.4	畜産業	700	175
	(株)大連車夫合宿所	若狹町	8.5	人力車馬車經營	500	250
	(同)進和商會	佐渡町	8.5	鐵、銅、鋼賣買	1,000	500
	(株)大連三八競賣所	磐城町	8.5	動產不動產賣買	100	25
	滿洲燐寸(株)	小崗子	8.6	燐寸製造	300	75
	大連共融(同)	淡路町	8.6	委託賣買	200	50
	臭水土地建物(同)	山縣通	8.6	土地建物經營	2,000	500
	大連建材(同)	小崗子	8.6	建物建設賃貸	500	125
	東亞電氣工業(同)	龍田町	8.7	冶金精錬	350	162
	日華證券信託(同)	愛宕町	8.7	有價證券賣買金融	5,000	1,250
	大連土木建築(同)	若狹町	8.8	土木建築請負	500	125
	大連燐寸(同)	山縣通	8.8	燐寸製造	500	125
	滿洲淸酒(同)	伊勢町	8.8	酒釀造	1,000	250
	東亞商事(同)	淡路町	8.8	有價證券賣買	1,000	500
	滿洲不動產信託(同)	山城町	8.9	不動產賣買賃貸	1,000	500
	(株)大連ビルブローカー	伊勢町	8.9	證券仲介賣買	750	750
	中央商事(株)	西通	8.9	株式債券賣買	1,000	250
	遼東證券信託(同)	西公園町	8.9	有價證券賣買	500	500
	ツバメ自働車(同)	若狹町	8.9	自働車賃貸運輸	500	125
	大連澱粉(株)	越後町	8.9	澱粉製造	600	150
	(株)金賞堂	浪速町	8.9	時計其他器械販賣	400	125
	蓬萊信託(株)	春日町	8.9	講會經營	500	125
	佐藤電氣(同)	伊勢町	8.9	電氣企業	1,000	250
	星浦土地建物(同)	愛宕町	8.9	土地建物賣買仲介	5,000	1,250
	大連市場商興(同)	西通	8.9	資金融通委託販賣	500	125
	東洋スレート工業(同)	山縣通	8.9	スレート石材採掘製作	500	125

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
大連	日華興業(同)	吉野町	8. 9	金融土木建築材料供給	2,000	500
	(株)ヤマト商會	浪速町	8. 9	洋服雜貨販賣	500	125
	日華特產(株)	監部通	8. 9	特產物貿易	2,000	500
	滿洲特產(同)	山縣通	8. 9	特產物問屋業	1,000	250
	大連石灰(同)	美濃町	8. 9	石灰煉瓦石材販賣	300	75
	南滿倉庫建物(同)	山縣通	8. 9	信託及倉庫業	5,000	1,250
	(株)裕昌公司	沙河口	8. 9	味噌、醬油、釀造	200	50
	第一商事(株)	吉野町	8. 9	株式債券賣買請會經營	500	125
	西崗信託(同)	小崗子	8. 9	金融信託業	1,000	250
	關東木材(同)	三河町	8. 9	材木業	500	125
	滿洲精米(同)	信濃町	8.10	精米業	500	125
	宏濟證券(同)	羽前町	8.10	金融有價證券賣買	3,000	750
	遼東木材(同)	百十三區	8.10	製材販賣業	1,000	125
	大連商榮(同)	但馬町	8.10	金融商品土地建物賣買	500	125
	滿洲製陶(同)	小崗子	8,10	陶器製造販賣	500	250
	(株)遼東新報社	敷島町	8.10	新聞發行	500	250
	滿洲自働車(同)	越後町	8.10	自働車馬車賃貸	1,000	250
	滿洲石鹼(同)	須磨町	8.10	石鹼顏料製造販賣	1,000	50
	大連金融(同)	加賀町	8.10	有價證券信託賣買仲介	200	500
	南滿建物(同)	若狹町	8.10	建築請負	1,000	160
	星ヶ浦小松臺建物(同)	薩摩町	8.10	不動產賃貸賣買	500	62
	大連モルタル(同)	三河町	8.10	建築材料	250	375
	華東信託(同)	小崗子	8.10	金融信託代理業	1,500	125
	大連被服(同)	浪速町	8.11	被服裁縫請負及販賣	500	500
	大連華商金融(同)	信濃町	8.11	證券賣買金融	500	250
	大連精糧(同)	沙河口	8.11	精米賣買	1,000	250
	大連運輸(同)	軍用地區	8.11	運送業	1,000	125
	南滿精米(同)	山縣通	8.11	精米業	500	125
	東亞煉瓦(同)	西公園町	8.11	煉瓦製造販賣	500	—

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
大連	東洋商事(同)	吉野町	8.11	金融信託業	2,000	500
	滿洲運輸(同)	長門町	8.11	運送業	1,000	250
	滿洲機械工業(同)	小崗子	8.11	諸機械製作	300	125
	滿洲起業(同)	山縣通	8.12	諸般企業	1,000	1,000
	東洋石材工業(同)	山城町	8.12	石材商	1,500	375
	大和染料織布(同)	千代田町	8.12	染料化學工業	2,000	500
	大連醬油(同)	沙河口	8.12	醬油醸造	2,000	500
	泰東信託(同)	小崗子	8.12	金融信託	1,200	750
	南滿洲金融信託(同)	吉野町	8.12	證券賣買信託金融	1,000	250
	(資)富來洋行	大山通	2.11	貿易海運及倉庫業	200	200
	(資)大華公司	山縣通	6. 1	卵粉、氷糖製造	300	300
	(同)山田錢莊	奥町	6.10	両替、證券賣買	200	200
	(資)復州粘土窯業公司	監部通	7. 7	窯業	300	300
	(同)飯塚工程局	西公園町	7.11	土木建築請負	200	200
	大連鑄造(資)	岩代町	8. 1	鑄造	200	200
	(資)岩城商會	山縣通	8. 1	貿易海運業	115	115
	滿洲電氣(資)	加賀町	8. 7	電氣機械	100	100
	沙河口企業(同)	神明町	8. 9	不動産賣買賃貸	104	104
	南滿商務信託(同)	沙河口	8. 9	信託業	100	100
	大連硝子工業(同)	出雲町	8.10	硝子製造	125	125
	(資)南滿牧場	須磨町	8.10	牧場經營	250	250
	東洋染料製造(資)	岩代町	8.12	染料製造販賣	900	900
	村井汽船(同)	山縣通	5. 2	海運業	100	100
	沙河口建物(同)	沙河口	7. 9	建築請負	100	100
	(名)木村屋本店	信濃町	8. 2	菓子類製造販賣	100	100
	宮崎商事(名)	山城町	8. 9	農産、雜穀、建築材料賣買	200	200
	大連製油(株)	山縣通	7. 9	製油業	2,100	907
	大正汽船(同)	同	7.10	海運業	100	25
	滿洲肥料(同)	同	8. 1	肥料製造販賣	2,000	500

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
	大連商事信託(同)	飛彈町	8. 7	株式賣買	3,000	750
	日滿陶業(同)	隱岐町	8. 9	陶磁器煉瓦製造販賣	500	125
	大正コンクリート(同)	若狹町	8.12	鐵筋コンクリート工業	1,000	250
	(株)大連經濟日報社	近江町	8.11	新聞發行	500	125
	(株)大連新聞社	淡路町	8.11	新聞發行	1,000	1,000
	(同)中日粉干公司	小崗子	8.11	粉干製造	2,000	500
大	東亞土木企業(株)	奥町	9. 1	一般事業の企業	5,000	1,250
	滿洲貿易(同)	加賀町	8.12	輸出入業	1,000	250
	滿洲製布商事(同)	大山通	8.12	洗濯加工商品賣買	500	125
	(株)日華油房	小崗子	9. 1	豆粕製造	1,000	250
	共榮信託(同)	駿河町	8.12	金融業	500	125
	(株)大連證券交換所	飛彈町	8.12	有價證券賣買金融	1,500	1,250
	(同)大連株式商品取引所	大山通	9. 2	物件取引	10,000	2,500
	東亞板金工業(同)	監部通	9. 2	スコップショベル製造販賣	1,000	250
	大連佐渡國汽船(同)	寺内通	9. 2	運送業	100	25
	大正興業(同)	山縣通	9. 2	金融、證券賣買	1,000	250
	東洋防水材製造(同)	若狹町	9. 1	防水材料製造販賣	500	125
	滿蒙土地建物(株)	西通	8.12	土地家屋賣買の仲介	10,000	2,500
	南滿緬羊(同)	三河町	9. 2	種羊購入羊毛賣買	300	75
	東亞圖書(同)	敷島町	9. 3	圖書出版	500	125
	滿洲不動貯金(同)	信濃町	9. 3	金融業	1,000	250
連	(株)永昌源	愛宕町	9. 3	貿易業	125	125
	大信商事(株)	西通	9. 3	金融證券賣買信託	1,000	300
	滿洲建材(同)	若狹町	9. 3	金融建築材料賣買	380	250
	第二共信(同)	三河町	9. 3	金融、證券賣買	3,500	875
	大連信託(同)	吉野町	9. 3	證券賣買信託金融	5,000	1,250
	大連工材(同)	近江町	9. 3	土木建築材料賣買	2,000	500
	大連郊外土地(同)	西公園町	9. 3	土地建物賣買設計測量	20,000	5,000

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
大連	大連製材家具(株)	小崗子	9. 3	製材業	500	125
	滿洲製菓(同)	信濃町	9. 3	製菓業	1,000	250
	(株)老虎灘保健浴場	老虎灘	9. 3	浴場經營	500	125
	滿蒙殖産(株)	山縣通	9. 3	畜産貿易製造業	5,000	1,250
	大連電影(同)	同	9. 4	活動寫眞の映寫	1,000	250
	滿洲鹽業(同)	同	9. 3	鹽製造回漕業	500	500
	共益商事(同)	同	9. 4	證券賣買、金融	100	25
	中日興業(同)	若狹町	9. 3	金融主要物産賣買	200	50
	滿洲畜産(同)	嶺前屯	9. 5	家畜業	200	50
	遼東製氷(同)	美濃町	9. 5	製氷業	1,000	250
	滿洲土地建築(同)	壹岐町	9. 5	土木建築請負	200	50
	(株)濱崎商店	山縣通	9. 6	貨品販賣問屋業	1,000	250
	中華製粉(株)	同	9. 5	製粉販賣業	5,000	1,250
	特許甘草(同)	紀伊町	9. 7	甘草エキス製造販賣	800	200
	金城商業(株)	吉野町	6. 2	金融、信託、代理	300	120
	(資)川見建築事務所	越後町	9. 1	土木建築業	110	110
	(資)三吉商會	大山通	9. 1	證券賣買貿易業	500	500
	(資)竹中組	加賀町	9. 3	土木建築業	200	200
	(同)富林公司	臭水屯	9. 5	殖林貿易業	400	400
	(同)宮下木廠	朝日町	9. 6	製材木材賣買	100	100
	(同)濱速洋行	濱速町	9. 7	雜貨類販賣	100	100
	(資)千六株式店	吉野町	9. 8	有價證券現物賣買	100	100
	滿蒙工革(資)	監部通	9. 9	皮革類販賣	100	100
	日滿共益(同)	西公園町	9. 9	建築工業用品賣買	150	150
	遼東産業(同)	越後町	9.10	水産賣買貿易業	150	150
	(名)原田組	山縣通	8. 1	鐵、鋼、機械船具工業用品賣買	500	500
	大日本火山灰(名)	若狹町	9, 5	火山灰	100	100
	大連蒸汽洗濯(株)	小崗子	8. 9	蒸氣洗濯業	800	75
	雙和棧糧(同)	伊勢町	8.10	製粉業穀類販賣	1,000	500

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
大連	(株)直木洋行	土佐町	10. 1	一般輸出業 證券賣買	300	300
	大陸窯業(株)	山城町	10. 3	窯業セメント製造販賣	500	500
	中和糧棧(同)	松林町	10. 5	特產物取引仲立問屋	100	100
	滿洲開墾(同)	大山通	10. 8	土地開墾 製鹽信託	1,000	500
	(株)樫村洋行	伊勢町	10. 9	貿易業	100	100
	日本珪藻セメント業(株)	越後町	10.10	珪藻採掘、セメント製造	280	280
	大連商品信託(同)	奥町	10.10	商品取引精算事務金融	3,000	750
	東亞物產(同)	紀伊町	10.12	肥料製造貿易代理業	500	125
	東洋倉庫(同)	山縣通	10.12	倉庫業	500	125
	(株)中央ホテル	對馬町	10.12	土地所有貸貸旅館、請負	500	125
	(同)日華油房	小崗子	9. 2	油房	1,000	250
	(同)教育銀行	監部通	4.11	銀行業	500	200
	南山建物(株)	逢坂町	8. 8	貸家業	1,000	250
	(資)柳生組	山縣通	10. 1	土木建築請負	300	300
	(同)戶田商會	千代田通	10. 3	煖房材料製作	200	200
	遼東倉庫建物(資)	丹波町	10. 4	倉庫業	100	100
	(資)矢野商會	紀伊町	10. 5	土木建築請負	200	200
	(同)常盤組	近江町	10. 6	同	100	100
	(同)大連馬車收容所	沙河口	10. 8	馬車夫宿舍貸付馬車荷馬車製造	250	250
	(同)德華公司	伏見臺	10.10	貿易金融	150	150
	(同)日清印刷所	北大山通	10.10	印刷業	100	100
	(同)湯淺洋行	山縣通	10.11	貿易金融	100	100
	(名)小川組	信濃町	10. 4	土木建築請負	100	100
	(同)原組	八幡町	10. 5	同	200	200
	(同)宏治商會	駿河町	10. 7	貿易金融製造業	2,000	2,000
	計 211				693,519	404,892
普蘭店	普蘭店電燈(株)	同仁街	10. 1	電氣業	300	75
	計 1				300	75

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
貔子窩	東海運輸(株)	西街	9. 4	運送業	200	50
	(資)貔子窩鹽業公司	同	10, 5	製鹽業	200	200
	計 2				**400**	**250**
瓦房店	(株)東華銀行		8. 8	銀行業	3,000	825
	南滿信託(株)		8.11	信託業	500	125
	計 2				**3,500**	**950**
大石橋	大海信託(株)	盤龍街	8'12	信託	150	37
遼陽	遼陽電燈公司	東洋街	44.12	電燈業	120	120
	遼陽鞍山信託(株)	同	7. 8	信託業	500	200
	滿蒙棉花(同)	佟家小街	8. 4	製綿、棉花栽培	1,000	250
	共榮商事(同)	沙河附屬地	8. 6	特産物貿易	100	25
	(資)煙臺泉盛號燒鍋	煙臺鐵道附屬地	8. 8	燒酎釀造販賣	100	25
	遼陽信託(株)	佟家大街	9. 8	信託	500	125
	遼陽日華製粉(同)	附屬地西郊外	9. 4	製粉	200	50
	計 7				**2,520**	**795**
鞍山	鞍山鐵鑛振興無限公司採鑛總局	鞍山驛前	5. 2	鐵鑛採掘	140	140
	鞍山窯業(株)	大和町	8. 4	煉瓦及瓦製造	250	62
	遼鞍印刷(同)	大和町	4	印刷業	100	25
	鞍山運輸(資)	南一條通	ծ. 8	運送業	100	100
	(株)南滿銀行	明治通	8. 9	銀行業	1,500	375
	(同)鞍山銀行	敷島町	8.10	同	[illegible]	250
	滿洲鑄鐵(株)	立山驛前	6.11	鑄物業	200	125
	鞍山財事(同)	大正通	9. 7	金融	100	25
	中滿建材(同)	驛前通	9. 4	製材販賣	500	125
	湯崗子溫泉(同	湯崗子	9.12	溫泉旅館	2,000	500
	振東興業(資)	北四番町	6. 9	土木請負	200	200

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金	
					總額	拂込額
					千円	千円
鞍山	鞍山製氷(株)	大和町	8.10	製氷飲料水製造	150	37
	鞍山證券信託(株)	大正通	10.10	有價證券現物仲介業	500	125
	滿洲興業(株)	敷島町	6. 8	貸家業	5,000	2,500
	大倉合資會社	北三條町	7. 3	建物賣買仲介業	200	200
	計 15				**11,940**	**4,789**
營口	營口水道電氣(株)	南本街	39.11	水道、電氣	2,000	1,500
	東亞興業(資)		40. 1	木材、薪炭	100	100
	(名)福來銀號		6. 3	輸出入貿易金銀兩替	500	500
	(株)振興銀行	重盛町	7. 5	銀行業	1,000	325
	滿洲タルク(株)		10. 1	タルククレー製造販賣	100	75
	營口印刷(同)	永世街	7.10	印刷、紙類販賣	100	50
	(株)營口銀行	南本街	8. 5	銀行業	300	300
	營口證券信託(株)	入舟町	8.10	證券信託業	500	125
	(資)三有公司	旭街	8.10	貿易	100	100
	(株)共立檢番	花園街	8.12	藝妓檢番	300	75
	營口倉庫汽船(株)		8.12	運送倉庫業	500	500
	營口興業(同)	三家子	9. 3	煉瓦	1,000	250
	(資)東平公司		9. 4	海運貿易	100	100
	營口土地建物(株)	青柳街	9. 2	土地建物賣買仲介	1,000	250
	營口取引信託(同)	南本街	9. 9	重要物產及金融、錢鈔賣買	2,000	500
	(株)滿產公司		9. 3	貿易運送	500	125
	營口電影(同)		9. 5	活動寫眞	100	25
	(株)福銀號		9. 4	小口貸付、證券賣買兩替信託業	100	100
	(株)盛進商行	南本街	10. 9	雜貨精米	300	300
	(株)小寺機器油房	同	10.12	豆油豆粕製造	1,000	1,000
	(株)同益油房	西北街	10. 9	同	200	60
	計 21				**11,800**	**6,360**

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
奉天	(株)瀋陽馬車鐵道公司		41. 1	乗客運輸	千円 190	千円 190
	南滿洲製糖(株)	末廣街	6. 1	砂糖製造 甜菜栽培	10,000	3,550
	滿洲市場(同)		6.10	市場	400	100
	中和興業(同)		6.11	土地建物經營	750	750
	奉天土地建物(同)		7. 1	土地建物賣買貸借業	100	75
	滿洲企業(同)		7. 3	土地建物有價證券擔保貸付	200	50
	東省實業(株)		7. 5	拓殖事業	3,000	3,000
	奉天窯業(同)		7. 6	煉瓦及陶磁器製造	1,000	400
	滿蒙纖維工業(同)		8. 2	麻布麻袋類製造	3,000	750
	奉天自働車(同)		8. 3	自働車販賣	150	75
	大陸窯業(同)		8. 3	土管煉瓦陶磁器製造販賣	2,000	500
	滿蒙釀造(同)		8. 3	清酒釀造販賣	500	125
	奉天運輸倉庫(同)		8. 4	運送倉庫人夫供給	100	25
	奉天石灰セメント(同)		8. 4	石灰セメント製造販賣	500	125
	南滿倉庫(同)		8. 8	倉庫業	500	125
	滿洲農產(同)		8.10	精米及農產品肥料販賣	1,000	250
	滿洲製氷(同)		8.10	氷、清涼飲料水製造販賣	500	150
	滿洲晝夜金融(同)		8.11	金融業	500	125
	滿洲土地建物(同)		8.11	土地建物、建築仲介、金融	3,000	750
	滿洲寶石商事(同)		8.11	寶石類販賣	200	50
	(名)滿蒙商會		5. 9	藥品文房具卸小賣	100	100
	(株)奉天銀行	小西關	7.12	銀行業	1,000	500
	(同)奉天醬油	西塔大街	8. 8	醬油、味噌釀造	1,000	250
	(同)滿洲殖產銀行	鐵道附屬地	7. 7	銀行業	227	227
	(株)奉天檢番		9. 2		250	250
	日滿人事(同)		9. 5	人事一般仲介代辦、祕密調査	200	50
	奉天建材(同)		8.12	石灰、煉瓦セメント製造業	300	75
	滿蒙證券(同)		9. 3	有價證券賣買	5,000	1,250

地域	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
奉天	奉天取引信託(株)		9. 2	取引信託業	3,000	700
	南滿農產(同)	橋立町	8. 3	精米業	1,000	250
	(株)奉天馬車公司		9. 3	貨物運搬車輛製造販賣	100	25
	瀋陽窯業(株)		9. 3	煉瓦瓦土管製造	500	122
	秋田商會木材(同)		9. 4	木材製材	3,000	720
	(株)滿洲共益社		8. 3	物品販賣並問屋	1,000	250
	(資)互信公司		9. 9	靴鞄製造販賣	100	100
	滿蒙殖產(株)		6.11	皮革石鹼其他化學品製造	5,000	1,150
	大陸製粉(同)		8. 7	精米製粉業	1,000	250
	(株)滿蒙牧場		9. 2	牧場經營	1,000	300
	(同)福星公司		9. 7	動產不動產賣買金融	200	50
	(同)三林公司		10. 4	煙草硝子販賣業	200	160
	(同)寶信洋行		10. 1	電氣器械販賣業	1,000	250
	奉天公株信託(株)		10. 6	有價證券賣買信託業	500	125
	信陽貿易(同)		10.11	特產物貿易業	1,000	250
	(株)森島吳服店		10. 5	吳服類販賣業	300	300
	共同公司(資)		10. 2	農產物販賣金融	200	200
	滿洲倉庫信託(株)	鐵道附屬地	8. 8	倉庫信託	1,000	250
	(株)奉天商品證券交易所		10. 3	證卷商品金融	3,200	800
			10. 6	商品證券取引仲介	500	125
	(株)大安煙公司		10. 5	兩切煙草製造	500	125
	計 48				**59,467**	**20,244**
本溪湖	本溪湖煤鐵有限公司		44. 1	採炭製鐵	7,000	5,973
	(資)溪城鐵路公司		5. 4	輕鐵運輸業	570	570
	本溪湖杭木(株)		8.12	杭木賣買	300	75
	本溪湖石灰(同)		9. 5	石灰製造販賣	200	50
	裕信公司	牛心臺	6.12	採炭	150	150
	彩合公司	同	3. 5	同	100	100
	計 6				**8,320**	**6,918**

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
撫順	撫順信託(株)	本町	5. 8	信託業	1,000	287
	撫順興業(同)	同	6. 9	建物賃貸其他の企業	300	150
	撫順市場(同)	明石町	7. 5	市場經營	100	25
	撫順工業株式合資	支那町新市街	7. 5	瓦製造	100	25
	撫順製錬(株)	塔灣	8. 5	亞鉛製造販賣	5,000	1,250
	滿洲刷子工業(同)	吉野町	8. 5	刷子製造販賣	500	130
	撫順商事(同)	新町	8.11	食料雜貨販賣	100	50
	撫順製材(同)	明石町	8.12	製材竝材木販賣	300	75
	撫順窯業(同)	新町	9. 2	煉瓦、瓦製造	1,000	250
	撫順印刷(同)	春日町	9. 4	印刷業	200	50
	(名)大松號	高砂町	9. 6	農業、精米、酒造煉瓦製造	300	300
	計 11				8,900	2,592
鐵[illegible]	[illegible]電燈會社	附屬地	40. 9	電力供給	260	260
	(株)鐵嶺商品陳列館	同	2. 5	委託販賣倉庫業	400	400
	鐵嶺取引所信託(株)	同	8.11	信託業	500	125
	(株)恭山洋行	西門裡	7. 6	綿糸布製造販賣	200	100
	(同)日華銀行	城內	7. 9	銀行業	1,000	1,000
	滿洲畜産(株)	鐵道西	9. 3	畜産製造業	100	25
	泰隆(名)		9.12	貿易建築請負	800	800
	(株)至誠洋行		9. 5	綿糸布雜貨	500	125
	鐵嶺大矢組(資)		9. 4	滿蒙貿易建築材料	1,000	250
	滿洲製粉(同)		39.12	製粉業	5,750	2,825
	[illegible]洲織布(同)		10. 7	綿糸布製造業	750	
	鐵嶺證券信託(株)		10. 6	有價證券賣買	500	125
	鐵嶺公益信託(株)		10. 8	同	750	187
	鐵嶺證券金融(株)		10. 8	證券金融	250	62
	計 14				10,760	6,469

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
開原	滿洲電氣(株)	附屬地	3.10	電燈	千円 150	千円 150
	開原取引所信託(株)	同	5. 2	信託業	2,000	875
	開原錢業(同)	同	7. 4	積立、貸付	100	50
	開原市場(同)	同	7.12	貸家業	100	100
	開原窰業(同)	同	8. 3	煉瓦、土管製造	200	50
	中和(同)	同	8. 8	貿易	100	50
	開原實業信託(同)	同	8. 8	金融	200	100
	(株)開原銀行	同	8.11	銀行業	1,000	500
	開原檢番(株)	同	8.12	藝妓檢番	300	75
	亞細亞製粉(同)	同	8.12	製粉	1,000	1,000
	相互證券(株)	開原附屬地外小條家堡	9. 3	有價證券賣買金融	1,500	375
	開原證券金融(株)	同	10.10	同	500	125
	開原交易信託(株)	同	10.11	同	1,500	375
	計 13				8,6	125
長春	(株)長春檢番	日本橋通	4. 3	藝妓檢番	150	75
	長春取引信託(株	東五條通	5. 3	信託業	1,000	250
	(株)長春實業銀行	同第八區	6.12	銀行業	1,000	400
	長春運輸(株)	日出町	6.12	輸送業	500	125
	(株)范家屯銀行	范家屯	7. 1	銀行業	100	100
	滿洲材木(株)	住吉町	7. 2	材木販賣	500	250
	東亞興產(同)	同	7. 6	製材各種パルプ製造	500	235
	吉長窯業(同)	日本橋通	8. 2	煉瓦水管製造	200	50
	(株)長春共和公司	吉野町	8. 2	運輸業	100	36
	長春倉庫(株)	西四條通	8. 7	倉庫業	300	75
	滿蒙製肥(同	尾上町	8.12	肥料製造	500	70 5
	日支合辦豐材股份有限公司	旭町	7.11	木材賣買	5,000	1,250
	(株)長春座	吉野町	9.11	劇場	200	100
	滿洲製油(株)	住吉町	9. 2	製油業	1,000	380
	南滿製材(同)	高砂町	9.10	製材業	200	50
	東三省濟農(株)	住吉町	9. 4	特產物	1,000	250

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
長春	范家屯電氣(株)	范家屯	9.10	電燈、電力供給	200	50
	長春窯業(株)	吉野町	9. 4	煉瓦製造販賣業	500	125
	長春貯金信託(株)	同	10.10	金融業	100	25
	滿洲醬油(資)	富士町	8. 4	醬油釀造販賣業	300	300
	長春製氷(株)	入船町	8. 8	製氷業	300	75
	(名)泰山行	日本橋通	9. 2	石炭販賣運輸	150	150
	雙和棧製粉(株)	日出町	10.12	製粉業	1,000	750
	計 23				**14,800**	**5,276**
四平街	南滿融通貯蓄(株)	興隆路	2.10	銀行業	200	72
	(株)四平街銀行	北二條路	7. 2	同	500	151
	四平街取引所信託(株)	中央大路	8. 8	信託業	500	125
	(株)四平街檢番	興隆路	8.10	藝妓檢番	150	37
	四平街晝夜金融(株)	南一條路	9. 4	金融、其他仲介	200	50
	鐵嶺電 亞細亞窯業(同)		8.10	土管、土器、石灰製造販賣	500	145
	四平街土地建物(名)	南一條路	9. 2	土地、家屋賣買建築請負	100	100
	計 7				**2,150**	**680**
公主嶺	公主嶺電燈(株)	木下町	5. 8	電燈	500	250
	公主嶺取引所信託(同)	市場町	8. 8	信託業	500	125
	精米(同)	菊地町	9.12	精米製粉業	100	25
	(株)公主嶺檢番	朝日町	9. 6	紹介業	150	37
	計 4				**1,250**	**437**
安東	鴨綠江製材無限公司	大倉通	4.10	製材業	1,000	1,000
	安東挽材(株)	江岸通	8.12	同	1,000	250
	(資)南滿洲製材公司	西潮通	7. 5	製材、製函業	200	200
	滿洲木炭(株)	通遠堡鐵道附屬地	7. 7	木炭賣買	150	75
	東亞木材興業(同)	江岸通	8.10	製材業	2,000	500
	日支合辦採木公司	八番通	41. 9	木材販賣	3,000	3,000
	滿洲商業銀行	市場通	44. 5	銀行業	1,400	1,050

	會社名	所在地	設立年月	營業種目	資本金 總額	資本金 拂込額
					千円	千円
	北華通關(株)	市場通	8. 9	通關業	100	25
	(株)石崎商店	同	5. 1	木材販賣	2,000	800
	安東窯業(株)	大和橋通	1.12	煉瓦及瓦製造販賣	250	150
	安東興業(同)	同	8. 2	金融業	500	125
	滿洲鑛山業(同)	六道溝	8. 4	火藥製造	1,000	250
	鴨綠江製紙(同)	同	8. 5	紙類製造販賣	500	125
安	大正木材(同)	一番通	8. 6	製材業	200	50
	安東海運(同)	三番通	8. 8	運送業	250	62
	安東硝子製造(株)	上川端町	9. 1	硝子製造販賣	100	25
	安東貿易(株)	三番通	8.10	貿易精米	250	62
	(株)中日窯業公司	六道溝	8.10	煉瓦製造販賣	200	50
	日滿木材(株)	江岸通	9. 7	製材業	400	100
	安東運送(同)	同	9. 5	運送業	200	50
	安東海運(同)	同	9. 8	海運業	250	75
	(株)滿鮮鐵工所	敷島通	6. 6	諸機械製造	100	100
	滿鮮杭木(株)	六道溝	8.12	坑木、枕木販賣	3,000	1,200
	日華絹綿紡織(同)	東潮通	9.12	柞蠶糸製造	2,000	1,625
	(株)安東株式商品取引所	大和橋通	8.11	特產、證券取引	2,500	625
	(同)協成銀行	五番通	9. 3	銀行業	1,000	250
	安東商事信託(株)	四番通	8. 3	資金運用受託信託積金取扱	500	125
	滿洲證銀兩換(株)	大和橋通	9. 8	貨幣兩替	100	25
東	(株)安東印刷所	四番通	8.10	印刷製本	200	50
	(同)興東公司	大和橋通	8. 1	柞絲、製絲貿易	2,000	500
	滿洲飲料(株)	五番通	9. 3	淸涼飲料水製造販賣	300	75
	滿洲商工(同)	大和橋通	9. 3	輸出入貿易	1,000	2[illegible]
	鴨綠江木材(株)	江岸通	9. 9	製材業	1,000	250
	安東晝夜金融(株)	市場通	8.12	金融	500	125
	計 35				29,150	13,224

備考 (株)は株式會社(資)は合資會社(名)は合名會社の略とす

諸會社支店出張所一覽

（大正十年末現在）（資本總額百萬圓以上のもの）

	會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
						千円
旅順	滿洲水產(株)旅順支店	朝日町	大連	41.1	魚類販賣獎勵	1,000
	(株)正隆銀行旅順支店	鯖江町	同	41.1	銀行業	20,000
	秋田木材(株)旅順支店	乃木町	下關	9.4	木材販賣	3,000
	(株)朝鮮銀行旅順支店	青葉町	京城	7.1	銀行業	8,000
	滿洲貯金信託(株)	乃木町	大連	9.9	貯金信託	1,100
	計 5					**105,100**
大連	(株)三越吳服店大連支店	大山通	東京	37.12	デパートメントストーア	12,000
	(同)橫濱正金銀行大連支店	同	橫濱	13.2	銀行業	100,000
	大阪商船(株)大連支店	山縣通	大阪	17.5	船舶運送業	100,000
	日本樂器製造(株)大連支店	信濃町	濱松	30.10	樂器製造販賣	3,480
	小野田セメント製造(株)大連支店	周水子	山口	14.5	セメント製造販賣	7,500
	三井物產(株)大連支店	山縣通	東京	42.10	貿易業	100,000
	日本賣藥(株)大連支店	浪速町	同	39.11	藥品販賣	1,000
	(株)朝鮮銀行大連支店	大廣場	京城	3.10	銀行業	80,000
	日本棉花(株)大連支店	山縣通	大阪	25.10	綿糸布商	50,000
	東洋拓殖(株)大連支店	近江町	東京	41.12	金融拓殖業	50,000
	(株)乾卯商會大連支店	山縣通	大阪	6.10	藥品染料製造販賣	1,000
	(同)南昌洋行大連支店	同	東京	6.10	石炭、鑛石販賣	1,000
	田中商事(株)大連支店	加賀町	大阪	6.11	輸出入業海運業	1,500
	大倉商事(株)大連支店	紀伊町	東京	44.11	物品販賣、倉庫	10,000
	三菱商事(株)大連支店	同	同	7.4	物品販賣業	15,000
	內國通運(株)大連支店	敷島町	同	26.11	運送業、倉庫業	5,000
	山口運輸(株)大連支店	山縣通	神戶	7.12	海陸運送業	1,000
	東亞印刷(株)大連支店	近江町	東京	37.1	印刷業	1,000
	(株)滿洲共益社大連支店	紀伊町	奉天	8.3	物品販賣	1,000
	嘉納(名)大連支店	監部通	兵庫	30.10	清酒釀造販賣	1,500

大連

會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
					千円
大日本鹽業(株)大連出張所	山縣通	東京	36. 9	鹽製造販賣	4,000
(資)高田商會大連支店	同	同	41.12	輸出入、製造運送、鑛業	5,000
(同)淸水組大連出張所	神明町	同	4.10	土木建築請負	3,000
東亞煙草(株)出張所	大山通	東京	39.11	各種煙草販賣	10,000
(株)東華銀行支店	磐城町	瓦房店	7. 7	銀行業	3,000
(同)旅順銀行支店	磐城町	旅順	7. 5	同	1,500
東三省濟農(株)支店	紀伊町	長春	9. 3	糧棧業金融	1,000
秋田商會木材(株)	北大山通	奉天	9. 4	製材、木材、賣買	3,000
東亞證券商品信託(同)	加賀町	東京	9. 4	證券賣買金融企業	20,000
阿波共同汽船(同)	山縣通	德島		運送業	2,000
(株)平和銀行支店	西通町	吉林	9. 1	銀行業	1,000
滿蒙證券(株)	山縣通	奉天	9. 3	證券賣買金融信託	5,000
日淸製油(株)大連支店	軍用地	東京	40. 3	製油、豆類輸出	6,000
(株)川崎造船所出張所	濱町	神戸	41. 7	船舶、機械、修理	90,000
日本電氣(株)出張所	三河町	東京	32. 7	電氣機械賣賣	10,000
(株)日本蓄音機出張所	伊勢町	神奈川縣	43. 4	蓄音機販賣	2,100
滿洲製粉(株)出張所	山縣通	鐵嶺	39.12	麥粉製造販賣	5,750
(株)新宮商行出張所	同	小樽	8. 4	材木賣買製紙業	1,500
(同)岡田商店出張所	監部通	東京	7. 1	貿易商	1,000
東京電氣(株)出張所	山縣通	神奈川縣	5.11	電氣機械器具材料	10,000
(株)協信洋行出張所	監部通	神戸	8. 8	輸出入業	1,000
內外興業(株)支社	伊勢町	東京	7.12	機械雜貨輸入業	4,000
(株)大倉土木組出張所	天神町	同	6.12	土木建築請負	2,000
滿洲興業(株)支店	三河町	鞍山	6. 8	土地建物賣買	5,000
(株)滿洲商業銀行支店	監部通	安東縣	10. 7	銀行業	2,275
松田汽船(株)支店	山縣通	神戸	10. 3	海運業	1,250
(株)南滿銀行支店	羽前町	鞍山	10. 9	銀行業	1,500
信陽貿易(株)支店	紀伊町	奉天	10.11	特產物取引油房	1,000
(株)岩尾商店支店	山縣通	大阪	8. 6	綿絲布貿易	1,000
東洋道路工業(株)出張所	佐渡町	東京	8.12	土木建築請負	10,000

	會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
大連	羽田調帶(株)出張所	監部通	東京	10. 7	皮革調帶販賣	千円 1,000
	(株)荻原商店出張所	同	大阪	8. 5	製紙輸出入	1,000
	(株)米井商店出張所	山縣通	東京	10.11	器械護謨販賣	1,000
	長瀨自動車(株)出張所	同	同	7. 6	自働車販賣	2,000
	大矢組(株)出張所	軍用地	鐵嶺	9. 5	精米業	1,000
	大洋海運(株)出張所	山縣通	神戸	6. 7	海運業	5,000
	丸永商會(株)出張所	明石町	大阪	10.12	綿絲布商	3,000
	(株)日立製作所出張所	伏見臺	東京	8.10	機械製造販賣	10,000
	古河電氣工業(株)出張所	山縣通	同	9. 5	電氣具製造販賣	20,000
	(株)島津製作所出張所	越後町	京都	9. 2	理科學機械販賣	2,000
	(名)鈴木商店出張所	山縣通	神戸	35.10	貿易、船舶、保險	50,000
	計 66					946,855
金州	(株)遼東銀行金州支店	聖廟神街	大連	6. 4	銀行業	3,000
普蘭店	大日本鹽業(株)普蘭店分局	新市街	東京	40.12	製鹽業	4,950
	(株)遼東銀行支店	同	大連	7. 8	銀行業	3,000
	計 2					7,950
貔子窩	大日本鹽業(株)貔子窩分局	老虎灘隨家屯	東京	39.11	製鹽業	4,950
	東洋捕鯨(株)關東州事業場	海洋島八斗	大阪	42. 5	捕鯨業	3,000
	(株)遼東銀行支店	貔子屯	大連	6. 4	銀行業	3,000
	計 3					10,950
瓦房店	(株)遼東銀行瓦房店支店		大連	8. 3	銀行業	3,000
松樹	(株)東華銀行松樹支店	松樹附屬地	瓦房店	9. 4	銀行業	3,000
大石橋	大矢組(株)海城支店	海城北門街	鐵嶺	9. 5	馬糧販賣	1,000
遼陽	(株)朝鮮銀行遼陽出張所	東站街	京城	7. 1	銀行業	80,000

	會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
鞍山	(株)大連銀行鞍山支店	南驛前通	大連	6.10	銀行業	千円 3,000
	東亞煙草(株)鞍山出張所	南二條町	東京	8.10	煙草製造	10,000
	東洋コンプレッソ(株)鞍山出張所	南一條町	同	9. 8	土木建築請負	1,000
	營口水道電氣(株)鞍山營業所	大正通	營口	8. 4	電燈業	3,750
	南滿建物(株)鞍山出張所	北四條町	大連	9. 8	土木建築請負	2,000
	安東挽材(株)鞍山出張所	南驛前通	安東	8.12	原木製材賣買業	1,000
	計 6					**20,750**
營口	橫濱正金銀行營口支店	元神廟町	橫濱	33.1	銀行業	100,000
	三井物產(株)牛莊支店		東京	38.11	貿易業	100,000
	(株)正隆銀行營口支店	元神廟街	大連	41. 1	銀行業	20,000
	東亞煙草(株)營口製造所	青柳町	東京	42.11	煙草製造	10,000
	日本棉花(株)營口出張所		大阪	2. 5	綿絲布	50,000
	(株)朝鮮銀行營口支店		京城	5. 9	銀行業	80,000
	滿洲製粉(株)營口出張所	西北街	鐵嶺	6. 4	麥粉販賣	5,750
	(株)正隆銀行錦州出張所	錦州	大連	7. 5	銀行業	20,000
	滿洲特產(株)		東京	9. 4	特產物	1,000
	(株)滿洲共益社		奉天	8.10	貿易商	1,000
	計 10					**387,750**
奉天	(株)正隆銀行奉天支店		大連	6. 8	銀行業	20,000
	東洋拓殖(株)奉天支店		東京	6.10	拓殖事業	50,000
	(株)朝鮮銀行新市街派出所		京城	6.10	銀行業	80,000
	滿洲商業銀行奉天支店		安東	7.11	銀行業	2,275
	滿洲興業(株)奉天支店		鞍山	7.11	土地建物賣買貸借	5,000
	橫濱正金銀行奉天支店	城內	橫濱	10. 1	銀行業	100,000
	東亞煙草(株)奉天販賣所	小西關	東京	39.11	煙草販賣	10,000
	三井物產(株)出張所	大西關	同	42.11	貿易業	100,000
	(株)正隆銀行 同	小西關	大連	42.12	銀行業	20,000

	會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
						千円
奉天	朝鮮皮革(株)出張所	小西關	朝鮮	2.10	皮革製造販賣	1.000
	(株)朝鮮銀行奉天支店	同	京城	2. 7	銀行業	80,000
	滿洲製粉(株)奉天出張所	大西關	鐵嶺	3. 5	麥粉販賣	5,750
	(株)大連機械製作所奉天支店	西塔大街	大連	7. 5	機械製造販賣	2.000
	滿洲商業銀行十間房出張所	十間房	安東	7.11	銀行業	2.275
	奉天銀行新市街派出所		奉天	8. 6	同	1,000
	東亞證券信託(株)奉天支店		東京	9. 4	有價證券賣買仲介	20,000
	東亞煙草(株)奉天支店		同	8. 8	煙草製造販賣	10,000
	滿洲製粉(株)奉天支店		鐵嶺	8. 7	製粉業	5,750
	大連銀行奉天支店		大連	8. 9	銀行業	3,000
	東洋肥料(株)奉天支店		宮崎縣	8. 9	肥料製造販賣	1,000
	(株)大信洋行奉天出張所		大連	7.11	金物販賣業	1,000
	山口運輸(株)奉天支店		神戸	10. 2	運送業	1,000
	(株)丸京吳服店奉天支店		京城	10. 1	吳服類販賣業	1,000
	滿洲產業(株)	十間房	撫順	9. 2	酒類製造	2,000
	(株)大倉紙店奉天支店	城内	東京	8. 7	洋紙販賣仲介	3,000
	和歌山皮革(株)奉天支店	同	和歌山縣	9. 5	皮革販賣	1,000
	計 26					**528,050**
本溪湖	(株)滿洲商業銀行本溪湖支店		安東	9. 1	銀行業	2,275
	奉天信託(株)本溪湖支店		奉天	9. 4	金融、積立、貸借仲介、管理	2,000
	滿鮮杭木(株)出張所		安東	8.12	杭木賣買	3,000
	計 3					**7,275**
撫順	(株)滿洲商業銀行撫順支店	明石町	安東	9.11	銀行業	2,275
	(同)正隆銀行撫順支店	彌生町	大連	5.11	同	20,000
	大陸窯業(株)撫順工場	松田橋外	奉天	8. 4	煉瓦、瓦製造業	2,000
	滿洲產業(株)撫順支店	本町	大連	8.10	特產物賣買燒酎製造	2,000
	計 4					**26,275**

	會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
鐵嶺	東亞煙草(株)鐵嶺出張所	附屬地	東京	39.11	煙草製造販賣	千円 10,000
	三井物產(株)鐵嶺出張所	元町	同	39. 2	貿易業	100,000
	(株)朝鮮銀行鐵嶺出張所	西町	京城	44. 3	銀行業	80,000
	日本棉花(株)鐵嶺出張所	城內	大阪	2. 6	綿絲布	50,000
	滿洲共益社鐵嶺出張所	東門裡	奉天	8. 3	綿絲布雜貨賣買	1,000
	(株)滿蒙牧場鐵嶺支店	北五條通	同	9. 2	牧場經營及附帶業	1,000
	山口(名)鐵嶺出張所	西浴街	神戶	41. 6	運送業	2,000
	(株)奉天銀行鐵嶺支店	敷島町	奉天	10.11	銀行業	5,000
	計 8					249,000
開原	三井物產(株)開原出張所	附屬地	東京	42. 8	輸出入業	100,000
	日清製油(株)開原出張所	同	同	43.11	油房業	6,000
	(株)橫濱正金銀行開原支店	同	橫濱	44.10	銀行業	100,000
	(同)正隆銀行開原支店	同	大連	4.12	同	20,000
	(同)朝鮮銀行開原支店	同	京城	4. 9	同	80,000
	南滿製糖(株)開原農場	同	奉天	6. 3	甜菜栽培	10,000
	(株)日華銀行開原支店	同	鐵嶺	8.11	銀行業	1,000
	(名)鈴木商店	同	神戶	7. 4	特產物	50,000
	滿洲共益(株)開原支店	同	奉天	8. 3	貿易	1,000
	計 9					368,000
長春	日清製油(株)長春出張所	富士町	東京	4.10	製油業	6,000

	會社名	本店所在地	社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
長春	三井物產(株)長春出張所	室町	東京	42.10	貿易	千円 100,000
	(株)山口運輸公司長春支店	東二條通	神戸	43.12	運送業	1,000
	(同)正隆銀行長春支店	日本橋通	大連	1.10	銀行業	20,000
	滿洲製粉(株)長春出張所	住吉町	鐵嶺	2. 6	製粉業	5,750
	(株)朝鮮銀行長春支店	祝町	京城	2. 9	銀行業	80,000
	(同)橫濱正金銀行長春出張所頭道溝分店	富士町	橫濱	2.11	同	100,000
	(同)滿洲商業銀行長春支店	吉野町	安東	7. 1	同	2,275
	東省實業(株)長春出張所	日本橋通	奉天	7. 5	土地、家屋擔保委託品販賣	3,000
	(株)大倉組出張所	吉野町	東京	7.10	土木請負	10,000
	大陸窯業(株)長春支店	住吉町	奉天	8. 4	瓦及煉瓦製造	2,000
	(株)中華煙公司	日本橋通	同	8.10	煙草製造	1,500
	橫濱正金銀行長春出張所	北大街	橫濱	40. 2	銀行業	100,000
	シンガーミシン會社長春出張所	北門街	米國	1.12	ミシン機械販賣	150,000
	(名)鈴木商店出張所	日本橋通	神戸	7. 1	貿易商	50,000
	中華製粉(株)長春出張所	高砂町	大連	9. 5	製粉業	5,000
	南滿鑛業(株)長春炭坑	東五條	同	7. 7	炭礦業	3,000
	計　17					639,525
四平街	(株)朝鮮銀行四平街出張所	北大路	京城	3. 2	銀行業	80,000
	(同)正隆銀行四平街支店	南四條	大連	8. 8	同	20,000
	計　2					100,000

	會社名	所在地	本社所在地	設立年月	營業種目	本店資本金
公主嶺	三井物產(株)公嶺出張所	東本町	東京	43. 1	貿易	千円 100,000
	山口運輸(株)公主嶺出張所	花園町	神戸	8. 1	運輸業	1,000
	滿洲商業銀行支店	敷島町	安東	9.11	銀行業	2,275
	(株)龍口銀行支店	東雲町	大連	9. 9	同	11,000
	計 4					114,275
安東	東洋燐寸(株)安東縣出張所	霧島通	神戸	7.11	燐寸、軸木製造販賣	4,000
	大阪商船(株)安東縣出張所	市場通	大阪	39. 3	船舶運輸	50,000
	東亞煙草(株)安東縣販賣所	二番通	東京	39.10	煙草販賣	10,000
	シンガーミシン會社安東縣分店	市場通	米國	42. 4	ミシン機械販賣	150,000
	三井物產(株)安東縣出張所	四番通	東京	42.11	貿易業	100,000
	(株)朝鮮銀行安東支店	市場通	京城	42.11	銀行業	80,000
	大連汽船(株)安東縣出張所	江岸通	大連	4. 4	運送	2,000
	滿洲商業銀行舊市街支店	舊市街	安東	5. 1	銀行業	2,275
	遼東木材(株)出張所	江岸通	大連	9. 6	製材業	1,000
	宮下木材(株)出張所	西潮通	神戸	7.10	同	2,000
	(名)鈴木商店出張所	大和橋通	同	7. 5	貿易商	50,000
	東洋拓殖(株)出張所	四番通	東京	10. 4	拓殖事業	50,000
	(株)鞍山銀行支店	五番通	鞍山	10.10	銀行業	1,000
	計 13					502,275

(二) 商業機關

1. 商業會議所

滿洲に於ける邦人商業會議所として見るべきものは大連、奉天、安東營口、長春の五ケ所で其他大石橋に實業會、開原に商業組合、公主嶺に實業協會、遼陽に實業協會、鐵嶺に實業組合等があつて會議所と同樣の事業をなしてゐる其他外人會議所としては大連及營口にあるも會員も少く未だ組織的のものでない。

滿洲日本人商業會議所一覽

名稱	設立年月	會頭名	會員數	年豫算額
大連商業會議所	大 4. 6	相生由太郎	290	65,000
奉天商業會議所	大 7. 1	石田武彦	264	33,840
安東商業會議所	明41. 7	金井佐次	262	32,777
長春商業會議所	大 9. 6	阿川甲一	140	16,200
營口商業會議所	大 9. 1	木下鋭吉	145	26,175
哈爾賓商業會議所	大 0. 10	吉植庄三	116	未定

2. 同業組合

同業組合一覽表 (大正十年末現在)

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
州內	旅順	旅順人力車、馬車、荷馬車營業組合	40. 8	7	349	356	2,602
		旅順質屋業組合	40.10	9	—	9	125
		旅順三業組合	38.11	67	—	67	1,730
		旅順染物業組合	41.10	11	—	11	125
		關東州水產組合旅順支部	39. 6	635	1,798	2,433	4,226
		旅順蠶業組合	3. 9	25	—	25	520
		旅順農業組合	5. 4	34	—	34	202

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	組合人員 支那人	組合人員 計	經費
	旅	旅順藥業組合	41.7	6	—	6	36
		旅順古物商組合	43.7	9	14	23	467
		旅順理髪業組合	49.7	7	—	—	45
	順	組合數計 10		810	3,161	2,971	9,558
州							
		大連人力車乘用馬車組合營業組合	41.3	23	1,894	1,917	13,012
		大連紹介業組合	4.6	10	—	10	120
		大連艀船營業組合	39.4	21	6	27	832
	大	小崗子料理店飲食店組合	42.5	30	—	30	3,232
		逢阪町遊廓組合	39.4	60	—	60	6,930
		大連下宿業同	41.10	60	—	60	1,111
		大連湯屋營業同	43.10	21	13	34	1,424
		大連古物商同業同	44.3	147	—	147	410
		大連宿屋營業同	44.2	19	—	19	840
		大連印刷業同	44.4	17	—	17	65
		大連水上商同	44.10	102	15	117	1,902
		大連三業同	7.4	108	—	108	52,737
		大連中華客棧同	2.6	—	22	22	1,089
		大連飲食店營業同	2.7	95	—	95	2,494
		沙河口下宿業同	4.10	15	—	15	105
		大連球戲業同	5.5	10	15	25	195
		老虎灘同業同	7.3	12	—	12	246
		大連荷馬車營業同	44.11	28	1,682	1,710	8,822
		大連牛乳營業同	42.4	8	—	8	96
内		沙河口料理店同	8.5	18	9	24	2,268
	連	滿洲モーター同	8.10	68	16	84	1,121
		大連藥業同	42.10	72	—	72	2,805
		大連獸鳥肉商同	42.12	13	75	86	874
		大連產婆同	45.2	82	—	82	295

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
州内	大連	大連鍼灸按摩業同	3. 7	33	2	35	378
		大連理髮業同	39.10	44	100	144	1,800
		大連女子理髮業同	7. 5	110	—	110	800
		沙河口理髮業同	3. 3	21	16	37	186
		沙河口飲食店同	8.10	15	—	15	175
		大連印刷業同	5.10	56	—	56	203
		大連看護婦會	7.10	14	—	14	245
		大連醫師會	44. 3	38	—	38	1,700
		大連信濃町市場組合	41. 7	61	47	108	2,100
		關東州水產同	38.10	2,319	5,829	8,148	59,139
		大連材木商同	39. 8	56	130	186	45,000
		大連重要物產取引人同	3. 2	38	79	117	43,137
		大連三業同	8.10	25	—	25	4,100
		大連海運同業同	8. 5	17	—	17	1,150
		大連食料品問屋同	41. 1	5	—	5	150
		大連洋服商同	8. 2	57	—	57	1,026
		大連株式同業同	9. 4	39	3	42	10,080
		大連貸家業同	41. 2	70	—	70	360
		大連綿絲布商聯合會	44. 8	17	—	17	5,000
		大連油房聯合會	44.11	5	52	57	4,500
		大連和服裁縫組合	7. 3	22	—	22	180
		大連工業會	8.10	18	1	19	2,280
		山縣市場組合	9. 6	33	7	40	1,920
		滿洲土木建築組合	41. 5	91	—	91	5,000
		大連華商料理店飲食店營業同	9. 1	—	115	115	2,832
		大連荷車同	9. 6	—	64	64	96
		關東州齒科醫會	4. 7	25	—	25	195
		滿洲重要物產同業組合	43. 8	24	4	28	31,058
		柳樹屯三業同	41. 3	12	—	12	191
		大連蔬菜果實輸入商同	10. 3	11	—	11	660

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
	大	大連特産物輸出商組合	10.11	20	—	20	5,997
		滿洲甘榮會	10. 8	286	16	302	1,460
		大連火災保險協會	10.12	12	—	12	1,000
		大連鮮貨組合	10. 7	—	59	59	—
州	連	組合數計 23		3,271	6,229	9,500	191,239
	金	金州乘合馬車組合	6.12	—	73	73	8
		金州養蠶同	9. 4	—	199	199	736
		金州畜產同	9. 4	—	4,871	4,871	5,042
	州	組合數計 3		—	5,143	5,143	5,786
	普	普蘭店畜産組合	6. 7	—	13,160	13,160	9,215
		五島鹽業同	43. 8	1	30	31	479
	蘭	三官廟鹽業同	43. 5	1	51	52	358
		普蘭店油房聯合同	9. 3	—	24	24	1,500
	店	組合數計 4		2	12,265	12,267	11,552
	貔	貔子窩勞働組合	43, 8	1	1,104	1,165	574
		同畜產同	7. 5	—	9,377	9,377	2,600
		貔子窩鹽業同	10. 3	1	35	36	1,018
	子	同戎克同	10. 5	1	164	165	604
		同勞働者相互救濟同	10. 7	2	27	29	500
內	窩	組合數計 5		5	10,707	10,712	5,296
	總計	70		4,854	39,738	44,592	293,214
	大正八年	65		5,723	51,771	57,494	196,910
	同七年	60		4,345	50,931	55,276	89,000

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
州	瓦房店	瓦房店三業組合	40. 4	10	—	10	475
		計 1		10	—	10	475
	大石橋	大石橋料理店組合	3.11	8	—	8	593
		海城料理店同	45. 4	19	—	19	120
		海城運送業同	9.12	3	10	13	38
		蓋平運送業同	1.12	2	5	7	30
		大石橋貯蓄金融會	10.11	80	—	80	400
		同 商業組合	10. 2	17	—	17	111
		蓋平金融貯金會	10. 2	20	—	20	52
		計 7*		149	15	164	1,344
	遼陽	遼陽三業組合	41. 9	26	10	36	255
		食料品同	44.12	5	—	5	—
		遼陽洋服商同	8.11	4	1	5	—
		遼陽質屋業同	44. 3	5	—	5	—
		遼陽古物品同	44. 3	13	—	13	—
		遼陽貿易商同	9. 1	23	—	23	—
		遼陽仲買人同	9. 9	19	7	26	350
		組合數計 7		95	18	113	605
外	鞍山	鞍山飲食店組合	8.12	16	—	16	60
		鞍山柳町料理店同	9.11	89	—	89	2,559
		鞍山藥業同	9. 1	7	—	7	49
		鞍山古物商同	9. 2	11	—	11	—
		鞍山質屋同	8.11	11	—	11	202
		鞍山土木建築現業同	7. 3	30	—	30	—
		鞍山木材商同	8. 5	4	—	4	—
		鞍山湯屋業同	10. 6	4	—	4	12

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
州外	鞍山	鞍山人力車營業組合	10. 8	2	154	156	618
		同牛肉商同	10.10	7	3	10	—
		計 9		151	157	308	3,500
	奉天	奉天旅館組合	43. 7	29	—	29	—
		奉天質屋同業同	42. 4	38	—	38	500
		奉天鐵道附屬地三業同	42. 7	86	—	86	3,363
		奉天附屬地支那客棧同	2. 5	—	19	19	950
		滿洲市場小賣部同	7. 3	23	17	40	1,104
		奉天湯屋同業同	4. 4	7	—	7	252
		奉天驛構內車馬同	4. 3	3	270	273	—
		奉天支那人料理店同	4. 2	—	12	12	1,320
		奉天理髮同業同	42. 7	22	—	22	528
		奉天古物商同業同	9. 9	58	—	58	—
		奉天代書人會	9.11	5	—	5	60
		奉天運送業組合	10. 1	20	—	20	720
		奉天藥業同	10. 8	27	—	27	255
		計 13		318	318	636	9,052
	本溪湖	本溪湖料理店組合	5. 3	6	—	6	650
		本溪湖理髮同業同	6. 1	3	—	3	74
		本溪湖質屋同	10. 8	10	—	10	220
		本溪湖貯氷同	8. 9	9	—	9	1,000
		本溪湖飲食店同	10. 1	6	—	6	72
		計 5		34	—	34	2,016
	撫順	撫順理髮營業組合	40. 9	22	2	24	72
		撫順料理店同	40.10	15	—	15	1,478
		撫順質屋同業同	43. 2	15	—	15	350

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
	撫順	撫順飲食店同業組合	2. 3	15	—	15	192
		撫順食料雜貨商同	3.11	24	—	24	639
		撫順藥業同	3.10	16	—	16	62
		撫順料理店同	6.12	15	—	15	839
州		撫順人力車營業同	8. 4	1	227	228	334
		撫順運送業同	8. 2	3	8	11	—
		計 9		131	239	370	3,688
	鐵嶺	鐵嶺理髮業組合	3. 6	6	—	6	30
		鐵嶺金融同	6. 4	13	—	13	78
		計 2		19	—	19	108
	開原	開原三業組合	42. 5	23	—	23	232
		開原藥業同	1. 8	9	—	9	25
		開原理髮業同	5. 5	2	—	2	—
		開原客棧同	5. 9	—	45	45	1,980
		開原質屋同	6. 8	9	9	16	50
		開原商業同	2. 1	26	—	26	576
		開原支那理髮業同	7.12	—	11	11	240
		開原取引所取引人同	7. 7	32	—	32	550
		開原支那人料理店同	8. 3	—	25	25	—
		開原有價證券仲介業同	9.11	33	4	37	110
		計 10		134	92	226	3,713
外	長春	長春理髮業組合	41. 5	13	—	13	312
		長春料理店營業同	41. 5	26	—	26	3,000
		長春支那料理店營業同	3. 6	—	42	42	5,000
		長春宿屋營業同	43. 3	13	—	13	700
		長春棧商同	43. 3	—	20	20	250

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
州外	長春	長春飲食店營業組合	44.10	37	—	37	600
		范家屯特產物商同	2. 9	5	—	5	100
		長春女髮結業同	4. 3	22	—	22	80
		長春附屬地藥業同	4. 9	32	—	32	320
		長春貸家業同	7. 9	—	15	15	136
		長春驛構內馬車同	6.10	8	—	8	2,792
		長春古物商同	7. 3	17	—	17	150
		長春菓子商同	8. 7	9	—	9	17
		長春特產物商同	7. 8	36	46	82	410
		長春支那理髮業同	9. 5	—	31	31	30
		長春人力車營業同	9.10	7	—	7	60
		計 16		225	154	379	13,957
	四平街	商業組合	8. 1	28	—	28	69
		洋服業同	8. 5	5	—	5	—
		藥業同	8. 3	6	—	6	—
		質屋同	2. 3	8	12	20	120
		料理店同	40. 8	9	8	17	560
		理髮同	2. 8	3	7	10	50
		二業同	7.10	8	—	8	—
		計 10		67	27	94	799
	公主嶺	公主嶺料理店營業組合	40.11	8	—	8	588
		公主嶺商業同	9.10	24	—	24	300
		公主嶺理髮業同	41.12	4	—	4	20
		公主嶺藥業同	2.11	13	—	13	240

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
州	公主嶺	公主嶺取引人組合	9. 5	16	—	16	—
		計 5		65	—	65	1,148
	安東	鴨綠江解船組合	3. 2	56	—	56	1,200
		安東運送運搬同業同	7. 7	30	—	30	450
		沙河鎭運送業同	5. 5	2	13	15	800
		鳳凰城運送業同	4.12	—	9	9	—
		鷄冠山運送業同	6.11	1	10	11	115
		計 5		89	32	121	2,565
外	總計	86		1,305	962	2,267	107,956
	大正八年	77		1,033	916	1,949	50,005
	大正七年	67		862	555	1,417	35,393
領事館管內	牛莊營口	營口質屋組合	40. 8	8	—	8	100
		營口理髮業同	40. 3	4	—	4	20
		營口古物商同	40.10	10	—	10	50
		營口石炭販賣同	44. 4	4	3	7	10,000
		營口建物同	2.10	6	—	6	600
		營口藥業同	41. 7	7	—	7	55
		營口乘合馬車人力車同	43. 1	2	—	2	345
		營口料理屋同	41. 6	12	—	12	1,200
		錦州質屋營業同	8. 3	13	—	13	50
		營口商業同	10. 7	71	4	75	50
		營口飲食店同	10. 5	9	—	9	6
		計 11		146	7	153	12,476
	遼陽	遼陽三業組合	41. 9	1	—	1	—
		計 1		1	—	1	—

地方別		組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
領事館管内	奉天	奉天三業組合	7 7	41	—	41	3,036
		婦人共濟會	42 2	173	—	173	1,212
		奉天質屋組合	41. 3	6	—	6	126
		雜貨貿易商同	2. 7	23	—	23	885
		計 4		243	—	243	5,259
	鐵嶺	鐵嶺商業組合	41. 8	45	—	45	141
		鐵嶺三業同	39. 4	30	—	30	1,756
		鐵嶺質屋古物商同	40. 9	19	—	19	50
		鐵嶺地方朝鮮人農業同	8. 2	456	—	456	573
		北山城子朝鮮人農業同	9.12	2,889	—	2,889	1,124
		鐵嶺藥業同	40. 4	9	—	9	元 54
		東豐縣朝鮮人農會	10. 4	164	—	164	300
		柳河縣樣子哨朝鮮人居留民會	9. 9	367	—	367	1,200
		柳河縣柳河朝鮮人居留民會	9. 9	1,572	—	1,572	15,000
		輝南縣朝鮮人農業組合	10. 1	85	—	85	406
		計 10		5,636	—		2,574 3,530
	長春	長春北門外料理店組合	42. 5	13	—	13	1,023
		計 1		13	—	13	1,023
	安東	輸出貿易商組合	7.11	22	—	22	8
		洋服商同	8. 4	15	3	18	150
		貸席同	41. 7	24	—	24	1,200
		下宿業同	42. 2	6	—	6	—
		左官業同	6. 3	12	5	17	—
		紹介業同	9. 9	6	—	6	100
		大工業同	6. 8	44	—	44	150

地方別	組合名	設立年月	組合人員 日本人	支那人	計	經費
安東領事館管内	米穀商同	3. 2	14	—	14	770
	旅館同	45.11	9	—	9	12
	古物商同	45.11	11	—	11	—
	藥業同	40. 2	22	18	40	282
	飲食店同	39.12	23	—	23	250
	湯屋業同	39.12	7	—	7	70
	料理屋業同	41. 3	9	—	9	592
	魚菜市場同	41. 1	23	15	38	1,186
	時計貴金屬同	6. 9	7	—	7	—
	理髮業同	2.11	31	—	31	350
	酒商同	4. 2	10	—	10	—
	染洗業同	5. 4	11	—	11	132
	人力車乘合馬車同	9. 6	1	578	579	2,349
	柞蠶商同	10.11	12	—	12	60
	質屋業同	40. 6	7	24	31	406
	鳶業同	7. 4	8	—	8	96
	醫師會	39. 2	7	—	7	36
	木材商組合	44. 4	64	—	64	3,095
	計 25		405	643	1,048	11,294
總計 44			5,199	691	5,890	38,760
大正八年 38			802	52	854	10,294
同七年 41			634	71	705	12,135

3. 取引所

滿洲の經濟界は特產物取引の消長如何によつて左右せらるゝ觀がある殊に中日人間の商取引上に於て該市場をして秩序整然たらしむるべき經濟機關として取引所の設立を見たのであるが關東廳は先づ大連に取引所を創立して大正二年より事業を開始し漸次開原長春に及び次で公主嶺、鐵嶺、四平街、奉天、營口、遼陽、安東の各地に開設した又此等普通物產取引の外に是が交易の媒介である錢鈔の取引をも併置した。

然して其創立當時にあつては取引高極めて少額であつたが支那側に於て漸次其取引方法の安全且便宜なることを感知する樣になつてから其數額も增加し近時は至る處に其盛況を見る樣になつた。

現今では是等取引所の氣配が日本內地は勿論支那及一般世界的相場に影響する樣になつた市場の監督及取締方法は日本內地の取引所方法と多少の差異があるが大體に於て殆んど同一である、而して取引及擔保の方法は各取引所とも概ね大同小異である。

今其一例として大連取引所に就て概述して見ると下の如くである。

大連取引所の特產取引は現物取引に於て競賣買及相對賣買の方法による、先物取引は競賣買の方法によるものが大豆、高粱で相對賣買の方法によるものが豆油、豆粕である、建値は大正十年四月關東廳令を以て從來の銀建を廢し金建とした現物取引に於ける物件の單位には一定のものがなく豆粕は一枚(四六斤)其他は凡て一擔(百斤)である、而して先物取引は分ちて短期取引(一箇月以內)及長期取引(四箇月以內)である。

上述せる如く大連取引所の建値が金建に變更したる結果これが影響は單に一取引所の建値にとゞまらず多方面に波及したが實施後は市場又何

等の不安なく活況を呈して居るゝ然しながら前途は樂觀を許さないのみならず現下一般財界の不況にも其一因をなして居ると觀察してゐる向も少くない。

次に錢鈔なる先物取引が各地で實施されて居る現今滿蒙に於ける一般商取引の媒介をなす通貨の種類は多種多樣で復雜を極めてゐる然し大體に於て中國固有の通貨と外來の通貨とが各其本位を異にして流通してゐるために中國の通貨は其實價と需給關係等によつて絶えず其交換率に變動を來して地方的に夫々商品化され各取引の間接媒介物として賣買されて居る是れが錢鈔取引の行はるゝ所以である。

中國人間には日本銀行券及朝鮮銀行券の兩金券が金票又は老頭兒票と俗稱され又正金銀行券の銀券が鈔票(銀票)と通稱されて居る。然して鈔票は銀本位であるから中國人に取り同化性に富んでゐる殊に正金が滿洲に銀券を發行して以來既に十餘年の歷史を有してゐるので廣く中國人に知れ亘り鈔票も取引の間接媒介物として嘗ては小洋錢若くは小洋票建取引若くは官帖建取引其他圓建の取引に使用されたため今日尚錢鈔なる文字が一般に用ゐられてゐるのである。卽ち錢鈔なる言葉の本來の意義は正金銀行の鈔票に發したのであるが之れが今日では一般の錢業に使用せられて居るのである。今其一例として大連取引所に於ける錢鈔取引に就いて述べんに錢鈔の先物取引の物件は鈔票であつて單位は五千圓呼値は百圓の價格であり建値は圓金建である。其他俄票の取引も行はれて居る而して此等の先物取引の賣買は競賣の方法により契約期限は三箇月以內である。

日本側取

取引所名	經營別	開設年月
大連取引所	官營	大 2. 9
大連株式商品取引所	民營	大 9. 3
開原取引所	官營	大 5. 2
長春取引所	同	大 5. 3
奉天取引所	同	大 9. 1
遼陽取引所	同	大 9. 1
營口取引所	同	大 9. 1
四平街取引所	同	大 8. 9
公主嶺取引所	同	大 8. 9
鐵嶺取引所	同	大 9. 1
哈爾賓取引所	民營	大 10.
安東取引所	同	大 8. 11

大正十年糧豆先物

區分			一月	二月	三月	四月	五月	六月
公主嶺	大豆	數量	車 2,420	1,083	1,730	1,299	1,617	1,170
		價格	元 4,036,919	1,954,728	3,495,553	2,850,866	3,818,838	2,698,926
		公定相場 最高	1,611	1,809	1,889	1,968	2,111	2,072
		公定相場 最低	1,357	1,430	1,640	1,770	1,892	1,830
	高粱	數量	1,205	248	916	1,038	970	791
		價格	1,681,590	402,496	1,393,321	1,758,712	1,683,577	1,185,337
		公定相場 最高	1,441	1,490	1,400	1,634	1,624	1,413
		公定相場 最低	1,153	1,341	1,195	1,242	1,309	1,206

引所一覽

取引物件	建値
現物 大豆、豆油、豆粕、高粱、其他雜穀 先物 大豆、高粱、豆油、豆粕、鈔票、俄帖	金圓
各種株式、綿絲布、麻袋、麥粉、砂糖	金圓
大豆、高粱、金票、俄帖	小洋票
同上の外小洋錢	金及小洋票
金票	小洋票
大豆、豆粕、豆油、高粱、小麥、粟、其他雜數 金票、小洋、票、俄帖、鈔票	金及小洋票
大豆、豆粕、金票、鈔票	金及小洋票
大豆、高粱、粟、金票、鈔票	小洋票
大豆、高粱、金票、鈔票、官帖	小洋票
大豆、金票、鈔票、俄帖	小洋票
特產物及錢鈔	
特產物及有價證券	

（大正十一年十二月金建に變更す）

出來及高公定相場

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
1,582	1,718	1,262	2,217	1,872	2,046	**20,016**
3,767,906	3,960,941	2,591,282	4,961,940	4,233,830	4,709,747	**43,081,482**
2,254	2,260	1,954	1,954	1,961	2,066	—
1,716	1,750	1,851	1,851	1,876	1,909	—
501	996	677	477	930	1,237	**9,986**
675,622	1,263,149	798,750	588,249	1,111,343	1,374,199	**13,886,345**
1,263	1,183	1,045	1,049	1,007	1,039	—
924	994	950	988	911	912	—

區分			一月	二月	三月	四月	五月	六月
四平街	大豆	數量	940	499	1,453	847	1,496	1,404
		價格	1,748,071	994,447	3,241,328	1,967,173	3,666,445	3,286,872
		公定相場 最高	1,685	1,827	1,949	2,104	2,255	2,138
		公定相場 最低	1,394	1,541	1,646	1,842	1,963	1,850
	高粱	數量	631	217	421	556	565	635
		價格	993,686	353,171	685,674	1,003,446	1,003,446	1,044,215
		公定相場 最高	1,466	1,500	1,472	1,680	1,677	1,443
		公定相場 最低	1,230	1,238	1,286	1,396	1,440	1,251
營口	大豆	數量	6	—	7	2	2	—
		價格	10,752	—	11,746	3,584	3,808	—
		公定相場 最高	4,000	—	3,900	4,000	4,250	—
		公定相場 最低	4,000	—	3,700	4,000	4,250	—
開原	大豆	數量	5,564	3,419	5,760	3,416	5,412	4,516
		價格	10,747,281	7,051,852	12,757,639	7,949,277	13,319,661	10,885,418
		公定相場 最高	1,438	1,551	1,642	1,702	1,837	1,766
		公定相場 最低	1,214	1,298	1,431	1,550	1,628	1,596
	高粱	數量	1,330	427	1,429	625	284	—
		價格	2,312,632	730,661	2,386,686	1,183,552	556,824	—
		公定相場 最高	1,289	1,212	1,245	1,384	1,352	—
		公定相場 最低	1,082	1,144	1,192	1,218	1,304	—
鐵嶺	大豆	數量	5	3	—	11	—	—
		價格	10,307	6,025	—	25,837	—	—
		公定相場 最高	1,270	1,210	—	1,450	—	—
		公定相場 最低	1,190	1,210	—	1,400	—	—
	混保大豆	數量	—	—	—	58	1	—
		價格	—	—	—	143,497	2,755	—
		公定相場 最高	—	—	—	5,800	6,150	—
		公定相場 最低	—	—	—	5,420	6,150	—

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
2,423	2,526	1,173	1,968	1,471	665	**16,865**
5,989,759	6,497,884	2,728,844	4,596,172	3,351,646	1,560,427	**37,661,901**
2,394	2,463	2,300	2,083	2,078	2,115	—
1,836	1,766	1,810	1,900	1,930	1,951	—
343	594	244	175	362	597	**5,340**
1,008,073	499,895	783,154	222,242	419,306	670,959	**7,979,108**
1,336	1,239	1,104	1,141	1,040	1,050	—
1,012	1,005	990	1,015	875	875	—
16	59	136	23	45	112	**408**
34,048	126,828	315,673	59,024	103,084	261,587	—
4,750	4,850	5,530	5,800	5,200	5,300	—
4,750	4,730	4,800	5,600	5,050	5,200	—
5,768	5,410	3,362	4,830	2,874	3,801	**54,132**
14,582,589	13,915,462	7,887,127	11,676,294	6,951,003	9,323,750	**127,047,359**
1,864	1,970	1,805	1,711	1,729	1,766	—
1,591	1,537	1,564	1,645	1,614	1,627	—
105	1,028	926	912	1,100	2,101	**10,267**
142,289	1,477,915	1,088,329	1,621,046	1,404,189	2,641,024	**15,545,154**
1,086	1,043	944	954	926	880	—
916	937	863	906	836	809	—
—	—	203	74	7	7	**310**
—	—	482,437	183,929	17,031	16,981	**742,547**
—	—	1,450	1,540	1,470	1,500	—
—	—	1,380	1,440	1,460	1,350	—
—	—	3	—	—	—	**62**
—	—	7,123	—	—	—	**146,252**
—	—	5,300	—	—	—	—
—	—	5,300	—	—	—	—

區分			一月	二月	三月	四月	五月	六月
長春	院內大豆	數量	—	—	—	—	—	—
		價格	—	—	—	—	—	—
		公定相場 最高	—	—	—	—	—	—
		公定相場 最低	—	—	—	—	—	—
	混保大豆	數量	—	—	—	—	—	—
		價格	—	—	—	(自四月至八月期間休場)		
		公定相場 最高	—	—	—	—	—	—
		公定相場 最低	—	—	—	—	—	—
	高粱	數量	—	—	—	—	—	—
		價格	—	—	—	—	—	—
		公定相場 最高	—	—	—	—	—	—
		公定相場 最低	—	—	—	—	—	—

大連取引所糧

品目	單位	大正八年		大正九年	
		數量	價額	數量	價額
大豆	車	16,931½	31,594,882	8,866	16,930,100
豆粕	枚	14,152,002	21,984,169	12,048,739	21,187,110
豆油	斤	65,052,640	8,334,829	89,902,350	11,127,865
高粱	車 袋	73 —	69,704	57 —	77,511
包米	車	36	39,503	2	2,815
小米	車 袋	26 100	46,020	10 —	15,017
紅小豆	車 袋	30 —	57,129	1 —	2,581

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
—	1,397	2,140	3,535	2,668	3,130	—
—	2,059 934	3,325574	5,888,619	4,298,189	5,164,834	—
—	12,400	12,700	14,350	12,960	13,670	—
—	11,200	11,550	11,870	12,320	12,610	—
—	1,030	874	1,976	1,726	908	—
—	1,643,454	1,462,753	3,568,490	2,916,816	1,581,353	—
—	3,800	3,880	4,310	4,060	4,020	—
—	3,400	3,530	3,780	3,710	3,730	—
—	—	147	152	289	519	—
—	—	129,202	136,550	237,615	403,408	—
—	—	7,200	7,400	6,980	6,700	—
—	—	6,250	6,980	6,100	5,850	—

豆現物出來高

大正十年		大正十一年六月迄		定量		
數量	價額	數量	價額	一車の噸數	一車の袋數約	一袋の斤量約
9,738	17,345,884	603	1,504,103	30	300	150
23,173,500	40,363,162	4,288,000	9,233,807	30	1,000	46
95,679,558	9,250,854	27,471,860	3,896,251	20	—	—
217 — }	318,549	—	—	30	300	150
4	5,195	—	—	30	320	140
3 — }	4,917	1 — }	1,068	30	260	170
1 — }	2,193	—	—	30	260	170

品目	單位	大正八年		大正九年	
		數量	價額	數量	價額
白小豆	車	2	3,249	—	—
梨小豆	車	—	—	—	—
花小豆	車	1	1,699	—	—
雜小豆	車	109	790	—	—
芝麻	車 袋	11 —	29,570	4 —	14,353
小麻子	車 袋	2 —	2,664	— —	—
大麻子	車	—	—	—	—
青大豆	車 袋	143 230	234,601	14 —	23,344
白眉大豆	車 袋	165 160	278,403	8 —	13,363
吉豆	車 袋	12½ —	21,472	2 —	4,294
毛吉豆	車	—	—	—	—
烏豆	車	1	1,590	1	2,314
黑豆	車	6½	9,300	—	—
小黑豆	車 袋	9½ 141	13,983	—	—
江豆	車	—	—	—	—
落花生	車	2	4,049	—	—
花生仁	車 袋	7½ 629	24,423	—	—
蘇子	車	1	2,257	—	—
穀子	車	—	—	—	—
小瓜子	車	—	—	—	—

大正十年 數量	大正十年 價額	大正十一年六月迄 數量	大正十一年六月迄 價額	定量 一車の噸數	定量 一車の袋數約	定量 一袋の斤量約
—	—	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	260	170
1	3,478	—	—	25	260	160
4	3,738	—	—	25	310	120
—	—	—	—	25	260	140
34	64,304	1	2,450	30	300	150
9	21,812	—	—	30	300	150
3	6,719	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	300	150
—	—	—	—	30	300	150
—	—	—	—	30	300	150
—	—	—	—	30	300	150
—	—	—	—	18	330	80
—	—	—	—	30	300	150
—	—	—	—	25	310	120
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	20	300	100

品目	單位	大正八年		大正九年	
		數量	價額	數量	價額
大瓜子	車	—	—	5	10,965
大米	車	—	—	—	—
勝米	車	—	—	—	—
白包米	車	—	—	—	—
高粱米	車	—	—	—	—
元米	車	—	—	—	—
荏米	車	—	—	—	—
小麥	車	1	1,780	3	4,605
麩子	車	—	—	—	—
蕎麥	車	—	—	—	—
大麻子油	斤	—	—	—	—
花雲豆	車	1	1,290	—	—
中瓜子	車	7½	19,530	—	—
	袋	—			
合計	車	17,470	62,776,886	8,973	49,416,247
	袋	1,369		—	
	枚	14,152,002		12,048,739	
	斤	65,052,640		89,902,350	

大正十年		大正十一年六月迄		定量		
數量	價額	數量	價額	一車の噸數	一車の袋數約	一袋の斤量約
—	—	—	—	20	300	100
—	—	—	—	20	300	100
—	—	—	—	30	230	190
—	—	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	320	140
—	—	—	—	30	—	—
4	8,566	—	—	30	260	170
—	—	—	—	30	230	190
—	—	—	—	30	320	140
—	—	—	—	20	300	100
—	—	—	—	25	310	120
—	—	—	—	—	—	—
1	3,804	—	—	—	—	—
10,019	67,403,175	605	14,637,679	—	—	—
—		—		—	—	—
23,173,500		4,288,000		—	—	—
95,679,558		27,471,860		—	—	—

大連取引所糧豆

品名	年次		一月	二月	三月	四月	五月
			円	円	円	円	円
大豆	大正八年	最高	4.070	3.820	3.950	3.860	5.100
		最低	3.510	3.650	3.600	3.670	3.610
	大正九年	最高	5.790	5.360	5.180	4.850	4.380
		最低	4.830	4.970	4.720	4.020	4.150
	大正十年	最高	3.480	3.880	4.300	4.230	4.680
		最低	3.270	3.380	3.810	4.120	4.200
	大正十一年	最高	5.390	5.730	5.770	5.600	5.820
		最低	5.230	5.360	5.610	5.600	5.660
豆粕	大正八年	最高	1.510	1.550	1.640	1.520	1.825
		最低	1.310	1,425	1.390	1.440	1.400
	大正九年	最高	2.215	2.050	2.125	1.700	1.630
		最低	2.120	1.970	1.800	1.500	1.420
	大正十年	最高	1.515	1.745	1.785	1.700	1.915
		最低	1.395	1.460	1.640	1.650	1.760
	大正十一年	最高	2.155	2.205	2.170	2.065	2.180
		最低	2.050	2.120	1.945	1.985	1.880
豆油	大正八年	最高	11.600	9.550	9.550	15.800	18.500
		最低	7.850	8.000	8.100	9.800	14.000
	大正九年	最高	14.600	13.500	14.400	13.700	15.400
		最低	12.850	12.800	13.300	11.800	12.700
	大正十年	最高	8.400	9.000	9.800	8.150	9.900
		最低	7.000	8.200	8.200	7.600	7.600
	大正十一年	最高	11.650	14.050	14.700	15.000	17.950
		最低	10.700	11.400	13.500	14.000	14.950
高粱	大正八年	最高	2.350	2.530	2.060	1.860	2.080
		最低	1.900	2.390	2.000	1.800	2.000
	大正九年	最高	—	—	—	—	2.900
		最低	—	—	—	—	2.850
	大正十年	最高	2.940	—	3.040	3.400	—
		最低	2.710	—	2.940	3.200	—
	大正十一年	最高	—	—	—	—	—
		最低	—	—	—	—	—

現物公定相場

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
円	円	円	円	円	円	円
4.680	4.520	4.270	4.070	4.420	5.220	4.960
4.180	4.070	3.880	3.800	3.990	4.380	4.570
4.240	4.610	4.040	3.840	4.000	3.970	3.720
3.670	3.970	3.630	3.390	3.730	3.620	3.390
4.670	5.180	5.120	5.010	5.880	5.450	5.430
4.320	4.350	4.800	4.720	5.300	5.420	5.270
6.400	—	—	—	—	—	—
5.890	—	—	—	—	—	—
1.870	1.490	1.595	1.410	1.530	1.900	2.070
1.330	1.300	1.400	1.340	1.495	1.520	1.840
1.545	1.800	1.495	1.395	1.370	1.465	1.510
1.230	1.420	1.335	1.230	1.270	1.350	1.310
1.830	1.880	1.935	1.915	2.460	2.235	2.185
1.625	1.650	1.845	1.850	1.995	2.070	2.105
2.535	—	—	—	—	—	—
2.200	—	—	—	—	—	—
18.100	17.950	17.520	14.500	14.400	14.500	11.950
16.000	16.100	14.200	13.200	12.500	11.550	11.450
13.950	14.000	11.500	12.200	13.000	12.000	10.300
12.200	11.000	10.400	10.750	11.600	9.800	8.300
10.200	13.500	13.700	11.300	12.200	10.700	12.000
9.250	9.650	10.000	10.600	10.300	9.850	10.650
16.350	—	—	—	—	—	—
15.000	—	—	—	—	—	—
—	—	2.650	1.950	1.810	—	2.710
—	—	2.400	1.770	1.810	—	2.540
—	3.380	—	—	3.500	3.170	—
—	3.380	—	—	3.450	3.100	—
—	—	2.860	—	—	3.060	—
—	—	2.860	—	—	2.860	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—

區		分	一月	二月
大豆	大正八年	出來高	車 8,268	5,228
		價額	円 14,043,194	8,560,709
		公相定場 最高	4,095	3,830
		公相定場 最低	3,590	2,460
	大正九年	出來高	26,768	6,476
		價額	66,470,810	15,694,694
		公相定場 最高	6,250	5,810
		公相定場 最低	4,840	4,970
	大正十年	出來高	7,867	4,841
		價額	12,408,623	8,256,931
		公相定場 最高	3,670	4,010
		公相定場 最低	3,400	3,480
	大正十一年	出來高	4,383	6,521
		價格	10,495,403	16,559,959
		公相定場 最高	5,520	5,860
		公相定場 最低	5,210	5,330
高粱	大正八年	出來高	2,650	2,094
		價額	2,747,483	2,276,028
		公相定場 最高	2,660	2,790
		公相定場 最低	1,710	1,980
	大正九年	出來高	1,920	1,717
		價額	2,609,250	2,611,602
		公相定場 最高	3,460	3,520
		公相定場 最低	2,770	3,000
	大正十年	出來高	2,265	1,000
		價額	2,940,149	1,349,075
		公相定場 最高	3,120	3,220
		公相定場 最低	2,650	2,840
	大正十一年	出來高	1,842	3,447
		價額	2,417,466	4,310,204
		公相定場 最高	3,060	2,940
		公相定場 最低	4,810	2,720

出來高及公定相場 (其一)

三月	四月	五月	六月
7,358	8,754	14,593	9,544
11,731,885	14,565,428	26,886,540	19,565,497
3,810	3,910	5,700	4,830
3,410	3,510	3,600	4,280
20,179	8,652	7,558	10,397
46,210,741	18,638,896	15,275,339	18,900,353
5,640	5,130	4,760	4,540
4,630	4,310	4,230	3,750
10,684	2,963	2,257	1,028
19,905,007	5,520,124	4,470,806	2,090,354
4,430	4,290	4,580	4,630
3,900	4,140	4,300	4,450
5,831	2,894	3,401	4,913
14,842,097	7,311,935	8,739,930	13,251,894
5,880	5,780	5,950	6,330
5,530	5,570	5,539	5,860
2,416	2,746	2,018	1,648
2,322,695	2,565,354	1,995,807	1,549,078
2,310	2,460	2,700	2,340
1,730	1,740	1,210	1,800
5,041	1,519	3,743	3,359
6,371,800	1,724,419	3,743,377	4,121,289
3,400	2,620	3,010	3,140
2,470	2,470	2,710	2,510
1,496	1,184	387	153
2,001,210	1,584,003	581,449	217,938
3,160	3,400	3,400	3,280
2,910	2,930	3,260	3,090
4,904	6,209	7,475	4,513
6,192,251	8,436,409	8,912,878	5,377,135
3,040	3,340	2,870	2,990
2,690	2,760	2,360	2,380

區			分	一月	二月
豆粕	大正八年	出來高		21,126	16,034
		價額		29,668,490	23,442,580
		公定相場	最高	1,515	1,555
			最低	1,320	1,300
	大正九年	出來高		34,583	11,260
		價額		75,990,855	24,011,475
		公定相場	最高	2,365	2,250
			最低	2,000	1,965
	大正十年	出來高		9,909	6,576
		價額		10,603,185	10,081,755
		公定相場	最高	1,515	1,720
			最低	1,375	1,420
	大正十一年	出來高		8,063	6,979
		價額		17,262,275	15,061,490
		公定相場	最高	2,220	2,235
			最低	2,080	2,120
豆油	大正八年	出來高		415,800	188,800
		價額		2,654,965	761,244
		公定相場	最高	12,850	11,300
			最低	8,600	8,800
	大正九年	出來高		695,400	95,100
		價額		5,334,954	765,048
		公定相場	最高	16,400	15,300
			最低	13,200	13,700
	大正十年	出來高		299,300	195,800
		價額		1,947,678	1,015,228
		公定相場	最高	9,500	9,800
			最低	7,700	8,450
	大正十一年	出來高		218,000	616,500
		價額		1,383,498	4,584,463
		公定相場	最高	11,500	14,300
			最低	10,700	11,350

三　月	四　月	五　月	六　月
32,885	22,963	26,382	21,857
38,862,165	33,041,930	37,502,845	32,882,630
1,630 1,285	1,510 1,180	1,880 1,160	1,900 1,320
22,273	3,609	8,038	3,244
43,912,875	6,068,610	14,601,040	4,497,610
2,180 1,780	1,800 1,535	1,595 1,425	1,490 1,200
11,480	4,074	2,975	902
19,182,045	6,828,735	5,402,495	1,632,005
1,775 1,575	1,705 1,630	1,895 1,675	1,870 1,835
10,261	5,160	9,467	11,190
21,741,015	10,570,535	18,895,125	24,910,455
2,200 1,965	2,130 1,995	2,185 1,885	2,410 2,105
391,700	869,600	758,000	339,400
2,214,576	6,913,227	7,197,383	3,371,978
11,850 8,500	15,650 10,350	19,850 14,200	18,450 16,300
318,700	542	317,500	166,600
2,551,317	397,494	2,621,424	1,246,675
15,500 13,350	14,200 12,300	15,500 13,100	14,700 12,400
527,500	290,000	216,000	74,500
2,825,620	1,388,083	1,046,549	417,647
10,600 8,450	9,350 7,750	10,050 8,150	10,250 9,450
495,000	242,500	588,000	255,500
4,015,755	2,016,503	5,532,333	2,191,420
14,700 13,650	15,200 14,200	18,000 15,000	16,350 15,100

大連取引所糧豆先物

區		分	七月	八月
大豆	大正八年	出來高	5,954	6,989
		價額	11,793,066	12,959,315
		公定相場 最高	4,740	4,670
		公定相場 最低	4,170	3,900
	大正九年	出來高	7,094	5,849
		價額	14,129,190	10,414,906
		公定相場 最高	4,830	4,300
		公定相場 最低	4,120	3,800
	大正十年	出來高	57	—
		價額	113,456	—
		公定相場 最高	4,570	—
		公定相場 最低	4,350	—
	大正十一年	出來高	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—
高粱	大正八年	出來高	1,215	3,874
		價額	1,133,637	4,605,491
		公定相場 最高	2,440	2,950
		公定相場 最低	1,740	2,040
	大正九年	出來高	3,951	3,757
		價額	6,761,747	4,567,813
		公定相場 最高	3,260	2,990
		公定相場 最低	2,740	2,490
	大正十年	出來高	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—
	大正十一年	出來高	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—

出來高及公定相場 (其二)

九月	十月	十一月	十二月	計
5,431	7,947	16,209	10,810	**107,085**
9,745,985	15,404,789	34,995,830	22,947,511	**203,199,749**
4,190	4,590	4,870	5,200	—
3,830	4,030	4,380	4,530	—
4,880	4,837	5,556	9,294	**117,540**
8,299,012	8,501,438	9,417,085	14,818,582	**246,771,046**
3,980	4,150	4,060	3,770	—
3,530	3,830	3,600	3,450	—
5,375	7,215	5,688	6,334	**54,309**
12,526,170	18,077,634	13,217,488	15,170,541	**111,757,139**
5,680	6,130	5,450	5,520	—
4,670	5,260	5,010	5,210	—
—	—	—	—	**27,943**
—	—	—	—	**71,301,218**
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
4,944	2,133	1,797	1,615	**29,152**
4,834,413	2,086,311	2,044,035	1,971,467	**30,181,799**
2,610	2,390	2,380	2,980	—
1,830	1,910	2,180	2,390	—
3,564	3,188	2,425	2,165	**36,349**
4,942,089	4,628,115	3,070,154	2,884,092	**48,035,756**
4,110	3,950	3,200	3,180	—
2,710	3,040	2,830	2,580	—
—	186	791	1,353	**8,817**
—	266,790	1,051,011	1,820,689	**11,812,314**
—	3,430	3,100	3,280	—
—	3,100	2,730	2,800	—
—	—	—	—	**28,390**
—	—	—	—	**35,646,343**
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

區		分	七月	八月
豆粕	大正八年	出來高	17,430	11,290
		價額	25,527,720	16,891,575
		公定相場 最高	1,640	1,640
		公定相場 最低	1,310	1,390
	大正九年	出來高	3,976	3,143
		價額	6,408,270	4,447,765
		公定相場 最高	1,820	1,545
		公定相場 最低	1,350	1,325
	大正十年	出來高	27	—
		價額	46,535	—
		公定相場 最高	1,730	—
		公定相場 最低	1,720	—
	大正十一年	出來高	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—
豆油	大正八年	出來高	353,900	246,700
		價額	3,471,800	2,188,682
		公定相場 最高	18,200	17,700
		公定相場 最低	16,450	14,500
	大正九年	出來高	132,700	261,800
		價額	981,744	1,843,095
		公定相場 最高	14,300	12,800
		公定相場 最低	11,450	11,000
	大正十年	出來高	18,500	—
		價額	106,205	—
		公定相場 最高	10,350	—
		公定相場 最低	9,700	—
	大正十一年	出來高	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—

九月	十月	十一月	十二月	計
11,374	21,864	33,166	27,033	**263,404**
16,541,995	34,414,760	59,565,915	51,998,810	**400,341,415**
1,505	1,645	1,725	2,130	—
1,335	1,485	1,520	1,845	—
5,189	4,501	6,251	11,304	**117,371**
7,157,685	5,967,765	8,659,300	15,640,150	**217,363,400**
1,405	1,380	1,465	1,520	—
1,205	1,265	1,330	1,300	—
7,428	9,093	10,067	9,077	**71,608**
15,959,145	21,428,820	21,786,340	19,870,755	**132,821,815**
2,360	2,600	2,255	2,245	—
1,915	2,205	2,070	2,105	—
—	—	—	—	**51,120**
—	—	—	—	**108,440,895**
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
231,500	311,600	316,900	337,000	**4,760,900**
1,913,277	2,530,748	2,462,021	2,439,598	**38,119,499**
15,250	15,700	14,800	13,750	—
13,800	13,450	13,700	11,550	—
176,500	140,500	200,200	458,500	**2,964,042**
1,161,433	435,312	1,236,855	2,551,446	**21,126,797**
12,500	13,200	12,300	10,550	—
10,850	11,800	9,900	6,700	—
232,000	170,500	311,500	489,500	**2,825,100**
1,567,765	1,089,671	1,817,130	3,163,970	**16,385,546**
12,850	12,800	10,800	12,000	—
11,000	10,100	9,850	10,600	—
—	—	—	—	**2,415,500**
—	—	—	—	**19,723,972**
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

大正十年錢鈔先物

區		分	一月	二月
公主嶺	金小票洋對錢	數量	円 1,916,000	円 580,000
		價額	元 2,687,119	876,825
		公定相場 最高	元 144.526	157.187
		公定相場 最低	130.439	144.120
四平街	金小票洋對錢	數量	2,846,000	547,000
		價額	3,960,052	835.817
		公定相場 最高	144.089	157.609
		公定相場 最低	128.345	144.375
營口	金小票洋對錢	數量	5,993,000	2,170,000
		價額	8,414,240	3,302,248
		公定相場 最高	145.010	158.150
		公定相場 最低	128.485	143.985
	金小洋對票	數量	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—
開原	金小洋對錢	數量	13,338,000	6,141,000
		價額	18,652,991	9,276,317
		公定相場 最高	145.220	157.830
		公定相場 最低	128.840	143.780
	銀小洋對錢	數量	7,154,000	4,815,000
		價額	11,087,765	7,365,020
		公定相場 最高	158.480	154.720
		公定相場 最低	150.620	151.450
鐵嶺	金小洋對錢	數量	2,399,000	1,717,000
		價額	3,354,509	2,590,119
		公定相場 最高	146.100	158.600
		公定相場 最低	128.300	143.600
奉天	金小洋對票	數量	1,780,000	135,000
		價額	2,490,960	205,195
		公定相場 最高	144.280	157.300
		公定相場 最低	128.650	148.700

出來高及公定相場　（其一）

三月	四月	五月	六月
円 1,738,000	円 1,376,000	円 956,000	円 618,000
2,755,443	2,118,156	1,448,282	950,502
168.107	159.172	155.155	154.300
148.980	150.622	148.380	152.000
3,162,000	1,651,000	1,292,000	577,000
4,718,130	2,537,861	1,961,031	887.605
167.450	158.591	153.666	154.880
150.041	152.290	148.487	152.240
10,865,000	6,869,000	3,100,000	1,875,000
17,179,523	10,896,698	4,919,511	2,875,029
167.090	158.790	155.200	154.505
149.285	150.080	148.415	152.085
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
13,738,000	8,180,000	7,249,000	5,025,000
21,684,429	12,628,733	11,030,599	7,712,638
167.770	159.100	155.100	154.670
149.570	150.280	148.510	152.000
9,636,000	7,901,000	8,184,000	5,380,000
14,329,984	11,842,715	12,475,287	8,165,136
152.960	154.140	154.840	152.590
143.520	147.910	149.790	151.270
5,474,000	2,787,000	1,538,000	707,000
8,592,293	4,389,639	2,265,567	1,088,258
168.400	159.300	155.100	154.600
148.300	149.700	147.600	151.600
1,755,000	—	—	—
2,114,322	—	（自四月至十月期間休場）	
125.250	—	—	—
113.800	—	—	—

大正十年錢鈔先物

區		分	七月	八月
公主嶺	金小 票洋 對錢	數量	円 623,000	円 587,000
		價額	908,929	834,064
		公定相場 最高	150.900	144.000
		公定相場 最低	140.850	131.976
四平街	金小 票洋 對錢	數量	566,000	772,000
		價額	820,835	1,069,583
		公定相場 最高	151.550	144.380
		公定相場 最低	141.631	132.220
營口	金小 洋 對票	數量	5,503,000	4,730,000
		價額	8,007,051	6,617,057
		公定相場 最高	151.935	144.510
		公定相場 最低	141.795	132.970
	鈔金 票 對票	數量	10.000	20.000
		價額	10,030,000	21,500,000
		公定相場 最高	100.300	100.750
		公定相場 最低	100.300	100.700
開原	金小 洋 對錢	數量	9,329,000	7,951,000
		價額	13,582,003	11,142,876
		公定相場 最高	152.140	144.304
		公定相場 最低	141.270	131.670
	銀小 洋 對錢	數量	7,707,000	6,877,000
		價額	11,302,964	9,769,422
		公定相場 最高	151.050	145.300
		公定相場 最低	143.190	134.370
鐵嶺	金小 洋 對錢	數量	571,000	270,000
		價額	839,961	386,915
		公定相場 最高	152.500	144.000
		公定相場 最低	139.500	133.000
奉天	金小 洋 對票	數量	—	—
		價額	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—

出來高及公定相場　(其二)

九　月	十　月	十一月	十二月	計
1,181,000	2,011,000	3,371,000	2,343,000	**17,300,000**
1,398,417	2,336,362	4,171,560	2,806,575	**23,292,234**
135.405 107.452	125.578 108.179	127.547 117.463	122.502 113.613	— —
5,663,000	6,999,000	9,265,000	4,554,000	**37,894,000**
6,602,624	8,120,893	11,511,899	5,390,428	**48,416,758**
135.795 106.654	124.354 108.205	127.916 117.600	122.725 113.420	— —
23,119,000	14,120,000	13,989,000	11,460,000	**103,793,000**
27,312,982	16,476,478	17,353,776	13,651,794	**137,006,387**
136.210 106.510	124.360 109.030	127.870 118.015	122.795 113.575	— —
—	—	—	—	**30,000**
—	—	—	—	**31,530,000**
— —	— —	— —	— —	— —
32,101,000	40,100,000	46,491,000	37,012,000	**226,655,000**
37,301,816	46,205,292	57,625,329	43,884,464	**290,727,487**
136.020 106.780	123.760 108.400	127.600 117.720	122.950 114.530	— —
15,012,000	13,952,000	17,834,000	16,676,000	**121,128,000**
19,938,203	18,893,323	25,109,564	22,611,235	**172,889,718**
138.670 126.120	140.370 132.490	144.650 134.560	139.250 130.29[illegible]	— —
868,000	1,137,000	599,000	247,000	**18,314,000**
1,001,318	1,313,189	744,180	295,721	**26,861,669**
136.500 101.500	125.700 108.500	128.300 118,550	122.700 114.500	— —
—	1,755,00	5,575,000	1,930,000	**12,930,000**
—	2,114,322	6,940,832	2,310,137	**16,175,768**
— —	124.700 113.960	127.610 117.580	123.340 115.010	— —

大連取引所錢鈔現物

區		分	一月	二月
大正八年	鈔票對金	出來高	円 2,980,000	円 2,733,400
		公定相場 最高	円 174.750	170.500
		公定相場 最低	168.300	154.500
	鈔票對小洋錢	出來高	365,200	199,300
		公定相場 最高	117.330	118.670
		公定相場 最低	114.910	117.005
	俄帖對銀	出來高	—	—
大正九年	鈔票對金	出來高	3,922,700	1,731,700
		公定相場 最高	237.995	239.830
		公定相場 最低	220.790	227.405
	鈔票對小洋錢	出來高	433,800	357,500
		公定相場 最高	107.750	109.065
		公定相場 最低	103.810	106.770
	俄帖對銀	出來高	—	—
大正十年	鈔票對金	出來高	11,743,300	5,693,800
		公定相場 最高	117.300	105.480
		公定相場 最低	104.800	96.975
	鈔票對小洋錢	出來高	862,100	368,700
		公定相場 最高	121.920	117.885
		公定相場 最低	116.235	113.175
	俄帖對銀	出來高	—	—
大正十一年	鈔票對金	出來高	34,765,000	4,445,000
		公定相場 最高	113.490	110.400
		公定相場 最低	108.240	105.440
	鈔票對小洋錢	出來高	5,720,000	261,000
		公定相場 最高	111.900	116.435
		公定相場 最低	110.645	112.730
	俄帖對銀	出來高	—	—

出來高及公定相場表　（其一）

三　月	四　月	五　月	六　月
円 5,687,100	円 6,921,200	円 7,418,000	円 7,316.000
159.150 147.500	165.500 151.000	172.400 162.200	178.300 170.100
348,000	357,000	500,000	421,300
119.250 118.230	118.585 112.445	118.140 111.640	115.400 106.000
—	—	—	—
4,622,600	6,873,300	10,164,200	12,526,500
233.180 213.410	219.645 178.865	172.535 153.640	161.430 130.560
447,600	644.000	743,000	783,900
115.890 108 990	115.935 114.940	116.265 113.120	118.850 115.470
—	—	—	—
13,251,000	6,499,300	1,242,900	2,053,800
97.225 88.915	100.320 93.685	103.795 96.875	99.995 98.425
650,000	320,500	561,500	445,500
117.795 116.330	117.415 116.570	117.495 116.225	117.195 116.630
—	—	—	—
7,357,800	6,658,800	6,884,100	6,300,000
111.120 103.015	114.780 109.900	122.800 114.980	120.090 116.350
479,500	434,000	567,000	508,800
118.270 115.770	119.365 117.640	120.250 118.695	121.230 119.880
—	—	—	—

大連取引所錢鈔現物

區分			七月	八月
大正八年	對金鈔票	出來高	円 5,564,000	円 7,069,500
		公定相場 最高	179.000	187.900
		公定相場 最低	170.100	178.100
	小洋錢對鈔票	出來高	382,500	385,500
		公定相場 最高	114.500	113.250
		公定相場 最低	111.850	112.000
	對銀俄帖	出來高	—	—
大正九年	對金鈔票	出來高	9,161,600	9,679,500
		公定相場 最高	154.640	159.500
		公定相場 最低	139.320	151.414
	小洋錢對鈔票	出來高	552,300	490,000
		公定相場 最高	119.915	118.620
		公定相場 最低	117.285	116.700
	對銀俄帖	出來高	—	—
大正十年	對錢俄票	出來高	10,401,000	4,456,000
		公定相場 最高	101.890	101.860
		公定相場 最低	99.640	100.630
	小洋錢對俄票	出來高	450,000	513,500
		公定相場 最高	117.025	114.360
		公定相場 最低	114.115	112.170
	對銀俄帖	出來高	—	—
大正十一年	對金鈔票	出來高	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—
	小洋錢對鈔票	出來高	—	—
		公定相場 最高	—	—
		公定相場 最低	—	—
	對銀俄帖	出來高	—	—

出來高及公定相場表　(其二)

九　月	十　月	十一月	十二月	計
6,396,000	9,293,000	8,803,000	3,180,760	**73,362,260**
192.700	205.500	254.700	254.000	—
179.200	189.800	198.800	215.300	—
307,600	595,600	624,000	545,200	**5,031,200**
115.500	116.750	111.300	111.000	—
112.200	111.000	100.000	104.465	—
—	—	—	—	—
7,702,900	13,259,200	15,378,800	14,419,000	**109,442,000**
150.835	147.750	136.405	117.255	—
147.470	130.080	116.690	106.000	—
815,000	669,100	736,400	821,500	**7,494,100**
118.425	118.560	118 650	122.800	—
118.020	116.690	117.035	117.575	—
—	—	—	—	—
4,486,600	6,900,100	6,526,000	4,510,500	**77,764,300**
123.500	121.490	115.850	115.595	—
101.820	112.985	109.500	113.260	—
538,900	473,500	812,000	791,500	**6,787,700**
113.665	113.945	115.900	112.470	—
111.000	112.740	111.500	108.570	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	**66,410,700**
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	**7,970,300**
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

大連取引所錢鈔先物

區		分	一月	二月
大正八年	鈔票對金	出來高	48,940,000	57,895,000
		公定相場 最高	175.000	170.500
		公定相場 最低	163.100	151.000
	俄帖對銀	出來高	33,560,000	34,675,000
		公定相場 最高	12.400	11.550
		公定相場 最低	10.200	10.150
大正九年	鈔票對金	出來高	136,230,000	32,525,000
		公定相場 最高	238.910	240.200
		公定相場 最低	221.950	226.855
	俄帖對銀	出來高	800,000	5,305,000
		公定相場 最高	1.125	1.990
		公定相場 最低	0.800	1.200
大正十年	鈔票對金	出來高	138,115,000	51,915,000
		公定相場 最高	117.430	105.840
		公定相場 最低	103.465	96.935
	俄帖對銀	出來高	—	—
大正十一年	鈔票對金	出來高	60,925,000	71,010,000
		公定相場 最高	113.640	110.410
		公定相場 最低	108.100	105.005
	俄帖對銀	出來高	—	—

出來高及公定相場表 (其一)

三月	四月	五月	六月
138,465,000	141,580,000	174,230,000	163,475,000
158.900	166.300	173.000	178.300
146.700	152.100	162.250	170.100
36,285,000	47,205,000	35,940,000	29,380,000
10.600	7.900	5.650	5.700
7.050	4.200	3.200	4.000
109,400,000	228,435,000	248,385,000	276,570,000
233.230	219.730	170.565	161.905
213.675	177.370	151.290	128.400
5,045,000	1,720,000	245,000	70,000
1.785	0.900	0.900	0.700
0.940	0.650	0.550	0.680
144,910,000	102,170,000	54,180,000	17,020,000
97.120	100.100	103.550	100.400
89.530	93.910	91.800	98.300
—	—	—	—
187,940,000	131,565,000	216,110,000	160,965,000
111.255	114.900	123.230	119.990
102.575	109.850	115.155	116.200
—	—	—	—

區		分	七月	八月
大正八年	鈔票對金	出來高	138,805,000	179,895,000
		公定相場　最高	179.400	188.100
		公定相場　最低	166.800	175.100
	俄帖對銀	出來高	22,455,000	18,860,000
		公定相場　最高	4.250	3.150
		公定相場　最低	2.600	2.100
大正九年	鈔票對金	出來高	150,350,000	184,575,000
		公定相場　最高	155.780	160.250
		公定相場　最低	137.830	151.420
	俄帖對銀	出來高	—	280,000
		公定相場　最高	—	0.600
		公定相場　最低	—	0.530
大正十年	鈔票對金	出來高	—	—
		公定相場　最高	—	—
		公定相場　最低	—	—
	俄帖對銀	出來高	—	—
大正十一年	鈔票對金	出來高	—	—
		公定相場　最高	—	—
		公定相場　最低	—	—
	俄帖對銀	出來高	—	—

出來高及公定相場表　其二

九　月	十　月	十一月	十二月	計
130,690,000	181,470,000	255,635,000	219,900,000	1,83[illegible],980,000
191.600	206.600	260.500	256.000	—
179.200	187.800	199.700	214.000	—
16,555,000	12,440,000	7,640,000	2,375,000	307,3[illegible],000
2.650	1.900	1.100	1.200	—
1.900	0.800	0.400	0.550	—
147,035,000	252,065,000	154,880,000	229,585,000	2,150,035,000
151.070	147.730	136.810	117.170	—
147.525	130.360	115.670	103.710	—
490,000	—	—	—	13,955,000
0.750	—	—	—	—
0.590	—	—	—	—
74,160,000	145,180,000	150,085,000	97,965,000	975,700,000
123.510	123.405	115.215	116.200	—
107.700	112.505	110.640	112.300	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	828,515,000
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

(三) 滿洲に於け

日本側の保險 關東州には保險業法及其附屬法令が行はれてゐる
設けんとする場合には單に一定の條件を具備せる屆出を爲すのみにて簡
線各地方に於て活動してゐる。然して此等の保險業者の多くは上述せる
來た觀がある。

然しながら滿蒙產業の發展は年々人口家屋の增加と共に到底現下の如
保險に於ては內地と事情を異にするものがあつて過去の代理店制が往々
ろ、本年に入り滿蒙の事情に適合せる大連火災海上保險會社の出現を見

滿洲保險

地方別		種類	出張所又は代理店數	收入保險料	支拂保險料
州內	旅順	生命保險	14	28,655	6,360
		損害保險	2	841	—
		其他	—	—	—
		計	**16**	**29,496**	**6,360**
	大連	生命保險	23	750,535	147,966
		損害保險	41	848,058	382,621
		其他	2	10,868	—
		計	**66**	**1,609,461**	**530,587**
	金州	生命保險	2	1,472,800	—
		損害保險	—	—	—
		其他	—	—	—
		計	**2**	**1,472,800**	—
合計			**84**	**3,111,757**	**536,947**
	大石橋	生命保險	7	12,454	1,200
		損害保險	—	—	—
		其他	—	—	—
		計	**7**	**12,454**	**1,200**

る保險事業

が日本內地に於て免許を受けた保險業者が關東州內に支店又は代理店を
意に營業を開始し得る關係より下に揭くる如き多數の保險會社が廣く沿
如く大抵內地及外國保險會社の代理店によつて唯當面の需要を充たして

き單なる代理店制度の下に滿足する事が出來ない趨勢にある、殊に火災
商取引の圓滑を阻害し輸出貿易に影響を及ぼす事が少くなかつたのであ
るに至つた事は滿蒙の保險界に特記すべき事である。

事業一覽（大正十年）

契約		解約		年末現在	
口數	金額	口數	金額	口數	金額
228	412,800	88	122,620	989	1,032,485
73	203,600	51	40,700	108	378,500
—	—	—	—	—	—
301	**616,430**	**139**	**163,320**	**1,097**	**1,410,985**
4,605	8,661,100	2,024	3,379,082	12,518	20,540,678
90,870	407,263,834	85,647	396,116,602	32,430	145,567,999
120	123,200	10	8,000	250	245,200
95,595	**416,048,134**	**87,681**	**399,503,684**	**45,198**	**166,353,877**
—	—	—	—	26	34,000
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	**26**	**34,000**
95,896	**416,664,534**	**87,820**	**399,567,034**	**46,321**	**167,798,862**
40	47,700	211	145,500	203	211,100
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
40	**47,700**	**211**	**145,500**	**203**	**211,100**

地方別		種類	出張所又ハ代理店數	收入保險料	支拂保險料
州	遼陽	生命保險	9	14,684	28
		損害保險	5	4,096	14
		其他	1	626	—
		計	**15**	**19,406**	**42**
	鞍山	生命保險	7	4,755	3,000
		損害保險	10	4,520	—
		其他	—	—	—
		計	**17**	**9,275**	**3,000**
	奉天	生命保險	4	69,318	10,400
		損害保險	2	17,756	1,520
		其他	—	—	—
		計	**6**	**87,074**	**11,920**
	本溪湖	生命保險	9	31,395	4,830
		損害保險	2	132	—
		其他	1	435	—
		計	**12**	**31,962**	**4,830**
	撫順	生命保險	12	61,373	11,255
		損害保險	5	10,353	8,101
		其他	1	5,960	—
		計	**18**	**77,686**	**19,356**
	鐵嶺	生命保險	5	9,161	5,206
		損害保險	4	3,145	—
		其他	—	—	—
		計	**9**	**12,306**	**5,206**
	開	生命保險	8	15,806	4,000
		損害保險	17	27,929	2,637

契約		解約		年末現在	
口數	金額	口數	金額	口數	金額
12	15,500	48	123,500	427	4,899,000
241	1,071,350	388	2,130,120	134	640,900
—	—	—	—	27	13,800
153	**1,086,850**	**436**	**2,253,620**	**588**	**5,553,700**
22	24,000	25	227,500	144	163,900
103	1,238,300	163	3,066,200	102	1,223,300
—	—	—	—	—	—
125	**1,262,300**	**188**	**3,293,700**	**246**	**1,387,200**
490	573,000	187	296,100	1,532	1,817,800
231	3,612,320	145	1,593,887	562	6,238,878
—	—	—	—	—	—
721	**4,185,320**	**332**	**1,889,987**	**2,094**	**8,056,678**
94	101,630	350	309,585	659	460,343
1	650	30	75,500	15	29,450
—	—	3	2,500	17	11,500
95	**102,280**	**383**	**387,585**	**691**	**501,293**
396	380,700	205	328,400	1,621	1,624,450
117	712,225	144	1,081,816	247	2,392,091
27	20,000	—	—	120	85,200
540	**1,112,925**	**349**	**1,410,216**	**1,988**	**4,101,741**
31	30,500	48	78,800	250	269,800
54	893,710	7	201,000	54	893,710
—	—	—	—	—	—
85	**924,210**	**55**	**279,800**	**304**	**1,163,510**
51	15,445,518	1,452	13,216,350	321	431,700
1,699	61,000	42	68,500	601	6,341,918

地方別		種類	出張所又ハ代理店數	收入保險料	支拂保險料
		其他	1	48	—
	原	計	**26**	**43,783**	**6,637**
	長	生命保險	11	64,072	11,700
		損害保險	20	157,009	206,100
		其他	1	1,170	—
	春	計	**32**	**222,251**	**217,800**
	四	生命保險	10	15,109	—
	平	損害保險	3	1,199	—
		其他	2	—	—
	街	計	**15**	**16,303**	—
外	公	生命保險	12	31,452	6,820
	主	損害保險	15	72,227	421
		其他	—	—	—
	嶺	計	**27**	**103,679**	**7,241**
	安	生命保險	1	6,191	1,000
		損害保險	4	25,192	9,738
		其他	—	—	—
	東	計	**5**	**31,383**	**10,738**
合		計	**189**	**667,567**	**266,978**
	牛	生命保險	15	32,271	3,112
領		損害保險	19	42,207	489

契約		解約		年末現在	
口數	金額	口數	金額	口數	金額
—	—	—	—	2	1,000
1,750	**15,506,518**	**1,494**	**13,284,850**	**924**	**6,774,618**
382	568,000	447	691,700	1,424	2,046,600
7,452	63,535,605	8,138	99,193,620	2,676	39,349,542
19	16,500	35	13,800	30	24,600
7,853	**64,120,105**	**8,620**	**99,899,120**	**4,130**	**41,420,742**
257	209,000	90	104,100	378	364,400
74	470,242	—	—	74	470,242
—	—	—	—	30	23,900
331	**679,242**	**90**	**104,100**	**482**	**858,542**
85	137,400	164	172,200	551	564,650
384	1,400,340	514	2,066,026	1,590	5,182,225
—	—	—	—	—	—
469	**1,537,740**	**678**	**2,238,226**	**2,141**	**5,746,875**
36	48,500	3	3,500	89	142,500
177	5,847,865	20	261,800	202	6,056,963
—	—	—	—	—	—
213	**5,896,365**	**23**	**265,300**	**291**	**6,199,463**
12,375	**96,461,555**	**12,859**	**124,452,004**	**14,082**	**81,975,462**
245	351,960	83	128,680	703	871,838
1,409	10,698,299	1,155	13,353,971	1,478	11,624,799

地方別		種類	出張所又ハ代理店數	收入保險料	支拂保險料
事館管內	莊	其他	2	1,234	166
		計	36	**75,712**	**3,767**
	遼陽	生命保險	6	19,918	1,258
		損害保險	—	—	—
		其他	—	—	—
		計	6	**19,918**	**1,258**
	鐵嶺	生命保險	7	11,605	—
		損害保險	7	5,002	—
		其他	—	—	—
		計	14	**16,607**	—
	安東	生命保險	10	42,951	7,423
		損害保險	26	137,755	15,044
		其他	1	231	—
		計	37	**180,937**	**22,467**
	奉天	生命保險	3	270,259	2,267
		損害保險	12	676,047	83,175
		其他	1	20,850	19,640
		計	16	**967,156**	**105,082**
合計			109	**1,260,330**	**132,574**
總計			382	5,039,654	936,499
大正九年			352	3,060,348	1,185,851
大正八年			288	2,425,470	604,521

契約		解約		年末現在	
口數	金額	口數	金額	口數	金額
12	9,300	5	2,300	87	48,800
1,664	**11,059,559**	**1,243**	**13,484,951**	**2,068**	**12,545,437**
5	7,500	34	34,500	36	31,000
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
5	**7,500**	**34**	**34,500**	**36**	**31,000**
50	58,700	112	125,800	265	266,200
23	348,900	32	512,900	53	613,500
—	—	—	—	—	—
73	**407,600**	**144**	**638,700**	**318**	**879,700**
527	938,900	334	459,100	1,649	1,889,980
4,144	25,150,906	—	—	—	—
29	32,600	2	15,000	66	42,900
4,700	**26,122,406**	**336**	**474,100**	**1,715**	**1,932,880**
48	52,500	31	40 000	331	393,490
1,666	13,769,210	52	1,140,000	7,351	66,405,182
—	—	—	—	68	37,900
1,714	**13,821,710**	**83**	**1,180,000**	**7,750**	**66,836,572**
8,156	**51,418,775**	**1,840**	**15,812,251**	**11,887**	**82,224,589**
116,427	564,544,864	102,519	539,931,259	72,290	331,998,913
103,316	725,305,914	90,750	609,765,338	67,600	370,869,189
88,523	666,562,455	62,018	415,272,075	60,804	366,646,521

中國側の保險 滿蒙に於ける中國人の保險觀念は今日尚一般に其
商人が外人の經營に係る信用ある會社と契約してゐる位の程度のもので
處にあつては水險即ち洪水に關する保險が行れてゐる。又馬賊保險であ
しつゝある。今滿洲に於ける中國側同事業の最近統計を見るに次の如く

地方別		名稱	種類	設立年月	收
					保險費
奉天省	奉天 瀋陽	華洋人壽保險分公司	人壽險	民 1. 9	円 10,000
	奉天	金星人壽保險分公司	人壽險	民 3. 2	10,000
	營口	華安水火保險有限分公司	水火險	宣 1. 3	15,000
	營口	金星東三省分公司	水火險	民 4. 5	27,000
	營口	福安保險分公司	人壽水火險	宣 2. 7	41,500
	安東	大有昌公司	水險	光 34.	8,000
	安東	合記公司	水險	民 3. 5	3,000
	計	7			**114,500**
	濱江	福安保險分公司	人壽水火險	光 26.11	404,000

業の何たる事すら周知されて居らない關係から極少數の新思想を有するある。然しながら特殊の地方にある例ば遼河と營口、鴨綠江と安東の如きる鏂局が東支南線新邱等に今日尙行はれて居るが交通の發達と共に衰微である。

一年間の狀況					總計現在契約狀況		罹災件數
入		支出					
利息	其他	保險賠償金	營業費	其他	件數	金額	
—	—	円 3,000	円 2,400	—	55	5,000	3
—	—	5,000	3,000	—	27	6,000	4
—	—	—	4,000	—	80	2,004,575	—
780	—	—	7,200	—	185	1,479,000	—
470	—	—	8,900	—	80	1,478,945	—
—	—	—	2,000	—	37	200,000	—
—	—	—	3,500	—	245	240,000	—
1,250	—	**8,000**	**31,000**	—	**709**	**5,413,520**	**5**
35,000	28,000	225,000	100,070	88,000	—	—	—

(四) 倉　庫　業

1　滿鐵會社の倉庫業

滿鐵會社の倉庫營業は鐵道附帶事業の一として會社創立に關する政府命令書に指定せられた處であるが初め會社は明治四十年十月大連埠頭に於て政府より引繼たる倉庫により、埠頭に到著せる貨物の保管事務を開始した。而して沿線に對しては主要驛に於ける倉庫上屋及野積場を修築し明治四十二年發送貨物保管なる特產物の短期保管制を開き又穀物匿積保管の制度をも設けた。明治四十四年には倉庫營業規程を制定發布し先づ大連、埠頭及沿線の主要驛に於て倉庫業を開始し、其後各地出貨の發展に伴ひ順次必要の驛に追加開業した。此れが滿鐵として最初に試みたる倉庫營業である。而して現在に於ては大連、蓋平、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、昌圖、公主嶺、長春、營口、撫順、本溪湖、安東等の主要驛の外沿線十九餘の各驛に於て倉庫業が營まれつゝある。

明治四十五年大連埠頭に於て豆油のタンク倉庫及豆油タンク五臺を以て之が保管取扱を開始したが後年三井は石油棧橋の背後に千五百噸の大油槽七箇を設備し、鈴木商店が亦其附近に同量の貯油場を設置するに至つたのは斯業將來に對し誠に機宜を得たものである。一方日本郵船會社は歐洲航路を開き又理想的なる豆油積取船を建造し豆油輸出のために一大革新を與へた。

尙滿洲には混合保管制たる特別制度がある。卽ち滿鐵は大正二年末から大連に於て豆粕混合保管を開始した、次いで開原、鐵嶺の二驛も亦其例に倣ひ大正四年末から奥地產豆粕混合保管の當驛限りの取扱を實施した大正六年奉天及同市內營業所を加へ漸次沿線各地に普及し現在では上記箇所の外遼陽、煙臺、蘇家屯、新臺子、昌圖、雙廟子四平街、郭家店、公主嶺、范家屯、長春、營口、撫順、普蘭店、安東の各驛に於て之れが取扱を實施するに至つた。

斯くして大正十年一月奥地生產の大豆粕と大連油房生產の大豆粕との共通混合保管を一時開始したがこれは大連側の反對によつて遂に奥地は奥地產のみ、大連側は大連產のみの共通混合保管を見るに至つた。

又大豆混合保管は大正　年から實施し、今日迄幾多の改全を斷行し所期の成績を擧げつゝある、之が取扱驛としては大連埠頭、遼陽、煙臺、奉天、開原、鐵嶺、蘇家屯、新臺子、昌圖、雙廟子、四平街、郭家店、公主嶺、范

家屯、長春、營口、撫順、安東等である。

又大正三年安東驛に於て木材保管を開始したが其方法に陸上保管卽ち野積保管と水中保管との別を設け木材倉庫證券なる特殊の證券を發行した。

尙ほ滿鐵經營倉庫の附帶事業としては銀行に添證の一事がある。卽ち寄託貨物の出庫託送若くは改裝に對し一々證券の提示を要求するは債權の擔保である物件に對し貨物主及金融業者にとり不便少からざるため滿鐵會社は明治四十四年先づ正金銀行と之をなし其後朝鮮、正隆及安東の諸銀行を加へ今日では廣くこれが運用を見るに至つた。

滿鐵倉庫一覽表

驛所名	取扱開始	倉庫及上屋	
		棟數	坪數
大連埠頭	明治 44. 9. 10	75	89,117
普蘭店	大正 5. 9. 1	3	377
瓦房店	同 3. 12. 20	1	21
松樹	同 3. 11. 20	1	110
蓋平	同 2. 3. 10	2	216
海城	同 2. 11. 20	1	86
千山	同 2. 11. 20	1	57
鞍山	同 9. 12. 1	1	300
立山	同 9. 5. 1	—	—
遼陽	明治 44. 9. 10	2	579
煙臺	大正 2. 11. 20	1	75
蘇家屯	同 2. 12. 16	—	—
奉天	明治 44. 9. 10	9	3,121
新城子	大正 8. 10. 1	1	11
新臺子	明治 44. 9. 10	1	200
鐵嶺	同 44. 9. 10	7	1,596
開原	同 44. 9. 10	4	3,365
昌圖	同 44. 9. 10	2	413
雙廟子	同 44. 9. 10	3	418

驛所名	取扱開始	倉庫及上屋	
		棟數	坪數
四平街	明治 44. 9. 10	2	903
郭家店	同 44. 9. 10	—	—
公主嶺	同 44. 9. 10	3	1,292
范家屯	同 44. 9. 10	2	1,085
長春	同 44. 9. 10	7	4,576
旅順	同 44. 9. 10	1	152
營口	同 44. 9. 10	5	4,558
營口市內營業所	大正 2. 9. 10	1	656
撫順	明治 44. 9. 10	3	604
•本溪湖	大正 3. 9. 1	2	215
安東	明治 45. 5. 10	9	2,775
計	(三十箇所)	**150**	**116,878**

| 大連埠頭の內一棟 283坪は豆油タンク五基、總容量 600噸の上屋なり。|安東に於ては本表の外貯水池一箇所面積 29,340坪あり。|野積場は大連に於て 96,039坪、其の他の驛所に於ては適宜構內を使用するものなるを以て其の坪數は表示するを得ず。

滿鐵倉庫貨物受拂 (大正十年度)

種別	受入噸數		
	越高	受高	計
大豆混合保管	噸 184,112	噸 1,312,620	噸 **1,496,732**
豆粕混合保管	60,925	1,213,201	**1,274,126**
普通預	65,858	248,948	**314,806**
發送預	21,409	490,252	**511,661**
到著預	159,876	1,625,598	**1,785,474**
計	**492,180**	**4,890,619**	**5,382,799**
大正九年度	866,740	4,749,049	**5,615,789**

種別	受入噸數		
	越高	受高	計
大正八年度	493,857	5,286,279	**5,780,136**
大正七年度	507,305	3,798,735	**4,306,040**
大正六年度	331,418	3,332,967	**3,664,385**
大正五年度	268,528	2,396,093	**2,664,621**
大正四年度	314,870	1,963,188	**2,278,058**
大正三年度	157,814	2,013,715	**2,171,529**
大正二年度	130,297	1,048,953	**1,179,250**
大正元年度	157,972	969,192	**1,127,164**
明治四十四年度	7,507	718,777	**726,284**

種別	拂出噸數	殘高噸數	預延日噸數	一日平均在庫噸數
	噸	噸	噸	噸
大豆混合保管	1,296,814	199,918	33,240,063	91,069
豆粕混合保管	1,109,916	164,210	29,893,032	81,899
普通預	259,548	55,258	18,288,045	50,104
發送預	489,804	21,857	2,653,762	7,271
到著預	1,583,190	202,284	39,213,336	107,434
計	**4,739,272**	**643,527**	**123,288,238**	**337,776**
大正九年度	5,123,609	492,180	181,702,674	497,816
大正八年度	4,913,396	866,740	195,866,229	435,154
大正七年度	3,812,183	493,857	153,502,401	420,555
大正六年度	3,157,080	507,305	106,104,566	290,097
大正五年度	2,333,203	331,418	71,105,449	194,809
大正四年度	2,009,530	268,528	56,654,422	154,794
大正三年度	1,856,659	314,870	43,176,879	118,292
大正二年度	1,021,436	157,814	25,420,537	69,645
大正元年度	996,867	130,297	20,522,822	56,227
明治四十四年度	568,312	157,972	15,316,671	83,698

2　滿鐵以外の倉庫業

大連に於ける倉庫業の多くは戰時好況時代に起つたのであるが當時は在貨の充溢する如き好況を呈した、然して一昨年來財界の不況は殆んど荷動きなき狀態に之れを導いたが財界の整理緒につくに及んで微弱ながらも漸時取引回復せられた爲一般倉庫も亦次第に保管貨物の增加を見るに到つた。今參考のために大連に於ける倉庫保管料定率を表示せば下の如くである。

倉庫保管料定率表

第一種貨物保管料（從量率）

品名	單價	一箇一月保管料	品名	單價	一箇一月保管料
米及雜穀	一石	2錢	諸器械類	百斤	4錢
麥粉	一袋	8厘	金屬製品	百斤	4錢
砂糖	百斤	4錢	鐵板類	百斤	3錢
新麻袋	四百枚一箇	25錢	鐵條類	百斤	3錢
古麻袋	二百五十枚一箇	17錢	鐵野積	百斤	2錢
同	百枚一箇	16錢	海產魚類	百斤	3錢
同	五十枚一箇	3錢	綿絲	四十玉入	25錢
アンペラ	一才	8厘	同	二十玉入	15錢
陶器	一才	2錢	綿織物	一才	2錢
毛絹織物	四斗樽入 二斗樽入一才	3錢	銅亞鉛	百斤	3錢
清酒	(四斗樽入) (二斗樽入)	13錢 9錢	紙類	一才	2錢
漬物類	四斗樽入	8錢	板硝子	一箇	2錢
同	二斗樽入	9錢	フエルト	一本	1錢5厘
洋酒類	一才	2錢	ルーフイング	一本	3錢
同四ダース入	一箇	9錢	煙草	一才	2錢
鑵詰類	一才	2錢	雜貨	一才	6錢
醬油酢類	二斗樽入	3錢	引越家具類	一才	3錢
同	一斗樽入	2錢	石油空罐	一箇	8厘
セメント	一樽	10錢	同二箇入箱付	一箇	2錢
疊表類	一才	2錢	木材	十才(木材)	6厘
洋釘	一樽	2錢	海紙	三ツ合一箇	3錢

	品名	單價	一箇月保管料	品名	單價	一箇月保管料
	海草類	百斤	5錢	古新聞紙	一箇	9錢
	苛性ソーダ	罐入	25錢	石油箱組板	一箇	2錢
	豆糟	一枚	8厘	自働車	一臺	10圓
第二種貨物	綿類	一才	1錢	ペイント	一才	2錢
	機械油、豆油	石油箱入一箱	3錢	繩蓆、莚、叺類	一才	1錢
	蠟類	百斤	5錢	木炭	六貫目入一箇	3錢
	油革	二ツ合一箇	6錢	ウエス及ボロ	一才	2錢

上掲表中第一種貨物、第二種貨物野積保管の場合は共に三割引をなす

上記の表は大連倉庫、南滿洲倉庫建物會社、福昌公司倉庫部、大連起業倉庫の貨物保管料定率を調査せるものである。而して之が保管料の内容を示せば下の如くである。

一、保管料は從價率、從量率に依り算出合計したるものである

二、從價率は一箇月に付

第一種貨物　火災保險價格又は申込價格の一千分の十

第二種貨物　同　上　　　　　　一千分の十六

但火災保險料は從價率の内に含有して居るので別に申受けない。

三、從量料は上掲表の通りである但し板硝子、洋釘類の如きもの小口別けに(各口毎に區別するもの)積載を要するもの又は荷造の包裝を解いた紙、布、包類の如きものは五割增をする。

四、上掲の表に記載のないものは表中の類似品に依る。

五、保管料は曆日により一箇月を一日より十五日迄十六日より末日迄の二期に分け全月分又は半月分を申受くる。

六、預り證券並に倉荷證券作成手數料は下の如くである。

保管料一箇月壹圓未滿の小口貨物に對する證券作成料は一枚に付金參拾錢である。但し保管料一箇月一圓以上のものは無料又證券の書換分割、再交付は一枚に付金參拾錢であり、預り證券の書換、分割、再交付は一枚に付金二十五錢である。

營口に於ける倉庫の施設を見るに遼河の碼頭に於ける倉庫は同業考及

各船代理業者によりて經營せられ何れも稍完全にして殊に廣き構内を有する事は貨物の取扱に甚だ便である其主なるものを擧ぐれば營口倉庫汽船會社、太古洋行碼頭(英人經營)、日本郵船碼頭、東和公司碼頭、小寺船舶倉庫部碼頭、怡和洋行碼頭、招商局碼頭、旗昌洋行碼頭、肇興公司卜內公司碼頭等である。

長春は北滿唯一の特產物一大集散市場たるに係はらず此大貨物を收容すべき倉庫の設備は實に微々たるものであつたが近年に至り二、三の倉庫會社を見るに到つた。即ち長春運輸會社倉庫、東海起業會社倉庫部、長春倉庫株式會社等の如き是れである。

哈爾賓には株式會社哈爾賓倉庫、株式會社北滿倉庫等あるが、元來哈爾賓は北滿洲の中心で百貨の集散地たるばかりでなく東支線は常に運輸の圓滑を缺くため同地に於ける倉庫業は將來非常に有望視されて居る。

奉天に於ける倉庫業は從來倉庫の需要が少かつたが、大正七年來の滿洲經濟界の非常なる發展につれ斯業も大なる發展を見つゝある。即ち南滿倉庫信託會社、實業貸棧倉庫、東省實業會社倉庫、松大洋行倉庫の如きは其主なるものである。

安東に於ける倉庫業は鴨綠江岸に埠頭を有せる滿鐵會社の運輸倉庫の外は個人經營としては齋藤倉庫及大連汽船會社の安東縣倉庫とである。

其他經濟界好況時代に於ける產物として設立された南滿洲倉庫建物會社開原支店、吉林倉庫金融會社、遼源運輸倉庫會社、株式會社撫順倉庫等は其主なるものである。

滿洲重要倉庫一覽

名稱	所在地	建物種類	坪數
大連起業倉庫	大連山縣通六三號地	煉瓦造、二階建、瓦葺	134.00
	同	煉瓦造、平家建、瓦葺	111.00
	同	同　地下室	20.00
	大連紀伊町五四號地	煉瓦造、二階建、瓦葺	64.00
	同	煉瓦造、平家建、同	15.00
	大連淡路町五三號地	煉瓦造、二階建、同	64.40
	同	煉瓦造、平家建、同	192.20
	大連淡路町五號地	同	92.00
	同	木造、平家建、亞鉛葺	120.00
	大連軍用地區五號地	木造、平家建、亞鉛葺	196.86

名稱	所在地	建物種類	坪數
大連起業倉庫	大連軍用地區五號地	煉瓦造 平家建、亞鉛葺	610.00
	大連軍用地三區四八號地	木造、同、同	249.00
	同	煉瓦造、平家建、瓦葺	124.00
	同	同 二階建、同	240.00
	大連丹波町二	同	155.00
	同	同 平家建、同	40.00
	計		**2,480.06**
福昌公司倉庫部	大連摩耶町十一番地	煉瓦造、二階建、瓦葺	384.00
	同	木造、平家建、亞鉛葺	235.00
	大連明石町五六區	煉瓦造、二階建、瓦葺	109.80
	同	同 平家建、同	111.70
	大連千代田町	同	184.40
	大連軍用地第三區	同	683.60
	計		**1,708.20**
南滿倉庫建物會社	大連軍用地第一の十二	煉瓦造、平家建、瓦葺	914.10
	大連土佐町十九號地	同	406.75
	計		**1,320.85**
大連倉庫	大連加賀町九號地56番地	煉瓦造二階建コンクリート葺	534.00
	大連武藏町五	土塊造、平家建、瓦葺	73.85
	計		**607,85**
營口倉庫汽船會社倉庫	營口碼頭	煉瓦建	946.00
	同	トタン張	61.00
	計		**1,047.00**
太古洋行倉庫	營口新市街東碼頭	煉瓦建	350.00餘
	同 西碼頭	同	450.00
	同 舊市街碼頭	同	690.00
	同	トタン張	270.00餘
	計		**1,760.00餘**
日本郵船株式會社倉庫	營口碼頭	煉瓦建	400.00

第十二 商業

名稱	所在地	建物種類	坪數
東和公司倉庫	營口東碼頭	煉瓦建	175.00
	同	トタン張	60.03
	營口西碼頭	煉瓦建	30.00
	計		**265.00**
小寺船舶部倉庫	營口碼頭	トタン張	240.00
怡和洋行	營口碼頭	煉瓦建	288.00
	同	トタン張	60.00
	計		**348.00**
招商局倉庫	營口碼頭	同	124.00
旗昌洋行倉庫	同	煉瓦建	50.00
肇興公司倉庫	同	トタン張	81.00
卜公公司倉庫	同	煉瓦建	88.00
長春運輸株式會社倉庫	長春吉野町五の八	煉瓦造、漆喰塗葺	1,197.00
	同　住吉町九の八	同　瓦葺	2,972.00
	計		**4,169.00**
東海起業會社倉庫部	長春新市街日の出町	黑煉瓦二階建	995.00
株式會社長春倉庫	同　同西區外假一號地	煉瓦造、平家建	800.00
			サージエン
北滿倉庫	哈爾賓道外八站	煉瓦造、平家建、瓦葺	636.00
	同　埠頭區道裡	同	600.00
	同　（元河合倉庫）	同	200.00
	同　（元原倉庫）	同	150.00
	計		**1,586.00**

名稱	所在地	建物種類	坪數
哈爾賓倉庫	哈爾賓　ボテソヤ街3	木造、平家建、土丹葺	100.50
	同	煉瓦造　同　同	464.80
	同	同　同　煉瓦葺	66.50
	計		**631.80**
南滿倉庫信託會社倉庫	奉天末廣町三番地	同　同　瓦葺	454.00
	同	同	181.00
	同	木造　同　亞鉛版葺	360.00
	同	同	617.00
	同　宮島町十八番地	支那煉瓦造同　瓦葺	184.00
	同　大西關	黑煉瓦造同　支那瓦葺	126.00
	同　同	亞鉛張木造平家亞鉛葺	400.00
	計		**2,322.00**
東省實業株式會社倉庫部	奉天西塔大街2	煉瓦造、平家建、瓦葺	453.80
	同	木造　同　フエルト	54.00
	計		**507.80**
實業貨棧	奉天鐵道西芳野町	煉瓦造、平家建、セメント瓦葺	284.00
	同	同　同　支那瓦葺	320.00
	同	木造　同　フエルト葺	300.00
	同	煉瓦造　同　亞鉛葺	16.00
	計		**920.00**
大連汽船會社倉庫部	安東縣北方江岸	煉瓦造、平家建	41500
	同	木造、平家建	100.00
	同	野積場	1,200.00
	計		**1,715.00**
齋藤倉庫	安東市内	煉瓦造、平家建	175.00
	同	木造　同	40.00
	計		**215.00**
南滿洲倉庫建物會社	開原附屬地第二區	煉瓦造、平家建、瓦葺	759.10
總計		(坪及サーヂン混計)	**103,632.66**

3 中國側の倉庫業

滿蒙に於ける中國人の倉庫業は甚だ幼稚なるものである。由來倉庫の起因は棧房に起源を發し而して行棧は一般に用ひらるゝ名稱であるが單に貨物を預り之に對する薄少なる保管料を徵收する丈けである。故に行棧に預入れる事によつて直に金融の途を講ずる事が出來ない全く其人の信用乃至行棧主人の保證によらなければならぬ不備のものである。

(五) 物價及勞銀

滿洲各地日用重要品卸賣相場

(大正十年十二月)

品	名		大連	遼陽	奉天	長春	安東
白米	朝鮮、研上	一石	円 45.50	円 49.00	円 30.00	円 51.60	円 37.00
〃	〃 無研上	〃	38.60	35.00	26.00	36.00	36.00
〃	〃 〃 中	〃	36.20	—	24.00	30.00	35.00
〃	上海	〃	—	30.17	—	—	—
〃	滿洲產中	〃	31.00	30.17	27.00	30.70	33.00
大豆	黑	〃	内 23.00	12.15	18.00	30.00	—
〃	黃	〃	滿 13.80	13.48	17.00	20.00	—
小豆	紅	〃	内 26.50	16.74	18.00	16.00	—
〃	白	〃	—	15.41	18.00	—	—
麥粉	太陽	一袋	—	4.53	3.60	—	—
〃	日頭	〃	—	4.53	3.60	4.20	—
〃	紅龍	〃	—	4.36	3.20	4.14	—
砂糖	◈ BB	一俵	—	20.00	20.00	22.50	—
〃	〃 BH	〃	—	—	—	20.80	—
〃	角砂糖	一箱	5.50	7.50	—	6.50	8.00
清酒	金露(四斗五升入)	一樽	72.00	—	60.00	69.00	70.00
〃	白菊盛(〃)	〃	71.00	—	62.00	69.00	70.00
〃	澤龜(〃)	〃	70.00	—	62.00	63.00	—
〃	菊正宗(四打入)	四合入一箱	46.00	—	45.00	39.00	46.00
〃	白鶴(〃)	〃	39.00	—	45.00	45.00	45.00

品	名		大連	遼陽	奉天	長春	安東
麥酒	札幌(〃)	〃	円 17.00	円 18.50	円 20.00	円 19.00	円 21.00
〃	櫻(〃)	〃	15.00	—	20.00	18.50	18.00
〃	キリン(〃)	〃	17.00	—	20.00	20.00	20.50
〃	札幌黑(〃)	〃	18.00	—	23.00	21.00	21.50
淸涼飮料	シトロン(〃)	〃	10.50	10.50	—	11.50	9.90
〃	三ツ矢(〃)	〃	11.00	10.50	—	11.50	9.70
〃	ライオン(〃)	〃	10.00	9.30	—	9.00	9.00
〃	平野水(〃)	〃	11.00	10.00	—	9.00	10.50
味淋	(九重)	一斗	13.50	17.00	15.00	18.00	14.50
燒酎		一斗	14.50	16.00	10.00	15.00	—
醬油	萬極上(三斗五升入)	一樽	32.00	34.50	35.00	35.00	26.00
〃	⌃サ〃(〃)	〃	28.00	—	32.00	35.00	26.00
酢	(一斗入)	〃	6.20	4.00	6.00	15.00	6.00
味噌	赤(十六貫入)	〃	二十貫入 11.50	11.59	10.00	11.50	14.50
〃	白(〃)	〃	二十貫入 13.00	12.00	10.00	11.50	13.50
漬物	澤庵(〃)	〃	十四貫入 13.50	16.50	24.00	12.30	—
〃	奈良漬(〃)	〃	十貫入 40.00	56.00	73.00	48.00	46.00
〃	梅干(〃)	〃	十四貫入 21.00	24.00	38.00	24.00	23.00
鹽	滿洲產	一貫	1.70	0.55	0.35	0.40	0.25
肉類	牛肉(骨付)	〃	1.80	1.90	1.50	2.30	2.50
〃	豚肉(〃)	〃	3.00	2.10	1.80	2.30	3.30
〃	鷄肉(〃)	〃	3.50	2.40	2.00	3.00	4.50
鷄卵	大	百箇	3.80	2.80	3.00	2.40	3.50
乾物	椎茸	一貫	31.00	32.00	18.00	35.00	33.00
〃	干瓢	〃	6.30	10.00	5.00	7.50	6.00
〃	出シ昆布	〃	3.00	3.80	3.50	4.00	3.50
〃	出シ雜魚	〃	3.30	3.80	2.80	3.50	3.60
乾鹽魚	鹽鮭	〃	2.50	2.20	3.50	3.50	1.60
〃	棒鱈	〃	4.00	5.00	3.00	4.00	2.20

品	名		大連	遼陽	奉天	長春	安東
			円	円	円	円	円
乾鹽魚	鯣(鍬先)	〃	14.00	18.00	12.00	17.00	13.50
〃	同(平モノ)	〃	7.20	7.50	9.00	7.00	6.00
〃	鰹節(土佐)	〃	17.00	22.00	16.00	23.00	22.00
〃	同(薩摩)	〃	16.50	18.00	18.00	20.00	18.00
茶	川柳	〃	2.85	4.00	2.80	4.50	2.35
〃	正喜撰	〃	5.65	9.00	8.00	8.50	4.50
石油	美孚印	一箱	7.70	8.73	10.00	9.86	—
〃	亞細亞	〃	—	—	8.00	9.30	—
石炭	撫順(塊)	一噸	17.15	15.00	14.00	17.00	18.20
〃	本溪湖(〃)	〃	17.20	15.00	15.00	17.00	18.20
燐寸	安全(草印)	一箱	17.00	19.00	14.00	25.00	15.00
〃	黃燐月琴)	〃	15.50	10.40	7.00	9.50	—
木炭	滿洲産(八貫入)	一俵	2.40	1.60	1.70	1.90	1.50
薪	雜木	十貫	1.80	0.71	1.60	1.10	0.60
綿布	晒木綿(上)	十反	9.00	11.00	7.00	12.50	10.00
〃	晒天竺(〃)	一疋	5.80	8.00	4.00	8.00	7.50
〃	綿ネル(〃)	一卷	14.50	35.00	16.00	22.00	7.50
綿	蒲團綿(上)	一貫 滿	4.00	5.50	5.20	5.00	5.50
〃	〃(中)	〃	2.90	4.50	4.00	3.50	2.50
〃	〃(下)	〃	1.80	3.50	3.50	2.80	—
〃	中綿(上)	〃	4.80	8.00	5.00	5.20	5.50
〃	小袖綿(百匁もの)	一袋	2.30	賣物 0.30	0.65	0.58	0.55
〃	眞綿(大)	百匁	7.20	1.50	5.50	8.00	6.00
煙草	敷島(50ボール)	一箱	128.00	128.00	128.00	128.00	128.00
〃	朝日(〃)	〃	100.60	95.00	95.00	90.00	2.60
〃	スター(〃)	〃	53.00	63.00	63.00	53.00	1.80
〃	白梅(四十匁)	150 一箱	121.50	85	一袋 80	80	90
〃	皐月(〃)	〃	85.50	60	55	57	60
〃	あやめ(〃)	〃	67.50	48	40	—	45

滿洲各地勞働賃銀表

（大正十年十二月）

業名	單位		大連	遼陽	奉天	長春	安東
			円	円	円	円	円
農作年産	一年	日	250.000	—	—	—	—
		支	50.000	—	100.000	—	100.000
農作日産	一日	日	—	—	—	—	—
		支	—	—	450	—	300
機織職	〃	日	—	—	3.000	—	—
		支	—	—	1.200	—	400
染物職	一月	日	—	—	2.200	—	—
		支	月 50.000 〃 15.000	—	800	—	400
和服仕立職	一日	日	2.000	—	2.000	—	1.800
		支	—	—	—	—	—
洋服仕立職	〃	日	3.500	18.00	2.800	—	2.500
		支	1.700	1.500	1.500	—	700
袋物職	〃	日	3.000	—	—	—	—
		支	1.000	—	—	—	—
下駄職	一月	日	月 40.000	—	—	—	2.500
		支	—	—	—	—	700
靴工職	一日	日	2,800	—	2.000	—	2.500
		支	1,400	800	1.500	—	1.000
帽子職	〃	日	2,500	—	2.800	—	—
		支	800	—	1.200	—	—
酒杜氏	一月	日	月 80.000	—	2.500	—	2.000
		支	—	—	1.000	—	500
醤油杜氏	〃	日	月 80.000	—	2.500	—	1.500
		支	—	—	1.000	—	—

業名	單位		大連	遼陽	奉天	長春	安東
			円	円	円	円	円
菓子製造職	一月	日 月	50.000	1.000	2.000	—	2.500
		支 »	15.000	600	1.000	—	500
大工職	一日	日	3.500	2.500	3.000	3.500	3.000
		支	1.700	700	1.200	850	1.000
左官職	»	日	3.500	—	3.500	4.500	3.200
		支	1.700	—	1.600	1.000	1.000
石工	»	日	3.500	—	2.500	4.000	3.200
		支	1.700	—	1.500	1.000	1.500
木挽職	»	日	—	—	—	—	—
		支	1.300	900	1.500	2.000	1.000
屋根職	»	日	3.300	—	3.000	—	—
		支	1.500	—	1.500	—	—
煉瓦積職	»	日	3.000	—	3.700	4.000	3.000
		支	1.500	—	2.000	850	1.000
煉瓦製造職	»	日	—	—	3.000	—	—
		支	—	—	1.500	450	—
瓦葺職	»	日	3.500	—	3.700	4.000	3.200
		支	1.200	—	1.500	450	1.000
硝子職	»	日	3.000	—	2.500	4.000	—
		支	1.200	700	1.200	800	800
活版植字職	»	日	2 900	2.500	3.000	2.000	2.000
		支	1.000	1.200	1.200	1.000	1.000
仲仕	»	日	—	—	—	—	2.000
		支	1.500	—	—	—	600
日雇稼	»	日	—	1.100	—	—	2.000
		支	500	250	—	—	500
雜役人夫	»	日	—	1.100	—	2.500	—
		支	500	250	—	—	500

業名	單位			大連	遼陽	奉天	長春	安東
				円	円	円	円	円
下男	一月	日	月	18,000	—	—	—	—
		支	″	12,000	—	—	—	—
下女	″	日	″	10,000	500	—	—	—
		支	″	—	200	300	—	600
苦力	一日	日	日	—	—	—	—	—
		支	″	450	400	500	450	500
鳶職	″	日	″	3,000	—	2,500	3,500	3,000
		支	″	1,000	—	1,500	800	1,000
建築苦力	″	日	″	—	—	—	—	—
		支	″	—	—	600	450	500
疊職	″	日	″	3,200	2,500	3,000	3,000	3,000
		支	″	1,200	—	1,300	—	1,000
經師職	″	日	″	3,100	—	—	3,000	2,500
		支	″	1,500	—	—	—	—
指物職	″	日	″	3,300	2,800	3,200	3,000	3,000
		支	″	1,000	800	1,200	—	1,500
車製造職	″	日	″	3,000	—	—	—	—
		支	″	—	—	—	—	600
建具職	″	日	″	3,300	2,600	3,000	3,500	3,000
		支	″	1,200	700	1,200	850	800
塗物職	″	日	″	3,400	—	2,500	3,000	3,500
		支	″	1,100	—	1,000	800	600
錻力職	″	日	″	3,300	2,500	2,500	3,500	3,000
		支	″	1,200	700	1,000	850	800
鑄物職	″	日	″	3,000	—	3,000	4,000	2,500
		支	″	1,000	—	1,000	850	800
鍛冶職	″	日	″	3,200	2,500	3,000	4,000	2,000
		支	″	1,500	800	1,000	—	1,000

大連重

年月	大豆 黄	大豆 青	大豆 白眉	豆粕	豆油	小豆 紅	小豆 白	高粱	粟	包米	大麻子	小麻子
	百斤	百斤	百斤	一枚	百斤	百斤	百斤	百斤	百斤	百斤	百斤	百斤
10.7	5.04	—	5.25	1.87	13.50	4.80	4.80	2.80	4.80	3.35	4.60	4.70
8	4.65	—	4.75	1.85	10.40	4.65	5.20	2.70	3.50	3.26	5.00	4.80
9	5.18	5.00	—	1.95	12.70	4.90	5.00	2.95	4.85	3.40	5.00	—
10	5.39	5.25	5.34	2.23	10.50	5.20	5.40	3.15	4.80	3.10	6.20	4.80
11	5.20	5.00	5.20	2.14	10.70	4.80	5.00	2.82	4.90	2.95	6.00	4.10
12	5.28	5.50	5.50	2.16	11.80	4.90	5.10	2.90	5.00	2.80	7.00	4.35
11.1	5.22	5.55	5.30	2.23	10.90	4.75	4.70	2.85	4.40	2.68	6.20	4.30
2	5.62	5.70	5.65	2.17	14.30	5.15	5.25	2.78	4.00	2.70	7.20	5.00
3	5.49	5.55	5.60	2.02	14.50	4.95	5.10	3.09	4.22	3.00	6.80	5.20
4	5.43	5.40	5.85	1.96	14.80	4.80	4.90	2.83	4.50	3.00	6.80	4.90
5	5.73	—	—	2.07	16.40	5.00	5.05	2.30	3.20	2.60	7.50	5.40
6	6.17	7.00	7.00	2.33	15.80	4.85	4.95	2.65	3.20	2.68	7.75	5.75

大連重

年月	精米 上	精米 中	精米 下	綿糸 扇面十六「小」	綿糸 麒麟十六手(大)	粗布(龍C)	生金巾(單人)	大尺(A)	綾木綿(鷲鳥)	綿(繰綿)	麻袋 青筋入	麻袋 鐵筋入
	一石	一石	一石	一梱	一梱	一反	一反	一反	一反	一擔	百枚	百枚
10.7	36.50	34.00	32.00	234.00	—	8.45	11.15	3.45	8.40	—	28.00	22.50
8	40.00	38.00	35.00	270.00	—	8.60	11.30	3.50	8.60	—	26.00	23.50
9	42.50	40.00	38.00	305.00	—	9.80	12.30	4.10	9.50	—	34.00	30.50
10	58.50	46.00	44.00	270.00	—	8.95	11.80	3.70	9.20	—	30.50	26.50
11	49.00	46.00	43.00	242.00	—	8.50	10.90	4.30	8.45	—	28.00	23.00
12	46.50	44.00	39.00	255.00	251.00	9.10	11.80	3.10	8.70	—	27.50	23.50
11.1	45.00	42.00	39.00	247.00	—	8.90	11.50	3.20	8.90	—	30.50	23.20
2	45.00	42.00	39.00	229.00	225.00	8.40	11.50	3.10	8.70	—	33.00	21.50
3	44.00	41.50	38.00	236.50	233.00	8.65	11.60	3.10	8.75	—	33.00	21.50
4	43.50	41.00	38.00	242.00	242.00	8.50	11.50	3.15	8.80	—	36.00	23.00
5	44.50	42.00	39.00	240.00	237.00	8.65	11.35	3.15	8.80	—	36.00	24.50
6	48.00	45.50	43.00	256.00	254.00	9.00	12.00	3.20	9.20	—	32.00	26.00

要物價表（生產品）

小麥	小麥粉（紅龍二等粉）	鹽	木材 北滿紅松柚角	木材 江紅柚 綠松角	牛皮 大皮	牛皮 中皮	牛皮 小皮	石炭 撫順塊炭	石炭 同切込	石炭 同粉
百斤	一袋	（八十斤入）一俵	尺締	尺締	百斤	百斤	百斤	一噸	一噸	一噸
5.80	3.30	1.70	11.00	10.00	47.00	40.00	42.00	17.20	14.70	13.70
6.20	3.20	1.60	12.00	10.00	55.00	50.00	52.00	17.20	14.70	13.70
6.40	4.80	1.50	11.00	10.00	63.00	58.00	55.00	17.20	14.70	13.70
7.20	4.00	1.60	12.00	—	63.00	58.00	60.00	17.20	14.70	13.70
7.20	3.90	1.60	12.00	12.00	55.00	48.00	50.00	17.20	14.70	13.70
7.00	3.80	1.60	12.00	11.00	48.00	43.00	45.00	18.05	15.55	13.65
6.50	4.00	1.60	13.00	12.50	48.00	43.00	45.00	17.15	14.65	13.65
7.00	3.50	1.50	12.00	11.00	48.00	43.00	45.00	17.15	14.65	13.65
7.10	3.85	1.50	10.50	—	55.00	48.00	50.00	17.15	14.65	13.65
—	3.80	1.50	11.50	10.00	50.00	43.00	45.00	17.15	14.65	13.65
—	3.50	1.50	11.00	12.00	50.00	45.00	47.00	17.15	14.65	13.65
5.80	3.60	1.50	11.00	10.00	48.00	43.00	45.00	17.15	14.65	13.65

要物價表

麥粉（福壽）二等粉	精糖 T四溫二五	精糖 SH三溫八五	石油 美孚印	石油 亞亞細印	燐寸 月琴摺一度	醬油 龜甲萬	淸酒 白鶴	淸酒 金露	金物 洋釘	金物 亞鉛引波板卅番七尺	洋紙 連吏紙（仙鶴）	洋紙 ザラ紙（百合）
一袋	百斤	百斤	一函	一函	六箱	三斗六升入（一樽）	四斗五合入（一樽）	四斗五升入（一樽）	一擔	一枚	一俵	一連
3.15	15.50	14.00	6.60	6.20	43.00	30.00	66.00	58.00	15.00	1.85	28.30	7.30
3.35	16.00	14.60	6.69	6.30	44.00	30.00	66.00	63.00	14.30	1.80	27.50	6.30
3.35	15.00	14.00	6.70	6.30	54.00	30.00	71.00	63.00	14.80	1.95	26.50	7.40
3.02	14.80	13.50	6.70	6.30	65.00	30.00	73.00	70.00	15.20	2.10	26.00	6.30
3.57	13.00	12.20	6.70	6.35	52.50	31.00	75.00	75.00	15.00	2.05	25.50	5.00
3.48	13.30	12.20	7.35	6.90	49.50	31.00	75.00	75.00	14.00	1.80	24.50	4.30
3.68	13.10	12.10	6.98	6.55	46.00	29.50	75.00	72.00	12.30	1.55	24.00	5.10
3.48	13.00	12.20	6.80	6.38	43.00	31.00	75.00	72.00	12.50	1.40	23.00	4.30
4.06	12.40	11.50	6.61	6.17	41.00	32.00	73.00	71.00	12.00	1.35	23.00	5.00
4.36	12.60	11.50	6.77	6.31	37.00	31.00	73.00	79.00	11.50	1.35	23.00	3.80
3.33	12.00	11.50	7.07	6.59	40.50	30.00	69.50	78.00	11.00	1.35	22.50	5.00
3.82	12.60	12.00	7.10	6.62	41.00	30.00	63.00	60.00	11.00	1.30	22.50	4.70

大連勞

年月	大工	左官	石工	木挽	煉瓦積職	瓦職	錻力職	硝子職
10.7	3.00	4.00	4.00	3.00	3.00	2.00	3.00	4.00
8	3.00	4.00	4.00	3.00	3.00	2.00	3.00	4.00
9	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20	2.80	3.20	2.80
10	3.80	4.00	3.80	3.80	3.80	3.20	3.80	3.20
11	4.50	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	3.80
12	4.80	5.00	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	3.80
11.1	3.20	3.80	3.20	3.20	3.20	3.00	3.00	3.00
2	3.30	3.80	3.50	3.20	3.20	3.00	3.00	3.00
3	3.50	4.00	3.50	3.30	3.50	3.20	3.20	3.00
4	3.70	4.50	3.70	3.50	3.70	3.40	3.40	3.00
5	3.70	4.50	3.70	3.50	3.70	3.40	3.40	3.00
6	4.20	4.25	4.05	4.25	3.90	3.30	3.50	3.15

大連勞

年月	大工	左官	石工	木挽	煉瓦積職	瓦職	錻力職	硝子職
10.7	2.00	1.50	2.00	1.50	2.00	1.00	2.00	2.00
8	2.00	1.50	2.00	1.50	2.00	1.00	2.00	2.00
9	1.20	1.00	1.50	1.20	1.30	1.20	1.20	70
10	1.50	1.80	1.70	1.70	1.80	1.30	1.50	1.00
11	2.00	2.50	2.00	1.80	2.00	2.00	2.00	2.00
12	2.00	2.80	2.00	1.80	2.00	2.00	2.00	2.00
11.1	1.00	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
2	1.20	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
3	1.30	1.80	1.50	1.00	1.30	1.30	1.20	1.00
4	1.50	2.00	1.50	1.50	1.50	1.40	1.40	1.20
5	1.50	2.00	1.50	1.50	1.50	1.40	1.30	1.20
6	1.80	1.90	1.60	1.40	1.70	1.65	1.50	1.30

働賃銀表（日本人）

鳶職	疊職	建具職	ペンキ職	鍛冶職	經師職	裁縫職	人夫	活版職
2.50	3.50	4.00	3.50	4.00	2.50	4.00	1.50	3.00
2.50	3.50	4.00	3.50	4.00	2.50	4.00	1.50	3.00
2.80	3.20	3.20	3.20	3.20	2.80	3.20	1.80	3.20
3.20	3.80	3.80	3.80	3.50	3.00	3.50	2.00	3.20
3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.50	3.80	1.80	3.80
3.00	4.50	4.20	4.00	4.00	3.80	3.80	1.80	3.80
2.50	3.20	3.20	3.00	3.00	3.00	2.80	1.50	2.50
2.50	3.20	3.20	3.00	3.00	3.00	2.80	1.50	2.50
2.80	3.30	3.50	3.50	3.20	3.00	3.00	1.70	2.50
3.00	3.20	3.50	3.60	3.50	3.00	3.00	2.00	2.80
3.00	3.30	3.50	3.50	3.50	3.20	3.20	2.20	3.00
3.15	3.55	5.95	4.05	3.50	3.30	3.25	2.25	2.75

働藥銀表（中國人）

鳶職	疊職	建具職	ペンキ職	鍛冶職	經師職	裁縫職	人夫	車夫	活版職
1.00	2.50	3.00	1.50	1.00	1.00	2.00	80	—	2.00
1.00	2.50	3.00	1.50	1.00	1.00	2.00	80	—	2.00
90	1.00	1.30	1.20	1.00	80	80	50	—	1.00
1.00	1.20	1.50	1.50	1.20	1.00	1.00	70	—	1.20
1.80	2.00	2.00	2.00	2.00	1.50	1.50	70	—	1.50
1.80	2.00	2.30	2.00	2.00	1.80	1.50	70	—	1.50
1.00	1.00	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00	50	—	1.00
1.00	1.00	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00	45	—	1.00
1.30	1.20	1.50	1.30	1.00	1.00	1.20	50	—	1.00
1.50	1.30	1.50	1.50	1.40	1.10	1.20	65	—	1.20
1.50	1.20	1.50	1.50	1.50	1.00	1.20	60	—	1.20
1.35	1.50	1.55	1.50	1.50	1.23	1.15	85	—	1.20

（六） 中國の商業組織

滿蒙に於ける中國の所謂商店組織は繁雜であるが大別して之を單獨經營及共同經營の二に區別さるゝ而して前者が後者に比し少きは中國商店組織の特長とも見るべきである現在滿蒙に於ける中國の商店中比較的資本の充實して大取引をなすものは山東、廣東、直隷、山西等の者の經營に係るものが多い然して共同經營卽合名若くは組合組織で且其出資の株式的なるものゝ一例を擧げて組織並に經營の梗槪を說明して見るに、資本主は財東又は東家と稱し營業支配人は之を掌櫃的と稱する之に第一、第二第三等の掌櫃的がある其の下に內櫃的、(勘定係)外櫃的(外廻兼庶務)、欄櫃上的(販賣係)、學賣買的(見習)大師傅(賄掛)打更的(夜番)等があつて其數は營業の種類により同一でないが中國人間には店員數の多きを以て誇りとする觀念がある。

上述せる如く東家は資本主の謂で商店設立の如何によつては東家、股東、財東、領東等の稱呼があるけれども股東とは株式會社に於ける株主又は合名及合資組織に於ける社員を意味する、財東とは所謂資本家の意で單に資本を貸與するものであり、領東とは自己の名義を以て他人の資本を使用して商賣するものである、其營業權は擧げて總辦に一任し特に重大な事件に對し掌櫃的より助言を求めらるゝ外は多くの場合干涉をしない、故に掌櫃的の權力は極めて重大であつて一見獨自經營の觀がある故に財東は掌櫃的を雇ふにあらずして特別に讃致して其任に當らしめる然し中には掌櫃的も亦資本の幾部分を提供して其任につくものもある掌櫃的は皆利益の分配卽吃分子を受ける組織になつてゐる。又出資の方法は大體二ある其一は現金を拂込むもので下に揭ぐる表中の股(又は錢股)であり他は身股と稱する勞力提供の二つである、決算期は三年又は五年を以て一期とするものもあるが小資本のものは一年一回で陰曆十二月末日より正月六日まで之をなす、然し他店との決濟は年末の外端午、中秋兩節に於て行はれて居る。

次に營業狀態に就て述べて見るに、上述せる如く店舗を經理する掌櫃的の下には、內櫃的（帳簿を司る事が本務であるが大概庶務會計を兼れてゐる）外櫃的（專ら市況を探査し出入の貨物に注意し、總ての外交的事務に當るが、自ら直接賣買取引を決する權能は有して居ない）又は櫃櫃上的(店頭にあつて來客に接し掌櫃的の命により賣買に從事するもの)其他學賣買的(店內の雜役に從ひ傍ら取引の消息を見習ふもの)等の分掌によつて營まれるのであるが、店頭には櫃臺と稱する高さ四尺幅二尺許りの臺があり其櫃上にあつて普通商事が行はれてゐる、掌櫃的なる名稱も所謂此櫃を掌る事に由來したものである、而して中國の商舖は一般に黃昏時の點燈と同時に店先を閉ぢ、夜間の賣買をなさゞる風がある、然し滿鐵沿線の大市街には夜間も尙開店して居るのを見受くる。又中國の大小各商店は一切女子を使用しない風があつて商家は陰曆十二月末日から全市戶を閉ぢ休業し、翌年正月五日に至る六日間は全然取引を停止し六日より漸く開店するが、之とても十五日卽ち元宵節までは僅に午前半日位であつて、十六日から始めて平常に復して營業するのが例になつてゐる、尤も近來は十二月末日になつても尙營業して居るのを見受ける、かくの如く中國商舖の休日は以上の通りであるが以上の外、五月五日の端陽節、八月十五日の仲秋節の兩度には半日づゝ休む、但し藥房(藥屋)は四月二十八日なる藥王祭日に戶を閉ぢて休業し、一日宴飮流遊する、又染坊(染物屋)は九月九日の重陽節を祭缸と稱し終日宴飮し又燒鍋（高粱酒製造商舖)は三伏の暑中に地方により三、四週間休業する處もある。

次に中國商舖に於ける利益分配は議單なる定款により、多くは財東(資本家）六分、雇傭人四分位の割合である、而して決算は普通三年に一回であるが、每年末には掌櫃的以下の店員に對し勞銀と稱する吾國の賞與金の如きものを給與する、是は資本の多少、利潤の大小により異るけれども大商舖の普通の給與高は大掌櫃的六百元、第二掌櫃的三百元、以下の店員は二百三四十元から二十元位である。然し小商店は每年末決算するので、從て此勞銀なるものゝ給與がない。

公　司　營

地方	類別	農業			工業		
		公司數	拂込資本金	積立金	公司數	拂込資本金	積立金
			円	円		円	円
奉天	股分	2	2,600,000	—	—	—	—
	股分有限	7	152,540	13,600	3	92,475	5,300
	合資有限	3	66,000	3,775	5	86,300	—
	無限	—	—	—	—	—	—
	未詳	—	—	—	—	—	—
	計	**12**	**2,818,540**	**17,375**	**8**	**178,775**	**5,300**
吉林	股分有限	5	1,556,600	8,900	15	2,357,200	35,952
	合資	1	75,000	—	—	—	—
	合資有限	1	105,000	—	3	400,000	46,500
	無限	1	22,600	—	3	300,000	12,770
	未詳	—	—	—	2	24,000	300
	計	**8**	**1,759,200**	**8,900**	**23**	**3,081,200**	**95,522**
黑龍江	股分有限	1	69,400	—	2	15,500	—
	合資有限	—	—	—	—	—	—
	計	**1**	**69,440**	—	**2**	**15,500**	—
熱河	未詳	—	—	—	1	150,000	—
綏遠	未詳	—	—	—	—	—	—
察哈爾	股分	7	205,000	—	—	—	—
	股分有限	1	299,850	—	—	—	—
	無限	—	—	—	1	117,785	—
	計	**8**	**504,850**	—	**1**	**117,785**	—

業類別（民國七年）

商業			水陸運輸業			計		
公司數	拂込資本金	積立金	公司數	拂込資本金	積立金	公司數	拂込資本金	積立金
2	円 290,000	円 —	—	円 —	円 —	4	円 2,890,000	円 —
—	—	—	—	—	—	10	245,015	18,900
3	147,000	—	30	142,900	23,265	41	442,200	27,040
—	—	—	4	4,000	850	4	4,000	850
1	50,000	13,475	28	23,500	3,958	29	73,500	17,433
6	**487,000**	**13,475**	**62**	**170,400**	**28,073**	**88**	**3,654,715**	**64,223**
9	384,700	3,946	1	87,360	—	30	4,385,860	48,793
—	—	—	—	—	—	1	75,000	—
—	—	—	—	—	—	4	505,000	46,500
—	—	—	—	—	—	4	322,600	12,770
1	20,000	—	—	—	—	3	44,000	300
10	**404,700**	**3,946**	**1**	**87,360**	—	**42**	**5,332,460**	**103,368**
3	765,572	—	1	50,000	—	7	900,512	—
1	30,000	—	—	—	—	1	30,000	—
4	**795,572**	—	**1**	**50,000**	—	**8**	**930,512**	—
2	16,088	—	—	—	—	3	166,088	—
1	50,000	—	—	—	—	1	50,000	—
—	—	—	—	—	—	7	205,000	—
—	—	—	—	—	—	1	299,850	—
—	—	—	—	—	—	1	117,785	—
—	—	—	—	—	—	9	622,635	—

(七)中國側商業機關

1 商會の沿革

中國に於ける商會は我國の商業會議所に相當する商人相互の福利を增進する機關であつて時に官憲の税捐徵收を請負ひ官に代りて、各關門に人を派し出入貨物に對し一々徵税し月々其額を官憲に報告する機關である。

又滿鐵は同附屬地内に於ける之等の團體に對し商務總會通則を定め一般商工業の發達と商工業者の親和を圖る事を以て目的として居る。

然して商務會は滿鐵附屬地内の一定の地區を限るもので法律上法人ではない。尙此通則に據らない商務會も多數ある。

附屬地外の商務會は民國になつてから條令の改正と共に商會と改められたが由來此制度の起源は淸朝末に於て對外的經濟關係が繁くなつた爲め起れる一機關である卽ち光緒二十八年上海に始めて洋式のものを見又滿洲に於ても長春には寬城子の建設と同時に公議所と云ふものが生じ又營口にも咸豐年間に公議所が生れた、然るに光緒二十九年十一月商會簡明章程が發布せられ次で民國三年九月商會法が公布せらるゝに至り玆に商務總會及商務分會等に改められたのである又滿鐵附屬地に生じた公議所も上掲せる滿鐵附屬地商務會通則の施行により商務會に改められた

2 商會の組織及配置

設　立　全國商會聯合會、總會聯合會より組織す

總商會 (1) 各地方最高行政長官所在地 (2)工商業地中の大商埠

商　會 (1) 各地方行政長官所在又は所屬地にして工商業の繁盛なるもの (2) 同一行政區域に兩商會を設置する必要ありて農商部の認可を認たるもの (3) 兩行政區域に跨り特別に商會を設置する必要ありて農商部の認可を經たるもの

發起人　總商會　該區域内にて會員の資格に合するもの 五十人以上あるべきこと

商　會　同上三十人以上あるべきこと

會員資格　範圍 (1) 公司の本店又は支店の職員にして公司の經

理人たるもの (2) 各業の推出せる組合理事にして各業の經理人たるもの (3) 自己が獨立して工商業を經營し又は商工業の經理人たるもの

凡そ總商會商會々員は人數を限らず該區域内の中華民國の男子にして以上の資格を具有する者を以て限りとす

制　限 (1) 公權を褫奪せられたるもの (2) 破産の宣告を受け確定後未だ撤回されざるもの (3) 精神病者

凡そ以上各項の一に該當するものは資格に合すと雖も總商會、商會の會員たることを得ず

職員定數　總商會 (1) 會長一人 (2) 副會長一人 (3) 役員三十乃至六十人 (4) 特別役員、役員全數の五分一を越ゆるを得ず

商　會 (1) 會長一人 (2) 副會長一人 (3) 役員十五人乃至三十人 (4) 特別役員　役員の五分一を越ゆるを得ず

選擧及任期　職　員 (1) 會長、副會長は役員より投票互選す (2) 役員は會員より投票選擧す (3) 特別役員は役員より資力又は商工業の學術、技藝、經驗に富む者を選擧して之に充つ

會　員 (1) 均しく選擧權及被選擧權を有す (2) 被選擧權を有する者の年齡は三十歳以上たるべし (3) 一選擧人は一選擧權を有す (4) 選擧は記名投票法を用ひ選擧人自ら之を行ふ

任　期 (1) 會長副會長役員は均しく二年を以て一任期とす (2) 中途に補充するものは前任者の任期を按じて通算すべし (3) 任期滿了後再被選者は一回連任するを得

會　議　分　類 (1) 定期會議　年會及職員會 (2) 特別會議

會　期 (1) 年會　每年一回 (2) 職員會　每年二回 (3) 特別會議は定限なし

決　議 (1) 章程の變更 (2) 職員の退職除名及被選擧權の停止 (3) 清算人の選任及清算人の選任及清算に關する事項の決議

以上の各項は會員三分二以上の出席あり出席者の三分二以上の同意を得て始めて決議するを得但し第一項の決議は農商部の認可の經第三項の決議は地方最高行政長官の認可を經るに非ざれば效力を有せず。

今東三省及蒙古に於ける商會の配置を示せば下の如くである。

東三省及蒙古に於ける商會一覽 （民國七年末調）

地方	商會名稱	設立年月	會董數	會員數	一年間經費狀況 收入總額	支出總額
奉天	懷德縣公主嶺商會	宣 1. 3	28	—	円 820	円 820
	義縣商會	〃 1. 3	14	14	9,850	9,880
	本溪湖商會	〃 1. 9	17	120	1,308	1,308
	興城縣商會	〃 1.10	15	120	1,500	2,000
	洮南縣商會	〃 1.11	18	80	12,646	12,616
	黑山縣新立屯商會	〃 2. 2	18	98	4,978	4,978
	盤山縣商會	〃 2. 3	20	30	1,260	1,269
	桓仁縣沙尖鎭商會	〃 2. 6	30	185	6,050	6,050
	蓋平縣熊岳城商會	〃 2. 8	15	52	1,950	1,950
	寬甸縣長甸河商會	〃 3. 1	15	44	1,000	1,000
	撫順縣商會	〃 3. 6	15	50	1,665	1,672
	臨江縣商會	〃 3. 6	20	25	6,619	7,293
	錦縣天橋廠商會	民 1. 4	18	55	810	635
	臨江縣八道江鎭商會	〃 5. 7	32	67	2,357	2,357
	遼陽縣立山商會	〃 6 7	16	30	1,500	1,800
	安圖縣商會	〃 7. 8	16	43	735	735
	遼源縣通遼鎭商會	〃 7. 9	16	37	830	830
	撫松縣商會	〃 7.10	19	48	937	937
	安廣縣商會	〃 7.	4	20	900	900
	開原縣商務分會	光 23. 4	90	77	8,500	8,500
	懷德商務分會	〃 32.10	12	40	1,750	1,750
	西豐縣商務分會	〃 32.10	26	600	7,200	7,200
	彰武縣商務分會	〃 33.	10	3	396	396
	康平縣商務分會	〃 34. 9	10	32	1,870	1,870
	開通縣商務分會	宣 3. 7	15	30	200	200
	雙山縣商務分會	民 2.11	19	20	7,500	7,500
	計		1,266	6,623	348,262	389,550
吉林	吉林總商會	光 32.10	36	50	16,800	16,830

地方	商會名稱	設立年月	會董數	會員數	一年間經費狀況	
					收入總額	支出總額
吉林	長春總商會	光 33. 8	36	776	円 25,435	円 25,435
	賓爾哈總商會	〃 34.11	32	—	7,589	7,094
	伊通縣商會	〃 32. 6	16	49	3,675	3,675
	依蘭縣商會	〃 33. 6	18	59	6,380	6,405
	五常縣商會	〃 33.10	15	119	3,367	3,367
	扶餘縣商會	〃 33.12	15	43	15,000	15,500
	寧安縣東京城鎭商會	〃 34.11	18	112	1,300	126
	琿春縣商會	〃 34	40	550	2,840	2,845
	阿城縣商會	〃 34. 3	16	292	7,121	7,790
	楡樹縣商會	〃 34. 3	22	120	1,800	1,625
	延吉縣商會	〃 34. 7	30	193	1,360	1,970
	磐石縣商會	〃 34.10	14	42	4,822	4,722
	双城縣商會	〃 34.10	16	163	8,748	8,748
	東寧縣商會	宣 1. 1	15	58	4,712	5,570
	同江縣商會	〃 1. 2	8	12	—	—
	敦化縣商會	〃 1. 4	14	80	2,875	1,997
	同賓縣商會	〃 1. 5	20	75	2,850	2,850
	寧安縣商會	〃 1. 5	20	108	5,456	4,930
	賓縣商會	〃 1.11	24	325	9,800	9,600
	長嶺縣商會	〃 2. 6	39	23	990	1,823
	額穆縣商會	〃 2. 9	15	30	144	142
	舒蘭縣商會	〃 2.10	18	65	1,039	1,073
	雙陽縣商會	〃 2.11	18	45	1,978	1,977
	方正縣商會	〃 2.12	15	50	2,712	2,712
	樺甸縣商會	〃 2.12	12	53	700	700
	德惠縣商會	〃 3. 4	16	68	1,854	5,224
	雙城縣拉林鎭商會	〃 3 12	16	46	2,000	2,000
	吉林縣烏拉鎭商會	—	19	155	3,721	3,752
	農安縣商會	—	14	50	13,600	13,600

地方	商會名稱	設立年月	會董數	會員數	一年間經費狀況	
					收入總額	支出總額
吉林	德惠縣商會	民 2. 1	25	98	円 1,845	円 1,930
	富錦縣商會	〃 2. 3	16	95	4,850	6,558
	樺川縣商會	〃 3.	16	69	2,584	2,460
	穆稜縣商會	〃 3. 6	30	97	1,544	1,519
	寶淸縣商會	〃 5. 7	12	30	1,200	1,200
	和龍縣商會	〃 6. 2	25	120	480	514
	汪淸縣商會	〃 6. 5	20	80	837	351
	吉林縣誠信鎭商會	〃 7. 9	17	30	725	730
	計 38		739	4,232	174,148	178,824
黑龍江	黑龍江總商會	光 32. 4	30	760	6,875	7,637
	巴彥縣興隆鎭商會	〃 30. 8	22	45	6,248	1,248
	綏稜縣商會	〃 32. 2	15	—	3,355	3,355
	呼蘭縣商會	〃 32. 9	16	41	5,071	4,769
	綏化縣商會	〃 33. 4	19	50	6,250	5,500
	慶城縣商會	〃 34. 8	2	15	4,452	4,452
	巴彥西集廠	宣 1. 7	22	55	2,710	4,520
	巴彥縣商會	〃 1. 7	28	96	2,404	2,404
	拜泉縣三道鎭商會	〃 1.	22	53	3,000	3,000
	璦琿縣黑河商會	〃 1. 11	28	420	2,769	2,905
	靑岡縣商會	〃 2. 1	15	50	567	150
	望奎縣商會	〃 2. 2	15	36	4,533	5,027
	訥河縣商會	〃 2. 7	15	49	1,319	1,224
	蘭西縣商會	〃 2. 8	15	98	4,965	4,513
	拜泉縣商會	〃 2. 11	20	250	9,156	8,187
	嫩江縣商會	〃 3.	11	—	3,000	3,000
	璦琿縣商會	〃 3. 6	18	40	896	987
	湯原縣商會	〃 3. 10	17	67	988	988
	肇州縣商會	民 1.	24	320	695	695
	滿州里縣商會	〃 1. 3	20	325	2,145	1,980

地方	商會名稱	設立年月	會董數	會員數	一年間經費狀況	
					收入總額	支出總額
黑龍江	漠河縣商會	民 2. 1	15	15	円 ?	円 ?
	呼瑪縣商會	〃 1.10	15	67	?	?
	肇東縣商會	〃 2. 5	11	150	2,450	2,520
	烏雲設治局 烏雲鎭商會	〃 3. 4	18	24	762	738
	大賚縣商會	〃 4. 4	18	72	2,409	2,409
	克山縣商會	〃 4. 8	22	?	2,601	3,504
	泰來縣商會	〃 4.10	20	80	1,787	1,822
	克山克山鎭商會	〃 6. 3	11	22	2,110	2,220
	龍北縣商會	〃 6. 4	10	9	1,700	1,700
	計 29		514	3,209	80,217	81,454
熱河	熱河總商會	光 32. 6	41	60	2,310	2,668
	赤峰縣商會	〃 34. 6	28	250	1,597	1,619
	經棚縣商會	〃 34. 8	15	17	6,000	6,000
	平泉縣商會	〃 34. 8	30	150	2,400	2,400
	凌源縣商會	〃 34.11	30	380	1,300	1,300
	綏東縣商會	宣 1. 2	10	30	?	?
	建平縣商會	〃 1. 4	30	30	1,200	1,200
	阜新縣商會	〃 2.	32	70	1,500	1.500
	圍場縣商會	〃 2.	30	55	700	700
	開魯縣商會	〃 2. 4	10	21	1,200	1,200
	林西縣商會	〃 3. 8	30	88	6,000	6,000
	豐寧縣商會	〃 3.	10	37	300	330
	隆化縣商會	民 2. 1	16	41	1,500	1,500
	朝陽縣商會	〃 4.11	30	40	2,800	2,800
	灤平縣商會	〃 4.12	25	30	?	?
	圍場天寶山商會	〃 5.	30	30	900	900
	計 16		403	1,329	29,707	30,061
綏遠	綏遠總商會	民 1. 8	12	46	15,326	15,269

地方	商會名稱	設立年月	會董數	會員數	一年間經費狀況	
					收入總額	支出總額
綏遠	薩拉齊縣商會	光 30	27	134	円 9,700	円 10,500
	同縣包頭鎮商會	〃 30. 3	34	473	49,067	49,067
	托克托縣商會	民 1. 8	18	8	2,100	2,100
	同縣河口商會	〃 1. 8	24	60	1,540	1,540
	武川縣商會	〃 2. 9	4	24	?	1,380
	清水河縣商會	〃 3. 9	4	20	?	?
	五原縣商會	〃 4. 4	10	?	10,000	10,000
	和林格爾縣商會	〃 7. 6	16	15	1,000	1,000
	計 9		149	780	88 733	90,856
察哈爾	多倫縣商會	光 30.	28	870	2,203	2,323
	豐鎮縣商會	宣 2.	28	400	1,000	1,000
	涼城縣商會	民 1.	10	8	200	206
	興和縣商會	〃 1. 12	4	16	10,100	20,800
	陶林縣商會	民 1.	8	?	?	7,000
	計		78	1,294	13,503	31,323

（八） 中日合辦事業

滿蒙殊に南滿及東部蒙古の地域は地理的歷史的に我國と特殊の關係にある從つて單に合辦事業の見地よりする時は其數に於て又其規模に於て他國の比嚋を許さない狀態にある。然れ共邦人の滿蒙に於ける經濟的發展、日華經濟提携の見地よりする合辦事業の現狀は大に悲觀すべき立場にある、卽ち現存會社其他の合辦企業の成績は他の會社に比して良好であると言ふ事が出來ない、殊に形式的合辦必要的合辦等に囚はれてゐる企業形態に於て成績の擧らないのを見る、加之目下懸案中である合辦會社は數十を算し奉天瀋陽馬車鐵道會社の撤廢竝に奉天電鐵、哈爾賓電鐵、興發公司、安東電燈其他鑛業合辦にして多年の懸案となれるもの甚だ多いけれ共悉く行惱の狀態にある。然して現在滿蒙に於ける日華合辦事業は鑛山採木電氣、銀行信託業、農業、倉庫、運送、交通製造工場等總ての方面に亘るもので就中鑛山業、採木業、電氣事業、取引信託業等が主である今滿蒙に於ける主なる合辦事業を示せば下の如くである。

合辦事業一覽表

種類	名稱	所在地	資本額
合辦鑛業	本溪湖煤鐵有限公司	本溪湖炭鐵鑛	円 7,000,000
	振興鑛無限公司	鞍山站一帶鐵鑛	140,000
	弓張嶺鐵鑛無限公司	弓張嶺以下三鐵鑛	1,000,000
	錦西煤鑛有限公司	大窰溝龍尾把	兩 3,000,000
	天寶山銀銅鑛	延吉縣	円 500,000
合辦木材事業	豐材股份有限公司	長春	円 5,000,000
	興林造紙股份有限公司	吉林	5,000,000
	華森製材公司	吉林	2,000,000
	富寧股份有限公司	吉林	1,000,000
	黃泉採木有限公司	吉林	4,000,000
	中東海林實業公司	哈爾賓	3,000,000
	中東製材股份有限公司	哈爾賓	500,000
	哈爾賓製材株式會社	哈爾賓	100,000
	鴨綠江採木公司	安東	元 3,000,000
	鴨綠江製材無限公司	安東	1,000,000
	札免採木公司	哈爾賓	6,000,000
合辦電氣事業	普蘭店電燈株式會社	普蘭店	円 300,000
	瓦房店電燈株式會社	瓦房店	50,000
	貔子窩電燈株式會社	貔子窩	55,000
	營口水道電氣株式會社	營口	2,000,000
	遼陽電燈公司	遼陽	120,000
	奉撫送電所鐵嶺電燈局	鐵嶺	260,000
	四平街電燈株式會社	四平街	50,000
	公主嶺電燈株式會社	公主嶺	50,000
	范家屯電氣株式會社	范家屯	200,000
	北滿電氣株式會社	哈爾賓	1,200,000
合辦銀行	正隆銀行	大連	20,000,000

種類	名稱	所在地	資本額
合辦銀行	龍口銀行	大連	円 11,000,000
	遼東銀行	大連	3,000,000
	旅順銀行	旅順	1,500,000
	東華銀行	瓦房店	3,000,000
	振興銀行	營口	1,000,000
	福申銀號	營口	100,000
	南滿銀行	鞍山	1,500,000
	奉天銀行	奉天	5,000,000
	中日銀號	本溪湖	300,000
	協成銀行	安東	1,000,000
	滿洲商業銀行	安東	2,275,000
	日華銀行	鐵嶺	1,000,000
	開原銀行	開原	1,000,000
	范家屯銀行	范家屯	100,000
合辦取引所並取引所信託株式會社	哈爾賓取引所	哈爾賓	10,000,000
	大連取引所信託株式會社	大連	3,000,000
	營口取引所信託株式會社	營口	2,000,000
	遼陽取引所信託株式會社	遼陽	500,000
	鐵嶺取引所信託株式會社	鐵嶺	500,000
	開原取引所信託株式會社	開原	2,000,000
	四平街取引所信託株式會社	四平街	500,000
	公主嶺取引所信託株式會社	公主嶺	500,000
	長春取引所信託株式會社	長春	1,000,000
其他の諸合辦會社	日華證券信託株式會社	大連	5,000'000
	東亞土木企業株式會社	大連	5,000,000
	株式會社日華油房	小崗子	1,000,000
	西崗信託株式會社	小崗子	1,000,000
	南滿建物株式會社	大連	1,000,000
	滿洲運輸株式會社	大連	10,000,000

種類	名稱	所在地	資本額
其他の諸合辦會社	大連醬油株式會社	大連	円 2,000,000
	東亞圖書株式會社	大連	500,000
	滿蒙殖產株式會社	大連	5,000,000
	大連電影株式會社	大連	1,000,000
	中華製粉株式會社	大連	5,000,000
	中和糧棧株式會社	大連	100,000
	大連市商興株式會社	大連	500,000
	華東信託株式會社	大連	1,500,000
	大連運輸株式會社	大連	1,000,000
	東海運輸株式會社	貔子窩	50,000
	貔普自動車株式會社	普蘭店	40,000
	南滿信託株式會社	瓦房店	500,000
	滿洲物產株式會社	營口	1,000,000
	滿蒙毛織株式會社	奉天	10,000,000
	東省實業株式會社	奉天	3,000,000
	滿洲企業株式會社	奉天	200,000
	株式會社三林公司	奉天	200,000
	滿蒙證券株式會社	奉天	5,000,000
	中日商辦瀋陽馬車鐵道股份有限公司	奉天	140,000
	撫順市場株式會社	撫順	100,000
	溪城鐵路公所	本溪湖	540,000
	本溪湖杭木株式會社	本溪湖	300,000
	中日合辦屠獸場	安東	15,000
	鴨綠江中日合辦渡船組合	安東	7,100
	開原市場株式會社	開原	100,000
	亞細亞製粉株式會社	開原	3,000,000
	開原中和株式會社	開原	100,000
	開原鐵業株式會社	開原	100,000
	開原新報社組合	開原	100,000
	興發公司	錢家店	4,000,000

種類	名稱	所在地	資本額
其他の諸合辦會社	公濟號(正志農場)	白音太拉	円 不明
	招墾公司	白音太拉	不明
	公主嶺精米株式會社	公主嶺	100,000
	長春運輸株式會社	長春	500,000
	株式會社長春倉庫	長春	300,000
	東三省濟農株式會社		100,000
	中日惠通錢號	長春	100,000
	合資會社長春實業糧棧	長春	80,000
	合資會社實業煙店	吉林	100,000
	吉林倉庫金融株式會社	吉林	200,000
	中日合辦三國鐵道公司	吉林	2,000,000
	哈爾賓競馬場	哈爾賓	1,000,000
	株式會社北滿庫倉	哈爾賓	500,000
	哈爾賓建物株式會社	哈爾賓	2,000,000
	北滿興業株式會社	哈爾賓	2,000,000
	東亞商業株式會社	哈爾賓	500,000
	寧安興業株式會社	寧古塔	300,000
	日滿公司	一面坡	50,000
	黑龍江省沁鎮農場	黑龍江省吉沁 河南杏三杏屯	16,000

第十三　工　業

1. 概　　況

舊來滿洲には農産加工業たる搾油、釀造、製粉等の外製紙、染織、鞣皮等の工業があつたとは言へ何れも人力又は畜類の動力に依る幼稚小規模のものに過ぎなかつたが鐵道の布設に伴なふ近々十數年來諸般の開發と共に漸次機械力並に化學力を應用する工業の發達を來し殊に歐洲大戰以來經濟界の好況と共に其發達も大なるものがあつた。

如斯滿洲の工業は僅々十數年間に著大の發達を示したとは言ふものの工業の類別から見るときは依然として農產本位の製油、製粉工業を其大宗とし兩工業の賑盛なのに似ず他の工業に滿鐵の工業等二、三の例外を除きては今尚左程見るべきものがないと言はればならぬ。併し滿洲の天與資源は各種の工業原料供給に於て充分なる潜勢を保有するのと燃料の豐富及勞力の低廉なることとは發達の道程にある滿洲工業の前途に對し大なる光明を與へるものである。

2. 關東州及鐵道沿線の工業

滿洲の新式工業は鐵道沿線に集中して居る關係上關東州及鐵道沿線の工業は殆ど滿洲の全工業と見ることが出來る而して其內主なる工業は前述の通り製油、製粉の二工業で製鐵、釀造、製瓷、柞蠶製絲、燐寸、鐵工業、皮革、製紙、織物、石鹼、硝子、煉瓦製造等が之に次ぎ化學電氣等の工業も將來發達の可能性を有し又最近紡績業の企畫もあり滿洲の工業は玆に黎明期に入つたと云ふ事が出來る。

(一) 油 脂 工 業

1. 油　房　業

發達の經路　中國人が植物性油脂を食料に供し或は燈火用として使用したのは古くよりの習慣で、從て大豆を壓搾して採油する方法は到る處で小規模に行はれ、一般地方的需要を充たしつつあつたが其製油法たるや頗る幼稚で原始的設備たるを免れなかつた。然るに近年豆油は世界的需要を喚起し盛んに歐米に向つて輸出せらるゝのみならず、豆粕は低

廉にして有效な肥料として日本內地を始め南支其他の方面に盛に需要されたので大に油房事業の勃興を促し、斯業の改良發達を助長した爲め、漸次機械油房の設立を見るに至つた。

最初營口は遼河の水運の恩惠に依り滿洲に產出せらるゝ物資の集中地となり輸出入貿易の中心地であつた。從て同地に於ける油房業も相當古くから建設せられ、日淸戰爭前後早くも三十餘戶の油房を見たが、當時は孰れも驢馬を使役し石臼を以て大豆を壓碎しそれを蒸したものに楔を打込み壓搾採油する舊式のものに過ぎなかつた、然るに同戰役後英商太古洋行は斯業の將來に對し大に著目する處あり、蒸汽機關ローラーを据付け手推螺旋式を以て搾油する方法を創設した。之れ恐らく滿洲に於ける機械油房の嚆矢と稱するを得る。其後日露戰後日本人の渡滿者中にも油房事業に著眼する者鮮からず、戰役後間もなく小寺壯吉氏は營口に水壓式油房を設立するに至つた。同氏は實に日本人經營の油房業者としてはその鼻祖である。次いで日本が露國に代りて南滿鐵道を經營するに當り大連を以て滿洲輸出入貿易の中心港たる計畫を立て、着々其の施設の實現に努めた結果、商港として遂に營口の繁榮を凌駕するの勢を以て發展したので大連にも油房の實現を見るに至つた。大連に最初油房を開設したのは明治三十九年開業の雙和棧油房で次ぎは明治四十一年滿鐵會社が其の運輸政策の上より海港發著特定運賃制度に施行するや日本人側よりも油房經營者相繼ぎ、先づ三井物產は中國人との合辦事業として三泰油房を興し、それと前後して大倉組も亦橫濱の松下久次郞氏と共に日淸油房を設立し、營口の小寺油房亦大連工場を設け次いで齋藤久太郞氏の油房建設を見るに至り、數年ならずして日支人の油房開設の數は二十餘戶の多きに達し爾來年と共に發達し今日に於て六十餘戶の盛況を見るに至りたのである。

此の外日露戰爭當時の滿洲各地の狀況を顧るに鐵道運輸の便を借り海外輸出の有望なるに促されて、奉天の如きは旣に五十戶の油瓦があつて豆粕一箇年の製造高百五十萬枚の生產あり、次ぎに遼陽の二十五戶、豆粕一箇年の生產高一百萬枚に上つたと稱せられて居る。而して滿鐵の特定運賃制度の實行せられなかつた以前にあつては鐵嶺、開原、四平街、長春等孰れも油房の設立を見たが、一度大連の勃興を見るや總て同地に其勢力を奪はれ、明治四十二年前後に於ては各地の油房續々廢業或は移轉するに至つた。

斯の如く大連が沿線各地を壓して獨り顯著な盛況の氣運に向つたのは鐵道の特定運賃制度が同地のために頗る有利なりしは勿論なりと雖も歐洲戰爭の結果滿洲の生產物並に其加工品が世界の需要に應じて海外輸出を促進するの機會に投じたのも亦其一大原因である。大連に亞で本業の盛なのは原料の主要產地たる哈爾賓で二十餘戶を有し其他遼陽、奉天安東、鐵嶺、開原を主とし沿線各地に分布して機械油房の總數實に二百戶に上り一日の製造能力豆粕約八千噸（豆油は粕四十六斤物一枚に對し平均五斤を得）の多きに達し豆油及粕の世界的給源として滿洲工業の主位を占めて居る現在滿洲に於ける油房業の配置、製造能力及び大正十年中製造高の判明せるものは別表の通りである。

成品の用途及主なる輸出先　1.大豆油　主なる用途は石鹼原料で其他食用、洋蠟、ソーライト、トラスト、タンタルス、ペイント、ワニス、リノリユーム防水塗料、堅護謨代用品、機械油、人造牛酪サラド油、漬鰮油グリセリン、ラード代用品等甚だ廣く主なる輸出先は歐米方面である。

2.豆　粕　肥料、家畜飼料、菓子用、雜穀代用のみならす燃料としても用ひられる主なる輸出先は日本である。

滿洲各地油房明細表

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆柏	豆油
旅順	華信油房	3,500	大 9. 8	—	枚 28,230	斤 137,645
大連	鈴木油房	50,000,000	大 4. 9	斤 160,000	撒粕 斤 16,325,996	3,149,963
	裕豐泰油房	150,000	〃 4. 4	枚 2,600	枚 1,992,000	498,000
	福元油房	300,000	明 43. 8	2,600	365,000	1,460,000
	義順甡油房	30,000	大 3. 3	1,600	496,000	1,984,000
	三大利油房	60,600	明 43. 5	1,500	340,000	1,615,000
	安惠棧油房	200,000	〃 42. 5	2,100	458,000	1,832,000
	雙聚福油房	150,000	〃 42. 4	1,500	192,000	768,000
	義祥油房	100,000	大 8. 4	1,000	347,550	1,390,200

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高	
					豆粕	豆油
大連	萬慶昌油房	400,000	大 1.10	4,400	592,000	236,000
	亨祥裕油房	100,000	〃 8. 4	2,000	502,030	2,008,120
	三泰油房	300,000	明 45. 5	5,000	1,302,750	6,664,300
	福順厚油房	150,000	大 8.10	4,000	647,000	3,000,800
	同聚永油房	100,000	〃 2.11	1,700	334,100	1,336,400
	廣永茂油房	100,000	〃 2. 9	3,200	386,000	1,576,000
	新順洪油房	170,000	明 44.12	2,500	565,500	2,293,000
	興業油房	20,000	大 9. 8	700	60,000	124,000
	安盛和油房	200,000	明 41.	1,500	467,000	1,888,000
	大信洋行油房	200,000	大 10.11	3,200	24,000	96,000
	加藤油房	1,000,000	明 44.10	4,200	942,502	4,829,000
	日華油房	1,000,000	大 9. 2	1,600	343,610	1,756,887
	小寺油房	200,000	〃 4. 3	4,200	840,000	4,200,000
	福祥油房	12,000	〃 10. 9	2,000	24,000	96,000
	達昌油房	10,000	明 44.11	1,300	362,000	1,448,000
	公成玉油房	100,000	〃 41. 3	1,100	178,000	885,500
	德聚濃油房	80,000	〃 42.10	1,600	467,000	1,868,000
	和生祥油房	100,000	大 1.11	1,600	287,000	1,148,000
	福順厚支店油房	200,000	〃 8.10	1,700	647,000	3,008,000
	德興成油房	60,000	〃 3. 9	1,400	333,000	1,650,000
	成順和油房	120,000	明 44. 8	1,400	490,000	1,960,000
	福順義油房	150,000	大 8.10	2,000	639,300	2,637,200
	玉昌合油房	110,000	明 43. 8	1,000	395,490	2,052,217
	聚成祥油房	300,000	大 2. 9	2,800	420,000	1,680,000
	同聚祥油房	150,000	明 42. 2	2,500	768,400	3,457,800
	泰來油房	120,000	〃 41. 3	1,000	373,000	1,492,000
	晉豐油房	200,000	大 3.10	3,200	682,500	2,730,000
	東永茂油房	50,000	明 43. 5	2,700	768,000	3,532,800
	忠興福油房	200,000	大 8. 9	1,800	555,425	2,221,700

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆粕	製造高 豆油
大連	大連製油株式會社	3,000,000	大 7. 9	5,000	618,638	3,030,809
	日清製油株式會社	6,000,000	明 41.12	7,000	937,810	5,796,360
	成裕昌油房	350,000	〃 43.10	3,200	855,000	3,420,000
	大連油脂工業株式會社	1,000,000	大 9. 2	3,000	432,673	1,832,355
	乾聚和油房	700,000	〃 3. 4	2,600	680,000	2,600,000
	恒昇油房	800,000	明 43.12	1,200	252,000	1,108,800
	同聚厚油房	350,000	大 1.10	1,800	485,230	1,940,920
	豐成油房	50,000	明 44.10	2,100	562,000	2,248,000
	裕泰油房	100,000	大 6. 1	1,000	496,400	2,486,400
	同聚洽油房	175,000	〃 2.11	1,200	390,000	1,560,000
	萊永春油房	150,000	〃 4. 1	1,000	222,000	888,000
	天和成油房	200,000	明 42. 9	1,000	447,700	2,545,100
	福聚恒油房	80,000	大 3. 2	1,200	288,000	1,152,000
	中日油房	150,000	〃 10.12	3,800	128,578	579,560
	東亞油房	100,000	〃 10.12	2,808	75,000	301,000
	和泰油房	250,000	〃 10. 4	1,900	168,000	672,000
	大生蔚油房	130,000	〃 7. 6	1,500	481,000	1,924,000
	裕成東油房	160,000	明 42. 8	1,800	492,000	1,968,000
	裕豐成油房	150,000	大 2.12	1,200	297,200	1,478,000
	政興利油房	120,000	〃 5. 7	1,000	302,000	1,208,000
	恒昌公油房	130,000	明 42. 9	1,300	348,000	1,392,000
	天興福油房	500,000	〃 41.11	2,700	546,960	2,516,016
	同泰油房	120,000	〃 45.	1,200	24,000	1,008,000
	昇源油房	80,000	〃 44.12	2,000	400,000	1,800,000
	政記油房	150,000	〃 43.10	2,500	504,000	2,016,000
	怡順東油房	100,000	〃 42. 9	1,400	443,000	1,772,000
	計 63	71,987,000		136,608	16,425,996斤 29,464,346枚	124,016,207

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高	
					豆粕	豆油
金州	廣增盛	30,000	明 36. 1	120	9,970	56,400
	計 1	**30,000**		**120**	**9,970**	**56,400**
普蘭店	廣增油房	50,000	明 44.12	—	88,695	409,883
	益增油房	50,000	〃 40. 1	—	32,000	160,000
	福興油房	100,000	大 7.11	—	101,396	506,980
	春和興油房	50,000	〃 10.10	—	14,300	57,500
	益昌公油房	100,000	〃 10. 1	—	26,000	117,000
	順盛油房	50,000	〃 10. 1	—	64,000	320,000
	天和利油房	80,000	〃 10. 2	—	64,000	320,000
	寶生油房	50,000	〃 10. 3	—	36,000	165,000
	錦元油房	150,000	〃 10.12	—	9,200	45,000
	德元油房	20,000	〃 10.12	—	7,410	35,000
	德興東油房	20,000	〃 10.12	—	5,800	26,000
	興泰永油房	50,000	〃 10.10	—	10,000	41,000
	恒聚油房	50,000	〃 10.12	—	2,500	12,500
	同德成油房	100,000	〃 10.11	—	8,000	36,000
	新增合油房	15,000	〃 7.11	—	7,000	35,000
	計 15	**935,000**		—	**476,301**	**1,966,863**
貔子窩	德泰油房	15,000	大 9. 7	—	51,494	220,120
	福順油房	8,000	〃 9.10	400	61,400	275,000
	洪順成油房	20,000	〃 9.10	—	40,000	126,000
	永慶泰油房	15,000	明 44. 8	400	63,574	291,515
	聚興德油房	20,000	大 8.10	—	20,000	200,000
	興泰常油房	15,000	〃 7.10	400	53,943	215,826
	雲集祥油房	7,000	〃 3. 9	400	48,200	192,800
	福合油房	3,000	〃 5. 9	150	12,000	36,000
	元發成油房	20,000	〃 9.12	—	60,006	265,340

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆粕	豆油
雞子窩	福源棧油房	3,000	大 8.12	—	9,840	39,360
	協隆盛油房	10,000	明 21. 9	350	46,516	219,185
	新順永油房	10,000	〃 19.10	150	33,450	133,800
	計 12	**146,000**			**500,423**	**2,214,946**
瓦房店	東聚盛油房	50,000	大 8.12	—	66,207	300,641
	福春油房	20,000	〃 6. 2	250	56,000	250,000
	恰順油房	20,000	明 42. 7	300	59,000	253,988
	慶順油房	15,000	〃 44.11	280	35,835	161,390
	致和油房	4,000	〃 7.10	—	6,160	33,228
	計 5	**109,000**			**223,202**	**999,247**
得利寺	福全油房	30,000	大 6.10	—	40,855	192,630
	同泰油房	20,000	〃 2. 2	—	20,700	82,480
	計 2	**50,000**			**61,555**	**275,110**
松樹	全順福油房	18,000	大 4.10	—	48,930	100,832
	福源湧油房	15,000	〃 4. 1	—	32,470	129,129
	公興和油房	30,000	〃 7.11	—	44,680	150,969
	大和興油房	30,000	〃 8. 2	—	61,720	307,529
	公和隆油房	3,000	〃 6.11	—	3,160	14,025
	計 5	**96,000**			**190,960**	**702,484**
熊岳城	福順東油房	2,000	大 4. 7	—	6,763	31,455
	日泰公司油房	2,000	大 8. 8	—	7,165	32,505
	計 2	**4,000**			**13,928**	**63,960**
許家屯	義盛興油房	1,740	大 7.11	—	4,486	25,637
	忠盛德油房	2,609	〃 10.11	—	2,480	13,960
	計 2				**6,966**	**39,597**

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高	
					豆粕	豆油
營口	小寺油房	金1,600,000	明 39. 7	5,000	1,052,008	—
	長泰生油房	100,000	大 10. 9	1,000	54,975	—
	泰隆油房	50,000	〃 10. 9	1,200	54,020	—
	榮生德油房	奉票40,000元	〃 10. 9	1,600	75,850	—
	同益油房	金 200,000	〃 10. 9	1,600	79,245	—
	東惠興油房	1,000,000	〃 10. 9	1,600	106,050	—
	東永茂油房	銀 350,000兩	光 23	2,800	843,600	—
	玉盛發油房	〃 20,000	民 8.	1,200	188,560	—
	振義盛油房	〃 500,000	〃 9.	2,400	903,360	—
	義昌愼油房	〃 150,000	〃 9.	2,400	473,600	—
	義昌泰油房	〃 22,000	〃 7.	—	107,800	—
	西義順油房	〃 250,000	光 12.	800	283,200	—
	同合永油房	〃 20,000	民 7.	800	126,800	—
	興懋長油房	〃 200,000	宣 3.	1,200	244,600	—
	鴻發祥油房	〃 10,000	民 8.	800	155,600	—
	興源長油房	〃 20,000	〃 8.	1,600	141,400	—
	日新昌油房	〃 100,000	〃 10.	1,600	365,400	—
	興懋東油房	〃 50,000	〃 10.	1,200	170,800	—
	鴻興長油房	〃 220,000	〃 6.	800	154,800	—
	生記油房	〃 6,000	〃 5.	小 800	183,300	—
	裕長盛油房	〃 10,000	〃 2.	〃 500	107,600	—
	東盛福油房	〃 5,000	〃 10.	〃 500	57,010	—
	利豐德油房	奉 5,000元	〃 7.	〃 400	38,450	—
	計 23	4,928,000		大 29,600 小 2,200	5,568 418 394,560	—
遼陽	永盛增油房	小洋 35,000	光 31.	600枚	—	—
	義成和油房	80,000	〃 9.	800	—	—
	同義昌油房	35,000	民 5.	300	—	—
	天增祥油房	20,000	光 33.	400	—	—

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆粕	豆油
遼陽	泰和東油房	洋 30,000	民 5.	200	—	—
	同升東油房	〃 15,000	光 30.	200	—	—
	天和公油房	〃 30,000	宣 2.	200	—	—
	玉陞和油房	〃 30,000	光 22.	400	—	—
	恒升全油房	〃 15,000	宣 3.	200	—	—
	慶徳隆油房	〃 30,000	光 31.	200	—	—
	天增當油房	〃 45,000	〃 11.	300	—	—
	春發[illegible]油房	〃 20,000	民 6.	200	—	—
	日升茂油房	〃 15,000	宣 2.	200	—	—
	新和福油房	〃 20,000	民 3.	200	—	—
	公盛源油房	〃 15,000	光 11.	200	—	—
	同裕永油房	〃 14,000	民 6.	200	—	—
	鴻昇泰油房	〃 12,000	〃 7.	200	—	—
	徳隆茂油房	〃 15,000	8.12	—	28,000	112,000
	福增昌油房	〃 15,000	8. 2	—	31,200	124,800
	計 19	491,000		5,000		
奉天	立增泰油房	小洋 3,000	道 6. 8	20	—	—
	三金油房	〃 100,000	民 2. 3	52	—	—
	滙通慶油房	〃 5,000	〃 5. 7	32	—	—
	同仁恒洋房	〃 10,000	〃 4. 3	36	—	—
	古增慶油房	〃 10,000	〃 5. 8	16	—	—
	會泉長油房	〃 8,000	光 26. 3	46	—	—
	利成派油房	〃 2,500	同 7. 5	56	—	—
	源記油油房	〃 2,000	光 27. 7	32	—	—
	東源豐油房	〃 2,000	民 6. 2	30	—	—
	廣合發油房	〃 5,000	〃 5. 9	26	—	—
	福聚合洋房	〃 6,000	〃 6. 2	32	—	—
	利盛興油房	〃 10,000	光 25. 3	34	—	—

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆粕	豆油
奉天	公興當油房	2,000	道 2. 4	36	—	—
	增記油房	2,000	民 6. 3	14	—	—
	裕泰豐油房	5,000	同 4. 5	20	—	—
	廣昌福油房	5,000	〃 2. 3	22	—	—
	永豐慶油房	20,000	民 2. 3	60	—	—
	計 17	197,500		564	—	—
安東	日隆公司油房	350,000	大 10. 6	—	枚 509,422	斤 2,605,276
	吉昌永油房	11,000	光 3. 3	—	132,000	683,200
	雙合棧油房	40,000	〃 5. 5	—	232,000	1,160,000
	興盛棧油房	14,000	〃 6. 7	—	147,485	796,426
	永聚成油房	78,000	〃 20. 3	—	406,500	2,032,500
	中和棧油房	20,000	〃 21. 8	—	190,000	1,080,000
	益增遠油房	24,000	〃 24. 2	—	126,000	708,400
	東益增遠油油	12,000	〃 28. 8	—	111,000	555,000
	益盛泰油房	50,000	〃 31. 4	—	183,000	915,000
	恒增長油房	30,000	宣 1. 4	—	175 000	875,000
	恒順公油房	30,000	民 1. 1	—	200,000	1,000,000
	雙合義油房	21,000	〃 1. 7	—	220,000	1,100,000
	廣泰油房	10,000	〃 3. 5	—	150,000	750,000
	豐裕同油房	30,000	〃 5. 1	—	185,000	925,000
	同祥興油房	15,000	〃 5. 1	—	100,000	500,000
	謙德和油房	10,000	〃 8. 2	—	140,000	750,000
	同聚福油房	50,000	〃 8. 7	—	270,000	1,350,000
	同聚東油房	50,000	〃 8. 7	—	220,000	1,100,000
	廣泰昌油房	36,000	〃 8.11	—	210,000	1,100,000
	德元永油房	40,000	〃 9. 7	—	180,000	900,000
	立生泰油房	30,000	〃 9. 8	—	200,000	100,000
	玉順同油房	25,000	〃 9. 8	—	250,000	1,250,000

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆粕	豆油
安東	福增順油房	12,000	民 9. 9	—	170,000	850,000
	中興和油房	10,000	〃 9. 9	—	21,000	105,000
	華豐油房	50,000	〃 10. 2	—	300,000	1,500,000
	計 25	1,057,000			5,028,932	25,590,802
鐵嶺	日新昌油房	銀 100,000	大 5.	1,100	—	—
	順源興油房	小 70,000	〃 2.	1,100	—	—
	聚昌大油房	45,000	明 42.	300	—	—
	成聚增油房	50,000	〃	300	—	—
	承天生油房	25,000	〃 2.	200	—	—
	世義恒油房	15,000	〃 29.	200	—	—
	福承湧油房	15,000	大 3.	150	—	—
	義隆油房	15,000	明 37.	150	—	—
	泳記油房	20,000	大 7.	160	—	—
	永合長油房	18,000	〃	150	—	—
	西義順油房	40,000	明 41.	600	—	—
	泰合東油房	40,000	大 8. 2	—	46,500	251,000
	永義興油房	30,000	〃 9.12	—	111,500	600,000
	細川油房	10,000	〃 10 .1	—	44,567	166,939
	計 14	493,000			202,567	1,017,939
開原	義順油房	20,000	明 44.12	—	91,920	423,929
	增益通油房	20,000	〃 42.12	—	47,485	219,958
	天利東油房	106,000	大 7.11	—	91,120	421,063
	隆發合油房	100,000	明 44.12	—	62,170	287,657
	華發合油房	200,000	大 4. 8	—	279,800	1,289,878
	恒豐乾油房	200,000	〃 7.10	—	138,600	639,946
	公濟油房	60,000	〃 7.10	—	164,400	757,984
	萬源油房	50,000	〃 8. 1	—	12,530	57,763

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高	
					豆粕	豆油
開原	大信[illegible]油房	200,000	大 8.11	—	134,630	620,643
	世合公油房	100,000	〃 8.11	—	173,948	801,944
	秀生油房	250,000	〃 8.11	—	160,000	737,700
	同興福油房	80,000	〃 9.3	—	233,284	1,079,639
	昌圖公司油房	70,000	〃 44.12	—	70,000	322,700
	計 13	**1,456,000**			**1,659,887**	**7,102,824**
四平街	德懋昌油房	30,000	明 43.8	—	55,810	265,814
	玉成隆油房	60,000	〃 44.11	—	204,450	981,280
	昌圖公司油房	5,000	大 10.12	—	1,685	8,503
	計 3	**95,000**			**261,945**	**1,255,597**
公主嶺	東茂泰油房	6,280	大 2.10	750	50,611	230,810
	泰和增油房	10,000	〃 2.3	450	60,030	287,403
	計 2	**16,280**		**1,200**	**119,641**	**518,213**
范家屯	福德隆油房	40,000	大 7.10	—	108,000	411,000
	福順祥油房	66,000	〃 8.6	—	246,500	862,000
	順發公油房	40,000	〃 9.2	—	332,793	1,379,510
	天和永油房	66,000	〃 9.10	—	190,381	631,671
	庫順裕油房	66,000	〃 9.11	—	274,000	1,030,000
	計 5	**278,000**			**1,151,674**	**4,314,181**
長春	永衡通油房	5,000,000	大 3.	240	—	—
	永衡謙油房	不明		180	—	—
	增發合油房	100,000	明 44.	120	—	—
	德泰泉油房	300,000	大 3.	60	—	—
	益發合油房	1,200,000	〃 9.11	不明	522,280	3,215,440
	滿洲製油株式會社	1,000,000	〃 10.1	〃	251,570	1,013,198
	計 6	**7,600,000**		**600**	**773,850**	**4,228,638**

所在地	油房名	資本額	設立年月	一日製造能力	製造高 豆粕	豆油
哈爾賓	雙興油房	—	1919	160	—	—
	義昌信油房	50,000	1915	540	—	—
	東華油房	—	1920	2,000	—	—
	東亞油房	30,000	1914	400	—	—
	豐記油房	—	1920	400	—	—
	滙源油房	—	1920	4,862	—	—
	遠大油房	40,000	1914	1,400	—	—
	裕興益油房	—	1920	400	—	—
	信泰油房	50,000	1915	2,000	—	—
	新大油房	—	1920	2,040	—	—
	裕源油房	4,000,000	1918	2,400	—	—
	豐泰億油房	50,000	1915	2,000	—	—
	恒順和油房	40,000	1916	1,680	—	—
	同聚祥油房	40,000	1916	1,600	—	—
	裕大油房	75,000	1915	1,400	—	—
	成發號油房	—	1919	1,440	—	—
	公來油房	50,000	1916	1,400	—	—
	恒隆德油房	35,000	1915	1,200	—	—
	德義成油房	40,000	1915	1,200	—	—
	同發隆油房	30,000	1916	1,200	—	—
	順和裕油房	20,000	1913	800	—	—
	聚盛泰油房	40,000	1915	1,600	—	—
	和盛泰油房	200,000	1918	600	—	—
	東和公油房	20,000	1912	400	—	—
	興盛裕油房	30,000	1912	—	—	—
	源盛福油房	—	1919	—	—	—
	カバルキン	磅 160,000	1916	3,260	—	—
	カサトキン	—	1916	2,255	—	—
	計 28	留 4,880,000 磅 160,000		38,637		

(二) 食料品工業

1 製粉業

概說 製粉業は搾油工業と共に滿洲二大工業の一つで舊式の土法に依るものと新式の機械を使用するものとの二種がある。

前者は所謂磨房と稱するもので數名の勞働者と一、二頭の驢馬とを使役し一日原料小麥三、四石を消化し千斤内外の小麥粉を製するもので滿洲に於ける重要なる地方工業の一として到る處に散在して居る。後者は火磨と稱するもので蒸氣力或は電氣力を使用して新式の製粉機械を運轉し一晝夜一千乃至六千袋の製粉力を有する。

舊式製粉は地方的小企業で論ずるに足らぬから機械製粉に就て述べんに現在滿洲に於ける製粉工場は四十五箇所で一箇年の製造能力千九百餘萬袋、價格六千萬圓に達し、其内邦人の經營に屬するものが約四割を占めて居る。更らに之れに磨房製品を加ふれば一箇年の製造能力は驚くべき額に達し優に自給自足し得る如く思惟されるけれど年々多額の上海粉及米國粉の輸入を見、滿洲製粉業者は之等との競爭に疲弊し、近來運轉を休止する工場が續出する狀態である之が原因を考察するに、一般財界不況の影響も勿論あるが、元來中國當局は中國內地の製粉業振興の目的を以て一九一七年四月以來海關告示を以て滿洲に限り小麥の移出稅を免除し、且つ財政部訓令に因りて內地釐金稅を免除せらるゝこととなり、其上海外への輸出も何等制限を加へなかつた爲滿洲小麥は南支那及歐洲へ盛に輸移出されるに到つたので忽ち原料小麥の價格昂騰し、製粉業者は到底高價なる原料を以てしては引合はぬ樣になつた爲である。麥粉は北支那人民の重要食糧品で需要多く、南滿洲丈けで機械製粉の消費額は一箇年五、六千萬袋に達して居るが滿洲に於ける製粉界の現狀が上述の如く不振の結果到底需要を充し能はぬ爲安價なる外國品主として米國粉の輸入旺盛を見つゝある次第である。之れに對抗して滿洲の製粉業を隆盛ならしむるには今後原料小麥の栽培を獎勵し增收を計ると共に其の輸出禁止を行ひ小麥の價格を昂騰せしめない事が目下の急務である。然らざれば將來斯業の健全なる發展を望むことは難いであらうと製粉業者側は觀測して居る。

今南北滿洲に於ける製粉工場の現況を示せば別表の通りである。

製粉會社現況一覽表（大正十一年六月調）

（イ）哈爾賓及傅家甸

名稱	經營者	所在地	晝夜能力（一袋 50 ebs）	商標	資本金	設立年月
滿洲製粉八區工場	日本人	哈八區	袋 3,500	孔雀	—	1919
同第一舊哈工場	同	舊哈	2,250	象汽車	—	1913
同第二舊哈工場	同	同	3,500		—	
松花江製粉	露人	哈埠	2,000	人物と麥穗	金 350,000	1904
プラゴエ製粉	同	同	2,500	麥穗	〃 300,000	1919
カサトキン	同	同	1,500	無印	大洋 100,000	1913
福田組（マルクス）	日露合辦	インテンダンスキ	500	日露支三國旗	〃 60,000	1911
廣大	露支合辦	傅家甸	500	三星象	〃 80,000	1921
萬福廣（ブザノフ）	同	哈八區	1,250	龍	〃 250,000	
東興	支那人	同	2,000	藍三星 同二星 同一星	〃 400,000	1913
廣源盛	同	哈埠	1,500	鹿	〃 150,000	1900
義昌泰	同	哈八區	1,250	馬	〃 100,000	1918
成發祥	同	傅家甸	1,000	太陽	〃 250,000	1908
成泰益	同	同	1,000	地球	〃 100,000	1913
雙合盛	同	哈埠	2,000	鷄	〃 400,000	1911
東亞	同	傅家甸	500	國旗	〃 70,000	1919
東盛	同	同	400	汽車	〃 50,000	1913
安裕	同	同	1,000	飛行機	〃 200,000	1918
廣信	同	同	6,000	紅星	〃	1919
厚康	同	舊哈姑鄉屯	500	國旗	〃 70,000	1921
震大	同	哈江北	1,500		不詳	1921
東興恒	同	舊哈	1,000		〃	?
天興福	同	同	3,000		〃	〃
合計23工場			41,150		2,930,000	

(ロ) 東支沿線及奥地

名稱	經營者	所在地	晝夜能力（一袋 50 ebs）	商標	資金本	設立年月
永榮	支那人	呼蘭	350		大洋 50,000	1913
永遠	同	阿什河	400		〃 50,000	1908
長寧	同	寧古塔	250		〃 40,000	1908
裕順利	同	同	500		〃 50,000	1904
孫顏卿	同	海林	250		〃 30,000	1910
廣元吉	同	葛拉爾吉	400		〃 100,000	1912
雙合盛	同	雙城堡	500		〃 100,000	1911
中華	同	巴彥	500		不詳	?
ウリーネス	露國人	安達	500		〃	〃
合計 9 工場			**3,650**		**420,000**	

(ハ) 南滿

名稱	經營者	所在地	晝夜能力（一袋 50 ebs）	商標	資本金	設立年月
中華製粉大連工場	日支合辦	大連	1,600	旗印	500,000	9. 6
同長春工場	同	長春	4,000	同	—	〃
滿洲製粉長春工場	日本人	同	4,800	紅龍黃 龍藍魚	5,750,000	大正 1.11
同鐵嶺工場	同	鐵嶺	2,000	同	—	明治 39.12
同奉天工場	同	奉天	1,400	同	—	〃
亞細亞製粉	日支合辦	開原	2,000		300,000	大正 8.10
裕昌源	支那人	長春	2,000		900,0 0	明治 37.
天興福	同	同	3,000	天官	800,000	大正 9. 1
同源	同	寬城子	400		不詳	?
亞洲	同	同	1,500		同	〃
東信	同	同	350		同	〃
護和機	同	長春	1,500		同	〃
恒茂	同	吉林	1,500		大洋 200,000	大正 2.11
合計 13 工場			**25,050**		**15,650,000**	
南北滿洲總計 45 工場			**69,850**		**19,500,000**	

2. 製　糖　業

滿洲に於ける製糖業は孰れも甜菜を原料とするもので之れが工場は現在北滿に二箇所南滿に一箇所即ち阿什河製糖廠、呼蘭製糖廠及び奉天の南滿製糖株式會社の三がある。

南滿製糖株式會社　北滿に於ては比較的早くから露支人に依つて甜菜製糖業が起つたが南滿に於ても大正三年から三箇年間滿鐵農事試驗場で試作の結果其有望なることが認められたので日本の有力實業家發起の下に大正五年十二月資本金一千萬圓の本會社が奉天に設立され大正六年中國農民と契約して甜菜の栽培を始め同年十二月十五日から工場の運轉を開始したが更らに大正十一年鐵嶺に分工場を設立して事業の擴張を計りつゝあるが其の工場設備は下の通りである。

區	分	奉天工場	鐵嶺工場
工場敷地		55,000坪	33,000坪
建物	製糖工場	969	738.9
	酒精工場	97	—
	事務所、宿舍、倉庫其他	3,500	1,507
	計	**4,566**	**2,246**
原動力	千二百馬力汽罐	1	三百馬力汽罐　6
	百五十馬力發電機	3	四百馬力發電機2
製造能力	甜菜消費量一日	500噸	600噸
	原料粗糖消費量一日	100	—

同社の甜菜成績は創立以來日尚淺く耕作者たる小作人の經驗少なきと時に旱魃或は降雨過多等の天災に罹つた爲め未だ十分發展の域に達せず。當初からの成績を見るに下の通りである。

年度	植付反別	甜菜收穫	步留	原料糖出來高
大正六年	40,000畝	約100,000擔	不詳	不詳
大正七年	42,000	17,000	12%	約20,400擔
大正八年	20,000	30,000	10%	30,000
大正九年	45,000	45,000	11～12%	50,000
大正十年				

備考 1. 1畝は凡我180坪である。

2. 本數字は會社の祕密事項であるから適確なるを期し難く先づ大體の見當を示すに足るものである。

上の如く初年度に比すると年々進歩の跡歷然たるものがあが其最大收穫たる九年度四十五萬擔を以てしても甜菜作業能力の半に達せず其精製能力に比較すれば自作の原料糖は到底所要の額を充す事が出來ぬから其補給を他に仰ぐに至り初年度以來年に十餘萬擔の原料糖を瓜哇及臺灣方面から買附けて精製作業を繼續して居るが製品の市場に出たのは下の通りである。

大正七年	約160,000擔	大正八年	約140,000擔
大正九年	約 50,000	大正十年	?

備考 大正九年度の激減は財界不況の爲め賣行不振であつた爲である同社の製品には改良を要する點あるも上述の如く今回鐵嶺に分工場を設け能力の擴張と同時に現在米獨より輸入を仰いでゐる甜菜種子も將來自作自給の方針を採ると共に鋭意品質改良の研究中であるから同社の發展は期して待つべきものがあるであらう。

阿什河製糖廠 本廠は阿什河城外東支鐵道阿什河驛を距る數町の所にある純露國資本に依つて宣統元年(明治四十二年)創立されたもので資本金は一百萬留、發起人は波蘭人とし其機械も波蘭から購入したものである其備付機械の槪要は下の通りである。

甜菜洗滌機	一組	甜菜切碎機	一具
滲出器 十 四	箇一組(每個甜菜百布度入)	炭酸氣飽充器	三具
亞硫酸發生器	一具	石 灰 窰	一窰
濾 過 器	二箇	眞空蒸發器	五箇

眞空結晶罐	三箇(内一箇角糖製造用)	開放式結晶器	一具
遠心力分密器	三具		

以上の機械で毎日最も多いときは一萬二千布度の甜菜を消化し之から得る糖量は年に依つて一定せぬが通常甜菜量の百分八内外を得る。毎年の作業期間は約二箇月半乃至三箇月で陽曆十一月から次年一、二月頃迄行なう。

甜菜栽培地は阿什河附近から遠きは十數里の雙城堡方面とし農民に特種の奬勵を設けて栽培させて居る。製糖の種類は露式角砂糖と精白糖の二種とし角糖は露國黑龍州及西比利一帶で消費され精白糖は主として哈爾賓阿什河附近で消費されて居る。

哈爾賓の對岸馬家船口にある本廠も亦宣統元年の創立で前淸候補道李席珍氏の發起になつた合資會社で獨逸から機械を購入したが經費不足の爲め多額の官金を借入れ又會社の不動産擔保で獨逸から借款したが其後幾多の曲折を經て民國元年に至り獨逸からの借入金は東三省から分擔償還して官營に移したるも經營其當を得ず遂に民國八年一時工場を閉鎖したが大正九年末に至つて再開した。

本工廠の機械は獨逸で一九一〇年に製造したもので其規模も大きく且設備も新式にして一晝夜に甜菜三百五十噸を消化して白糖を製造し得る其主要機械の大略は下の通りである。

甜菜洗滌器	一具	甜菜切碎器	一具
滲出器	十四箇一組	炭酸氣飽充器	十具
石灰窰(二晝夜石灰十二噸を焼く)	一座	亞硫酸發生器	一具
壓濾器	十七箇	眞空蒸發器	五箇
眞空結晶罐橫臥式	二箇	運動結晶器	八箇
遠心力分密器	七具	鍋爐	六座
發動機兼吸氣機(百六十馬力)	二具	角糖製造機	一揃

本工廠は直營甜菜栽培場二井(一井は三十六方、一方は四十五晌地、一晌は凡我八反)を有し内旣墾地は三分一であるが苦力を雇傭して自から栽培し民有地では工場から種子を支給し且一晌小洋票十餘元の種付費を前貸し收穫後甜菜相場内から扣除することにして居る。

本工廠は官營であるから兎角冗費多きに流れやすきこと、設立位置の其當を得ざりしこと及經營者の無經驗等で發展上大に阻碍されて居る現狀である。

3 酒類

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力 種類	動力 馬力
州内	大連	嶺前屯	滿洲淸酒株式會社	8. 8	1,000,000	—	—
		沙河口	成聚生燒鍋	7.11	銀 10,000	—	—
		小崗子	雙興泉燒鍋工場	6. 4	〃 10,000	電	10
		近江町	福海居造酒廠	4.	〃 2,000	—	—
	貔子窩	東街	福興海	39.10	〃 6,000	電	2
		同	湧源海	8. 3	〃 2,000	〃	2
		同	中興湧	9.10	〃 3,000	〃	3
		同	湧興海	5. 4	〃 5,000	〃	2
		西街	瑞興泉	44. 3	4,000	〃	3
		同	永源升	7. 7	2,000	〃	3
		同	新順源	7.11	3,000	〃	3
		大草子	常隆湧	7. 9	4,000	〃	2
計			12		1,051,000		
州外	大石橋		同盛湧燒酎釀造工場	9. 7	80,000	蒸	—
			滙隆源	9. 9	50,000	—	—
		海城	宏興合	7.11	100,000	—	—
		南臺	同興泉	7.11	20,000	—	—
	遼陽	煙臺附屬地	泉盛燒鍋	6.11	100,000	—	—
		沙河附屬地	貞合湧燒鍋	7. 8	50,000	—	—
		首山附屬地	祥源公司	7.11	30,000	—	—
		佟家西街	向井合資會社	10.10	20,000	電	15

釀 造 業 (大正十年十二月現在)

職工延人員(大正十年)			製造品 (大正十年)				備考
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額	
1,200	2,835	**4,035**	清酒	石	1,200	72,000	
—	3,925	**3,925**	中國酒	斤	125,000	16,875	
—	5,400	**5,400**	燒酎 粕	斤	150,000 500,000	3,800 4,000	
—	2,160	**2,160**	中國酒	〃	50,000	4,000	
—	2,400	**2,400**	燒酎	〃	130,000	23,000	
—	300	**300**	〃	〃	34,000	6,420	
—	1,080	**1,080**	〃	〃	70,000	12,540	
—	900	**900**	〃	〃	50,000	9,000	
—	1,500	**1,500**	〃	〃	60,000	10,000	
—	2,500	**2,500**	〃	〃	30,000	5,400	
—	2,700	**2,700**	〃	〃	90,000	16,000	
—	800	**800**	〃	〃	44,000	7,900	
1,200	**26,500**	**27,700**				**190,935**	
—	2,115	**2,115**	〃	石	292	14,750	
—	2,509	**2,509**	〃	〃	434	24,160	
—	3,600	**3,600**	〃	〃	529	60,000	
—	2,400	**2,400**	〃	〃	459	26,400	
—	540	**540**	高粱酒	〃	136	11,800	
360	5,400	**5,760**	〃	〃	7,128	85,526	
—	216	**216**	〃	〃	771	37,168	
—	144	**144**	〃	〃	432	21,000	

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力 種類	動力 馬力
州外	鞍山	千山	榮海茂	6. 9	100,000	蒸	7
	奉天	末廣町	南滿製糖工場	5.12	10,000,000	蒸	1,200
		加茂町	滿蒙釀造麥酒工場	8. 3	500,000	〃	5
		蘇家屯附屬地	西海湧燒鍋	5. 7	30,000	—	—
	旅順	本町	滿洲產業株式會社旅順工場	8.10	2,000,000	電 蒸	100 50
	開原	附屬地	益和湧燒鍋	2.12	30,000	—	—
		同	華興公	10. 1	1,500	—	—
		昌圖附屬地	湧泉洋行	39. 8	20,000	—	—
	長春	三笠町	德泰泉燒鍋	2. 9	300,000	—	—
		范家屯	萬發湧燒鍋	3. 9	30,000	—	—
		高砂町	洪發燒鍋	4. 4	125,000	—	—
		范家屯	大盛湧燒鍋	6. 6	33,000	—	—
		富士町	永衡益燒鍋	8.10	70,000	—	—
		范家屯	東盛泉燒鍋	9. 2	66,000	—	—
		高砂町	裕成湧燒鍋	10. 1	23,000	—	—
		富士町	泉興德燒鍋	10.12	56,000	—	—
	四平街	北三條路	德懋昌燒酎工場	2. 6	30,000	石油	8
	公主嶺	綠町	東茂泰燒湧	2.10	1,200	—	—
		郭家店	合成玉	39.10	36,000	—	—
		花園町	淺野釀造場	5. 3	30,000	—	—
	計		28		13,931,700		
領事館	安東	三番通	田原醬油工場	43.10	50,000	—	—
總計			41		15,032,700		

職工延人員(大正十年)			製造品(大正十年)				備考
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額	
325	2,350	2,765	”	”	2,410	95,614	
8,418	50,923	59,071	酒精	封度	502,029	87,914	
420	7,920	8,340	高粱酒 清酒	石	1,986 827	76,348 83,780	
—	556	556	高粱酒	”	2,043	98,500	
365	2,555	2,920	燒酎	”	1,106	59,715	
—	1,038	1,038	高粱酒	”	690	29,884	
—	702	702	”	”	63	2,729	
860	1,452	2,312	清酒	”	90	5,290	
—	8,320	8,320	燒酎	”	1,750	50,000	
—	1,950	1,950	”	”	384	14,400	
—	2,136	2,136	”	”	1,900	13,300	
—	980	980	”	”	240	7,200	
—	5,100	5,100	”	”	1,500	38,000	
—	1,440	1,440	”	”	336	10,080	
—	1,620	1,625	”	”	880	24,900	
—	380	380	”	”	300	14,000	
—	3,600	3,600	”	”	769	29,582	
—	910	910	高粱酒	”	268	13,592	
—	5,600	5,600	”	”	1,366	28,922	
1,095	1,825	2,920	清酒 味淋 燒酎	” ” ”	200 18 15	26,000 3,390 2,400	
11,573	118,281	129,854				1,186,424	
703	1,027	1,730	清酒	”	340	16,900	
13,476	145,808	159,284		”		1,394,259	

4 味 噌 醬

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力 種類	動力 馬力
州内	旅順	乃木町	吉村商會	3. 6	25,000	電	3
	旅順	朝日町	滿洲醬油會社工場	9. 3	1,600,000	”	15
	大連	沙河口	大連精糧株式會社精米部	8.11	1,000,000	”	23
	大連	加茂川町	朝枝醬油釀造所	3.10	10,000	—	—
	大連	小崗子	池田商店大連支店第二釀造所	7. 8	120,000	—	—
	大連	西通	同釀造所	41. 9	120,000	—	—
	大連	臺山屯	株式會社裕昌公司	8. 9	75,000	—	—
	大連	同	大連醬油株式會社	8.12	2,000,000	蒸	12
	計		8		4,950,000		
州外	大石橋		山下醬油釀造場	42.12	18,000	—	—
	遼陽	佟家大街	岡田醬油釀造場	42. 3	30,000	—	—
	奉天	宇治町	ほまれ味噌製造工場	8. 4	50,000	電	75
	開原	昌圖附屬地	湧泉洋行	39. 5	20,000	—	—
	公主嶺	花園町	淺野釀造場	5. 3	30,000	—	—
	計		5		148,000		
領事館	牛莊	營口	盛進商行味噌製造所	1.12	10,000	—	—
	牛莊	同	旭龍公司	43. 6	6,000	—	—
	牛莊	同	東來醬園	35.10	30,000	—	—
	遼陽	西門外	大矢組醬油釀造場	42.3	40,000	—	—
	奉天	西塔大街	株式會社奉天醬園	8. 8	1,000,000	電	5
	安東	三番崗	田原醬油工場	43.10	50,000	—	—
	計		6		1,136,000		
東支沿線	哈爾賓	傅家甸	加藤醬油釀造公司	42.	—	—	—
總計			20		6,234,000		

油 釀 造 業 (大正十年十二月現在)

職工延人員(大正十年)			製 造 品 (大正十年)				備考
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額	
750	780	1,530	味噌 醬油	貫 石	40,000 15,000	20,000 130,000	
470	9,000	9,470	味噌 醬油	貫 石	78,341 1,621	43,087 58,141	
386	3,715	4,101	味噌	貫	80,944	36,424	
360	240	600	味噌 醬油	貫 石	1,200 300	5,520 7,500	
330	5,690	6,020	味噌 醬油	斤 石	420,000 3,900	6,762 159,000	
335	4,355	4,690	醬油	”	4,500	180,000	
—	3,150	3,150	醬油 味噌	石 貫	250 2,400	12,500 1,400	
900	10,350	11,250	”	”	3,022 4,100	42,065 1,305	
3,531	37,280	40,811				703,704	
—	1,400	1,400	醬油	石	182	4,290	
—	3,600	3,600	”	”	1,330	33,250	
352	3,940	4,292	味噌 醬油	貫 石	146,663 211	83,780 10,534	
860	1,452	2,312	醬油	石	285	6,881	
1,095	1,825	2,920	醬油 味噌	石 貫	700 10,000	28,000 6,000	
2,307	12,217	14,524				172,744	
365	2,190	2,555	味噌	貫	40,000	24,000	
—	2,676	2 676	味噌 醬油	” 石	2,420 1,410	1,584 33,570	
730	3,650	4,380	醬油	”	1,922	65.324	
365	1,484	1,849	”	”	400	10,000	
720	9,120	9,840	味噌 醬油	貫 石	2,145 1,265	30,415 61,146	
703	1,027	1,730	”	”	2,360 150	1,030 5,250	
2,883	20,147	23,030				232,319	
—	—	—	—	—			
8,721	69,644	78,365				1,108,767	

(三) 纖維工業

1 柞蠶製絲業

沿革 滿洲に於ける柞蠶飼育の起源は文献の徴すべきもの少く知り難いが清朝嘉慶年間山東の移住民に依つて當時最も交通の頻繁であつた蓋平州に傳へられたものゝ如く、時の官憲は管内に起伏してゐる丘陵の利用方法として保護奬勵の法を講じた結果、農民を利用して飼育に從事するものが多く、附近の住民も之に傚つて同業が大に興つた。爾來移住民の增加と共に南進又は北進して今では南は關東州の北部、北は吉林省管下の山間至る所に柞蠶の放養を見る樣になつた。往時の生產繭は尖頭子と稱する原始的の紡機で製絲される外、山東人の手によつて寧海棲霞等へ輸出せられ同地で稍進步した繰絲器で製絲されて所謂山東ポンジーに製織された。然るに光緒の初年に獨逸人がケンネル式製絲器機を以て芝罘に製絲業を始めるや滿洲へも之を模倣した足踏製絲器が傳はつて蓋平、海城等比較的人口の稠密な地方に製絲工業が起つた。其後人口の增加と共に漸次に發展して現今では岫巖、安東、寬甸、西豐等各柞蠶繭の出產地方には大小の製絲工場が相踵で起つて斯業の隆盛を極めてゐる。中でも安東、蓋平の兩地は芝罘同業者が經濟的見地から工場を移して經營するものが多く玆數年間に眼覺ましい發展を遂げたのである。

安東柞蠶製絲業 柞蠶繭を產する各地方には幾多の小規模な工場があつて絲の生產があるが玆では主要生產地で且つ集散市場たる安東に就いてのみ述べることゝする。

同地製絲業の發達經路を繹ねると明治三十七年時の道臺錢氏が產業奬勵の爲めに自分の資金を投じて元寶山下に七襄絲廠と稱へる二百人繰りの小枠工場を設立したのに創り爾來多少の消長があつたけれども逐年發達の勢を示して居る。殊に大正三年以降では芝罘の同業者が生產費を輕減し得るの故を以て來つて工場を開設するもの及び地方の巨商で大規模の工場を興する者等相踵いだ爲め長足の發展を遂げて今や柞蠶製絲地及其集散市場として他地の追從を許さぬ樣になつた。今同地の製絲工場其生產高を示せば次の通りである。

安東柞蠶製糸工場 (大正十年末調)

工場名	商標	機械數	一日生產能力	製品高(大正十年) 數量	價額	摘要
			斤	斤	兩	
德和祥	寶船	320	130	47,450	173,325	本廠絲
復巹德	柞蠶	210	70	20,000	65,400	〃
巹豐興	得勝	320	120	70,000	222,400	〃
義昌東	雙象	300	100	25,350	90,580	〃
義孚泰	牡丹	300	100	34,200	124,830	〃
東泰絲廠	八仙	250	100	32,280	121,273	〃
泰記絲廠	牲牛	170	60	52,600	186,225	〃
謙盛恒絲廠	蜻蜓	180	80	56,550	203,630	〃
實業絲廠	加冕	250	100	39,900	144,480	〃
同順棧絲廠	採蓮	250	100	34,400	26,380	〃
正記絲廠	金魁星	300	150	22,800	82,800	〃
盛記絲廠	菊花	200	90	34,200	136,200	〃
義泰德	賽馬會	220	85	32,000	126,370	〃
德記絲廠	長壽	280	120	32,500	90,800	〃
同昌順絲廠	金山水	200	100	39,900	124,480	〃
東升德絲廠	元寶山	308	100	30,500	120,500	〃
廣泰永絲廠	美人	280	100	17,480	65,230	〃
文記絲廠	門標	280	100	56,810	223,652	〃
利源同絲廠	禾蝶	180	100	17,100	73,454	〃
和豐絲廠	財童	400	130	61,200	190,380	〃
成和昌絲廠	飛熊	330	125	41,800	168,740	〃
遠記絲廠	柞樹	150	50	23,700	88,392	〃
遠記東廠	同	150	50	28,500	103,087	〃
德豐長	英旗日光	260	100	24,000	108,500	〃
興記絲廠	荷蜂	200	75	43,700	158,700	〃
元聚永	白塔	250	80	52,000	241,290	〃
恒聚永	寶劍	210	100	10,000	46,400	〃
興東公司試驗絲廠	金星	280	200	100,500	401,800	〃

工場名	商標	機械數	一日生產能力	製品高(大正十年) 數量	價額	摘要
同第一絲廠	—	280	—	—	—	
東興昌	—	50	18	5,700	17,485	雜牌絲
裕勝絲廠	—	60	20	3,800	11,740	〃
益豐絲廠	—	40	15	5,845	1,990	〃
東合記	—	40	6	640	1,472	〃
東興祥	—	30	10	379	1,779	〃
德記絲廠	愛菊	50	13	3,230	13,280	〃
東合盛	滿洲印	94	40	7,980	33,590	〃
金子絲廠	—	53	5	1,870	4,840	〃
福順永	—	30	10	1,520	5,076	〃
成記絲廠	—	60	20	3,800	12,690	〃
同盛福	福鹿	69	25	3,800	13,685	〃
福裕永	—	30	10	1,625	4,130	〃
大成絲廠	鐘候	70	15	5,650	17,545	〃
義記絲廠	金龜	150	70	11,400	47,480	〃
祥計絲廠	蘭草	120	35	5,700	23,690	〃
長豐厚	海棠花	92	30	5,320	20,627	〃
長記絲廠	—	80	13	1,900	6,870	〃
義豐永	白馬山朝日	108	40	3,800	15,750	〃
裕興德	—	36	7	1,330	5,125	〃
同順絲廠	三光	100	13	2,280	9,420	〃
鴻記絲廠	老虎	40	9	1,800	4,559	〃
鴻記東廠	天官	100	20	3,600	9,240	〃
鴻泰湧	雙鶴葡萄	50	10	8,785	25,031	〃
福記絲廠	—	44	9	555	2,335	〃
合盛昌	飛艇	60	15	2,660	11,800	〃
新興德	—	30	10	856	3,600	〃
協盛恒	—	20	8	—	—	〃
計 56		8,996	3,311	1,169,255	4,240,655	〃

蓋平柞蠶製絲業 同地の製絲業は光緒初年山東人が足踏製絲器で大枠絲を製絲する方法を傳へのに創つて爾來數十年間大枠の產地として知られた。處が歐洲戰前後から小枠絲の需要增加と共に大正三年恒盛德が卒先して小枠の工場に樣式を改めたので市內各工場も之に倣ひ且つ大正七年頃から芝罘同業者の來つて工場を興すものが多く今日では安東に次ぐ小枠製糸となつた。今同地の工場及其生產高を示せば次の通りである。

工場名	製品商標	製絲臺數	一箇月產生高槪數	摘要
長記絲廠	飛泉龍	臺 500	箱 75	內 350臺大枠
利源長	同	500	75	
大德恒	雙鳥	200	30	
恒盛德	地球	300	45	
順記	芭蕉	400	60	
順昌德	松鹿	200	30	
乾生利	雙鹿	150	20	
天增達	日光	150	25	
永豐德	山水	200	30	
盛絲廠	飼蠶	200	30	
豫昌達	一枚花	200	30	
德興海	輪船	100	15	
聚盛公	蘆雁	100	15	
裕昌永	雙鳳	100	15	
永德昌	香爐	100	15	
永和棧	麒麟	200	30	
公順成	獅子	200	30	
計		3,800	570	

備考 此外無標工場11、製糸臺數1,250、一箇月生產槪數125箱あり。

工場の就業日數は安東地方と同じく十月初旬から翌年六月に至る約二百日間である。

2 製

名稱	所在地	資本金	設立年月
滿洲製紙株式會社	(本店)大連市若狹町 (工場)夏家河子	500,000 (拂込) 125,000	大正 7. 12
鴨綠江製紙株式會社	安東縣六番通	5,000,000 (拂込)1,250,000	〃 8. 5
吉林製紙公司	(本店)吉林 工場)團山子	5,000,000 (拂込)1,250,000	9
計		10,500,000 (拂込 2,625,000)	

3 織

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力	
						種類	馬力
州內	旅順	土屋町	旅順機業會社	9. 4	100,000	—	—
		水師營	玉合棧	6. 9	6,500	—	—
		鎭遠町	後藤綿織物工場	5. 1	100,000	電	10
	大連	小崗子西方	滿洲製麻株式會社	6. 5	1,000,000	〃	150 75
	計		4		**1,206,500**		
州外	奉天	末廣町	滿蒙纖維株式會社	8. 2	3,000,000	電	160
	計		1		**3,000,000**		
	奉天	皇姑屯	滿蒙毛織株式會社	7. 12	1,000,000	發	3125
	鐵嶺	城內	株式會社恭山洋行織布工場	5. 9	5,000	—	—
	安東	五番通	大正絲廠工場	1. 12	50,000	—	—
		堀割北通	東茂織布工場	6. 7	5,000	—	—
	計		4		**1,060,000**		
總計			**9**		**5,266,500**		

紙　業

動力		製造品（大正十年中）			
種類	馬力	種類	單位	數量	價額
汽機 電動機	100 1,154	パルプ	英噸	1,832,495 （十月開業）	?
〃					

物　業　（大正十年十二月現在）

職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）				備考
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額	
—	9,490	**9,490**	絹織物	反 袋	525 3,921	3,535 2,342	
—	4,500	**4,500**	木綿織物	反	1,700	4,090	
—	592	**592**	タオル	打	19,068	34,368	工改村河場
1,349	101,100	**102,449**	麻袋	枚	821,282	188,894	
1,349	**115,682**	**117,031**				**233,229**	
4,950	82,000	**86,950**	麻袋 麻絲 麻布	枚 封度 反	1,232,000 33,855 22	401,134 8,587 1,760	
4,950	**82,000**	**86,950**				**411,481**	
2,376	19,548	**21,924**	羅紗 毛布	碼 〃	6,891,455 3,858,510	428,910 319,219	
—	2,562	**2,562**	大尺布 粗布	疋 〃	20,580 5,050	60,850 41,150	
730 —	29,200 4,745	**29,930** **4,745**	絹紬 綿布	疋 〃	200 1,050	2,600 3,675	
3,106	**56,055**	**59,161**				**856,404**	
9,405	**253,737**	**263,142**				**1,501,114**	

(四) 化學

1 石鹼

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力 種類	動力 馬力
州内	旅順	青葉町	旅旅石鹼製造所	3. 6	25,000	電	3
	大連	松林町	萬玉洋行石鹼製造所	41. 7	55,000	同	75
		若狭町	畑中石鹼工場	40. 5	35,000	同	5
		沙河口會臺山屯	滿洲石鹼株式會社	8. 10	1,000,000	電 蒸	30 25
	計		4		**1,115,000**		
州外	開原	昌圖附屬地	昌正公司	9. 4	5,000	〃	—
	奉天	末廣町	滿蒙殖産工場	8. 11	5,000	蒸 電	23 68
	計		2		**5,005,000**		
總計			6		**6,120,000**		

2 燐寸

名稱	所在地	資本金	設立年月
滿洲燐寸株式會社	(本社)大連小崗子北久壽街	300,000 (拂込) 75,000	大正 8. 6
大連燐寸株式會社	(本社)大連山縣通 (工場)沙河口會小劉家屯	500,000 (拂込) 125,000	8. 8
關東火柴公司	(本店)營口青堆子	奉票 25,000	4. 5
燧豐公司	(本店)營口青堆子	奉票 20,000	7
三明子柴公司	(本店)營口青堆子	日本鈔票 180,000	8
吉林燐寸株式會社	(本店)吉林 (工場)吉林 長春 奉天	750,000 (拂込) 108,000	3. 4 10. 6
日清燐寸株式會社	(本店)廣島 (支店)長春	300,000 (拂込) 180,000	明治 40. 10
計 7		**1,562,000** (拂込) **488,000**	

工　業

製　造　業　（大正十年十二月現在）

職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）				備考
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額	
365	1,080	1,445	石鹼	箇 貫	153,270 766	21,581 266	
1,968	2,624	4,592	石鹼 洋蠟	箇 斤	824,368 71,382	63,662 13,836	
—	4,420	4,420	化粧石鹼	”	18,600	24,180	
750	3,750	4,500	化粧 洗濯	打 箇	20,260 1,254,600	28.111 102,896	
3,083	**11,874**	**14,957**				**254,532**	
260	492	752	洗濯石鹼	打	**7,566**	8,427	
1,550	3,360	4,910	石鹼	個	**36,134**	1,845	
1,810	**3,852**	**5,662**				**10,272**	
4,893	**15,726**	**20,619**				**264,804**	

製　造　業

商標	動力		製造品（大正十年中）			
	種類	馬力	種類	單位	數量	價格
偉人國貨進步發財	人力			箱	46,600	元 521,800
	大正九年製造停止					
金瓜、寶燈、鐘鼎	電力	20		箱	53,500	元 588,775
招財	電力	15				
來福、福壽、群仙	蒸氣	75		箱	36,000	円 288,000

3 其他の化

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力 種類	動力 馬力
州内	旅順	金比羅町	旅順塗料トラスト工場	6. 6	10,000	電	5
	大連	軍用地	ソーライト製造株式會社	2. 14	10,000	〃	10
		數島町	萬成號洋蠟製造所	43. 10	50,000	〃	2
		軍用地	大和染料製布株式會社工場	8. 12	2,000,000	蒸	20
		周水子會泡崖屯	小野田セメント製造株式會社大連支店	42. 5	7,500,000	〃	1,315
		沙河口	全盛彩	41. 6	3,000	—	—
		軍用地	大連油脂工業株式會社硫酸工場	5. 5	1,000,000	電	72
		〃	珪白セメント合資會社大連工場	9. 9	55,000	〃	40
		〃	大連油脂工業株式會社硬化油工場	5. 5	再出	〃	29,05
		臺山屯	滿洲ペイント製造株式會社	8. 12	500,000	〃	25
	計		10		11,128,000		
州外	大石橋	李家屯	南滿工業株式會社大石橋分工場	7. 12	3,000,000	—	—
		同	菫津公司焙燒工場	8. 11	80,000	—	—
	撫順	大管屯	福昌鹽酸加里工場	7. 3	100,000	電	270
	營口	牛家屯	三益公司	5. 9	30,000	〃	10
	計		4		3,210,000		
領事館	鐵嶺	南門外	大岡粗製加里工場	9. 11	2,000	—	—
		六道溝	滿洲鑛山藥株式會社	8. 4	1,000,000	電	142
	牛莊	營口	華豐公司	44. 3	25,000	〃	1
	計		3		1,027,000		
總計			17		15,365,000		

學　工　業

（大正十年十二月現在）

職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）				備考
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額	
325	450	**775**	トラスト 塗料	罐	1,700 690	5,440 690	
—	3,200	**3,200**	ソーライト タンタルス	封度	138,000 23,500	20,34[illegible] 9,400	
—	3,042	**3,042**	洋蠟	斤	248,200	98,952	
—	16,113	**16,113**	染料	〃	9,207,213	284,165	
21,420	146,370	**167,790**	ポートランドセメント	樽	232,790	1,280,345	
—	3,160	**3,160**	染布	疋	1,500	4,500	
94	3,572	**3,666**	硫酸	封度	1,483,335	30,781	
990	3,960	**4,950**	セメントドロマイト石膏	樽	323 4,288	2,745 19,315	
—	8,050	**8,050**	硬化油 酸素瓦斯	斤 立	582,977 32,400000	81,618 48,600	
—	3,400	**3,400**	ペイント、ボイル油	封度	184,304	34,933	
22,829	**191,317**	**214,146**				**1,921,824**	
320	2,602	**2,922**	マグネサイト マグネシア	噸	163 587	652 31,111	
325	1,800	**2,125**	同	〃	2,658 350	10,632 17,500	
324	5,238	**5,562**	鹽酸加里	封度	55,440	14,603	
1,077	15,437	**16,514**	粗製加里	噸	245	66,900	
2,046	**25,077**	**27,123**			**59,443**	**252,905**	
273	1,638	**1,911**	粗製加里	斤	53,400	5,736	
903	1,119	**2,022**	鑛山業 小粒業 導火線	匁 本	4,035,000 1,968,000	18,728 9,840	
180	3,600	**3,780**	蠟燭	箱	4,280	15,200	
1,356	**6,357**	**7,713**					
26,231	**222,757**	**48,982**				**49,504**	

（五） 機械工業

滿洲に於ける鐵工業の權威としては滿鐵の工場を擧げればならぬ。以下少しく其概說を試み爾餘の工場に關しては一括して表示する事にする

1 滿鐵工場

滿鐵は鐵道の附屬として大連郊外の沙河口と遼陽に工場を有する沙河口工場は明治四十一年度後半期から設立に着手し四十四年八月九日全部の作業を開始するに至つたものであるが規模頗る廣大で獨立の水道を敷設し敷地約二十七萬七千坪，煉瓦二階建事務所外建物二十六棟約一萬四千坪に最新式の設備を備へ機關車二十七輛客車三十六輛、貨車百三十輛を同時に收容し傍ら諸機械及諸用品の製作修理をする能力を有して居る現在會社の使用する車輛の內機關車二十四輛、客車百七十四輛貨車三千二百九輛車掌車百十五輛は本工場で製作したもので其外朝鮮鐵道及中國鐵道の註文に應じて製作したものあり實に東洋有數の大工場である。

滿鐵は沙河口工場の外遼陽と公主嶺に露國時代の遺物たる工場を有し又安東には安奉輕便線の爲めに施設せられた小工場を有して其の地車輛係をして工作業務を掌らしめて居つたが沙河口工場の施設整ふに從ひ安東と公主嶺車輛係の工作業務は全く之を廢止し遼陽分工場は大正八年十一月から職制上獨立の工場とした。以上兩工場の外旅順要港部撤廢の結果同部所屬修理工場及船渠を滿鐵で引受け大正十一年十二月一日から之を旅順工場として經營することゝなつた。

沙河口及遼陽兩工場に於ける最近五箇年間の製修費は下の通りである

年度	沙河口工場	遼陽工場	計
大正六年度	9,942,470	513,334	10,455,804
大正七年度	21,789,765	699,233	22,488,998
大正八年度	25,609,046	1,293,974	26,903,020
大正九年度	14,859,838	1,389,143	16,248,981
大正十年度	11,199,717	1,399,300	12,599,016

修繕車輛數

工場	年度	機關車 入場	機關車 出場	機關車 年度末現在	客車類 入場	客車類 出場	客車類 年度末現在	貨車類 入場	貨車類 出場	貨車類 年度末現在
沙河口工場	明治 40	81	96	12	388	384	4	1,553	1,503	50
	41	43	36	19	81	80	5	919	918	51
	42	91	91	19	234	232	7	1,478	1,418	111
	43	84	80	23	210	204	13	1,064	1,051	124
	44	104	106	21	161	161	13	1,005	1,080	49
	大正 1	120	115	26	189	171	31	971	876	144
	2	104	154	12	236	246	21	1,531	1,622	53
	3	117	107	22	208	206	23	1,677	1,633	97
	4	114	123	13	205	211	17	1,829	1,832	94
	5	112	106	19	242	242	17	1,530	1,569	55
	6	143	146	16	261	249	29	1,959	1,848	166
	7	143	143	16	248	260	17	1,863	1,765	264
	8	192	186	22	372	343	46	2,904	2,993	175
	9	223	226	19	363	△2 383	24	2,787	2,832	130
	10	201	208	12	317	302	39	2,867	2,752	245
遼陽工場	明治 40	59	50	9	21	21	—	461	395	66
	41	15	20	4	28	28	—	321	346	41
	42	43	38	9	39	34	5	421	425	37
	43	36	37	8	50	50	5	555	554	38
	44	34	46	6	51	55	1	746	745	39
	大正 1	49	49	6	64	61	4	855	848	46
	2	46	46	6	51	55	—	1,071	1,058	59
	3	45	46	5	12	12	—	1,234	1,227	66
	4	43	43	5	9	9	—	1,330	1,363	33
	5	56	54	7	8	8	—		1,322	41
	6	53	54	6	17	17	2	1,663	1,642	62
	7	52	50	8	22	22	2	1,605	1,578	89
	8	71	72	7	14	16	—	1,619	1,672	36
	9	76	75	8	15	15	—	2,088	2,027	97
	10	78	82	4	13	13	—	2,181	2,221	57

2 其　　他

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額	動力 種類	動力 馬力
州	旅順	乃木町	野間鐵工場	2. 5	1,000	電	3
		朝日町	柏木鐵工場	41. 7	50,000	〃	3
		乃木町	旅順鐵工所	7.11	500,000	〃	33
		青葉町	長盛爐	6. 3	200	—	—
		西町	德盛爐	4. 9	700	—	—
		同	裕興爐	8.10	700	—	—
		同	鴻興爐	8. 1	800	—	—
		同	山下鐵工所	9. 8	3,500	電	5
内	大連	千代田町	進和商會製鋲工場	6. 9	150,000	〃	25
		濱町	川崎造船所大連出張所	41.7	90,000,000	〃 汽	50,35 30
		小崗子	吉原鐵工場	9.11	3,000	電	3
		沙河口	忠興鐵工場	6. 3	10,000	—	—
		〃	大連機械製作所	7. 5	2,000,000	電	445
		近江町	鳥羽洋行鐵工部	42. 8	50,000	〃	75
		軍用地	新隆洋行製罐工場	7.11	銀 300,000	〃	31
		西通	中村鐵工場	43. 3	〃 80,000	〃	17,5
		羽前町	洪興爐	44	〃 2,000	—	—
		千代田町	鴻增鐵工場	9. 8	〃 1,000	—	—
		小崗子	滿洲機械工業株式會社	8.12	300,000	電	5
		〃	加藤金物店工場	7. 4	20,000	〃	15
		臺山屯	東亞板金株式會社工場	9. 2	1,000,000	〃	45
		軍用地	永興鐵工廠	8.12	1,500	〃	5
		浪速町	大連製作所	5. 4	10,000	〃	3
		西通	北川製作所	8	3,000	〃	2
		能登町	永發爐	42. 8	銀 300	—	—
		小崗子	成興爐	9. 8	〃 5,000	電	5

の　工　場　（大正十年十二月現在）

職工延人員（大正十年）			製造所（大正十年）			
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
400	560	**960**	諸鐵械	組 箇	800 2,520	1,400 10,600
365	3,000	**3,365**	製鐵品	組 箇	50 4,656	350 14,320
2,625	7,210	**9,835**	〃	〃	2,643	52,348
—	3,600	**3,600**	〃	〃	4,000	3,000
—	1,400	**1,400**	〃	臺 箇	5 55	610
—	2,400	**2,400**	〃	〃 〃	47 1,000	1,400
—	2,000	**2,000**	〃	〃 〃	11 500	1,800
650	3,500	**4,150**	諸機械	〃 〃	8 2,500	10,600
—	6,300	**6,300**	螺釘鋲釘	貫	23,700	50,938
31,060	118,600	**149.660**	入渠修 繋留修 小船製	隻 件 同	80 207 10	339,361 27,495 200,231
325	1,625	**1,950**	機械修理	—	—	7,000
—	5,500	**5,500**	油房機械	—	—	7,400
16,410	88,200	**104,610**	機械製修	—	—	502,596
1,314	17,100	**18,414**	〃	—	—	76,526
—	3,630	**3,630**	石油罐	箇	160,000	64,000
4,650	18,360	**23,010**	機械器具	—	—	102,940
—	1,650	**1,650**	ボールト ナット	貫	4,000	3,500
—	3,630	**3,630**	機械修繕	—	—	2,235
670	1,005	**1,675**	鑪	吋	113,846	4,018
2,022	17,604	**19,626**	機械製作	—	—	131,295
413	2,620	**3,033**	ショベール スコップ	打	498 404	3,486 5,656
—	9,480	**9,480**	油房機械修理	—	—	9,500
—	1,400	**1,400**	機械	—	—	2,985
—	1,800	**1,800**	〃	—	—	3,000
—	2,800	**2,800**	ツルバシ 釘	箇 斤	6,200 5,000	1,130 300
—	2,850	**2,850**	ストーブ、鍋	—	—	10,492

地方名	所在地	工場名	設立年月	資本金	動力	
					種類	馬力
州內 大連	小崗子	復聚爐	9. 2	銀 500	電	3
	同	新成爐	8. 2	〃 120	—	—
	軍用地	同聚長工場	7. 8	〃 3,000	—	—
	小崗子	盛發爐	45. 4	〃 10,000	電	17,5
	〃	南滿製鋲鐵工場	9. 8	50,000	〃	30
	千代田町	大信洋行鐵工場	5. 8	150,000	〃	45
	西崗子	大連鑄造所	10. 1	5,000	〃	2
	信濃町	有松鐵工場	45. 3	20,000	—	—
	千代田町	長生爐蹄鐵工場	10. 7	銀 80	—	—
	小崗子	福盛爐	7. 2	200	—	—
	〃	順興鐵工場	42. 5	〃 500,000	電 蒸	95 26
	軍用地	鴻昌仁工場	5. 7	〃 20,000	電	20
	小崗子	震興隆工場	9. 2	〃 5,000	〃	3
	〃	德成鑄物所	5. 6	〃 3,000	〃	5
	軍用地	新隆洋行鐵工部	6. 10	15,000	〃	7,5
	山城町	大連鐵工場	39. 7	70,000	〃	30
	近江町	松本製作所	5. 7	1,000	〃	2,8
	〃	吉田鐵工所	42. 5	5,000	〃	3
	千代田町	玉興鐵工所	7. 3	1,500	—	—
	山城町	佐藤洋行鐵工場	6. 4	8,000	電	5
	東鄉町	本澤鐵工場	45. 5	2,000	—	3
	武藏町	盛發爐	4. 4	100	電	—
	千代田町	戶田商會鐵工場	6. 3	425,000	〃	17,5
	小崗子	中村鐵工所分工場	9. 9	80,000	〃	10
	〃	木谷鐵工所	40	3,000	〃	2,5
	〃	魁興爐	8. 4	1,750	〃	3,5
	〃	作本兄弟商會工場	42. 12	15,000	〃	5
	軍用地	竹山商會	9. 11	10,000	〃	8
	ダルニー橋下	大華電氣冶金公司	7. 3	150,000	電 蒸	20 205
	寺內通	大司佐鐵工場	5. 11	2,000	電	3
	軍用地	寶昌爐	45. 3	4,000	〃	7

職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）			
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	1,200	**1,200**	ストーブ類	箇	880	1,830
—	1,300	**1,300**	乘用馬車修理	—	—	1,200
—	2,100	**2,100**	〃	—	—	1,700
—	14,625	**14,625**	油房機械製造	—	—	29,950
—	7,300	**7,300**	ボールト リベット	貫	54,000	56,700
945	4,090	**5,035**	鑄鐵練鐵	—	—	50,385
—	1,500	**1,500**	鑄物	箇	2,160	9,342
—	1,600	**1,600**	建築金物機械	—	—	3,520
—	2,310	**2,310**	蹄鐵	箇	9,600	840
—	1,650	**1,650**	錨 船釘	〃 斤	100 5,000	1,200 600
—	69,360	**69,360**	機械製造修理	—	—	222,000
—	3,000	**3,000**	〃	—	—	80,000
—	5,880	**5,880**	鍋、ストーブ	—	—	7,280
—	5,430	**5,430**	ストーブ ローストル	箇	12,500	4,650
—	7,760	**7,760**	油房用機械	—	—	34,600
—	20,400	**20,400**	機械製造	—	—	86,537
—	1,950	**1,950**	機械銅眞輪	—	—	7,495
1,400	1,960	**3,360**	ボイラ 機械製造	—	—	2,500
340	3,060	**3,400**	機械器具	—	—	3,650
—	5,616	**5,616**	鐵工所	—	—	6,171
750	1,250	**2,000**	精米機	—	—	2,500
—	1,950	**1,950**	鑄物	—	—	865
300	34,200	**34,500**	諸金物	—	—	47,728
—	4,230	**4,230**	機械製造修理	—	—	19,952
620	1,800	**2,420**	〃	—	—	2,800
—	1,800	**1,800**	鍋、ストーブ	—	—	3,610
—	5,940	**5,940**	醫療器機	—	—	25,000
405	8,931	**9,336**	煖房用器具	箇	27,335	23,157
2,413	7,931	**10,344**	高速度鋼	貫	6,425	64,250
123	1,087	**1,210**	諸機械修理	—	—	7,422
—	900	**900**	油圏 油椿	箇	8,000 24	9,600 2,160

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金	動力 種類	動力 馬力
	大連	小崗子	滿洲露式金物製作所	9. 4	30,000	電	7 5
		沙河口	有田鐵工所	7. 7	8,000	〃	5
		奥町	聚發祥鐵工場	9. 5	200	—	—
		駿河町	橋本鑪工場	45. 1	2,000	電	2
		伏見臺	山下鐵工場	2. 4	15,000	〃	5
		計	62		96 109 230		
州外	鞍山	榮町	片岡鐵工場	8. 8	10,000	—	—
		立山	滿洲鑄鐵株式會社	6. 11	200,000	—	—
	奉天	橋立町	佐野鐵工場	4. 4	3,000	電	5
		紅梅町	川住鐵工場	9. 2	6,000	〃	3
		橋立町	清華鐵工場	1. 10	20,000	〃	5
		青葉町	奉天鑄物鐵工場	8. 1	20,000	〃	10
		藤浪町	白石鐵工場	10. 6	1,000	—	—
		〃	杉田鐵工場	10. 6	500	—	—
		〃	南滿鑄物鐵工場	10. 11	10,000	電	7,5
		江島町	瀨川鐵工場	2. 4	5,000	〃	2
	撫順	春日町	田中商會鍛冶工場	7. 9	50,000	〃	5
	開原	附屬地	合興鐵工廠	4. 11	10,000	蒸	18
	公主嶺	市場町	豫泰合	4. 8	1,700	—	—
	安東	敷島通	株式會社滿鮮鐵工所	6. 5	100,000	電	17
		計	14		437,200		
領事館	牛莊	營口	營口鐵工所	8. 10	10,000	電	2
	奉天	西塔大街	大連機械製作所奉天支店	7. 5	450,000	〃	80
	鐵嶺	朝日町	松野鐵工場	44. 5	30,000	石油	3
	安東	四番通	井上鐵工場	5. 9	5,000	電	3
		〃	宮崎鐵工場	7. 3	7,000	〃	5
		大和橋通	大森鐵工場	3. 9	10,000	〃	5
		市場通	藤田鐵工場	39. 3	50,000	〃	—
		計	7		562,000		
總計			83		97,108,430		

職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）			
日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
270	1,890	**2,160**	露式金物	—	—	45,000
600	3,600	**4,200**	機械修理	—	—	8,700
—	2,920	**2,920**	〃	—	—	4,200
—	2,016	**2,016**	鑪	本	2,016	14,112
—	6,080	**6,080**	機械金物	—	—	8,800
69,070	**580,240**	**649,310**				**2,560,696**
1,500	1,200	**2,700**	機械煖房具	—	—	12,000
1,825	10,950	**12,775**	鑄物	斤	281,914	312,618
620	6,320	**6,940**	鐵工品	貫	3,400	7,700
900	2,400	**3,300**	〃	〃	1,500	3,500
1,800	6,900	**8,700**	〃	〃	3,500	6,000
100	2,600	**2,700**	鑄物品	〃	18,955	47,864
210	1,350	**1,560**	鐵工品	〃	9,610	7,618
10	25	**35**	〃	〃	330	370
75	540	**615**	鑄物所	〃	600	1,500
5,400	5,700	**11,100**	鐵工品	〃	12,000	14,400
1,915	5,840	**7,755**	機械附屬品	斤	11,500	25,000
—	3,977	**3,977**	生熟鐵	〃	101,429	28,228
—	9,000	**9,000**	鑄鐵	箇	36,000	27,550
655	16,800	**17,455**	鐵工品	斤	28,852	101,500
15,010	**73,602**	**88,612**				**595,848**
365	11,200	**11,565**	ボイラー ストーブ	箇	1,520	3,800
2,160	51,862	**54,022**	水道鐵管	噸	—	543,860
—	3,230	**3,230**	鐵工品	—	21,321	15,000
430	9,100	**9,530**	鐵類新調修理	斤	75,778	28,480
360	8,280	**8,640**	〃	〃	37,154	15,447
1,028	9,656	**10,684**	〃	〃	32,550	38,500
316	2,900	**3,016**	建築用品	〃	87,500	13,500
4,659	**96,028**	**100,687**				**658,587**
88,739	**749,870**	**838,609**				**3,815,131**

(六) 製鐵業

概況 滿洲の製鐵業は滿鐵經營の鞍山製鐵所と日支合辦の本溪湖煤鐵公司が代表的のもので其外には殆んど言ふに足るものがない。

煤鐵公司は大正四年の開始で丁度歐戰開始後鐵價暴騰の時機に會して初期の成績大に見るべきものがあり、鞍山製鐵所は大正六年から建設に着手し今や第一期計畫の事業完成を告げたが戰後鐵價の激落は事業を著しく困難ならしめ前者の如きは大正十年九月事業を一時中止の止むなきに至り後者亦豫期に反して事業の成績擧らず目下其向上發展に關し研究中である。

鞍山製鐵所 鞍山站鐵鑛は別項鑛業の部で述べる如く廣大豐富であるので滿鐵は此原鑛を用ひて一大製鐵所を起すに決し同社の奉天公所員鎌田彌助氏と奉天督軍の僚賓たる于沖漢氏との間に中日合辦振興鐵鑛無限公司を組織し同公司の名を以て同地一帶の鑛業權を獲得せしめ會社は之と買鑛契約を結びて原鑛供給の基礎とした。

本製鐵所は滿鐵本線鞍山驛と立山驛との中間に設け將來一箇年銑鐵百萬噸(製品八十萬噸)を製出する計畫に基きて差當り第一期計畫として熔鑛爐二基を以て製出する銑鐵年額約十五萬噸を原料とし之に屑鐵、銑鐵又は屑鋼を補足して一箇年約十五萬噸の鋼を得る爲大正六年五月之が建設工事に着手し、大正八年四月二十九日第一期計畫に屬する熔鑛爐二基の中一基(第一熔鑛爐)と之に附隨する諸般の設備を完成したから其火入を行ひ五月一日初めて出銑を見爾來引續き殘部の工事を施行し、大正九年度初めには全部完成したが恰も經濟界の不況に際會したので其作業を見合せてゐたが、大正十年暮第一熔鑛爐破損したので第二熔鑛爐を使用して今日に及んでゐる。而して出銑狀況は開始以來順調に進行し漸次品質を改良して現在では一日百噸以上の出銑を見つゝある。

製鐵所現在の主要機械設備は下の通りである。

種	別	稱呼	臺數	摘要
銑鐵工場	熔鑛爐	基	2	(獨逸式)出銑能力一基一晝夜 250噸
	捲揚機	〃	2	(ポードツヒ式)鐵骨斜行頂上までの高さ 209呎
	熱風爐	〃	8	(マツクルワー式)熱度八百度、長さ200尺、直徑24尺
	送風機	〃	3	送風量毎一分時 680方米突
	架空起重機	〃	2	捲揚能力15噸
骸炭工場	骸炭爐	基	4	「コツパトス」蓄熱式、窯數四十を以て一基とし一晝夜 120噸 「コークス」を製造す
	搗固機	臺	4	十馬力電働機四臺
	押出裝入機	〃	4	五十馬力電働機四臺
	扉捲揚機	〃	4	一臺能力 2 噸
	洗炭裝置	式	1	(バウム式)毎一時間50噸を洗炭す
	吸器及硫安 蒐集裝置	〃	1	(モンセニー式)石炭 800噸の副生物を處理するもの
發電所	發電機	基	2	一基能力 3.000kw
	汽罐	〃	8	一基の觸火面 360平方米突(水管式)

以上の外水道、機械工場、鑛滓煉瓦工場等の設備一式

作業成績は下の通りである(單位英噸)

	年度	鑛石	石灰石	骸炭
裝入原料	大正八年	61,484	36,558	45,818
	大正九年	132,431	63,408	87,072
	大正十年	102,627	49,907	69,164

	年度	正銑	瓷銑	屑銑	計
銑生產高	大正八年	28,674	2,946	—	**31,620**
	大正九年	65,804	9,091	378	**75,273**
	大正十年	44,097	13,086	—	**57,183**

本溪湖煤鐵公司 本溪湖は古來產鐵地として廣く知られ度々小規模の採掘を試みられたが乾隆、同治間を最盛期として爾來外國產の輸入增加に從がつて之に壓せられ逐年衰頹し光緒年代に至つて遂に全く廢滅に皈した。

然るに明治四十三年五月大倉喜八郎氏が奉天總督錫良氏と本溪湖煤鑛

公司の設立を約するや廟兒溝の鐵鑛を開掘して製鐵事業を兼營する必要を認め支那當局との間に交渉を重ね翌四十四年十月奉天に於て製鐵部合辦の調印を了し名を今の煤鐵公司と改め資本を四百萬元に倍加し直に事業計畫に著手し其後資本金を增加して七百萬元とした。

公司の計畫に從へば當初は先づ銑鐵の鑄出に止め鋼製品は後日機を見て開始するのであるが、銑鐵第一期計畫として百三十噸爐二基及之に伴ふ諸般の設備を爲すこととし内一基は既に大正三年末に於て竣工を告げ翌四年一月火入式を擧行し他は大正六年之を完成した。第一期の設備概要は下の通りである。

熔鑛爐	百三十噸	二基	捲揚塔	二基
熱風爐「マツクルア」式三重焔道		六基	除塵機	二基
鑄　床	百五十坪	二箇所	鑛滓池	一箇所

公司は事業の發展に伴ひ將來上記の設備を二倍して熔鑛爐を四基とすべき計畫を有し必要な敷地を準備するのみならず大戰の影響を受けて本擴張計畫實現の急を想へたが當時機械其の他の設備品を得ることが不能であつた爲め之に代へる一時的應急策として二十噸爐二基を急設することとし内一基は大正七年末他の一基は大正八年春之を竣成した然るに計らずも戰後の經濟界の反動は鐵價の暴落を來し生産不引合となりたる爲め同公司は大正八年十二月第一回事業縮少以來大正十年九月に至る迄に三回の事業縮少を爲し九月中旬に於て第四回の事業縮少を敢行し同時に熔鑛爐の火を消し製鐵事業を中止するの止むなきに至り最盛時日本人九百人、中國人一萬人を使役した公司は今や僅に日本人二百餘人、支那人三千五百人の小數に減し炭坑部も作業を約三分一に縮少するに至つた。然るに公司では事業の挽回策に就て大に研究して居たが公司の骸炭を以てする低燐銑製造の有望な事が確認されたので近く再び作業を開始するに至るであらう。

大正五年以降製銑高は下の通りである。

大正五年	49,211噸	大正八年	
大正六年	37,971	大正九年	82,296
大正七年	44,992		

(七) 電氣及瓦斯工業

關東州內及び鐵道附屬地に於ける電氣、瓦斯事業の主なるものは滿鐵會社經營の電氣作業所、瓦斯作業所、撫順炭礦發電所、同モンド瓦斯工場、鞍山製鐵所發電所、本溪湖煤鐵公司發電所等がある。

1 滿鐵電氣作業所及營業所

所在地

大　連　明治四十年四月政府より引繼

奉　天　明治四十一年六月開始

長　春　明治四十二年十二月開始

安　東　明治四十四年一月安東電燈會社(42年2月始業)より讓受

現在設備

大連
- 第一發電所(大連市濱町)
  - 千「キロワット」三相交流發電機 3臺
  - 千五百「キロワット」 〃 2〃
  - 計發電力 6,000「キロワット」
- 第二發電所(市外沙河口)五千「キロワット」發電機 1臺

奉天
- 二百「キロワット」發電機 2臺　五百「キロワット」發電機 2臺
- 發電力計 1,400「キロワット」

長春
- 二百五十「キロワット「發電機 3臺
- 五百「キロワット」 〃 3〃
- 發電力計 2,250「キロワット「

安東
- 百「キロワット」發電機 4臺　八十「キロワット」發電機 1臺
- 五百「キロワット」〃 2〃
- 發電力計 1,500「キロワット」三千「キロワット」發電機2臺(据付中)

發電所成績

年度	主要發電機能力(年度末現在)				發電量			
	大連	奉天	長春	安東	大連	奉天	長春	安東
	KW	KW	KW	KW	KWH	KWH	KWH	KWH
大正 4	4,500	400	1,150	300	10,292,198	1,121,380	2,152,770	1,268,300
〃 5	4,500	400	1,150	300	11,804,942	1,246,707	2,982,822	1,379,406
〃 6	4,500	400	1,150	380	14,792,590	1,418,052	3,838,650	1,763,142
〃 7	4,500	400	1,150	380	17,099,970	1,898,793	4,234,735	1,804,355
〃 8	4,500	900	1,750	480	19,548,810	2,474,065	4,357,345	1,933,567
〃 9	6,000	1,400	2,250	1 500	19,220,920	3,582,711	3,540,904	3,578,066
〃 10	6,000	1,400	2,000	4,375	22,802,997	5,251,509	4,419,690	6,431,825

電燈及

營業所	年度	*線條延長	電燈 *供給口數	十燭光換算電燈數 *常時	十燭光換算電燈數 臨時延日燈
大連	大正四年度	2,518,346	8,348	122,546	99,050
	〃 五年度	2,788,396	10,476	139,243	61,288
	〃 六年度	3,060,232	13,598	172,991	5,34[illegible]
	〃 七年度	3,304,170	16,665	222,118	83,187
	〃 八年度	3,420,583	19,913	287,652	202,110
	〃 九年度	3,901,990	21,778	348,757	2,080,295
	〃 十年度	4,225,100	23,489	402,976	386,374
奉天	大正四年度	610,247	1,283	20,613	5,706
	〃 五年度	613,749	1,795	25,042	1,595
	〃 六年度	664,977	2,391	31,522	7,187
	〃 七年度	775,772	3,025	44,157	149,932
	〃 八年度	863,926	3,932	57,109	14,653
	〃 九年度	988,341	4,336	75,946	29,466
	〃 十年度	1,121,914	4,831	87,096	33,831
長春	大正四年度	467,047	1,496	22,915	5,616
	〃 五年度	491,625	1,935	29,568	4,043
	〃 六年度	544,323	2,477	35,871	11,017
	〃 七年度	564,547	2,822	38,918	424,598
	〃 八年度	607,027	2,595	42,694	238,708
	〃 九年度	744,939	2,967	58,906	100,108
	〃 十年度	767,217	3,375	66,141	42,522
安東	大正四年度	881,924	2,035	19,283	13,320
	〃 五年度	934,352	2,407	23,574	13,933
	〃 六年度	1,009,673	3,723	31,005	11,763
	〃 七年度	1,086,370	4,811	41,021	58,326
	〃 八年度	1,188,216	4,865	50,362	48,671
	〃 九年度	1,328,810	5,600	66,904	30,661
	〃 十年度	1,496,111	6,068	78,020	40,026

＊印を附せるものは年度末現在のものなり、收入は圓以下四捨五入せ

電力

電力		收入		
*供給電働機數	使用馬力	電燈及電力料	其他	計
177	2,641,003	円 441,384	円 64,813	円 506,197
177	3,294,140	499,640	64,332	560,973
262	4,418,789	613,157	86,952	700,109
354	6,292,718	798,345	97,398	895,743
429	8,483,193	1,116,555	115,540	1,232,095
446	6,261,476	1,462,040	170,559	1,632 599
517	7,464,587	1,762,056	148,858	1,940,914
12	180,348	87,233	9,005	96,238
17	265,245	103,238	12,647	115,855
20	321,240	122,879	13,766	136,645
37	629,584	168,852	20,657	189,589
55	789,121	235,023	20,234	255,256
79	1,846,639	372,612	22,705	395,317
93	2,146,840	459,336	26,928	486,265
8	1,489,314	112,273	9,247	124,490
8	2,478,222	143,911	9,728	153,640
11	2,694,656	182,323	16,211	198,534
18	2,990,295	226,079	18,355	244,433
19	2,789,677	269,716	17,212	286,928
25	1,735,918	322,670	22,833	345,593
36	2,328,408	400,705	19,687	420,392
23	396,401	100,519	13,216	113,734
31	589,158	118,460	12,321	130,481
37	739,927	145,034	15,770	160,804
36	737,001	181,218	18,126	199,344
37	820,494	267,124	23,055	293,179
88	1,239,535	379,640	37,988	417,628
100	2,179,521	580,117	36,211	616,328

しを以て計に符合せざるものあり

電氣營業收支

年度		電燈	電力	電氣鐵道	其他收入	計
收入		円	円	円	円	円
明治	40	50,419	3,799		10,704	64,921
	41	178,539	13,784	—	35,553	227,876
	42	209,893	25,728	50,280	85,252	371,153
	43	321,332	49,433	143,912	86,086	600,763
	44	437,927	62,267	220,230	82,783	803,216
大正	1	489,032	64,805	228,665	67,440	849,943
	2	560,768	109,225	224,907	82,981	977,880
	3	652,104	121,570	219,275	108,789	1,101,738
	4	687,002	150,656	234,502	98,116	1,160,276
	5	773,056	187,891	269,613	43,592	1,274,152
	6	966,735	229,357	383,630	4,038	1,583,760
	7	1,229,395	299,635	528,121	4,910	2,062,061
	8	1,658,707	405,751	733,591	2,366	2,800,415
	9	2,295,618	495,428	859,797	2,954	3,653,798
	10	2,562,594	871,304	851,650	11,735	4,297,283

年度		電燈電力	電氣鐵道	其他支出	計	差引損益
支出		円	円	円	円	円
明治	40	—	—	—	101,238	損 36,316
	41	165,369	—	38,688	* 2,509 204,057	21,310
	42	212,388	72,637	89,632	374,657	損 3,504
	43	262,070	160,374	86,088	508,532	92,231
	44	332,171	190,967	95,800	618,938	184,278
大正	1	316,449	187,585	73,769	577,802	272,140
	2	374,952	179,735	88,123	642,810	335,071
	3	406,298	182,431	106,147	694,875	406,863
	4	433,394	181,209	109,098	723,711	436,565
	5	475,765	179,038	30,230	685,033	589,119
	6	696,090	252,357	—	948,447	935,313
	7	938,346	339,101	—	1,267,448	794,614
	8	1,795,162	587,789	—	2,382,951	417,463
	9	2,151,011	709,684	319,344	3,180,039	473,760
	10	2,286,010	662,226	535,277	3,483,512	813,771

*印ハ電話費ニシテ本數ニ含マス

2 大連電氣鐵道

營業開始時	市　　内　　線	明治四十二年九月二十五日より逐次營業を開始す
	北沙河口及星ヶ浦線	明治四十四年一月一日
	老　虎　灘　線	明治四十四年八月一日

尙明治四十四年からは小崗子埠頭間の電車に依る貨物運搬を開始した

運轉狀況

年　度	平均營業哩	車輛走行哩	乘車人員	貨物噸數	收　入	一日平均收入
大正五年度	17.4	1,720,187	6,289,841	48,951	269,613	739
大正六年度	17.4	1,682,357	8,797,644	45,222	383,630	1,051
大正七年度	18.1	1,702,355	12,062,832	27,478	528,121	1,447
大正八年度	18.9	1,691,174	16,826,462	21,460	733,591	2,004
大正九年度	19.5	1,851,344	18,583,833	66,631	859,797	2,356
大正十年度	21.2	2,154,990	18,812,398	76,669	851,650	2,333

3 撫順炭礦電氣工場

坑内外諸機關及電氣鐵道用其の他社内外電力並電燈供給の爲モンド式及リム式瓦斯發生爐を据付け 19,000KWの發電能力を有し硫安其の他の別生物を産出する。

4 鞍山製鐵所發電所

作業成績（單位KWH）　（製鐵所の項參照）

年　度	發電量	供給電量 電燈用	供給電量 電力用	合　計
大正八年	8,834,922	1,029,863	6,289,107	**7,318,970**
大正九年	11,156,840	1,463,101	7,916,738	**9,379,839**
大正十年	10,305,900	1,258,783	8,010,709	**9,269,492**

5 本溪湖煤鐵公司發電所

5,500KWの發電能力を有し自家用動力並に電燈に使用した餘力を本溪湖、橋頭、南坟の日支官憲及び一般公衆の爲に電燈用として供給して居る。

6 其他の

滿蒙電氣事

地方名		工場名	發電能力
奉天省	旅順	民政署	250KW
	金州	民政署	100
	貔子窩	貔子窩電燈株式會社	30
	大連	滿鐵電氣作業所	6,000
	奉天	滿鐵電氣作業所奉天營業所	1,400
	安東	滿鐵電氣作業所	1,500
	撫順	滿鐵撫順炭礦發電所	19,000
	鞍山	滿鐵鞍山製鐵所	3,000
	本溪湖	本溪湖煤鐵公司	5,500
	普蘭店	普蘭店電燈株式會社	50
	營口	營口水道電氣株式會社	800
	瓦房店	瓦房店電燈株式會社	75
	大石橋	大石橋電燈株式會社	55
	奉天	奉天電燈公司	2,250 Vt
	遼陽	遼陽電燈公司	180KW
	鐵嶺	鐵嶺電燈公司	180
	開原	滿洲電氣株式會社	275
吉林省	四平街	四平街電燈株式會社	135
	公主嶺	公主嶺電燈公司	60
	吉林	永衡電燈公司	5,000 Vt
	長春	滿鐵電氣作業所	2,000
	同	商埠電燈廠	?
	范家屯	范家屯電氣株式會社	50
	哈爾賓	北滿電氣株式會社	3,320
	同	東支鐵道經營	800
	傅家甸	爾濱慶記電燈有限公司	?
	雙城堡	雙城電燈公司	?
黑龍江省	齊々哈爾	江省電燈公司	240Hp 144 Vt
	黑河	黑河電燈廠	1,000 燈
其他	赤峯	赤峰電燈公司(未成)	100 Vt

電 氣 事 業

業 者 一 覽

營業	組織	資本金	設立年次
電力、電燈	官廳	円 —	1907
電燈	同	—	1917
同	日本株式	5,500	1921
電力、電燈、電車、			1907
電力、電燈			1910
同	滿鐵經營	—	1911
電力、電燈、電車 工場用			1908
電力、電燈、電車			1919
電燈、電力	日支合辦	—	—
電燈	日本株式	300,000	1921
電燈、電話、水道、電力	日支株式	2,000,000	1906
電燈、電力	同	50,000	1914
電燈	日本株式	50,000	1916
同	中國株式	元 500,000	1908
電力、電燈	日支合辦	120,000	1912
同	同	260,000	1911
電燈、電力	日本株式	150,000	1914
電燈	日本株式	50,000	1917
同	日支合辦株	50,000	1917
同	中國株式	元 100,000	1907
電燈、電力	滿鐵經營	—	1910
同	商埠局經營	180,000両	1912
電燈	日支株式	200,000円	1921
電燈、電力	日露合辦	1,200,000	1918
同	露國株式	300,000	—
同	中國官民	500,000元	1918
同	中國株式	30,000	—
電燈	中國株式	100,000	—
同	同	20,000	—
電燈	中國株式	80,000	1917出願

7 滿 鐵 瓦

所在地 {大 連 明治四十三年三月開業 / 撫 順 大正九年十月同 / 鞍 山 明治四十二年十月同—(炭礦附帶事業)}

瓦斯製造所主要

箇所	年度	主要設備 發生爐能力	主要設備 埋設管延長	生産 瓦斯	生産 副 骸炭
		一晝夜立方呎	呎	立方呎	英噸
大連	大正四年度	650,000	328,922	93,662,400	5,902.8
	〃 五年度	600,000	344,076	105,888,900	6,264.4
	〃 六年度	800,000	355,346	128,954,400	7,670.7
	〃 七年度	800,000	382,134	153,196,600	9,362.6
	〃 八年度	1,100,000	416,566	187,786,100	11,075.0
	〃 九年度	1,400,000	452,733	214,389,510	11,998.2
	〃 十年度	1,400,000	496,628	211,765,550	11,721.8
撫順	大正四年度	120,000	22,545	18,635,700	1,000.0
	〃 五年度	120,000	25,042	21,930,300	1,241.9
	〃 六年度	120,000	25,042	23,214,600	1,309.8
	〃 七年度	120,000	35,143	27,390,000	1,468.0
	〃 八年度	150,000	35,476	30 175,500	1,647.0
	〃 九年度	150,000	36,016	29,170,600	1,581.6
	〃 十年度	150,000	36,793	27,714,400	1,663.0

備考 鞍山瓦斯營業所は九年末營業開始に付成績記入を略す尙同所

瓦斯供

年度	大 家事用(燈熱)	街燈用	工業 燈熱
大正四年度	66,504,600	3,736,200	2,891,000
〃 五年度	71,769,000	3,577,200	3,169,500
〃 六年度	82,716,400	3,965,100	5,707,300
〃 七年度	98,664,300	4,001,000	8,182,5)0
〃 八年度	131,896,800	4,195,000	9 344,900
〃 九年度	154,483,300	4,472,500	9,466,500
〃 十年度	165,976,100	4,054,500	9,595,100

斯作業所

設備及製造成績

高						
生物		裝炭量	石炭一噸平均生產高			備考
タール	硫酸アンモニア		瓦斯	骸炭	タール	
		英噸	立方呎	英噸	米呏	
116,023	14,298.3	9,225.5	10,153	0.64	12.6	副生物には本表の外「ピッチタール」あるも其數量僅少なるを以て便宜之を省略せり
117,154	18,844.3	9,636.2	10,989	0.65	12.2	
169,824	26,490.5	11,817.0	10,913	0.65	14.4	
204,586	36,576.9	14,400.2	10,639	0.65	14.2	
199,611	38,494.4	16,539.0	11,354	0.67	12.1	
216,345	28,071.7	18,502.7	11,587	0.65	11.7	
199,137	20,795.9	17,269.4	12,842	0.68	11.5	
24,389	—	1,712.5	10,882	0.58	14.2	
23,717	—	2,258.0	9,712	0.55	10.5	
23,285	—	2,520.5	9,210	0.52	9.2	
31,206	—	2,869.8	9,544	0.51	10.9	
25,925	—	2,991.2	10,088	0.55	8.7	
26,339	—	2,648.5	11,014	0.60	9.9	
22,634	—	2,836.7	9,770	0.59	8.0	

には十五萬立方呎の瓦斯溜一基、埋設鐵管總延長627間あり

給用途別　（單位立方呎）

連		撫順		
用 動力	計	鑛業用	其他	計
17,453,700	**90,585,500**	1,393,214	14,428,150	**15,821,364**
21,463,400	**99,979,100**	1,616,500	17,857,400	**19,473,900**
30,906,400	**123,295,200**	1,511,300	20,007,110	**21,518,410**
33,434,000	**144,281,800**	1,446,750	22,950,540	**24,397,290**
36,386,000	**181,822,700**	1,433,440	26,306,090	**27,739,530**
36,668,100	**205,090,400**	2,107,740	24,260,890	**26,368,630**
39,855,600	**219,481,300**	3,112,900	24,602,600	**27,715,500**

(八) 窯

1 煉瓦瓦

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州內	旅順	方家屯會鹽灘	武田煉瓦工場	43. 4	20,000
		龍頭	赤坂煉瓦工場	8. 7	6,000
	大連	春柳屯	永興福煉瓦工場	6	銀15,000
		劉家屯	振記 〃	9. 4	20,000
		寺兒溝	恩田煉瓦製造所	39. 3	50,000
		春柳屯	雙盛福	8. 4	5,000
		沙河口會鄭家屯	泰來窯	1. 4	4,000
		春柳屯	大陸窯業會社煉瓦工場	8. 4	2,000,000
		三春柳	西坂煉瓦工場	8. 6	15,000
		李家屯	共同組	41. 4	30,000
		春柳屯	大連煉瓦合資會社工場	9	30,000
		山城町	大陸窯業株式會社土管工場	8. 4	再出
		小崗子	滿洲製陶株式會社	8.10	500,000
		周家屯	營口煉瓦製造所周水工場	3. 4	380,000
		香爐屯	片岡煉瓦工場	8. 7	10,000
		臺山屯	滿洲坩堝株式會社工場	7.10	500,000
		東家屯	大成號煉瓦工場	7. 4	銀 8,000
		春柳屯	德盛永煉瓦製造所	7. 5	7,000
		李家屯	福田煉瓦工場	1	50,000
		春柳屯	大連建材株式會社場瓦工場	8. 6	500,000
		小崗子	〃 瓦工場	8. 6	再出
		寺兒溝	福昌公司劍山煉瓦工場	42. 7	30,000
		春柳屯	雙成煉瓦工場	8. 5	5,000
		石家屯	萬慶和煉瓦工場	8. 5	10,000
		臺山屯	伊藤煉瓦工場	6. 4	25,000
		李家屯	股分春柳公司煉瓦工場	8. 5	40,000

業

製　　造　　所　（大正十年十二月現在）

動力		職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	—	270	36,500	**36,770**	煉瓦	箇	2,685,000	12,810
—	—	—	4,500	**6,500**	〃	〃	600,000	9,000
—	—	—	1,440	**1,400**	〃	〃	540,000	5,400
—	—	—	24,000	**24,000**	〃	〃	3,000,000	31,500
—	—	—	31,500	**31,500**	〃	〃	3,000,000	48,000
—	—	—	4,500	**4,500**	〃	〃	1,500,000	21,000
—	—	—	2,150	**2,150**	〃	〃	1,050,000	12,000
—	—	—	12,540	**12,540**	〃	〃	1,140,000	16,000
—	—	320	2,500	**2,820**	〃 家根瓦	〃	500,000 60,000	6,000 3,000
—	—	—	1,500	**1,500**	〃	〃	6,000,000	90,000
—	—	—	26,880	**26,880**	〃	〃	2,500,000	29,750
電	30	—	11,200	**11,200**	土管 瓦	本 枚	63,060 385,000	39,745 26,950
〃	10	—	9,391	**9,391**	碍子 碍管	箇 本	366,660 219,965	15,980 2,639
瓦	70	300	42,180	**42,480**	煉瓦	箇	2,000,000	28,000
—	—	—	10,800	**10,800**	〃	〃	2,000,000	26,000
電	15	900	7,100	**8,000**	坩堝	番	1,124,345	78,704
—	—	—	8,400	**8,400**	煉瓦	箇	1,000,000	12,000
—	—	—	11,340	**11,340**	〃	〃	270,000	3,780
—	—	—	7,500	**7,500**	〃	〃	1,500,000	18,000
—	—	—	25,200	**25,200**	〃	〃	2,314,900	18,482
—	—	—	2,344	**2,344**	セメント瓦	〃	203,310	11,283
—	—	210	33,600	**33,810**	煉瓦	〃	5,200,000	62,400
—	—	—	2,750	**2,750**	〃	〃	1,200,000	16,800
—	—	—	1,600	**1,600**	〃	〃	1,000,000	12,000
—	—	—	14,700	**14,700**	〃	〃	1,400,000	18,200
—	—	—	43,200	**43,200**	〃	〃	6,100,000	64,050

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州内	—	小崗子	曹永鑫	8. 4	150
	—	石家屯	竹田煉瓦工場	8. 6	50,000
	—	小崗子	益和號	45. 5	銀 10,000
	普蘭店	福壽街	復州粘土窯業公司工場	7. 7	300,000
	計		31		4,620,150
州外	瓦房店		藤山煉瓦工場	41. 7	15,000
	營口	牛家屯	營口興業會社煉瓦工場	39. 8	1,000,000
	遼陽	忠魂碑西	林洋行煉瓦工場	2. 7	50,000
		驛西側	遼陽窯業株式會社煉瓦工場	8. 7	50,000
	本溪湖	郭家堡子	本溪湖石灰株式會社工場	9. 5	200,000
	撫順	大官屯外五ヶ所	撫順窯業會社	9. 2	1,000,000
		古城子	伊賀原土管工場	2. 8	4,000
		古城子東鄉坑	撫順工業合資會社	7. 5	100,000
		松田橋外	大陸窯業株式會社撫順工場	8. 7	500,000
	開原	附屬地外許家臺	煉瓦工場	8. 4	100,000
		高砂町	大陸窯業會社長春工場	8. 4	1,000,000
	四平街	附屬地西南端	松茂煉瓦工場	2. 6	20,000
		泉頭附屬地	亞細亞窯業株式會社泉頭工場	8.10	500,000
	計		14		4,539,000
領事館	奉天	西塔大街	松茂洋行工業部	42.10	100,000
	鐵嶺	南門外	松茂洋行鐵嶺煉瓦工場	41. 3	50,000
	安東	六道溝	安東窯業株式會社	1.12	250,000
	計		3		400,000
總計			48		9,559,150

動力		職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	—	—	1,800	**1,800**	酒壺	箇	600	820
—	—	365	9,000	**9,365**	煉瓦	〃	2,000,000	20,000
—	—	—	2,996	**2,996**	〃	〃	2,100,000	8,400
瓦	45	600	4,020	**4,620**	耐火煉瓦 土管 坩堝	〃 〃 〃	47,000 17,919 279	3,240 8,959 2,232
—	—	**2,965**	**397,131**	**400,096**				**813,144**
—	—	—	15,840	**15,840**	煉瓦	箇	600,000	9,800
蒸	45	—	35,280	**35,280**	〃	〃	2,336,900	46,738
—	—	170	8,530	**8,700**	〃	〃	1,500,000	22,000
—	—	360	10,800	**11,160**	〃	〃	120,000	1,800
—	—	—	6,000	**6,000**	風化石灰	噸	4,000 6,000	26,000 5,800
—	—	1,620	73,900	**75,520**	煉瓦 瓦	箇	20,502,840 211,864	304,957 11,311
—	—	370	2,340	**2,710**	土管	本	7,000	3,500
—	—	180	3,600	**3,780**	瓦	箇	100,000	5,000
—	—	240	7,200	**7,440**	土管 セメント瓦	本 枚	33,570 96,700	13,426 7,736
—	—	1,160	17,245	**18,405**	煉瓦 瓦	枚	117,000 62,750	2,699 6,275
—	—	420	3360	**3,780**	〃	〃	200,000	18,000
—	—	360	1,500	**1,860**	煉瓦	箇	1,256,050	2,310
—	—	329	1,580	**1,909**	土管	〃	12,484	7,550
—	—	**5,219**	**137,165**	**142,384**				**494,902**
—	—	1,200	152,000	**153,200**	煉瓦	箇	6,205,507	86,071
—	—	440	44,000	**44,440**	〃	〃	3,466,180	49,932
電	150	7,760	36,000	**43,760**	〃 瓦	〃 枚	7,502,000 240,000	113,000 6,000
—	—	**9,400**	**232,000**	**241,400**			**17,413,687**	**255,003**
—	—	**17,584**	**766,295**	**793,880**				**1,563,049**

2 硝子

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州內	大連	西王家屯	大連製氷株式會社製壜工場	45. 5	500,000
		逢阪町	玉置硝子製造所	39. 3	60,000
		小崗子	遼東硝子研究所	9. 8	28,000
	計		3		84,000
州外	四平街	新街路	東亞硝子製造工場	9.11	2,500
	計		1		2,500
領事館	牛莊	營口	營口硝子製造會社	1. 8	20,000
		〃	濱田硝子工場	9. 7	3,000
	奉天	大西關	穗積玻璃廠	39. 6	25,000
	安東	上川端町	安東硝子製造株式會社	9. 1	100,000
	計		4		148,000
總計			8		234,500

工　　業　（大正十年十二月現在）

動力		職工延人員			製造品（大正十年）			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	—	600	6,000	**6,600**	サイダー壜	本	900,000	45,000
電	1	600	5,100	**5,700**	硝子類	箇	522,400	18,170
〃	5	3,600	11,400	**15,000**	〃	〃	—	53,610
—	—	**4,800**	**22,500**	**27,300**			—	**116,780**
—	—	384	1,536	**1,920**	ランプホヤ	打	1,920	1,344
					油入瓶	箇	1,600	1,600
					カンテラ瓶	〃	6,200	1,747
					酒瓶	本	3,600	1,000
—	—	**384**	**1,536**	**1,920**			—	**5,691**
—	—	732	18,250	**18,982**	硝子器	箇	—	37,289
—	—	335	7,300	**7,6351**	硝子	枚	—	23,000
石油	15	338	13,520	**13,858**	ランプホヤ	打	42,900	23,595
					藥瓶	箇	202,000	10,100
					臺ランプ	打	4,450	5,340
					蠅取器	〃	380	994
					板硝子	箱	38	456
—	—	400	6,200	**6,600**	硝子類	箇	415,240	16,989
—	—	**1,805**	**45,270**	**47,075**			—	**117,763**
—	—	**6,989**	**69,306**	**76,295**			—	**240,234**

(九) 其　他

1 製　材

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州內	大連	薩摩町	淸水組工作所	6. 9	1,000
		北大山通	秋田商會木材株式會社工場	9. 4	750,000
	計				751,000
州外	撫順	明石町	撫順製材會社	8.12	300,000
	長春	住吉町	東亞興產株式會社	7. 6	500,000
		高砂町	面高製材所	7. 7	80,000
		〃	南滿製材株式會社	7 11	100,000
		住吉町	小松製材所	7.11	14,000
		〃	日興製材所	8. 1	15,000
		〃	豐材公司製材工場	8. 9	40,000
		〃	滿洲木材株式會社	9. 4	500,000
	安東	江岸通	鴨綠江木材株式會社	9. 3	1,000,000
		〃	東亞木材興業	8.10	2,000,000
		〃	遼東木材株式會社安東出張所	9. 6	1,000,000
		〃	滿鮮製函木材株式會社	10. 6	500,000
		〃	川崎製材所	6. 1	200,000
		〃	日滿木材株式會社	9. 7	400,000
		〃	安東挽材株式會社	8.12	1,000,000
		大倉通	鴨綠江製材無限公司	4.10	1,000,000
		數島通	大六製材所	6.11	100,000
		西湖通	合資會社南滿製材公司	7. 5	200,000
		〃	宮下木材株式會社安東縣出張所	7.10	100,000
		浦濱通	山田製材所	8.11	10,000
		數島通	合資會社守永製材所	8. 9	50,000

の　工　業

業　　　（大正十年十二月現在）

動力		職工延人員			製造品			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
電	30	109	654	763	製材	才	15,605	3,546
蒸	120	—	8,515	8,515	〃	尺〆	17,000	340,000
		109	9,169	9,278			—	343,546
電	30	360	7,200	7,560	製材	石	6,600	66,000
〃	80	35	460	495	〃	呎	1,000	970
〃	40	690	4,441	5,131	〃	〃	31,000	24,800
〃	50	465	5,415	5,880	〃	〃	21,280	20,044
〃	35	430	5,260	5,690	〃	〃	50,000	45,000
〃	25	—	1,627	1,627	〃	〃	21,500	15,050
〃	30	1,658	5,152	6,810	〃	〃	236,000	186,000
〃	10	924	1,187	2,111	〃	〃	28,424	25,235
蒸	45	684	2,224	2,908	〃	尺〆	12,240	154,038
〃	195	760	20,000	20,760	〃	〃	23,333	268,595
〃	100	547	14,400	14,947	〃	〃	14,450	170,000
〃	75	450	2,250	2,700	〃	〃	16,800	235,200
〃	80	300	6,700	7,000	〃	〃	9,620	120,250
〃	120	280	10,960	11,240	〃	〃	25,200	302,400
〃	100	1,200	21,026	22,226	〃	〃	32,400	424,000
蒸 電	545 147	5,230	74,094	79,324	〃	〃	95,415	1,270,179
蒸	35	1,200	4,500	5,700	〃	〃	15,000	216,085
〃 電	120 75	987	12,831	13,818	〃	〃	364,907	486,663
蒸	75	740	22,000	22,740	〃	〃	29,166	35,000
電	75	900	3,100	4,000	〃	〃	21,320	245,513
〃	75	300	9,000	9,300	〃	〃	6,666	175,000

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州外	安東	大原通	豐松公司	10. 2	5,000
		新堀通	南滿製材公司	10.11	5,000
		〃	蛭子製材所	10. 1	5,000
	計				**9,124,000**
領事館	牛莊	營口	三利洋行製材工場	9. 3	200,000
	奉天	西塔大街	三浦製材所	9. 4	50,000
	安東	一番通	鈴木製材所	8. 7	40,000
		〃	安東木材合名會社	7.11	20,000
		二番通	安東製材所	6.10	10,000
		濱通	共立製材所	8. 6	15,000
		同	竹下製材所	6. 5	5,000
		一番通	五通製材所	7. 1	5,000
		二番通	鴨花商會	9. 3	15,000
		一番通	紀和商行	9. 3	30,000
		二番通	北澤製材工場	4. 4	5,000
		三番通	森迫製材工場	9.12	2,000
		六道溝	丸幸製材工場	7. 5	15,000
	計				**412,000**
東支沿線	哈爾濱	傅家甸四家子	哈爾賓製材合資會社	10. 6	100,000
	計				**10,387,000**
總計					—

動力		職工延人員			製造品			
種類	馬力	日本人	支那人	計	種類	單位	數量	價額
電	85	210	6,678	**6,888**	製材	尺メ	8,880	106,560
〃	75	90	368	**458**	〃	〃	600	8,400
〃	75	365	13,440	**13,805**	〃	〃	12,748	152 985
—	—	**18,805**	**254,313**	**273,118**	—	—	—	**4,653,967**
電	80	340	14,400	**14,740**	〃	才	1,200,000	170,000
〃	100	350	3,910	**4,260**	〃	才	2,260,000	289,000
蒸 電	35 75	980	6,280	**7,260**	〃	尺メ	4,690	60,000
電	25	1,380	8,750	**10,130**	〃	〃	28,400	500,000
〃	13	360	2,200	**2,560**	〃	〃	6,600	30,000
〃	75	1,040	9,600	**10,640**	〃	〃	10,200	170,000
〃	10	1,100	5,400	**6,500**	〃	〃	4,500	70,000
蒸	45	985	13,000	**13,985**	〃	〃	5,000	85,600
電	20	720	7,200	**7,920**	〃	〃	9,380	10,000
〃	8	360	1,380	**1,740**	〃	〃	8,900	150,000
	—	--	5,000	**5,000**	〃	〃	17,500	20,600
電	10	360	4,800	**5,160**	〃	〃	31,350	39,235
〃	20	720	1,860	**2,580**	〃	〃	10,000	12,000
—	—	**8,695**	**83,780**	**92,475**	—	—	—	**1,606,435**
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	**27,609**	**347,262**	**374,871**	—	—	—	**6,603,948**
—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 皮革

地方別		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州內	旅順	敦賀町	坂本製靴工場	41. 7	1,000
		乃木町	岸本製靴工場	2. 4	5,000
	大連	信濃町	タカラヤ靴店	9.12	5,000
		羽前町	德華靴工場	2. 9	銀 400
		信濃町	千代田商會製靴所	9. 8	1,500
		壹岐町	若藤靴店工場	10.10	10,000
		浪速町	梅本製靴所	41	10,000
		岩代町	花井製靴工場	41.10	5,000
		駿河町	古賀洋行	39. 1	50,000
		本郷町	福順和靴店	1. 3	銀 500
		伊勢町	大塚靴店	1. 5	1 000
		大山通	初瀬靴店	2. 9	5,000
		奥町	源祥泰靴工場	3. 4	1,500
		西通	大二號工場	42. 4	10,000
		信濃町	吉田製靴工場	6.11	300
		東鄉町	駒田靴店工場	3. 9	1,000
	計		16	—	107,200
州外	奉天	末廣町	滿蒙殖產工場	8.11	5,000,000
	計		1	—	—
領事館	奉天	小北關	森川皮革部	7. 4	50,000
	計		1	—	—
東支沿線	哈爾賓	インテンダンスキー	哈爾賓皮革株式會社	9. 9	2,000,000
總計			19	—	7,157,200

工　　　業　（大正十年十二月現在）

動力		職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	—	750	3,550	**4,300**	靴	足	6,200	22,400
—	—	350	1,800	**2,150**	〃	〃	2,400	14,304
—	—	250	2,150	**2,400**	〃	〃	1,440	12,960
—	—	—	1,600	**1,600**	〃	〃	400	1,600
—	—	300	1,200	**1,500**	〃	〃	840	5,040
—	—	305	2,440	**2,745**	〃	〃	2,160	21,060
—	—	—	1,535	**1,535**	〃	〃	3,500	5,000
—	—	—	1,500	**1,500**	〃	〃	1,000	8,000
—	—	1,500	10,200	**11,700**	〃	〃	9,000	72,000
—	—	—	600	**600**	〃	〃	400	1,600
—	—	—	2,400	**2,400**	〃	〃	2,400	12,220
—	—	600	1,500	**2,100**	〃	〃	2,103	15,240
—	—	—	4,650	**4,650**	〃	〃	422	3,030
—	—	—	5,270	**5,270**	〃	〃	16,800	33,900
—	—	—	1,575	**1,575**	〃	〃	305	1,640
—	—	—	1,545	**1,545**	〃	〃	1,330	1,937
—	—	**4,055**	**43,515**	**47,570**			—	**281,932**
蒸 電	23 68	1,550	3,360	**4,910**	皮革（薄） （厚）	斤	25,478 1,588	17,657 3,641
—	—	—	—	—			—	—
石油	5	1,080	4,200	**5,280**	皮革	坪	134,369	58,240
—	—	—	—	—			—	—
—	—	—	—	—			—	—
—	—	**6,685**	**51,075**	**57,760**			—	**361,470**

3 印刷

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州內	旅順	乃木町	山田活版印刷所	10.2	6,500
		青葉町	五松泰	8.4	300
	大連	淡路町	大連新聞社	9.1	100,000
		監部通	同復公司	6.10	銀 2,000
		山縣通	營口印刷株式會社大連支店	9.5	100,000
		近江町	東亞印刷株式會社大連支店	8.8	115,500
		小崗子	昌記印刷所	3.8	3,000
		山縣通	竹下商店工場	2.5	10,000
		伏見臺	光瀬印刷所	10.4	10,000
		信濃町	一心堂	8.4	2,000
		敷島町	南海堂	7.4	5,000
		奥町	泰東日報印刷工場	41.11	150,000
		濱速町	野間印刷所	43.4	5,000
		吉野町	松浦屋大連支店	39.10	10,000
		信濃町	西川活版工場	3.10	20,000
		伊勢町	一貫堂石版印刷工場	1	2,000
		吉野町	東洋印刷所	10.7	10,000
		大山通	小林又七支店印刷工場	38.4	40,000
		小崗子	關東報社	8.11	銀50,000
		山縣通	三友舍活版印刷所	10.6	5,000
		北大山通	合資會社日清印刷工場	9.7	100,000
		磐城町	同和祥	10.5	1,000
		吉野町	福幸堂石版印刷工場	7.8	1,500
		信濃町	同和祥印刷工場	10.5	再出
		濱速町	滿洲新報支社印刷部	8.10	6,000
		隱岐町	吉成石版印刷工場	10.10	3,000
		監部通	元昌印刷局	7.11	3,000
		敷島町	遼東新報社印刷場場	38.10	500,000

業

(大正十年十二月現在)

動力		職工延人員(大正十年)			製造品(大正十年)			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	—	1,205	1,385	2,990	印刷物	枚 册	1,080,000 2,000	5,650 2,280
—	—	—	3,000	3,000	〃	—	—	2,100
電	6	6,440	4,200	10,640	新聞	部	4,480,000	2,240,000
—	—	—	1,800	1,800	印刷	—	—	2,000
電	2	360	5,115	5,475	〃	—	—	7,678
〃	8	2,565	15,135	17,700	〃	—	—	96,000
〃	1	—	3,050	3,050	〃	枚	900,000	1,000
〃	1	312	1,560	1,872	〃	〃	3,120,000	18,720
〃	2	230	1,200	1,480	〃	—	—	5,000
〃	1	—	1,380	1,380	〃	枚	1,200	4,000
〃	1	300	1,800	2,100	〃	〃	2,500,000	3,500
〃	6	365	9,490	9,855	新聞	部	3,200,000	194,000
—	—	300	1,500	1,800	印刷	枚	3,000,000	7,500
電	2	1,220	4,712	5,932	〃	—	—	7,200
〃	2	900	2,800	3,700	〃	—	—	27,100
—	—	332	1,328	1,660	石版	—	—	7,200
電	2	600	1,000	1,600	〃	枚	1,000,000	5,000
〃	10,3	11,808	37,440	49,248	印刷製本	—	—	154,721
〃	3	—	4,500	4,500	新聞	部	810,000	22,356
〃	2	—	1,712	1,712	印刷	枚	1,498,000	5,000
〃	1	3,000	8,000	11,000	〃	—	—	4,800
—	—	—	2,800	2,800	〃	枚	2,190,000	6,170
—	—	—	1,500	1,500	石版	—	—	6,000
—	—	—	5,100	5,100	印刷	—	—	5,069
電	1	580	1,740	2,320	新聞	部	—	不明
—	—	150	225	370	石版	—	—	2,600
—	—	—	4,015	4,015	印刷	—	—	5,000
電 瓦	8 6	10,828	6,428	17,250	新聞	部	12,000,000	550,000

地方名		所在地	工場名	設立年月	資本金額
州內	大連	浪速町	川上印刷所	9. 5	7,000
		東公園町	滿洲日々新聞印刷工場	44. 8	500,000
	計		30		**1,657,800**
州外	遼陽	佟家大街	遼陽印刷株式會社	8. 4	100,000
	鞍山	大和町	鞍山印刷株式會社	8.12	55,000
		〃	遼鞍印刷株式會社	8. 4	100,000
	撫順	春日町	撫順印刷株式會社	9. 4	210,000
	鐵嶺	附屬地東大街	島村活版所	42.12	20,000
	長春	東二條通	濱本活版所	41.12	20,000
		三笠町	北原活版所	3.12	15,000
		日本橋通	竹島印刷工場	6. 3	5,000
		富士町	近江印刷工場	8.10	15,000
	計		9		**540,000**
領事館	牛莊	營口	營口印刷株式會社	6.12	100,000
		〃	尾崎洋行印字館	38. 2	20,000
	奉天	小西關	奉天活版所	5.12	50,000
	安東	市場通	精美館印刷工場	10. 6	50,000
	計		4		**220,000**
東支沿線	哈爾賓	埠頭區	哈爾賓印刷株式會社	7	500,000
總計			44		**2,927,800**

動力		職工延人員（大正十年）			製造品（大正十年）			
種類	馬力	日本人	中國人	計	種類	單位	數量	價額
—	—	1,280	2,880	**4,160**	印刷	—	—	10,000
電	22,5	15,300	35,700	**51,000**	〃	—	—	436,698
—	—	**58,075**	**170,935**	**220,970**			—	**3,844,942**
—	—	335	3,350	**3,685**	印刷	枚	—	13,200
—	—	81	405	**486**	〃	〃	22,500,000	18,000
—	—	240	1,200	**1,440**	〃	〃	22,500,000	18,000
電	5	1,997	7,220	**9,217**	〃	—	—	42,000
—	—	—	3,150	**3,150**	〃	枚	2,250,000	4,500
電	3	1,050	2,450	**3,500**	〃	—	—	16,800
〃	3	700	4,550	**5,250**	〃	—	—	36,000
〃	2	350	1,750	**2,100**	〃	—	—	20,000
—	—	350	2,450	**2,800**	〃	—	—	15,000
—	—	**5,103**	**26,525**	**31,628**			—	**183,500**
電	8	1,705	9,889	**11,594**	印刷	—	—	72,000
〃	—	720	5,760	**6,480**	〃	—	—	35,000
〃	3	2,520	9,190	**11,710**	罫紙	枚	65,000,000	34,977
〃	4	330	7,200	**7,530**	印刷	—	—	25,000
—	—	**5,275**	**32,039**	**37,314**			—	**166,977**
—	—	—	—	—			—	—
—	—	**68,453**	**229,499**	**289,912**			—	**4,195,419**

(十) 工業試驗機關

滿洲に於ける工業試驗所機關としては滿鐵の中央試驗所及び窯業試驗工場の二があるに過ぎない。

1 中央試驗所

明治四十一年七月關東都督府が設立されてから滿洲に於ける天與の富源開發を企圖し將來事業計畫の基礎を學術的と其の結果の實行とに因り確立せざるべからざるを認め主として殖產工業及衞生に關する試驗を施行する機關であつた處同四十三年五月滿鐵に於て繼承したものである爾來滿鐵は漸次之を擴張し其組織を變革し大正六年十月庶務、分析、應用化學、製絲、窯業、釀造、衞生、電氣化學の八課を設け益々學術研究を進めると共に一般の分析、試驗及鑑定の依賴にも應ずるのである。

尙研究の結果工業として成立の見込あるものは工場作業採算的の基礎調查を爲す爲め更に試驗工場を設立し明治四十三年四月から此方六年十一月迄に實施した工場は製絲工場、陶磁器工場、耐火煉瓦工場、高粱酒釀造工場、染織工場、豆油製造工場、脂肪酸工場、硝子製造試驗工場「リグノイド」製造試驗工場等である。然るに大正九年六月職制變更され從來の各課を廢止して新に試驗課竝研究課の二課を置き試驗課は諸般の分析、試驗、檢定及鑑定に關する事項を掌理し研究課は工業に關する理化學的研究及調查の事項を掌理することゝなつた。

試驗分析及鑑定取扱件數

年度	社用	關東廳	一般公衆	計	手數料
大正四年度	1,575	988	827	**3,390**	6,804
〃 五年度	2,312	775	1,433	**4,520**	10,749
〃 六年度	3,893	842	1,687	**6,422**	20,455
〃 七年度	5,348	899	1,268	**7,515**	28,170
〃 八年度	5,017	844	1,370	**7,231**	23,398
〃 九年度	4,356	857	1,669	**6,882**	21,253
〃 十年度	4,735	1,455	2,419	**8,609**	23,167

2　窯業試驗工場

大正九年六月中央試驗所の一課であつた窯業課は同所から分離して窯業試驗工場と改稱された。當試驗工場は研究部を中心として之に陶磁器工場、第一、第二耐火煉瓦工場、硝子工場の四工場を附設し大正八年の經費總額は大約七十一萬圓で收入は四十八萬六千圓であつた。

研究部——各工場に於ける製造試驗の基礎たるべき原料の配合、製品の理化學的試驗、原料の調査及之れが品質試驗を行なふ。

陶磁器工場——大正二年復州粘土の發見以來各地に於て發見した主要素地原料に依つて中國人向食器類に著々成功を收め其採算試驗に於ても相當の見込立ちたる爲め大正九年十月以降之を企業に移した。

耐火煉瓦工場——大連旅順大石橋附近に於て豐富な硅石を原料として硅石煉瓦の創製を開始した以來瓦斯レトルト、シヤセツト特種煉瓦、苦土煉瓦等相當良好の製品を製出するに至つた。

硝子工場——大正七年度當工場操業以來鋭意原料の選擇、坩堝の製作或は窯の様式等に關し調査研究の結果大正八年十二月遂に研究の標的であつた獨逸品に劣らぬ品質のものを製出することを得て當初の目的たる滿洲向コツプを製造試賣したが大に其眞價を認められ買客の注意を引き續々注文あるに至つた。

窯業試驗工場成績

年度	元陶器工場		第一煉瓦工場		第二煉瓦工場	
	製出高	販賣高	製出高	販賣高	製出高	販賣高
大正三年度	8,664	5,171	42,970	38,448	—	—
〃四年度	5,686	7,161	51,659	53,614	—	—
〃五年度	18,832	18,027	117,756	97,641	—	—
〃六年度	28,274	27,109	393,955	387,841	—	—
〃七年度	52,783	41,230	466,571	418,346	12,245	23
〃八年度	77,919	67,358	271,578	284,017	551	691
〃九年度	27,198	28,751	121,178	132,914	12,562	10,822

年度	硝子工場		計	
	製出高	販賣高	製出高	販賣高
大正三年度	—	—	51,634	43,619
〃四年度	—	—	60,344	60,775
〃五年度	—	—	136,588	115,668
〃六年度	10,347	176	432,576	415,129
〃七年度	116,168	47,269	647,767	506,868
〃八年度	132,546	83,827	485,594	435,793
〃九年度	286,385	194,645	447,323	367,132

（十一） 中國側工場統計 （外人經營のものを除く）

中國行政區域內の工業に關し最近の統計である處の民國七年末調査第七次農商統計表により工場數、工場類別及主要生產額を揭ぐれば下の通りである。

満蒙中國人工場數　（民國七年末）

區分			奉天省	吉林省	黑龍江省	熱河	計
工場數			951	393	376	223	**1,943**
原動力	蒸氣	機數	43	3	5	—	**51**
		馬力	702	170	203	—	**1,071**
	電氣	機數	1	2	3	—	**6**
		馬力	10	90	?	—	**100**
	其他	機數	6	7	2	—	**15**
		馬力	76	110	145	—	**331**
職工數		男	16,205	7,705	5,180	3,433	**32,523**
		女	47	2	—	—	**49**
		計	**16,252**	**7,707**	**5,180**	**3,433**	**32,572**

工場種類別表　（民國七年）

工場種別	奉天省		吉林省		黑龍江省		熱河	
	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數
織染工場	205	3,737	11	332	4	66	—	—
機械器具工場	182	2,497	86	1,100	43	373	—	—
化學工場	268	4,462	102	1,262	95	1,443	—	—
飲食物工場	151	3,494	125	3,898	178	2,724	—	—
雜工場	120	1,738	57	910	53	560	—	—
電氣工場	—	—	—	—	1	19	—	—
合計	**926**	**15,928**	**381**	**7,502**	**374**	**5,185**	—	—

備考　本表は前表を工場種類別にしたものである

工產額

區分		奉天省	吉林省	黑龍江省	熱河	計
油類	製造戶數	891	495	193	194	1,773
	數量(斤)	26,925,038	11,990,925	10,465,877	1,498,174	50,880,014
	價額(元)	6,671,757	2,111,262	1,303,898	333,822	10,086,917
酒類	製造戶數	593	341	189	346	1,469
	數量(斤)	5,816,652	38,896,845	17,627,256	18,454,298	80,795,051
	價額(元)	953,846	5,480,343	2,318,617	2,722,815	11,475,621
煙草類	製造戶數	154	391	221	3,208	3,974
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	6,976,008	237,382	76,677	131,766	7,421,833
澱粉類	製造戶數	886	925	414	846	3,071
	數量(斤)	7,158,443	47,925,618	24,128,704	11,434,598	90,647,363
	價額(元)	1,978,154	3,177,806	1,219,001	1,450,514	7,825,475
罐詰類	製造戶數	569	152	26	—	747
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	1,502,495	200,522	80,593	—	1,783,610
綿織物類	製造戶數	942	84	19	51	1,096
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	6,853,237	1,885,042	210,260	26,346	8,974,885
煉瓦	製造戶數	497	208	41	69	815
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	604,172	1,310,494	413,656	82,193	2,410,515
皮革	製造戶數	690	170	115	82	1,057
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	8,547,587	991,642	414,778	156,279	10,110,286
陶磁器	製造戶數	117,850	167	17	45	118,079
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	1,195,203	93,684	41,093	20,457	1,350,437
漆器	製造戶數	95	80	17	7	199
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	683,712	341,671	16,526	4,053	1,045,962
金屬製品	製造戶數	1,714	530	387	221	2,852
	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(元)	1,582,155	4,077,532	597,742	179,371	6,436,800

第十四　鑛　　業

滿蒙の地たるや地域廣大、從つて各種の鑛產に富み、金、砂金、銀、銅、鐵、滿俺、亞鉛、鉛、硫化鐵等の金屬鑛物、石炭、マグネサイト（菱苦土鑛）、「ドロマイト」（白雲石）、石灰石、硅石、粘土、石綿、螢石、滑石、長石、天然曹達等の非金屬鑛物を產するが、鑛業としては南滿洲に於ける鐵及び石炭の採掘に見らるゝが如く大資本を擁し最新の學術を應用して大規模に經營せらるゝものを除きては種々なる原因の下に未だ見る可き發達を遂げて居ない。然れ共將來交通機關發達し企業が容易に且つ安全なるに至れば地下の寶庫は到る處に開かれ文化に貢献する處多大なるものがあるであらう。滿蒙に於ける鑛業狀態の大勢を知るに便せん爲今最近中國政府發行の農商統計に依り滿蒙の各種鑛物分布並に生產の概況を示せば下の通りである。

滿蒙各地方別鑛產額　（民國七年）

鑛類	地方		鑛區數	原產品 數量	原產品 價額	製錬品 數量	製錬品 價額
金	奉天	通化	—	噸 2,378	円 5,469	1,423	6,404
		輯安	—	315	4,650	—	—
		興京	—	72	—	48	1,437
		計	—	**2,765**	**10,119**	**1,471**	**7,841**
	吉林	延吉	—	—	—	180	5,400
		依蘭	—	—	—	800	68,000
		計	—	—	—	**980**	**73,400**
	黑龍江	漠河	—	—	—	6,419	256,760
		蘿北	—	—	—	16,000	364,000
		呼瑪	—	—	—	19,601	454,859
		計	—	—	—	**43,020**	**1,075,619**
炭	熱河	平泉	—	—	—	140	3,724
		計	—	—	—	**140**	**3,724**

鑛類	地	方	鑛區數	原産品 數量	原産品 價額	製錬所 數量	製錬所 價額
銀	熱河	承德	—	89	—	13,513	18,768
		計	—	**89**	—	**13,513**	**18,768**
銅	奉天	安東	—	—	—	21	1,520
		計	—	—	—	**21**	**1,520**
	吉林	延吉	—	11,275	—	203	153,923
		盤石	—	678	49,133	27	11,004
		計	—	**11,853**	**49,133**	**230**	**164,927**
鉛	奉天	鳳凰山	—	2,800	76,000	—	—
		桓仁	—	12	1,000	—	—
		復縣	—	72	600	—	—
		計	—	**2,884**	**80,600**	—	—
	吉林	延吉	—	—	—	1	196
		計	—	—	—	**1**	**195**
石炭	熱河	承德	—	535	2,140	—	—
		平泉	—	7,497	12,503	—	—
		隆化	—	595	2,857	—	—
		赤峰	—	19,085	52,377	—	—
		凌源	—	2,469	9,895	—	—
		計	—	**30,181**	**79,772**	—	—
石	綏遠	歸綏	—	11,131	74,800	—	—
		東勝	—	1,369	1,380	—	—
		武川	—	1 459	5,750	—	—
		清水河	—	6,900	32,600	—	—
		計	—	**20,859**	**114,530**	—	—
	察	張北	—	20,311	77,692	—	—
		豐鎭	—	5,376	5,500	—	—

鑛類	地方		鑛區數	原産品 數量	原産品 價額	製錬所 數量	製錬所 價額
炭	哈爾	興和	—	3,226	3,857	—	—
		沾源	—	1,987	5,564	—	—
		計	—	**30,900**	**92,613**	—	—
弗石	奉天	海城	—	90	450	—	—
		蓋平	—	596	3,576	—	—
		計	—	**686**	**4,028**	—	—
滑石	奉天	海城	—	774	2,600	—	—
		計	—	**774**	**2,600**	—	—
苦土	奉天	蓋平	—	1,775	2,693	—	—
		計	—	**1,775**	**2,693**	—	—
石灰石	奉天	本溪	—	28,579	30,419	—	—
		計	—	**78,579**	**30,419**	—	—
粘土	奉天	復縣	—	20,000	23,600	—	—
		計	—	**20,000**	**23,600**	—	—

(一) 南滿洲の鑛業

1.概　　況

南滿洲に於ける主要鑛産物には金、鐵、石炭、「マクネサイト」「ドロマイト」滑石、石綿、重晶石、長石及び耐火粘土等がある。金は砂金として存在する場合多く其産地も亦多い古來より採取せられ來つたが何れも規模狹少で北滿黑龍江畔の砂金地の如き雄大なるものはない。鐵は鞍山一帶に見らるゝが如く鑛石としては其の分布極めて廣く之れが採掘精煉亦大規模に行はれて居る。其他の金屬鑛物には稍大規模稼行に堪ゆべき鑛脈の存在を見ず將來發見の望みも亦少いが非金屬鑛物には石炭を筆頭とし有望なるものが少くない。炭坑には撫順、本溪湖等の如く大規模に稼行せられ爲に殷盛なる鑛業都市を現出せるものを始め其他小規模

に採掘せらるゝものは枚擧に遑がない。「マグネサイト」も亦鑛床の雄大なる點に於て世界中其四儔を見ず日本にては供給不自由なる「ドロマイト」も滿洲には到る處に產出し滑石は其質量共に日本產を凌駕するゝ重晶石も亦極めて純良でゝ耐火粘土は其耐火度の高き點に於ては日本產粘土中其右に出づるものがない。

然れども鑛業としては前記鐵鑛及炭坑が近代大企業組織の下に盛んに開採せらるゝ外他に特記すべきものなく鐵鑛及び炭坑事業は全滿洲に於ける鑛業を代表せるものと稱し得る故に本節に於ては主として之れが記述をする事にし以下三主要鑛山の概況を揭げる。

2. 撫　順　炭　坑　（附煙臺支坑）

沿　革　撫順炭坑は奉天省撫順縣下奉天の東約二十哩の地點に位し渾河を隔てて撫順城と相對し炭層豐大ゝ設備完整實に世界的大炭坑である鐵道は滿鐵本線蘇家屯から分岐し三十一哩で撫順驛に達する。

本炭坑は高句麗の盛時已に韓人に依つて採掘せられ爾來土民の採掘するもの斷續したが淸朝に至つて炭坑一帶の地が祖宗の墳墓たる永陵ゝ福陵及昭陵と地脈を通ずるものとして之を皇室に收め久しく採炭を嚴禁せられたが光緒二十六年二名の中國人は時の奉天將軍に運動して北京政府から採掘權の許可を得後ち二人の間に不和を生した結果炭坑を東西兩局に分ちたが東局は經營困難の爲め東淸鐵道の請負業者たる中國人と合同して撫順公司を組織したが同中國人は更に露國商人と合同した。之が露人の此炭坑に指を染めた初めである。其後種々の曲折を經て東部も併せて全然露人の有に歸したが未だ大に發展する暇なきに日露戰爭となつた明治三十八年三月奉天會戰に際して日本軍は此炭坑を占領し四月一日から新坑の開掘及舊坑の整理に着手し明治四十年四月滿鐵會社の創立に當り政府は其出資財產の一部として之を會社に引繼き會社は其後鋭意經營して今日の盛を致すに至つたのである。

炭鑛概況　鑛區面積は約18,200,000坪(長東西約四里ゝ幅南北約一里）で渾河に向つて平均約三十度の傾斜を爲し其の斜距離約一千間である。炭層の厚さは平均約百三十尺(最厚四百二十尺)炭層中の夾雜物の厚

さ二十尺を超へず含有炭量少なくも九億噸に上る概算である初め會社が政府から炭坑の引繼を受けた當時は千金寨、楊柏堡、老虎臺の三坑のみで其設備も軍事上の必要に出た急進的のものばかりで一も永久的のもの無く一日の出炭量僅に三百六十噸に過ぎなかつたので會社は斯道に精通せる故松田博士を炭礦長に任用し之が計畫實施に當らしめ右三坑の外千金寨及楊柏堡の深部に大竪坑（各上風坑下風坑の二坑を具へ上風坑の內徑十八尺下風坑の內徑二十一尺）を開鑿する計畫を立て千金寨のものを大山坑さ云ひ楊柏堡ものもを東鄕坑さ名けた。大山坑は明治四十年十一月から掘進を始め下風坑は明治四十二年十二月一日、上風坑は翌四十三年二月十三日各千百六十呎で著炭し炭深は各千二百三十四呎、東鄕坑は明治四十一年十一月十九日から開掘を始め上風坑は明治四十三年四月五日八百六十二呎、下風坑は同年六月十一日八百三十九呎で著炭し、坑深各九百二十四呎の地點を以て坑底さ爲し兩坑共同樣な運炭坑道其他諸般の設備を略竣成したので大山坑は明治四十四年四月一日、東鄕坑は同年六月一日から之を營業坑さした初め此兩坑の完成した後は各坑一日二千五百噸の出炭をする豫定であつたが未だ其域に達せぬ。併し大正四年四月一日古城子第一露天掘並萬達屋斜坑を、大正七年九月二十一日龍鳳坑を大正八年十二月古城子第二露天掘を、大正九年四月一日新屯坑を新に營業坑さ爲したので是等諸坑を合するさ一日平均九千噸年額三百二十萬噸の出炭力を有するに至つた。滿鐵の計畫に依れば將來は更に大規模の露天掘を行ひ坑內堀露天掘共一箇年各三百萬噸の出炭量を見るに至るであらう。尙從來の採掘法は殘柱法さ灑砂充塡法を混用しり居たが著しき厚層炭なる爲め主さして灑砂充塡法に據るここに更めた。

煙臺炭礦は撫順炭坑の支坑さして滿鐵が經營して居るが本支礦は煙臺停車場の東北約十哩の地點に在つて其間に鐵道の便がある。其炭田は東西約十三町南北約五十町に亙つて居る同鑛は當初探鑛其の他の豫備工事を爲すに過ぎなかつたが明治四十三年十月一日から營業坑さ爲し現今では一日の出炭力三百噸內外である。

主要機關設備　（大正十年三月末現在）

種別		撫順炭礦 千金寨坑	大山坑	東鄉坑	楊柏堡坑	老虎臺坑	萬者屋坑	古城子坑	龍鳳坑	新屯坑	其他	計	煙臺支礦
各種汽罐		8	4	6	4	7	4	6	10	8	29	**86**	17
運炭機械	各種捲機	8	6	2	8	7	5	12	4	3	—	**55**	3
	曳揚機	1	21	12	18	12	6	—	6	—	—	**76**	1
	エンドレス及クリーパー	2	4	7	4	1	2	—	2	1	—	**23**	1
	計	**11**	**31**	**21**	**30**	**20**	**13**	**12**	**12**	**4**	—	**154**	**5**
各種喞筒		11	11	12	9	11	15	8	23	13	—	**113**	16
各種旋風機		2	1	1	1	3	2	—	—	—	—	**10**	1

運炭裝置　重要運般坑道には「エンドレスロープ」運炭機を設置し坑内各所の斜坑には電氣捲揚機を設置して揚炭を爲し更に斜坑或は堅坑捲揚機に依て坑外に搬出する。

選炭裝置　運炭車を廻旋して「チプラー」に受入れ之より落下する石炭は篩目を附した「マーカス」「スクリーン」で塊、小塊、粉、切込の四種に篩分け更に手選を爲し床下の鐵道貨車に積載する。

注砂裝置　各炭に於ける注砂裝置は楊柏堡川畔其の他に「エキスカベーター」及「スチームショベル」を設備し採取せる土砂を電氣機關車八輛蒸氣機關車十一輛を以て各注砂場に運搬し注砂喞筒に依て鐵管内に注入し坑内所要の場所に送砂充塡する。

炭車及安全燈　炭車は鐵裝自重七百封度、容量千三百封度、軌間二呎である、安全燈は「ザガベル」式本田式及「デビー」式等を使用「ナフタ」油又は豆油を用ひる。

炭坑電氣鐵道　軌條延長八十三哩、電線路延長五十三萬六千九百六呎車輛數は電氣機關車二十九輛、客車四輛、代用客車五輛、搬砂三百三十一輛、其他九輛を有する。

炭　　坑　　別

年度	撫順 第一露天掘	撫順 第二露天掘	撫順 千金寨坑	撫順 大山坑	撫順 東郷坑	撫順 楊柏堡坑
大正四年度	97,412	620,372		303,307	429,037	473,287
同　五年度	175,241	572,482		298,405	168,651	502,739
同　六年度	267,814	592,025		135,725	288,248	585,977
同　七年度	260,680	486,034		328,156	319,517	501,512
同　八年度	245,075	647,220		435,133	335,389	480,074
同　九年度	218,844	763,655		507,739	281,150	472,810
同　十年度	37,104	444,131	833,429	418,487	249,077	424,558
一日平均 大正四年度	266	1,695		829	1,172	1,293
同　五年度	480	1,568		1,047	462	1,377
同　六年度	734	1,622		838	790	1,605
同　七年度	714	1,332		899	875	1,374
同　八年度	670	1,768		1,189	916	1,312
同　九年度	600	2,092		1,391	770	1,295
同　十年度	102	1,217	914	1,147	682	1,163

備考　＊印は開鑿中の出炭なり・東郷坑は明治四十四年六月、煙臺大正七年十月、新屯坑は大正九年四月より採炭を開始せり、變災の爲採炭を休止せしも同年十月二十一日復舊、老虎臺坑通採炭を開始せり。

出　炭　高

炭礦					煙臺支礦	合計
老虎臺坑	萬達屋坑	新屯坑	鳳龍坑	計		
184,583	61,247	—	—	2,169,245	71,026	**2,240,271**
256,744	65,316	—	—	2,039,578	91,645	**2,131,223**
291,330	109,645	—	* 5,141	2,275,905	113,679	**2,389,584**
393,727	157,058	—	* 28.289 46,191	2,521,164	106,368	**2,627,532**
426,052	173,770	* 20,416	165,057	2,928,186	110,167	**3,038,353**
468,309	208,249	59,128	149,951	3,129,835	79,548	**3,209,383**
390,088	193,656	79,688	157,482	2,727,700	50,777	**2,778,477**
607	167	—	—	5,927	194	**6,121**
703	179	—	—	5,588	251	**5,839**
798	300	—	* 14	6,235	311	**6,546**
1,079	430	—	* 155 254	6,907	291	**7,199**
1,164	475	* 56	451	8,001	301	**8,302**
1,283	571	162	411	8,575	218	**8,793**
1,069	531	218	431	7,473	139	**7,611**

支坑は同四十三年十月、萬達屋坑及古城子坑は大正四年四月、龍鳳坑は
大山坑は明治四十四年四月採炭を開始し大正六年一月十一日より坑內
は大正四年二月十八月坑內事故の爲採炭を休止し同年六月二日復舊從前

撫順炭の特質 撫順炭は日本炭と同じく第三紀層に屬し其の色漆黑で光澤強く揮發分に富み燃燒盛にして七千百「カロリー」の火力を有する有煙炭である。其の特色としては灰分極めて少量で「クリンカー」を生ずること少なく又硫黃分を含有すること僅少であるから汽罐を損傷することがない。撫順炭は揮發分に富むから瓦斯製造用としては日本産一等炭に比較し得べく又機關車及船舶用にも適當して居る。撫順炭十種平均の分析を示せば下の通りである。

比重	1.276	水分	5.717	揮發分	40.635
骸炭	53.648	灰分	3.890	硫黃	0.530
窒業	1.6%				

即ち撫順炭は概して粘結力に乏しき爲骸炭製造には不適當と認められ來つたが同炭田の東方に進むに從ひ漸次粘結力を加へ萬達屋坑炭は本溪湖の如き粘結性炭と混合すれば骸炭用に供し得べく此性質は東端に近くに從つて益向上せられる尙煙臺支坑炭は半無煙炭で特種の需要がある。

賣出高

年度別	滿洲各地	輸出	船舶用	合計
	英噸	英噸	英噸	英噸
大正四年度	1,265,211	742,668	278,658	**2,286,537**
大正五年度	1,381,494	939,631	258,627	**2,579,752**
大正六年度	1,665,571	811,237	241,462	**2,718,270**
大正七年度	2,195,543	803,923	277,069	**3,276,535**
大正八年度	2,709,194	770,709	227,401	**3,707,304**
大正九年度	2,176,219	746,956	280,555	**3,194,730**
大正十年度	2,164,485	985,479	462,750	**3,612,714**

3. 本溪湖炭坑

安奉線の中間本溪湖驛に隣接して居る。本炭坑は日支合辦本溪湖煤鐵

公司の經營に屬することは工業の部で述べたが鑛區面積は 11,560,000坪炭層は八層合計40尺5寸(最厚9尺最薄3尺5寸)炭質は下の通りである。

比　重	1.35	水　分	0.44	揮發分	15.82	固定炭素	77.6
灰　分	6.57	硫黄分	1.42	發熱量	7,790「カロリー」		

尙大正三年以降の出炭噸數は下の通りである。

大正三年	201,014	大正七年	445,783
大正四年	275,777	大正八年	415,000
大正五年	322,626	大正九年	420,000
大正六年	438,009		

4. 鞍山站鐵鑛

概　況　本鐵鑛は滿鐵鞍山站驛附近で鐵道の左右に跨り東北に連亘して居る變質巖類で上部から之を列記するときは硅石白雲母片岩、千枚岩質板岩で鑛床は硅岩の下部に鑛分の浸染した部分に屬し其の硅岩との境界比較的判然として居る。下盤は白雲母片岩で上盤の硅岩には白雲母の微量を散點した所がある鑛床は悉く赤鐵鑛から成り稀に褐鐵鑛を有する赤鐵鑛は普く石英粒間を充塡し之と共に縞狀組織を呈する尙鑛層の厚さは三百尺乃至五百尺で內に數條の硅岩層を夾んで居る。

本鐵鑛は工業の部で述べた通り鎌田彌助氏と于沖漢氏の合辦に係る中日合辦振興鐵鑛無限公司の經營する處で其採鑛は全部滿鐵に賣渡す契約である。

鑛　區

場所		面積			場所	面積		
鞍山站	鐵石山	1方支里220畝			鞍山站　鞍　山	4方支里185畝		
〃	對面山	4	〃	518〃	〃小嶺山、大龍寨利樹房	4	〃	335〃
阿子山	大孤山	3	〃	172〃	關門山	1	〃	160〃
櫻桃園		3	〃	246〃	王家堡子	3	〃	426〃
計	八箇所	27	〃	98〃	(我約265萬坪)			

5 其他の各

其の他の各種

鑛種	鑛山名	所在地	鑛石種類	品位	鑛量
鐵	弓張嶺	遼陽と本溪湖との中間	磁鐵鑛 赤鐵鑛	稍良	頗る多し
	廟兒溝	安奉線南坟驛の東五里	磁鐵鑛 赤鐵鑛	同	相當にあり
	大栗子溝	帽子山の西南約四十支里	赤鐵鑛	良好	多からず
	七道溝	通化縣の東々南二十支里	同	稍良	同
金	老鐵山	旅順の南方	金鑛 砂金	稍良	少し
	香爐碗子	北山城子の東南三十五支里	同	同	相當にあり
	報馬川	通化の南十五邦里	同	同	同
	夾皮溝	吉林城の東方九十支里	同	同	同
	帽兒山	帽兒山の北一邦里	同	同	多からず
	大廟溝	通化の南方十五支里	同	同	少し
	柴河堡	鐵嶺の東六十支里	同	同	多からず
銅	盤嶺	草河口驛の東北方五十五支里	黄銅鑛	稍良	多からず
	馬鹿溝	本溪湖驛を距る東方百二十五支里	黄銅鑛 孔雀石	同	少し
	蘇子伙洛(大案子)	鐵嶺より柴河の上流九十五支里	黄銅鑛	良好	同
	天寶山	間島老頭溝炭坑より西南四邦里	輝銀鑛	稍良	相當にあり
鉛	青城子	通遠堡驛の西方八十支里	方鉛鑛	良好	相當にあり
	老人溝	懷仁より西南七十支里	同	同	少し
	二棚甸子	懷仁より東南三十五支里	同	同	同
石炭	牛心臺	本溪湖の東方三十支里	無煙炭	稍良	相當にあり
	小市	太子河の上流百二十支里	亞無煙炭 不粘結	同	同

種 鑛 山

鑛山一覽表（鑛量少きもの及休業中のものを省く）

權利關係	其他
日支官商合辦弓張嶺鐵鑛無限公司、日本南滿洲大興合名會社野口多內、中國奉天省議會議長李官榮	採鑛中
日支合辦本溪湖煤鐵公司	稼行中 一日の採掘量富鑛二百噸內外
開墾區鑛業權無し	附近の土法製鐵所に供給
同 上	同 上
(金鑛)關東廳 (砂金)堀內良弼	金鑛は大正六年頃關東廳に於て鑛床調査の爲め稍大規模の試掘をなせるまゝなり
興國公司	亂採後にて事業困難多し
華昌公司	同 上
地主、韓登擧	同 上
此間一帶英人「ブッシュ」商會の關係あり	
同 上	大正三年頃まで中國人間にて頗る盛に稼行せしことあり當時邦人も亦之に關りせり
無 し	
日支合辦中日鑛業公司出願中	
葆 眞	大倉組採掘販賣契約
日支合辦開原公司	大正五年頃鐵嶺松岡勝彦試掘したることあり
南滿洲大興合名會社	稼行中 大規模の製煉所あり
日支合辦中日鑛業公司	試掘中
無 し	
同 上	
上牛心臺、日支合辦彩合公司 下牛心臺、中國人鑛區を邦人裕信公司に於て採掘請負 無し	

鑛種	鑛山名	所在地	鑛石種類	品位	鑛量
石炭	田師付溝	本溪湖の東方百六十五支里	無煙炭及半無煙炭弱粘結性	良好	相當にあり
	大疙瘩	西安縣の北方四支里	褐炭弱粘結性	同	稍多し
	掏鹿	西豐縣の北二十五支里乃至四十五支里に數箇	同	同	相當にあり
	天和屯	寛街の西南二十五支里	同	稍良	同
	缸窰	吉林の北々東百支里	褐色褐炭不粘結	惡	同
	火石嶺	吉長鐵道營城子驛の北約八支里	褐炭	稍良	同
	寛城子	石碑嶺は長春の東三邦里半掏家屯は東南五邦里	同一部粘結性	同	稍多し
	老頭溝（間島）	間島局子街の西約六邦里	同部凝帶質を帶ぶ不粘結	同	相當にあり
	新邱	京奉線厲家窩棚の西北百四十支里	褐炭不粘結	良好	稍多し
菱苦土鑛（マグネサイト）	轉山子	沙嶺驛の正北六支里		良好	相當にあり
	白虎山	大石橋の正南十支里		同	同
	官馬山	大石橋の東十支里半		同	頗る多し
	大嶺	大石橋驛の東々北十四支里		同	同
	滑石嶺	海城の東南二十八支里乃至四十二支里		同	同
	勤馬峪	海城の東々南三十五支里乃至四十二支里		同	同
粘土	煙臺	煙臺炭田の炭層と全く平行せり		同	稍多し
	五湖嘴	復縣縣城の南東九十支里五湖嘴炭田にあり		同	同
石綿	和尙屯	關東州金州驛の東方約二邦里		同	少し
螢石	蘆家屯	蓋平縣蘆家屯驛の東々南十五支里		良好	多からず
	崔家屯	蓋平縣東家屯驛の西方七支里にあり		同	同
滑石	宋家堡子 賈家堡子	海城縣海城南方三十二支里		同	相當にあり
長石	連家溝	關東州石河驛の東方七支里		同	多からず
	石塔山	海城縣縣城の南々東二十支里		稍良	稍多し

權利關係	其他
富華公司外三名 富華公司と本溪湖煤鐵公司との間に販賣契約あり	土法稼行
寶興公司、富國公司、裕興公司、大成公司、裕華公司、全益公司、外に出願中のもの三あり	各公司を通じて一箇年產額約六萬噸
(鴨子圈)天成公司、銘昇豐 (太平嶺)富泰公司 (小梨樹阿子)豐北公司、豐東公司 峰旗艮允、李奠賢合辦採掘出願中	土法稼行 一箇年產額約一萬噸
劉桐岡、內垣實衛の合辦	土法、一箇年產額全炭田を通して約二百噸
保吉煤鑛公司	一日二、三十噸宛出炭
滿鐵會社	石碑嶺は南滿鑛業株式會社に於て引受採掘中
日支合辦南滿洲大興合名會社	從來延吉に煤鑛公司其他二、三の土法稼行ありたり
大新公司、大興公司其他	洋式採掘準備中外に二、三の土法坑より一日出炭百五六十噸
振興公司(滿鐵會社關係) 同　上 何所清(同上) 天興公司 于冲漢(滿鐵會社關係) 同　上(同上)	時々採掘せり
滿鐵會社	稼行中
義和粘土公司、大東磁土公司、同益磁業公司	何れも滿鐵會社關係、近來は殆んど休業
日本「アスベスト」株式會社	休　業
支那人	大連島久商店に於て採掘販賣
同　上	同　上
于冲漢(滿鐵會社)關係	時々採掘
無　し	
振興公司(滿鐵會社關係)	時々採掘

（二） 北滿洲の鑛業

概　況 北滿洲は古來砂金の產地として知られて居るが就中黑龍江省は黑龍江を隔て對岸西比利と共に金產地として世界的に有名で一箇年の產額一時千五百萬圓に上つたことがあると稱せられて居る。產地として最も著名なのは漠河、呼瑪爾、太平溝（觀音山）の三砂金地で次で吉拉林、奇乾河等が有名である。故に北滿洲に於ける鑛業を記述せんには先づ其の代表的たる黑龍江省砂金地の槪況を明にするを要する。

黑龍江省の砂金地は全部官有で主要なる砂金地に鑛務局を置いて之を直營することになつて居るが實際は齊々哈爾に本店を有する官銀號廣信公司其他に經營を委任してある。今主要砂金場の槪況を述ぶれば下の通りである。

漠　河 滿洲に於ける最大砂金地と稱せられるもので省の西北隅黑龍江と額爾克訥河の合流點を中心とし東西四百支里南北二百支里に跨る廣大な區域の總稱で漠河、神洞河、奇乾河の三砂金地がある。同治二年露國人が發見し一萬餘の露支人が採金に從事して多大の砂金を本國に送つたが光緖十三年淸國政府から討伐隊を出して之を追放したので一時採金は中止せられてゐた光緖十五年に李鴻章の發起で官民合同二十萬兩の資金で源河採鑛會社を設立して採掘したが其後產金が激減して休山した此機會に又も露國人が入込んで盜掘を始めた光緖二十七年に至つて淸國政府は多大の金を出して露國から回收し劉燧を督辦として經營させたが成績不良で一箇年の產金八萬元に過ぎなかつので缺損彌縫策として露國人から借金をしたので露支間の外交問題を惹起したが結局督辦の解職となり全然中國の所有に歸したけれども成績が矢張り思はしくないので數年前黑龍江省の手に移した。砂金層は强ち悲觀すべきではないが永年の濫掘金鑛と經營の拙劣なために昔日の盛況を見ることが出來ない樣になつた。

呼瑪爾河 黑河の上流約四百支里の處にあつて現在稼行してゐる處は高麗墊子南娘々溝、瓦巴利溝、興隆溝、交布列邪溝、大碰子等で就中興隆溝は殊に著名である。何れも新に開けた砂金地である爲產額は可なり多いさうである。

太平溝 羅北縣の所在地興東の上流七十支里許の處にある。太平溝の南北から南西にかけて四十支里乃至百二、三十支里の間の區域で昔から觀音山金鑛として知られてゐる（觀音山は太平溝の上流百四十支里の處にあつて單に砂金地に對して物資を供給する一小都邑である金鑛總局は矢張り太平溝にある）太平溝の西南百支里都魯河といふ砂金地がある元別箇に經營されてゐたが先年觀音山と合併した。

以上の外梧桐河、餘慶溝等新砂金地があり事業が新しいだけに產金額も相當に多い。

（三） 熱河蒙古方面の鑛業

概　況 本地方は地域邊陬に位し交通不便の爲相等鑛產あれ共未だ特記すべき鑛業は興つて居ない。鑛產中產額多きは金及び石炭で就中炭坑には熱河阜新縣に於ける新阜兒炭田の如き稍注目に値するものがある。又東部內蒙古に於ける天然曹達の採取は比較的容易に行ひ得る爲淸朝の末期より移住漢人に依つて營まれ天然曹達工場所謂鹹鍋の續設を見るに至つたが本業は鑛業と稱するよりも寧ろ工業の部に入るべきものであるから此處には述べない。今本地方に於ける主なる鑛山を表示すれば下の通りである。

熱河蒙古方面主要鑛山一覽（休業中のものは省略す）

鑛種	名稱	位置	備考
金	那巴溝	塔子溝金山西方、塔子溝喇嘛廟より東方六、七町	光緒三十一年金貫局開坑
	楊家灣子	西土默特王府南西二十四支里、金廠溝梁北方十一支里	民國元年開坑、稼行中
	長阜兒溝	金廠溝梁東南十支里、房身砂金地西方五支里	百年前の舊坑、民國三年より稼行中
	來帽子溝	金廠溝梁東方十支里、朝陽縣城の北方十支里	五、六十年前開坑、稼行中
	小泉	建平縣治の東南百支里	民國元年鑛務支局を設置
	山口	凌源の北々東六十支里	民國四年三月より土人採掘に從事
	五龍臺	凌源の東北九十支里	五、六十年前發見

鑛種	名稱	位置	備考
	水泉	建平縣治の東北百五十餘支里	民國二年開掘
	灤家營子	豐寧縣治の北方約二十支里	民國四年鑛務支局を設置
	撰山子	建平の東北百二十支里 赤峰の正東百二十支里	光緒十八年開掘、稼行中
	火燒地	喀喇沁大王府東北 黑水の東々北山路三十五支里、轉山子の東南三十支里	古來土人の採掘に係る、稼行中
	鷄冠山	赤峰西南九十支里 十家子村落の南方十支里	光緒三十六年頃開掘稼行中
	七家溝	楊樹林東北六支里	稼行中
砂金	後門林溝	西土默特王府西北二十支里	同
	寬溝	豐寧縣治の南西十七支里	同
	下官營子	豐寧縣治の南方十五支里	同
	二道溝	阜新縣城の東南十五支里	同
	頭道溝	同　二道溝の本流	同
	水圈溝	金廠溝附近水泉金山より流るゝ溪流中	同
	房身	金廠溝梁より房身に至る河流	同
銀、鉛	大黑溝 孟家窩棚	灤平の西北九十支里	民國四年開掘、稼行中
銀	啞叭店	隆化の西々南四十支里	光緒二十二年開掘稼行中
	扁家溝	熱河街道兩家村落の北々西六支里	稼行中
	煙筒山	熱河赤峰街道中の兩家村落東南三十支里	同
銅	蟒牛溝	灤平の北七十支里	二十餘年前發見、未採掘
	缸窰	錦縣の西々北約八十支里	採掘中
	暖地	錦縣の西々南九十支里	大正三年日支交渉に依り日本が採掘權を得たる九鑛山の一なり
	樗欏和溝	凌源の南五十五支里	採掘中
	老爺嶺	樗欏和溝炭坑の南四支里	同
	蘇子溝 九座窰	熱水塘の東北十九支里	同

鑛種	名稱	位置	備考
石炭	井子溝	赤峰の西南九十支里	採掘中
	柳條子溝 黑山窪	赤峰の西約百六十支里	同
	鐵匠溝	天寶山東々北五十支里	民國三年開坑
	三家後溝 楊樹溝 梁頭	天寶山東々北五十支里	民國四年十月開掘
	東新地	多倫諾兒の東々南九十支里	採掘中
	駱駝山	赤峰街道駱駝山の西三支里	同
	小牛犀	熱河街道中赤峰より二百五十支里	同
	小葦子	圍場の西北五支里	同
	西南溝	張三營の西北五支里	同
	麒麟山	朝陽東南十二支里	同
	生岔	朝陽東北二支里	同
	小札蘭營子	朝陽東北三十五支里	同
	大臺吉營子	興隆溝東北十五支里	同
	興隆溝	朝陽北々東六十支里	同
	岳家溝	興隆溝東北二十五支里	同
	尖山子	岳家溝の東北二十六支里	同
	段木頭溝	朝陽西南二十五支里	同
	羅郭仗子	朝陽の西二十支里	同
	青隆溝 西山	建平の北二十五支里	同
	十大分	黑水の西三十支里	同
	五家	十大分西南二十四支里	同
	西元寶山	赤峰正東七十支里	同
	孫家灣	阜新縣治西南十五支里 新邱炭田西南二十支里	同
	嘎岔	朝陽縣城東南約十支里	同
	大梁崗	西土默特王府西南方十支里	同
	新邱	阜新縣城東方十支里	同
石油	九佛堂	喀喇沁右翼旗公爺府の北約二十支里	同

第十五　農業及牧畜

(一) 農　　業

1 概　　況

農業は實に滿洲に於ける產業の大宗であつて既述せる如く滿洲工業の主位を占むるものも亦農產加工業である。蓋し滿洲の氣候は良く農業に適し廣漠たる大平原は槪して肥沃なる壤土、植土又は腐植土を以て蔽はれ好適なる農業地たる事が古來地方住民をして農を以つて其の主業たらしむるに至つたものであるが近時交通の發達は山東方面より年々多數の農業移民を誘致すると共に一面農產物の運輸を便にしたので滿蒙の農業は近年更に著しく發達した。然れ共其の農法は氣候及び地理的關係上凡て粗放式で日本內地に於けるが如き集約的農法は營なまれて居らぬ加之農民間に科學的智識の普及せざる爲彼等は依然舊慣を墨守し毫も改良進步を加ふる事が無い。今滿蒙各地農業發達の槪況を述ぶれば下の通りである。

東南部滿洲　滿洲の東南部地方たる鴨綠江系流域と遼東半島地方は槪れ山嶽丘陵連亙して大なる平野に乏しく土性多くは砂礫質であるが本地方は開拓の年代古く人口稠密な爲め鴨綠江上流地方の外可耕地は殆んど全部耕されて居る。

西南部滿洲　遼河の流域地方一帶の平野は南滿洲の主要農業地である該地方の一半は蒙古の開放地に屬するが昔から耕耘せられ從て上流蒙古の未開放地に近き附近を除いては開墾の餘地が少ない。本地方は槪して全砂土又は黑土質から成り肥瘠相錯綜し海岸又は低濕地には鹽分を含む所が多い。

中部滿洲　松花江の上、中流及牡丹江流域地方で地味最も肥沃で農耕の發達著しく全滿洲の主要なる農業地帶である就中長春、農安、雙城方面から哈爾賓を中心とする松花江の中部流域を其首要部とする本地方は孰れも開拓の年所未だ久しからざるも既に其大部分は耕耘されて唯松花江及牡丹江上流地方で今尙交通機關の備はらぬ地方には少なからざる未開墾地が將來の開發を待ちつゝある。

北部滿洲　黑龍江省中腹部一帶、松花江下流の兩側及黑龍江の右

岸地方は土性腐植質で一般に肥沃である。本地方中開發の歷史の比較的古いのは中腹部地方呼蘭綏化方面の平野地帶のみで其他の地方は人口頗る稀薄で未墾地が甚だ多く年々數萬乃至十數萬の移民が南滿山東方面から來り非常な勢で開墾されつゝある。卽ち本地方は將來開發の餘地が最も大なる地方である。但黑龍江省中東鐵沿線から西南一帶は沼澤と曹達質の爲め地味の肥沃を缺いて居る。

東部內蒙古遼河上流地方 本地方は四洮鐵道の延線一帶の地で地味肥沃であるが開放の歷史新しきか若くは未だ開放されて居らぬ地方で將來大に農業の發達を見るべき地方である、但同地方から漸次西するに隨つて蒙古の沙漠の餘波を受けて農耕に適せぬ部分が多くなる。

熱河蒙古 其南部は開發の歷史古く漸次北方に開發されつゝある本地方は山嶽に富み地味は餘りに肥沃でないが農耕開け農作物も多量に產して居る。

2 耕作物種類

滿蒙の耕地面積に就ては精確なる統計を缺き調査者に依り種々異なつて居るが最近關東軍司令部の調査と民國七年支那の農商統計とを參酌するに概算我一千萬町步に上り農產の主なるものは高粱の二千九百萬石を最多とし粟の二千三百萬石之に次ぎ大豆亦二千萬石に近く其他玉蜀黍、小麥、大麥、雜穀、水稻等合計約一億石を產する而して其內主要なる過剩穀類は大豆で大豆並其製品は滿洲特產物中の最重要品であることは工業及貿易の項に於て見る通りである。

其他特用作物には大麻(線麻)、𦮼麻(青麻)、煙草(菸)、胡麻(芝麻)、蓖麻(大麻子)、荏(蘇子)西瓜(瓜子兒)等がある。線麻及青麻は年約四千萬斤の生產で煙草は吉林省に多く年約五千萬斤を產するも需要多く別に六七百萬圓の輸入を見つゝある。猶新らしき農作物としては製糖原料たる甜菜の栽培の有望なる事分明し亞麻の栽培も亦有望と目されてゐる。其他關東州內及び滿鐵附屬地に於ける果樹栽培も頗る有望視され近年邦人の斯業に從事するものが尠くない。

滿蒙の未墾地面積は略旣墾地面積と匹敵し約一千萬町步と推算せられ北滿黑龍江省は可耕面積の實に八割を未墾の儘に殘して居る。併し滿蒙を通じて年々開墾せらるゝ面積は三四十萬町步にも上る勢であるから將來農產の增加は計り知るべからざるものがあるであらう。

	縣別	耕地總面積	水稻	陸稻	大麥	小麥
		天地	石	石	石	石
	關東州	547,180	6,800	2,500	2,400	5,300
奉天省	盤山縣	368,970	11,000	12,000	10,000	19,000
	海龍縣	519,570	68,000	75,000	34,000	34,000
	安圖縣	670,170	—	—	3,000	6,000
	遼源縣	456,280	—	11,000	5,000	19,000
	柳河縣	122,050	67,000	16,000	10,000	30,000
	西安縣	371,480	7,000	6,000	26,000	41,000
	西豐縣	416,660	13,000	58,000	12,000	76,000
	東豐縣	368,970	6,000	4,000	25,000	43,000
	康平縣	371,480	—	7,000	13,000	33,000
	法庫縣	459,330	1,400	16,000	7,000	85,000
	遼中縣	341,360	900	26,000	54,000	74,000
	岫巖縣	429,210	5,000	10,000	8,000	4,000
	義縣	532,120	—	3,000	7,000	8,000
	北鎮縣	251,000	3,000	1,000	3,000	4,000
	彰武縣	414,150	13,000	4,000	42,000	33,000
	黑山縣	258,530	8,200	32,000	40,000	42,000
	新民縣	143,070	8,000	2,000	95,000	168,000
	寬甸縣	740,450	6,000	1,000	2,000	2,000
	通化縣	727,900	45,000	11,000	8,000	35,000
	撫松縣	883,520	1,200	—	400	14,000
	桓仁縣	652,600	7,000	41,000	2,000	4,000
	臨江縣	768,060	700	500	400	8,000
	安塞縣	263,550	—	10,000	15,000	24,000
	雙山縣	235,940	—	—	—	—
	興城縣	363,950	—	2,000	8,000	6,000
	興京縣	740,450	41,000	6,000	9,000	4,000
	輯安縣	554,710	9,000	3,000	2,000	44,000
	長白縣	564,750	500	—	26,000	39,000
	輝南縣	469,370	7,000	1,000	13,000	22,000

粟	高粱	玉蜀黍	燕麥	大豆	雜穀	計
石 76,700	石 81,600	石 413,000	石 —	石 65,500	石 80,000	石 **733,800**
75,000	295,000	12,000	—	36,000	57,000	**527,000**
255,000	407,000	25,000	—	256,000	22,000	**1,176,000**
10,000	9,000	23,000	—	33,000	9,000	**93,000**
15,000	148,000	4,000	—	61,000	15,000	**278,000**
44,000	266,000	243,000	—	104,000	50,000	**830,000**
449,000	300,000	64,000	—	520,000	51,000	**1,464,000**
401,000	700,000	29,000	—	370,000	12,000	**1,671,000**
473,000	768,000	33,000	—	460,000	33,000	**1,845,000**
236,000	134,000	68,000	—	124,000	137,000	**752,000**
194,000	512,000	65,000	—	279,000	24,000	**1,183,400**
92,000	557,000	63,000	—	217.000	54,000	**1,137,900**
118,000	176,000	194,000	—	150,000	50,000	**715,000**
220,000	651,000	159,000	—	218,000	46,000	**1,312,000**
119,000	651,000	84,000	9,000	146,000	124,000	**1,144,000**
101,000	37,000	12,000	—	161,000	31,000	**434,000**
312,000	348,000	10,000	—	88,000	84,000	**964,200**
218,000	450,000	55,000	—	445,000	33,000	**1,474,000**
140,000	104,000	386,000	—	80,000	3,000	**724,000**
214,000	261,000	225,000	—	9,000	9,000	**817,000**
17,000	12,000	20,000	400	8,000	7,000	**80,000**
70,000	380,000	119,000	—	84,000	8,000	**715,000**
16,000	10,000	10,000	—	7,000	3,000	**55,600**
18,000	264,000	24,000	—	67,000	33,000	**455,000**
33,000	35,000	20,000	—	10,000	25,000	**123,000**
191,000	391,000	17,000	—	56,000	101,000	**772,000**
152,000	242,000	12,000	—	120,000	55,000	**641,000**
120,000	130,000	172,000	—	57,000	34,000	**571,000**
12,000	24,000	24,000	400	15,000	11,000	**151,900**
60,000	133,000	159,000	—	26,000	26,000	**447,000**

	縣別	耕地總面積	水稻	陸稻	大麥	小麥
奉天省	莊河縣	天地 637,540	石 31,000	石 6,000	石 5,000	石 8,000
	綏中縣	363,950	—	11,000	4,000	2,000
	錦縣	502,000	—	1,000	18,000	4,000
	錦西縣	251,000	—	25,000	2,000	7,000
	昌圖縣	582,320	100	32,000	13,000	35,000
	懷德縣	166,680	8,000	5,000	57,000	40,000
	梨樹縣	622,480	2,000	6,000	40,000	25,000
	安東縣	306,220	38,000	10,000	3,000	7,000
	鳳城縣	845,876	43,000	4,000	12,000	13,000
	營口縣	143,070	2,900	12,000	20,000	24,000
	本溪縣	609,930	22,000	—	22,000	5,000
	開原縣	755,510	15,000	4,000	30,000	90,000
	鐵嶺縣	479,410	60,000	26,000	2,000	84,000
	復縣	562,240	1,000	5,000	3,000	9,000
	蓋平縣	534,630	1,500	3,000	4,500	10,000
	海城縣	451,800	80	14,000	44,000	96,000
	遼陽縣	679,170	800	15,000	125,000	55,000
	撫順縣	456,820	29,000	10,000	6,000	2,000
	瀋陽縣	507,020	48,000	33,000	14,000	57,000
	計	**23,456,030**	**637,180**	**583,000**	**906,700**	**1,499,300**
吉林省	扶餘	301,300	—	—	28,000	158,000
	依蘭	110,400	—	—	41,000	69,000
	雙城	377,000	—	—	71,000	46,000
	賓	304,200	—	1,000	36,000	198,000
	同江	7,930	—	—	1,000	9,000
	富錦	6 360	—	—	53,000	106,000
	樺川	48,000	—	—	11,000	61,000
	楡樹	553,000	—	5,000	9,000	31,000
	濱江	93,600	—	1,000	4,000	28,000
	同賓	147,880	250	1,000	4,000	21,000

粟	高粱	玉蜀黍	燕麥	大豆	雜穀	合計
石 108,000	石 141,000	石 399,000	石 —	石 110,000	石 9,000	石 **817,000**
249,000	318,000	48,000	—	56,000	112,000	**800,000**
440,000	408,000	95,000	—	167,000	13,000	**1,146,000**
208,000	564,000	77,000	—	116,000	20,000	**1,019,000**
567,000	763,000	40,000	—	363,000	140,000	**2,053,000**
407,000	730,000	50,000	—	542,000	18,000	**1,917,000**
364,000	733,000	36,000	—	454,000	56,000	**1,716,000**
154,000	131,000	36,000	—	52,000	52,000	**480,000**
263,000	449,000	349,000	—	299,000	55,000	**1,487,000**
98,000	198,000	21,000	—	51,000	14,000	**440,900**
162,000	362,000	42,000	—	100,000	8,000	**723,000**
276,000	428,000	15,000	—	261,000	8,000	**1,127,000**
53,000	180,000	12,000	—	509,000	3,000	**929.000**
154,000	136,000	519,000	—	195,000	28,000	**1,050,000**
328,000	736,000	89,000	—	269,000	22,000	**1,463,000**
419,000	680,000	95,000	—	536,000	114,000	**1,998,080**
432,000	1,109,000	730.000	—	455,000	69,000	**2,990,800**
94,000	138,000	27,000	—	93,000	1,000	**350,000**
581,000	8[illegible]7,000	42,000	—	614,000	28,000	**2,254,000**
9,808,700	**17,472,600**	**5,546,000**	**9,800**	**9,575,500**	**2,057,000**	**39,095,780**
301,000	276,000	317,000	—	379,000	91,000	**1,558,000**
26,000	79,000	137,000	—	122,000	2,000	**476,000**
562,000	543,000	226,000	—	197,000	11,000	**1,156,000**
290,000	710,000	211,000	—	283 000	58,000	**1,587,000**
13,000	4,000	2,000	—	4,000	23,000	**56,000**
77,000	43,000	3,000	2,000	97,000	6,000	**387,000**
10,000	69,000	19,000	—	43,000	11,000	**224,000**
86,000	1,341,000	504,000	—	567,000	70,000	**2,583,000**
85,000	100,000	19,000	—	55,000	9,000	**301,000**
70,000	37,000	496,000	—	107,000	7,000	**743,250**

	縣別	耕地總面積	水稻	陸稻	大麥	小麥
吉林省	阿城	天地 145,400	石 —	石 1,000	石 3,000	石 92,000
	綏遠	1,800	—	—	—	8,000
	五常	180,400	—	52,000	22,000	101,000
	才正	51,400	—	—	17,000	4,000
	盤石	193,200	—	4,000	6,000	39,000
	舒蘭	121,000	8,000	4,000	54,000	8,000
	長嶺	168,100	2,000	—	2,000	3,000
	德惠	217,100	—	1,000	26,000	45,000
	樺甸	99,500	40,000	—	—	14,000
	農安	246,800	—	10,000	47,000	28,000
	雙陽	161,300	3,000	74,000	38 000	5,000
	吉林	356,000	19,000	68,000	64,000	34,000
	濛江	33,100	3,000	—	14,000	22,000
	長春	302,000	2,000	1,000	38,000	46,000
	額穆	28,200	2,000	—	10,000	12,000
	伊通	286,800	6,000	42,000	45,000	54,000
	勃利	8,500	—	—	10,000	4,000
	寶清	6,000	—	—	2,000	1,000
	敦化	59,800	—	—	63,000	27,000
	虎林	7,200	300	—	2,000	—
	東寧	32,400	—	—	4,000	27,000
	寧安	42,000	—	—	44,000	18,000
	延吉	93,800	104,000	—	14,000	18,000
	琿春	32,500	1,000	—	20,000	7,000
	汪清	29,700	9,000	—	30,000	3,000
	饒河	4,200	—	—	19,000	5,000
	密山	26,400	—	—	26,000	—
	穆稜	9,800	8,000	—	1,000	3,000
	和龍	59,400	45,000	—	34,000	70,000
	合計	**4,953,470**	**252,550**	**265,000**	**913,000**	**420,000**

粟	高粱	玉蜀黍	燕麥	大豆	雜穀	計
石 91,000	石 369,000	石 86,000	石 —	石 208,000	石 9,000	石 **859,000**
—	—	8,000	—	7,000	—	**23,000**
401,000	441,000	88,000	—	276,000	32,000	**1,413,000**
29,000	15,000	143,000	—	34,000	1,000	**243,000**
243,000	254,000	215,000	—	244,000	11,000	**1,016,000**
233,000	240,000	128,000	—	157,000	10,000	**842,000**
114,000	100,000	26,000	—	159,000	84,000	**489,000**
122,000	569,000	355,000	—	135,000	9,000	**1,262,000**
64,000	292,000	55,000	—	49,000	67,000	**581,000**
200,000	396,000	260,000	—	236,000	91,000	**1,263,000**
86,000	210,000	344,000	—	190,000	11,000	**951,000**
110,000	574,000	447,000	—	142,000	103,000	**1,561,000**
9,000	7,000	53,000	—	38,000	18,000	**164,000**
312,000	525,000	633,000	—	468,000	21,000	**2,046,000**
42,000	3,000	6,000	—	20,000	5,000	**100,000**
334,000	585,000	67,000	—	358,000	138,000	**1,629,000**
—	9,000	13,000	10,000	4,000	2,000	**52,000**
—	6,000	6,000	3,000	14,000	2,000	**34,000**
—	—	10,000	1,000	29,000	9,000	**139,000**
—	—	1,000	11,000	8,000	7,000	**29,300**
1,000	24,000	15,000	6,000	15,000	7,000	**99,000**
5,000	95,000	75,000	32,000	106,000	48,000	**423,000**
—	49,000	77,000	11,000	23,000	—	**296,000**
—	6,000	38,000	13,000	122,000	—	**207,000**
—	—	35,000	12,000	17,000	—	**106,000**
—	—	20,000	49,000	80,000	—	**173,000**
6,000	22,000	20,000	16,000	13,000	—	**103,000**
—	3,000	8,000	13,000	6,000	2,000	**44,000**
—	79,000	76,000	54,000	83,000	—	**441,000**
4,419,000	**8,068,000**	**5,244,000**	**231,000**	**5,075,000**	**1,044,000**	**25,931,550**

	縣別	耕地總面積	水稻	陸稻	大麥	小麥
黑龍江省	呼瑪縣	天地 11,468,190	石 —	石 —	石 —	石 5,200
	龍江縣	2,791,120	—	—	109,000	114,000
	大賚縣	3,752,450	—	1,000	41,000	4,000
	肇州縣	1,961,620	—	1,000	52,000	71,000
	安達縣	1,902,580	—	—	4,000	93,000
	呼蘭縣	742,960	—	—	90,000	167,000
	巴彥縣	1,039,140	—	300	66,000	256,000
	蘭西縣	486,940	—	—	38,000	56,000
	木蘭縣	283,630	—	—	41,000	58,000
	慶城縣	820,770	—	—	120,000	91,000
	海倫縣	1,521,060	—	—	111,000	630,000
	青崗縣	715,350	—	—	34,000	176,000
	拜泉縣	1,741,940	—	—	36,000	170,000
	訥河縣	2,974,350	—	—	3,000	6,000
	湯原縣	3,104,470	—	—	29,000	42,000
	通北縣	690,250	—	—	13,000	7,000
	滿洲里縣	4,799,120	—	—	2,000	7,000
	望奎縣	145,481	—	—	91,000	207,000
	林甸縣	444,270	—	—	3,000	7,000
	綏楞縣	266,190	—	—	37,000	60,000
	肇東縣	1,121,970	—	18,000	8,000	50,000
	克山縣	1,365,440	—	—	85,000	66,000
	鐵驪設治局縣	800,690	—	—	4,000	7,000
	璦琿縣	10,162,990	—	—	28,000	46,000
	龍鎮縣	1,794,650	—	—	2,000	17,000
	呼倫縣	12,916,460	—	—	14,000	13,000
	嫩江縣	8,785,000	—	—	13,000	23,000
	通河縣	632,520	—	—	3,000	32,000
	西布特哈縣	11,387,870	—	—	3,000	1,000
	漠河縣	6,914,580	—	—	20	—

粟	高粱	玉蜀黍	燕麥	大豆	雜穀	計
石 —	石 —	石 —	石 4,800	石 —	石 —	石 **10,000**
109,000	60,000	57,000	109,000	6,000	1[illegible]0,000	**674,000**
75,000	74,000	85,000	—	205,000	30,000	**515,000**
200,000	210,000	130,000	—	280,000	33,000	**1,027,000**
6,000	2,000	31,000	5,000	64,000	5,000	**210,000**
39,000	225,000	22,000	—	554,000	30,000	**1,127,000**
247,000	673,000	16,000	52,000	495,000	56,000	**1,825,300**
282,000	300,000	15,000	—	250,000	59,000	**1,000,000**
200,000	90,000	190,000	92,000	95,000	15,000	**781,000**
112,000	67,000	161,000	3,000	130,000	38,000	**722,000**
67,000	309,000	122,000	4,000	470,000	58,000	**1,771,000**
8,000	3,000	200,000	—	5,000	16,000	**442,000**
74,000	37,000	293,000	16,000	390,000	41,000	**1,057,000**
47,000	2,000	41,000	20,000	8,000	21,000	**148,000**
49,000	18,000	8,000	—	24,000	4,000	**174,000**
108,000	—	1,000	—	3,000	4,000	**136,000**
19,000	2,200	—	—	2,900	38,000	**71,100**
60,000	255,000	45,000	—	240,000	42,000	**849,000**
43,000	500	41,000	4,000	1,000	5,000	**101,500**
55,000	60,000	18,000	34,000	89,000	2,000	**354,000**
107,000	157,000	58,000	—	100,000	22,000	**520,000**
235,000	3,000	15,000	10,000	7,000	10,000	**431,000**
37,000	23,000	26,000	—	15,000	2,000	**114,000**
—	—	3,000	20,000	—	27,000	**124,000**
8,000	—	1,000	—	3,000	4,000	**35,000**
22,000	5,700	—	—	8,100	25,000	**87,800**
16,000	1,000	1,000	20,000	14,000	22,000	**110,000**
68,000	19,000	35,000	—	84,000	9,000	**250,000**
10,000	—	1,000	—	3,000	10,000	**28,000**
110	—	33	—	42	10	**215**

	縣別	耕地總面積	水稻	陸稻	大麥	小麥
		天地	石	石	石	石
黑龍江省	興隆鎮縣	—	—	—	—	—
	泰來縣	941,250	—	—	25,000	34,000
	景星設治局縣	4,452,740	—	—	—	—
	綏北縣	790,650	—	—	200,000	330,000
	龘北縣	5,009,960	—	—	7,000	—
	計	**108,458,651**	—	**20,300**	**1,312,020**	**2,846,200**
熱河特別區域	安廣	20,900	—	—	—	4,000
	鎮東	24,300	—	—	—	2,000
	開通	58,500	—	—	—	1,000
	洮安	88,160	—	—	1,000	3,000
	洮南	55,500	—	—	30,000	1,000
	瞻榆	5,000	—	—	50,000	—
	開魯	50,300	—	—	—	59,000
	綏東	76,000	—	—	—	1,000
	阜新	177,000	—	500	500	4,000
	林西	90,000	—	—	19,000	131,000
	經棚	101,000	—	—	—	56,000
	赤峯	310,000	—	—	3,000	8,000
	建平	135,000	—	—	1,000	11,000
	朝陽	407,000	—	1,000	1,000	13,000
	凌源	340,000	10,000	1,000	4,000	17,000
	平泉	260,000	—	1,000	15,000	60,000
	承德	54,000	32,000	2,000	10,000	10,000
	灤平	68,000	1,000	1,000	—	34,000
	豐寧	140,000	1,000	1,000	109,000	18,000
	隆化	48,000	19,000	1,000	35,000	15,000
	圍場	130,000	—	1,000	108,000	167,000
	合計	**2,641,740**	**63,000**	**9,500**	**38,650**	**615,000**

粟	高粱	玉蜀黍	燕麥	大豆	雜穀	合計
石 —	石 —	石 —	石 —	石 —	石 520	石 520
6,000	62,000	44,000	—	17,000	23,000	**211,000**
19,000	37,000	10,000	2,000	8,000	7,000	**88,090**
311,000	225,000	231,000	4,000	435,000	31,000	**1,767,000**
31,000	—	11,000	—	11,000	10,000	**70,000**
3,084,110	**2,920,400**	**1,912,033**	**399,800**	**4,017,042**	**832,530**	**17,364,435**
52,000	12,000	56,000	—	36,000	13,000	**173,000**
16,000	26,000	7,000	—	5,000	1,000	**57,000**
35,000	127,000	35,000	—	1,000	41,000	**240,000**
48,000	82,000	96,000	—	15,000	34,000	**279,000**
42,000	74,000	31,000	—	21,000	17,000	**216,000**
10,000	20,000	20,000	—	10,000	10,000	**120,000**
107,000	35,000	20,000	—	10,000	22,000	**253,000**
24,000	5,000	4,000	—	7,000	52,000	**93,000**
148,000	124,000	3,000	—	27,000	77,000	**384,000**
191,000	13,000	—	—	9,000	152,000	**515,000**
84,000	266,000	—	—	13,000	205,000	**624,000**
449,000	—	—	—	48,000	226,000	**734,000**
297,000	2,000	2,000	—	62,000	68,000	**443,000**
1,070,000	509,000	1,000	—	142,000	138,000	**1,875,000**
345,000	553,000	1,000	—	115,000	282,000	**1,328,000**
794,000	4,000	2,000	—	194,000	235,000	**1,305,000**
267,000	212,000	—	—	5,000	37,000	**575,000**
162,000	123,000	—	—	20,000	9,000	**350,000**
241,000	18,000	—	—	12,000	63,000	**463,000**
24,000	113,000	1,000	—	26,000	91,000	**325,000**
345,000	—	—	—	110,000	144,000	**875,000**
4,748,000	**2,378,000**	**279,000**	—	**888,000**	**1,917,000**	**10,936,150**

3 關東州の農業

關東州內農業戶數及人員 （大正十年）

地方	戶數 日本人	戶數 支那人	戶數 計		人員 日本人	人員 支那人	人員 計
旅順	45	10,661	10,706	男	58	16,249	16,037
				女	13	2,849	2,862
				計	71	19,098	19,169
大連	35	5,876	5,911	男	49	20,981	21,030
				女	19	15,003	15,022
				計	63	35,984	36,052
金州	27	9,109	9,136	男	23	23,384	23,407
				女	21	18,537	18,558
				計	44	41,921	41,965
普蘭店	21	14,147	14,170	男	22	37,137	37,159
				女	1	—	1
				計	23	37,137	37,160
貔子窩	1	9,376	9,377	男	1	37,395	37 396
				女	1	10,655	10,656
				計	2	48,050	48,052
總計	129	49,171	49,300	男	153	135,146	135,299
				女	55	47,044	47,099
				計	208	182,190	182,393
大正九年	110	48,521	48,521	男	164	142,177	142,341
				女	63	48,467	48,530
				計	227	190,644	190,871
大正八年	105	46,733	46,838	男	150	137,282	137,432
				女	52	56,923	56,975
				計	202	194,205	194,407

關東州內耕地面積 (大正十年)

區分	水田	畑地	農家一戸平均耕地	
			田	畑
旅順	594	437,152	0.052	25.21
大連	265	143,657	0.036	25.54
金州	997	381,806	0.097	42.33
普蘭店	4,635	551,231	0.342	36.78
貔子窩	690	249,647	0.073	26.55
總計	**7,181**	**1,723,493**	**0.145**	**32.00**
大正九年	7,064	1,552,746	0.145	32.00
大正八年	6,438	1,552,990	0.137	33 16

備考 本表は中國畝數とす中國一畝は日本 6.3 畝强に當る。

關東州內穀菽類作付畝數及收穫高 (大正十年)

種類	作付畝(中國)數	收穫高(中國)石	一畝平均收穫
包米	837,647	297,565	0.355
高粱	259,451	80,444	0.310
穀子(粳粟)	201,647	56,021	0.277
祕子(糯粟)	51,198	14,296	0.327
稗子	9,281	3,040	0.279
大麥	10,089	2,959	0.293
小麥	25,766	7,068	0.274
蕎麥	11,233	3,471	0.309
黃豆	118,787	22,688	0.190
靑豆	277,657	36,233	0.130
綠豆	194,754	17,391	0.892
黑豆	68,855	10,651	0.155
小豆	17,553	1,873	0.107

種類	作付畝(中國)數	收穫高(中國石)	平均一畝收穫
落花生	89,593	114,116	1.274
水稻	6,316	4,369	0.691
陸稻	3,849	895	0.233
其他	5,098	711	0.139
總計	**2,191,432**	**674,399**	**0.308**
大正九年	1,925,978	500,504	0.260
大正八年	1,962,807	487,905	0.249

備考　1. 中國一石は處に依り小異あるも凡そ我一石七斗とす
　　　2. 同一田圃に數種を混植するあり二毛作あり作付畝數合計は總畝數と符合せず

關東州內果樹栽培畝數　（大正十年）

種類	旅順	大連	金州	普蘭店	貔子窩	計	大正九年
苹果	1,351	569	4,452	848	45	**7,265**	1,050
梨	1,154	2,531	2,113	626	61	**6,485**	1,206
桃	449	388	478	169	26	**1,510**	2,624
葡萄	232	375	196	96	12	**911**	4,701
杏	—	17	—	238	—	**255**	122
櫻桃	—	92	—	24	—	**116**	7
棗	—	3	—	103	—	**106**	114
山楂	—	—	—	53	—	**53**	33
李	—	—	—	23	—	**23**	15
其他	195	—	399	50	30	**674**	477
計	**3,381**	**3,975**	**7,638**	**2,230**	**174**	**17,398**	**10,349**

關東州內果實收穫高　（大正十年）

種類	旅順	大連	金州	普蘭店	貔子窩	計	大正九年
苹果	179,529	34,999	382,229	98,538	1,260	695,555	402,935
梨	274,217	341,110	134,544	35,334	54,880	840,085	790,216
桃	174,412	202,647	45,919	17,487	9,800	450,265	462,304
葡萄	61,400	198,175	135,372	10,880	4,760	410,587	313,511
杏	—	990	—	29,925	—	30,915	37,225
櫻桃	—	10,325	—	1,672	—	11,997	11,436
棗	—	4,057	—	7,641	—	11,698	12,325
山楂	—	—	—	3,445	—	3,445	3,008
李	—	—	—	730	—	730	679
其他	63,016	—	89,176	8,265	25,200	185,657	172,525
計	752,574	792,303	787,240	213,917	95,900	2,641,934	2,206,164

4　滿洲の水田事業

概況　滿洲米作の勃興は移住鮮人の力に負ふ所が甚だ多い。元來鮮人は水稻耕作の經驗を有し水田勞働を嫌忌しないのに反し中國農民は水田勞働に慣れず之を嫌忌する風習があつたが近來中國人農家中にも水田耕作の有利なるを知つて鮮人の耕作を模倣し之に從事するもの簇出するに至り一度其技術を習得したる中國人は鮮人に比し何等遜色なく其財力と勤勉とは寧ろ遙かに鮮人に優るものあるを以て將來益々其の數を增加するに至る可き傾向のあることは注目に値する現象である。而して一面在滿邦人數の增加と共に關東州及び南滿鐵道沿線附屬地帶の開發に伴ひ水稻試作の爲に灌漑工事を施した事と相俟つて滿洲に於ける水田事業は著しく面目を一新し一方品種も漸次改良され今や滿洲米は邦人の常食米として日本米及び朝鮮米に比し何等の遜色を認めないものを產する樣になつた事は滿洲水田事業の頗る有望なるを證明するものである。玆に於て這般滿洲農產開發及び在滿鮮人收容を目的として資本金二千萬圓日支合辦滿蒙勸業會社の設立が企畫され濕地開拓水稻施作を趣旨とする第一期計畫として六箇年約十二萬町步を開墾する目論見にて發起者は滿鐵、

東拓、中日實業、大倉組及中國側有力者で且日本政府より年額五十萬圓八箇年四百萬圓補給の承認を得着々其事業の進捗を計りつゝある狀態である。

滿洲水田面積及收穫高

地方	反當平均收穫量	水田總面積	籾生產量	備考
關東州	—	町 301.0	石 5,624	
奉天地方	3.0	5,100.0	153,000	瀋陽、新民、遼中、本溪
撫順地方	2.5	6,700.0	167,500	撫順、興京、通化
安東地方	2.8	4,880.0	136,640	安東、鳳城、寬甸、桓仁
開原地方	2.5	9,950.0	248,750	開原、鐵嶺、鐵豐、西豐、西安、海龍、輝南、柳河
松樹地方	2.6	5,800.0	150,800	復、莊河、岫巖
海城、營口地方	2.6	1,230.0	31,980	海城、營口、盤山、蓋平
長春地方	2.5	450.0	11,250	長春、農安、双陽
公主嶺地方	2.7	800.0	21,600	伊通、梨樹、懷德
北滿地方	2.0	1,440.0	28,800	穆稜、寧安、同賓
吉林地方	2.1	3,920.0	82,320	吉林、樺甸、舒蘭、磐石、額穆、濛江、敦化
間島地方	2.3	6,350.0	146,050	延吉、和龍、汪清、琿春
其他地方	2.5	1,990.0	49,750	遼陽、黑山、彰武、臨江、輯安、遼源、双山、康平、法庫、通遼
計		48,911.8	1,234,064	

關東州及滿鐵附屬地水田發達狀況

年次	關東州 面積	關東州 籾收量	滿鐵附屬地 面積	滿鐵附屬地 籾收量
大正五年	283.0	6,136.0	197.2	5,776.4
大正六年	274.6	4,885.6	205.2	3,749.4
大正七年	282.0	7,066.4	144.5	3,036.9
大正八年	347.2	5,107.2	197.9	4,013.2
大正九年	301.9	5,623.7	87.2	1,412.8

滿鐵附屬地水田面積 （大正九年度調査）

地方事務所管轄別	面積	地方事務所管轄別	面積
瓦房店	23.10	奉天	1.20
大石橋	3.80	鐵嶺	30.00
遼陽	—	開原	0.64
四平街	0.30	安東	5.50
公主嶺	3.20	撫順	19.50
本溪湖	—	計	87.24

南滿洲（關東州及附屬地を除く）水田面積 （大正九年）

奉天省				吉林省	
縣名	面積	縣名	面積	縣名	面積
瀋陽	3,000	桓仁	1,000	吉林	400
鐵嶺	200	臨江	100	雙陽	100
開原	350	輯安	160	舒蘭	70
西豐	500	本溪	300	長春	200
西豐	1,000	海龍	2,000	伊通	250
西安	300	撫順	1,200	樺甸	1,500
營口	180	輝南	600	濛江	300
遼陽	50	柳河	5,000	磐石	450
遼中	100	岫巖	1,200	農安	150
黑山	300	莊河	2,500	延吉	3,700
蓋平	250	復	2,100	和龍	1,200
海城	300	遼源	150	汪清	700
新民	1,700	雙山	30	琿春	750
彰武	400	康平	250	寧安	1,300
盤山	500	梨樹	350	敦化	500
安東	2,500	懷德	200	同賓	40
興京	2,000	法庫	300	穆稜	100
通化	3,500	通遼	250	計	12,410
鳳城	1,200	計	36,200		
寬甸	180				

満蒙水田可耕地 満蒙に於ける水田可耕地を二百萬町歩と推定するものがあるが灌漑水量及治水施設等の制限もあるから之等の諸事情を斟酌し容易に水田となし得るものを推算して主なる地點別に示せば大略次の通りである。

地點	可耕地面積	地點	可耕地面積
	町歩		町歩
遼河平原	180,000	太子河附近	36,000
松花江流域	135,000	渾河流域	29,000
鴨綠江流域	56,000	其他雜	150,000
計	586,000		

5 滿洲農產物名稱解說

中國名	別名	日本名	備考
黃豆(ホワン トウ)	元豆	大豆	黃豆、金元(一名金黃)白眉(一名大白眉)黑臍(大黑臍、小黑臍の二あり)の四種あり 大豆として輸出する外、豆油豆餅の原料馬糧豆腐、味噌の原料、として用ひらる
青豆(チン トウ)		青大豆	南滿東南部地方に多く產す、用途は黃豆に同し、此一種に大拉青豆と稱するものあり豆芽子(モヤシ)の原料とせらる
小豆(シヤオ トウ)		小豆(アヅキ)	紅小豆(我國の小豆)、白小豆(象牙白と稱するもの最良)黎小豆、花小豆、雜花小豆の別あり 米又は包米粥に混用し、粉條(豆素麵)の原料
吉豆(チー トウ)	綠豆	ヤエナリ アヅキ	雙廟子以北地方に產額多し 重に粉條子の原料とし又豆芽子ともなす
烏豆(ウー トウ)			大豆に似て外皮黑色內部青黃色のもの 含油量少きを以て搾油に適せず豚の飼料或は藥材として用ふ、產額少し
合豆(ホー トウ)	黑豆		烏豆より小にして扁平、稀に搾油用とし、重に牛、豚、馬の飼料とす 奉天、營口、熱河地方に產す

中國名	別名	日本名	備考
蔴豆（マー トウ）			大豆より小にして扁平、外皮は茶褐色にして波紋あり、食用に供す 産額多からず
莫豆（モー トウ）			蔴豆に類し、外皮暗褐色と青黄色の二種あり主として馬糧、大豆に混して搾油す 昌圖通江口地方に多し
粳米豆（ヂンミー トウ）			大豆に似て、外皮純兩端尖れり藥用に供す長春、公主嶺地方に少額を產し重に南支に輸出せらる
豇豆（チヤン トウ）	江豆 白豆	ササゲ	普通大豆より小く外皮白黄にして紫紅の班點あり、食料に供す此一種に長豇豆と稱するあり、莢の儘菜として食す
蕓豆（ユヌ トウ）	芸豆	隱元豆	莢の儘食料とす 花蕓豆、香色蕓豆、紅蕓豆、架蕓豆、地蕓豆、黄蕓豆の別あり
樹豆（シユー トウ）		蠶豆	產額少し
豌豆（ワヌ トウ）	莞豆	エンドウ	產額少し
高粱（カオ リヤン）	蜀黍 紅粮 高粮	タカキビ	榜子（黄窶子、紅窶子、黑窶子の三種あり）蛇眼（一名米高粱）（以上二の混せしを査子高粱と云ふ）白高粱、粘高粱（もち粱、黄黑窶子の二種あり） 食料及燒酒の原料主要農產物なり精せるものを高粱米（或は紅米）と稱す搗減は三割内外なり
穀子（クー ツ）	谷子	粟	人民の主食物なり、精せるものを小米又は小米子と云ふ、黄穀子（精せるを黄小米）白穀子（精せるを白小米）の二種あり、搗減は三割五分乃至五割、食料の外燒酒の原料ともす糯粟は粘穀子精せるを小黄米（一名小元米或は單に黄米、元米）と云ふ、食料及黄酒（一名元酒）の原料とすれとも產額少し

中國名	別　名	日本名	備　考
包米（ハヲ ミー）	玉蜀黍 玉米 玉黍	タウモロコシ	黃包米(最多し)白包米の二種あり、山地產は馬芽子と稱し品質劣等なり、挽割せるを包米渣子と稱し、粉とせるを包米麵或は棒子、棒子麵(榜子麵)と稱し百斤の包米より七五―八八斤を得食料或は燒酒の原料に混用す
小麥（シヤオ マイ）		小　麥	小麥及洋麥の二種あり(粉麵)に磨きて食料とし、或は麵子(糀)の原料とす、小麥百斤より七〇乃至八二斤の麵を得、其殼は麩子と稱し馬糧とす
大麥（ター マイ）		大　麥	栽培多からず、北滿洲に多し、馬料、麯子の原料、飴の原料とす
莜麥（ユー マイ）	油　麥		蒙古沙丘地方に多く栽培す、磨きて莜麵として食料に供す、其味小麥より遙に劣る
蕎麥（チヤオ マイ）			蒙古、山地、收穫少き地方に栽培す普通の蕎麥と苦蕎麥の二種あり磨きて蕎麵となして食料に供す百斤より六五―九〇を得
粳子（チン ツ）	稻　子	稻	旱粳子(オカボ)水粳子(水稻)の二種あれども旱粳子多し、精せるを粳米或は大米と云ふ、搗減は五割乃至六割とす、又糯を粘粳子或は粘稻精せるを糯米、或は江米、粘粳米と稱す
穈子（ミー ツ）	穈黍 迷子 秘子	イナキビ	粳は散穈子或は單に穈子と稱し精せるを穈子米、穈米、迷子米等と稱す、蒙古人の常食(炒米として)食料、燒酒製造の原料となす、糯は粘穈子、精せるを大黃米或は大元米或は略して黃米又は元米と稱す、糕及黃酒の原料とす
稗子（ベイ ツ）	祥子 勝子 白子	稗	稗の音敗に通するを以て祥子、勝子と云ふ、精せるを稗子米、盛米、勝米と云ふ、食料及馬糧とす

中國名	別名	日本名	備考
薏苢（イージヌ）	薏苢米 薏米 苢米 薏苡	鳩麥（ハトムギ）	產額多からす、一石より精して僅々一斗五升內外を得るのみ、南滿に移出、或は炒りて茶に代用す
鈴鐺麥（リンタンマイ）		燕麥（カラスムギ）	產額多からす、主として馬糧に用ひらる
芝蔴（チーマー）	脂蔴	胡麻（ゴマ）	黑色は少く白色のもの多し搾油して香油と稱し食料に供せらる
線蔴（シエヌマー）		アサ	
檾蔴（チンマー）	靑麻	アナソサ	
小蔴子（シヤオマーツ）	線麻子 麻子	麻實（オタネ）	線麻の實にして、雙廟子以北、特に鄭家屯地方に於て多く產す百斤より二十斤乃至二十五斤の麻子油（小麻油）を得、食料にすれども美ならす、工用に供す
大蔴子（タームーツ）		蹈麻（タウゴマ）	大麻（一名蹈麻）の實なり、搾油して大麻子油を製す、食料に適せす、工業用に供せらる
胡麻（フーマ）			
胡麻子（フーマーツ）		亞麻（アマ）	胡麻の實なり搾油して胡麻油とし食用に供すれども味美ならす
蘇子（スーツ）		亞麻仁	搾油して蘇油を製す、百斤より三十五斤內外を得へし、時として食料に供すれども重に藥用、燈用、塗用、工料に供す
西天穀（シーテヌクー）	西番穀	荏（エゴマ）	穀又は谷とも稱す 農家附近の空地に栽培し、豚の飼料に供す、產額多からす市場に上るに至らす
瓜子（コワーツ）		鷄頭（ケイトウ）	東蒙各地に產す、大瓜と稱する西瓜の一種の實なり、品質に依り項心白、大胡羅頭、二十羅頭、一窩風の四種あり、中國人常用として缺くへからさるものなり
黃煙（ホワンイエヌ）	黃菸	葉煙草	吉林地方より產するもの關東煙と稱し品質上等なり、片煙、柳子煙、大把子煙の三種あり、品質と形體に依りて分ちしなり

6 農 事 施 設

滿鐵會社は滿蒙の開發は先づ農業の改良、奬勵を急務とする事を認め公主嶺と熊岳城とに巨費を投じて農事試驗場を設け農法、家畜、林業に關する試驗を行ひつゝある外沿線數箇所に試作地及び苗圃を設け鋭意農事の改良進歩に努力しつゝある。南滿洲に於て甜菜の栽培を見るに至つたが如きは滿鐵農事試驗場に於ける試作の結果之が有望なるを確め得たるが爲めであつて該試驗場が滿洲の農業に功獻したる事績の一つである其他大連に關東廳農事試驗所があるが中國側に於ける農事施設としては奉天及び吉林に農事試驗所と稱するものを置いて在る。

農事試驗場試作地及苗圃

	所在地	箇所數	面積
農事試驗場	公主嶺	1	坪 475,283
	熊岳城	1	149,146
	計	**2**	**594,429**
試作地	鄭家屯	1	68,908
	得利寺	1	6,193
	湯崗子	1	3,600
	計	**3**	**78,701**
苗圃	大連	1	4,764
	沙河口	1	25,036
	瓦房店	1	12,144
	熊岳城	1	37,675
	大石橋	1	30,467
	鞍山	1	81,318
	遼陽	1	46,206
	奉天	1	13,167
	鐵嶺	1	30,000

所在地		箇所數	面積
苗圃	開原	1	9,451
	四平街	1	17,290
	公主嶺	1	17,483
	長春	1	14,707
	本溪湖	1	9,964
	安東	1	11,991
	撫順	1	314,189
	鄭家屯	1	2,688
	計	**17**	**679,040**
合計		**22**	**1,352,170**
外に委託試驗地		2	3,150

7　滿洲農產物各地斤量一覽

（穀物一斗に付日本斤量を示す）

主要穀菽類

地別	大豆(黄豆)		高粱	粟(小米)	小麥	米(粳子)
	中國斤	斤	斤	斤	斤	斤
普蘭店	40.0	37.0	—	—	—	—
瓦房店	40.0	37.0	37.0	41.0	—	—
蓋平	36.0	33.0	33.0	37.0	—	37.0
海城	35.0	32.0	32.0	35.0	—	35.0
遼陽	30.0	27.0	28.0	30.0	—	30.0
奉天	29.0	27.0	28.0	31.0	28.0	31.0
撫順	33.0	29.0	—	31.0	—	—
鐵嶺	30.0	27.0	28.0	32.0	31.5	30.5
開原	34.0	31.0	32.0	35.0（谷子 30.0）	32.0	34.0
昌圖	38.0	35.0	35.0	39.0（谷子 36.0）	36.0	39.0

地別	大豆(黃豆)		高粱	粟(小米)	小麥	米(粳子)
	中國斤	斤	斤	斤	斤	斤
雙廟子	40.0	37.0	38.5	42.0	—	—
四平街	41.0	38.0	39.0	43.0	39.0	43.0
郭家店	—	—	39.0	(谷子39.0) 40.0	—	41.0
公主嶺	43.0	38.5	40.0	42.0	38.0	41.0
范家屯	43.0	38.5	38.5	40.0	40.5	—
長春	39.0	35.5	36.0	37.0	35.5	39.0
蘇家屯	32.0	29.0	—	—	—	—

雜穀類

地別	小豆	綠豆(吉豆)	大麥	胡麻(芝麻)	麻實(小麻子)	荏(蘇子)	蕎麥
	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
普蘭店	—	—	—	—	—	—	—
瓦房店	—	—	—	—	—	—	—
蓋平	—	—	—	—	—	—	—
海城	—	—	—	—	—	—	—
遼陽	30.0	—	—	22.0	—	—	—
奉天	31.0	—	20.0	22.0	19.0 (大麻18.0)	19.0	25.0
撫順	—	—	—	—	—	—	—
鐵嶺	32.0	33.0	—	—	21.0	21.0	—
開原	25.0 / 36.0	—	24.0	24.0	—	22.0	—
昌圖	37.0	—	28.0	—	—	—	27.0
雙廟子	—	42.0	27.0	—	29.0	27.0	—
四平街	44.0	43.5	—	—	28.0	27.5	27.0
郭家店	—	—	—	—	—	28.0	—
公主嶺	42.0	44.5	27.5	32.0	27.0 (大麻26.0)	27.0	—
范家屯	—	—	—	—	25.5	25.0	—
長春	39.0	40.0	—	29.0	27.0	25.5	28.0
蘇家屯	—	—	—	—	—	—	—

(二) 牧　　畜

1. 概　　況

滿洲では古くから家畜の飼養が普及し農家に牛、馬、驢、騾等の役畜を始めとし豚、鷄等を有せぬものは稀であるから其數は實に莫大なものである。由來中國人は愛畜心に富み之を馴致同化する技能に於ては邦人の遠く及ばぬ處である。

蒙古人に至つては元來遊牧の民であるから家畜は其の生活の唯一の資料である。卽ち彼等は衣食住の爲牛、馬、羊等を牧し常に水草を追ふて移動するのであるが東蒙古中南部及東部地方は漸次開放せられ移住滿漢人の爲め農業の拓くるに伴ひ漸次天然の牧場を蠶食され蒙民は年と共に西漸し今では純蒙古式大規模の放牧は遠く興安嶺麓以西に見るのみとなつたばかりでなく、近來蒙匪跳梁等の爲め著しく家畜の數を減した今滿蒙の家畜に就き單簡に述べると下の通りである。

馬　滿蒙の地は所謂驥北の野で良駿を出す自然の產馬地である。其の產馬は全部蒙古系であつて、體高四尺二寸五分、體長四尺六寸、體重七十貫を平均とする。體軀矮小であるが各部の均整良好である。體質は極めて强健であつて粗飼粗管理に堪へ持久力に富み普通側對步をするものが乘用に其の他のものが輓用に使はれて居る。

騾　騾は牝馬と牡驢の交配によつて產する雜種で歐洲及中國に於ては古くより知られてゐたが我國には殆んど全く之を見ない。騾の體軀は父母の大小によつて異るが概れ馬よりも大形である。夫れは騾の生產に用ゐる驢が大驢と稱するもので四尺五六寸から五尺餘の體高を持つて居るからである。騾は耕作運搬に使用せられ堅忍よく重役に服し役用期間長く粗飼少食加之粗管理に堪へ價額も馬より高い。

驢　驢は普通に飼養するは小驢である。體高三尺位であるが體質强健で粗食に堪へ力量、體軀に比して割合に大であるが故に農耕用のみならず家內勞働及駄用として適當である。

牛　牛は朝鮮牛系統、山東牛系統滿洲牛系統及蒙古牛系統であるが前二者は其の數尠く大部分は蒙古牛と滿洲牛である。中國人は力役の爲

に蒙古人は乳を採る爲に飼養し肉は副産物として居る。滿蒙の牛は後軀の發育不良であつて各種經濟的能力劣るけれども堅忍從順にて粗飼粗管理に堪へ力役用として可なるものがある。體量は最大のものでも百四十貫普通八十貫位で從つて肉量が少く且つ肉味は朝鮮牛、山東牛に及ばず乳量も甚尠少であるが爲馬と共に將來改良の餘地がある。

駱駝 駱駝は蒙古に産するのみである。雙峯種で體尺五尺五寸餘を普通とする寒氣に抗する力強く力役騎乘に適するが爲に蒙古に於ける重要なる旅行機關である。

緬羊及山羊 緬羊及山羊は蒙古種であつて今迄は肉用及毛皮用として飼育せられ羊毛及絨毛は副産物として取扱はれて居た。緬羊の體量は牝が七、八貫から十貫、牡が最大十五貫位で養分を貯藏する脂肪尾を持つて居るのが特徴である。山羊は緬羊より少し小さい産毛量は甚だ少く緬羊の毛量は一頭三封度を超えず毛質亦不良であつて從來我國では顧みる者なく大部分米國へ輸出せられて居た。山羊の絨毛は品質良好であるが産毛量は一封度餘にすぎぬのである。何れも近年我國毛織工業の發達に從つて少からざる日本向輸出を見るに至つた。

南滿洲の中國人の牧羊は山羊を本位とし蒙古に於ける蒙支人の牧羊は緬羊を本位とするが共に皆多少の混牧をして居る。中國人は副業的に飼育するのみであるが家畜を以て生活資料の供給者とし唯一の財産としてゐる蒙古人にとつては甚だ重要なるものである。

蒙古人及中國人の緬羊飼育の從來の目的からすれば何等改良の必要を認めないのであるが近年羊毛輸出の途開けてより經濟的に改良の有利なるを感ずる者あるに至つた。

豚 豚肉は中國人の最も珍重する處で農家は肥料と畜産收入を目的とし毎戸必ず數頭多きは十數頭を養つて仔豚の生産をなし肥體は燒酒屋粉屋豆腐屋等の飼料の潤澤な所で行はれて居る。

滿洲豚には大型種と云ふ二ヶ年半で三十五貫位になるものと小型種と云ふ一ヶ年で十八貫位になるものと中型種と云ふ中間のものと三種ある何れも頗る多産種であつて一腹十頭乃至二十を産む。其の鬣毛は粗剛で長く刷子用として優良であつて大部分大阪へ輸出せられる。

東三省熱河家畜及家禽現在數　（民國六年末）

名稱		奉天省	吉林省	黑龍江省	熱河	計
馬	牝	438,840	350,519	470.890	64,999	**1,325,248**
	牡	349,309	365,489	435,087	64,996	**1,214,881**
	計	**788,149**	**716,008**	**905,977**	**129,995**	**2,540,129**
驢	牝	203,001	68,222	19,778	50,434	**341,435**
	牡	137,021	115,838	21,745	59,998	**334,602**
	計	**340,022**	**184,060**	**41,523**	**110,432**	**676,037**
牛	牝	203,048	261,721	135,732	70,387	**670,888**
	牡	271.748	233,924	163,241	88,069	**756,982**
	計	**474,796**	**495,645**	**298,973**	**158,456**	**1 427,870**
羊	牝	368,632	100,358	107,662	270,304	**846,956**
	牡	284,027	84,065	118,998	304,762	**791,852**
	計	**652,659**	**184,423**	**226,660**	**575,066**	**1,638,808**
豚	牝	2,815,902	345,544	611,292	210,311	**3,983,049**
	牡	2,753,741	895,938	608,108	259,229	**4,517,016**
	計	**5,569,643**	**1,241,482**	**1,219,400**	**469,504**	**8,500,065**
家畜總計		**7,285,269**	**2,821,618**	**2,692,533**	**1,443,489**	**14,782,909**
鷄		6,140,976	3,764,684	1,815,856	1,526,722	**13,248,241**
鴨		875,240	827,824	9313,35	374,283	**2,390,706**
鵝		220,202	64,427	93,843	31,034	**409,506**

備考　本表は中國農商統計に依る

關東州及滿鐵附

地方別	牛	馬	驢	騾	山羊
旅順	2,549	756	6,406	3,380	1,406
大連	1,200	1,448	3,069	3,500	1,251
金州	8,041	263	4,671	1,534	2,098
普蘭店	14,665	787	8,166	3,553	2,639
貔子窩	6,749	563	5,984	3,170	421
計	**33,204**	**3,817**	**28,296**	**15,137**	**7,815**
州外附屬地	962	1,963	1,466	1,331	261
總計	**34,166**	**5,780**	**29,762**	**16,468**	**8,076**
大正九年	35,203	5,034	30,607	15,787	7,905
大正八年	35,870	4,660	31,302	14,077	7,954

關東州內及滿

地方	營業者數	延頭數	搾乳量
			石
旅順	2	8,474	311.19
大連	8	50,797	2,288.85
金州	1	365	13.19
計	**11**	**59,636**	**2,613.32**
州外附屬地	18	44,109	1,977.22
總計	**29**	**103,745**	**4,590.45**
大正九年	26	105,648	4,125.18
大正八年	26	96,686	3,948.36

屬地内家畜家禽數 （大正十年）

緬羊	豚	家畜計	鷄	鵞	家禽計
76	10,397	24,970	39,683	2,073	41,756
7	8,369	18,844	33,127	2,244	35,371
36	15,617	32,263	43,208	3,043	46,251
225	32,855	62,890	63,783	8,273	72,056
—	23,257	40,144	51,799	13,376	65,175
347	**90,495**	**179,111**	**231,600**	**29,009**	**260,609**
1,852	8,230	16,065	27,574	876	28,450
2,199	**98,725**	**195,176**	**259,174**	**29,885**	**289,059**
1,253	99,365	195,145	257,609	27,542	285,151
2,050	91,189	187,102	255,845	27,196	283,041

鐵附屬地内乳牛 （大正十年）

全乳		乳製品		價額計
數量	價額	原料乳量	價額	
石	円	石	円	円
217.21	21,312	16.60	712	22,024
1,682.47	169,717	376.72	9,603	179,320
11.92	1,402	—	—	1,402
1,911,69	**192,431**	**393,52**	**10,315**	**202,746**
1,331,12	139,884	43,81	1,045	140,929
3,242.72	**332,315**	**437.26**	**11,360**	**343,675**
3,397.00	307,631	164.73	3,945	374,576
3,244.29	237,326	435.87	6,180	243,551

地方	屠場數	牛		緬羊	
		頭數	肉量	頭數	肉量
旅順	1	684 ×1	27,259	—	—
大連	1	9,599 ×1	346,674	199	859
柳樹屯	1	11	253	—	—
金州	1	29	644	—	—
普蘭店	1	199	7,837	134	659
貔子窩	1	482	14,280	—	—
計	**6**	**11,044 ×2**	**396,947**	**333**	**1,518**
州外附屬地	10	6,273 ×2	256,135	2,132	9,188
總計	**16**	**17,279 ×4**	**653,082**	**2,465**	**10,706**
大正九年	15	14,190 ×4	517,345	2,557	11,074
大正八年	15	13,044 ×4	454,778	2,726	10,173

備考　表中×印を附したるは屠殺後檢査に依り廢棄したものであ

2. 滿蒙に於ける羊毛及皮革

羊　毛　在來の滿蒙に於ける緬羊飼育法は頗る原始的で從來殆ど何等の改良若くは增殖の企圖が爲されて居なかつた結果出產毛は品質劣等で羅紗等の上等被服地の製織に適しないのみならず其分量も亦極めて少く漸く一年一頭平均二斤を得るに過ぎなかつた。滿鐵は率先して之れが改良に著手し公主嶺農事試驗所に畜產部を設け佛國及西班牙產の「メリノー」種を日本及米國より輸入し在來の蒙古種に交配せしめて品種の改良を計ると同時に沿線の日支人に優良種羊の拂下を爲し一面滿蒙樞要の地に種羊牧場を經營して居る。依之滿蒙在來種羊の品種改良の曉は羊毛の產額に於ても年五、六倍の增收を得る見込みである。現今滿蒙に於ける羊毛の年產額は約四百五十萬斤卽六百萬封度と稱せられる。

屬地牛、羊、豚屠殺數　（大正十年）

山羊		豚		計	
頭數	肉量	頭數	肉量	頭數	肉量
33	178	4,705 ×8	61,423	**5,244 ×9**	**88,860**
2,445	9,409	27,397 ×482	422,645	**39,640 ×483**	**779,587**
—	—	439	7,630	**450**	**7,883**
333	1,316	3,265 ×2	54,648	**3,267 ×2**	**56,608**
32	122	2,101 ×85	35,234	**2,466 ×85**	**43,852**
144	710	2,181 ×7	39,893	**2,807 ×7**	**54,883**
2,987	**11,735**	**40,038 ×584**	**621,473**	**54,412 ×986**	**1,031,673**
191	779	29,307 ×394	522,168	**37,903 ×396**	**788,270**
3,178	**12,514**	**69,395 ×394**	**1,143,641**	**92,317 ×982**	**1,819,943**
4,655	18,515	72,307 ×1,100	1,188,250	**94,259 ×1,104**	**1,735,184**
5,042	19,345	66,813 ×957	1,099,067	**87,625 ×961**	**1,583,363**

ろ、肉量中には廢棄のものを含まず。

滿蒙羊毛市場及產毛集散數量

地方	數量	地方	數量
奉天	封度 150,000	朝陽	100,000
錦州	1,000,000	鄭家屯	100,000
赤峰	2,000,000	經棚	130,000
烏圓城	600,000	海拉爾及沿海東路	600,000
小庫倫	50,000	洮南	100,000
建昌	90,000	義州	45.000
林西	120,000	張家口	600,000
多倫諾爾	600,000	計	**6,285,000**

皮　革　滿蒙産皮革中主なるものは牛皮、馬、騾皮、羊皮及び豚皮である。

イ　牛皮の産地及産額　最近の調査未了に付き滿鐵會社大正六年度調査に依れば下の通りである。

地　　方	産　　額	地　　方	産　　額
	枚		枚
奉　天　省	47,400	東　蒙　古	134,600
吉　林　省	34,300	外　蒙　古	200,000
黑龍江省	29,500		
計	**111,200**	計	**334,600**

ロ　馬皮の産額　滿蒙に於ける馬匹飼養數は中國全土中に冠たるものであるが之等馬、騾及び驢の飼育は乘用、挽駄用、農耕及動力用を目的とするものであるから屠殺數は他の家畜類に比し尠い、從て馬皮の殆ど全部は死馬若くば病斃馬皮である。故に市場に出廻る皮革も從つて少く大正六年直接滿洲市場に出た實數は馬皮及騾皮三十三萬九千七百枚、驢皮三萬四千六百枚と稱せられて居る。

ハ　羊皮　大正六年中滿洲直接出廻高は山羊皮十二萬枚山羊板子（夏物即舊四月より九月頃迄に剝皮されたるもの）十八萬枚、山羊猾子（山羊の胎仔又は生後間もなき幼畜の皮）五萬枚、總計三十五萬枚、緬羊皮四十七萬枚、內七萬枚は羔子皮(緬羊の胎子又は生後間もなき幼畜の皮である。

ニ　豚皮　豚は主として肉食用として飼育せられ製革用としては殆ど顧みられざる爲豚皮の生産額は比較的尠少である。故に豚皮として幾何の出廻數量があつたかは據るべき資料を缺くを以つて不明である。

3　家畜管理法

家畜の飼養管理は極めて粗雜なもので滿洲では役牛馬騾は粗末なる小

屋又は庭内露天に繋ぎ飼料は一般に粟稈を主とし包米稈、麥稈、野草、豆稈莢を與へ濃厚飼料として高粱、豆粕麩等を混へる。蒙古人はもとより厩舍を造らず殆ど放牧のみである。中國人もよし厩舍を造るも特に稈草を與ふることがない。豚は農家では晝間は放牧し夜は豚舍に入れる。秋の收穫を終りたる圃上に餌を漁つて活潑に馳驅する光景はまた滿洲景物の一である。粟糠を煮て朝夕與るへるを常とする。羊は滿洲では晝間は放牧し夜は柵又は小屋に入れる。冬は貯へた野草を與ふることもあるが多くは冬も放牧する。蒙古人の牧羊は夏は旱魃を患へて水草を追ひ低地に移り冬は積雪を恐れて胡砂吹く風寒き高處を覓める爲に其の居を移すのである。其の皮を以て衣とし其の乳肉を以て食となし其の毛氈を以て屋を包む等彼等の衣食住は一に羊群に依らねばならぬのである。

4　家畜市場

滿蒙に於ける牛馬羊の補充は滿洲に生産するもの少數で其大部は東蒙各旗より供給せられ主として市場に於て取引賣買せられるものである。家畜市場は物資の集散に便なる都邑にあり、他の市場と共に日々或は一定の日に開設せらるゝを常とする、其取引は箇體につき爲すものあり或は數十頭の一團として行はるゝあり、東部蒙古に於ける主要なる輸出物で貿易の首位を占め春季は舊三、四月秋季は舊八、九月の交が最も盛んである。之れ春季解氷の際は運送不便にして農作未だ起らない爲農民は牛馬を要しないのに因るもので秋季は冬より早春に掛けて嚴寒と飢餓の爲營養不良となれる放牧牛馬も晩春より夏季に亘る期間に青草の繁茂せるを飽食し營養の恢復するを俟ち賣却せんとするものである。されば春季は中國農民の所有に係る家畜が上市せられ、秋季は主として蒙古人所有の家畜が多數を占める而して春季に比し甚だ多數で且資質も良好である。

家畜市場の主なるものは南滿洲にありては長春、鐵嶺、開原、奉天、

海城、錦州で北滿洲にあつては哈爾賓、齊々哈爾、海拉爾、東蒙古にあつては鄭家屯、伯都訥、洮南、小庫倫、法庫門、康平縣、白音他拉、開魯、林西、烏丹城、赤峰、經棚、朝陽、多倫諾爾、張家口、建昌等である、今家畜取引の狀態を表示すれば次の如くである。

移出先	大消費地	市場	摘要
北滿洲	哈爾賓地方	長春、鄭家屯、海拉爾、齊々哈爾、哈爾賓、伯都訥、洮南	
南滿洲	奉天（滿鐵沿線を含む） 吉林	鄭家屯、小庫倫法庫門、康平縣鐵嶺、開原、奉天、長春、海城	鄭家屯に於けるものは半部長春吉林方面に半部は四平街又は康平縣を通過して開原鐵嶺奉天に入り小庫倫法庫門康平縣に於けるものは鐵嶺地方に直入するもの及新民府を經て奉天に入るもの或は錦州に至るものあり海城には京奉線より牛莊を經て入るものがある
直隷省	北京 天津	烏丹城、赤峯、經棚、多倫諾爾張家口、錦州	赤峯に於けるものは大部錦州に出て錦州より牛莊海城に至るものがある一部天津に輸出せられ經棚烏丹城多倫諾爾のものは張家口に向けられる 但し蒙古牛は天津以南に輸出せらるゝもの少くこれ東山牛の供給多きが故である。

第十六　林　　業

(一)　滿蒙に於ける森林の分布

滿洲の森林は主として北方に還し南に至るに從つて禿山を多く見る關東州の如きは殆ど森林らしい樹林を見ない唯墳墓、村落等の附近に楊柳楡等を僅に散見するに過ぎないのであつて當局に於ても之れが造植林に努力をなして居るため昨今では大に見るべきものがある。

南滿地方では鴨綠江流域地方並に第二松花江上流地方に森林地帶を見るのみで他は云ふに足らない。前者は淸朝時代久しく邊柵外の地域として度外視された地方であつて漸く二十七、八年戰役後頃から手を付け初められ三十七、八年戰役後に於て俄然殷盛を極むるに至つたのである。後者は吉林省が古來淸朝發祥の地であつたため外人の移住を禁じ皇室の狩獵地として保存に勉め伐木を許さなかつたが露國の東方政策は遂に多大の木材を要し之等森林の面積をして小ならしめた加之最近二十年來中國が之等地方を開放せるため多數人口の增住を見吉林省内の森林は年々非常なる勢を以て伐採せらるゝに至つた。

北滿地方に於ては南滿に比し森林の見る可きものが多々ある東支鐵道東部沿線地方は既に有名なるもので所謂北滿材は此沿線から出るのである又大興安嶺地方の如き調査未だ行き屆かず千古未だ斧鉞を入れざるの美材が多々あるが小興安嶺地方伊勒呼里山脈地方も同樣である。

翻つて脚一度蒙古に入れは渺茫千里草原と沙丘の連續であつて殆んど森林を見る事が出來ない。唯黑龍江省から蜿蜒南下せる興安嶺山脈の流れと陰山々脈中とに往々森林を見るが未だ調査不充分である。

之れを要するに滿蒙の森林は槪して北部に偏するが林相の頁好なるものが多きを以て木材の世界的缺乏を稱へられる折柄益々將來あるものであらう。滿蒙に於ける森林面積量は確たる調査を缺くが今各方面の調べを綜　　に槪ね下の如くである。

主要なる森林地方
鴨綠江流域右岸及渾河流域地方
第二松花江上流地方及豆滿江流域地方(牡丹江上流地方を含む)
東支鐵道東部沿線地方(上流地方を除ける牡丹江流域を含む)
大興安嶺地方(シエフチエンコ借區のみ)

尙ほ中國側調査として發表された最近のものはの下の如くである。

東三省

省別	年次	國有		公有	
		場數	面積	場數	面積
奉天省	三年	13	畝 1,551,668	156	畝 18,700
	四年	15	1,657,984	294	34,289
	五年	77	14,326,935	701	126,945
吉林省	三年	456	2,158,496	49	61,852
	四年	721	10,785,216	1,221	3,814,741
	五年	713	6,620,540	74	64,020
黑龍江	三年	15	38,572	5	24,740
	四年	73	18,380,979	12	108,500
	五年	73	18,380,479	14	108,993

森林面積	木材畜積量	一町步平均
町步 668,000	石 347,655,000	石 520
1,964,000	1,315,519,000	670
7,726,000	3,543,298,000	450
613,000	97,230,000	450

森林表 (中國側調査)

私有		計		百分比		
場數	面積	場數	面積	國有	公有	私有
12,817	畝 311,669	12,986	畝 1,882,037	82	1	17
14,289	346,984	14,598	2,029,037	81	2	17
15,769	332,208	16,547	14,786,088	97	1	2
1.148	2,530,966	1,653	4,751,314	45	1	54
74	64,967	2,016	14,664,924	73	26	1
1,231	3,955,375	2,018	10,639,935	62	1	37
14	28,128	34	91,430	42	27	31
34	275,717	119	18,764,696	98	1	1
69	195,412	156	18,684,884	98	1	1

(二) 樹種

森林中樹種の混淆步合は元來天然林が多いので一定しないが針葉樹四有用なものは針葉樹九種濶葉樹十七種である何れも氣候の關係上發育頗ない。

滿洲に於ける樹種中に於ては紅松が針葉樹中の過半を占め沙松魚鱗松木曲柳、楊ゞ等が大宗をなし七割を占め胡桃、黃披欏等は多くない。輿今其重なるものを擧ぐれば下の如くである。

	俗名	和名	漢名	周圍	高サ
針葉樹	紅松	テウセンマツ テウセンゴヨウ	海松	十三尺	八十尺
	魚鱗松	トウヒ エゾマツ	唐檜	十尺	百數十尺
	白松又は臭松	トウシラベ	白檜	七、八尺	八、九十尺
	沙松	パラモミ パリモミ	—	七、八尺	八十尺
	黃花松	カラマツ ラクヨウシヨウ	落葉松	十尺	百尺
	油松	メマツ アカマツ	赤松	十三、四尺	百餘尺
	赤柏松	イチヰ、アラ ラギ、オンコ	一位	三、四尺	三十尺
	崩松	ネヅミサシ、 ネズムロ	杜松	二尺	四、五十尺

及　用　途

割濶葉樹六割の見當である樹種の既に知られたもの三百餘種あるが其中

る遲く一年中成長し得る期間は槪ね五月上旬—九月上旬の四箇月に過ぎ

類が三割他は鮮少である。濶葉樹に於ては柞、柏類、椴木類、楡、安猶

森林は紅松類 油松白樺類が主である。

材　質	用　途
木理甚だ美にして外觀白色に微光を帶ひ柔軟にして工作を施し易く樹脂に富み保存力强し	建築材料、棺材、戶障子、天井板、器具等に適す
北海道の蝦夷松に類し其色帶黃赤色肌理細美鉋削すれば光澤を生す割裂し易く反張伸縮の性あり	通常家屋建築、ビール箱、茶箱篩、電柱等
白色にして稍黃赤色を帶び材質は輕軟木理通直なるも松よりは稍重く彈力ありて屈撓し易し	篩、屋根、板、戶障子、框、菓子箱、器具類、電柱等
白色にして心材は稍淡赤色を帶ひ脂氣多くして柔なり	前に略同し
心材は稍褐色を帶び材質强硬耐久力に富み裂け易く工作を施し易し特に濕氣に對し保存力强し	家屋建築、棺、橋梁、船盤、枕木、電柱、帆柱、器具
堅剛にして樹脂に富み保存力强し	家屋、橋梁、船盤、土工、器具等に用ひ又薪材とせらる
材色淡赤にして質頗る强堅緻密彈性に富み割裂の患なき爲め日本に於て昔は笏を製し又一位の人の冠を製したり	箱、器具、天井板、床柱、鉛筆彫刻材
材は黃色、水濕に堪へ小細工物に賞用せらる	器具及一部の裝飾材に用ひるに過ぎす

	俗名	和名	漢名	周圍	高サ
濶葉樹	水曲樹	シヲジ、ヤチダモ	—	六尺	數十尺
	楡木	ハルニレ	楡樹又は山楡	六尺	六十尺
	檀木	オシオレカンバ	赤楡	五尺	六十尺
	擔木	シナノキ	假木	五、六尺	五十尺
	胡桃	オニグルミ	山胡梅	七、八尺	五十尺
	刺楸	セン、ハクギリ	刺楸	丈餘	五十尺
	柞	オホナラ	楢	五、六尺	六、七十尺
	黃被欏	キハダ	黃蘗	七、八尺	七十尺
	白楊	ヤマナラシ	白楊	七、八尺	七、八十尺
	楊木	ドロヤナギ	楊	七、八尺	六十尺
	白樺木	シラカバ	樺	—	—
	色木	カヘデ	杷樹槭	五、六尺	四、五十尺

材質	用途
材は白色微黄肌理密ならず堅硬にして重く粘力あり折れ難く又水濕に堪ふ	船盤、器具、農具の柄、車軸、枕木、銃臺、下駄
堅硬緻乾燥せば分割し難し	椀、獨樂、盆、斧柄、車軸、椅子、机、馬車箱
材質緻密非常に剛堅にして截斷するに臨み斧の折るこさあり	盆、硯箱、櫛、椀、中國馬車の車軸及車輕に用ふ
材は白色柔軟美麗にして頗る工作し易し	皮の纎維は織物用となり材は器具材とし又經木燐寸の軸木等の原料に用ふ
幼時は心材邊材共に白色なれども生長後は淡褐色に變ず材質强靱密實にして反張彎曲の患なし	銃床、箱、盆、小細工材、椅子火鉢等に適す
木理美にして斑理あり稍堅硬鉋削し易く桐材の如き光澤あり	器具、家具、建築、枕木、河船の底板、槍柄、棒、下駄材に用ふ
堅硬容易に腐朽せず其性反張龜裂の恐あるも一度蒸せば可なり	車軸、櫂、櫓、器具、機械、船艦用材、ビール葡萄酒等の樽
材は淡黄色にして堅强なり	銃床、裝飾用材、器具に用ふ內皮は藥品とし或は染料とし外皮はコルク栓を製す
白色柔軟にして腐れ易し幼木は帶綠灰白色なるが老大となるに從ひ黑味を帶ぶ	燐寸、軸木、楊枝、經木眞田、貨物包裝箱、火藥用木炭、製紙原料等
白色柔軟中腐のもの多く又枝節多し	建築、旅行用大行李、杓子、木盤、箸、其他燐寸の軸木、製紙經木等
樹皮は横理斑點あり外面は雪白內皮は帶綠赭色にして脂氣に富む材は帶黄白色を呈し緻密堅硬にして割れ難く又工作を施し難し	材は農具の柄其他器具材又薪材とす皮は染料鞣皮用油を製し其他煙草入、刀鞘、及松明
白色に微赤を帶び其質堅靭緻密鉋削するときは美しき光澤を生ず	机、箱、銃床、鏡板、及木炭となし火力强し

(三) 各地森

1 鴨綠江上

此地方は南滿洲に於て第二松花江上流地方と共に樞要な森林地帶であ
石の材積があると推定せられて居る。目下實際森林のあるのは安東から
程濶葉樹を減じ針葉樹を增す。

前述の如く此地方は永らく度外視されて居つたが日淸戰後淸國政府が
所があつた。然るに露國の南下は流石に此寶庫を見逃さないで明治三十
公司を設立し露國の會社と拮抗して遂に國際的色際を帶ぶる樣になり日
れ實に日支合辦事業の嚆矢である。

此地方に於ける樹種は主として建築、船艦、土工、電柱、橋梁、枕木
のは紅松次で杉松(タウヒ、シラベ、モミ)黃花松、油松等である濶葉樹で
ヲカバ等である。

此地方の木材の大市場は從來大東溝で龍岩浦及び北下洞もながら市場
でから市場は全く安東と新義州に移動してしまつた。出材量は年々二百
方面及び上海方面に三分の一は朝鮮滿洲方面に輸送消費される。又安東
ものが多く安東に於ける目下の製材能力は年五十萬乃至七十萬と稱せら

2 鴨綠江採

本公司は既述の如く木植公司の後身であつて明治三十八年十二月北京
材の主權を握つて居る。

公司の組織 公司の組織は督辦一人理事長二人理事二人以上及技
べく兩國人同數を出すを主義として居る今公司內容を見るに下の如であ

組織	資本金	創立	總局及分局	所在地
日支合辦	北洋銀三百萬元全額拂込日支折半	明治四十一年九月二十五日	本局	安東
			通化分局	通化縣通化
			帽兒山分局	臨江縣帽兒山
			十三道溝分局	大江十三道江附近
			長白分局	長白縣
			臨時渾江口分局	輯安縣渾江口
			馬市臺分局	安東縣馬市臺
			沙河鎭分局	〃 沙河子
			六道溝分局	〃 六道溝

林の概況

流地方

つて上流右岸一帶及渾江流域を合せ六十六萬八千町歩に三億四千八百萬
百里上流に位する帽兒山以東で渾江にあつては通化以北に位し奥に入る

木稅局を設置し又官民合同の木材會社木植公司などを組織し大に勉める
五年に一森林會社を起したが一方日淸人は合同して翌三十六年日淸義盛
露戰後鴨綠江木材公司の設立を見遂に今日の發展を致したのであつて之

燐寸、軸木、經木、製紙等に用ひられる用材であつて針葉松で重なるも
多いのはシオジ、ハルニレ、シナノキ、クルミ、ナラ、ドロヤナギ、シ

をなして居つたが鴨綠江採木公司や新義州に朝鮮總督府の營材廠が出來
萬乃至二百五十萬石と稱せられ三分し一は天津方面に三分の一は山東省
に製材業が勃興してから製材として朝鮮、大連、奉天等に輸移出さるゝ
る。

木公司

に於て締結された日淸協約に基き四十一年九月設立され今では鴨綠江木

師其他の職員を置き督辦は東邊道尹の兼務にして理事以下の役員は成る
る。

管理區域	主管事務	總局との距離
鴨綠江右岸及渾江流域	鴨綠江の本流支那側の支流及渾江流域に於ける採伐	—
渾江流域	請負採伐及貸金採伐	里 80
輯安縣臨江縣一部	請負、直營、貸金採伐	105
六、七道溝の分水嶺以上十四十五道溝の分水嶺に至る	同上	142
十四十五道溝の分水嶺以上	直營採伐	158
—	檢籍	45
寬甸安東	同上	5
安東の一部	同上及貯木	0.5
安東の一部	同上	0.5

營業の範圍　帽兒山から二十四道溝に至る間を距る六十四支里内を專採區域とし伐採を直營すると共に從來の中國伐木業者に資金貸付をなして居る。伐採した木材は特殊のものを除く他は全部之を買收し得る特權を有し直營木材と共に市價を按し一般に販賣を行つて居る。之を要するに鴨綠江の木材は總て公司の手を經た後市場のものとなるのである公司は又大倉組と資本金五十萬圓を以て鴨綠江製材公司を經營し半額を出資し大正六年十一月から業務を開始して居る。

十年度事業の概況　前年度春季以來世界的に漸衰續落したる經濟界は本年度に入つて其の不況愈々濃厚で木材界も亦一般沈靜の裡に年度を更むるに至つた鴨綠江の採伐事業は前二箇年間財界の高調時代に當り一般事業家は競ふて山地方面に投資を試み採伐數量激增したるに拘はらず引續き流域一般に冬季の雪量夏季の水量両つ乍ら不足し加ふるに牛疫の流行匪賊の橫行等事業上障害事故頻出して前年度末に於ける山地若くば流筏途中の停滯木材は未曾有の多數に上つたが越へて本年度に入り冬夏を通じて天候上の條件極めて順調を持續し早春以來新舊材共に續々流下し來り結局總著筏量は公司材料檨材を合せて筏數一萬零二百五十一臺此の木數無慮四百萬連を超ゆるに至つた蓋し鴨綠江に林業ありて以來約一世紀間に於ける空前の最高記錄である。

鴨綠江木材の主要販路たる津京方面の需要は上等材に於ては相當の荷動あり又相當の價格を保有したるも本年度の出材は概して前年年度以來の停滯木材が約六割以上を占めた爲め材質及色合等多少平年木材に比して遜るの觀があつた。之れ等の木材は自然賣足鈍く一時安東江岸は木材を以て埋めらるゝの狀況にあつたが幸にして山東其他の方面に仕向けらるゝもの相當多數に上り其他滿鮮及日本內地方面にも弗々輸出せられて結氷時に於ける安東附近木材の在荷高は稀有の多額を算したとは云へ之れ前記の如く本年度出材高の過多に基くもので之を單に取引高より察すれば遙に例年の數量を超過して居る。目下一般事業不況の間にありて公司關係の事業は極めて順調なる進捗をなして居ると云ふ事が出來る。

3　公司關係諸統計

安東著木材數量及概算價格

	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
筏數	架 4,989	7,173	6,205	5,281	10,229
角材	連 1,125,458.5	1,768,705.5	1,663,533.5	1,622,076.5	2,753,129.5
枕木	丁 10,840	9,211	—	—	—
雜角	—	本 1,452	—	—	—
丸材	連 564,713.5	875,929.0	738,068.5	679,704.5	1,209,712.5
電柱	本 12,864	—	18,774	—	89,703
落丸	—	本 30,720	—	33,811	—
角、丸材計	連 1,690,202.0	2,644,634.5	2,401,602.0	2,310,781.0	3,967,842.0
概算價格	兩 3,508,452	6,375,443	7,000,232	6,426,566	11,222,740.0

買入木材數量及價額

區分	大正八年度			大正九年度			大正十年度		
	數量	平均單價	買收價	數量	平均單價	買收價	數量	平均單價	買收價
	連	兩	兩	連	兩	兩	連	兩	兩
一般料棧木材	38,624.5	2.52	97.441	33,517.5	2.638	88,422	4,860.0	3.927	19,089.060
通化貸金把頭材	2,039.0	3.21	6.541	140.0	2.395	335	—	—	—
帽兒山貸金把頭材	—	—	—	—	—	—	9,870.5	2.441	24,102.78
十三道溝貸金把頭材	362.0	6.35	2,300	—	—	—	2,583.5	5.605	14,479.87
八道溝貸金把頭材	729.5	2.58	1,883	—	—	—	—	—	—
計	41,755.0	2.59	108,166	33,657.5	2.637	88,757	17,313.5	3.331	57,671,71

備　考　買收額の計は兩以下切捨てたるに依り符合せず

買回木材數量及價格

年度別	區分	材種	數量	買收價格 單價	買收價格 總額	買回價格 單價	買回價格 總額	差額
			連	兩	兩	兩	兩	兩
大正5	料棧木材	角丸材	1,256,970	1.637	2,057,388	1.858	2,335,024	277,635
〃 6	〃	〃	1,473,596	1.583	2,730,157	2.103	3,098,840	368,682
〃 7	〃	〃	2,106,444	1.948	4,104,165	2.211	4,658,003	553,837
〃 8	〃	〃	2,027,591	2.307	4,676,714	2.618	5,307,814	631,100
〃 9	〃	〃	2,103,700	2.398	5,045,743	2.722	5,726,646	680,903
〃 10	〃	〃	3,213,917	2.732	8,779,176	2.407	7,735,331	1,043,845

備　考　金額は兩以下切捨てたるに依り差引符合せず

木材賣却數量及價格

月次	大正八年度 數量	大正八年度 價格	大正九年度 數量	大正九年度 價格	大正十年度 數量	大正十年度 價格
	連	兩	連	兩	連	兩
11	134.0	170	—	—	—	—
12	17,268.5	33,222	71.0	764	8,117	26,969
1	750.5	3,675	33,561.5	83,645	12,047	41,817
2	2,998.5	6,730	19,159.0	62,245	17,563	61,023
3	23,670.0	55,588	10,603.0	24,299	12,188	64,778
4	14,245.0	34,464	22,009.5	48,446	9,937	23,963
5	7,806.0	36,495	1,373.5	2,755	4,640	28,946
6	52,095.5	136,474	32,656.5	124,178	9,420	47,226
7	46,961.0	153,323	13,235.0	24,538	20,883	93,239
8	48,732.5	161,683	14,081.5	39,926	33,501	123,666
9	45,252.0	141,683	38,260.0	142,877	62,312	242,274
10	149,368.0	455,346	58,245.0	180,849	151,671	500,736
計	409,218.5	1,218,853	243,210.5	734,527	342,283	1,224,653

備　考價格は兩以下切捨てたるにより合計符合せず

輸出木材數量

輸出先	大正八年度 原木	大正八年度 製材	大正九年度 原木	大正九年度 製材	大正十年度 原木	大正十年度 製材
	連	尺〆	連	尺〆	連	尺〆
天津	450,000	14,403	520,000	11,000	844,000	28,000
山東諸港	158,000	—	480,000	—	940,000	—
大連、旅順	66,970	160,500	23,000	55,000	8,000	21,000
朝鮮	104,000	73,810	150,000	87,800	110,000	151,000
安東	840,173	26,658	360,000	43,000	710,000	48,000
奉天	51,907	9,000	25,000	3,960	5,000	2,800
上海	2,000	—	4,500	—	1,500	—
撫順	489,000	177,030	540,000	110,000	470,000	42,000
滿洲一帶其他	312,286	60,310	35,500	60,000	57,000	50,000
鞍山	20,000	59,110	23,000	5,000	1,500	2,000
青島	37,432	7,300	36,500	1,500	35,000	5,600
日本	13,000	—	2,500	1,000	18,000	75,000
計	2,544,768	588,121	2,200,000	378,260	3,200,000	426,000

木材市價

月別	大正八年度 紅松	大正八年度 杉松	大正八年度 黃花松	大正九年度 紅松	大正九年度 杉松	大正九年度 黃花松	大正十年度 紅松	大正十年度 杉松	大正十年度 黃花松
	分	分	分	分	分	分			分
11	2.80	2.10	3.20	4.30	3.40	4.70	3.90	3.50	3.90
12	2.80	2.10	3.20	4.00	3.20	4.30	3.80	3.40	3.80
1	2.80	2.10	3.10	4.20	3.30	4.50	3.70	3.30	3.70
2	2.20	2.10	3.10	4.30	3.40	4.70	3.70	3.30	3.80
3	2.80	2.10	3.10	5.00	4.00	5.30	3.80	3.40	3.80
4	2.90	2.10	3.10	4.30	3.40	4.70	4.00	3.60	4.00
5	3.19	2.31	3.10	4.00	3.20	4.10	4.00	3.60	4.00
6	3.48	2.52	3.41	3.90	3.10	4.00	4.00	3.60	4.00
7	3.48	2.52	3.41	3.60	2.90	3.70	4.30	3.80	4.30
8	3.48	2.52	3.41	3.30	2.70	3.40	4.30	3.80	4.30
9	3.48	2.52	3.41	3.70	2.90	3.80	4.20	3.80	4.20
10	3.48	2.52	3.41	3.90	3.10	4.00	4.10	3.70	4.10
平均	3.12	2.29	3.25	4.04	3.22	4.27	4.00	3.60	4.00

3. 安東の製材

安東に於ける製材業の勃興は最近の事で歐洲戰亂中一般財界好況の餘波を受け長足の發展をなし大正八年下半期から大正九年上半期に至る間は其最高潮に達し同年年末には工場數三十を算するに至つた今試みに大正六年以降五箇年間に於ける其消長を示せば下の如くである。

年次	工場數	資本金	動力		製材高	製材販賣高
			種類	馬力		
		円			尺締	尺締
大正六年	15	627,500	—	—	938,279	258,850
同七年	19	869,000	—	930	1,089,980	328,648
同八年	23	8,262,000	蒸氣 電力	1,030 325	805,140	588,121
同九年	30	9,447,000	蒸氣 電力	1,590 1,150	1,420,088	378,260
同十年	28	8,429,000	蒸氣 電力	1,570 803	499,165	426,000

安東に於ける製材工場

工場名	設立年月	資本金	動力		製産高	
			種類	馬力	數量	價額
		円			尺締	円
鈴木製材所	大正 8. 7	40,000	蒸氣 電力	35.0 7.5	4,690	60,000
安東製材合名會社	〃 7.11	20,000	電力	25.0	28,400	500,000
安東製材所	〃 6.10	10,000	〃	13.0	6,000	30,000
共立製材所	〃 8. 6	15,000	〃	75.0	10,200	170,000
坂本製材所	〃 10. 3	2,000	〃	7.5	2,500	42,000
竹下製材所	〃 6. 5	5,000	〃	10.0	4,500	7,000
五通製材所	〃 7 1	5,000	蒸氣	45.0	5,000	85,600
鴨花商會	〃 9. 3	15,000	電力	20.0	9,380	10,000
紀和商行	〃 9. 3	500,000	〃	8.0	8,900	150,000
北澤製材所	〃 4. 4	5,000	〃	—	17,500	20,600
森迫製材所	〃 10.12	2,000	〃	10.0	31,350	39,235
鴨綠江木材株式會社	〃 9. 2	1,000,000	蒸氣	45.0	12,240	154,938
東亞木材興業株式會社	〃 8.10	500,000	〃	195.0	23,333	268,595

工場名	設立年月	資本金	動力		製產高	
			種類	馬力	數量	價額
遼東木材株式會社安東縣出張所	大正9. 6	1,000,000	蒸氣	100.0	14,450	170,000
滿鮮製函木材會社支店	〃 10. 6	500,000	〃	75.0	16,800	235,200
川崎製材所	〃 6. 1	20,000	〃	80.1	9,602	120,250
日滿木材株式會社	〃 9. 7	400,000	〃	120.0	5,200	302,400
安東縣挽材株式會社	〃 8.12	1,000,000	〃	100.0	32,400	424,000
鴨綠江製材無限公司	〃 4.10	1,000,000	蒸氣 電力	545.0 147.0	95.415	1,270,179
大六製材所	〃 6.11	100,000	蒸氣	35.0	15,000	216,085
南滿洲製材公司	〃 7. 5	200,000	蒸氣 電力	120.0 75.0	36,907	486,663
宮下木材株式會社安東縣出張所	〃 7.10	2,000,000	蒸氣	75.0	29,166	35,000
山田製材所	〃 8.11	10,000	電力	75.0	21,320	245,513
守永製材所	〃 8. 9	50,000	〃	75.0	6,666	75,000
豐松公司	〃 10. 2	5,000	〃	85.0	7,770	106,560
滿洲製材公司	〃 10.10	5,000	〃	85.0	600	8,400
蛙子商會	〃 10. 1	5,000	〃	75.0	12,748	152,985
丸幸製材所	〃 7. 5	15,000	〃	20.0	10,000	12,000
合計		8,429,000	電力 蒸氣	803.0 15,700.0	499,165	5,460,303

(二) 豆滿江流域地方

琿春河及嘎雅河豆滿江の支流上流一帶の地から老爺嶺に至る廣大なる森林地帶は調査詳でないが鴨綠江流域と大差ないものとせられて居る。然し搬出に便なる所は大分伐採されて居るため實際樹木の鬱蒼たる地方は老爺嶺山脈であつて嘎雅河沿岸及其上流は更に有望なるものである。樹種は鴨綠江上流地方と大差なく伐採木材の市場は主として清津であつて出材量は年十五萬石と稱されて居る。朝鮮東海岸裏日本大阪方面に出荷して居る。

(三) 第二松花江上流地方

吉林省は中國全國中屈指の森林地帶であつて全省の大半は森林地であ

る。殊に吉林縣以南の松花江上流地域の森林は一部は長白山本脈に一部
な吉林材と稱し鴨綠江材と共に滿洲木材の雙璧である。

此中(一)松花江左岸流域所謂湯河、花園、濛江、那兒蟲の森林(二)頭
に至る一帶の森林を有望なるものとする就中(一)の松花江上流左岸流域

樹種は鴨綠江森林に存するものと大差なく其主なるものは紅松、魚鱗
木、胡桃、楸黃蘗、楊木、樺木、色木、槐木等の濶葉樹で紅松の大木の
湯河、花園、濛江、那兒蟲及其他の五箇所に分ち其面積及材積の概算表

地域別	散生地			擇伐	
	面積	平均一町步材積	總材積	面積	平均一町步材積
	町	尺締	尺締	町	尺締
湯河	3,800	50	190,000	29,900	300
花園	12,000	35	420,000	22,900	250
濛江	8,700	40	348,000	13,600	350
那兒蟲	29,400	40	1,176,000	35,900	350
其他	31,600	35	1,106,000	17,400	350
計	**85,500**	—	**3,240,000**	**119,700**	—

上の數字は概算に過ぎぬが然し之を以て一般の狀況を推察する事が出
杉松、魚鱗松、黃花松等の主要な針葉樹の總材積は約 69,650,000尺締と

本年の木材流下狀況は解氷後間もなく拉法河の支流筋に不時の出水あ
量極めて順調なりし爲め著筏數多數に上り西關の江上は筏材に充たされ

材木種類	紅松	杉松
	本	本
過梁	27,138	18,145
長條子	37,841	19,485
大尺子	994	4,543

(四) 東支鐵道

東支鐵道東部沿線は從前大森林に富み所謂北滿材を出し有名なものが
しめた然れども處に依つて鐵道沿線から多少奧に入ると今尙斧鉞を入れ
れる。

阿城縣、賓縣、同賓縣 沿線中此三縣は殆ど伐採されて鐵道

は吉林哈達に連つて鬱叢たる大森林をなして居る。此地方から産する木材

道江最上流白頭北側一帶の森林(三)二道江上流より漂河上流新開嶺附近の森林は其面積頗る廣大蓄積の豐富亦流域中第一に位する。

松、杉松、黄花松、扁松、赤柏松等の針葉樹と水曲柳、柞木、楡木、欅多き事胡桃楸、槐木等の數量多きは鴨綠江流域に比し異る所てある。今を示せは下の如くである。

跡地	原生林			總計	
總材積	面積	平均一町歩材積	總材積	面積	材積
尺締	町	尺締	尺締	町	尺締
8,970,000	26,100	500	13,050,000	59,800	22,210,000
5,725,000	27,200	500	13,600,000	62,100	19,745,000
4,760,000	61,000	600	36,600,000	83,300	41,708,000
12,565,000	39,200	700	28,440,000	104,500	42,181,000
64,090,000	—	—	—	49,000	7,196,000
38,110,000	**153,500**	—	**91,690,000**	**358,700**	**133,040,000**

來る即總面積358,700町歩に對し總材積133,040,000尺締ありて此内紅松、言はる。

り其後匪徒の騷擾により多少流筏上に影響を及ぼしたか昨年度に比し水頗る盛況を極めた今本年の吉林材流下數量を示せは次の如くである。

材木種類	紅松	杉松
	本	本
二呼頭	24,620	13,449
大力子	26,318	62,352

東部沿線地方

あつたか鐵道布數せらるゝと共に年々多大の伐採を見大分林相を低下せざるものがある本書は鐵道を縱斷して居る牡丹江流域地方も此項中に入

線路から遠く離れなければ多くの樹木を見ることが出來ない狀況である

が同賓縣は流石に曾つて同沿線諸縣中森林地方として首位を占めただけあつて羣展窩集嶺と東亮子河間に於ける如き主に朝鮮松、水曲柳、椵からなる大密林がある。

寧安縣 本縣には南方に鏡泊湖があつて之から牡丹江が北方に向つて流れ所謂牡丹江流域地方の森林は本縣内に含まれてある。鐵道沿線と牡丹江の沿岸は殆ど伐採し盡されて交通不便なる山地帶にのみ今尚豊富な良森林がある多くは牡丹江の水流を利用し東支線海林若しくはムーダンチヤン驛から出されるが若しくは牡丹江を下つて松花江に出される今本縣を中心とし縣外南北に亘つての森林地區面積材積樹種を綜合せば下の如くである。

森林地區	面積	材積		樹種	
		針葉樹	濶葉樹	針葉樹	濶葉樹
鏡泊湖以南大黑背山脈	162,146 町	57,271,925 石	48,265,025 石	杉松最多紅松、臭松之に次ぐ	梔樹、榆、最多水曲柳、楊、椴、柞、樺、柳、槐、黄椴、欏之に次ぐ
馬連河流域				杉松最多紅松之に次ぐ	榆、梔樹、椵最多水曲柳白楊、樺之に次ぐ
鏡泊湖以北牡丹江右岸	594,117	113,915,700	172,437,650	紅松、杉松、臭松最多	樺、椵、柞最多榆、楊之に次ぐ
同上牡丹江左岸(鐵道以南)				臭松、魚鱗松最多紅松之た次ぐ	樺、椵、櫨樹柞、楊、水曲柳、最多黄椴、欏之に次ぐ
同上牡丹江左岸(鐵道以北)				臭松、魚鱗松最多紅松之に次ぐ	榆、樺、楊、梔最多水曲柳、黄椴、欏胡桃楸、刺楸、槐、之に次ぐ
合計	756,263	171,187,625	220,702,675		

穆稜縣、東寧縣 兩縣とも東支線敷設後沿線一帶悉く伐採せられて附近森林らしい森林を見ないが兩縣の南方には老爺嶺の來るあつて斧鉞の入らざる森林がある又北方密山縣との境界附近にも密林があるが何れも交通不便で伐採しても搬出容易でない。

東支沿線に於ける租借森林

東支鐵道の布設以來其東部線に於て中國との間に露國人の森林伐採權を獲得せるもの頗る多く其範圍又廣大であつて全面積東支鐵道租借地の約三分一に當ると稱されてある。其中東支鐵道會社は中國官憲との間で下記三箇所に於て各種木材の伐採製材する契約を締結して居る。

石頭河子附近 ⎫
高 林 子 附近 ⎭ 二區共從來フランクの借區

一 面 坡 附近　縱橫二十五支里六百二十五平方支里を超ゆるを得す

而して東支鐵道會社以外の一般伐採者は東支鐵道の保證を得て中國木材總局と契約を締結するのであるが從來結ばれた契約條件の要點は大概下記の如くである。

1 租借地區內の運材機關及家屋、倉庫は一箇年一晌に付き十留を總局に納める事

2 租借者は年々規程の納稅をなす事

3 伐採權喪失の場合

イ 規定の納稅義務を果さざる時

ロ 二箇年に亘り伐木製材をなさざる時

目下東支東部沿線に於ける租借森林地區は頗る多數で其內伐採を終つたものがありまだ作業を休止中のものもあるが今之等の概要を擧げれば下の如くである。

イ 烏吉密材場 露人スキデルスキー借區)烏吉密からヤクニ附近にかけ面積約二千平方露里の廣大な地區であるが目下殆ど伐採を終つて僅に中國人勞働者が薪炭を製するのみである。

ロ 高力山林場(獨逸人ロフレスク借區)ヤクニの北大高力山附近面積約六百平方露里のものであつて林相も良好の方であるが搬出に不便のため振はない。

ハ 大高力山林楊(露人ポンダレンコ借區)一面坡の北方面積約百四十平方露里のもので未だ租借主直接伐採に從事してない單に中國人に山稅を課し薪材を出す位のものである。

ニ 一面坡楊林場(露人スキデルスキー借區)一面坡の東南大沙河から大青山に亘る面積約二百三十平方露里のもので引込線二十露里餘を有し略々伐採し盡されて居る。

ホ　葦沙河林場(露人スキデルスキー借區)葦沙河ヤブロニヤ附近沿線の南北面積約千二百平方露里に及ぶ大なるものであつて目下鐵道線路の北方に一部森林を殘すまでに伐採されて居る葦沙河から東南方に約四十七露里の引込線を有して二十五露里附近には蒸氣動力の沿線中最大の製材所を有する。

ヘ　ヤブロニヤ林場(露亞銀行借區)ヤブロニア待避驛の南北にある面積約三百四十平方露里のものであつて今では搬出に便なる所に立木を殘す位なものである約十二露里の引込線を存しヤブロニヤ待避驛附近に蒸氣動力の製材所がある。

ト　東西亮子河林場(露人コワクスキー借區)東亮子河を中心とする鐵道線路北方地帶面積約二千八百方露里の廣大なる地區である河邊及び平坦地帶は既に伐採し盡したが山地帶に於ては未だ斧鉞を入れざる森林を有する本地區運材は東亮子河及螞蜒河の水流を利用し松花江に通ずる又ヤブロニヤ待避驛から約四十四露里の引込線を有して大に便である製材所も引込線三十二露里附近と螞蜒河松花江の合流點附邊の南天門埠頭とに各蒸動力を有する製材所がある。

チ　石頭河子林場(露人フリード借區)　螞蜒河の上流鐵道線路の北方にある面積約三百二十平方露里のもので石頭河子驛より約三十露里の引込線があつて十五露里の附近に蒸氣動力の製材所があるが地區内殆ど伐採されて一部に多少の森林を殘すのみである。

リ　元寶頂子林場(楊光甒借區スキデルスキー經營)　葦沙河林場の北に接する面積約三百平方露里のものであつて最近手を付けられたものであるから搬出の便法を講ぜられたなら將來があるであらう。

ヌ　薩拉河子待避驛附近林場(露人スクンキン借區)　薩道河子待避驛から都道夷字待避驛に至る間の線路の兩側面積約四百平方支里のもので三分の二露里の引込線と製材所があるが目下は地區内殆ど伐採されて横道河上流に多少の森林があるのみである。

ル　都道夷字待避驛附近林場(露人キリヤンスキー借區)　都道夷字待避譯から線路を離れ南方から更らに東方に至る面積約千六百平方支里のもので横道河子から引込線約八露里があつて更に約八露里間輕便鐵道とケーブルカーがある目下盛んに伐採中である。

ヲ　三道窩集附近林場(露人フリード借區)　三道窩集から約七露里の引込線があつて面積約二百平方支里のものであるが伐採終つて目下休止中である。

ワ　三道窩西方林場(露人シエフチエンコ借區)　三道窩集驛の南北にある面積約二百五十平方支里のもので約三露里の鐵道支線を有し目下伐採中である。

カ　海林河上流林場(露人ツウエトリン借區)　三道窩集林場の南方海林河の上流面積約三千二百平方支里のものである。

ヨ　山石驛附近林場(露人アゲーエフ借區)　驛北方にあつて未だ伐採に着手してない面積約四百平方支里。

タ　海林北溝林場(露人ジヨンス借區)九里崗分水嶺の南及北側面。

レ　耶道河右岸林場(中國人黄兆霖借區)　九里崗の北面に在つて上記ジヨンスとの間に紛爭を起し尙解決せぬ由てある面積約千二百方支里と稱へられる。

ソ　海浪河上流地方林場(寧古塔林業公司借區)　民國三年伐採權を得たが未だ採伐に從事しない地區は海浪河上流地方で數千萬平方支里と稱せられる。

ツ　磨刀石驛林場(露人ニコラエフ及エルカルソフ借區)　磨刀石東南七露里外にある面積約二百七十平方露里のもので驛から東南十六露里の引込線があつて製材所がある目下磨刀石林業會社に貸付てあるが區内殆ど伐採せられて大したことはない。

ネ　磨刀石林場(露人チヤーシン借區)　磨刀石驛を去る四露里外にある面積約二百二十平方露里のものであるが殆ど伐採し盡されて目下休止中である。

ナ　穆稜河林場(露人チエリカス借區)　此林場は大沙河小蘇河の合流點から小蘇河上流沿岸地方の八十平方露里と鐵道線路の南北長嶺子から太平嶺に亘る地區とであつて比較的大物多く薪材は沿線中最劣位である。

ラ　馬橋河驛林場(中國人伍連興借區)　八站北溝にある面積約九百平方露里で林相の良き事穆稜縣第一である。

ム　搵馬溝林場(露人スキデルスキー借區)　搵馬溝にあつて面積約六百平方露里のものであるが伐採終て今は休止して居る。

ウ　細鱗河林場(スキデルスキー借區)　細鱗河驛附近にあつて面積

約六百九十三平方露里である。二十九露里の引込線と更に約三露里の輕便線がある廣軌支線と輕便線の境に蒸氣製材所と事務所がある。

前述の外倘西部線に於ける主なる租借林區は下の如くである。

ヰ	大興安嶺西側シエフチエンコ林區	5300平方支里
ノ	チヨール河附近東支鐵道會社林區	450平方支里
オ	ホリゴール河附近のビツーシキン林區	300平方支里
ク	一定租借區を有せざるザユークヽメリホフグロワツキー林區	900平方支里

（五） 大興安嶺地方

此地方の森林は大興安嶺山脈中東支鐵道西部線の之れを横斷する附近最も林相良しとせられてある從來此地方の調査にして發表せられたるもの少なく其眞相を知るに困難であるが下の日露支三國合辦の札免採木公司は其優たるものである。

札免採木公司 此借區は露人シエフチエンコが呼倫貝爾政廳との間に契約して伐採權を得たもので大興安嶺山脈の分水嶺を境として西は免渡河驛附近に至り南北は鐵道線路から各約十五里位の間にある地區であつて面積約五千三百平方露里關東州の約二倍に近い東支沿線中最も廣大なるものである森林は概して原生林で租借區境に偏在して居る樹種は主としてダフリカラマツ、シベリヤカラマツ等の紅松類と白樺等であつて混淆の割合は約紅松六十五％白樺三十五％である。而して紅松は約六千四百萬石白樺は三千四百萬石の材積があると稱せられて居るから本公司の事業は頗る將來あるものであらう。

（六） 小興安嶺及伊勒呼里山地方

上記の他北部北滿地方には小興安嶺地方伊勒呼里山脈地方に未だ斧鉞を入れない森林るがあが調査未完で審でない。

（七） 關東州及滿鐵沿線の造植林

關東州内には森林と名稱を附すべきものなく僅少の立木のみであつた爲め官に於ても滿鐵に於ても大いに之れが涵養に勉めた先づ官憲に於て

げ風致林水源林等の繼續造計林計畫を立て著々之れが實行に着手し旅順、大連、金州等に苗圃を設け前記造林に要する苗木の養成をなした一方又民間に對する奬勵として造林のため官有地を無償にて貸下げ或は苗木の無償配布をなし地方會村の公有苗圃には補助金を下附する等大に勉める所があると同時に他方又林野取締規則を設け林野の保護をなした爲め昨今州內各所に林野を見る樣になつた。滿鐵に於ても沿線造植林の思想を鼓吹し之れが宣傳に勉め苗木の無代配布等盡力を怠らない。

(八) 滿洲各地木材需給の概況

從來南滿洲に於ける木材界は米國の獨占であつたが日露戰後我北海道材が入込んで一時南滿輸入材の七割に及んだが明治四十三年以來吉林材の活躍は遂に歐洲戰亂の勃發を好機として之を壓迫せるのみならず反つて內地に輸出せらるるに至つた然るに戰後又輸入量逐年增加の傾きである。今各地の概況を見るに下の如くである。

大　連　大連は輸入地と消費地を兼ねた所であつて今逐年の輸入を見るに下の如くである。(單位米噸)

年次	日本	朝鮮	中國	米國	計
大正二年	46,243	—	1,854	1,079	**49,222**
大正三年	52,768	—	2,513	—	**55,456**
大正四年	27,368	39	2,280	13	**29,705**
大正五年	21,933	279	1,574	—	**23,786**
大正六年	22,375	1,106	1,846	1,880	**27,221**
大正七年	34,208	—	1,727	1,803	**37,738**
大正八年	67,510	68	2,590	12,202	**82,370**
大正九年	43,827	3,322	2,145	23,130	**72,424**

上表の如く戰後の輸入木材は戰時中に比し激增した。日本品の主なるものは北海道材で他は遠州、紀州、九州ものである朝鮮材は新義州から

の鴨綠江材であるが九年度は淸津からの豆滿江材もある、中國品は云ふまでもなく安東からの鴨綠江材である要するに最近の輸入率は日本材六割米三割其他一割である。

尙は鐵道に依つて輸送されるものは最近非常に增加したが最も多いのは吉林材で鴨綠江北滿材之れに次ぐ之等の大連驛著數量を擧ぐれば下の如くである。（單位米噸）

區分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
長春發	14,018	21,977	24,721	25,961	15,852
東支聯絡	3,290	1,284	108	238	1,895
吉長聯絡	—	—	8,359	5,655	16,264
安東發	7,517	20,201	17,041	25,613	12,600
合計	**26,694**	**45,997**	**57,743**	**63,691**	**52,997**

上記木材の中更に輸移出せらるるもの下の如くであるが重なる仕向地は日本及中國である中國は天津又は靑島が重であた。（單位米噸）

區分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
日本	1,053	4,027	5,625	2,361	9,967
朝鮮	77	9	16	17	65
中國	4,858	7,464	6,147	6,193	5,502
計	**5,998**	**11,500**	**11,788**	**8,576**	**15,534**

而して前記の諸材中更に大連驛から沿線各地に發送された量は大正五年六千八十二噸、六年七千四百二十三噸、七年七千百二十八噸、八年一萬二千二百三十四噸、九年六千二百六十三噸である。

安　東　鴨綠江材の集散中心地であつて又製材地である之れも最近の勃興であるがために朝鮮側の原木をも輸出する樣になり大に活氣付く居る今貿易狀況を示せば下のくある。

區分		大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
輸入	硬木	立方呎 5,611	立方呎 6,523	立方呎 13,571	立方呎 4,322	立方呎 8,664
	軟木	平方呎 5,232,291	平方呎 8,517,984	平方呎 12,297,560	平方呎 14,791,908	平方呎 19,468,473
	硬木板	182,419	287,899	235,999	1,104,583	—
輸出	硬木	本 19,077	本 28,809	本 53,318	本 67,416	本 151,191
	軟木	569,997	316,529	410,509	575,598	—
	軟木板	平方呎 5,696,386	平方呎 9,581,112	平方呎 10,391,533	平方呎 8,223,553	平方呎 16,121,587
	柱	本 61,666	本 70,083	本 62,997	本 32,728	本 34,459

上記取引の他陸路鐵道によつて輸送されるものは下の如くであるが滿鐵本線沿線行は概して鐵嶺以南で然も奉天以南は全發送數量の大部を占めて居る。(單位米噸)

區分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
大連行	7,634	20,542	19,014	27,853	12,980
營口行	4,872	6,815	6,637	8,200	7,924
奉天行	173	13,762	14,683	24,127	16,814
滿鐵本線沿線	20,984	36,014	61,947	99,152	53,182
朝鮮線	18,328	24,383	19,912	12,739	1,166
滿鐵社用品	36,014	42,437	53,722	59,462	45,018

奉天 奉天は滿鐵沿線に於ける木材の主要な消費地であつて地理上からしても各種木材の競爭地であるが目下鴨綠江材最も勢力を有し吉林材北滿材之れに次き輸入材は僅少である。今奉天驛に到著せる木材の發送先並に數量を見るに下の如くである。(單位米噸)

區分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
大連發	230	542	237	1,220	674
長春發	3,672	9,638	9,863	18,773	9,766
吉長線發	—	—	867	2,512	3,233
東支線發	1,488	3,225	7,100	1,277	1,455
安東發	3,470	13,592	14,552	23,664	16,143
安奉線發	6,242	17,837	18,526	34,138	24,588

長　春 長春は吉林材及北滿材の集散市場である東支鐵道に依る北滿材の輸送も昨今は戰時中に比較すれば多量の增加である今東支線に依つて輸送されたる北滿材の數量を見るに(單位米噸)

區　分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
長春著	30,321	43,060	33,444	14,849	42,166
聯絡貨物	4,832	4,510	7,207	1,517	3,942

又吉長線に依る吉林材の數量を見るに下の如くである。

區　分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
吉林著	—	—	—	—	—
聯絡貨物	—	—	13,180	13,599	36,878

而して長春に於ける是等吉林材北滿材の主要なる仕向地は大連奉天であつて其他沿線之に次ぐ今之れが發送數量を見るに下の如くである。

區　分	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
大連行	17,232	23,231	33,188	31,812	33,941
奉天行	5,160	12,863	17,830	22,562	14,454
滿鐵社用品	17,483	21,331	42,229	36,540	56,132

營　口 營口は木材市場としては大した事なく單に其地附近の需要に應ずるに過ぎない今其地に集る木材を見るに七割まで鴨綠江材で其他は大部分吉林材北滿材で米國材北海材は極めて少ない。

東支線主要驛木材及薪發送表　（單位布度）

	年次／發驛	1917	1916	1915	1914	1913	1916年ト比較本年度の増減
木材	ヤーブロニヤ	1,238,324	1,243,859	457,006	690,057	437,844	− 5,535
	哈爾賓驛管內	401,443	150,463	33,881	17,183	29,812	+ 250,980
	薩拉河子	261,226	187,835	20	2,700	—	+ 73,391
	海林	216,930	568,807	31,818	142,384	123,930	− 351,877
	ホルゴー	193,311	87,726	43,889	35,391	35,680	+ 105,615
	細鱗河	192,960	177,279	138,230	142,992	2,700	+ 15,681
	馬橋河	189,550	182,632	23,240	12,755	12,000	+ 6,918
	横道河子	175,534	85,499	151,569	106,660	214,996	+ 90,035
	博克圖	147,217	146,656	139,677	30,452	8,956	+ 561
	牡丹江	128,613	179,227	14,546	3,454	52,153	− 50,614
	磨刀石	63,068	182,632	70,506	129,493	173,608	− 119,564
	未爾河	41,310	191,094	227,259	328,821	538,409	− 149,784
	其他十萬布度以下ノ諸驛	672,800	426,623	270,901	326,891	881,367	+ 246,177
	合計	**3,922,316**	**3,810,332**	**1,602,542**	**1,974,233**	**2,511,455**	**+ 111,984**
薪	ホルゴー	426,753	47,870	97,515	21,380	40,240	+ 378,883
	一面坡	393,268	481,511	1,062,140	406,399	505,723	− 88,243
	巴里木	331,050	193,350	316,494	201,390	35,990	+ 137,700
	雅爾	184,309	71,475	60,560	27,550	9,760	+ 112,834
	帽兒山	123,601	97,800	27,372	60,092	179,090	+ 25,801
	横道河子	119,651	—	4,360	—	1,433	+ 119,651
	烏吉密	110,550	78,390	128,460	150,095	162,440	+ 32,160
	札蘭屯	104,800	9,900	23,020	3,030	2,440	+ 94,900
	興安	104,330	20,690	37,055	700	—	+ 83,640
	烏吉密河	44,400	106,650	147,591	227,035	316,045	− 62,250
	其他十萬布度以下ノ諸驛	739,591	325,444	531,391	271,025	473,187	+ 414,147
	合計	**2,682,303**	**1,433,080**	**2,435,958**	**1,368,696**	**1,732,348**	**+1,249,223**
總計		**6,604,619**	**5,243,412**	**4,038,500**	**3,342,929**	**4,243,803**	**+1,361,207**

東支線主要驛木材及薪到着表 （單位布度）

	著驛＼年次	1917	1916	1915	1916	1915	1916年度と比較増減
木材	哈爾賓驛管内	439,940	332,145	363,935	593,409	430,202	+ 107,795
	寛城子	282,922	269,141	98,046	30,053	34,363	+ 13,781
	安達	184,223	295,373	140,598	5,163	16,763	− 111,150
	ポグラニチナヤ	126,692	68,619	90,638	72,874	11,011	+ 58,073
	其他十萬布度以下の諸驛	259,413	346,060	423,998	389,885	390,419	− 86,647
	合計	**1,293,190**	**1,311,338**	**1,117,215**	**1,091,389**	**882,758**	− **18,148**
薪	哈爾賓驛管内	1,334,059	769,503	1,590,665	914,726	1,404,413	+ 564,556
	富拉爾的	310,539	148,875	232,889	227,010	50,731	+ 161,664
	滿洲里	222,270	12,550	359,302	566,930	714,533	+ 209,720
	齊々哈爾	206,800	94,320	254,680	53,900	21,350	+ 112,480
	海拉爾	143,259	83,140	106,441	68,910	94,830	+ 60,119
	安達	140,933	107,601	76,364	15,255	—	+ 33,332
	其他十萬布度以下ノ諸驛	312,440	197,191	114,893	59,113	134,445	+ 115,249
	合計	**2,670,300**	**1,413,180**	**2,735,234**	**1,905,844**	**2,420,302**	**+1,257,120**
總計		**3,963,490**	**2,724,518**	**3,852,449**	**2,997,233**	**3,303,060**	**+1,238,972**

第十七　水產業

(一)　沿海漁業

1　概　　況

滿洲の海岸線は甚だ短いが黄海及渤海の水は各種の魚族に富むので沿岸の漁業は漁法の頗る幼稚なのに似ず至つて盛大なのである。

沿海の漁業は地勢及交通等の關係上概ね三區に大別せられるが其一は安東から莊河を經て貔子窩附近に至る沿岸及公海で其二は關東州から熊岳城附近に至る沿岸と公海、其三は殘餘の遼東灣に接する一帶である併し其内最も有望なものは其二の關東州地方である。而して漁船の根據地としては大連老虎灘、旅順、營城子の四箇所が主なものでもある。上述の如く關東州は沿海中最盛の漁區であるのと他の地方には據るべき統計が無いから本項には主として關東州に就き述べることにする。

2　日本人漁業

邦人漁業者が始めて關東州に來たのは明治二十七、八年日清戰役當時であつたが休戰後中絕してゐた明治三十七年日露戰役が起つて半島の大半を我軍が占領したので出征軍隊に鮮魚供給の目的を以て再び渡來し始めた。當時漁業者は漁業組(資本主)に從屬して出漁し、春季渡來して秋季には歸國するを常としてゐたが爾來官廳の保護と關東州水產組合で移住奬勵をした結果老虎灘漁村其他に漸次移住者の增加を見るに至つた。

漁業の種類は最初は鯛延繩漁業を主として其他は鱶延繩、桝網等二三種に過ぎなかつたが、其後鯛一本釣、鰐延繩、鰆流網、鯖流網、打瀨網鯖巾着網、裸潜水、捕鯨、發動手繰網等の勃興を見るに至つた。今重要漁業に就いて概況を記せば下の通りである。

鯛延繩漁業　本業は邦人漁業の大宗で分布の廣いこと、漁期の長いこと、漁獲高の多いこと等他に其比を見ない、漁船には大型、小型の二種あつて一箇年の漁獲高は大型最高一萬二千圓最低五千圓、小型最高五千圓、最低二千圓の水揚をして居る。盛漁期は五、六、十、十一の四箇月である。

鱈延繩漁業　關東州に於ける唯一の冬期漁業であつて移住漁業

者の生活狀態に關係を及ぼすことが多いので關東廳及水產組合の奬勵に依つて漸次出漁者を增した。其從業期が嚴寒の候なので操業は容易でないが能く三寒四溫を利用して出漁すれば內地日本海方面の出漁と大差はない。漁期は十二月下旬から四月上旬迄である鰆は中國人の最も嗜好する魚類であつて其需要多い時季は華曆十二月下旬迄である。漁獲高は氣候に支配されるので一定しないが多きは千七、八百圓、少くとも七百圓を下らない。

鱶延繩漁業 漁場の變遷に依つて根據地を威海衞及山東角方面に移してから排日關係の結果殆んど中止の狀況である。

一本釣漁業 鯛一本釣の盛漁期は七、八、九の三箇月間に過ぎないが活巢によつて運搬するので價格が比較的に高く數量の割合に多額を收得する漁獲高は普通四、五千圓內外である。

鰆流網漁業 漁期は春秋の二季で春は熊岳城沖を主として秋は大連灣附近であるが夏は鯖流網に轉漁する。漁獲高は千五百圓乃至三千圓位である。

打瀨網漁業 底棲魚卽ちカナガシラ、カレイ、ヒラメ、グチ等は渤黃海至る所に棲息し殊に安東縣沖大連灣附近及芝罘沖合は最好の漁場と稱せられて居る。漁獲高は二千五百圓以上五千圓位である。

桝網漁業 明治三十八年村上組の試設したものが意外の好成績を得たので逐年隆盛に赴き今では殆んど中國人の獨占となり沿岸各所に普及して其漁場數六百を算するに至つた。漁獲物はボラ、カレイ、ヒラメ、スズキ、甲イカ、エビ、タイ等で漁獲高は網代の良否に因り一定しないが一網二百圓以上四五百圓位のものである。

鯖流網漁業 本業は從來中國人の獨占で邦人の之を省みるもの殆んど無かつたが近年水產試驗所で奬勵した結果漸く專業者が增加し其他鰆流網業者が漁閑に本業に從事するものが多くなつた。

裸潛水業 海士漁業であつて尙增加の餘地があるが地先漁業であるから日支漁業者の衝突を慮り當分現在以上許可せられない模樣である漁獲物は鮑を主とし一隻の水揚高は三千圓內外である。

鯖巾着網漁業 水產試驗場で明治四十四年から三箇年間繼續試驗の結果有望と認められ水產會社及澤田組で着手したが未だ海況に馴れ

ない爲め十分の成績を擧げ得ない然し一般に魚群濃厚なので有望視されて居る。

發動手繰網漁業　大正九年の創始であつて未だ其成績不明であるが渤黄兩海に底棲魚の豐富なのから見れば相當の漁獲あるべきは疑ひない所である。漁期、漁場は現在打瀬網と殆んど同一であるが本漁業の如きはなるべく遠海に出漁して漁場の開拓を圖るべきである。

捕鯨業　大正五年五月東洋捕鯨會社が海洋島へ作業場を設立して捕鯨船二隻を廻航させて着手したのに始まり續いて今日に及んで居る作業期は十一月から翌月六月下旬迄であつて漁場は海洋島の附近三、四十哩の海上である。今同場開設以來捕鯨數を各年別に示せば

年別	船數	頭數
大正五年	2	35
〃　六年	2	182
〃　七年	2	155
〃　八年	2	83
〃　九年	2	30

種類は大部分長鬚鯨であつて大さは六、七十尺が普通である。

3　中國人漁業

關東州に於ける中國人漁業に關して史蹟の徴すべきものはないが山東省の登州と旅順との間の航路が遠く一千年の漢時代から開かれ山東の物資が遼東に輸入されて居たのに徴すれば漁業も既に其頃から端を開かれ遼東の水産物が山東方面に輸入されてゐた模樣である。遼東誌に載せた水族名三十八種が現今と大差ないのを見れば漁業は古來發達の域にあつた樣である。今日尚中國人の重要漁業たるグチの漁法及漁具を見ると發達の狀が邦人のものと異り殊に帆走漁法に就て邦人も稱讃する技倆を有するのは其一朝一夕に發達したものでないことが解るさうして該魚の好漁場が渤黄二海の中にあることを考へると本漁業は專ら本兩海の中に發達したものと思はれる更に又彼等は從來の方法に依る外邦人漁法の長を採り日本型漁船を新造する者が出來たことは注目すべきである

中國人の主なる漁業を簡單に表示すれば下の通りである。

種別	漁獲物名	漁獲高
風網（一種の旋網）	主にグチ	一隻　七、八百圓—三、四千圓
掛網（底刺網）	〃	一隻一漁場に付　三、四百圓
流網（綿絲網）	サバ	一隻　三、四百圓內外
流網（麻網）	サワラ	〃　三、四百圓—七、八百圓
拉網（地曳網）	主にサワラ、タヒ、ヒラメ、スズキ、ボラ等	
參網（一種の桁網）	ナマコ、イタラ貝、カキ等	
鮟網（一種の底刺網）	ボラ、カレイ等	
撓子網（本邦の簗と大同小異）	ボラ、スズキ、ヒラメ、カレイ、コチ、エビ、イカ、ニベ	
鱈延繩		
大刀魚延繩		
潜水器	主にアワビ、ナマコ	
海獸	海豹の一種	最多年　七、八百圓

漁期及漁場　日本側漁期及主なる漁場を表示すれば下の通りである。

種別	漁期	漁場
鯛延繩	四月下旬—六月上旬	山東省龍口沖合
	五月中旬—十一月上旬	大連灣附近
	七月中旬—八月下旬	營城子附近、熊岳城沖合
	七月中旬—十二月上旬	廟島列島、秦皇島沖合、太沽沖渤海一圓
鱈延繩	十二月下旬—四月上旬	圓島、獐子島、廣鹿島、海洋島沖合
鱵延繩	六月—九月	獐子島山東角間の沖合、大連旅順沿海
一本釣	六月中旬—十月中旬	長山列島、廟島列島附近の礁
	五月上旬—六月上旬	熊岳城沖合
鯖流網	八月中旬—十一月下旬	大連灣及旅順近海
打瀨網	四月中旬—五月上旬	山東高角芝罘間の沖合
	五月中旬—六月下旬	安東縣沖合
	七月上旬—九月下旬	三山島廣鹿島間
	十月上旬—十二月中旬	廟島列島、威海衛の沖合

鯖流網	四月下旬—六月上旬	廟島列島東方漁場
	六月上旬—六月下旬	大孤山冲漁場
	六月下旬—八月上旬	南三山島西方漁場
	八月上旬—十月下旬	小平島冲合
裸潜水	五月中旬—十月下旬	長山列島沿海一帶
鯖巾着網	五月下旬—七月下旬	海洋島近海、大鹿島西南漁場

中國側の漁期及主なる漁場は下の如くである。

漁期	漁場
四月中旬—六月下旬	崆峒島利津、熊岳城
四月上旬—五月下旬	同
五月上旬—六月下旬	海洋島北東海及威海衛廟島列島冲
四月下旬—六月中旬	芝罘廟島列島間の冲合、熊岳城、金州灣
五月上旬—七月下旬	金州灣夏家河子海濱、小平島沿岸
一月下旬—四月下旬	大連灣、鳩灣、金州灣其他海底礫礁地
三月下旬—六年下旬	近海灣内一帶
四月上旬—十月下旬	貔子窩方面及沿岸の干潟地
一月—三月	山東省石島方面
五月—六月	海洋島圓島間の冲合
十一月—十二月	同上及三山島近海
七月—十月	地先沿海一帶なれども好漁場は羊頭窪營城子間の冲合、三山島より長山列島に至る間の沿海
解氷期	主として遼東海灣内の中心洋上

(二) 河川漁業

1 南滿洲

遼河本支流（鴨綠江本支流）大凌河等何れも魚類を産する。新民縣管内の蒲河も産魚を以て有名である。鴨綠江の漁區は安東縣の上流八里から下流龍巖浦の間である。産魚は鯉、鯰を最とし鰻、白魚等である以上の

外随所の諸流に産するが其數多くない。漁期は夏期を主とするが一種の捕獲法に依つて結氷期の前後に獲る數量も侮り難い要するに南滿の河川に産する魚類は捕獲法に依りては現在の數倍若くば數十倍の數量を得ることは困難でない樣である。

2 北 滿 洲

北滿の河川は夥しく各種の魚類を産し寧ろ南滿を凌駕することを數等の感がある。今各河流の産魚を表示すれば下の通りである。

流域別	漁獲物種類
松花江上流	鯉、草杆魚、鱗魚、細鱗魚、鯽魚、一遍花魚、鮮頭魚鯰魚、干條魚、鰲花魚、胖頭魚、鰱子魚等
同下流	鯉、黄魚、鮭、鱘鰉魚、鮮頭魚、鯰魚、眞珠、胖頭味魚、大白魚、細鱗魚、鰱子魚等
牡丹江	細鱗魚、鯰魚、鯽魚、懷子魚、鯉、鮭等
圖們江	鮭、鯉、鱒等
綏芬河	鮮頭魚、鯉、鱒、細鱗魚、鯰魚等
嫩江	鯉、鯽、鱸、細鱗魚、魴、鱒、黄魚、鮰魚、鱅魚、鰓魚、少呼鱸、鮎、鱖、鰍、白魚、草杆魚、邊花魚、鴨子魚、鰲花魚、鯁魚、胙頭魚、杆魚、鰲鎮魚、黄花魚、
呼倫貝爾地方諸流	鯉、鮎、狗牙魚、鰱子魚

（三） 製 鹽 業

1 關東州の鹽業

關東州製鹽業の起原は清朝康熙以降にあるものの如く一時著しい發達を遂げたが鹽政の宜しきを得なかつたのと戰爭の影響に依つて衰退し三十七八年戰役當時は貔子窩、普蘭店地方を除く外多くは荒廢に歸してゐたが平和克復後關東州が我施政下に置かれると共に邦人の企業勃興と相俟て從來の荒廢鹽田は改造せられ爾來日支人の新田開設は年と共に增加した。

現在の産鹽地を擧ぐれば下の通りである。

旅順管內	雙島灣、營城子灣、羊頭灣、旅順
大連管內	沙河口、老虎灘

金州管內	董家溝、干島子
貔子窩管內	碧流河、東老灘、夾心子、贊子河
普蘭店管內	普蘭店(小山西、三官廟、棗兒房、馬虎島、長店堡)
	五島　(交流島、路乾島、鳳鳴島)

製鹽は天日製法に依るものと煎熬法に依るものとの二種ある。煎熬法に依るものは更に原鹽再製と鹹水煎熬と二種に分たれる。此の外加工鹽として粉碎鹽、洗滌粉碎鹽の二種ある。

鹽業經營者は日本人側では從來東洋製鹽、滿韓鹽業、東亞鹽業、大日本鹽業等の株式會社があつたが何れも合併して今日では大日本鹽業株式會社の一つのみになつた。此外滿洲殖產會社名義のものが碧流河の一部に存するが其規模が至つて小である。大日本鹽業株式會社は雙島灣、營城子、普蘭店、五島、夾心子、東老灘及碧流河の七箇所に鹽田を有して其總面積 2,700町步に達し當州鹽田全面積の六割餘を占めて居る。中國人經營に係るものは個人經營あり、共同經營あり、一樣でない。

當州沿海は干潟地に富み鹽田開設適地が尠くない。卽ち其の所在地、見込面積及鹽田完成後の產鹽見込高を揭ぐれば下の通りである。

管轄	所在地	面積(推測) 町畝步	完成後の產鹽見込高 斤
大連	大連灣	130.00.00	4,802,300
旅順	雙島灣	50.00.00	4,549,650
	羊頭窪	20.00.00	1,585,920
	營城子	50.00.00	3,379,950
	旅順	20.00.00	1,585,920
金州	董家溝	100.00.00	2,406,000
普蘭店	普蘭店	2,000.00.00	79,266,000
	五島	2,000.00.00	146,454,000
貔子窩	青雲河口	30.00.00	1,106,000
	清水河口	20.00.00	737,400
	大沙河口	280.00.00	2,949,600
	贊子河 碧流河 間	2,800.00.00	112,137,200
計		**7,300.00.00**	**360,959,940**

天日製鹽は天候の良否に依り生產額に年々著しき相違がある。

關東州鹽の販路は從來內地及朝鮮を主とし其の他は僅少なる州內外の

需要に應ずるに過ぎなかつたが近年露領沿海州、勘察加方面へ漁業用鹽さしての販路が開けたのさ內地に於ける曹達工業の勃興したさは共に輸出額を著しく增大せしめた。

本邦內地へ輸出するものは大藏省專賣局の輸入命令に依るので其數量は內地に於ける鹽の需給關係の如何に依つて決定せられ每年必ずしも一定でない。關東州の鹽政は同州鹽田規則同細則を以て規定して居るが鹽田を開設せんさする者は土地貸付を受け鹽田成功の後其の使用の許可を受けねばならぬ。鹽田を相續、讓渡する場合も亦許可を受くるを要する土地は無償で貸付し鹽田の使用料も亦之を徵收しない。只製鹽を鹽田から移出する場合に限つて移出稅さして一中國石(我約 600斤)に付金六十錢を徵收するのみである。而して租借地以外からの輸入鹽に對しては日本鹽以外は一中國石に付金一圓五十錢の鹽稅を課する制であるが輸入鹽は殆んご絕無で唯少量の 食卓用鹽の 日本內地から來る 位の こ さ で あ る。

關東州の製鹽は日露戰後間もなく邦人の企業せしもので爾來長足の發達を遂げ一時生產過剩の狀態に陷つたので斯業の保護上販路の開發を助長する必要を生じ殊に朝鮮市場の如きは低廉な山東省鹽に壓倒せられ販路開拓の不可能な狀態になつたので明治四十三年度から大日本鹽業株式會社の輸出鹽に對し都督府から特に獎勵金を下附するこさゝなり爾來生產輸出の狀況に鑑み大正四年度からは更に下附範圍を擴張し州內及內地を除くの外總ての輸出に對し百斤に付金八錢を下附するこさになつて居る。

2　奉天省沿海鹽業

鹽田は普通鹽灘さ稱せられる。奉天省の沿海各縣孰れも灘田の無い處はないが其內で營口、蓋平及復縣附近を以て最さする。此等の產鹽は皆晒鹽(天日鹽)である。奉天省沿海の海水は鹽分に富み地質は天日鹽田たるに適し殊に蒙古方面から吹到する大氣は甚しく乾燥して斯業の發達に最有力な天惠を爲して居る。各沿岸は尙開發の餘地が充分ある。

奉天省に於ける鹽場は遼河以東に在るものが營蓋、復縣及莊安の三場以西に在るものが錦縣、寧遠、廣寧及盤山の四場である。最近數年間に於ける生產高は下の通りである、(單位擔)

鹽場名	民國三年	同 四年	同 五年	同 六年
營蓋	2,798,016	698,234	1,572,973	1,789,325
復縣	1,723,731	720,222	975,315	425,640
莊安	366,354	112,566	131,311	191,706
錦縣	435,196	94,260	210,310	224,629
寧遠	152,649	103,825	176,745	264,705
廣寧	145,533	24 921	89,249	62,496
盤山	395,953	56,467	178,068	199,799
合計	**6,017,432**	**1,810,495**	**3,333,971**	**3,158,300**

備考 民國七年中の生産高不明なるも約三億斤と見做して大差なきが如し。

鹽田の面積は信憑すべき資料がないので正確に知り難いが産鹽額より推算すれば少くとも我七千町歩を下らない樣である。

滿洲に於ける製鹽の販賣、輸送は法令を以て規定し一定の區域を踰へて販賣し又は隨意に他境に輸送することを許さない。東三省産鹽の販賣區域は奉天、吉林、黑龍江三省の外熱河地方であつて其の中東三省鹽運使管轄の販賣區域は奉天省内及蒙古、熱河地方に限られ、吉黑榷運局の販賣區域は吉林、黑龍江の二省内に限られて居る。奉天省に於ける鹽の販賣は商運、商銷制度であるが吉、黑兩省は官運、官銷制度を採つて居る。卽ち奉天省では鹽棧(鹽問屋)鹽店(鹽小賣店)の二者があり鹽棧は直接鹽場から購入し鹽店に分賣し、鹽店は之を需要者に小賣するもので孰れも免許を受け且牌税を納めることを要する。吉、黑兩省は奉天省と異り吉、黑榷運局(在長春)所屬の營口採運局で營蓋、復縣地方の産鹽を買取して陸路南滿鐵道に由り又は海路浦鹽に回送し一旦榷運局倉庫に收め更に之を各地分銷處及分局に分送して官鹽店と稱する官の指定した鹽商に拂下げ公定價格で需要者に販賣せしめるのである。

3 東蒙鹽湖の概況

鹽湖の内最も大きいものは西烏珠穆沁旗と東浩濟特旗との交界線上のダブスノール(鹽湖の意)であるが同湖は周圍約五里東西一里半南北約一里で中央から西半は水を湛へ東半は小砂が表面に顯れ其間大小幾多の小

孔があつて孔の周圍に五寸乃至一尺餘の層を爲し其上部は露出して直に日光に觸るゝのであるから遠望すると白皚々として美觀を呈して居る。本湖の採鹽は烏珠穆沁、浩濟特二部四旗の者に限り許可し其他のものは滿漢人と雖も一切採鹽を許さぬ。採鹽者は普通一組數人で百輛內外の牛車を率ひ數日湖邊に野宿して日々採鹽し全車輛の積載量に滿つるのを待つて目的地に搬出するのである。採用の方法は圓匙樣の物を以て無雜作に小乳の邊りの鹽層を掬ひ取り輓入れた牛車上の大きな容器（一石內外の容積）に入れる。鹽湖は冬季氷結することがないから四季共に採鹽出來るが通常冬季は日光弱く春季は降雨多く共に結晶するので採鹽の好適期は夏季である。鹽の結晶は水平層をして存在し上層は之を上製と呼び純白不透明結晶の大粒で降雨期でも液化することが少なく又下層に鹽水の溜まることがない。主とし王府の使用に供する。下層は下製と稱し稍灰色を呈し一般人民の使用物である。湖鹽は天然に產するものであるから外觀は美でないが鹽分は頗る强い。產額は無盡藏とも言ふべく採鹽の盛んな時期には日々牛車五、六百輛(一輛30乃至50貫積)の產出があるが採取に隨つて新に凝結し際限がないから產鹽額は全く採鹽者の多寡に比例する實狀である。一箇年の平均採取量は約1,500,000貫を下らぬと計算されて居る。本鹽の供給區域は東は洮南方面北は海拉爾南は赤峰、熱河、張家口方面西は庫倫附近に及んで居る。

其他の鹽湖としては蘇尼特旗の西南約十八里の地に周圍一里に亙る鹽湖があるが其規模產額は前述のものと共に語るべき程のものでなく、僅に附近住民の要を充すに過ぎない。

（四） 水產製造業

關東州に於ける本業は主として中國人間に限られ邦人の從事者は微々たるもので蒲鉾其他二、三種に過ぎない。然るに中國人に至つては彼等の主要漁業たるタラ、タチウオ、グチ等の如きは殆んど鹽藏に供せられ生賣は極めて少ない。其製法は甚だ幼稚で食鹽の如きは原鹽を用ふる狀態である。以上の通り邦人製造業に就ては別に記す價値がないので中國人の製造品を簡單に表示すれば下の通りである。

種別	製造期	產出地	販路
鹽乾鰐	五(六月	長山列島及海洋島方面	南中國、中部中國出買船
貝柱	二月—五月 八月—九月	長山列島	州內及營口、芝罘、長春、吉林、黑龍江地方
乾蝦	二月—四月 八月—九月	貔子窩方面	州內、營口、奉天、吉林等
乾淺蜊	二月—五月 七月—九月	長山列島	州內及吉林等
鹽刀魚	七月—九月	主に旅順管內	大部分は鹽乾鰐と同じ
カラスミ		金州管內五島	主として營口商人
魚肚			同
水母漬			芝罘、營口其他滿洲各地
鹽黃花魚			滿洲全部、芝罘、上海等
乾カスベ			鰐に同じ

本表の外鹽鯖、鹽乾鯧、鹽金頭魚、乾鰈、鹽乾小鱵あり。

(五) 水產試驗調查機關及水產團體

1 關東廳水產試驗場

本場の創立は明治四十年七月關東都督府訓令を以て水產試驗場規程を發布されたのに始まり同年八月一日から旅順に於ける都督府內で事務を取扱ひ、四十一年四月大連市外老虎灘に新廳舍を設けて移轉し今日に及んでゐる。設置以來施行せられた試驗の種類を擧ぐれば下の通りである。漁撈試驗の種類、鰆流網、鰆流網、鮃鰈底刺網、甲烏賊刺網、鱶延繩、打瀨網、蝦漕網、鰛介突、鯛延繩、冬期及夏期鰐延繩、黃花魚及鯖巾著網、鰡網、鮟鱇網、ビームトロール、母船式延繩、發動機手繰網。製造試驗の種類、罐詰製造品類、乾製品類、加工品類、淹藏品類、鹽藏品類、調味品類。

2 關東州水產組合

本組合は明治三十八年の創立で本部を大連に、支部を旅順及貔子窩に置き關東州水產業の改良發達及水產動植物の蕃殖保護其他、組合員共同

の利益を圖るを以て目的とする。組合の業務は組合員の保護監督、出稼及移住漁業の奨勵、水産業に關する諸般の代辨、組合員及其家族に對する病傷者の施療漁業者の遭難又は病傷に依る歸國困難者の救護、遭難又は病死者の遺族救護遭難に依りて破壞又は亡失せる代船費の補助、漁船漁具の保管、餌料供給、漁村の經營、漁場及販路調査、天氣豫報、紛議の仲裁、風儀の矯正、衞生の注意、水産業に關する通信報告、水産業に關する功勞者及善行者表彰、水産統計、州外漁業の保護監督等である。

本組合員は關東州水産組合規則に依り州内に於ける生産關係業者を網羅する。大正九年末に於ける組合員數は邦人2,275人、中國人5,757人、合計8,032人である。

3 漁業組

漁業組は明治三十七、八年戰役の際出征軍隊に鮮魚供給の目的を以て漁業者が一資本主の下に一團體を作り渡航したのに始まる。當時團員たる漁業者は渡航費其他漁具の仕入れ等の爲め一隻に付百圓乃至貳百圓の資金を借入れ資本主に對しては自已の漁獲高から若干の手數料を與へる外別に前借金を返却することを約し漁獲高は全部資本主に一任し、從て渡航後に要する日用品物資は資本主から供給を受け、終漁に至れば資本主は契約に基き前借金、手數料及渡航後貸付けた日用品物資代其他臨時の貸金を引去り殘額を漁業者に交付してゐたのである、其手數料は明治三十八九年頃には漁獲物賣上高の二割五分を普通としてゐたが四十年頃には魚市場の設立があつて魚市場口錢一割五分を要することとなつたので之を漁業者の負擔とすれば多額に失するので協議の結果、漁業資本主側は自己の手數料中から魚市場口錢を支拂ひ殘額の一割を收受することとなつた。其後に及んでは尙ほ若干手數料を低下し又は單に貸金の利子のみを徵する者が出て來る樣になつた。

漁業者は概れ無資本なので漁業組に屬し、又貸借關係の無い者も鮮魚の販賣、物品の購入等の便利の爲、組付となるものを生じた。然し漁業組の經營は至難なものと見ゐて當初は十數組あつたものが今では殘り僅かになつたけれども、其基礎は以前に比し却つて堅實なものとなつた。

4 滿洲水產株式會社

本會社は明治四十一年一月設立せられ同年二月に至り從來存在せる關東、旅順の兩市場を併合し資本金五十萬圓となし魚市場事業の外漁業資本及漁具の貸付、漁獲物の廻送、受託、鹽乾魚の製作、餌料及日需品の供給特殊漁業等を營業課目としたが失敗を重ねたる爲同年九月資本金を十八萬圓に減少して營業を繼續した、爾來營業は漸次順境に復し大正七年には魚市場取扱高のみにて百萬圓を超ね僅々二箇年前に比し倍加するの盛況を呈した、茲に於て業務の擴張を圖り大正八年二月資本金を百萬圓に增加し且つ業務を進展せしむる爲金三十萬圓を投じて一大糶市場(285坪)及び事務所並に魚價調節の必要上製氷場及び冷藏庫を新築したが之れに伴ひ魚類の扱高も累加して大正八年は百五十萬圓、同九年は百八十萬圓に上つた。本會社は一面新規漁業開拓の爲め大正八年春以來發動機船二隻を以て海洋島沖合に於て鯖巾著網漁業に從事せしめたが大正九年多少の損失を招きて以來同漁業を中止した事は滿洲漁業界のため惜む可き事である。今本會社の經營に係る大連及び旅順魚市場の大正十年度取引高を示せば次の如くである。

	大連		旅順	
	數量 貫	價額 円	數量 貫	價額 円
一月	50,714	128,157	1,054	2,645
二月	48,397	106,729	1,588	2,393
三月	48,305	102,072	1,494	4,084
四月	68,752	128,207	974	1,693
五月	183,377	169,161	7,205	6,416
六月	60,792	87,038	8,847	8,963
七月	72,677	80,812	2,869	6,705
八月	72,587	94,384	5,078	9,892
九月	85,367	114,371	4,267	10,627
十月	91,409	171,915	5,445	12,266
十一月	56,239	128,371	6,175	11,598
十二月	70,372	193,028	2,721	7,295
計	**908,988**	**1,504,245**	**47,717**	**84,577**

(六) 關東州

漁業戶

地方	戶數				
	專業		兼業		計
	日本人	中國人	日本人	中國人	日本人
旅順	13	880	3	1,209	**16**
大連	51	543	5	392	**56**
金州	—	874	—	477	—
普蘭店	—	149	—	301	—
貔子窩	2	1,308	—	324	**2**
總計	**66**	**3,754**	**8**	**2,703**	**74**
大正九年末	86	3,718	5	2,483	**91**
同 八年末	73	3,685	4	2,274	**77**
同 七年末	78	3,916	1	2,063	**79**
同 六年末	130	3,618	12	2,332	**142**
同 五年末	118	3,651	15	2,532	**133**

合計	專業	兼業	計
旅順	893	1,212	**2,105**
大連	594	397	**991**
金州	874	477	**1,351**
普蘭店	149	301	**450**
貔子窩	1,310	324	**1,634**
總計	**3,820**	**2,711**	**6,531**
大正九年末	3,804	2,488	**6,292**
同 八年末	3,758	2,278	**6,036**
同 七年末	3,994	2,064	**6,058**
同 六年末	3,748	2,344	**6,092**
同 五年末	3,769	2,547	**6,316**

本表の人員は直接業務に從事する者のみを揭げ家族は包含せず、表中せず。

水產統計

數及人員 （大正十年末）

	人員					
	專業		兼業		計	
中國人	日本人	中國人	日本人	中國人	日本人	中國人
2,089	21	1,431	5	1,756	**26**	**3,187**
935	85	905	5	693	**90**	**1,598**
1,351	—	1,518	—	953	—	**2,471**
450	—	264	—	516	—	**780**
1,632	2	3,249	—	722	**2**	**3,971**
6,457	**108**	**7,367**	**10**	**4,640**	**118**	**12,007**
6,201	130	8,367	4	4,751	**134**	**13,118**
5,959	146	7,987	4	3,723	**150**	**10,710**
5,976	141	7,250	1	3,739	**142**	**10,989**
5,950	136	4,481	3	6,330	**139**	**7,544**
6,183	136	4,477	4	5,468	**140**	**9,945**
	1,452		1,761		**3,213**	
	990		698		**1,688**	
	1,518		953		**2,471**	
	264		516		**780**	
	3,251		722		**3,973**	
	7,475		**4,650**		**12,125**	
	8,497		4,755		**13,252**	
	7,133		3,727		**10,850**	
	7,391		3,740		**11,131**	
	4,617		3,066		**7,683**	
	4,613		5,472		**10,085**	

の日本人は關東州内在住者のみにして漁期に渡來する一時的の者を包含

漁　　船

地方		漁 動力ヲ有セサルモノ 戎克	舢板	日本型	西洋型
旅順	日本人	—	—	31	—
	中國人	214	803	31	—
大連	日本人	—	—	82	—
	中國人	46	464	—	—
金州	中國人	189	999	4	—
普蘭店	中國人	60	183	9	—
貔子窩	日本人	—	—	—	2
	中國人	390	858	2	—
總計	日本人	—	—	113	2
	中國人	899	3,307	46	—
	計	**899**	**3,307**	**159**	**2**
大正九年末		1,019	3,252	139	2
同八年末		963	2,127	174	2
同七年末		988	3,003	141	2
同六年末		963	2,712	158	—
同五年末		996	2,944	117	4

本表は關東州定住者の使用するもののみにして日本內地より漁期

地　方　別

地方		大正十年 數量	大正十年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額
		貫	円	貫	円
旅順	日本人	24,793	50,668	65,166	104,350
	中國人	367,127	162,164	448,712	190,259
大連	日本人	409,024	596,641	463,663	717,877
	中國人	165,121	154,678	162,843	141,924
金州	中國人	417,977	218,66	514,036	252,703
普蘭店	中國人	50,269	22,130	95,340	30,332
貔子窩	中國人	1,493,662	504,527	2,057,016	507,059
總計		433,817	647,309	528,829	822,227
		2,494,156	1,062,061	3,277,947	1,122,277
		2,927,973	**1,709,370**	**3,806,776**	**1,944,504**

及　　漁　　具　　（大正十年末）

船			漁具		
動力を有する發動機附のもの	漁獲物運搬船	合計	網	釣	其他
—	—	31	17	1,024	—
—	—	1,048	2,006	3,586	1,620
7	—	89	249	380	—
—	—	510	1,090	1,621	210
—	1	1,193	2,486	3,041	—
—	4	256	841	34,217	—
—	—	2	—	—	—
—	16	1,266	9,198	6,889	1,102
7	—	122	266	1,404	—
—	21	4,273	15,621	49,354	2,932
7	**21**	**4,395**	**15,887**	**50,758**	**2,932**
6	20	4,438	15,969	44,948	1,203
4	22	4,292	5,296	42,484	12,128
2	26	4,162	12,070	45,885	1,892
?	?	3,833	16,215	44,649	1,616
?	?	4,061	8,138	18,509	1,285

に出稼するものを含ます

漁　　獲　　高

大正八年		大正七年		大正六年	
數量	數量	價額	價額	數量	價額
貫	円	貫	円	貫	円
51,987	90,751	62,145	77,940	74,731	63,609
763,186	494,450	613,067	228,066	401,068	99,238
502,271	709,145	439,250	420,953	487,416	365,573
224,704	147,228	224,612	91,138	194,316	83,776
227,284	153,507	228,433	87,905		
39,014	22,338	74,209	26,563	1,858,687	357,179
1,381,023	605,505	1,434,085	374,928		
554,258	799,896	501,395	498,893	562,147	426,182
2,685,211	1,423,028	2,574,406	808,600	2,454,071	540,193
3,239,469	**2,222,924**	**3,075,801**	**1,307,493**	**3,016,218**	**969,375**

種類別

地方		大正十年		大正九年	
		數量	價額	數量	價額
タヒ	海鯽魚	212,676	477,113	237,097	582,204
タラ	大口魚	1,392,849	518,006	1,872,574	547,190
タチウオ	鱗刀魚	262,472	121,127	400,161	162,271
グチ	黄花魚	141,000	58,748	272,672	106,512
サワラ	鮁魚	18,191	29,362	18,352	31,269
ヒラメ、カレイ	扁口魚	96,979	59,982	134,605	84,276
スズキ	鱸子魚	12,952	17,130	13,233	18,210
エイ	滑子魚	163,717	50,679	164,799	44,070
ボラ	鮻魚	17,621	21,536	52,445	29,750
サバ	臺鲃魚	38,263	34,007	24,893	23,281
フカ	沙魚	46,583	18,279	58,613	17,811
ニベ	鰍子魚	23,275	21,136	43,531	34,861
イワシ	撒丁魚	30,461	24,416	29,112	12,331
ヒラス	黄尖子魚	9,913	15,730	9,088	14,105
アナゴ	鱓魚	2,604	4,815	2,207	4,437
ウ・ナギ	鱣魚	485	1,497	385	1,442
イシモチ	白米子魚	25,852	10,778	39,803	15,065
コノシロ	鰶魚	2,544	2,138	6,074	3,062
カナガシラ、ホウボウ	紅娘子魚	68,793	29,823	70,583	35,404
サヨリ	大鰟子魚	5,425	4,201	2,829	2,265
メバル、アブラメ	黒魚	12,000	10,555	9,493	10,775
コチ	辮子魚	868	1,101	2,610	2,971
イカ	烏魚	1,286	1,792	3,627	3,497
ナマコ	海参	31,500	23,722	43,735	26,811
ハマグリ	蛤蜊	7,287	3,906	2,446	2,765
カ・キ	海蠣子	73,064	35,328	60,522	27,311
アワビ	鮑魚	14,332	34,361	8,077	13,425
エビ	海蝦	8,223	10,·12	11,701	12,806
カニ	蟹…………	5,905	2,669	6,446	2,582
クラゲ	海蜇	16,769	3,862	24,342	2,874
其他魚介類		154,604	50,256	195,080	63,455
海藻類		29 480	11,100	30,641	5,416
總計		2,927,973	1,709,370	3,806,776	1,944,504

表中日本人欄には關東州内定住者が關東州沿岸に於て漁獲せしものしものを包含す○本表の外本年中日本人の漁獲高鯨41頭價額 190,650圓

漁獲高

大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	大正六年 數量	大正六年 價額
284,861	535,634	285,107	344,756	381,424	335,281
1,184,130	554,825	1,187,619	310,552	932,311	208,493
556,407	390,219	540,601	186,457	457,131	111,319
260,089	146,356	166,934	54,689	207,707	54,752
32,395	41,951	49,442	43,447	40,881	27,508
138,732	85,364	67,002	43,122	45,937	23,474
15,888	18,905	10,855	11,349	12,480	8,784
137,822	59,381	186,156	45,309	74,851	14,132
17,470	16,579	15,613	10,170	16,596	8,301
24,336	19,177	7,678	6,639	7,368	5,364
23,959	12,355	42,535	13,806	30,442	7,743
41,370	33,691	33,768	21,521	31,938	18,983
24,033	7,250	33,191	5,196	400	34
7,669	7,506	12,141	11,868	7,045	6,430
1,394	2,705	1,232	3,259	2,117	3,126
?	?	347	1,216	106	260
33,373	19,040	23,944	9,578	35,339	7,840
9,947	9,107	5,785	3,709	2,980	1,168
62,270	31,471	58,361	19,926	23,557	7,451
2,330	1,995	5,160	2,055	4,640	1,820
6,478	6,449	6,065	4,063	2,566	1,634
1,639	3,112	932	1,215	?	?
2,930	3,412	5,724	2,627	16,791	3,963
49,178	19,295	75,341	14,928	26,608	8,471
?	?	?	?	?	?
41,403	33,956	102,668	29,508	372,467	17,198
9,704	33,658	11,118	28,881	6,768	14,149
24,237	27,426	18,146	14,356	25,332	13,836
7,883	2,494	5,765	1,320	?	?
?	?	4,288	701	11,902	1,418
237,642	99,611	112,223	59,837	238,534	56,443
?	?	?	?	?	?
3,239,469	**2,222,924**	**3,075,801**	**1,307,493**	**3,016,218**	**969,375**

及日本內地より出稼漁業者か龍口、熊岳城及利津等の近海に於て漁獲せあり

地方別水

地方	大正十年 數量	大正十年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額
	貫	円	貫	円
旅順	41,62[illegible]	33,849	55,795	46,943
大連	80,52[illegible]	177,662	65,128	155,060
金州	127,313	76,607	181,[illegible]68	138,443
普蘭店	1,668	2,077	1,988	3,011
貔子窩	486,350	305,941	496,707	332,916
總計	**737,484**	**596,136**	**801,586**	**676,403**

種類別水

地方		大正十年 數量	大正十年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額
鹽藏及乾製品	乾鱈	454,111	255,852	560,728	378,411
	鱗刀魚	80,630	54,346	134,341	68,855
	乾鱝	60,858	48,369	16,200	13,322
	海參	7,602	25,922	9,922	36,581
	鱶鰭	227	1,523	120	840
	乾鱶	12,534	7,712	10,922	6,948
	乾鯷	2,639	3.768	2,216	2,309
	乾鰈	4,030	3,500	3,986	1,824
	石首魚	25,000	2,500	5,000	3,500
	乾鯛	2,048	4,046	?	?
	鹽鰆	3,880	6,208	?	?
	乾蝦	952	2,213	7,395	10,652
	鹽鯖	930	1,125	200	200
	海哲	2,384	1,271	2,763	1,051
	蝦子	27	91	81	275
	雲丹	170	1,160	50	500
	雜魚	7,830	4,305	3,567	2.456
	乾貝	3,584	12,208	4,334	15,938
	魚肚	16	120	48	360
	海藻類	2,255	5,375	150	130
	計	**671,707**	**441,614**	**762,023**	**544,152**
加工品	罐詰	851	1,341	800	4.500
	蒲鉾	64,926	153,181	38,763	127,751
	計	**65,777**	**154,522**	**39,563**	**132,251**
總計		**737,484**	**596,136**	**801,586**	**676,403**

產物製造高

大正八年		大正七年		大正六年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
貫	円	貫	円	貫	円
29,948	62,024	42,839	34,207	31,656	21,559
83,510	138,924	37,212	58,675	39,042	47,612
186,169	209,998	160,241	105,840	178,896	234,276
610	2,610	3,158	3,830		
465,257	499,186	899,719	300,476		
765,494	**912,742**	**1,143,169**	**503,028**	**549,594**	**303,447**

產物製造高

大正八年		大正七年		大正六年	
數量	價額	數量	價額	數量	價額
545,529	571,171	903,805	336,173	347,856	174,587
113,332	78,864	70,949	36,740	110,458	34,949
22,573	36,724	73,041	20,271	24,160	15,385
8,578	23,388	11,452	17,080	6,342	11,524
2,130	2,130	1,360	9,520	1,986	11,740
7,788	5,834	9,815	2,207	5,492	2,113
8,250	13,135	24,395	8,842	2,642	1,508
1,842	1,433	601	340	?	?
6,200	3,720	6,000	3,000	3,667	625
?	?	?	?	?	?
?	?	?	?	?	?
1,556	3,900	1,223	3,468	90	200
?	?	?	?	?	?
3,265	1,028	2,020	495	2,420	48
265	577	144	360	68	170
125	945	30	300	?	?
4,033	4,536	8,117	9,533	13,048	7,077
5,247	37,708	3,769	17,029	2,898	6,638
36	180	48	300	77	288
5,140	6,200	?	?	?	?
735,769	**790,528**	**1,116,769**	**464,658**	**520,194**	**266,847**
?	?	?	?	?	?
26,500	121,269	26,400	38,370	29,400	36,600
29,600	**121,269**	**26,400**	**38,370**	**29,400**	**36,600**
765,494	**912,742**	**1,143,169**	**503,028**	**549,594**	**303,447**

製鹽

地方	製鹽業者		鹽灘數	
	日本人	中國人	日本人	中國人
旅順	3	89	49	38
大連	1	3	2	3
金州	—	8	—	9
普蘭店	1	81	69	42
貔子窩	2	105	150	93
計	7	286	270	185
大正九年末	5	314	258	182
同八年末	5	294	260	172
同七年末	5	245	260	172
同六年末	4	254	260	172
同五年末	3	206	260	172
合計 大正十年末	293		455	
合計 同九年末	319		440	
合計 同八年末	299		432	
合計 同七年末	250		432	
合計 同六年末	258		432	
合計 同五年末	209		432	

本表製鹽高數量は中國石にして其の一石は日本の二石五斗凡を六百

鹽 大正十年末

田		製 鹽 高 (一年間)			
面 積		數 量		價 額	
日本人	中國人	日本人	中國人	日本人	中國人
坪 1,691,097	坪 577,460	石 71,246	石 321,921	円 160,304	円 49,322
121,223	34,249	1,885	166	5,090	448
—	231,203	—	3,203	—	8,648
1,895,300	994,296	43,311	44,930	99,182	102,890
5,088,295	2,829,159	88,922	109,546	186,736	230,047
8,795,915	**4,666,367**	**205,364**	**179,766**	**451,312**	**391,355**
7,945,885	4,618,767	289,024	228,359	737,341	593,660
7,964,130	4,475,695	251,235	186,963	834,172	676,390
7,964,130	4,475,695	166,646	107,947	399,076	235,515
7,964,832	4,475,695	271,077	73,508	485,114	263,426
7,963,020	4,475,695	252,236	167,486	595,047	295,598
13,462,282		**385,130**		**842,667**	
12,564,652		**514,383**		**1,331,001**	
12,439,825		**438,198**		**1,510,562**	
12,439,825		**274,593**		**634,591**	
12,440,527		**444,585**		**748,540**	
12,438,715		**419,722**		**800,645**	

斤に該當す

第十八　教育宗教

(一) 滿洲に於ける日本の教育

1 概　況

關東州内の教育は關東廳の管掌する處であるが滿鐵沿線の教育は滿鐵會社設立に際し政府の下した命令に基き滿鐵が其經營を掌つて居る。居留民團東洋協會日露協會等で設けたものもある尙又外國人に依つて施設せられたものがあるが宗教の附設事業が多く大したものはない然し北滿地方には東支鐵道其他の露人に依つ施設せられた各種の學校があつて相當大なる事蹟を擧げて居る。

我行政區域内の中國人教育に關しては本邦官民共に多大の努力を拂つて居るため其事蹟は大いに見る可きものがある。委しくは支那人教育の項に讓るが中學校以上は二三を除く外日支混合教育を施して居る，但し初等教育は原則として分離教育を行つて居る。

關東廳經營の教育　關東州内に於ける教育は主として關東廳の施設で小學校は明治三十九年以來の歷史を有するが現在十五を數ふるに至り中國人に初等教育を與ふる公學堂は八設けられて居る。其他中學校二、女學校二、工科大學一、中國人教師養成の師範學堂一と中國人初等教育の機關である舊來の書房を改善した公認の普通學堂が百十六ある

滿鐵會社經營の教育　滿鐵會社附屬地内の教育事業は政府の命令事項に據つて滿鐵の經營を要する事になつて居るため滿鐵は明治四十年以來直接其業に鞅り現今では小學校二十六(内分教場二)實業補習學校三十三家政女學校十。男女中學校四中國人教育のための公學堂十一日語學堂一中學等校三專門學校一醫科大學一を數ふるに至つた其他圖書館二簡易圖書館十八、巡廻書庫貸付所十四、教育研究所等を設けて多大の努力を盡して居る。

東洋日露兩協會經營の教育　東洋協會では甲種商業學校を大連に設け又中國語を主とする夜學の語學校を旅順に設けて居る日露協會では大正九年修業年限三年の日露協會專門學校を哈爾賓に設け主として露語を授けて居る。

居留民團經營の教育　居留民團經營の學校は目下營口と京奉線沿線の錦州とにあるのみである前者は明治四十年の創立に係り後者は大正六年關東廳の補助に依つて成つたものだが其後補助の停止と物價の騰貴とに依つて九年秋から一時閉鎖した然し再び必要に迫られ十年四月から開校目下在留日本人會に依つて維持されて居る。

2　幼兒保育

學齡前の幼時保育のため幼稚園又は幼兒運動場等の設けられたるもの二十八に達するが此中滿鐵の經營に係るもの十四補助を與ふるもの八に達する今之等を表示せば下の如くである。

日本幼稚園一覽　（大正十一年三月）

名稱	設立年月	保姆數	幼兒數 男	幼兒數 女	幼兒數 計
旅順幼稚園	42. 4	2	34	42	**76**
旅順リツテル同	2. 4	1	28	24	**52**
大連同	40. 4	7	210	190	**400**
北公園同	5. 8	2	28	16	**44**
寺兒溝同	4. 7	2	21	17	**38**
沙河口同	3. 7	3	49	32	**81**
雙葉同	10. 5	4	28	28	**56**
西廣場同	10. 10	3	31	29	**60**
瓦房店同	43. 10	2	23	20	**43**
熊岳城同	7. 4	2	6	8	**14**
蓋平同	10. 44	1	5	4	**9**
大石橋同	43. 11	4	29	25	**54**
海城同	10. 10	1	11	5	**16**
遼陽同	42. 9	2	32	40	**72**
鞍山同	9. 4	2	61	39	**100**
奉天滿鐵同	42. 4	3	54	40	**94**
奉天(城内)同	6. 11	1	26	16	**42**
本溪湖同	2. 4	1	25	17	**42**

名稱	設立年月	保姆數	幼兒數 男	女	計
橋頭幼稚園	2. 10	1	11	10	21
撫順同	42. 11	4	78	68	146
東鄉坑同	7. 5	2	48	32	80
鐵嶺同	1. 8	3	38	25	58
開原同	3. 4	1	13	32	45
長春同	44. 4	3	43	29	72
長春(分場)同	44. 4	2	24	20	44
四平街同	8. 6	1	18	17	35
公主嶺同	44. 4	3	42	25	67
鷄冠山同	10. 10	1	16	9	25
安東滿鐵同	2. 4	2	24	19	43
營口同	7. 4	2	34	25	59
奉天尋常小學校附屬幼稚園	6. 11	1	24	15	39
新民府幼稚園	9. 9	1	4	5	9
安東民團同	3. 11	2	50	55	105
總計			1,184	1,009	2,193

3 日本人初等教育

明治三十九年五月先づ大連旅順に小學校が開設せられてから人口の増加に伴ひ學齢兒童の増加によつて現今では南北滿洲を通して實に其數四十四校に達するに至つた教育主旨及形式は内地の小學校令に準じて行はれて居るが其設備や内容の充實せる點に於ては遙に内地の其れを凌駕して居る。只内地と異る點は義務教育を行はない事であつて然も其就學率の如き寧ろ内地より良好である。前述四十餘校の小學校中關東廳の經營に係るもの十六(大正十一年四月から大連に第六尋常小學校が設けれた)滿鐵の經營に成るものは二十六であつて滿鐵本線の沿線に在つては約三十哩毎に、安奉線に在つては約四十哩毎に一校を有する割合である今之等を表示すれば下の如くである。

日本小學校一覽 (大正十一年三月)

小學校名		學級數	教員數 男	教員數 女	教員數 計	生徒數 男	生徒數 女	生徒數 計
旅順第一	尋	17	20	3	23	375	346	721
	高	2				49	41	90
同第二同	尋	12	13	3	26	241	3	454
	高	1				17	11	28
大連尋常高等	尋	4	20	6	26	120	112	232
	高					373	256	629
同第一尋常		24	23	5	28	629	512	1,141
同 第二同		18	18	4	22	522	478	1,000
同 第三同		24	19	8	27	604	535	1,139
同 第四同		17	16	6	22	440	410	850
同 第五同		17	12	6	18	408	397	805
沙河口尋常高等	尋	13	17	4	21	312	256	568
	高	4				79	80	159
	補	1				—	10	10
同第二尋常		14	10	4	14	335	308	643
柳樹屯尋常高等	尋	2	3	1	4	33	6	29
	高	1				2	2	4
周水尋常		3	2	1	3	16	14	30
金州尋常高等	尋	5	6	1	7	45	45	90
	高					4	4	8
普蘭店同	尋	3	4	1	5	25	19	44
	高	1				5	5	10
貔子窩同	尋	3	4	1	5	22	18	40
	高	1				3	1	4
瓦房店同	尋	7	—	—	10	129	125	254
	高					10	19	29
熊岳城同	尋	3	—	—	4	42	26	68
	高					4	3	7
蓋平分教場	尋	1			2	9	5	14

小學校名		學級數	教員數			生徒數		
			男	女	計	男	女	計
大石橋尋常高等	尋	7	—	—	11	115	112	227
	高					26	13	39
海城同	尋	3	—	—	4	33	32	65
	高					8	3	11
鞍山同	尋	16	—	—	18	257	269	526
	高					43	29	72
遼陽同	尋	13	—	—	18	263	203	466
	高					52	34	86
煙臺分教場	尋	2	—	—	2	12	10	22
奉天尋常高等	尋	37	—	—	42	637	664	1,301
	高					94	82	176
奉天城內尋常		6	—	—	8	91	92	183
鐵嶺尋常高等	尋	10	—	—	14	184	182	366
	高					27	19	46
開原同	尋	5	—	—	6	77	101	178
	高					12	2	14
昌圖同	尋	2	—	—	3	26	23	49
	高					2	1	3
四平街同	尋	5	—	—	6	87	77	164
	高					12	7	19
鄭家屯尋常		1	—	—	2	16	10	26
公主嶺尋常高等	尋	7	—	—	11	127	118	245
	高					19	19	38
長春同	尋	17	—	—	20	362	319	681
	高					35	39	74
吉林同	尋	3	—	—	5	39	32	71
	高					2	6	8
哈爾賓同	尋	6	—	—	8	78	81	15
	高					8	5	13

小學校名		學級數	教員數			生徒數		
			男	女	計	男	女	計
本溪湖尋常高等	尋	7	—	—	12	36	114	250
	高					28	29	57
橋頭尋常		2	—	—	3	39	27	61
連山關尋常高等	尋	3	—	—	4	47	32	79
	高					6	7	13
鷄冠山同	尋	5	—	—	7	78	50	128
	高					13	16	29
安東同	尋	26	—	—	35	520	471	991
	高					89	82	171
撫順同	尋	25	—	—	36	486	416	902
	高					97	89	186
撫順永安臺同	尋	14	—	—	18	270	234	504
	高					25	15	40
營口同	尋	9	8	2	10	182	168	344
	高					14	18	32

4 中國人初等教育

日本の中國人子弟教育の目的は文化の促進彼我の親善を以て滿蒙を開發せんとするに在る從つて官民共に之れがため多大の努力を拂つて居る抑も滿蒙に於ける日本の支那人教育の濫觴とも云ふ可きは明治三十七年五月金州民政署が地方の有志と謀つて金州に學堂を設けたのであつて三十九年五月官立とし爾來金州に公學堂南金書院と稱するに至つたのにある現今では何れも日本語を必修課目として關東廳の官立公學堂八舊日本の寺小屋式の書房を改良した公立普通學堂百十六滿鐵會社の經營せる公學堂十一日本語普及の目的を以て設けられた日語學堂二其他の經營になるもの若干あるが公學堂は何れも初等科高等科に分れ日語學堂は初等學校卒業以上の中國人を入學せしめて居る今之等を表示すれば下の如くである。

公學堂一覽 (大正十一年三月)

學堂名		學級數	教員數	生徒數 男	生徒數 女	生徒數 計
旅順師範學堂附屬公學堂	初等科	5	—	162	9	171
	高等科	2	—	74	10	84
旅順公學堂	初等科	10	21	301	89	390
	高等科	3		82	17	99
	補習科	2		42	—	42
三澗堡 同	高等科	4	8	155	—	155
	補習科	2		35	—	35
大連 同	初等科	16	32	446	124	570
	高等科	7		188	20	208
	補習科	2		63	—	63
沙河口 同	初等科	7	11	285	57	342
	高等科	2		44	—	44
公學堂南京書院	初等科	12	26	420	101	521
	高等科	7		214	15	229
	補習科	3		31	3	34
普蘭店公學堂	高等科	8	10	352	21	373
	補習科	1		18	1	19
貔子窩 同	高等科	6	10	209	8	217
	補習科	2		57	—	57
瓦房店公學堂		5	日 4 中 3	134	—	134
松樹 同		3	日 3 中 2	68	—	68
熊岳城 同		5	日 6 中 3	128	—	128
蓋平 同		6	日 5 中 4	187	28	215
遼陽 同		4	日 8 中 3	161	—	164

學堂名	學級數	教員數	生徒數 男	生徒數 女	生徒數 計
奉天公學堂	4	日 6 中 2	111	20	131
開原同	7	日 7	176	65	241
四平街同	5	日 6 中 3	145	36	181
公主嶺同	4	日 4	115	—	115
長春同	6	日 6 中 4	166	5	171
撫順同	4	日 3 中 3	93	—	93

普通學堂一覽 (大正十一年三月)

地方別	學堂數	學級數	教員數 男	教員數 女	教員數 計	生徒數 男	生徒數 女	生徒數 計
旅順	27	102	104	2	106	3,230	732	3,962
大連	11	49	42	7	49	1,591	359	1,950
金州	16	61	59	2	61	2,601	322	2,923
普蘭店	36	96	92	8	100	4,115	946	5,061
貔子窩	25	81	81	3	84	3,032	441	3,473
計	115	389	378	22	400	14,569	2,800	17,369
大正九年	116	391	372	17	389	14,314	2,701	17,015
大正八年	117	385	368	12	380	13,758	2,571	16,329
大正七年	116	346	335	4	339	12,875	2,127	15,002

關東州内私立書房一覽 (大正十一年三月)

地方別	書房數	教員數	生徒 男	生徒 女	生徒 計
旅順	10	10	140	6	**146**
大連	50	55	913	103	**1,016**
貔子窩	9	9	186	—	**186**
合計	**69**	**74**	**1,239**	**109**	**1,348**
大正九年	65	67	1,222	93	
大正八年	83	86	1,672	69	**1,315**
大正七年	48	48	925	50	**975**

5 男子中等教育

邦人のため中等教育の行はるゝに至つたのは明治四十二年關東廳に依つて旅順中學校の設立されたのが初めであつて大正七年同じく關東廳に依つて大連中學校を翌八年滿鐵會社に依つて奉天中學校を設立された何れも内地中學校に準し修業年限、學科目、程度、編成卒業後の資格等は内地中學校と異ならない。中國人子弟教育のため滿鐵會社に依つて奉天に南滿中學堂が大正六年に設けられて居る豫科、中學科、醫學堂豫科に分れ日支兩國の中學制度を參酌し入學資格、修業年限等は主として中國側の制度に依つて居る。

中等學校一覽 (大正十一年三月)

學校名	設立年月	學科別	學年數	教員數	生徒數
旅順中學校	42. 5	—	5	29	481
大連同	7. 4	—	5	31	474
奉天同	8. 4	—	5	25	194
南滿中學堂	6. 3	豫科 本科 醫學豫科	1 4 2	23	152

6 女子中等教育

女子中等教育のためには明治四十三年關東廳に依り旅順高等女學校を設けられたが、爾來小學校の增設に伴ひ入學者漸次增加した爲め大正三年度に大連高等女學校が增設せられた滿鐵會社に於ても大正九年奉天に高等女學校を設けたが何れも內地のそれと大差なく生徒及び卒業生は內地府縣立高等女學校と同等と認められて居る。滿鐵會社の經營になる實科女學校は大正二年遼陽、奉天、公主嶺、長春等に設けられてから爾來今日に至るまで大石橋、瓦房店、本溪湖、撫順、鐵嶺、安東、鞍山等に合計十一設けられて居る之れは本科(二年)研究科(一年)選科(課目一定せず希望により選定を行ふ)の三に分れ土地の狀況に依つて必要な知識技能を授け併せて婦德の涵養に勉めて居る又大連に大連市立實科女學校が大正八年に設けられた修業年限二年であつたが十一年四月からは本科五年實科二年に分け大連市立高等女學校となつた。滿鐵沿線の各實科女學校も十一年四月から家政女學校となつたが其中撫順は高等女學校に昇格した。

各種女學校一覽 (大正十一年四月)

校名	設立年月	學科別	學生數	教員數	生徒數
×旅順高等女學校	42. 5		5	20	370
×大連同	7. 4	本科	5	24	469
大連市立高等女學校	11. 4	實科	5	21	397
奉天高等女學校	98. 4	本科、家	5	12	228
撫順同	11. 4	事專習科	2	11	100

學校	創立年月日	學科別	教員	生徒數 本科	生徒數 專科
瓦房店家政女學校	3. 4. 1	—	2	12	2
大石橋同	3. 4. 1	—	1	7	7
鞍山同	3. 4. 1	—	1	11	7
遼陽同	2. 5.12	—	2	6	32
奉天同	2. 5.20	—	2	37	20
鐵嶺同	4. 5.20	—	1	6	13
公主嶺同	2. 6. 1	—	1	7	8
長春同	2. 6. 4	—	1	20	7
本溪湖同	3. 4. 1	—	1	7	2
安東同	6. 6. 1	—	3	36	30

×印は大正十一年三月現在

7 師範教育

滿洲に於ける師範教育は邦人に對するものがなく公立普通學堂の教員養成のため中國人に對するものが唯一つあるだけである關東廳の經營で元高等學堂(大正五年設立)と稱したのを大正七年旅順師範學堂と改稱された修業年限三年で公學堂卒業者から募集し學資は官費である大正十一年三月に於ける教員數は27で生徒數は157である。

8 實業教育

邦人のため實業教育としては明治四十三年東洋協會が大連に實業補習學校を設け四十五年に之れを甲種商業學校に改めたるに初まり滿鐵會社では四十四年に南滿洲工業學校(大連)九年長春商業學校を設け日露協會は九年日露協會專門學校を哈爾賓に設けた又中國人教育のためには滿鐵會社が大正七年營口商業學校を十年に撫順簡易鑛山學校を設けて居る又大正十年四月に大連市立商工學校が出來た同校は篤志家天野氏の寄附金に依つて出來たもので學校の內容は珍らしいものである。

各種實業學校一覽　(大正十一年四月)

學校名	設立年月	科目	學年	教員	生徒
大連商業學校	43. 4			30	548
南滿洲工業學校	44. 5	土木、建築、電氣、機械、採鑛	各 4	49	319
撫順簡易鑛山學校	10. 4	豫科 本科(機械、採鑛)	1 2	9	58
長春商業學校	9. 4	—	5	20	160
營口同	7. 5	豫科 本科	1 3	12	158
日露協會專門學校	9. 9	—	3	8	111
大連市立商工學校	10. 4	商業實務科 活版印刷科 製版科	3	14	55
遼陽商業學校	11. 4		3	3	71

9 實業補習教育

日支兩國の青少年に各自の職業に必要な知識技能を教育する目的で滿

鐵會社が明治四十三年附屬地內の各小學校及公學堂に實業補習學校を附設した初めは十一箇所であつたが今では總數三十三に達して居る凡て學科制と學年制(二年)に分れ學科制を更に普通科と專門科に分け修業年限は六箇月を一期とし課目の難易に依つて修業期間を一期又は數期に分けて居る學年制は目下の處鞍山と長春とのみ附設されて居る。

實業補習學校一覽　(大正十一年四月)

校名	創立年月日	學科數	生徒數 實人員	生徒數 延人員
埠頭	大正 4. 8.20	10	112	112
大連	8. 6.20	11	135	656
沙河口	2. 1.15	9	149	162
旅順	4. 4. 1	—	—	—
金州	3.12. 1	1	20	14
普蘭店	3. 4. 1	1	29	29
瓦房店	明治 43. 4. 1	5	63	172
熊岳城	43. 4. 1	1	17	17
蓋平	43. 4. 1	3	66	66
大石橋	43. 4. 1	7	68	161
營口	大正 3. 5. 1	7	98	175
海城	2. 4.19	1	5	5
鞍山	8. 8.15	10	60	60
遼陽	明治 43. 4. 1	4	—	—
蘇家屯	大正 2.10. 1	1	121	121
奉天	明治 43. 4. 1	8	550	763
鐵嶺	大正 1. 9. 1	4	94	94
開原	明治 45. 4. 9	1	31	31
昌圖	43. 4. 1	1	—	—
雙廟子	大正 3.12. 1	—	—	—
四平街	明治 43. 6. 5	1	19	19
鄭家屯	大正 7. 7.12	3	51	66
郭家店	3.12. 1	2	63	63

校　　舍	創立年月日	學科數	生徒數 定人員	延人員
公主嶺	明治 43. 4. 1	7	99	117
范家屯	大正 3.12. 1	4	76	76
長春	明治 43. 4. 1	10	280	368
本溪湖	44. 7.21	1	28	28
橋頭	44. 7.21	7	57	177
連山關	大正 4. 4. 1	2	34	34
鷄冠山	明治 45. 7.15	7	35	120
鳳凰城	大正 3.11. 1	1	8	8
安東	6. 6.14	5	275	275
撫順	明治 43. 4 .1	14	264	658

10 專門教育

滿洲に於ける專門教育は關東廳經營の旅順工科學堂、滿鐵經營の奉天南滿學堂の二であつたが十年八日から大連有志に依つて夜學の滿洲法制學院が創立され十一年四月南滿洲工業專門學校が大連に設立された。

旅順工科學堂　工科學堂は明治四十二年の勅令で翌四十三年四月旅順新市街の元露國海兵團を改造し創立された工業專門學校である機械電氣採鑛冶金の三科に分れ高等の學術技藝を教授するのが目的で修業年限四年である入學資格は中學校甲種工業學校卒業生若しくば豫科修業者を收容し日支共學で大正十一年三月に於ける生徒數其他下の如くである尚本校は大正十一年九月昇格して旅順工科大學となつた。

科別		生徒數	教員	經費(十年度)
機械科	日本人	95	日本人 57	385,582円
	中國人	11	中國人 1	生徒一人ニ付 1,402
電氣科	日本人	72		資産 2,775,363円
	中國人	10		
採鑛冶金科	日本人	62		
	中國人	13		
豫科	日本人	—		
	中國人	12		
計	日本人	229		
	中國人	46		

南滿洲工業專門學校 大正十一年四月大連に於ける滿鐵經營の南滿洲工業學校が昇格して專門學校となつたものである創立初年度たる大正十一年度は先づ土木建築科鑛山科農業土木科の四科を置き三十六名の學生を收容した。教員數は二十二名である。

南滿醫學堂 奉天に於ける南滿醫學堂は滿鐵の經營で明治四十四年四月創立せられた滿洲唯一の醫學校である。

目的 日中兩國人に醫學を教授して醫術の普及を圖り人道と文明とに貢献するため一般醫學的研究特に滿洲特有の疾病に就て之れを明らかにするが目的である。

設備 建築は明治四十四年八月工を起し大正九年末に殆ど完成した

入學資格 專門學校入學者檢定規定による合格者又は南滿中學堂醫學豫科修了者若しくば中國人にして前記と同等學力を有し日本語を解するもの

修業年限 本科四年研究科一年以上

特典 卒業者は南滿醫學士の稱號を認められて無試驗開業が出來る在學者は勿論徵兵猶豫をなし得て中國人は業授料全免である。

學生及教員數 本科學生日本人百十一、中國人七十九計百九十名、教員は專務者四十三兼務者十三計五十六名(十一年四月末)

經費 今日迄の建築及設備費約六十萬圓十年度經費豫算約二十七萬圓である。

尙本學堂は大正十一年九月昇格して滿洲醫科大學となつた。

滿洲法政學院 今日の社會に活動する人達に法律的觀念が必要である事は人文の進步と共に社會一般の風潮である斯うした結果は遂に滿洲の地にまで此種學校の必要を認める樣になつた滿洲法制學院は此要望に依つて大連の有志に依り組織され十年八月創立されたい政治經濟科法律科の二科に分れ村井大連市長を院長とした二年制夜學である。

尙大正十一年六月發布の關東廳私立學校規則に據り手續を了し近く基本金を募集して財團法人とし將來完全なる專門學校となすの計畫がある現在教員數は法律科十名政治經濟科十二名、生徒數は兩科共百二十名宛計二百四十名である。尙教授科目は下の如くである。

法律學科 憲法、行政法、刑法、民法、商法、訴訟法、國際公法、國際私法、經濟原論

政治經濟學科　政治學、經濟原論、經濟政策、財政學、商業學、社會政策、交通政策、植民政策、法學通論、商法大意、中國經濟事情、中國政治事情

11　其他の學校並に施設

イ　學校　前述以外の各種學校を擧ぐれば下の如くであるが其中大連語學校は岡内半藏氏の經營する處であつて夜學ではあるが教員、生徒の數に於ても內容に於ても最も充實して居る。其他旅順語學校は東洋協會の事業で海城語學學舍以下七校は滿鐵の補助事業である。

校名	設立年月	教員數	生徒數	科目
大連語學校	9. 4	25	510	中國語、英語、日本語、露語、佛語、獨逸語
大連中國語學院	—	2	35	中國語
大連正則英語學院	—	?	?	英語
大連女子人文學院	10. 6	15	50	人生問題、婦人問題、心理學、經濟學、自然科學、家庭醫學、家政學、英語、美術講話、音樂
旅順語學校	43. 9	7	105	中國語、日本語、英語、漢文、商業簿記、
海城東語學舍	5. 6	2	55	日本語
遼陽語學傳習所	2. 4	2	72	同
奉天外國語學校	43. 3	5	37	
奉天普通學校	?	2	120	日本語
鐵嶺育英學校	6. 5	1	70	普通學、日本語
吉林中日語言學校	4. 4	3	21	日本語
安東中日懇親學堂	2. 7	1	85	同
佩德學校	2. 1	1	32	普通學
家庭學校	5. 2	1	15	同
靜成學舍	6. 8	1	19	同

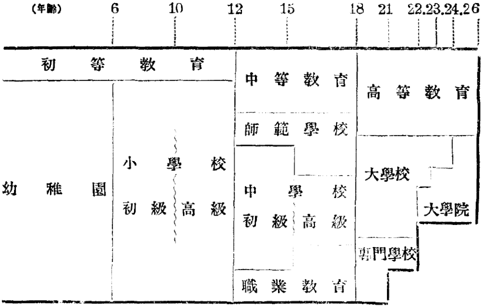
ロ　施設　滿洲に於て教育に關する施設として前述以外に見る可きものは滿鐵の教育研究所である。之れは滿鐵會社が直接教育事業を行つて

居る關係上其必要から滿蒙に於ける教育に就て特殊の調査研究及び教育從事員の養成指導講習を行ふ爲め設けられたので著々事業の進展を見つゝあるは悦ぶ可き事である。

（二） 中國側教育の概況

前淸末葉迄は最も舊式な科擧の制度を墨守した爲め新學の言ふべきものが無かつたが光緒の末年に至つて科擧制を廢し新式教育を行ふことに改められた。故に中國の新制度教育は年所を經ること僅に十數年に過ぎぬのみならず國內秩序紊亂財政の窮乏等は教育の振興を阻礙し初等の國民教育の如きも義務教育制であるのに拘らず今尚學校の施設不完備就學兒童甚だ多からざる狀態にある。民國元年九月教育部公布の教育宗旨に依れば重きを道德教育に注き實利教育を以て之を補け更に美感教育を以て其道德を完成するとある。

爾來屢々教令の發布があつて學制の改正が再三行はれたが最近のものは大正十一年十一月一日發布された教令第二十三號である。之れが實施は大正十二年四月からであるが東三省も勿論本案によつて四月から實施することになつて居る。



滿洲に於ける各種學校配置の概況を見るに小學校は各縣城其他主要地には不完全乍らも全般に配置され中學、師範、各種實業學校等は省城其他首要都市に設けられて居るが地域の宏大なのに比し其數は餘り多くない

滿洲各地に於ける專門以上の主要な學校は奉天の國立高等師範學校と國文專門學校があるのみである。

(三) 外人經

滿洲に於ける外國人經營の教育は英國人に依つて行はれるもの八割に
る。

外人經營の

地名	學校名	所有者又は經營者	創立年月
奉天	奉天醫科大學校	スコツトランド合同自由教會	明治 45. 3
	重明女學院	英國人	十五年前
	基督教女子師範學校	スコツトランド合同自由教會	明治 44.10
	文會書院	同	十三年前
	神道學校	同	數年前
	拉丁館	天主教會	十五年前
	天主教會堂附屬女學校	同	
長春	英華女學堂	愛蘭長老教會	大正 1. 7
	博文學堂	基督教青年會	〃 3, 2
	天主堂設立學校	長春天主教會	明治 45.春
開原	文原學校	聖公教會	〃 34. 4
鐵嶺	文航學校	英國宣教師	大正 2. 7
	育英學校	同	〃 2. 7
本溪湖	德育學堂	英國宣教師	二十六年前
	德育女學堂	同	同
	天主教公立小學校	佛國宣教師	大正 2.10
	同　女學校	同	〃

營の教育

達し何れも教化事業の附帶事業である今之れを表示すれば下の如くであ

南滿諸學校　(大正四年五月調)

教員數	教育程度	生徒數	備考
英人 10 中國人 2	專門醫學	80	奉天醫院と併設す 生徒を全部寄宿舍に收容す
英婦人 2 中國婦人 3	特殊	35	全部寄宿
英婦人 2 中國婦人 3	女子師範	40	同
英婦人 5 中國婦人 4	高等專門	67	全部寄宿、豫科、本科とに分ち本科に法、理、醫、工の四部あり
英人 2 中國人 1		31	牧師養成を目的とす全部寄宿學費一切支給せらる
佛人 1 中國人 2		40	牧師養成を目的とす全部寄宿學費一切支給せらる
佛國婦人 2 中國婦人 2	小學	20	寄宿舍あり、初等、高等に分つ學費生徒に自辦
英婦人 2 中國婦人 4	小學及師範	初等小學 50 高等同 16 師範 13	寄宿舍あり殆んど全部收容 月謝一年十元、舍費四十元
英人 1 中國人 1	同	47	生徒は凡て寄宿に收容す
佛人 1 中國人 2	小學	46	男女兩部あり 寄宿舍あり
英人 3 中國人 3	小學部 中學部 高等女學部	30 15 60	小學卒業者は中學に入る、中學は奉天文會書院と連絡す、寄宿舍あり
英人 1 中國人 1	中學	40	寄宿舍あり無月謝
英人 1 中國人 1	高等女學校	30	無月謝
中國人 1	小學	33	
同 2	同	33	
同 1	小學	5	
同 1	同	5	

地名	學校名	所有者又は經營者	創立年月
蛤蟆塘	民立學校	丁抹人	明治 45. 2
安東	丁抹國病院所設小學校	丁抹國新教會	二年前
遼陽	文德中校	遼陽基督教新教會	明治 39. 1
	文育學堂	同	同 42. 1
	才育女學校	同	同 39. 1
	崇正學堂	遼陽天主教會	大正 3. 1
	育嬰堂	同	三十五年前
	傳教所	同	十二年前
海城	天主教會附屬學校	海城天主教會	二十年前
	三育學堂	英國婦人	二十三年前
大石橋	天主教會附屬學校	大石橋天主教會	明治 39年
	新教會附屬學校	英國宣教師	大正 4. 3
蓋平	基督教學校	蓋平基督教新教會	大正 元年
熊岳城	基督教初等小學校	熊岳城基督教新教會	同 3. 9.
營口	基督教中學校	營口基督教新教會	同 3. 1
	天主堂附屬學校	營口天主教會	二十年前
吉林	育才中學校	英國人	大正 2.
	青年會附屬學校	吉林基督教青年會	同
	天主教會附屬小學校	吉林天主教會	二十數年前
	天主教會附屬中學校	同	

教員數	教育程度	生徒數	備考
丁人 1 中國人 1	中學	29	全部寄宿果樹園を有す
丁人 1 中國人 2	小學	男生 39 女生 14	月謝 男一箇月三角 女 二角
英人 2 中國人 7	中學	80	大部分寄宿す 文會書院に連絡す
英人 1 中國人 2	小學	30	文德中學の豫備校
英人 2 中國人 3	高等女學	100	生徒は過半寄宿舍に在り
中國人 2	小學	12	全部寄宿 學費凡て支給せらろ
佛人 3 中國人 3	同	150	凡て孤女兒
中國人 3			聖書の講義を目的とす 六箇月卒業
中國婦人 2	小學	30	修業年限五箇年の女學校無月謝無食費
英人 1	高等小學	男生 15 女生 15	修業年限二箇年凡て寄宿寄宿費は月五元、月謝五元
中國人 2	小學	男生 30 女生 6	凡て寄宿且凡て信者
同 2	同	30	凡て女學生
同 1	同	男生 30 女生 17	寄宿舍あり 月謝一箇年五元
中國婦人 1	同	22	修業年限四箇年の女學校一年二元の月謝を徵す
英人 1 中國人 2	高等小學及中學	40	
佛人尼 3	小學	50	生徒は凡て孤女兒全部寄宿舍に收容す
英人 1 中國人 2	中學	16	
		17	夜學校にして主として英語を教ゆ
男教師 3 女教師 4	小學	男子 80 女子 30	
凡て佛國人		18	牧師養成を目的とす

(四) 宗　　教

滿洲の宗教は其種類相當に多いに係らず崇高な宗教心を有するもの少なく迷信に捕はれたものが多い之れ雜教の盛大なる所以である。

1 佛　　教

滿洲に於ける中國側の佛教は昔は盛んであつたが僧侶が何れも寺廟を守つて自己の私腹を肥す事のみ苦心して居るから益々狹縮して將來の運命も疑はれる次第である彼等は檀家を有する譯でなく廟内の家を人に貸し或は寺田を自ら耕し又は日を期して開廟し參詣者の賽錢に依つて生活して居る滿洲に於て佛教の最も盛なる地方は吉林、伊通、長春で阿什河琿春寧古塔齊々哈爾地方之れに次ぐが他は言ふに足らぬ。

2 喇　嘛　教

喇嘛教には黃教紅教の二種あるが滿洲に行はれるのは主として黃教である奉天地方及び蒙古に接する地方は喇嘛を信するもの頗る多く奉天には滿洲本山とも云ふ可き黃寺がある蒙古は殆ど喇嘛であつて庫倫には有名な活佛が居つて歸依の中心になつて居る。

3 道　　教

道教は老子を祖としたもので原來宗教ではなかつたが後世に至つて佛教に擬し偶像を設け冠婚葬祭を行ふ樣になつた佛教の僧侶に相當するものを道士と云ふが多くは醉生夢死の生活をなし有德の道者もなく世道人心を教化する如きは望むべからざる事である教派も又多數に分れ滿洲の道教は龍門牌と稱する教派に屬するものが多い廟宇の有名なものは千山の廟であつて其他奉天地方吉林地方にも多くの廟があるが齊々哈爾三姓地方は最も稀れである。

4 回　　教

滿洲に於ける回教徒は屠牛者又は料理店旅館を營む者に多く吉林、長春、伯都納、寧古塔、三姓、琿春、齊々哈爾等が最も盛んな地方である教徒は一般回教徒と同樣に豚と異教徒を惡み團結心が強い。

5 天　主　教

耶蘇教に比して中國國内に根底的勢力あつて外國宣教師の熱心布教す

ろにも拘らず成效遲々たるは中國人の宗教心に背馳する教者があるがためであつて良民は教會堂を有害無益視して居る從つて滿洲に於ける勢力も知る可きである。

6 耶　蘇　教

滿洲に行はるゝ耶蘇教の多くは長老派に屬するものであつて間島地方吉林南部地方最も勢力がある。

7 雜　　教

滿洲に於ける雜教は種々あるも主なるものは薩滿教在裡教の二つである文化の遲れた地で迷信的の宗教の行はれるは何處も同じ事であるが吉林省北部及黑龍江省内に於て主として行はれて居る共に佛教から出たものであるが今日では全く巫者と變る事なく怪しげな術を弄し愚夫愚婦どもを惑して居る殊に後者と同一系統たる白蓮教は義和團事件を起した事があつて有名なものである目下何れも勢力なく僅かに文化の遲い北方地方で行はれて居るに過ない。

日本側行政區政内の中國人宗教は他の地方と同樣であるが日本人宗教亦内地のものと變らぬ。今其概況を表示すれば下の通りである。

寺社教會數其他

種別		州内			州外		
		社寺教會數	布教者	信徒	社寺教會數	布教者	信徒
神道	黑住教	1	1	1,240	1	1	51
	大社教	2	4	1,670	—	—	—
	御嶽教	1	1	323	1	1	45
	神理教	1	1	120	1	1	430
	金光教	4	8	1,852	7	7	1,506
	天理教	8	32	1,929	14	15	2,456
	扶桑教	—	—	—	1	1	—
	其他	11	8	1,125	27	21	15,116
佛教	眞言宗	4	7	1,575	9	9	2,689
	淨土宗	4	10	2,800	14	14	4,393
	臨濟宗	7	17	13,173	2	2	1,030

種別		州內			州外		
		社寺教會數	布教者	信徒	社寺教會數	布教者	信徒
佛教	曹洞宗	4	14	2,784	14	12	4,821
	眞宗	6	28	6,633	18	22	16,779
	日蓮宗	5	17	1,530	9	11	1,891
	其他	44	104	37,560	1	—	611
基督教		29	35	1,494	9	8	658
回々教		1	1	190	4	6	7,534
道教		80	119	87,617	—	—	1,148
其他		5	4	1,770	1	—	14,712
合計		217	—	—	133	—	—

種別		領事館區			合計		
		社寺教會數	布教者	信徒	社寺教會數	布教者	信徒
神道	黑住教	1	1	450	3	3	1,741
	大社教	—	—	—	2	4	1,670
	御嶽教	—	—	—	2	2	368
	神習教	—	—	—	2	2	450
	金光教	1	1	30	11	16	3,388
	天理教	5	5	618	27	52	5,003
	扶桑教	—	—	—	1	1	—
	其他	3	3	282	41	32	4,344
佛教	眞言宗	4	2	530	17	18	4,794
	淨土宗	1	1	300	19	25	7,493
	臨濟宗	—	—	—	9	19	14,203
	曹洞宗	2	3	559	20	29	8,164
	眞宗	7	10	6,304	31	60	29,716
	日蓮宗	2	3	557	16	31	3,978
	其他	—	—	—	45	104	38,171
基督教		3	3	354	41	46	2,506
回々教		—	—	—	5	7	7,724

種別	領事館區			合計		
	社寺教會數	布教者	信徒	社寺教會數	布教者	信徒
道教	—	—	—	80	119	88,765
其他	—	—	—	6	4	16,482
合計	—	—	—	—	—	—

滿洲に於ける日本人基督教會

會名	所在地	創立年	信徒數	教師數	會堂
日本基督教會	長春	年 1915	80	1	1
日本キリスト教會講義所	鐵嶺	1916	30	奉天兼任	1
日本キリスト教會	奉天	1907	200	2	1
組合教會	同	1917	50	1	1
朝鮮人教會	同	1920	30	鮮人教師 1	
日本キリスト教會	撫順	1910	100	1	1
東洋宣教會	同	1915	40	1	1
日本キリスト教會	安東	1907	90	1	1
組合教會	遼陽	1912	30	7	1
組合教會講義所	鞍山	1916	40	遼陽兼任	
同	熊岳城	1919	5	大連兼任	2
同	瓦房店	1919	30	同	1
美以教會講義所	營口	4918	25	1	1
日本キリスト教會	旅順	1907	120	2	1
日本キリスト教會	大連	1896	350	1	1
日本キリスト教會講義所	沙河口	1914	30	1	1
組合教會	大連	1613	135	2	2
聖公會	同	1912	130	1	
美以教會	同	1919	70	2	
救世軍小隊	同	1909	150	2	
救世軍分隊	沙河口	1915	30	大連兼任	

會名	所在地	創立年	信徒數	教師數	會堂
救世軍事業部	大連	1906	救療人員 1.300		
慈惠病院	同上	1906			
基督教青年會	大連	1912	會員 800	事務員 7	1

哈爾賓に於ける寺院

寺院教會名	所在地	司教又は布教師	信徒數
ニコライ中央寺院	新市街廣場	ペカルスキー氏	約30,000
墓地附屬寺院	露西亞基督教徒墓地	ニコライ中央寺院に附屬す	
イウエルスキー寺院		ブロドーチヤン牧師	不詳
ソフイスキー寺院	埠頭區水道街モストワヤ角	ストローゼフ氏	同
正教寺院	馬家溝	オ、ペ、アントノフ氏	12,000
正教寺院	埠頭區	メンチー僧正	不詳
正教寺院	舊哈爾賓	レベーデフ牧師	10,000
家內禮拜堂	東支鐵道附屬商業學校內	ペテリン牧師	
正教寺院	兵營街		
正教基督教寺院	ポチトーワヤ街	クートリン牧師	100

第十九　醫事及衞生

(一)　日本側の衞生機關

本來行政事務は凡て關東廳の管掌すべき事項であるが滿鐵沿線附屬地に於ける衞生施設が滿鐵會社の責務に屬して居る事は前述の如くである故に滿洲に於ける日本側の衞生に關する行政機關としては現在關東廳及滿鐵の兩者に存してゐる。

關東廳に於ける衞生行政の系統は中央機關として關東廳警務局衞生課があり地方機關として各警務署同支署に衞生係がある而して沿線に關する事務は各警務署が之を掌つて居るけれ共施設に就ては前述の如く滿鐵の責務に屬してゐる。

次に滿鐵に於ける衞生行政機關を見るに地方部に衞生課があつて沿線に於ける一般衞生及醫院經營の任に膺り、地方機關としては各地方事務所に其係がある。尙衞生課に衞生技術者を置き沿線主要の地に在勤せしめ、各管轄區域を設け警察醫の職務を兼ねしめてゐる。

附屬地外の所謂民團居留地にある衞生の事務は領事館警察署の掌理する處である。

其他海港檢疫及旅順、大連港內の衞生に關する事務は海務局が之を管掌してゐる。

1　審事機關

審事機關としては曩に都督府より滿鐵の經營に移した中央試驗所及大連、旅順に於ける療病院の外各民政署、同支署、警務署、同支署に配置してある醫師、獸醫及藥劑師等であつて人畜傳染病の檢診並細菌學的試驗及藥品飮食物其他理化學的衞生試驗事務を擔當して居る。又關東廳は大正二年十月地方病及傳染病調査會を設置した。然し其活動は寧ろ今後に期待すべきである。

2　診療機關

大別して關東廳、滿鐵及赤十字社經營の三者に分ける事が出來る。

第一　關東廳の直轄に屬するものは旅順に關東廳醫院がある外に大連旅順に各一箇の療病院があつて專ら法定傳染病患者を收容する事を目的

としてゐる。而して其收容力は旅順は七十名、大連百六十名である。尚大連、旅順には特種婦女を收容の目的を以て婦人醫院が設けられてある，大連婦人醫院の收容患者は常に百名を降らない。

第二 滿鐵經營の醫院は大連を始め沙河口、瓦房店、大石橋、營口、鞍山、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、長春、吉林、撫順、本溪湖及安東の十七箇所に之を設け內沙河口及大石橋は大連及營口醫院の分院であるの外に營口、奉天、長春城內に分院を置き中國人に對し我醫術の惠澤を普及せしむる事に努力して居る。又煙臺炭坑には撫順醫院の出張所を設け其他滿鐵沿線に於ける熊岳城、海城、昌圖、鷄冠山及附屬地外新民府、鄭家屯及法庫門に公醫を配置してゐる。

第三 日本赤十字社所屬の醫院としては奉天城內に日本赤十字病院がある。病舍の新築成り各分科を置き大いに活動してゐる。其外同社經營のものとしては吉林を始め南北滿洲に十二箇所の診療所を設け本來の目的に向ひ其事業を遂行しつゝある。

上記の機關の外大連、奉天、安東及長春等主要の地には幾多の個人經營の醫院、診療所等がある。

3 一般防疫機關

關東洲內に於ける海港檢疫は海務局、陸上防疫は警務署同支署に於て主として之を施行し、患者は官立檢疫所又は療病院に收容してゐる。州外附屬地に於ける防疫事務は法規上警察官署の權限に屬してゐるが其施設に付ては滿鐵が主として其任に當つて居る、而して患者の診療及防疫に要する經費は當該區公費、地方費等の負擔する處である。

滿洲に於ける防疫事務に關し中日共同作業の必要な事は論を俟たないが大正九、十年に肺ペストが猛烈なる勢を以て北滿の地に流行し約八千の生靈を奪ひ更に南滿の地を襲はんとした時之を北邊長春に於て防止し得て僅に一、二の患者を出したのみであつたのは中國側官憲が能く我が助言を入れ互に相提携し防疫に努めた結果に外ならぬのである。

法定傳染病狀況 關東廳管內を通じ過去十年間に於ける統計に徵すると腸窒扶斯を最高とし赤痢パラチフス、虎列剌之に亞ぎ其外に猩紅熱を最多とし痘瘡、發疹窒扶斯、窒扶垤利亞、ペストの順である。而して發疹窒扶斯は其約五分の四以上ペストは全部中國人患者で其他の七種傳染病者の約五分の四は邦人である。

虎列剌病の滿洲に侵入する經路を從來の實例に徵して見るに、大槪海路に依つて常に營口を襲ひ南滿一帶の地に流行する事が多い。營口に於ける海港檢疫は英人の主宰する稅關の手で嚴重に行はれて居る。

大正九年八月滿洲里附近に「腺ペスト」發生の報があり其後各地に散發し同年十二月末には肺ペストに變じハイラル、ダライノールを侵し懸河の勢を以て東漸し哈爾賓を中心として流行した。滿鐵は關東廳と協力の檢疫部を組織し出張所を北邊長春に置き病毒の南下を阻止せん事を企畫し、其間中日兩當局の意思疏通し、極めて圓滿に協力防疫に從事せる爲め猛烈なる病毒も之を長春で阻止する事が出來た。

種痘 は從來春秋二季及必要の場合臨時之を施行し來つたが大正二年二月都督府令を以て種痘施行に關する規定を設け定期種痘は年一回に止むる事となり爾後之に準據してゐる。但し必要の場合臨時種痘を行ふこと勿論である。而して之に要する費用は全部公費を以て支辨し、之が成績は大正元年以降五箇年間の平均は第一期種痘人員百に對し善感步合日本人九二•〇、中國人九〇•五であつて漸次良好に赴きつゝある。

狂犬病豫防 狂犬又は其疑ひある犬の咬傷を受くる者は關東州內外を通し其數年々少くない。然し被害者は槪ね適當の醫療を施すので該病に罹る者は比較的少ない。被害者中約四分の三は飼犬の災で其他は野犬の爲めに被つたものである。

結核豫防 在滿に於ける肺結核死亡者は逐年增加の傾向を有し之を大正六年度の統計に徵するも人口一萬に對し肺結核死亡者二四•九六人で內地人口一萬に對する肺結核死亡者二〇•六九人に比し四•二七人の多數を示し就中其死者は壯年者に多い。滿鐵は關東廳と協議し大正九年十月滿洲結核豫防會なるものを組織し先づ結核豫防に關する智識の普及に努力し同病の早期診斷所を設け將來更に進て結核治療に關する施設をなさむとしてゐる。而して滿洲結核豫防會は現在大連のみにても會員千三百餘名に及び全滿洲を通して約三千名に達して居るが未だ方針が確定し居るのみで何等の事業さへ行はず殆ど有名無實の感があつた。

4　礦山衛生

關東州及滿鐵附屬地には鑛業法が施行されてないばかりでなく鑛夫は殆んど中國人で邦人は僅に其一割內外を保持するに過ぎない。殊に採炭

夫は全然中國人であるから直ちに我が鑛業法を彼等に適用させる事は不可能であるため將來同法制度に對する資料を集め調査をなして居る。

5 學校衞生

關東廳に於ては文部省令に準じて州内各學校に學校醫を囑託し兒童の衞生事項を擔任せしめて居るが大正十一年から新に專任學校衞生官を學務課に置き管轄區域内の學校衞生全般の事に從はしめて居る。

滿鐵經營の各學校に於ける學校衞生は會社設立の醫院に勤務する醫師及公醫を學校醫に囑託し文部省令に準據して衞生事項を擔任せしめてゐる。今中日學童の身體發育狀態を最近三箇年間に於ける身體檢查成績に就て在滿邦人學童の發育狀態を觀察するに各年共學校の異なるによつて多少の差はあるが今之れが平均數字を以て內地學童と比較して見るに槪して男子の身長は幼學年に於てゝ內地兒童より勝り高學年に於て劣り女子身長は十二歲に於て劣つては居るけれ共其他の年齡に於ては優良である。體量は男女共に內地學童より優良で殊に女子に於て著しい胸圍は男女共に僅かに劣つてゐる。

又中國學童の身體檢查成績の平均數を以て在滿邦人學童に比較すると男子身長は各年齡に於て優劣の差がある。然し全年齡を通ずると在滿邦人學童より稍勝りゝ女子に於ては七ゝ八歲に於て稍勝るも其他の年齡に於ては劣りゝ體重は七ゝ八歲に於て劣つてゐる胸圍も亦體重に於けるが如く七ゝ八歲の幼學年に於て勝るも其他の年齡に於ては男女共に劣る由是觀之中國人學童は槪して細長の體型を有する者が多い。

滿鐵は又夏季健康兒童をして健全なる發育を遂げしめんため明治四十三年以來每年夏期大連海濱に於て聯合水泳海水浴を開催し沿線各學校中尋常五學年以上の者若干名宛を參加せしむる事とした。而して之が身體發育上に及ぼす影響に就て調查せる處其成績は下の如く仲々良好であつた。乃ち水泳參加八箇月間に於ける發育狀態は不參加者に比し男子は體重一•三倍弱ゝ身長一•一倍强ゝ胸圍一•一倍弱の增加を示しゝ高年者程增加率大なる傾向を有しゝ女子より男子の方が其效果が顯著であつた。水泳に參加する事が出來ない病弱兒童に對し其體質改善を圖るを目的として大正七年以降每年熊岳城に於て夏期溫泉聚落を開催し營養不良ゝ發育不良ゝ貧血ゝ腺病質等の者を收容せる處が其心身に及ぼす影響は極めて良好であつた最も其顯著なるものとしては食慾の增進と體重の增加と

であつて健康兒童の夫れに比し一倍半若くは二倍の增加を示した。更體質上に及ぼした影響は參加後は其以前に比し一般に各種疾病の罹患率を減少し尙ほ學科競技に對しても疲勞の程度甚だ尠く更に精神上にも陰欝因循性を活動的に變ぜしめ、他の施設の及ばざる好成績を擧げた

6 上下水道

滿洲の水道設備は鐵道沿線の市街地經營と共に滿鐵給水の必要から發達したもので大連、旅順は關東廳の管轄造營に屬し他の鐵道附屬地に於ける水道は滿鐵會社の經營に係り營口のみは特種關係に依る日支合辦の營口水道電氣株式會社の私設に依るものである。以下少しく大連の上下水と滿鐵施設の水道事業に就て說明する。

大連水道 露國より引繼いだ當時は市街も未成であつたと同時に水道も頗る幼稚な小規模のものであつた。それを明治三十八年に於て市の西方馬蘭河河底に集水井を設置して其水を伏見臺配水池に喞筒を以て送り之を更らに自然流下に依り市街に配水したのが大連上水道の基礎設備をなすものである。當時の給水能力は一日一千噸に過ぎなかつた。爾來年々人口の增加に伴ひ給水量の不足を來たしたので明治四十三年以來三回の擴張工事を行ひ將に完成に近づかんとして居る卽ち

第一期擴張工事	著手期明治三十九年 完成明治四十三年三月	經費百〇六萬圓	給水能力一日六千一百噸
第二期 同	著手期大正三年四月 完成期大正十年三月	同 百三十六萬圓	同 一萬二千噸
第三期 同	著手期大正九年八月 現在工事進行中	同 四百六十八萬圓餘	同 二萬五千噸

次ぎに大連の下水道に就いて述べんに官營に依る下水工事は明治四十年以來開始せられ大正三年を以て第一期工事を完成した其後市街の膨脹發達に伴ひ逐次擴張せられ大正十年三月迄に投ぜられた工事費の總額は旣に一百四十萬圓に達して居る。大連の下水は暗渠式で海岸を去る四百米突の海中に其の放水口がある。今築造埋設された溝渠の種類を擧ぐれば左の如くである。

開渠 2,436間 卵圓形暗渠 186間 矩形暗渠 50間 馬蹄形暗渠 1,123間 圓形管暗渠 87,980間 人孔 1,944箇所 泥溜桝 6,803箇所 フラツシングタンク 2箇所 イムホツフタンク 1箇所 排出口 13箇所 外私設下水延長 4,720間

滿鐵經營の水道 鐵道沿線附屬地に於ける滿鐵經營の水道は現在鐵道給水と市街給水とを合せて三十七箇所ある。(○印は市街に給水す)

本線 ○沙河口、金州、三十里堡、普蘭店、○瓦房店、萬家嶺、○熊岳城、蓋平、大石橋、海城、○鞍山站、○遼陽、蘇家屯、○奉天、新臺子、○鐵嶺、○開原、昌圖、雙廟子、○四平街、郭家店、公主嶺、范家屯、○長春

撫順支線 ○撫順、煙臺支坑

安奉線 ○安東、湯城、鳳凰城、○鷄冠山、劉家河、草河口、○連山關、橋頭、○本溪湖、石橋子

7 諸統計

衛生機關

(大正十一年三月)

	地方	開業			産婆	看護婦	病院			藥種商	製藥者
		醫師	齒科醫	藥劑師			官立	私立	計		
州内	旅順	2	2	—	18	20	3	—	3	19	—
	大連	31	16	16	106	218	2	2	4	122	4
	水上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小崗子	8	—	—	6	3	—	1	1	48	—
	沙河口	5	3	3	20	6	—	1	1	48	—
	金州	1	—	—	2	1	—	—	—	8	2
	普蘭店	2	—	—	2	—	—	—	—	20	—
	貔子窩	1	—	—	3	1	—	—	—	26	—
	總計	51	21	19	157	249	5	4	9	291	6
州外	營口	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	瓦房店	1	1	—	7	—	—	1	1	3	—
	大石橋	1	—	—	10	—	—	1	1	5	—
	遼陽	1	—	—	7	1	—	1	1	2	—
	鞍山	3	—	3	10	2	—	1	1	19	—

	地方	開業			產婆	看護婦	病院			藥種商	製藥者
		醫師	齒科醫	藥劑師			官立	私立	計		
州外	奉天	11	4	3	39	3	—	2	2	23	1
	本溪湖	3	—	—	14	2	—	1	1	2	—
	撫順	—	—	4	20	5	—	1	1	—	—
	鐵嶺	—	1	1	10	—	—	1	1	3	—
	開原	2	1	2	9	—	—	1	1	8	—
	長春	8	2	2	20	5	—	1	1	37	—
	四平街	1	—	1	4	1	—	1	1	6	—
	公主嶺	1	1	1	5	—	—	1	1	8	—
	安東	2	—	—	13	1	—	—	—	2	—
	總計	34	10	17	168	21	—	13	13	118	1
大正十年末		85	31	36	325	270	5	17	22	409	7
同九年末		90	30	29	243	235	5	17	22	385	5
同八年末		81	27	24	213	213	5	16	21	380	5
同七年末		77	25	24	202	193	5	17	22	361	3
同六年末		64	16	23	170	111	5	16	21	335	2
同五年末		54	14	22	165	82	5	16	21	275	3

病院 （大正十年三月）

地方	病院數	醫員	看護婦	（一年間）診療患者
旅順	3	17	50	20,388
大連	4	65	152	62,652
小崗子	1	1	2	11,561
沙河口	1	5	12	6,851
瓦房店	1	3	9	3,343
大石橋	1	2	5	3,577
遼陽	1	6	14	5,243

地方	病院數	職員	看護婦	(一年間)診療患者
鞍山	1	9	20	8,869
奉天	2	34	94	24,795
本溪湖	1	2	8	2,697
撫順	1	21	47	18,314
鐵嶺	1	5	13	4,235
開原	1	3	6	4,021
長春	1	13	30	10,069
四平街	1	5	8	3,484
公主嶺	1	3	9	21,282
總計	22	194	479	247,559

滿鐵醫院

名稱	位置	診療區域
大連醫院	大連	自大連至三十里堡(三十里堡及旅順を含む)
沙河口分院	沙河口	
瓦房店醫院	瓦房店	自三十里堡至蓋平(三十里堡及蓋平を含まず)
營口醫院	營口	自蓋平至湯崗子　(湯崗子を含まず) 自大石橋至營口
西營口分院	營口重盛街	
大石橋分院	大石橋	
鞍山醫院	鞍山	自湯崗子至首山(首山を含まず)
遼陽醫院	遼陽	自首山至沙河
奉天醫院	奉天	自沙河至新臺子(沙河及新臺子を含まず) 自奉天至石橋子 自蘇家屯至撫安
城内分院	大西關内	
鐵嶺醫院	鐵嶺	自新臺子至中固(中固を含まず)
開原醫院	開原	自中固至滿井
四平街醫院	四平街	自滿井至郭家店(滿井及郭家店を含まず)
公主嶺醫院	公主嶺	自郭家店至劉房子
長春醫院	長春	自劉房子至長春(劉房子を含まず)

名稱	位置	診療區域
城內分院	西三道溝	自劉房子至長春（劉房子を含まず）
本溪湖醫院	本溪湖	自石橋子至草河口（石橋子及草河口を含まず）
安東醫院	安東	自草河口至安東
撫順醫院	千金寨	自撫安至撫順（撫安を含まず）
吉林東洋醫院	吉林	吉林

上表醫院の外更に大連市内寺兒溝、熊岳城、海城、昌圖、橋頭、鷄冠山及附屬地外にあつては新民府、鄭家屯、法庫門、張家灣等に公醫を配して居るが將來必要に應し漸次增加する計畫である。

公醫は滿鐵地方部衞生課長の監督に屬し其任務特權等は關東州のものと略同樣である。

法定傳染病患者及死亡者一覽

病名		州內 日本人 男	州內 日本人 女	州內 中國人 男	州內 中國人 女
腸チブス	患者	211	166	18	—
	死亡	21	20	8	—
パラチブス	患者	73	44	3	2
	死亡	2	3	—	—
赤痢	患者	183	102	28	4
	死亡	12	4	16	2
コレラ	患者	—	—	—	—
	死亡	—	—	—	—
痘瘡	患者	236	132	176	91
	死亡	22	30	79	52
ジフテリヤ	患者	38	42	2	3
	死亡	2	6	—	—

病名		州內			
		日本人		中國人	
		男	女	男	女
猩紅熱	患者	97	57	2	—
	死亡	9	7	—	—
發疹チブス	患者	8	3	—	1
	死亡	—	—	—	—
流行性腦脊髓膜炎	患者	9	7	1	—
	死亡	7	4	1	—
再歸熱	患者	4	3	4	—
	死亡	—	—	—	—
百斯篤	患者	—	—	—	—
	死亡	—	—	—	—
計	患者	**859**	**556**	**233**	**101**
	死亡	**75**	**74**	**104**	**54**

病名		州外				合計			
		日本人		中國人		日本人		中國人	
		男	女	男	女	男	女	男	女
腸チブス	患者	273	174	22	—	**484**	**340**	**40**	—
	死亡	30	16	6	—	**51**	**36**	**14**	—
パラチブス	患者	53	26	3	—	**126**	**70**	**5**	**2**
	死亡	1	1	—	—	**3**	**4**	—	—
赤痢	患者	281	162	34	1	**464**	**264**	**62**	**5**
	死亡	20	19	4	1	**32**	**23**	**20**	**3**
コレラ	患者	—	—	—	—	—	—	—	—
	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
痘瘡	患者	86	49	41	6	**322**	**181**	**217**	**97**
	死亡	12	10	3	2	**34**	**40**	**82**	**54**

病名		州外				合計			
		日本人		中國人		日本人		中國人	
		男	女	男	女	男	女	男	女
ジフテリヤ	患者	22	11	—	—	60	53	2	3
	死亡	6	—	—	—	8	6	—	—
猩紅熱	患者	91	82	2	1	188	139	4	1
	死亡	24	13	—	1	33	20	—	1
發疹チブス	患者	17	5	31	—	25	8	31	1
	死亡	1	—	3	—	1	—	3	—
流行性腦脊髓膜炎	患者	2	—	—	—	11	7	1	—
	死亡	2	—	—	—	9	4	1	—
再歸熱	患者	2	—	52	—	6	3	56	—
	死亡	—	—	1	—	—	—	1	—
百斯篤	患者	—	—	29	—	—	—	29	—
	死亡	—	—	29	—	—	—	29	—
計	患者	827	509	214	8	1,686	1,065	447	109
	死亡	96	59	46	4	171	133	150	58

(二) 基督教會醫療機關

基督教會經營の醫療機關は中國本部と異るなく滿洲にても活躍して居るが、其の設備は舊式で滿鐵醫院には比較すべくもないので、滿鐵沿線からは漸次影を潜める傾向を持つて居る。然し宣教師が一面に布教し一面に醫療することは文化の低い中國では機宜を得た方法で、其の影響の大なるを見逃す譯に行かない。滿洲に於ける此の機關は「中國醫事衛生研究資料第一輯」の所載に依れば、一九一九年の狀況は、病院十六箇、病床六百五十六箇、醫師は外國人三十一名、中國人三名、同助手中國人六十一名、看護婦は外國人二名、中國人四十名で、入院患者三千三百三十八人、外來患者十八萬五千四百七十六人である。

醫育機關としては奉天にスコツトランド合同自由教會の經營の奉天醫科大學があつて、奉天醫院を併設し英國人十名、中國人二名の教員で五、六十名の生徒を教授して居るが至て不完全なもので、數ふる程のも

のでない。

（三） 中國側醫療機關

滿洲に於ける中國側經營の醫療機關は一九一〇、一一年の慘憺たる肺ペスト流行迄は何等素養なき開業醫に委ねたる儘顧みられなかつたが、此の大流行は世界の視聽を集め、遂に奉天に於て中國側主催の下に日、露、英、米、獨、佛、蘭、澳洪、伊、墨の十箇國の委員が參加して所謂國際防疫會議が開催せられた。其の提議の一として五箇の防疫病院が設けられることになつた。一九一四年迄に哈爾賓、黑河、三姓、同江の四病院は設置されたが、殘餘の一病院は遂に見るを得なかつた。然し此の病院はペスト防疫を主眼としたものであるが、平時の利用方法として一般患者の診療をした。此れが中國人の手に依つて設けられた醫療機關の濫觴である。而して此の統轄者は伍連德博士で、其の取扱患者數は下の如くである。

年別	哈爾賓	黑河	三姓	同江
一九一三年	19,167	7,548	4,139	1,820
一九一四年	19,395	7,231	3,684	1,338
一九一五年	14,587	7,173	3,693	1,221
一九一六年	10,652	6,847	3,740	1,018
一九一七年	10,501	6,394	4,046	1,018

尙營口に於ては一九一九年のコレラ流行の結果、翌二〇年に同性質の病院が設けられた。其の管理は哈爾賓の東三省防疫總處で、伍連德博士が院長を兼務して居る。

第二十　社會施設

滿洲に於ける社會事業は年々發達の域に進みつゝあることは悅ぶべきことである。之れは一面在滿邦人の社會生活が漸く固定して來た事を意味するものである。滿洲の社會政策は中國人と云ふものをも對象に有して居るだけ複雜性を帶びて居るが未だ日本人の手は充分其方面に延びて居らぬ。併し將來は日支人提携して社會事業の發展のために努力する事は甚だ望ましい事である。日人の斯種施設として現在發達しつゝあるものは滿鐵會社を中心として關東廳民間等相當の數に達して居るが之れを

分類すれば一般的社會機關、社會教育機關、救護機關、施療機關及び經濟機關等に分つ事が出來る。尙ほ中國側施設としては救療機關として頗る整頓したる大連市の宏濟善堂、奉天の同善堂があり教育機關としては大連中華靑年會がある、以下順を逐ふて紹介しやう。

1　一般的社會機關

滿洲社會事業研究會（大連市霧島町ヌ區十六號）　滿洲の各地都市が發達するにつれ大連を中心として各種の社會問題が生起しつゝあつて之を善導啓發する事は大に必要な事である。滿洲社會事業研究會は時代の趨勢に鑑み滿洲の社會的發達進步を計る目的を以て大正十一年五月創立された機關である。本會は會員組織にして每月一回「滿洲の社會」なる機關雜誌を發行し隨時研究會、講演會等を開いて社會事業の改善促進を計つて居る。現在の會長は金子雪齋氏、副會長は今景彥氏にして他に幹事、評議員等に依つて事務が行はれつゝある。

滿鐵會社施設の社會事業　一萬の社員と二萬六千の日支人勞働者を網羅して社業を運行して居る滿鐵會社はその從業者の爲めに生活の改善、幸福の增進に就て物質的にも精神的にも一般社會施設の必要な事は謂ふ迄もない。此の方面の事業に對し滿鐵會社は大正十一年一月以來社會課を設けて銳意努力を拂つて居る從來も慰籍部と云ふものがあつて社員のために相當盡す處があつたが時代の要求の結果一層積極的に社會事業を行はんとして居る。今社會課の分掌する事業を見るに調査、共濟、社宅、慰籍の四部に分れ此外に滿鐵社員に依つて經營されて居る消費組合があり、其他一般社會のために衞生、敎育、保安等の施設として圖書館の開設或は公園乃至遊步場等をも經營して居る。

滿鐵會社が社會施設のために年々費す處の經費は決して少額でない、之れ迄社宅經營のためは投じた費用のみに就いて云ふも既に三千萬圓を超過したと稱せられ居る。而かも社員に供すべき社宅は未だ全體の六割に滿たない狀態である。次きに共濟事業も仲々大きいもので大正九年三月末の加入社員數は二萬二千六百八十七人にして共濟人員は四千百六十五人其の金額五十二萬圓餘に達して居る。

大連市立職業紹介所　大連には以前私設の職業紹介所があつて身寄りの少い滿洲に在つて失職したものや內地から始めて渡航した無職

者のために世話を見て居たが完全なものではなかつた。それで大連市は大正十年九月以來市營職業紹介所を設立したが折柄の財界不況等のため失職者無職者類出の狀況にて同所に他頼るもの相當に多く直ちに就職し能はざるものに對しては宿泊をなさしめ內職を供給する等懇切に便宜を計つて居る。同所は近く結婚媒介の事業をも開始する計劃がある。開設以來大正十一年七月末日迄の同所取扱數は左の如くである。

求職	男	1,293	求人	男	517	就職	男	514
	女	158		女	197		女	82
	計	**1,451**		計	**744**		計	**596**

2 社會教育機關

圖書館 滿洲に於ける圖書館事業は滿鐵經營以外未だ他に施設されて居るものがない。

滿鐵營業圖書館成績一覽

（自大正十年四月一日
至大正十一年三月末日）

名稱	開館日數	圖書種別	總冊數	合計	一日平均閲覽人員
圖書館	331	常備洋書 常備和書	9,709 51,677	**41,932**	127
奉天圖書館	323	巡回 常備	452 8,287	**55,337**	171
北公園簡易圖書館	333	巡回 常備	0 6,058	**43,519**	131
電氣遊園簡易圖書館	325	巡回 常備	0 2,745	**56,037**	172
近江町簡易圖書館	332	巡回 常備	0 4,395	**14,621**	44
埠頭簡易圖書館	334	巡回 常備	0 6,204	**20,474**	61
沙河口簡易圖書館	332	巡回 常備	257 6,117	**39,862**	120
瓦房店簡易圖書館	336	巡回 常備	391 3,165	**30,136**	90
大石橋簡易圖書館	333	巡回 常備	381 3,344	**18,465**	55
營口簡易圖書館	322	巡回 常備	368 2,594	**15,132**	47
鞍山簡易圖書館	340	巡回 常備	499 6,182	**29,135**	86
遼陽簡易圖書館	335	巡回 常備	500 4,714	**27,916**	83

名稱	開館日數	圖書種別	總册數	合計	一日平均閲覽人員
鐵嶺簡易圖書館	335	巡回 常備	360 4,958	21,301	64
開原簡易圖書館	293	巡回 常備	614 3,002	14,844	51
四平街簡易圖書館	333	巡回 常備	357 2,959	17,765	53
公主嶺簡易圖書館	336	巡回 常備	372 4,247	21,857	65
長春簡易圖書館	330	巡回 常備	373 5,241	59,145	58
本溪湖簡易圖書館	320	巡回 常備	389 3,554	13,540	42
安東簡易圖書館	334	巡回 常備	399 5,275	47,391	142
撫順簡易圖書館	330	巡回 常備	722 9,378	64,116	194
計	8,587	巡回 常備	6,434 153,832	652,526	1,983

名稱	開館日數	圖書種別	讀者會員數	閲覽料金	帶出册數	帶出人員
圖書館	331	常備 洋書 和書	0	円 866.12	990 5,297	2,822
奉天圖書館	323	巡回 常備	5,579	690.62	2,426 13,304	8,086
北公園簡易圖書館	333	巡回 常備	3,685	578.30	24 16,392	10,423
電氣遊園簡易圖書館	325	巡回 常備	3,603	459.95	2,812 11,123	8,380
近江町簡易圖書館	332	巡回 常備	2,011	277.30	172 16,955	12,632
埠頭簡易圖書館	334	巡回 常備	1,700	271.35	0 10,150	6,191
沙河口簡易圖書館	332	巡回 常備	7,617	1,155.81	907 26,860	21,358
瓦房店簡易圖書館	336	巡回 常備	4,850	609.69	1,636 12,153	9,778
大石橋簡易圖書館	333	巡回 常備	4,281	625.87	1,258 10,906	9,562
營口簡易圖書館	322	巡回 常備	3,728	440.38	450 6,149	5,883
鞍山簡易圖書館	340	巡回 常備	7,399	924.55	4,119 19,648	14,780
遼陽簡易圖書館	335	巡回 常備	5,998	879.07	2,221 11,954	10,430
鐵嶺簡易圖書館	335	巡回 常備	4,036	463.68	1,543 11,156	10,884

名稱	開館日數	圖書種別	讀者會員數	閱覽料金	帶出册數	帶出人員
開原簡易圖書館	293	巡回 常備	1,739	円 268.45	2,276 4,821	5,055
四平街簡易圖書館	333	巡回 常備	4,293	627.83	2,632 11,056	7,524
公主嶺簡易圖書館	336	巡回 常備	5,545	770.47	1,950 12,909	9,551
長春簡易圖書館	330	巡回 常備	9,354	1,635.29	14,068 18,494	18,414
本溪湖簡易圖書館	320	巡回 常備	3,513	472.75	1,024 7,122	7,456
安東簡易圖書館	334	巡回 常備	3,063	379.40	3,149 6,054	7,392
撫順簡易圖書館	330	巡回 常備	12,609	1,676.50	3,095 15,653	12,073
計	**6,587**	巡回 常備	**94,603**	**14,163.38**	**45,762** **249,137**	**193,675**

博物館 關東廳の設立にかゝるものに博物本館と考古分館の二あり外に陸海軍の管轄に屬する戰利品紀念陳列館あり共に旅順に存在して居る博物館はもと滿蒙物產館と稱し大正六年四月開館にかゝり今の考古分館の建物を使用して居たが其後組織を變更し規模を大にして大正八年本館を新築し名稱を關東廳博物館と改め元の物產館を考古館と改めた。滿蒙に於ける歷史風俗學術技藝其他參考となるべき諸般の資料を蒐集保存し公衆の觀覽に供して居る。その組織は動物部、植物部、水產部、鑛物部、風俗部、考古部、圖書部、參考部に分れ考古品圖書類には大谷光瑞氏の蒐集された中國、西藏、印度等に關する貴重なる資料を保管して居る。

戰利品記念陳列館は日露戰役に於ける戰利品を主とし旅順要塞戰の紀念物が最も多い同戰役に關する記錄寫眞類が陳列されて居る。

旅順博物館觀覽者數　(大正十年)

月別	博物館		考古館		戰利品記念館	
	開館日數	觀覽人員	開館日數	觀覽人員	開館日數	觀覽人員
1	22	6,207	22	1,766	—	—
2	23	11,328	23	5,228	—	—
3	26	8,781	26	4,215	—	—
4	26	5,386	26	2,434	25	3,478

月別	博物館		考古館		戰利品記念館	
	開館日數	觀覽人員	開館日數	觀覽人員	開館日數	觀覽人員
5	25	8,322	25	4,268	26	2,913
6	25	4,582	25	2,464	24	2,166
7	27	3,678	27	2,038	27	1,805
8	24	4,759	26	2,844	26	3,150
9	23	3,175	23	2,270	24	1,870
10	27	7,111	27	3,043	28	2,777
11	22	9,929	22	908	24	1,077
12	23	1,396	23	518	23	329
計	**295**	**74,975**	**295**	**32,178**	**229**	**19,565**
大正九年	294	76,831	307	38,478	—	—

大連基督教青年會（大連市敷島町） 本會は大正元年に創立せられ講堂、寄宿舍、體育室、社交室、讀書室其他食堂、浴室等を具備する宏壯なる建物を有し青年の社交並修養機關として現在八百名の會員がある。施設事業としては宗教講演、聖書研究、英語夜學校、通俗講演各種體育及び音樂等の各部に分れて活動して居る。

大陸青年團（大連市近江町） 本團は明治四十二年四月の設立で大正十一年六月財團法人となつた金子雪齋翁の主幹する處で青年學生の修養機關で寄宿寮振東學舍を附屬し現在四十以上の學生を收容して居る目下會員一千名を數ふ。

其他各地の青年團 其他邦人青年の修養に資して居る各地の青年團は下の如くである。

會名	會員	主幹者	會名	會員	主幹者
旅順青年團	28	中井新太郎	安東青年團	93	廣瀬傳喜
熊岳城青年會	96	家入佐三	開原青年團	61	神保太仲
大石橋青年團	211	折口愛助	四平街青年談話會	224	富田廣吉
奉天青年團	400	鶴田永太郎	長春青年團	156	藤川卯作
撫順青年團	150	—	營口青年團	225	清水八百一

3 施療機關

滿洲に於ける赤十字社 日本赤十字社の滿洲方面に於ける事業は滿洲委員部の名に依つて活動して居る。その委員部は旅順關東廳內に設け南北滿洲各地十二箇所の都市に支部を置き大正十年末現在の社員總數は五萬三千七百〇六人內日本人二萬六千四百九十八人、外國人(主として中國人)二萬七千二百〇八人ある本委員部の財產は七十九萬四千九百七十八圓餘にして年經費總額は十四萬四千六百〇六圓を算し事業として奉天病院の經營以外南北滿洲及び蒙古各地に涉り十六箇所の救療所を設置し外に巡回救療事業を行つて居る。

每年一回主要地方に於て總會を催し社業の現勢を報告して居る大正十一年は大連に開催された。尙ほ十一年度中に於て特記すべきは奉直戰爭に際し戰病者救護に從事し中國側から感謝された事である。下表病院竝救護所別に依り救療患者取扱數を示し活動の一般を記す。

赤十字社救療患者取扱數

(大正十年末現在)

所名	普通	救療	所名	普通	救療
奉天病院	4,507	2,495	農安救療所	2,428	1,038
錦州救療所	8,541	707	吉林同	14,756	6,002
新民府同	947	—	張家灣同	4,457	729
安東同	7,457	1,087	雙城堡同	3,783	921
通化同	1,064	146	齊々哈爾同	8,428	480
掏鹿同	8,201	1,211	赤峰同	354	123
大疙疸同	4,828	1,080	芝罘同	7,275	386
海龍同	1,655	759	巡回救療	8	1,095
法庫門同	3,915	477	合計	84,490	19,175
伊通州同	1,886	439			

大連慈惠病院(大連市播磨町) 明治三十九年九月當地在住の基督敎徒信者有志によりて設立せられたもので大正四年三月財團法人組織となし大正六年九月創立十二年の記念事業として市內播磨町に宏壯なる病棟を新築した本院の事業は中日両國人の下級貧困者のため施藥救療を目的とし有產者にも實費を以て診療して居る。又民政署、市役所及び赤十字社其他の委託により罹災病者を收容し最近の入院患者は九十餘名に

外來患者百餘名に達して居る。猶ほ市内伏見臺に分院を設け精神病者を收容して居る。現在の理事長は柴田博陽氏、理事勝保喜十郎、三好三郎兩氏にして醫長は醫學士梶貞三氏以下献身的に盡して居る。

4　救護機關

救世軍婦人育兒ホーム　（大連市播磨町）　明治三十九年四月滿洲婦人救濟會として開設せられ當時誘拐其他の手段で渡滿して來た婦人の救濟を目的としたのであつたが同年九月救世軍に此の事業を引繼ぐと同時に更らに孤兒貧兒等にして他に賴る邊なきものをも收容保護する事とし救世軍婦人育兒ホームと改稱し活動を始めた。曩に大連市飛彈町に宿舍を有して居たが火災のために燒失したので大正四年九月市内播磨町に宿舍及び事務所を新築し益々内容を改善して現在に及んで居る。

本事業創設以來今日迄に救濟保護を與へたものゝ數は婦人に於て一千二百九十一名、兒童に於て三百六十九名を算し其種類からすれば婦人は醜業婦人、家庭不和に依る家出婦人、離婚者、姙婦、寡婦其他にして兒童の方面では委託兒（親戚知已又は警務署等より委託）、貧兒、孤兒、被虐待兒。感化兒、棄兒、浮浪兒、其他である、最近大正十年中一箇年間に於ける救護狀況は下の如くである。

被保護兒童　七十七名（内前年より繰越人員五十二名、本年收容人員二十五名）

收容事由—父の死亡、行衞不明、病氣にて生活難、母の離別、等

被救濟婦人　二十七名（内前年より繰越人員五名、本年收容人員十三名、再收容九名）

勞働保護會　（大連市松林町）　創立は明治三十九年大井憲太郎、上田平助、齋藤守衞門諸氏の發起になつたもので本來の目的は内地より勞働者を招致して保護を加へるにあつたが中國勞働者に對抗する事は到底不可能な問題であるので中途目的を變更して失業者の救濟、免囚者の保護等に從事する事になり現在に至つて居る。目下の事業としては宿舍の建築畑地の耕作、殖林、塵紙製造其他勞力の供給等をやつて居る、現在の經營者は永井淑氏にして平常寄宿舍には三十名内外の被保護者が收容されて居る。

財團法人爲仁會　（大連市外聖德街）　本會は大正十年六月設立され免囚保護事業を目的とする現在事務所を兼ねた收容室が四箇ありて

短期の刑を終へ改悛の情あるものに限り保護して居る。收容者に對しては一面宗教的訓練を與へ一面職業を授けて正業に就くべき途を講じて居る。會の經費は基本金五千圓の利子と官廳よりの補助金及び一般の寄附金其他に依つて經營され收容者の所得勞銀は食料の實費を差引き殘額は之を悉く貯蓄せしめて居る。開所以來已に四十餘名の免囚者に保護を與へた。

支那側救療機關

宏濟善堂 （大連市小崗子） 本事業は明治四十一年四月開設されたもので目的事業は中國人に對する恤寡、撫孤、育嬰、養老、戒煙、(阿片中毒者)、施棺、義葬、濟困等に對する施設をして居る。附屬の機關宏濟病院があつて施藥救療に從事して居る、目下同所に收容して居るもの養老十名、育嬰四十五名で災困、恤寡隨時臨機の救濟を行つて居る、病院には現に入病患者五十名、外來患者日々百名以上を數へる病者の中最も多いものは消化器病と花柳病なりとの事である、現在同堂の基本金は不動產を加へて十萬餘圓あり年々關東廳から九千圓の補助がある。

同善堂 （奉天 城外大西關高臺廟） 奉天に於ける同善堂は中國側の社會事業として頗る完備した施設を有して居る。その住房一百五十間外に貧民習藝所に充てられた住房三十間を附屬し孤兒院、濟良所、棲流所女子實業學校、施醫院牛痘局等の各機關を包擁した居る、同善堂は今より三十年前將軍左寶貴の時代に創立され奉天官署の保護の下に漸次發達したものである。現今は堂所有の預金家屋、土地等よりの收入と一般の寄附とに依つて事業を經營し年々多少の剩餘を生じて居る。最近の報告によれば民國三、四、五年の三箇年間に於ける同堂の收入は九萬六千三百三十三元にして支出は九萬二千九百〇八元となり六、七、八年三箇年間の收入は十三萬五千七百九十九元、支出は十一萬三千三百四十六元となつて居る。今同善堂附屬各機關の狀況を見るに左の如くである。

(イ)棲流所　貧困、癈疾、浮浪者等を收容する所である。

民國六年	入所者數	舊345	新852	領出526	逃亡223	死亡163
同　七年	同	同285	同2,015	同 641	同 238	同 167
同　八年	同	同254	同738	同 146	同 438	同 239

(ロ)女子實業學校　貧民學校である學級を甲乙丙に分ち每級生徒の定員五十名とし學科は普通學の外手藝を授け成績製品を販賣して六割

は之を生徒に與へ二割は職員の報酬二割は學科の研究費に充つ。

(ハ)施醫院　醫師六名外に藥劑士がある主として漢法に依つて居る。

民國六、七、八年三箇年間の施療數は

男	内症	16,791	女	内症	56,601	小兒	内症	19,528
	外症	7,812		外症	9,887		外症	8,902

(ニ)牛痘局　天然痘豫防のため種痘をなす處である最近六、七、八年三箇年間の定期臨時共に接種者は六千二百三十三人(男2,592 女3,641)である。

(ホ)濟良所　賤業婦救濟を目的として居る。最近の狀況は

民國六年	入所者數 51	舊 18 新 33	結婚	16	死亡	—	保護又は主家に再歸せるもの	0
同　七年	同 75	同 35 同 40	同	15	同	1		32
同　八年	同 54	同 27 同 27	同	12	同	1		20

(ヘ)孤兒院　私生兒救生所をも附設し醫院入口の墻壁に方三尺ばかりの孔を穿ちそれに自働開閉扉が附いて居て夜陰等に密かにその嬰兒を此の孔の中に遺置する樣な設備をしてあるなどは頗る行屆いたものである。

六年在所	16	(男　9人　女　7人)	出院	1	死亡	—
七年同	34	(男　22人　女　12人)	同	3	同	6
八年同	38	(男　22人　女　19人)	同	17	同	9

中華青年會　大連在住の中國青年の敎化機關として大正九年六月設立されたもので目下會員八百人餘を擁する有力なる團體である。本會の事業は教育部、運動部、出版部に分れ教育施設として現在經營して居るものに中國人の子弟のため尋常高等小學校と夜學補習學校を開始し每週講演會を開催して居る。運動部は大正十一年五月滿鐵運動場に於て中華青年運動大會を催して非常に盛況を極めた。現在會長には傅立魚氏、副會長には楊鳳鳴氏他に董事十人あつて會務に盡力して居る、基本金二萬圓伏見臺に會館を有し子弟のために寄宿舍をも設備して居る。

第二十一　運動娛樂

(一)　滿洲日本人運動界の概況

滿洲は氣候の關係上運動のシーズン內地に比して短く每年五月から十月中旬迄の約半箇年間であるが此期間は野球を始め各種の運動競技が盛んに行はれる。最も普及せる運動としては野球であつて大連に於ける二大チーム實業團及び滿洲倶樂部が本夏內地一流チームたる大每、法政等の遠征軍を向ふに廻はして花々しい健鬪振りを見せ又新興の强チームとしては全奉天軍を有する事等は滿洲運動界の誇りである。庭球も野球に次で洽く行はれ如何なる會社商店にも之等のチームを有さないものは殆どない位である。其他の競技に於ても今回全滿洲競技聯合が成立した結果極東オリムピツク、萬國オリムピツクに對し全日本の代表撰手權決定競技が行はれる場合には本聯合の名によつて滿洲の代表選手を出場せしめ得る事となつたので滿洲に於ける運動競技は將來益々發達することく豫期せられる。

1. 全滿洲競技聯合成立

本年の滿洲運動界にとり特筆すべき出來事は本聯合の成立である。滿洲在住青年間に於ける競技に對する熱情は從來蔚勃たるものがあつたが今迄是等青年を指導する適當な機關を缺いて居た爲滿洲の競技界は充分なる發達を遂げ得なかつた狀態を遺憾とし滿鐵運動部を中心として本聯合の設立が企圖せられ六月十二日之れが設立委員會を開き種々協議を遂げ八月三十日ヤマトホテルに於て發會式を擧行した。本聯合は一方日本固有の柔劍道や滿洲の特徵とも云ふべき氷滑の發達を促し乍ら他方に於ては此の世界的競技思想の中に立つて、將來全滿洲に於ける健實なる公共機關たらしむる爲に本聯合を陸上競技、水泳、野球、庭球、柔道、劍道、氷滑の七部に分ち其中で旣に發達せる競技に對しては能ふ限り適當な競技の機會を與へ、未發達のものに對しては奬勵指導の機關となり年々滿洲に於ける名部の選手權競技會を開き又全日本の代表選手權決定競

技に本聯合の名によつて滿洲の代表選手を出場せしむる等の具體的事業を行はんとするものである。

2. 野　　球

大正十一年のシーズンには立教、法政、運動協會、山口高商等諸チームが相踵いて來征し又艦隊チーム、相撲團チーム等の飛入りもあつて滿洲野球界は頗る活氣を呈した本年中の主なる試合は下の通りである。

滿俱實業混合試合　大正十一年滿洲野球史劈頭を飾る滿洲俱樂部對大連實業團の恒例混合試合は四月三日開催紅白兩軍に分れて戰つたが四A對二で紅の勝〔主催〕滿洲日々新聞社

第五回實業野球大會〔主催〕遼東新報　四月九、十六、二十六日

	勝	得點	敗	勝	得點	敗
△第一勝戰	鈴木	11 — 9	原田組	滿日	15 —13	高田
	大汽	23 — 7	三井(A組)			
△第二勝戰	三菱	12 —10	鈴木	滿日	26 — 4	日本實業
	三井	18 A—12	大汽(二回戰)			
△優勝戰	三菱	17 A— 5	滿日(B組)	三井	12 — 8	大汽(A組)

第七回關東州野球大會　四月三十日より開催、參加チーム及成績は次の通りである。

	勝	得點	敗	勝	得點	敗
△第一勝戰	旅中	11 — 2	銀行團	工業	10 — 1	遞信
	三井	10 — 4	線路	商業	3 — 1	電氣
	地方	3 — 1	埠頭	若葉	3 — 2	工大
	用度	14 — 3	大汽	工場	6 — 1	聖德
△第二勝戰	三井	8 A— 3	旅中	商業	7 A— 3	若葉
	工業	2 — 1	地方	工場	4 — 3	用度
△優勝戰	三井	6 — 3	工場			

滿俱對實業春季戰　六月四日擧行四對二で實業の勝利

第二回少年野球大會　六月五日から開かれ一、二勝戰を經て十一日の優勝戰では　大連高小對沙河口高小二對六大高小勝　第三小學對第二小學五對三で第三の勝

第一艦隊歡迎戰 同艦隊の旅大回航に際し艦隊對當地二大チームの野球戰が開かれた。

艦隊對實業戰 六月二十九日擧行 海軍チームとの試合は初めての事とて頗る興味を惹いたが六A對五で實業の勝。

艦隊對滿倶戰 三十日開催 九A對一で海軍又敗戰。

日本運動協會軍來征 本邦唯一職業野球團たる同協會野球團は押川氏引率の下に鮮滿各地に遠征を企て既に奉天に敗れたが撫順軍を十一A對五で一蹴し其の餘勢を以つて大連軍と一戰を交ふべく七月八日來連。

協會對實業戰 第一回は七月九日開かれたが實業團利あらず三對一で協會に名を爲さしめた。第二回は七月十一日擧行七對三で對業復讐。決勝戰は十三日催されたが六對二で實業最後の捷を得た。

協會對滿倶戰 第一回は七月十六日開催五回目迄兩軍得點なく六回に入り滿倶一擧三點を收めたので協會側大いに焦立ち恢復を計つたが大勢既に決し遂に三對零で滿倶の勝。第二回は十九日擧行協會最初より滿倶を壓し第五回裏四球と安打で一擧三點を得て士氣振ひ滿倶苦戰に陷つたが滿倶もさるもの第七回に二點を奪還したが可惜遂に一點の差で敗れた。

立教對實業戰 第一回は八月七日七對二で第二回は同九日六對一で實業の勝利。

立教對滿倶戰 第一回は八月十四日開催立教は竹中、太田滿倶は岸、片岡のバッテリーで兩軍必死となり大接戰を演じたが結局三對二で滿倶勝つ。第二回 八月十六日 滿倶眞田尾家のバッテリー大に振るひ安打又安打に立教軍の守備潰れ遂に十對零で慘敗。

全國中學滿洲豫選大會 〔主催〕工科大學遼東新報

六月十一、(大連)十八、(旅順)二十二、二十五日、(大連)參加チーム大連商業、南滿工業、旅順中學。

△商業 8—1旅中 △工業 5—4旅中 △工業 4—3商業

△商業 5—0工業(第二回戰) △工業 3—2商業(工業優勝)

南滿工業の內地遠征 大阪朝日新聞主催の第八回全國中等學校優勝野球大會に出場すべく渡日した工業チームは八月十四日京都立命館

さの試合に六A對三で敗れた。

法政對滿倶戰 第一回戰八月二十日、兩軍よく打ちよく守り第三回に滿倶最初の一點を占めて意氣やゝ揚り第四回岩田の生還に更に一點を加へたが第五回法政二點を奪回し第七回迄同點で進んだが薄暮迫り球筋見へず遂にドロンゲームとなる。第二回戰八月二十二日　前回の緊張せる試合ぶりより推して如何なる波瀾を捲起すかと多大の興味を以て迎へられたが第一回に滿倶先づ一點を占め第三回と第七回に滿倶各一點を得遂に三對零で滿倶勝つ。第三回戰は八月二十三日開かれたが第二回戰に零敗した法政軍は猛然起つて遂に六對四で滿倶を破つた。

實業團奉天遠征 常勝を誇つた大連實業團は奉天に遠征し新興の強チーム奉天軍と八月二十日對戰したが一A對零で實業敗れた。

法政對實業戰 第一回は八月二十五日開催實業大捷十二對三、第二回は二十七日擧行奮起した法政軍の打擊大いに振るひ十一對六で法政の勝、決勝戰は二十八日行はれたが實業大に振るひ法政善戰大いに努めたが及ばず八回ゲーム八對四で實業大捷。

山口高商對滿倶戰 八月二十九日八對零滿倶勝。

山口高商對實業戰 八月三十一日十五對零實業勝。

大每野球團來征 大每對實業戰　滿洲に入つてから撫順、長春哈爾賓、奉天と當るを幸ひ薙ぎ倒して來連した遠來の强敵大每を迎へファンの血を湧き返へらせた對實業の第一回戰は九月六日開かれたが結果は五對二で大每の勝利に歸し翌七日の第二回戰に於ても大每の攻守共に振るひ九對三で再び大每をして名を爲さしめた。

大每對滿倶戰　第一回戰九月九日、滿倶軍攻守共に水際立ち四A對一のスコアで鮮やかに强敵大每を屠り去つた、第二回戰九月十一日は滿倶軍の當て主義奏功大每濱崎投手亂打され小野代つて喰ひ止めたが時既に遲く五對一で又も大每軍を擊破した兩軍の成績次の通りである。

	打數	得點	安打	盜壘	犧打	三振	四球	殘壘	失策	
										▲審判安藤(球)坂本(壘)
大每	29	1	3	1	0	5	1	2	5	▲三壘打一片岡(滿)
滿倶	30	5	6	1	1	6	4	6	3	▲ 重殺大每一

第七回全滿洲野球大會 九月十八日より奉天に於て開催、參加チーム成績次の通り

勝	得點	敗	勝	得點	敗
撫順	7A—3	長春	奉天	5A—0	大連商業
奉天	2A—0	長春	滿俱	3A—0	撫順

優勝戰(九月二十日)滿俱 6A—0 奉天

滿俱對實業秋季戰 九月三日の本試合では四對二で滿洲野球界の霸權は遂に實業の握る處となつた。

全滿洲野球團 主なるものを列擧すれば

大連 實業俱樂部、滿洲俱樂部、三井、大汽、線路、地方、埠頭、用度、工場、電氣、若葉、三菱、遞信、聖德、工業、商業、銀行團、滿日等。

旅順 關東廳、土地調査、工大、旅中。

營口 滿鐵、東亞、銀行、滿福、ミカドの五俱樂部。

大石橋 機關區團、みどり俱樂部。

遼陽 全遼陽、驛、工場、機關區、實業團、鐵道俱樂部(驛機關區)

鞍山 工務、鞍山、工事、大成の四俱樂部、製造團、實業團。

奉天 全奉天、輔仁會、工務。

鐵嶺 全鐵嶺、滿鐵、實業。

開原 驛、株友、エツクス、實業。

長春 商業、地方、驛、吉長、機關區、郵便局、特產、ブラツクダイヤ、銀行、レツド、天狗。

安東 全安東、實業(青年、オールド)滿鐵(驛、機關區及聯合)

哈爾賓 松浦商會、領鐵(領事館、公所)オールドスター、東北(北滿電氣、東拓)、ダイヤモンド、日露協會。

3 庭球

概況 庭球も野球に次で廣く行はれて居る。昨年の秋頃より漸次硬球の使用を始める樣になり本年に入つて全滿硬球を採用するに至り今夏競技聯合の主催で內地一流選手を迎へてこれと試合を爲し硬球に依る練習方法、試合方法等の技術上に於て得る所が少くなかつた今大連に於ける本年中の主なる試合を擧ぐれば次の通りである。

三俱樂部リーグ戰 (第一回)十月三日北公園コートに於て開催スター對鞍馬(鞍馬勝)その試合中優退組及優勝戰の結果次の如し。

優退組

◎(永原 安住)(スター) 3—1 (土森 家原) 3—0 (安井 村上)

◎(藤丸 岡)(鞍　馬) 3—2 (山下 滿岡) 3—0 (近藤 田崎)

◎(改野 小山)(鞍　馬) 3—0 (杉本 加藤) 3—1 (楡居 中村)

◎(杉山 横澤)(スター) 3—0 (山崎 白土) 3—0 (野中 久米)

◎(改野 小山)(　同　) 3—1 (堀 山崎) 3—0 (田中 關屋)

優勝戰

◎(改野 岡)(鞍　馬) 3—0 (永原 安住)(スター) 3—0 (杉山 横澤)(　同　)

(第二回)十月十五日開催、O.B. 對スター (スター勝)

優退組

◎(山下 小嶺)(スター) 3—1 (坂東 平野) 3—2 (松村 野口)

◎(西尾 滿岡)(スター) 3—1 (兒玉 小畑) 3—0 (石田 增田)

◎(杉本 安住)(スター) 3—0 (岩切 尾上) 3—2 (加藤 勝間)

◎(齋藤 樋口)(O.　B.) 3—2 (田中 關屋) 3—0 (永原 林)

◎(寺師 毛利)(O.　B.) 3—2 (堀 牧) 3—1 (近藤 中村)

優勝戰

○(齋藤 樋口)(O.　B.)3—1(山下 小嶺)　○(寺師 毛利)(O.　B.)3—2(西尾 滿岡)

◎(杉本 安住)(スター) 3—2 (寺師 毛利) 3—1 (齋藤 樋口)

O. B. 對鞍馬戰　十月七日(鞍馬優勝)

優退組

◎(百田 村田)(鞍　馬) 3—0 (松村 野口) 3—2 (松山 增田)

◎(藤丸 岡)(鞍　馬) 3—2 (齋藤 樋口) 3—1 (石田 石神)

◎ 吹野・小山（鞍馬）	3	2	兒玉・小畑
	3	2	坂東・石神
◎ 山崎・白土（鞍馬）	3	1	蛇口・吉田
	3	2	寺師・毛利

不戰組（鞍馬）

（宮田・渡邊）　（土森・家原）　（安井・神村）

内地一流選手來連　全滿洲競技聯合主催各校友後援にて内地各大學及專門學校一流選手を招待したが一行は八月二日著連した、その氏名は次の通りである。

監督　斜重敬喜　（東大）木島吾一　（京大）四角誠一　（商大）平田重傳　（關西學院）吉田嘉壽男　（早大）川妻柳三　（早大）渡邊耕治（慶大）須田治彌　（大阪高商）奥野彌三郎　（東高師）太田芳郎

遠征軍對大連軍試合　八月四、五日開催、其の成績次の通り。

單仕合

○川妻（早大）	6-4, 8-6	和田（滿鐵）
○四角（京大）	6-3, 3-6, 棄權	石川（三井）
○須田（慶大）	6-4, 4-6, 6-0	大串（滿鐵）
吉田（關西）	6-2, 4-6, 2-6	小館（〃）
○太田（高師）	6-2, 6-2	山崎（〃）
奥野（大高商）	3-6, 4-6	○岡部（〃）
○木島（東大）	8-3, 棄權	大串（〃）
平田（商大）	6-8, 1-6	○石川（三井）
渡邊（關西）	6-4, 1-6, 3-6	○山崎（滿鐵）
太田（高師）	2-6, 中止	小館（〃）

複仕合

○奥野（大高商）・四角（京大）	6-0, 6-2	大串・勸修寺（滿鐵）
○須田（慶大）・木島（東大）	6-2, 2-6, 2-6	岡部（滿鐵）・藤田（三井）
松田・平田（商大）	0-6, 0-6	○和田・森（滿鐵）
○吉田・渡邊（關西）	7-5, 6-4	山崎・小館（〃）
○太田（高師）・川妻（早大）	6-4, 6-2	石川・伊達（三井）
○松田・平田（商大）	6-1, 6-4	大串・勸修寺（滿鐵）
○須田（東大）・木島（慶大）	6-0, 7-5	川上（滿鐵）・藤田（三井）
吉田・渡邊（關西）	1-6, 3-6	○石川・伊達（三井）
四角（京大）・奥野（大高商）	4-6, 4-6	○和田・森（滿鐵）
○太田（高師）・川妻（早大）	6-2, 6-2	山崎・小館（〃）

遠征軍模範ゲーム　八月六日開催、早川社長、大藏、赤羽両理事の來場があつた。

單仕合

四角（京大）6—0, 6—3 川妻（早大）	渡邊（關西）6—4, 6—1 須田（慶大）
木島（東大）4—6, 7—5, 6—3 平田（商大）	太田（高師）6—2, 6—2 吉田（關西）
四角（京大）6—2, 6—3 小館（滿鐵）	木島（東大）6—3, 棄權 大串（滿鐵）

複仕合 太田（高師）・川妻（早大）6—2, 6—4 吉田（關西）・須田（慶大）

大連滿鐵庭球部トーナメント　八月下旬より大連滿鐵庭球部にては十月下旬開かるべき極東オリムピック第一次豫選に出場すべき選手竝に選手の順位を定める爲にトーナメントを行つた結果次の通りである。

第一	和田—川上（棄權）	山崎 7—5, 6—3 小館	山崎—伊藤（棄權）
	小館 8—6, 1—6, 7—5 勸修寺	伊藤 6—1, 3—6, 6—4 中村	
	山崎—飯河（棄權）	山崎 6—2, 6—1 和田	
	伊藤 6—1, 6—2 榊原	伊藤 3—6, 6—3, 6—2 森	
	中村 6—2, 6—4 田中		
	森 6—1, 5—7, 6—3 大串		
第二	大串 3—6, 6—3, 6—2 小館	大串 4—6, 6—0, 6—0 和田	大串 8—6, 6—1 勸修寺
	和田 6—3, 3—6, 6—3 森	勸修寺 6—1, 6—3 川上	
	勸修寺—中村（棄權）		
	川上—榊原（棄權）		
第三	小館—榊原（棄權）	小館 7—5, 6—1 森	小館 1—6, 6—4, 6—4 和田
	森—勸修寺（棄權）	和田 1—6, 6—4, 6—4 中村	
	中村—川上（棄權）		
第四	森 6—1, 6—4 榊原	森—和田（棄權）	（和田・森）10—8, 7—5, 4—6, 6—8, 6—2 大串・勸修寺
	和田—勸修寺（棄權）		（山崎・小館）6—2, 6—3, 6—3 和田・森
	森 6—2, 6—3 中村		
	和田—川上（棄權）		

全滿洲庭球大會 （極東オリムピツク第一次豫選）

〔主催〕 全滿洲競技聯合　十月二十二日

單仕合

勝者	スコア	敗者
小館（大連）	1—6, 3—6, 6—1, 9—7, 6—2	加藤（奉天）
前田（奉天）	6—4, 11—9, 6—1	大串（大連）
山崎（大連）	6—0, 6—2, 4—6, 6—0	倉智（撫順）
小館	6—3, 2—6, 6—3	前田

小館—山崎
（日沒に付決勝延期）

複仕合

勝者	スコア	敗者
和田・森（大連）	6—2, 6—3, 6—3	前田・大小田（奉天）
山崎・小館（大連）	6—1, 6—3, 6—2	花室・葛山（撫順）

和田・森—山崎・小館（日沒に付決勝延期）

4. 蹴球

全滿蹴球大會 全滿競技聯合主催にかゝる全滿蹴球選手權大會の第一勝者戰は十二月三日次の各地に於て行はれたがその成績は下の通りである。

	勝	得點	敗	勝	得點	敗
△大連	外人團	7—0	中華青年會	△旅順師範學堂		工科大學
	大連中學	1—0	南滿工業	△奉天醫科大學		南滿中學

第二勝戰は十日開催、外人團對醫大は二對一外人勝。大中對師範一對一大中勝（隅蹴三） 決勝戰　外人對中學三對零外人優勝。

5. ゴルフ

ゴルフの行はるゝ範圍は極めて狹く大連の一部紳士間に行はるゝに過ぎない。從つてゴルフ場も大連郊外星ケ浦に一箇を有するのみである。

6. スケート

壯快な冬季の戸外運動として滿洲にはスケートを措いて他にない。滿洲各地到る處行はれざるはないが就中盛んなのは大連、奉天、安東の三箇處で大連は從來南山麓の貯水地春日池等のリンクに於て盛んに行はれ前者は從來滿鐵運動部の主管であつたが本年度より市役所の手に移り無料で一般に開放し夜間も使用出來る設備を加へられた。奉天に於ては每年滿洲氷滑大會が擧行せられる。安東は鴨綠江といふ自然の大リンクを有する爲之れ亦頗る盛んであつて每年滿鮮スケート大會が開催せられる。

7. トラツク及フイールド

滿鐵運動會陸上競技記錄 （大正十一年五月七日）△百米11秒

⅘田島貞夫(工業學校)△二百米24秒 3/5 增田定治(地方)△四百米57秒⅘關屋政一(地方)△八百米2 分11秒 2/5 相馬勇三(埠頭)△千五百米 4分47秒相馬勇三△千六百米リレー 3分50秒⅘工業學校テーム (田島、柴田、柳井、兒玉)△槍投43米60岡田誠矣(運輸)△砲丸投 十二封度)12米20山内敬二(社長室)△走高跳 1米52田村道堅 (經理) △走巾跳 5米56佐川親雄(大連中學) △棒高跳 2米90高橋俊夫(埠頭)

極東大會全滿洲豫選會記錄 大正十一年十月十五日(主催)全滿洲競技聯合△百米11秒增田定治△二百米24秒6 增田定治△四百米55秒4 相生四郎△八百米 2分20秒2相馬△千五百米4分46秒相生△走巾跳 5米97大竹正則△走高跳 1米56上島和夫△棒高跳 3米高橋俊男△ホップ11米95大竹△圓盤投25米50白井敏彥△砲丸投11米33山内敬二△五種競技10德永誓△槍投45米18岡田誠矣△一萬米35分17秒2 三枝常吉▲備考△天候快晴南微風△トラツクコンデションー百米直線、二百五十米一周△氣溫華氏七四度。

8. 水　　泳

青島水泳部の來征 昨夏大連軍の遠征に敗れた青島水泳部は臥薪嘗膽猛練習を積み報復を期して來征した。滿鐵水泳部は之れを邀擊すべく八月二十日天の川競泳場に於て對抗戰を開いたが結果は下の通りで三十五點對一で遠征軍を擊破した。△五十米一著萩原(滿)31秒 3/5 二著勝谷(滿)△四百米一著佐藤(滿)6分23秒⅘二著西垣(滿) △百米背泳一著萩(滿) 1分31秒⅘二著甲斐(青)△二百米平泳青島棄權一著柳井(滿) 3分38秒 4/5 二著工藤(滿)△二百米リレー(滿)萩原、萩、勝谷、伊知地2分7秒△百米一著伊知地(滿) 1分13秒 3/5 二著萩原△一哩一著佐藤(滿)26分18秒 2/5 二著奧(滿)三著宮本(青)△二百米一著伊知地(滿) 2分52秒。

全滿洲水泳選手權大會 (極東オリムピツク第一豫選會)

八月三十一日天の川プールに於て擧行△五十米體形自由 A組一著30秒西垣(大連商業)B組31秒⅘勝谷(滿鐵)C組32秒 1/5 吉村(大連)△平泳二百米3分37秒 4/5 鈴木(大連)△百米體形自由 A組1分12秒 3/5 伊地知(滿鐵)B組1分12秒 3/5 萩原(滿鐵)C組1分14秒 2/5 西垣(大連商業)△四百米體形自由6分15秒 2/5 佐藤(若葉)△背泳百米1分28秒萩(若葉)△二百米體形自由2分54秒⅘西垣(大商)△女子五十米體形自由49秒 1/5 飯村敏子(大連市女)二著杉江正子(大連市女)△二百米決勝2分8秒 1/5 滿鐵側△女子五十米體形自由決勝 1分⅘飯村敏子二著杉江正子三著村瀨マツエ(大連市女)△五十米體形自由決勝30秒萩原(滿鐵)△千五百米體形自由決勝25分36秒 1/5 佐藤(若葉)△百米體形自由決勝 1分10秒⅘萩原(滿鐵)△女子百米體形自由決勝2分15秒 2/5 杉江政子(大連市女)△四百米決勝5分5秒 3/5 滿鐵側▲本日の競泳中注目すべきは大連市立高女生飯村敏子が五十米競泳に於て日本記錄五十秒五分の二を突破し四十九秒五分の一の新レコードを作り一秒五分の一早著せる事にて同孃は之れが爲に特別記念賞を授與せられた。

9 室内競技

ピンポン　△第一回滿洲ピンポン大會「主催」滿洲日々新聞社二月十一、三日大連基督教青年會館に開催參加チーム十九を算し優勝戰青年會對撫順倶樂部は撫順優勝　△第一回大連ピンポン大會「主催」同上十一月二十三、六日於青年會館參加チーム二十六優勝戰鈴木對實業は鈴木優勝

ヴアレーボール　以下の三技は主として大連に行はれ沿線地方には未だ發達しない。

バスケツトボール　チームを有するはY.M.C.A滿鐵、工業、中學である。

ボーリング　大連に於てボーリング、アレーを有する箇所はY.M.C.A.電氣遊園、滿鐵獨身宿舍大山寮の三箇所である。

10 武術

武術中柔、劍道は各學校柔劍道部、滿鐵道場及警務署等で盛んに行はれ弓術も滿鐵、諸官衙、學校等に相當盛んに行はれて居るが本年中の概況を示せば次の通りである。

滿鐵十五週年記念武道大會　十月十七日(柔道)十九日(劍道)滿鐵道場に於て開催、柔道部には嘉納師範、劍道部には高野師範の臨席あり各出演者は全滿洲の斯道の猛者揃ひの事とて頗る盛會を極めた。

大連講道館有段者會設立　大連に於ける柔道家は實に多士濟々たるものあるにも不拘從來その團結せる機關が無かつたのを遺憾とし今夏、岡部五段、藤森四段、前田四段、島田四段、山本三段等の諸氏の發起で滿鐵文書課長二段山西恒助氏、大連實業界の重鎭二段原田光次郎氏の贊同を得玆に本會の設立を見るに到つた。而して會長に山西二段を副會長に原田二段を推し岡部五段、藤森四段、島田四段、塙三段の五氏之れが委員に任じ現在會員は九十五名に達してゐる。

在滿柔道家　には次の諸氏が在る(二段以上)

五段　岡部平太(滿鐵)
四段　藤森千春、島田秀晉(以上滿鐵)、前田久耶(警務署)
三段　塙孝一、吉田市郎平、高橋甲二、萩原準、大部二郎、

大連
渡邊奉綱、福島平助（以上滿鐵）山本芳松（中學）小西宗造（公學堂）照井隆吉（第五小學）野田健造（鈴木）末松重雄（不動銀行）島田智乘（滿日）
二段　山西恒郎、大畑逸策、大山壽、奥田直、高師保、笠井頤、中島喜作、安河內富夫、關憲治、小池文雄、筒井省三（以上滿鐵）島田淸次（警務）稻賀襄（中學）林田備德（鈴木）中松國彥（滿日竹內三統流）嶽村專一（遼東新報）拓義雄（同）原田光次郎（實業）松村秀雄（村田商店）伊藤芝信（老虎灘善光寺）

旅順　六段　大木一德、四段　白土昌一郎（工大）、三段　日高貞次（中學）、藤田順一（警務署）、小川準之助、外有段者十五名

奉天　四段　平田（醫大教師）、柳本、門馬（同）他三段三名、二段五名、初段十餘名

撫順　三段　小泉法學士、永井卯平次、二段　川上眞雄、外二段二名、初段七名

大石橋　水村三段

長春　三段平山法學士（滿鐵）、山根福吉（警務署）二段岩下、高橋兩氏（同）

安東　有段者數名あるが氏名が今判明しない故省略する

在滿劍客　主なる劍士は次の諸氏である。

大連　範士高野茂義（小野派一刀流）教師、石山熊彥（北辰一刀流）、五段岡田正美（以上滿鐵道場）、四段松島力之助、同樺澤趙夫、同大內長信、同前田久郎（警務署）佐々仁平（中學）山形軼感（工業）

旅順　教師西尾可行（無刀流）、宇野澤茂、木村荘太郎、今田庄吉、緖方民

撫順　神正廣（小野派一刀流）、栗村初太郎、森岡剛二、後藤修三

奉天　十河彌一（醫大）、辻藤次郎（警務署）、森田文造、永田勝惠（中學）

長春　樋口彌重（商業）、杉目常吉（警務署）、井上總三郎、外有段者數名

鐵嶺　篠塚胤重外有段者數名

有段者五團體爭覇戰 大連講道館有段者會主催、十一月十二日滿鐵大連道場に於て行はれた參加團體は埠頭事務所、大連中學職員團、滿鐵若葉會、大連警務署、沙河口道場の五團體で龍虎相搏つ爭覇戰を演じたが名譽ある優勝旗は遂に沙河口軍の手に歸した。其の成績は次の如くである(○は勝×は分△は負)

第一回		第二回	
警務署	沙河口	中學職員團	滿鐵若葉會
△大將三段高橋	○大將三段島田	△大將三段山本	○大將三段福島
×副將初段岡村	×副將二段嶽村	×副將二段小島	×副將二段尾越
×初段福田	×初段汐見	×二段稻賀	×初段增田
×初段佐藤	×初段原田	△一級島田	○一級平田
△一級木內	○一級中村	△一級堀內	○一級久保田

第三回		第四回(優勝戰)	
沙河口	埠頭	若葉會	沙河口
×大將三段島田	×大將三段高橋	×大將三段福島	×大將三段島田
×副將二段嶽村	×副將二段關	×副將二段尾越	×副將二段嶽村
○初段鹽見	△初段安達	△初段增田	○初段鹽見
×初段原田	×初段中西	×一級平田	×初段原田
×一級中村	×一級關(伊)	×一級久保田	×一級中村

旅順振武館武道大會 十一月十九日旅順關東廳振武館道場にて開かれた滿洲武道大會は柔劍道共參加者八百餘名に達し盛會を極めた。

沙河口武道大會 十一月二十六日沙河口第二小學校講堂にて擧行大連、旅順、金州その他よりの參加者二百餘名に上り劍道部は六十餘組柔道部は三十餘組の試合あり其他柔道部の講道館極の型(小島、前田兩氏)同投の型(島田、水村兩氏)竹內專手型(中松、水村兩氏)劍道部の帝國劍道型(横澤、今田兩氏)高野範士の地稽古等があつた。

11 乘　　馬

乘馬も近來各方面に行はれる樣になつたが未だ他の諸運動ほどに普及して居らぬ。滿洲に在住する吾人は交通機關の完備しない滿蒙、西伯利の天地に活躍する上に於て豫め乘馬術を研究して置くことは極めて必要である。況や乘馬は體育としても效果比なく遊技としても趣味津々たる

ものであるから在滿邦人間に乘馬趣味が普及する事は吾人の望んで止まぬ所である。目下大連には大連乘馬會、遼東乘馬倶樂部及滿蒙馬匹改良協會が在つて馬事思想の普及を計り每年春秋二季に周水子競馬場に於て競馬大會を開催して居る、奉天には今回中國側に奉天賽馬花園遊藝公司が設立せられ、大西關外に馬場を設け先般第一回の競馬大會を催したが同公司は乘馬趣味の普及を圖り又一面各國人の交際を親密ならしむる爲中外乘馬倶樂部なるものを組織する意嚮を有して居り又哈爾賓には日露支合辦の株式會社哈爾賓競馬場が本年春設立せられ、安東にも安東乘馬會があつてそれぞれ乘馬趣味の普及に當つて居る現況である。

老虎灘競馬大會 （主催）極東週報社滿蒙馬匹改良協會十月二九、三十、三十一日「第一日」第一回中國馬三週 1分44秒トモヱ（山內）△第二回同1分39秒アタゴ（河合）△第三回日本馬三週1分30秒マサオカ（山本）△第四回中國馬四週2分19秒エイコウ（河合）△第五回日本馬四週2分55秒アケボノ（鶴田）第六回同 2分31秒ナンカイ（千ノ木）△第七回中國馬三週 1分44秒ジンギスカン（山內）△第八回中國馬四週 3分20秒ムルチン（岩崎）△第九回露國馬三週 2分12秒ウラジオ（千ノ木）△第十回中國馬四週 2分31秒メイジ（山本）△第十一回中國馬五週 2分52秒キョクトウ（三浦）△第十二回日本馬△ 2分32秒デンコウ（河合）「第二日」第一回中國馬三週 1分44秒バーリン（山內）△第二回露國馬同 2分16秒チヽハル（千ノ木）△第三回中國馬同 1分43秒アタゴ（河合）△第四回同四週 1分35秒フジ（三浦）△第五回同 2分17秒エイコウ（河合）△第六回日本馬同 1分58秒カサギ（河合）△第七回中國馬同 2分24秒ユーヅキ（河合）△第八回日露馬同 2分14秒タイレン（鶴田）△第九回中國馬五週 2分34秒ムルチン（岩崎）△第十回日本馬同2分34秒チエリボン（吉野）△第十一回中國馬三週1分55秒マンプウ（三浦）△第十二回同四週 2分19秒トモヱ（山內）「第三日」第一回中國馬三週 1分47秒アサヒ（河合）△第二回同 1分44秒バーリン（山內）△第三回日露產馬四週 2分12秒タマイ（山本）△中國馬四週 2分43秒セース（河合）△第五回同 2分24秒アスカ（山內）△第六回日本馬五週 2分45秒カサギ（河合）△第七回中國馬同 3分 0秒トモヱ（山內）△第八回中國馬四週 2分11秒ユーヅキ（河合）△第九回爭霸六週 3分28秒キョクトウ（三浦）△第十回同 3分 5秒マサオカ（山本）

奉天競馬大會 「主催」奉天賽馬花園遊藝公司、十二月二、三、四

日勝馬賞金合計大洋七千元、馬券は獨馬票、搖馬票、香賓票の三種、香賓票の當選金額は一等一萬五百元、二等五千二百元、三等千七百五十元（賣上香賓五千枚につき）「第一日」第一回（四分三哩）1分46秒飛龍（岩淵）△第二回（二分一哩）1分11秒藤波（岩崎）△第三回（一哩）2分4秒 2/5 寶山（西城）△第三回（一哩）2分 5秒ダルニー（岩淵）△第五回（二分一哩）3分1秒 1/5 極東（岩淵）「第二日」第一回（四分三哩）1分45秒木兒沁（岩淵）△第二回（一哩）2分42秒鵜西（山本）△第三回（一哩八分一）2分19秒 1/5 政岡（西城）△第四回（一哩八分一）2分43秒 2/5 弘濟（岩淵）△第五回（一哩）2分8秒 2/5 愛宕（河合）「第三日」第一回（一哩）巴扇（デビス）△第二回（一哩）2分48秒夕月（岩淵）△第三回（四分三哩）1分30秒電光（河合）△第四回（一哩四分一）2分51秒 ダルニー（岩崎）△第五回（走馬競賽）唐獅子（張德山）△第六回（一哩四分一）2分21秒 4/5 寶山（西城）

邦人の馬券購入禁止 奉馬競馬大會に於て邦人の馬券購入につき上海天津等の如く之を默認されるか否かは頗る疑問とされて居たが十一月二十九日諭告第一號を以つて赤塚總領事は日本人は右馬券を賣買し又は授受すべからず若し違反したるものは刑法に依り處罰せらるべき旨一般在留民に告示した。

12. 弓　　術

大連の弓場 明治三十九年頃本願寺の經營で北公園内に造られたのが大連に於ける弓場の嚆矢で四十四年に滿鐵の經營に移つたが當時は戰後の過渡期でかゝる趣味を解する人は極めて少く弓道界は寥々たるものであつたが大正五年に現在の大日本弓道會大連支部師範中井理助氏が自宅に矢場を開いた頃から漸次盛んとなり西公園に大連尙武會の道場、大和町に遞信局の道場が出來、中井氏前記大日本弓道會大連支部師範として現在の敷島廣場に弓場を開くこととなり西公園の尙武會の弓場は種々の都合で這回武術會の弓道部に引繼ぐことになつた。此外西野福吉氏を師範とする大連高等女學校の弓場は大連弓道會の紅一點とも云ふべきである。

現在大連に於ける斯界の元老には中井師範、安達丈平氏（尙武會）、伊奈雅藏氏（弓道會）、伊藤建雄氏（滿鐵）、加藤三吉氏（遞信倶樂部）、西野師範（大連高女）等で隔月每に優勝大會を行つてゐる。外弓道倶樂部では

春秋二季に大會を開いて弓界の發展を望み技術の進歩を計つてゐる。

大連弓道優勝旗爭奪大會 十月五日於北公園大弓場開催 出場者弓道會、遞信倶樂部、滿鐵沙河口の三道場より各選手五名勝負五十射遞信、沙河口各百五十二點更に兩者各人二本宛競射を行ひ七對四で沙河口優勝

遞信滿鐵弓道會聯合五十射會 十月三十一日場所弓道會道場一等大竹四〇點(遞)二等東沼三八點(滿)同伴三八點(弓)

(二) 演 藝

從來滿洲各地に於ける劇場としては後に擧げる如きものであるがその外觀内容の貧弱な事は他の方面の諸施設が比較的整備してゐるに反し此の方面のみ特に缺くる憾みがあつた。然るに本年突如大連若狹町元日の丸座跡に大連劇場が新築された事は殆ど劇場らしき劇場を有せず衰頽に衰頽を重ねつゝあつた滿洲演藝界の前途に一道の光明を與へたものである。現在滿洲が有する代表的劇場として次に少しく之れについて記述する事にしやう。

大連劇場 大正十一年六月中旬起工、同十一月九日竣工、建築の樣式は外部は範を歐米最新式の樣式に短り内部は近世ルネッサンス式を採用し建築敷地三百八十八坪總建坪三百四十二坪、觀覽席階上七十坪、階下九十坪、平土間七十坪、椅子席二十坪、定員階上七百名、階下九百名計千六百名であるが内地或は他の劇場の如く坪十六人宛にして計算すれば階上千二百名、階下二千名、計三千二百名を收容し得る。之が建築費用は三十萬圓で舞臺は間口八間、奧行六間高さ二十二尺の二重廻り舞臺で外側七間内側四間の直徑を有する。この劇場の特長は二階の構造で中に高さ三尺長さ十間のガードニ本を使用してある爲二階全體が階下に一本の柱なくして支へられて居る。防火、煖房、通風等の設備にも充分意を用ひてあり滿洲に於ける代表的劇場として耻しからぬ設備を有して居る。本劇場は杮葺落興業(十一月十日開演)に市川右團治、中村飛鶴、片岡當次郎、中村福男、市川市昇、市川家蔦、嵐廣三郎、中村雀丸、市川

市左衞門、實川八百藏、中村嘉七、市川市藏外七十餘名の大阪歌舞伎大一座を迎へ花々しく開演し久しく歌舞伎に飢ゑて居た大連好劇家を喜ばしめたが其の出し物は次の通りであつた。

藝題 △一番目壽曾我物語(二幕)△所作事操り三番叟(一幕)△中幕櫻鍔恨鮫鞘(鰻谷の場)△大切繪本太功記(尼崎の段) **役割** 伊藤荒王丸、五郎時致、三番叟、重次郎光義(右團治)入江三郎、朝比奈三郎、翁、妻操(飛鶴)花山院小の方、大磯の虎、女房おつま、娘初菊(廣三郎)兵庫之助筵綱、化粧坂の少將、千歲、家主重兵衞、眞柴久吉(八百藏)畠山重忠工藤左衞門、仁田四郎忠常、仲仕銀八、光秀母皐月(嘉七)安部太郎、十郎祐成、古手八郎兵衞、武智光秀(市藏) **二の替り藝題** △一番目有職鎌倉山(四幕(△中幕那須與市西海硯(一幕)△切狂言隅田川續佛(上下) **役割** 佐野源左衞門、乳母秋篠、甚三(市藏)三浦荒二郎、那須與市、法界坊(右團治)源實朝、勇助、照葉、おかん(飛鶴)佐野兵衞(嘉七)玉笹、宿(廣三郎)結城七郎、駒の井、娘おくみ(八百藏) **三の替り藝題** △一番目加賀見山舊錦繪(五幕)△所作事伯藏主(一幕)△切り戀飛脚大和往來(一幕)▲**役割** 岩藤、忠兵衞(市藏)お初、伯藏主(右團治)創澤彈正、八右衞門(嘉七)尾上、治右衞門(飛鶴)求女、梅川(廣三郎)江戸平、由兵衞(八百藏)而して普通興業は十一月二十五日千秋樂二十七日より返り初日として四日間特別興業をやり、一般民衆の便を計り觀覽料を三圓均一とした

劇場及寄席 (大正十年)

名	稱	建物坪數	興行(延日數)	觀客(延人員)	收入金額
旅順	八島座	172	136	17,065	14,611
	與樂茶園	113	97	29,280	4,915
	大正館	53	361	60,578	19,857
大連	歌舞伎座	294	267	42,188	52,172
	日の丸座	142	101	13,229	15,839
	永善茶園	275	335	119,629	20,984
	同樂舞臺	334	267	73,384	22,594
	高等演劇館	105	362	200,274	78,207
	浪速館	125	360	106,794	39,367
	花月館	166	336	29,145	12,909

瓦房店	公會堂(假劇場)	160	61	11,880	4,019
	永安茶園	83	32	5,792	1,158
遼陽	遼陽座	180	69	9,953	8 967
鞍山	演藝館	157	149	28,605	20,386
奉天	彌生座	134	27	2,856	1,082
	南地座	140	54	16,901	5,210
	第一奉天館	112	353	94,586	36,434
本溪湖	公會堂(假劇場)	131	57	10,261	3,724
撫順	公會堂	199	41	11,028	6,763
開原	興隆茶園	135	297	172,448	40,562
長春	株式會社長春座	325	329	67,563	57,835
四平街	三合公茶園	110	135	28,000	3,500
公主嶺	日華茶園	160	192	42,026	9,574
	公會堂	92	134	5,710	4,638
牛莊	營口座	245	42	4,958	5,029
	裕仙茶園	204	217	123,347	16,467
	電影館	85	159	14,750	1,887
奉天舊市街	奉天劇場	384	182	22,122	33,934
安東	南地座	172	196	25,166	21,186
	安東劇場	284	155	25,498	37,460
	安東舞臺	230	210	12,580	7,548
哈爾賓	哈爾賓座	—	—	—	—
總計	**32**	**5,501**	**5,713**	**1,427,591**	**608,854**

(三) 音　　樂

1 現　　況

滿洲の音樂界は未だ頗る盛んなりといふ譯に行かない然し乍ら世界に於ける近代生活の基調が著しく音樂的となり今や音樂は單に重要な藝術としてのみでなく思想にも文藝にも其音樂的の傾向は特筆すべき事であつて滿洲殊に滿蒙文化の淵叢たる大連に於ても漸次此の世界的風潮に從ひ音樂趣味の勃興を來さんとする機運に向つて來た事は喜ばしい傾向で最近滿鐵社員に依つて滿鐵音樂會が組織せられ好樂家の指導機關として

音樂趣味の普及に努力し既に數回の演奏會を催し又百臺に近いピアノを月賦の方法によつて希望者に頒布するなど滿洲樂界に貢献する處が少くない。

滿鐵音樂會　滿鐵社員及び其の家族の有志を以て組織せられ音樂の研究並音樂趣味の普及を計るを目的とし次の三部に分れてゐる。

イ　研究部　は次の研究をやつてゐる。

音樂行政の研究 { 音樂の民衆化の研究（名曲紹介、音樂講演等）
民衆音樂の研究（童謠、俚謠、宣傳歌等の研究）

ロ　演奏部　は演奏及び練習を爲す爲に設けられ邦樂部及洋樂部に分かれ後者は更に聲樂團、絃樂團、管樂團の三に分れる。

ハ　練習部　初心者の音樂練習機關で邦樂、洋樂の二部があり各部は次の科に分れてゐる。

邦樂部　謠曲科、箏曲科、尺八科

洋樂部　聲樂科、ピアノ科、オーガン科、ヴアイオリン科、マンドリン科、ピオラ科、セロ科、吹奏樂器科

マンドリンは伊藤氏、ヴアイオリンはルーマニア人ゲオルゲスコ氏、聲樂は岡本新市氏に依りて導かれ現在會員數洋樂三百六十五名、邦樂百八十三名を有してゐる

村岡管絃隊　滿洲樂壇の權威樂童村岡祥太郎氏により統率さるゝ大和ホテル所屬オーケストラで現在隊員十二名である。

2　大正十一年中の大連音樂界

本年中に當地で催された演奏會の主なるものは次の通りである。

△露國聲樂家演奏會　二月二十五、六日於ヤマトホテル實科女學校出演者スーリコワ孃伴奏ガイ氏

△澄宮殿下童謠音樂會「主催」大連新聞　四月九日、市立高女

△西廣場幼稚園音樂會　五月一日、於同園

△劇と音樂會「主催」基督教青年會　五月十日、市立高女

△滿鐵音樂會春季演奏會　五月十三日、同上　五月二十日、沙河口俱樂部

△邦樂新演奏會「主催」關東婦人會　五月二十八日、同上　當日のプログラム中從來公開を禁ぜられて居た雅樂を公開し尺八にてシユーベルト作子守唄を吹奏した等は此會の特色であつた。

△第一回各學校聯合音樂會「主催」大連奬學會　六月四日、同上

△雙葉アーベント「主催」雙葉幼稚園　六月十二日、同上

△外人絃樂團演奏會「主催」大連絃樂會　六月十四、六日ヤマトホテル、市立高女、舊露國帝室劇場樂長ゲオルゲスコ氏一行のストリングクワルテツト

△照井照三氏獨唱會「後援」滿鐵音樂會　七月五、八日同上

△近森門下温習會　七月九日同上

△村岡樂童氏歡迎音樂會　七月十五、六日ヤマトホテル、市立高女

△榊博士ヴヰオリン獨奏會「後援」滿鐵音樂會　八月二十二日同上

△露國聲樂家大演奏會「主催」滿鐵音樂會　七月二十九日同上、シヤリヤピン氏高弟ワジリー、ルカニン氏（ベース）アルパート、ロザノワ孃（ソプラノ）イー、イグナチエワ夫人（ピアノ）

△同志社大學グリークラブ演奏會　八月五日、市立高女

△彭城昌平氏送別音樂會　八月ヤマトホテル

△第二回聯合兒童音樂會「主催」遼東新報　十一月五日、市立高女

△滿鐵音樂會秋季演奏會　十一月十、（邦樂）十一日、（洋樂）市立高女、十八日沙河口倶樂部

△第二回各學校聯合音樂會「主催」大連奬學會　十一月十二日、沙河口劇場

謠曲 も相當廣く行はれ殊に大連に於ては年一年隆盛に赴き其の進展の傾向は今や四拍子も完備し居囃子は勿論舞囃子より番囃子までも差支なき程度の發達を見せ最早單なる謠曲の域を脱して能樂の境に入らんとしてゐる現況である。今大連に於ける各流師範を擧ぐれば次の通りである。

△觀世流古屋雅雪、岩村薩馬、村村武一郎、渡邊與十郎、小林正夫、上田金城、小林恒太郎、肥後盛彦、榎本定輔、長尾景邦、衆本解鶯、堀田勇、田邊三槌、中堂謙吉、寄藤好實、加藤吉五郎、倉島牛太郎、大村貞平、福田顯四郎、小澤太兵衞、國政與三郎、北村享吉の諸氏　△寶生流小坂外雄、大桑辰雄、森川壯吉、岩瀬半之助、瓜谷堺力、高岡又一郎、新谷正潔、大島定之助、今津十郎、林猛、本田海彦、久保章一、太田信三丸山英一、影山忠夫、原田猪八郎、高橋龜之助、千村春次、生居澤保三の諸氏　△喜多流白井靖敏、南方市次郎、佐藤義雄、菅原金藏の諸氏

△福王流八坂喜彦、田伏修、廣瀨重藏の諸氏　△梅若派浮田行壽氏

謠曲及び能樂に關する會には雅雪會、大連能樂會、觀世會、福王會、朱扇會、喜多流百本會、寶生流五雲會、觀世流滿謳會等（以上大連）觀世流翁會（營口）、梅若流遼謳會（遼陽）、寶生會（鐵嶺）、嚶鳴會（撫順）等がある。

箏曲　日本に於ける箏曲の二流派が關東は山田關西は生田と兩地方に依りその行はるゝ範圍が判然と區劃せられて居る如く滿洲に於ても此の二流は關東系、關西系の人々に依つてその汲む處の流派を異にして居る。大連に於ける兩流の師匠を擧げれば略次の通りである。

△山田流　横山千代井夫人、杉原靜花夫人（串田派）小山夫人

△生田流　富森大檢校（生田流當道會支部長）大勾當音樂士福永周子姉　大勾當平井尙子姉、大勾當桃木梶子姉、小勾當中川かね子姉

長唄　大連に於ける長唄界の名手は次の通りである。

杵屋六富佐氏（水田夫人）高尾夫人、同令孃高尾みは子氏、杵屋六かね氏（今關かね子）福田くま子夫人、菅野晴子夫人、杵屋六代音氏（皆川よね子夫人）、中村夫人、杵屋六玉氏、同六絹氏、同六調氏、同六喜次氏、▲旅順　杵屋六昇氏　▲奉天　杵屋せん氏　▲長春　岡安喜三さき氏

其他常盤津淸元尺八琵琶等も相當行はれて居る。

（四）圍碁、將棋

圍碁、將棋は最も普及せる民衆娯樂として各地共盛んに行はれて居る今大連に於ける主なる碁客を擧ぐれば次の通りである。

大連圍碁名鑑（大正十一年十月現在）

▲西の方△張出横綱中尾榮之助　△同大關濱田正稻　△同關脇中村德三郎　△横綱小泉策太郎　△大關中澤松男　△關脇伊勢武治▲東の方　△張出横綱北川織三　△同大關細江謙吉　△同關脇石川一水　△横綱山田龜喜　△大關水田利八　△關脇龜井寶一

△行司　富永豐、中島榮次郎、朝永末三、恒川ツネ子　△勸進元　崎山眞琴△名譽碁伯　二段近藤九一、初段木戶忠太郎、富田孝四郎、福田顯四郎、大磯義勇、伊介貢、横山力一、柴田光海

△客席　安野誠四郎、樋本柳一、肥後平介、中野淸治、野村宗、

△師範　四段　金井茂、同　川崎幸治、初段　阪口義一

資本金　八千萬圓

拂込濟資本金　五千萬圓

積立金　壹千五拾四萬圓

本店　朝鮮京城南大門通

振替貯金口座　京城三三三番

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其ノ他一般銀行業務竝朝鮮、滿洲、及亞港ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

朝鮮銀行

總裁　美濃部俊吉

支店出張所

- 內地　東京　大阪　神戸　下關
- 朝鮮　釜山　大邱　仁川　平壤　鎭南浦　元山　群山　木浦　淸津　會寧
- 滿洲　大連　旅順　營口　遼陽　奉天　奉天新市街　鐵嶺　開原　四平街　鄭家屯　長春　吉林　安東縣　龍井村　哈爾賓　傅家甸
- 支那　上海　青島　天津　濟南
- 露領　浦潮斯德　亞港
- 米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

資本金五千萬圓
拂込資本金 貳千七百五拾萬圓

奉天浪速通

東洋拓殖株式會社奉天支店

電話五九九、六五七、(長)三九七、一〇二五
振替大連一九六八、發信略號ホウデントタ

本店 東京市麴町區有樂町一丁目一番地
在支那支店 奉天、大連、哈爾賓、間島、青島

資本金　參百萬圓

諸積立金　七拾參萬六千圓

大連市伊勢町二十一號地

株式會社　**大連銀行**

電話（代表番號　五一〇五番
　　（宿直用　二〇〇二番

振替口座大連　三三〇番

▼一般銀行業務▼

▼大連市金庫事務取扱▼

▼金銀兩勘定取扱▼

山縣通支店　電話二〇〇一番

沙河口出張所　電話一〇九番

鞍山支店　電話六七番

奉天支店　電話九〇一番

資本金　參百萬圓
積立金　參拾六萬七千圓

大連市大山通九番地

株式會社　遼東銀行

電話　六三三／一〇六七／三五六〇
振替大連一六九一

支店　小崗子、金州、普蘭店
　　　貔子窩、瓦房店
爲替　內地朝鮮滿洲の各樞要地

營業

一般銀行業の外年賦（なしくずし）又は定期償還の方法に依り勸業資金貸付取扱申候

資本金　參百萬圓
拂込資本金　壹百五拾萬圓
諸積立金　四拾參萬九千餘圓

大連取引所錢鈔
信託株式會社

大連市愛宕町十七號地

電話　二一四
九三八
一二三八

輸出入 倉庫土木建築

保險及 諸代理

F.C

大連市山縣通一六三

福昌公司

電話代表番號 五〇四〇番

振替貯金口座大連一〇六〇番

倉庫部 一般倉庫業務取扱 大連市摩耶町十一號地
電話 二〇六三番

保險 大阪海上火災、日本共立火災、豐國火災、ゼ、ノース、ブリチッシ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店

輸出入貿易業
三菱海上火災保險株式會社代理店
三菱商事株式會社大連支店
大連市山縣通四十二番地

大連汽船株式會社

東洋汽船株式會社大連代理店

本社

大連市山縣通（電話代表番號五一九〇番）

支店及出張所

上海支店　上海バンド壹號
安東縣支店　安東縣財神廟街
天津支店　天津舊獨逸租界
青島支店　青島葉櫻町十一番地
神戸出張所　神戸仲町十五ビルデイング

代理店

横濱。大阪。香港。營口。龍口。旅順

●營口、大連、阪神線　貳箇月三回
●青島海州線　每月五回
●青島上海線　每月五回
●大連、青島、上海線　每月六回
●大連龍口線　每月六回
●大連安東線　每月三回
●大連天津線　每月九回
●南滿洲鐵道、山東鐵道トノ聯絡輸送並北支那諸港間ノ荷客取扱申候
●天津航路ハ大連ニ於テ大阪商船會社大阪大連間定期船ニ接續可致候
●天津、安東縣及新義州ニハ完全ナル倉庫ヲ新築致シ一般倉庫業相營ミ居リ候
●鴨綠江結氷中大連安東線ハ休航
●白河結氷中大連天津線ハ大連秦皇線ニ變更

現代文化の粋を集めたる住宅を
住宅地としての尤も理想郷を 月賦提供

大連市信濃町

大連郊外土地株式會社

電話
本社 二三五一 三六二三
現場 三四七八 一八二一

當社經營地は大連市の南郊、冬暖かにして、夏涼しく松韻濃かにして遙に濤聲を聽く静閑なる別天地にして、然も文化施設の完備したる眞に住宅地としての理想郷なり。

關東廳公布式
夕刊朝刊發行

年中無休刊

滿洲日日新聞

議論公正報道迅速確實。滿蒙開拓の唯一指針。發行部數滿鮮を通じて第一位にあり。從つて廣告の效力の偉大なるは其處なり

大連市東公園町

滿洲日日新聞社

振替貯金口座大連六〇番

▲遼東新報は滿洲に於ける邦字新聞の鼻祖にして大陸發展の急先鋒なり
▲遼東新報は不偏不黨不羈獨立にして正義公道を絶叫し汎く世論を代表す
▲遼東新報は滿洲に於ける新聞中其勢力と健實とに於て第一位を占む

遼東新報

創刊　明治三十八年十月二十五日

大連市敷島町拾六番地

發行所　株式會社　遼東新報社

支社支局　東京、大阪、旅順、奉天、長春、ハルビン、吉林、北京、青島、安東、其他數十箇所

大中印書館

TA CHUNG PRESS Ltd., DAIREN.

大連市浪速町一丁目十三號地

電話三六七三番

營業科目

東西書籍
運動用品
湖水名筆
各種色紙
華洋書籍
五彩圖畫

小說雜誌
科學儀器
徽州貢墨
信封信箋
日報雜誌
株券證券

圖畫字聯
教育玩具
精選贈品
文房器具
美術商標
廣告名片

滿洲唯一の樂天鄉

ラヂユームを多量に含有する

天然の靈泉

湯崗子驛ヨリ僅二三丁

湯崗子温泉

旅館
- 對翠閣
- 玉泉館
- 清林館

◆設備完全眺望絕佳◆

◆茶代廢止安價主義◆

大正十二年一月十日印刷
大正十二年一月十五日發行

滿蒙之文化(臨時增刊)第[illegible]冊

滿蒙年鑑

(定價金壹圓五拾錢)

大連市
發行人　笠原博

大連市
編輯人　平林芳勝

大連市
印刷所　株式會社滿洲日日新聞社

大連市
發行所　滿蒙文化協會
振替貯金口座大連 2,850
電話 { 3741番 / 3805番 }